

本書の見かた

本書ではお車の各装置や装備の正しい取り扱いかたと、快適ドライブ情報やお手入れのしかた、万一のときの応急処置などを記載しています。

- ◎ お車を安全・快適にお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。
- ◎ 「警告」「注意」は安全のために特に重要です。よく読んでお守りください。
- 本書の中で使用しているマークと意味は次のようになっています。

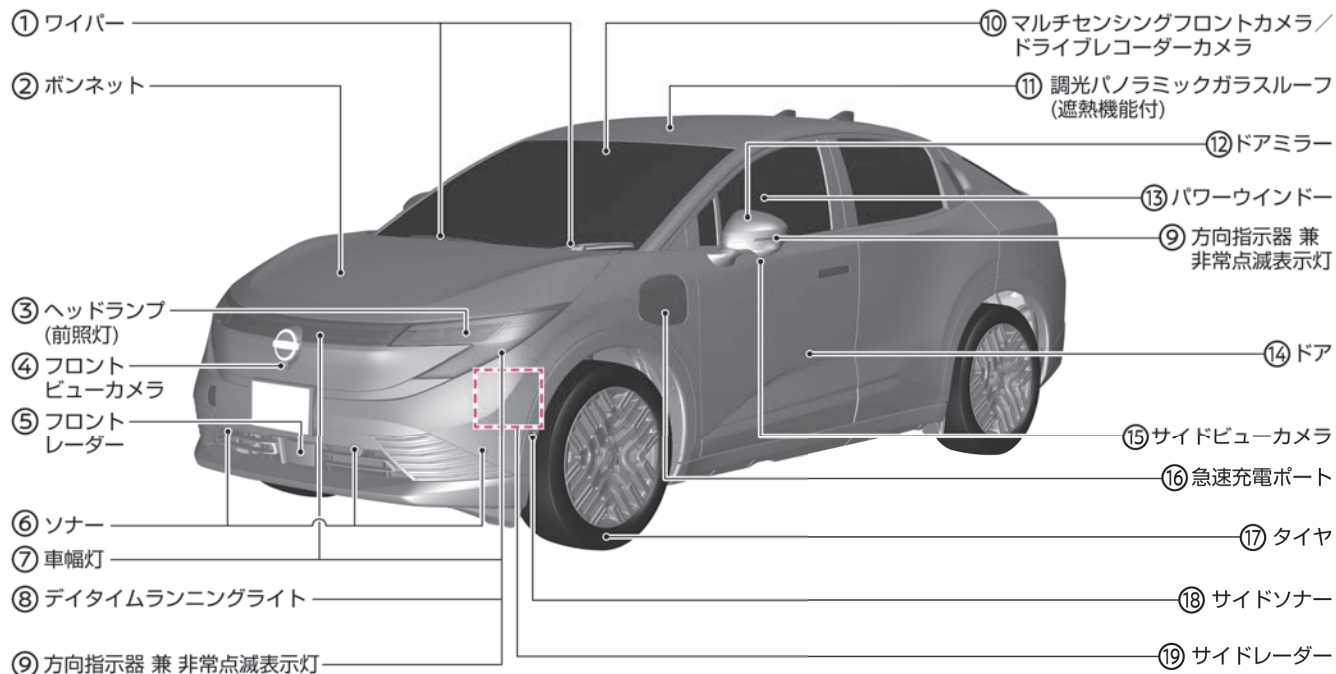
安全のために守っていただきたいこと。	
 警告	守らないと生命の危険または重大な傷害につながるおそれがあります。
 注意	守らないと傷害につながるおそれがあります。
お車のために守っていただきたいこと。	
 アドバイス	守らないと装備品や車両の破損につながるおそれがあります。
お車を使ううえで知っておいていただきたいこと。	
 知識	知っておくとお車の性能を十分にお使いいただけるとともに、いろいろな装備を上手に使うことができます。
	安全のためにしてはならない行為。 (イラスト内に表示されています)

- コントロールパネルのスイッチは<****>、操作画面に表示されるメニューや項目は [****] と表示しています。
- 参照して読んでいただきたいページなどを、➡マークで表示しています。
- 本書では、標準装備のナビゲーションシステムを装着した車両のことを「NissanConnectインフォテインメントシステム装着車」として示しています。
- 日産販売会社で取り付けられた装備（ディーラーオプション）については、その装備に付属の取扱説明書をお読みください。
- 点検・整備、保証については別冊のメンテナンスノートをお読みください。
- NissanConnectインフォテインメントシステム取扱説明書も合わせてお読みください。
- その他、ご不明な点はカーライフアドバイザー（営業部員）にお申しつけください。

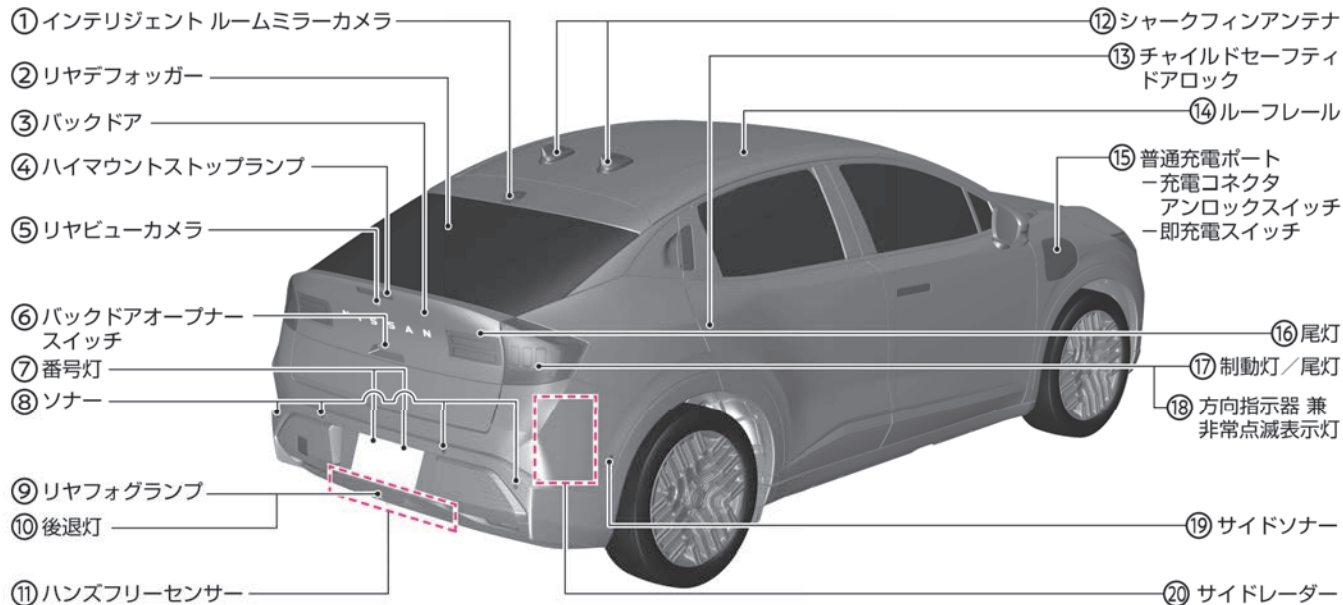
● 交通ルールやマナーを守って運転しましょう。
● 自然環境保護に配慮してください。
● 車両の仕様変更やソフトウェア更新により、本書の内容が実車と一致しない場合がありますのであらかじめご了承ください。

■ 外観フロント.2 ■ 運転席まわり.8	■ 外観リヤ.4 ■ インストルメントパネル.10	■ 車室内.6	イラスト目次	P.2
■ 電気自動車の特徴.14 ■ 便利なサポート機能.20 ■ 充電する.45 ■ 充電で困ったときは.56	■ 安全にご利用いただくために.15 ■ 充電に関する注意事項.30 ■ 充電上限の設定について.52	■ 電気自動車と上手に付き合うために.18 ■ 充電に関する装備.33 ■ 便利な充電方法.53	電気自動車の機能	P.13
■ 運転する前に.62 ■ お子さまの安全のために.74	■ シートベルト.65 ■ 盗難防止機能.81	■ エアバッグ.68	安全なドライブのために	P.61
■ 計器類.84	■ 警告灯・表示灯.91	■ アドバンスドドライブアシストディスプレイ.97	メーターの見かた	P.83
■ ヘッドアップディスプレイ★.129	■ メーターの明るさの調節.134			
■ キー.136 ■ ミラーの調節.163 ■ オーディオ.184	■ ドアの施錠と解錠.142 ■ 窓ガラスの開閉.168	■ シート・ハンドルの調節.155 ■ エアコンの操作.171	各部の操作	P.135
■ 始動する.186 ■ 運転支援機能.209	■ 運転する.189 ■ 駐車支援システム.301	■ ランプをつける、ワイパーを使う.197	運転のしかた	P.185
■ 室内灯.350	■ 収納装備.352	■ その他の室内装備.355	室内装備	P.349
■ まずはじめに.376	■ 緊急時の対処法.381		トラブルがおきたときは	P.375
■ メンテナンスの前に.440 ■ 清掃・お手入れ.455	■ 工具・ジャッキ.441 ■ サービスデータ.462	■ 点検と整備.445	メンテナンス	P.439
			索引	P.467

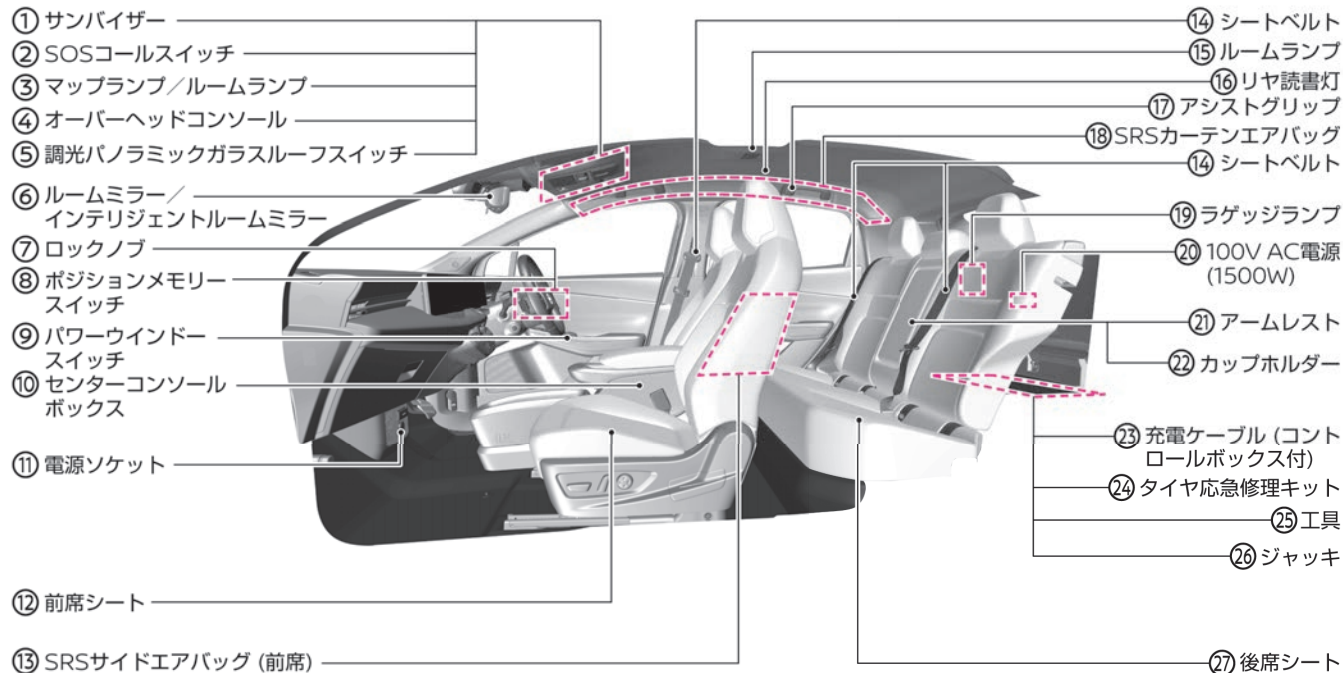
外観フロント



- ① ワイパー (➡P.204)
- ② ボンネット (➡P.447)
- ③ ヘッドランプ (前照灯) (➡P.197、➡P.438、➡P.464)
- ④ フロントビューカメラ★ (➡P.459)
- ⑤ フロントレーダー (➡P.458)
- ⑥ ソナー (➡P.126、➡P.459)
- ⑦ 車幅灯 (➡P.197、➡P.438、➡P.464)
- ⑧ デイタイムランニングライト (➡P.197、➡P.438、➡P.464)
- ⑨ 方向指示器 兼 非常点滅表示灯 (➡P.203、➡P.438、➡P.464)
- ⑩ マルチセンシングフロントカメラ／ドライブレコーダーカメラ★ (➡P.458)
- ⑪ 調光パノラミックガラスルーフ (遮熱機能付) ★ (➡P.169)
- ⑫ ドアミラー (➡P.166)
- ⑬ パワーウインドー (➡P.168)
- ⑭ ドア (➡P.142)
- ⑮ サイドビューカメラ (➡P.459)
- ⑯ 急速充電ポート (➡P.36)
- ⑰ タイヤ (➡P.449)
- ⑱ サイドソナー★ (➡P.459)
- ⑲ サイドレーダー (➡P.458)

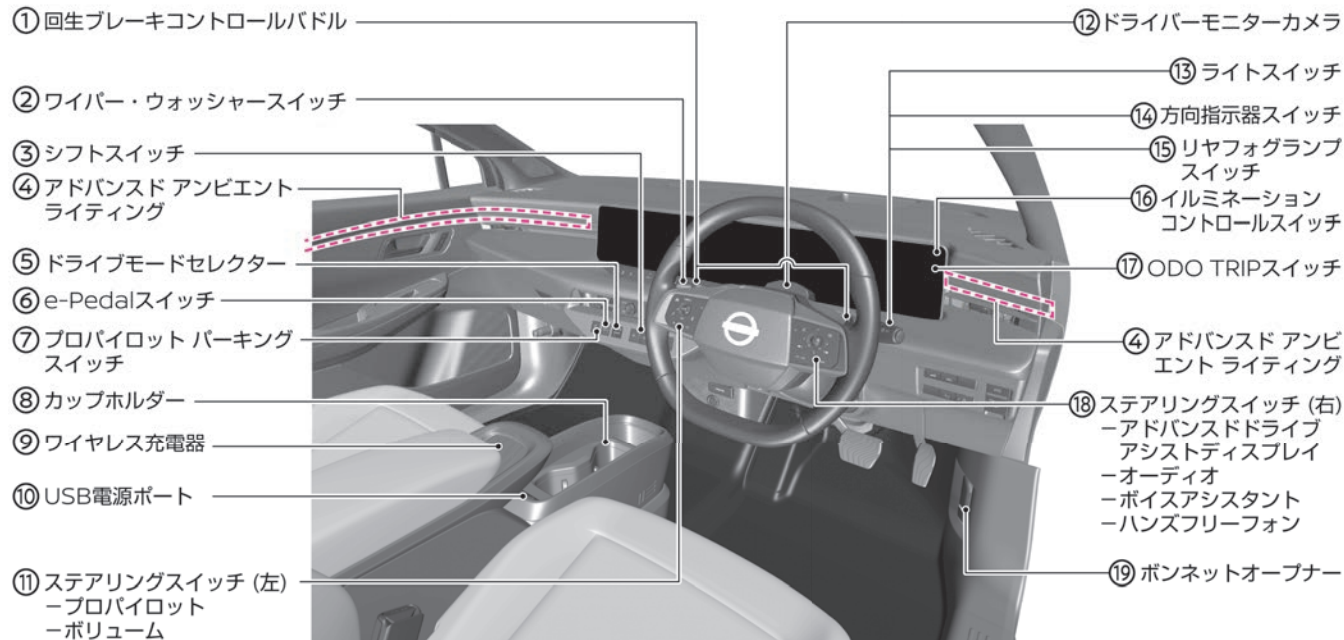


- ① インテリジェントルームミラーカメラ★ (➡P.461)
- ② リヤデフォッガー (➡P.436)
- ③ バックドア (➡P.146、➡P.147)
- ④ ハイマウントストップランプ (➡P.438、➡P.464)
- ⑤ リヤビューカメラ (➡P.459)
- ⑥ バックドアオープナースイッチ (➡P.148)
- ⑦ 番号灯 (➡P.197、➡P.438、➡P.464)
- ⑧ ソナー (➡P.126、➡P.459)
- ⑨ リヤフォグランプ★ (➡P.203、➡P.438、➡P.464)
- ⑩ 後退灯 (➡P.438、➡P.464)
- ⑪ ハンズフリーセンサー★ (➡P.148)
- ⑫ シャークフィンアンテナ (➡P.222、➡P.455)
- ⑬ チャイルドセーフティドアロック (➡P.144)
- ⑭ ルーフレール★ (➡P.62)
- ⑮ 普通充電ポート (➡P.36)
 - 充電コネクタアンロックスイッチ (➡P.38)
 - 即充電スイッチ (➡P.36)
- ⑯ 尾灯★ (➡P.197、➡P.438、➡P.464)
- ⑰ 制動灯／尾灯 (➡P.197、➡P.438、➡P.464)
- ⑱ 方向指示器 兼 非常点滅表示灯 (➡P.203、➡P.438、➡P.464)
- ⑲ サイドソナー★ (➡P.459)
- ⑳ サイドレーダー (➡P.458)



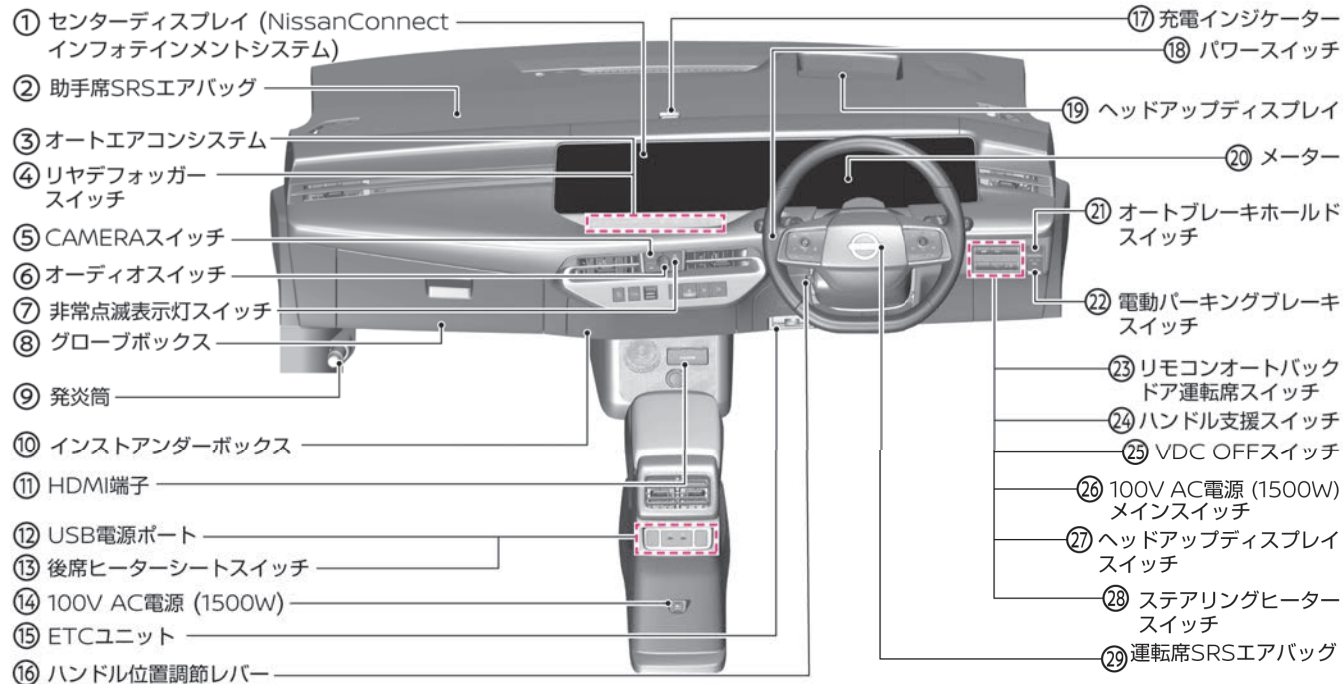
- ① サンバイザー (➡P.371)
- ② SOSコールスイッチ (➡P.355)
- ③ マップランプ/ルームランプ (➡P.350)
- ④ オーバーヘッドコンソール★ (➡P.353)
- ⑤ 調光パノラミックガラスルーフスイッチ★ (➡P.169)
- ⑥ ルームミラー★/インテリジェント ルームミラー★ (➡P.163)
- ⑦ ロックノブ (➡P.144)
- ⑧ ポジションメモリースイッチ★ (➡P.156)
- ⑨ パワーウィンドースイッチ (➡P.168)
- ⑩ センターコンソールボックス (➡P.352)
- ⑪ 電源ソケット (➡P.368)
- ⑫ 前席シート (➡P.155)
- ⑬ SRSサイドエアバッグ (前席) (➡P.71)
- ⑭ シートベルト (➡P.65)
- ⑮ ルームランプ★ (➡P.350)
- ⑯ リヤ読書灯★ (➡P.351)
- ⑰ アシストグリップ (➡P.372)
- ⑱ SRSカーテンエアバッグ (➡P.72)
- ⑲ ラゲッジランプ (➡P.351)
- ⑳ 100V AC電源 (1500W) ★ (➡P.22)
- ㉑ アームレスト★ (➡P.161)
- ㉒ カップホルダー★ (➡P.353)
- ㉓ 充電ケーブル (コントロールボックス付) ★ (➡P.34)
- ㉔ タイヤ応急修理キット (➡P.381)
- ㉕ 工具★ (➡P.441)
- ㉖ ジャッキ★ (➡P.441)
- ㉗ 後席シート (➡P.159)

運転席まわり



- ① 回生ブレーキコントロールパドル★ (➡ P.190)
- ② ワイパー・ウォッシャースイッチ (➡ P.204)
- ③ シフトスイッチ (➡ P.189)
- ④ アドバンスドアンビエントライティング★ (➡ P.351)
- ⑤ ドライブモードセクター (➡ P.210)
- ⑥ e-Pedalスイッチ (➡ P.209)
- ⑦ プロパイロットパーキングスイッチ★ (➡ P.320)
- ⑧ カップホルダー (➡ P.352)
- ⑨ ワイヤレス充電器★ (➡ P.369)
- ⑩ USB電源ポート (※)
- ⑪ ステアリングスイッチ (左)
- プロパイロット (➡ P.222)
- ボリューム (※)
- ⑫ ドライバーモニターカメラ★ (➡ P.298)
- ⑬ ライトスイッチ (➡ P.197)
- ⑭ 方向指示器スイッチ (➡ P.203)
- ⑮ リヤフォグランプスイッチ★ (➡ P.203)
- ⑯ イルミネーションコントロールスイッチ (➡ P.134)
- ⑰ ODO TRIPスイッチ (➡ P.86)
- ⑱ ステアリングスイッチ (右)
- アドバンスドドライブアシストディスプレイ (➡ P.97)
- オーディオ (※)
- ボイスアシスタント★ (※)
- ハンズフリーフォン (※)
- ⑲ ボンネットオープナー (➡ P.447)
- ※ NissanConnectインフォテインメントシステム取扱説明書をお読みください。

インストルメントパネル



- ① センターディスプレイ (NissanConnectインフォテインメントシステム) (※)
- ② 助手席SRSエアバッグ (➡ P.69)
- ③ オートエアコンシステム (➡ P.171)
- ④ リヤデフォッガースイッチ (➡ P.436)
- ⑤ CAMERAスイッチ★ (➡ P.306)
- ⑥ オーディオスイッチ (※)
- ⑦ 非常点滅表示灯スイッチ
- ⑧ グローブボックス (➡ P.352)
- ⑨ 発炎筒 (➡ P.377)
- ⑩ インストアンダーボックス (➡ P.352)
- ⑪ HDMI端子★ (※)
- ⑫ USB電源ポート★ (➡ P.369)
- ⑬ 後席ヒーターシートスイッチ★ (➡ P.367)
- ⑭ 100V AC電源 (1500W) ★ (➡ P.22)
- ⑮ ETCユニット★ (※)
- ⑯ ハンドル位置調節レバー (➡ P.161)
- ⑰ 充電インジケーター (➡ P.39)
- ⑱ パワースイッチ (➡ P.186)
- ⑲ ヘッドアップディスプレイ★ (➡ P.129)
- ⑳ メーター (➡ P.84)
- ㉑ オートブレーキホールドスイッチ (➡ P.192)
- ㉒ 電動パーキングブレーキスイッチ (➡ P.191)
- ㉓ リモコンオートバックドア運転席スイッチ★ (➡ P.147)
- ㉔ ハンドル支援スイッチ (➡ P.227)
- ㉕ VDC OFFスイッチ★ (➡ P.213)
- ㉖ 100V AC電源 (1500W) メインスイッチ★ (➡ P.24)
- ㉗ ヘッドアップディスプレイスイッチ★ (➡ P.132)
- ㉘ ステアリングヒータースイッチ★ (➡ P.365)
- ㉙ 運転席SRSエアバッグ (➡ P.69)
- ※ NissanConnectインフォテインメントシステム取扱説明書をお読みください。

MEMO



イラスト目次

電気自動車の特徴

電気自動車（EV）ってどんな車？	P.14

安全にご利用いただくために

高電圧部品について	P.15
電気自動車（EV）の取り扱いに関する注意事項	P.16
電気自動車（EV）が事故にあったときの注意事項	P.16

電気自動車と上手に付き合うために

航続距離を延ばすためのポイント	P.18
バッテリーを長持ちさせるためのポイント	P.18

便利なサポート機能

[EV] 画面について	P.20
タイマー機能	P.21
スマートフォンで利用できる機能★	P.22
V2L（普通充電ポート）と100V AC電源（1500W）★	P.22

充電に関する注意事項

充電に関する注意事項	P.30

充電に関する装備

充電装備と名称	P.33
充電ケーブル（コントロールボックス付）★	P.34
即充電スイッチ	P.36
充電ポート	P.36
充電コネクタロック	P.38

充電インジケーター	P.39
リチウムイオンバッテリー温調システム★	P.41

充電する

充電の種類	P.45
3kW普通充電のしかた	P.48
急速充電のしかた	P.50

充電上限の設定について

充電上限の設定のしかた	P.52

便利な充電方法

タイマー充電のしかた	P.53

充電で困ったときは

充電ができないときの対処方法	P.56

電気自動車の特徴

電気自動車（EV）ってどんな車？

リチウムイオンバッテリーに蓄えられた電力を使用して、走行用モーターにより走行する自動車です。エンジン音の代わりに走行可能表示灯〔READY〕の点灯・消灯で、EVシステムの始動・停止を確認します。

リチウムイオンバッテリー

電気自動車（EV）はガソリンを使用せず、リチウムイオンバッテリーに蓄えられた電力で走行します。

そのため、給油する代わりにリチウムイオンバッテリーを充電する必要があります。

- リチウムイオンバッテリーは、使用を繰り返すと徐々に容量（蓄電能力）が低下します。これはバッテリー本来の特性であり、家電製品と同様に異常ではありません。
- 気圧の急激な変化により、リチウムイオンバッテリーから音がある場合がありますが、異常ではありません。
- 急加速などで早く電力を消費すると、リチウムイオンバッテリーに負担がかかるため、緩やかに加速し、航続距離を延ばすような運転を心がけてください。

➡ 航続距離を延ばすためのポイント
(P.18)

走行用モーター

リチウムイオンバッテリーに蓄えられた電力を使用して、エンジンの代わりにタイヤへ動力を伝えます。

回生ブレーキ

ガソリン車のエンジンブレーキの代わりにモーターを使って減速することを回生ブレーキと呼びます。減速するときに発電するため、発電した電力でリチウムイオンバッテリーを充電することができ、航続距離を延ばすことができます。

- 次の場合は回生ブレーキが作動せず、通常のブレーキのみで制動力を発生させます。
 - ー EVシステムまたはブレーキシステムに異常があるとき
 - ー ABSまたはVDCが作動しているとき
 - ー リチウムイオンバッテリーが満充電のとき
- 回生ブレーキは、リチウムイオンバッテリーが低温時や、滑りやすい路面ではブレーキの効きが弱くなることがあります。また、指定サイズ以外のタイヤを使用しているときやタイヤの状態によっては、回生ブレーキが正常に作動しなくなることがあります。
- 回生ブレーキが作動しているときは、ブレーキペダルの踏みごたえが変化したり、音や振動が発生したりすることがありますが、異常ではありません。

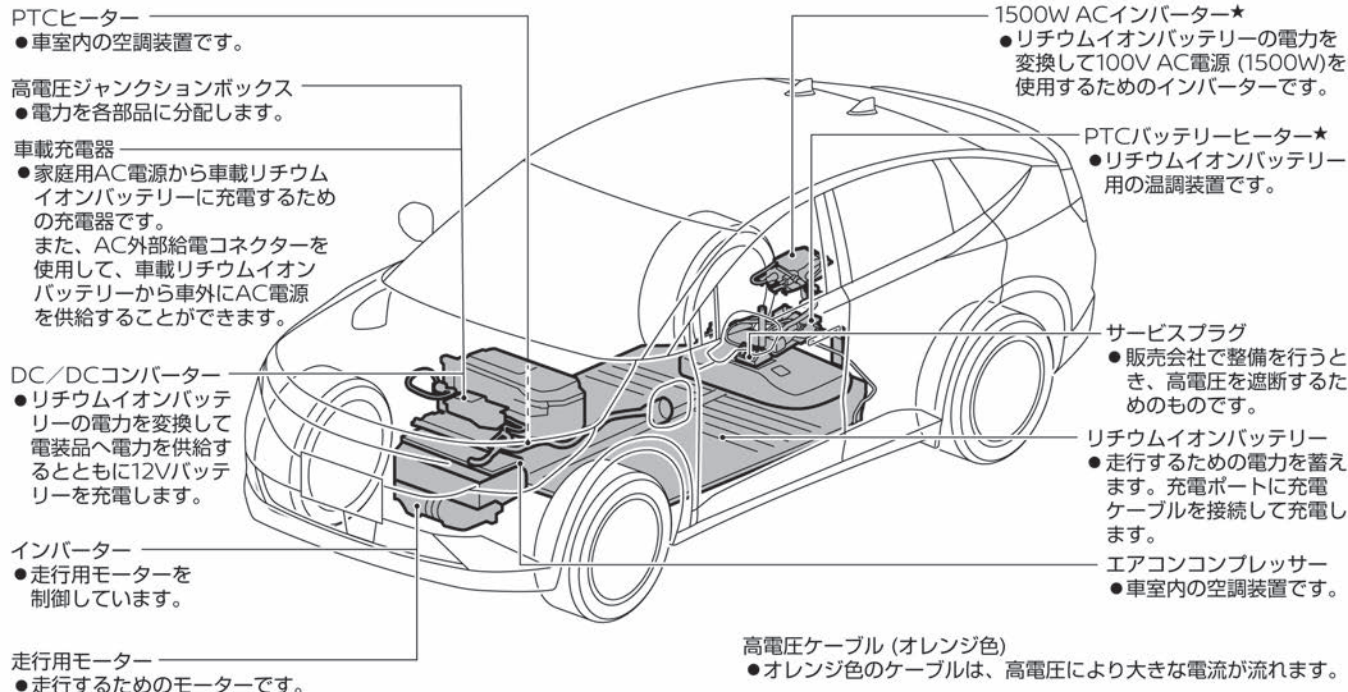
車両接近通報装置

走行時の音がとても静かで通行人が車両の接近に気づきにくいとため、警報装置が付いています。交差点などの徐行中に警報音が鳴り、通行人に車両の接近を知らせます。

➡ 車両接近通報装置 (P.214)

高電圧部品について

電気自動車（EV）には高電圧部品が使われています。高電圧部品は高い電圧を使用しているため、分解や取り外しは絶対にしないでください。また、充電や走行した直後などに高温になることがあるため、手を触れないようにしてください。主な高電圧部品は次のとおりです。



安全にご利用いただくために

電気自動車（EV）の取り扱いに関する注意事項

⚠ 警告

電気自動車（EV）を適切に取り扱うため、次のことを必ずお守りください。

● 高電圧部位には触れない。

最大で約400Vの直流高電圧が使用されているため、高電圧ケーブルやコネクタ、高電圧部品（走行用モーターやリチウムイオンバッテリーなど）には触れないでください。感電すると生命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。車両のモータールーム内に貼られているラベルの記載事項に必ず従ってください。

● 高温に注意する。

走行直後は走行用モーター、インバーターなど高電圧部品が高温になっている可能性があります。車両のモータールーム内に貼られているラベルの記載事項に必ず従ってください。

アドバイス

- リチウムイオンバッテリーの損傷を防止するため、次のことをお守りください。
 - 外気温が49℃以上の場所に24時間以上放置しない
 - 外気温が-25℃未満の場所に7日間以上放置しない

— リチウムイオンバッテリー残量が0（ゼロ）か、ほぼ0（ゼロ）の状態は14日間以上放置しない

➡ リチウムイオンバッテリー残量計（P.88）

- 車両を長期間使用しないときは、3か月に1回リチウムイオンバッテリーを満充電にしてください。放置するとリチウムイオンバッテリーを損傷するおそれがあります。
- リチウムイオンバッテリーは、不適切な方法で処分すると環境汚染につながります。廃車やリチウムイオンバッテリーの処分については、日産販売会社にご相談ください。

電気自動車（EV）が事故にあったときの注意事項

⚠ 警告

事故が発生したときは、次のことを必ずお守りください。

- 高電圧部品および高電圧ケーブルが露出しているときは絶対に触れない。高電圧部品および高電圧ケーブルの位置は、（➡P.15）を確認してください。
- リチウムイオンバッテリーから液漏れが見られる場合は、すみやかに日産販売会社に連絡する。
火災が発生するおそれがあります。
- 車室内や車外に液体が漏れているときは絶対に触れない。

万一、リチウムイオンバッテリーから漏れた液体が皮膚や衣服に付着したときは、水道水などのきれいな水で洗い流し、すみやかに医師の診察を受けてください。

- 走行中、床下に強い衝撃を受けたときは、安全な場所に停車し、損傷が無い点検する。

床下に損傷が見られる場合は、絶対に触れずすみやかに日産販売会社にご連絡ください。

- リチウムイオンバッテリーや高電圧部品から火災が発生したときは、できるだけ早く車両から離れる。

火災を消火するときは、必ず電気火災用の消火器（ABC、BCまたはCタイプ）を使用してください。消火栓などから大量の放水が可能な場合のみ、水での消火も可能です。不適切な消火作業は危険なため、絶対に行わないでください。

- 事故などで車両が損傷した場合は、車両から離れ日産販売会社に連絡する。
- 事故などで車両が損傷し、板金・塗装による修理が必要な場合は、必ず日産販売会社に連絡する。

アドバイス

- けん引が必要なときは、前輪を持ち上げてけん引する。

アドバイス

けん引時に前輪が接地していると、EVシステムが損傷するおそれがあります。

➡ けん引について (P.377)

電気自動車と上手に付き合うために

航続距離を延ばすためのポイント

航続距離は運転のしかた、道路状況、天候や気温、乗員数などに大きく左右されます。次のようなことに気をつけると、1回の充電でより長い距離を走ることができます。

お出かけ前に

■ お出かけ前にエアコンを作動させ、車室内を快適な温度にする。

- 走行を始めてからのエアコンの消費電力を抑えられます。
- お出かけ前にエアコンを作動させるには、タイマーエアコン (🔌 P.181) を使います。

■ 消費電力が少ないルートを選択する。

- 上り坂の走行は航続距離に大きく影響するため、上り坂の少ないルートを選択すると電力を抑えられます。

■ 不要な荷物は積んだままにしない。

- 荷物を減らし、車両重量を軽くすることで、消費する電力を抑えられます。

■ 適切なタイヤ空気圧にする。

- タイヤ空気圧が低下していると、より電力が消費されます。
🔌 タイヤの点検項目 (P.449)

運転するときは

■ なめらかに発進、加速する。

- 急発進、急加速をすると、より電力を消費します。
- パワーステアリング (🔌 P.86) で消費している電力を確認しながら加速することで、消費電力を抑えた加速ができます。

■ 車間距離に余裕を持ち、急ブレーキを極力避ける。

- 緩やかに減速すると、減速時に回生ブレーキによって発生する電気エネルギーをより多く回収することができます。

■ 高速道路などでスピードを出しすぎない。

- スピードの出しすぎは、電力を無駄に消費します。

■ エアコンの設定温度を控えめにし、必要がなければこまめにOFFにする。

- エアコンによる余分な電力の消費を抑えられます。

■ 寒いときは、エアコンの代わりにヒーターシートやステアリングヒーター★を使用する。

🔌 ヒーターシート (P.366)

🔌 ステアリングヒーター★ (P.365)

- ヒーターシートやステアリングヒーターは、エアコンに比べ消費電力が少ないため、使用する電力を抑えられます。

■ ECOモードで走行する。

🔌 ドライブモードセレクト (P.210)

- ECOモードを使うと、走行用モーターに供給する電力を抑えられます。

バッテリーを長持ちさせるためのポイント

リチウムイオンバッテリーは使用していくうちに、徐々に容量（蓄電能力）が低下します。

次のようなことに気をつけるとリチウムイオンバッテリーを長持ちさせることができます。

充電するときは

■ リチウムイオンバッテリーを長持ちさせるため、充電するときは次のことに気をつける。

- 必要以上の頻繁な充電を避けることで、リチウムイオンバッテリーを長持ちさせることができます。
- できるだけ急速充電を控え、普通充電またはV2H充電で充電してください。急速充電に比べて、普通充電またはV2H充電で充電した方がリチウムイオンバッテリーへの負担が少ないため、リチウムイオンバッテリーを長持ちさせることができます。

🔌 充電の種類 (P.45)

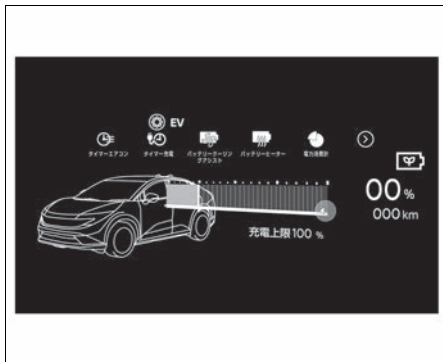
駐車するときは

- リチウムイオンバッテリーを長持ちさせるため、車両を保管するときは次のことに気をつける。
- 外気温が極端に高いまたは低い場所で車両を保管しないでください。温度変化により容量（蓄電能力）の低下が早まります。真夏は炎天下ではなく、なるべく日陰に駐車することでリチウムイオンバッテリーを長持ちさせることができます。
- リチウムイオンバッテリーの残量が極端に低いまま放置しないでください。車両を長期間使用しないときは、3か月に1回程度は満充電にしてください。自然放電により充電量が徐々に低下するため、定期的な充電が必要です。

便利なサポート機能

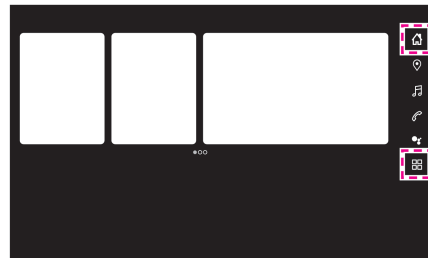
【EV】画面について

【EV】画面ではEV関連の機能やサービス、情報に簡単にアクセスすることができます。NissanConnectインフォテインメントシステムの画面（センターディスプレイ）に表示されます。



【EV】画面の表示のさせかた

1. 【📍】を押してから、【📱】を押します。

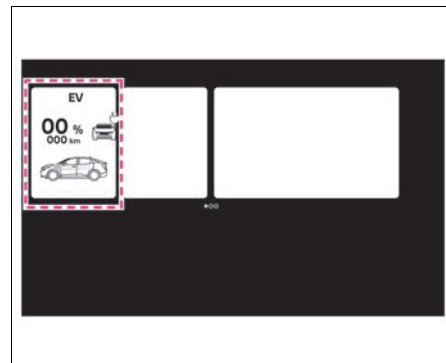


2. 【EV】を押します。



NissanConnectインフォテインメントシステムのホームメニュー画面にEVウィジェットが設定されているときは、電気自動車ウィジェットをタッチすれば直接【EV】画面が表示されます。

ホームメニュー画面の設定については、NissanConnectインフォテインメントシステム取扱説明書をお読みください。



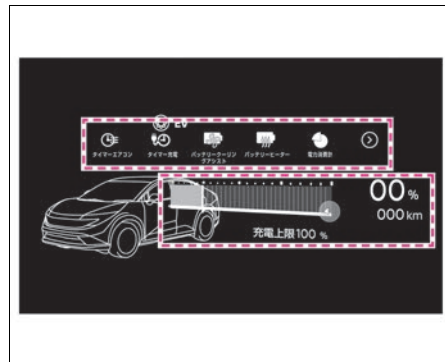
【EV】の表示項目

【EV】画面では次の情報の表示または設定を行うことができます。表示される項目は車種やオプションにより異なります。

- タイマーエアコン
- タイマー充電
- バッテリークーリングアシスト
- バッテリーヒーター
- 電力消費計
- 充電スポットを探す
- 充電プラグ挿し忘れ通知
- 充電電流調節
- 充電上限
- 充電情報
- 走行可能距離

便利なサポート機能

- ナビリンクバッテリーコンディショニングの状態表示
- リチウムイオンバッテリー残量計
- 予想充電時間



[EV] の通知設定項目

[⚙️] をタッチすると、次の電気自動車情報の通知設定を行うことができます。表示される項目は車種やオプションにより異なります。

- 充電上限
- タイマー充電
- タイマーエアコン
- バッテリー低温
- ナビリンクバッテリーコンディショニング
- バッテリー残量低下通知



タイマー機能

充電やエアコンの作動をタイマー設定することができます。

タイマー充電

充電の開始時刻および停止時刻をあらかじめ設定することができます。お客さまの契約している電気料金プランに合わせてタイマー充電を行うことで、電気料金の安い時間帯に充電することができます。

⚙️ タイマー充電のしかた (P.53)



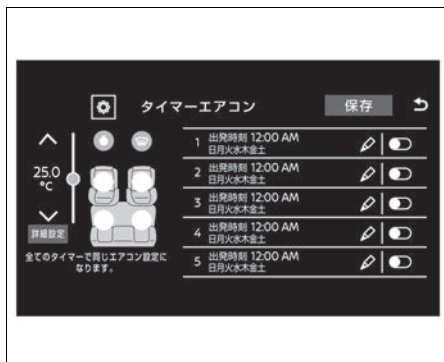
タイマーエアコン

お出かけ前に冷房または暖房を作動させることができます。

お出かけ前に車室内を快適な温度にしておくことで、走行を始めてからのエアコンの消費電力を抑えることができます。

⚙️ タイマーエアコンの設定のしかた (P.181)

便利なサポート機能



スマートフォンで利用できる機能★

スマートフォンでEV関係の情報確認や操作が可能な便利な機能があります。

詳しくは、<https://www3.nissan.co.jp/connect.html> をご覧ください。

V2L (普通充電ポート) と100V AC電源 (1500W) ★

⚠ 警告

- お客さまが接続される電気製品の取扱説明書や製品に記載の警告・注意事項を守って使用する。

火災、感電、ケガ、やけどのおそれがあります。

- 故障した電気製品や破損した電源プラグ、水没や浸水した、またはそれらのおそれのある電気製品は使用しない。

火災、感電、ケガ、やけどのおそれがあります。

- アース線のある電気製品を使用するときは、アース端子を備えたコンセントにプラグを差し込み、アース線をアース端子に接続して使用する。

使用する電気機器のプラグ形状が、車両側コンセントのプラグ形状と一致しない場合は、市販の変換アダプタを使用してアース線を接続してください。

⚠ 注意

- お子さまだけではV2Lシステムの電源コンセントに触らせない。

V2L (普通充電ポート) と100V AC電源 (1500W) は、車両のリチウムイオンバッテリーの電力を利用して、家電製品やキャンプ用品などの電化製品に電力を供給することができます。

車室内には2つのコンセントがあります。

「100V AC電源 (1500W)」 (➡ P.24) をお読みください。

車外では普通充電ポートにAC外部給電コネクタを使用します。「AC外部給電コネクタ (V2L (普通充電ポート)) の使い方」 (➡ P.26) をお読みください。

100V AC電源 (1500W) は2か所のコンセント合計で最大負荷1500 W用電源として使用することができます。

V2L (普通充電ポート) は100 V、最大負荷1500Wの電源として使用できます。

- 長い延長コードやコードリールを使用したとき、正常に電気製品が作動しないことがあります。

- 100V AC電源 (1500W) には、最大負荷1500 W (2か所のコンセント合計) 以下の電気製品をご使用ください。V2L (普通充電ポート) の場合、最大負荷1500W以下の電気機器をご使用ください。

最大負荷を超えて使用すると保護機能が作動し、使用できなくなる場合があります。

- 以下の電気製品は、最大負荷1500 Wでは正常に動作しない場合があります。1500W (100V AC電源 (1500W) 用) /1500W (V2L (普通充電ポート) 用) 以下：

- 一時的に大きな電流が発生する電気製品
- データを測定する電気製品

- 100V AC電源 (1500W) とV2L (普通充電ポート) を同時に使用しても、100V AC電源 (1500W) (合計1500 W) とV2L (普通充電ポート) (1500 W) の最大負荷は変わりません。

- 最大負荷1500 W (100V AC電源 (1500W) 用) /1500 W (V2L (普通充電ポート) 用) で連続使用すると、正常に動作しない場合があります。最大負

便利なサポート機能

荷はリチウムイオンバッテリーの状態によって異なります。

- リチウムイオンバッテリーの温度が低いと、V2L（普通充電ポート）と100V AC電源（1500W）が動作しない場合があります。

V2L（普通充電ポート）と100V AC電源（1500W）について

⚠ 警告

- 家庭内のコンセントや配電盤にV2L（普通充電ポート）や100V AC電源（1500W）を接続し、電源として使用しない。
- V2L（普通充電ポート）や100V AC電源（1500W）を使用するときに濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電のおそれがあります。
- V2L（普通充電ポート）や100V AC電源（1500W）を使用するときは、コンセントに水をかけないように注意する。
感電のおそれがあります。
- V2L（普通充電ポート）や100V AC電源（1500W）を使用するときに金属製の鋭利なもの（針、ワイヤーなど）をコンセントに差し込まない。
感電のおそれがあります。

- **V2L（普通充電ポート）や100V AC電源（1500W）に関連する部品の分解や修理、改造は行わない。**
感電のおそれがあります。
- 車の外で電気製品を使用しているときは、雷が鳴ったらすぐに使用を中止してコンセントから抜く。
感電や火災の危険があります。

⚠ 注意

- V2L（普通充電ポート）や100V AC電源（1500W）を使用するときは、車両から離れない。
- V2L（普通充電ポート）や100V AC電源（1500W）をONにするときは、接続されている電気機器の電源がOFFになっていることを確認する。
電気製品の電源が入っていると、電気製品が突然動作することがあります。
- V2L（普通充電ポート）や100V AC電源（1500W）を使用して電気自動車やプラグインハイブリッド車などへの充電はしない。
- 接続する電気製品のプラグを、確実にコンセントの根元まで挿入して使用する。
- 各コンセントに接続できる電気器具は1つだけです。
- ACアダプター付プラグを直接コンセントに取り付けない。

ACアダプターの重さにより、プラグが抜けかかり、場合によっては発熱のおそれがあります。

- 電化製品に電源スイッチがない場合は、まず電化製品を電源コンセントに接続してから、V2L（普通充電ポート）または100V AC電源（1500W）の電源を入れる。
- 急な停電による機器の損傷やデータの損失（ノートパソコンや外付けハードドライブなどから）については、保証の対象外です。
- 電源コンセントに接続された外部機器による車両の損傷は保証の対象外です。
- V2L（普通充電ポート）や100V AC電源（1500W）の電源コンセントやプラグが熱くなることがあるため、デバイスを取り外すときは注意する。
- 外部電源（ソーラーパネルや外部バッテリーなどから）をコンセントに接続しない。
- 車室内で電気製品を使用するときは、転倒防止のため、安定した場所に設置する。
ケガのおそれがあります。
- V2L（普通充電ポート）や100V AC電源（1500W）を使用して車外で電気製品を使用するときは、ドアや窓に電源コードを挟まないように注意する。

⚠ 注意

- **V2L (普通充電ポート) や100V AC電源 (1500W) を使用しないときは、コンセントのふたを閉める。**
コンセントにゴミ、ほこりがたまる
とショートするおそれがあります。
- **EVシステム警告灯が点灯しているときは、V2L (普通充電ポート) や100V AC電源 (1500W) を使用しない。**
「EVシステム警告灯」(P.392) を
お読みください。(V2L内部)
- **コンセントに電気製品のプラグを差し込んだときに、緩いと感じた場合は日産販売会社に問い合わせる。**
- **電源コンセントにほこりや汚れがたまらないようにする。**
漏電の原因となります。
- **タコ足配線をしない。**
- リチウムイオンバッテリーの残量が、お客さまが予め設定されている残量以下になると、V2L (普通充電ポート) や100V AC電源 (1500W) は使用できません。
- 100V AC電源 (1500W) は、<パワースイッチ>がON ([READY] が点灯) またはON ([READY] が点灯していない状態) のときに使用することができます。
ON ([READY] が点灯していない状態) から100V AC電源 (1500W) を起動

したときは、その状態から<パワースイッチ>をOFFにしても継続して100V AC電源 (1500W) を使用することができます。

- V2L (普通充電ポート) は、<パワースイッチ>がOFFまたはON ([READY] が点灯していない状態) のときに使用することができます。
- 定格消費電力が大きな電気製品 (ホットプレートなど) の中には、コンセントを単独で使うことを必須としているものがあります。
その場合、他の電気製品と併用しないでください。複数の電気製品を使用した場合、電気製品の組み合わせにより正常に作動しないことがあります。
- 車室内に置きっぱなしの電化製品は使用しないでください。走行中の振動や炎天下での車室内温度上昇などにより損傷している可能性があります。
- 水平設置が必要な電気製品は正常に動作しない可能性があるため、車室内で使用しないでください。
- 粉塵の多い場所、直射日光の当たる場所、防水仕様の電気製品を除き、雨や水のかかる場所では使用しないでください。

100V AC電源 (1500W) の使いかた

⚠ 警告

- **駐停車中に100V AC電源 (1500W) を使用するときは、シフトポジションを確実にPにしてパーキングブレーキをかける。**

万一シフトポジションがP以外だと、急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- **100V AC電源 (1500W) を使用するとき、電気製品は確実に固定する。また、調理機器などは、内容物を入れたまま走行しない。**

振動・急停止などにより電気製品が転倒・落下したり、内容物が飛び出したりするおそれがあります。

- **車室内で蒸気が出る電気製品を使用しない。**

窓ガラスがくもり、運転する際に視界を妨げるおそれがあります。

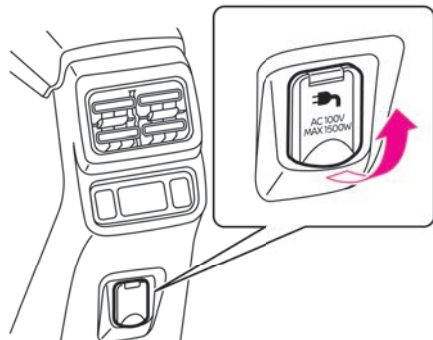
100V AC電源 (1500W) コンセントは、センターコンソールの後方とラゲッジルームにあります。

1. <パワースイッチ>をONにする、または [READY] が点灯していることを確認します。

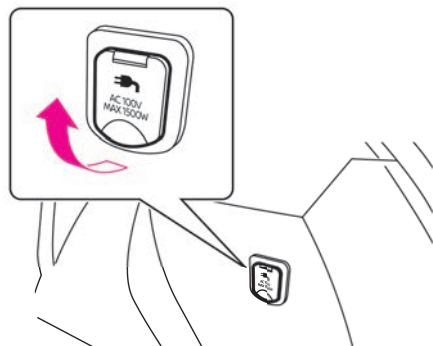
便利なサポート機能

2. コンセントのふたを開け、電気製品のプラグをコンセントに差し込みます。

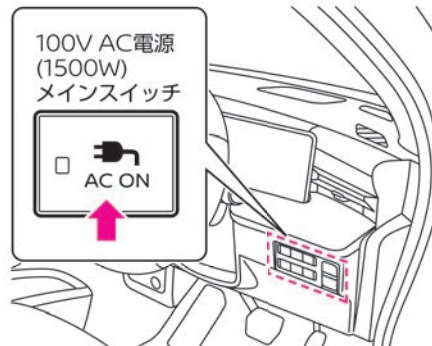
センターコンソール後方



ラゲッジルーム



3. <100V AC電源 (1500W) メインスイッチ>をONにします。
(スイッチの表示灯が点灯)
100V AC電源 (1500W) が作動すると、充電インジケータ
(P.39) が点滅します。



4. 電気製品の電源スイッチをONにします。
5. OFFにするときは、再度<100V AC電源 (1500W) メインスイッチ>を押します。
ご使用後はコンセントのふたを閉めてください。
- <100V AC電源 (1500W) メインスイッチ>をONにすると、100VのAC電源がコンセントに供給されます。電源のON・OFFスイッチがない電気製品の操作には注意してください。
 - 100V AC電源 (1500W) の使用中に<パワースイッチ>がOFFになっても、

100V AC電源 (1500W) は作動を続けます。
ただし、運転後に<パワースイッチ>をOFFにすると100V AC電源 (1500W) もOFFになり、運転者が100V AC電源 (1500W) をOFFにすることを忘れないようにします。

100V AC電源 (1500W) はEVシステムを再始動したときは自動的にONになりません。

100V AC電源 (1500W) を再度使用したいときは、<パワースイッチ>をONにしてから<100V AC電源 (1500W) メインスイッチ>を押します。

- 電源周波数は50Hzに設定されています。周波数を切り替えたい場合は、日産販売会社にお問い合わせください。車両の電源周波数と異なる電化製品を使用すると、誤作動や故障の原因となるおそれがあります。
- 車両の状態によっては、一時的に給電が停止することがあります。
- 災害などに起因する停電時に、他に安定した電源が確保できない場合には、電動車活用社会推進協議会が発行している「災害時における電動車から医療機器への給電活用マニュアル」を参照してください。
- 100V AC電源 (1500W) を使用しているときは、接続している電化製品によっては、ラジオが聴けない場合があります。

便利なサポート機能

- 車両を充電中に100V AC電源 (1500W) を使用すると、充電時間が長くなる場合があります。
- 100V AC電源 (1500W) は車室内の温度が高いときは、使用できない場合があります。車室内の温度が下がるまで風通しの良い日陰などに駐車し、窓やドアなどを開けて換気してください。
- 走行中に100V AC電源 (1500W) を使用すると、リチウムイオンバッテリーの消費電力が増加するため、実際の走行距離はメーター表示よりも短くなる場合があります。
- 100V AC電源 (1500W) を使用しているときに、冷却ファンの音が聞こえることがあります。異常ではありません。
- 100V AC電源 (1500W) のON・OFF時に異音がある場合があります。異常ではありません。
- 100V AC電源 (1500W) を使用しない場合は、<100V AC電源 (1500W) メインスイッチ>をOFFにすることを推奨します。(100V AC電源 (1500W) システムの待機電力分の節約のため)

AC外部給電コネクタ (V2L (普通充電ポート) の使いかた

警告

- AC外部給電コネクタは分解、修理、改造、塗装などをしない。

AC外部給電コネクタが破損した場合は、日産販売会社にお問い合わせください。

- AC外部給電コネクタに強い衝撃や落下を与えない。
- AC外部給電コネクタを水で洗ったり、水やその他の液体に浸したりしない。

内部に水が入ると、使用中に火災や感電が発生し、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。

- AC外部給電コネクタにステッカーなどを貼らない。
- AC外部給電コネクタは子供の手の届かないところに置く。
- AC外部給電コネクタにほこりや汚れが付着しないようにする。

汚れた場合は固くしぼった布で汚れをふき取り、乾いた布でふき取ってください。

- AC外部給電コネクタは他の車両に接続しない。また、日産純正以外のAC外部給電コネクタを車両に接続しない。
- AC外部給電コネクタにガソリン、酸、アルカリなどの溶剤を使用しない。
- 鋭い金属物 (針、ワイヤーなど) をAC外部給電コネクタに挿入しない。
- 晴天時でもコンセントカバーをしっかり閉めて使用する。

- V2L (普通充電ポート) 機能を使用しているときは、AC外部給電コネクタを布でふかない。

- AC外部給電コネクタの排水用の穴がふさがっていないか確認する。

この穴がふさがっているときは、AC外部給電コネクタを使用せず日産販売会社にご連絡ください。

注意

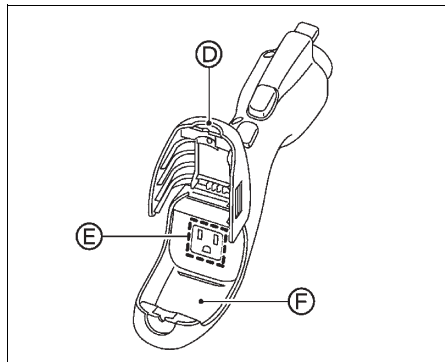
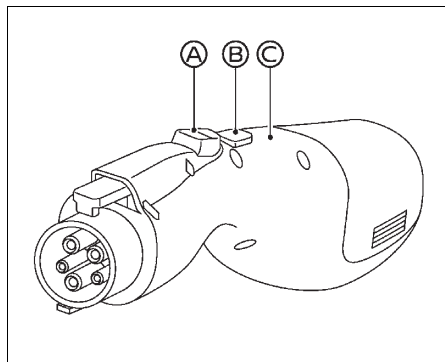
AC外部給電コネクタを使用しないときは、直射日光や湿気を避けて保管する。

V2L (普通充電ポート) を使用するには、AC外部給電コネクタを普通充電ポート (運転席側) に接続します。

急速充電ポート (助手席側) は、V2L (普通充電ポート) には使用できません。

急速充電コネクタが急速充電ポートに接続されているときは、V2L (普通充電ポート) は使用できません。

便利なサポート機能



- Ⓐ ラッチボタン
- Ⓑ V2Lボタン
- Ⓒ LEDインジケーター
- Ⓓ コンセントカバー
- Ⓔ 電源コンセント
- Ⓕ 排水用穴

1. <パワースイッチ>がOFFになっている、またはON（[READY] が点灯していない状態）であることを確認します。
2. AC外部給電コネクタのコンセントカバー⑨を開き、電気製品のプラグをコンセント⑩に差し込み、コンセントのカバー⑨を閉じます。
3. AC外部給電コネクタを普通充電ポートに接続します。
4. V2Lボタン⑦を2回押します。
AC外部給電コネクタのLEDインジケーター⑧が点灯し、車両接近通報装置が2回鳴り、電力が供給されます。
電力が供給されているときは、車室内の充電インジケーターも点滅します。
5. 電気製品の電源スイッチをONにします。
6. V2L（普通充電ポート）をOFFにするには、V2Lボタン⑦を約1秒以上押すか、AC外部給電コネクタのラッチボタン④を押し、普通充電ポートからAC外部給電コネクタを引き抜きます。
V2L（普通充電ポート）をOFFにすると、車両接近通報装置が2回鳴ります。
充電コネクタがロックされているときは、充電コネクタロックを解除してください。

電気製品のプラグを抜き、AC外部給電コネクタのコンセントカバー⑨を閉じます。

- AC外部給電コネクタのLEDインジケーター⑧が点灯すると、100 VのAC電源がコンセントに供給されます。電源のON・OFFスイッチがない電気製品の操作には注意してください。
- V2L（普通充電ポート）の使用中に<パワースイッチ>がOFFになっても、V2L（普通充電ポート）は作動し続けます。
- V2L（普通充電ポート）の電源周波数は、50Hzに設定されています。車両の電源周波数と異なる電化製品を使用すると、誤作動や故障の原因となるおそれがあります。

V2L（普通充電ポート）と100V AC電源（1500w）のリチウムイオンバッテリー使用可能限度について

V2L（普通充電ポート）と100V AC電源（1500W）で使用可能なリチウムイオンバッテリーの給電停止バッテリー量を設定できます。

リチウムイオンバッテリーの残量がお客さまが予め設定されている給電停止バッテリー量に近づくと、ポップアップがメーター内に表示されます。

予め設定されている給電停止バッテリー量に達すると、V2L（普通充電ポート）や100V AC電源（1500W）の給電は停止し、ポップアップが表示されます。

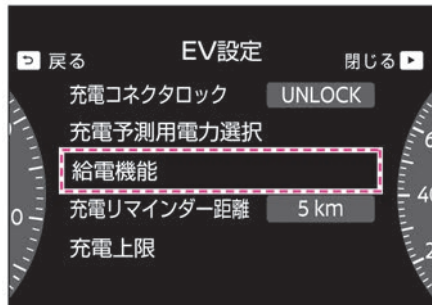
便利なサポート機能

V2L（普通充電ポート）や100V AC電源（1500W）のリチウムイオンバッテリー給電停止バッテリー量の設定方法については、[（➡P.28）](#)をお読みください。

リチウムイオンバッテリー給電停止 バッテリー量の設定方法

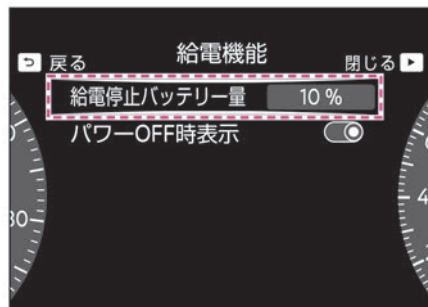
次の手順でV2L（普通充電ポート）や100V AC電源（1500W）の給電停止バッテリー量を設定します。

1. ステアリングスイッチ（[➡P.98](#)）の<◀ ▶>スイッチを数回押し、設定[>を選択し、スクロールダイヤルを押して決定します。
2. スクロールダイヤルで「EV設定」⇒「給電機能」を選択し、スクロールダイヤルを押して決定します。



3. 「給電停止バッテリー量」を選択し、スクロールダイヤルを押して決定します。スクロールダイヤルで10～

95%から選択し、スクロールダイヤルを押して決定します。



設定した給電停止バッテリー量に近づいたときや設定した給電停止バッテリー量に達したときは、警告メッセージが表示されます。警告メッセージの表示画面については、[（➡P.405）](#)をお読みください。

V2L（普通充電ポート）や100V AC電源（1500W）が使用できな いときの対処方法

症状

V2L（普通充電ポート）や100V AC電源（1500W）をONにできない。

考えられる原因

- 現在のリチウムイオンバッテリー残量が、設定した給電停止バッテリー量以下に残量が少なくなっている。
- 走行可能表示灯「READY」が点灯している（V2L（普通充電ポート））。

- <パワースイッチ>がOFFになっている（100V AC電源（1500W））。
- 車室内の温度が高い（100V AC電源（1500W））。

対処方法

給電停止バッテリー量を再設定する。ただし、リチウムイオンバッテリー残量が10%以下のときはV2L（普通充電ポート）や100V AC電源（1500W）は使用できません。

- <パワースイッチ>をOFF、またはON（「READY」が点灯していない状態）にする。（V2L（普通充電ポート））
- <パワースイッチ>をONにする。（100V AC電源（1500W））
- 車室内の温度を下げる（直射日光の当たらない場所に駐車したり、換気をしたりする）。

症状

接続されている電気製品が使用できない。

考えられる原因

- 接続する電気製品に合った周波数（50Hz/60Hz）になっていない。
- 接続電気製品の最大負荷が合計で1500W（100V AC電源（1500W）用）/ 1500W（V2L（普通充電ポート）用）を超えています。
- 接続された電気製品が一時的に大きな電流で動作している。
- 接続されている電気製品のプラグ形状が変形または曲がっている。
- 接続されている電気製品が破損している。

対処方法

- 電気製品の周波数を変更してください
(100V AC電源 (1500W) とV2L (普通充電ポート))。またはお近くの日産販売会社で電源周波数を変更してください
(100V AC電源 (1500W))。
 - 最大負荷内で電気製品を使用する。
 - 一時的に大きな電流で動作しない電気製品を使用する。
 - プラグが変形したり曲がったりしていない電気製品を使用する。
 - 損傷していない電気製品を使用する。
- V2L (普通充電ポート) については下記もご覧ください。
- 急速充電コネクタが急速充電ポートに接続されているときは、V2L (普通充電ポート) は使用できません。
 - 定格出力を超えたために電源が停止した場合は、接続されている電気製品を定格出力内に設定し、AC外部給電コネクタを取り外してから再接続し、AC外部給電コネクタを再起動します。100V AC電源 (1500W) の使いかた (➡ P.24) をお読みください。
 - 「漏電を検出したため給電を停止しました」の警告が表示された場合は、V2L (普通充電ポート) の作動を停止し、日産販売会社にお問い合わせください。
 - 充電インジケータ (➡ P.39) が緑色に点滅しても、AC外部給電コネクタのLEDインジケータが点灯していない場合は、AC外部給電コネクタに不具合がある可能性があります。充電インジケ-

ターの見かた (➡ P.39) をお読みください。
V2L (普通充電ポート) の作動を停止し、日産販売会社にお問い合わせください。

充電に関する注意事項

充電に関する注意事項

⚠ 警告

充電するときは、火災や感電事故などを防ぐため、次のことを必ずお守りください。

- 植込み型心臓ペースメーカーまたは植込み型除細動器（ICD）などの医療電気機器を使用している方は、機器におよぼす影響について医療電気機器製造業者に確認してから充電作業を行う。（➡P.63）
- 異臭、煙、異音など充電中の異常、故障に気づいたときは使用を中止する。
火災、感電、ケガ、やけどのおそれがあります。
- 雷が鳴ったら、車両、6kW普通充電器（壁掛型）、急速充電器、充電ケーブル（コントロールボックス付）★に触れない。
落雷により感電するおそれがあります。
- めれた手でプラグを触ったり、抜き差ししたりしない。
感電のおそれがあります。
- 延長ケーブルや変換アダプターなどは絶対に使用しない。
火災ややけどのおそれがあります。
- 雨や雪の日での充電は次のことを必ず守る。

火災、感電、ケガ、やけどのおそれがあります。

- 大雨などでコンセント周辺が浸水するおそれがあるときは、充電専用のブレーカーを落としてください
- 万が一、充電ポートキャップ裏や内部が濡れた場合はふき取ってから充電を行ってください
- 6kW普通充電器（壁掛型）、または充電ケーブル（コントロールボックス付）★の分解、修理、改造は絶対に行わない。
火災や感電などの重大な傷害につながるおそれがあります。
- コードやケーブルを引っばる、ねじる、折り曲げる、踏みつける、引きするなどの行為をしない。
コードやケーブルの断線によって異常発熱し、発火するおそれがあります。
- コードやケーブルを充電コネクタやコントロールボックスなどに巻きつける行為をしない。
コードやケーブルの断線によって異常発熱し、発火するおそれがあります。
- プラグの本体部分を持ってコンセントに対してまっすぐに根元まで確実に差し。
確実に差さないと異常発熱し、発火するおそれがあります。

- コードを引っ張ってプラグを抜かない。

コードやケーブルの断線によって異常発熱し、発火するおそれがあります。

- 深い傷、割れ、破損、プラグが錆びているときなどの異常、故障時には使用しない。

火災や感電のおそれがあります。

- プラグやコードを動かすと通電しなかったり、充電中に時々停止したりするときはただちに使用を中止する。

コードやケーブルの断線によって異常発熱し、発火するおそれがあります。

- 異臭、煙、異音など充電中の異常、故障に気づいたときはただちに使用を中止する。

コードやケーブルの断線によって異常発熱し、発火するおそれがあります。

- 電気工事の資格を持つ専門の業者が施工したEV専用コンセントを使用する。

正しく使用しないと感電のおそれがあります。

- 内線規程に準拠したアースがつながっているEV専用コンセントを使用する。

正しく使用しないと感電のおそれがあります。

充電に関する注意事項

⚠ 警告

- コンセントの差し込みがゆるいとき、プラグがコンセントにロックされないとき、またはコンセント側に破損や変色などがある場合は使用しない。
異常発熱し、発火するおそれがありますので、電気工事の資格を持つ専門の業者へ、コンセントの確認を依頼してください。
- 充電ケーブル（コントロールボックス付）★の定格電圧/電流（充電ケーブルのラベルに記載）に対して建屋側のコンセントや配線の容量が十分であるか確認する。
建屋側の容量を超えて使用すると、配線が異常発熱し、発火するおそれがあります。
- 建屋配線の容量が不明な場合、電気工事士に確認する。
- 充電ケーブル（コントロールボックス付）★は日本国内でのみ使用する。

⚠ 注意

- 子供だけで使わせない。
重大な事故につながるおそれがあります。
- 充電中は、ボンネットを開けない。
モータールーム内の冷却用ファンが突然回転し始め、手足や衣類・アクセサリー類などが接触したり、巻き込まれたりするおそれがあります。

- 充電するときは、充電コネクタが根元まで差されていることを必ず確認する。
充電コネクタが根元まで差されていないと、車両が充電コネクタを認識できずEVシステムを始動できずしまうため、車両が発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 充電ケーブル（コントロールボックス付）★を落下させない、強い衝撃を与えない、または水没させない。
火災や感電などの重大な傷害につながるおそれがあります。
- プラグや充電コネクタへ異物を挿入したり、定格以外のコンセントに接続したりしない。
火災や感電などの重大な傷害につながるおそれがあります。
- 充電ケーブル（コントロールボックス付）★を保管するときは次のことに気をつける。
 - 直射日光を避けて保管してください
 - 雨風にさらされないように保管してください
 - 充電コネクタの端子部にゴミ、ホコリが入らないよう保護キャップをして保管してください
 - コードやケーブルをコントロールボックスに巻き付けて保管しないでください
 - コードやケーブルがねじれたまま保管しないでください

- 急速充電と普通充電のコネクタを同時に接続すると、充電できません。
- 急速充電とAC外部給電のコネクタを同時に接続すると、充電できません。
- 充電コネクタ接続中はEVシステムを始動できません。
- 充電中は、電磁波によりラジオが聞こえにくくなることがあります。
- 充電にかかる時間は、次の状態によって異なります。
 - 充電を開始したときのリチウムイオンバッテリーの残量
 - リチウムイオンバッテリーの温度
 - 使用する充電機器の種類または接続する電源
 - リチウムイオンバッテリーの使用年数
 - エアコンなど電力を消費するものの使用状況
 - リチウムイオンバッテリー温調システム★の作動状態
- 充電時に冷却水ポンプおよび冷却ファンが作動することがありますが、異常ではありません。

アドバイス

- リチウムイオンバッテリーを充電しながら、12Vバッテリーにブースターケーブルを接続しないでください。車両または充電機器が破損するおそれがあります。
- 車両にボディーカバーを掛けたまま充電しないでください。
- 発電機を使用した充電は絶対にしないでください。

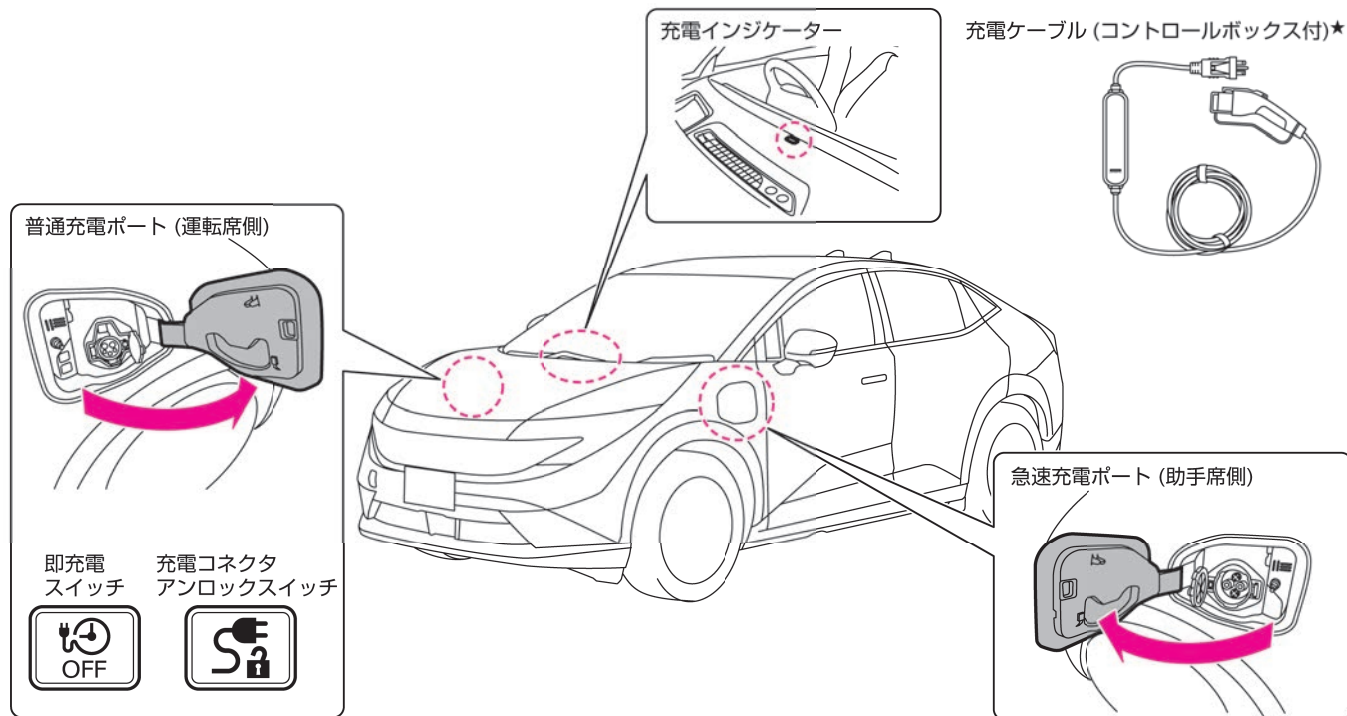
充電に関する注意事項

アドバイス

- 充電ポートが凍結したときは、ドライヤーなどで解凍してから充電コネクタの接続または取り外しを行ってください。
- 充電終了後は、充電ポートのキャップを必ず閉めてください。キャップを閉めずに充電ポートリッドを閉めると、充電ポートに水やゴミが入り故障の原因となります。

充電装備と名称

この車両はガソリンスタンドで給油する代わりに、自宅などで各種充電器や充電ケーブルと充電ポートを使って充電します。充電インジケータで、充電状態を確認する事ができます。それぞれの機能の説明は、次ページ以降をお読みください。



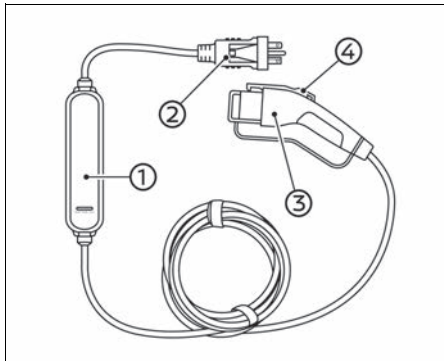
※充電ケーブル（コントロールボックス付）★の形状は車種により異なります。

充電に関する装備

充電ケーブル（コントロールボックス付）★

ラゲッジフロア下に収納できます。

充電ケーブル（コントロールボックス付）の各部の名称

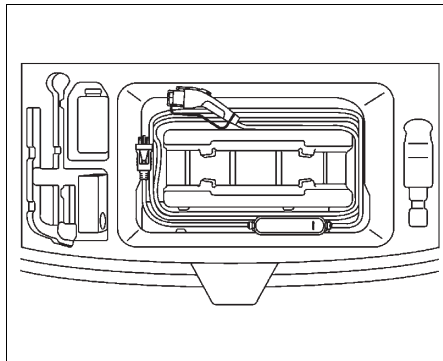


- ① **コントロールボックス**
表示灯で充電の状態などを知らせます。
- ② **プラグ**
AC200Vの電源に接続します。
- ③ **充電コネクタ**
車両の普通充電ポートに接続します。
- ④ **リリーススイッチ**
車両から充電コネクタを抜くときに押します。

充電ケーブルの収納のしかた

⚠ 注意

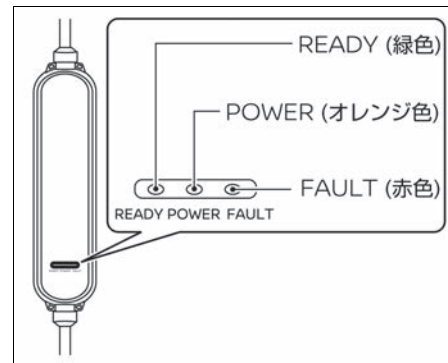
- 充電ケーブル（コントロールボックス付）を車載するときは必ずラゲッジフロア下に収納する。
充電コネクタやコントロールボックスなどが飛び出し、思わぬケガをするおそれがあります。
- 充電ケーブル（コントロールボックス付）は、ラゲッジフロア下に収納します。長持ちさせるため、時計まわりで収納してください。
- 充電ケーブルを車両に収納せず、自宅などで保管するときは、収納袋に入れて保管してください。



コントロールボックスの表示灯について

充電ケーブルのコントロールボックスには、充電の状態などを知らせる表示灯があります。

- 正常なときは、プラグを電源に接続すると、緑色のランプ（READY）が点灯します。（接続直後は一度すべてのランプが点灯し、すぐに消灯します。）
- 充電中は、緑色のランプ（READY）と同時にオレンジ色のランプ（POWER）が点灯します。



- 次のようなときは、すみやかに充電ケーブルの使用を中止し、日産販売会社にご連絡ください。
 - － プラグを電源に接続しても、コントロールボックスの表示灯が3つとも点灯しない
 - － いずれかの表示灯が点滅している
 - － 赤色のランプ（FAULT）が点灯している

充電に関する装備

表示灯の点灯パターン			説明・対処方法
READY (緑色)	POWER (オレンジ色)	FAULT (赤色)	
●	○	●	充電ケーブルのプラグをコンセントに接続したときに、毎回0.5秒間すべての表示灯が点灯します。
●	● (点灯)	● (点灯)	充電ケーブルが車両に未接続で、コンセントに接続されている状態です。 または、車両に接続されており、普通充電が完了・タイマー充電がセットされている状態です。
★ (点滅)	● (点灯)	● (点灯)	充電ケーブルまたはコンセントが故障し、アースが取れていないことを示します。 お使いのコンセントの施工業者に連絡し、点検を受けてください。
●	★ (点滅)	● (点灯)	
●	○	● (点灯)	車両に電力が供給されていることを示します。(充電中など)
●	● (点灯)	★ (点滅)	漏電、または信号線に異常が発生していることを表しています。 ただちに使用を中止し、日産販売会社へご連絡ください。
●	★ または ● (点滅) (点灯)	●	充電ケーブルが故障しています。 すみやかに使用を中止し、日産販売会社にご連絡ください。
★ (点滅)	★ または ● (点滅) (点灯)	●	プラグの温度検知ができなくなっていることを示します。安全のため充電電流を制限しています。 すみやかに使用を中止し、日産販売会社にご連絡ください。
★ (点滅)	★ または ● (点滅) (点灯)	★ (点滅)	プラグの温度が高くなっていることを示します。安全のため充電電流を制限しています。 一度プラグを抜き、しばらく経ってから再度接続してください。それでも表示が続く場合は、すみやかに使用を中止し、お使いのコンセントの施工業者に連絡して点検を受けてください。 それでも解決しない場合は、日産販売会社にご連絡ください。
● (点灯)	● (点灯)	● (点灯)	コンセントのブレーカーがOFFになっているか、充電ケーブルが故障しています。 ブレーカーがONになっているにもかかわらず、プラグをコンセントに接続しても表示灯が点灯しないときは、すみやかに使用を中止し、日産販売会社にご連絡ください。
●	★ (点滅)	★ (点滅)	コンセント電圧の異常を検知しています。安全のため充電電流を制限しています。 お使いの充電ケーブルの定格電圧 (100V/200V仕様) にあったコンセントに接続してください。

充電に関する装備

即充電スイッチ

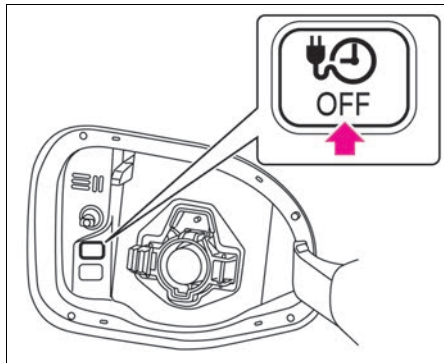
タイマー充電を設定しているとき、キャンセルしてすぐに充電を開始したいときに使います。

タイマー充電については、(🔌P.53)をお読みください。

即充電スイッチの使いかた

タイマー充電の設定を一時的にキャンセルし、すぐに充電を開始したいときは、<即充電スイッチ>を押します。

🔌即充電のしかた (P.48)



📖 知識

- 充電インジケータ (🔌P.39) が緑色点滅になったときは、タイマー充電を設定した開始時刻まで待つ状態になります。この状態で<即充電スイッチ>を押すと即充電が開始されます。

- 開始した即充電をキャンセルしたい場合は、一度充電コネクタを抜いてから再度接続してください。
- <即充電スイッチ>を押しても充電が開始されない場合は、<即充電スイッチ>を押す時にインテリジェントキーで解錠後またはインテリジェントキーを携帯したまま押します。

充電ポート

充電を行うとき充電ケーブルを接続する場所です。

充電ポートにはいたずら防止のため普通充電をしている間、充電コネクタをロックして車両から抜けなくするロック機構があります。

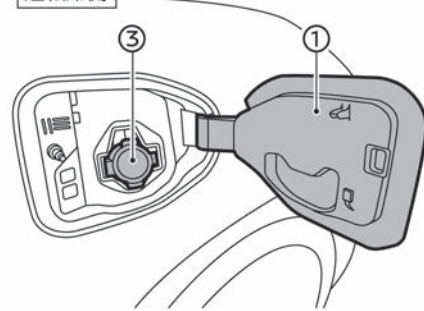
🔌充電コネクタロック (P.38)

🚗 アドバイス

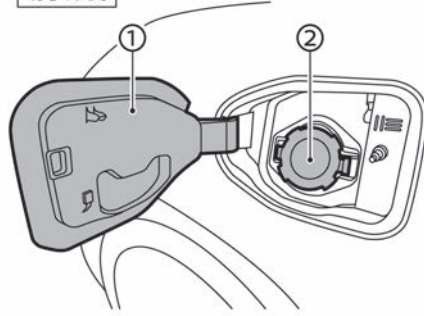
- 充電ポート周辺の雪や泥、水分などを除去するときは、充電ポートキャップを閉めた状態で行ってください。
- 充電ポートリッド周辺が凍結して開閉できないときは、無理に動かそうとはせず、必ず解凍してから開閉してください。
- 充電ポートには排水用の穴があります。この穴が詰まるなどして充電ポート内に水がたまったときは、充電を行わずに日産販売会社にご連絡ください。

充電ポートの各部の名称

運転席側



助手席側



- ① 充電ポートリッド
- ② 急速充電ポート
急速充電、V2H充電/V2H給電、V2L（急速充電ポート）給電のときに使用します。
- ③ 普通充電ポート

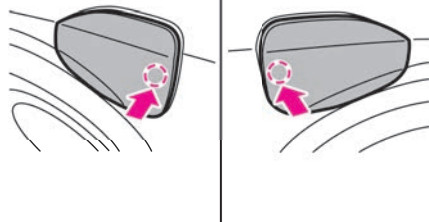
充電に関する装備

充電ポートリッドの開けかた、閉めかた

1. ドアを解錠するか、インテリジェントキーを携帯して車両に近づいてください。
充電ポートリッドロックはドアの施錠・解錠またはインテリジェントキーの接近・離脱に連動しています。
2. リッドを開けます。リッドの車両後方側中央部あたり（イラストの点線部分）を押すとリッドが開きます。

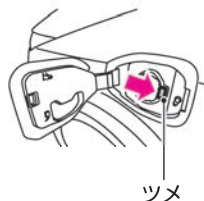
助手席側

運転席側



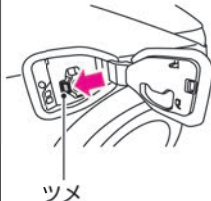
3. 充電ポートキャップに付いているツメを押して、充電ポートキャップを開きます。

助手席側



ツメ

運転席側



ツメ

4. 閉めるときは、充電ポートキャップを確実に閉めてから、充電ポートリッドを押して閉めます。
 - 充電ポートリッドが開いたままドアを施錠しても、充電ポートリッドはロックされません。
 - ドア施錠後に充電ポートリッドを閉めると、ロックされない状態で閉まります。一度ドアを解錠してから充電ポートリッドを閉めてください。充電ポートリッドを施錠するには、充電ポートリッドを閉めてからドアを施錠するか、インテリジェントキーを携帯して車両から離れてください。
 - ドア解錠後に充電ポートリッドが施錠されているときは、ドアを一度施錠してから再度ドアを解錠してください。

🚗 アドバイス

- 走行する前に、充電ポートリッドが完全に閉まっていることを確認してください。充電ポートリッドが閉まっていないと、走行中にリッドが突然開いて車両を破損するおそれがあります。
- 充電ポートリッドを閉めるときは、充電ポートキャップが確実に閉まっていることを確認してください。

充電ポート照明

- 充電ポートには照明がついています。次のようなときに点灯・消灯します。

充電を開始するとき

- ドアが施錠されている状態で、インテリジェントキーを携帯して車両に近づく、またはドアを解錠するかドアを開くと、しばらくの間点灯します。
- 充電ケーブルを接続後、ドアが施錠されている状態でインテリジェントキーを携帯して車両から離れると消灯します。
- 充電ケーブルを接続すると、一定時間経過後に消灯します。
- ドアが施錠されている状態で、インテリジェントキーを携帯して車両から離れると消灯します。

充電を終了するとき

- ドアが施錠されている状態で、インテリジェントキーを携帯して車両に近づく、またはドアを解錠するかドアを開くと、しばらくの間点灯します。
- 充電ケーブルを取り外すと、一定時間が経過後に消灯します。

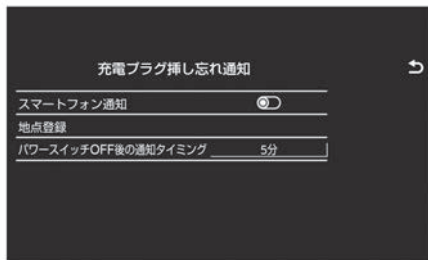
充電に関する装備

- ドアが施錠されている状態で、インテリジェントキーを携帯して車両から離れたとき、消灯します。

充電プラグ挿し忘れ通知★について

自宅など充電する場所を登録しておく、登録した場所で充電ケーブルを接続し忘れたときや、充電ケーブルが根元まで確実に差し込まれていないときに通知する機能です。

1. NissanConnectインフォテインメントシステムで次の操作をして、充電プラグ挿し忘れ通知の設定画面を表示させます。
[地図] ⇒ [設定] ⇒ [EV] ⇒ [充電プラグ挿し忘れ通知]
2. 変更したい項目や設定したい項目を選択します。



充電コネクタロック

いたずら防止のため普通充電をしている間、普通充電コネクタをロックして車両から抜けなくする機能です。

充電コネクタロックについて

- 充電コネクタロックは、シフトポジションがPのときに作動します。
- 充電コネクタロックは、普通充電コネクタが正しく接続されていないと作動しません。
- 充電コネクタロックモードは、急速充電コネクタには適用されません。
- 充電コネクタロックモードがAUTOのときは、停電などで電源が遮断されると、ロックが解除されます。電源が復旧した場合は、復旧と同時に再度ロックが作動します。
- 充電コネクタロックを解除するには、＜充電コネクタアンロックスイッチ＞を押します。（インテリジェントキーで解錠後またはインテリジェントキーを携帯して近づいてから押します。）
- 充電コネクタロックは盗難防止を保障するものではありません。

充電コネクタロックモードの使い分け

充電コネクタロックモードは、状況に応じて次のように使い分けます。

■ AUTO

- 公共の充電ステーションなど、次に順番待ちをしている車両がいるときなどに使用します。
- 充電が終わると自動的にロックが解除されるため、ご自身が車両から離れていても、次に順番待ちをしている車両の使用者が充電ケーブルを取り外すことができます。
- 充電ケーブルを接続するとロックします。

■ LOCK

- 道路に面した自宅の駐車場、外出先で車載の充電ケーブルを使用して充電する場合など、いたずら防止のため、充電中以外の時間帯でも常時ロックしたいときに使用します。
- 普通充電コネクタ接続中は、常にロックします。

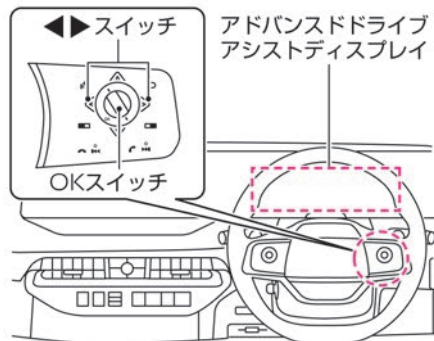
■ UNLOCK

- 自宅のシャッター付ガレージ、公共の充電ステーションで普通充電コネクタのロックが禁止されているエリアなど、ロック機能を使わないときに使用します。

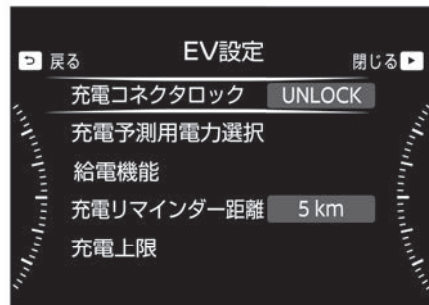
充電コネクタロックモードの設定のしかた

1. ステアリングスイッチの＜ 設定 ＞スイッチを数回押し、アドバンスドライブアシストディスプレイに設定 [設定] 画面を表示して＜OK＞スイッチを押します。

充電に関する装備



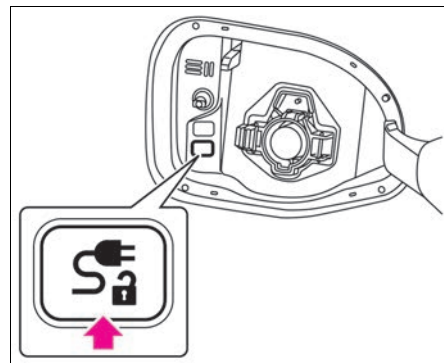
2. ステアリングスイッチの<OK>スイッチを回して、[EV設定]を選択し、<OK>スイッチを押して決定します。
3. ステアリングスイッチの<OK>スイッチを回して、[充電コネクタロック]を選択し、<OK>スイッチを押して決定します。



4. ステアリングスイッチの<OK>スイッチを回して設定したいモードを選択し、<OK>スイッチを押して決定します。

充電コネクタロックの解除のしかた

- 充電コネクタロックを解除するには、<充電コネクタアンロックスイッチ>を押します。（インテリジェントキーで解錠後またはインテリジェントキーを携帯したまま押します。）



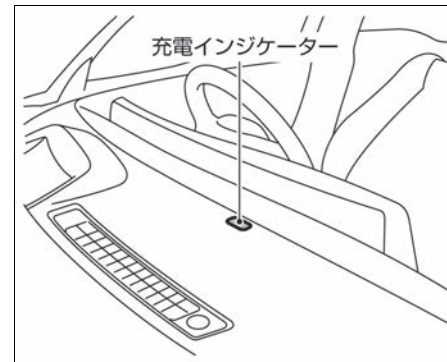
- ロックが解除されている約30秒間に普通充電コネクタを車両から取り外さなかった場合は、再度ロックされます。
- 充電コネクタロックが解除できなくなったときは、(P.386)をお読みください。

充電インジケータ

充電インジケータで、現在の充電状態などを確認できます。

充電インジケータの見かた

- 充電中は、インストルメントパネル部の充電インジケータが青色に点滅します。リチウムイオンバッテリーの充電が進むにつれて、インジケータの点滅速度が遅くなります。



- 充電中以外の作動については、次の表をお読みください。

充電に関する装備

状態	充電インジケータの点灯パターン	説明
充電が完了した	 青色点灯	充電が完了すると、インジケータが約5分間点灯します。 V2Hで充電しているときは、充電インジケータが青色点灯していても、V2H側で設定した充電が継続されている場合があります。
タイマー充電を受け付けた 🔌タイマー充電のしかた (P.53)	 緑色点滅	充電ケーブルを接続すると、インジケータが緑色に点滅します。（約2秒点灯後、約2秒消灯を繰り返し、約5分後に消灯）
V2H給電中／ V2L（急速充電ポート、普通充電ポート）、100V AC電源 (1500W) ★給電中 🔌V2H充電／ V2H給電 (P.47) 🔌V2L（急速充電ポート） (P.47)	 緑色点滅	V2H給電中／V2L（急速充電ポート、普通充電ポート）、100V AC電源（1500W）★給電中はインジケータが緑色に点滅します。（約1秒点灯後、約1秒消灯を繰り返す）
普通充電コネクタまたはAC外部給電コネクタが正しく接続されていない	 赤色点滅	普通充電コネクタまたはAC外部給電コネクタが車両に正しく接続されていないときは、インジケータが赤色に約30秒間点滅します。この状態になったときは、充電が行われません。充電コネクタを正しく接続し直してください。

充電に関する装備

リチウムイオンバッテリー温調システム★

リチウムイオンバッテリークーラーについて

- リチウムイオンバッテリークーラーは、走行中や急速充電中などにバッテリー温度が高くなると自動的に作動し、出力制限や充電制限が働かない温度に保つため、途中で急速充電を行いながら長距離の走行を行うときなどに有効な機能です。
- リチウムイオンバッテリーの温度が高くなると、加速力の低下や急速充電時間が長くなる原因となります。
- リチウムイオンバッテリーの温度が高くなる原因は、主に高速道路の連続走行や急速充電、またそれらを繰り返して行う場合に起こりやすくなります。
- リチウムイオンバッテリークーラーが作動すると、通常の走行時よりも電力を消費し、通常の走行時より電費の悪化や航続距離が低下します。不必要な加減速を控え、適切な速度で走行してください。

バッテリークーリングアシスト

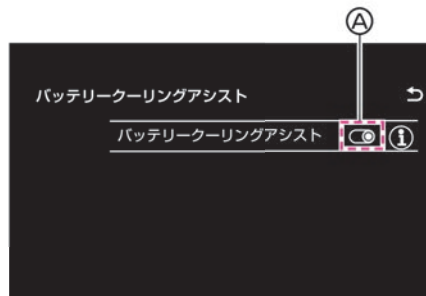
- バッテリークーリングアシストは急速充電中に使用することができます。
- ONにすると、急速充電中のリチウムイオンバッテリーの冷却能力を向上させます。夏場に走行と急速充電を繰り返すときなどに使います。
- NissanConnectインフォテインメントシステムの設定画面でバッテリークーリングアシスト機能のON・OFFを切り替えることができます。

☆/★：車両型式、オプションなどで異なる装備

- バッテリークーリングアシストが作動すると、急速充電中に空調システムなどの騒音が大きくなる場合があります。

バッテリークーリングアシストのON・OFFのしかた

1. NissanConnectインフォテインメントシステムで次の操作をして、バッテリークーリングアシストの設定画面を表示させます。
[🏠] ⇒ [📱] ⇒ [EV] ⇒ [バッテリークーリングアシスト]
2. ①を押します。



リチウムイオンバッテリーヒーター★について

- リチウムイオンバッテリーヒーターは、急速充電中にバッテリー温度が低いとバッテリーヒーターのON・OFFに関わらず、自動的に作動し、急速充電時のリチウムイオンバッテリーの温度を上昇さ

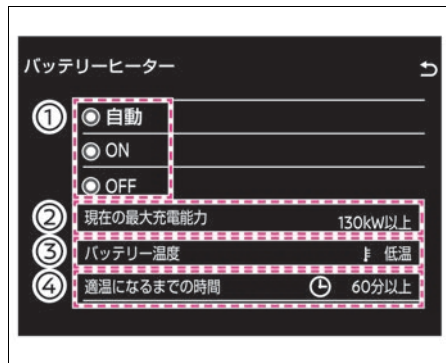
せて、急速充電時間の増加をおさえる機能です。

- リチウムイオンバッテリーの温度が低くなると、急速充電時間が長くなる原因となります。
- リチウムイオンバッテリーの温度が低くなる原因は、主に氷点下の屋外に長時間駐車をしたときなどで、リチウムイオンバッテリーの温度が外気温まで低下します。
- 急速充電中にリチウムイオンバッテリーヒーターが作動すると、急速充電器からの充電電力の一部がヒーターに使用されますが、リチウムイオンバッテリーが冷えている状況よりも充電エネルギー量を向上させることができます。
- リチウムイオンバッテリーヒーターは、走行中も作動させることができます。メーター内の走行可能表示灯 [READY] が点灯している状態で、NissanConnectインフォテインメントシステムの設定画面で [バッテリーヒーター] をONにします。
🔌 **リチウムイオンバッテリーヒーター★のON・OFFのしかた (P.42)**
- [バッテリーヒーター] をONにすると、リチウムイオンバッテリーの温度や残量により、走行中にリチウムイオンバッテリーヒーターが自動的に作動・停止します。
- 急速充電を終えた後や<パワースイッチ>をOFFにしてしばらくすると、バッテリーヒーターは [自動] または [OFF] になります。

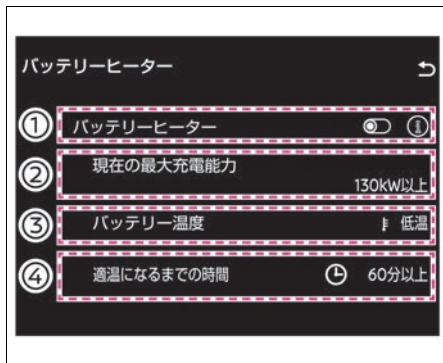
充電に関する装備

- リチウムイオンバッテリーヒーターが走行中に作動すると、通常の走行時よりも電力を消費するため、電費の悪化や航続距離の低下を招きます。リチウムイオンバッテリーヒーターを作動させる場合は十分に注意してください。
- [バッテリーヒーター] 画面に表示されている以下の情報を元に充電ステーションに到着する前にバッテリーヒータースイッチを[自動]または[ON]にすることをおすすめします。

タイプA



タイプB



- ① バッテリーヒーターON・OFF
バッテリーヒーターのON・OFFを切り替えます。
- ② 現在の最大充電能力
充電可能な最大充電能力を示します。
“--kW”は充電電力が低い場合や、充電できない場合に表示されます。
リチウムイオンバッテリーの温度が高温の場合、非表示になります。
表示されている充電能力はバッテリー残量、バッテリー温度などの状態により変化します。
表示されている充電能力の数値は充電時の電力を保証するものではなく、あくまで参考値となります。
現在の最大充電能力は充電時は非表示になります。

- ③ バッテリー温度
現在のリチウムイオンバッテリーの温度を示します。
低温と表示されている場合は、充電能力が低下していることを示します。

タイプA

[自動] 選択時はバッテリー温度が非表示になります。充電中は表示されます。

タイプB

- ③ 充電時はバッテリー温度が非表示になります。
- ④ 適温になるまでの時間
バッテリーヒーター [ON] を選択した場合、最適なバッテリー温度に到達するまでの推定時間を示します。
リチウムイオンバッテリーの温度が適温になるまでの時間は環境条件、走行条件により異なります。
バッテリーの温度が適温または高温の場合は表示されません。
タイプAでは、[自動] の選択時や充電時は適温になるまでの時間が非表示になります。
タイプBでは、充電時は適温になるまでの時間が非表示になります。

リチウムイオンバッテリーヒーター★のON・OFFのしかた

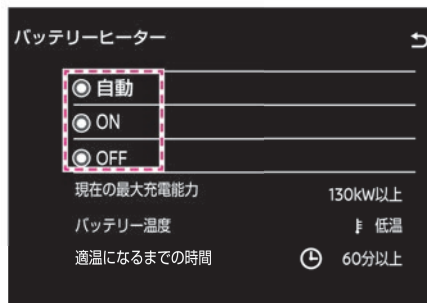
1. NissanConnectインフォテインメントシステムで次の操作をして、バッテリーヒーターの設定画面を表示させます。

充電に関する装備

[☐] ⇒ [☐] ⇒ [EV] ⇒ [バッテリーヒーター]

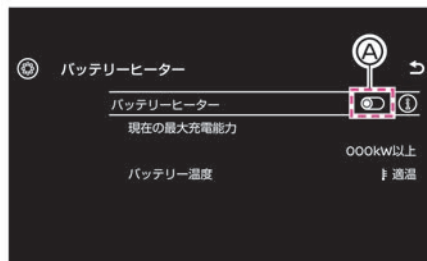
2. タイプA

[自動] または [ON]、[OFF] から選択します。



タイプB

Ⓐを押してON・OFFを切り替えます。



リチウムイオンバッテリーヒーター [自動] ★について (タイプA)

● バッテリーヒーターの[自動]を選択している場合、NissanConnectインフォテインメントシステムによって設定された急速充電器情報(充電器出力、急速充電器までの時間)に基づき、バッテリーを最適な温度とタイミングで温めることで、急速充電時間を短縮し、無駄のないヒーター電力消費を実現します。この機能が作動すると、[EV]画面と[EV]ウィジェットにナビリンクバッテリーコンディショニング状態表示灯[☐]または[☐]が表示されます。

● この機能は、NissanConnectインフォテインメントシステムのナビゲーションルート案内中(経由地または目的地を設定しているとき)のみ有効です。機能を有効にするには、設定画面でバッテリーヒーターの[自動]を選択します。

● 走行中にバッテリーヒーターが作動すると、通常の走行条件よりも多くの電力を消費し、エネルギー効率や走行距離が低下する可能性があります。

● 急速充電器までの所要時間が短い場合、バッテリーの温度が十分に上昇せず、充電性能が向上しないことがあります。

リチウムイオンバッテリーヒーター アイコンについて★ (タイプA、タイプB)

● リチウムイオンバッテリーのヒーターが作動すると、ナビリンクバッテリーコンディショニング作動表示灯またはリチウ

ムイオンバッテリーヒーターアイコンが[EV]画面と[EV]ウィジェットに表示されます。

— [☐] : 自動でバッテリー温度を調整しています。(タイプA)

— [☐] : 急速充電のために自動でバッテリーを温めています。(タイプA)

— [☐] : バッテリーヒーターのON操作または急速充電開始によりバッテリーを温めています。(タイプA、タイプB)

ナビリンクバッテリーコンディショニング★ (タイプA)

● NissanConnectインフォテインメントシステムによるルート案内中に目的地へ向かう際、ルート情報から走行負荷を予測し、リチウムイオンバッテリーの温度を制御してエネルギー効率と急速充電速度の向上に寄与します。

● この機能は、NissanConnectインフォテインメントシステムのルート案内中に自動的に有効となります。機能が作動すると、ナビリンクバッテリーコンディショニング状態表示灯[☐]が[EV]画面と[EV]ウィジェットに表示されます。

● NissanConnectインフォテインメントシステムのルート案内中でも、次の場合にはこの機能が有効にならないことがあります。

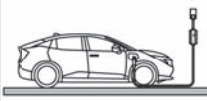
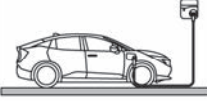
— NissanConnectインフォテインメントシステムによる案内ルートから外れた場合

充電に関する装備

- GPS受信状態が悪い場合
- 急速充電器を経由地に設定している場合で、急速充電器に到着した後のルート案内停止から、NissanConnectインフォテインメントシステムの〔続行〕ボタンを押すまでの間

充電の種類

充電の種類には普通充電（3kW普通充電／6kW普通充電）、急速充電、V2H充電などがあります。雨や雪の中でも充電できますが、感電や漏電を防止するため、注意事項（➡P.30）を必ずお読みください。充電インフラ工事、および6kW普通充電器（壁掛型）の詳細については、日産販売会社にお問い合わせください。V2Hの詳細については、各V2Hメーカーのカタログなどをご確認ください。

		普通充電（200V）		急速充電※1、※2 ～150kW（78kWhバッテリー付車） ～105kW（55kWhバッテリー付車）	V2H充電／給電 3～10kW程度
		3kW普通充電	6kW普通充電		
					
充電ポートの種類		普通充電ポート（運転席側）		急速充電ポート（助手席側）	
充電器の形状	コンセント型	○	-	-	-
	壁掛型	○	○	-	○
	スタンド型・ポール型	○	○	○	○

4.8kW普通充電については、日産販売会社にお問い合わせください。

※1：充電設備の能力により、最大充電電力が150kW（78kWhバッテリー付車）、105kW（55kWhバッテリー付車）にならない場合があります。

※2：車両の最大充電電力が150kW（78kWhバッテリー付車）、105kW（55kWhバッテリー付車）のため、これ以上の電力の充電器を使用しても、車両の最大電力に制限されます。

普通充電

普通充電には3kW普通充電、6kW普通充電があります。

- 主に自宅の電源（コンセント）に充電ケーブル（コントロールボックス付）★を接続して充電する日常的な充電を「3kW普通充電」といいます。
- 3kW普通充電のおよそ2倍のスピードで充電する方法を「6kW普通充電」といいます。6kW普通充電を行うためには、専用の6kW普通充電器（壁掛型）が必要です。

➡ 充電の種類 (P.45)

➡ 6kW普通充電器（車載用）／急速充電 (P.463)

普通充電には、次の3種類の充電方法があります。

■ 即充電

- 充電ケーブルを接続するだけで、すぐに充電を開始できます。（➡ P.48）

■ タイマー充電

- 充電を行う時間帯をあらかじめ設定しておくことができます。（➡ P.21）

3kW普通充電について

- AC100V用充電ケーブル（コントロールボックス付）★を使用すると、AC100V電源からでも充電することができますが、AC200V電源での充電に比べると充電時間が長くなります。AC100V用充電ケーブル（コントロールボックス付）のご購

入については、日産販売会社へご相談ください。

6kW普通充電について

- 充電インフラ工事、および、6kW普通充電器（壁掛型）については、日産販売会社にお問い合わせください。
- 6kW普通充電の充電方法について、充電ケーブルなどの基本的な使いかたは3kW普通充電と同じ扱いとなります。6kW普通充電器（壁掛型）の本体の操作方法やランプ表示などについては、6kW普通充電器メーカーのカatalogなどをご確認ください。
- 6kW普通充電を行う為には、現在契約中の電力容量（契約アンペア）に6kVA（100V換算で+60A相当）の契約変更が必要です。
- 契約アンペアを小さくする為には、6kW普通充電器（壁掛型）とデマンドコントロールシステムを組み合わせたことが有効です。
- 契約アンペアおよび、6kW普通充電器（壁掛型）などの詳細については、日産販売会社にお問い合わせください。

急速充電

外出先などに設置された急速充電器を使用し、短時間で行うことができる充電を「急速充電」といいます。

この車両は、CHAdemo※1（チャデモ）仕様の急速充電器を使用してください。

➡ 急速充電のしかた (P.50)

※1：CHAdemoとは、日本発の電気自動車用急速充電規格です。

- 急速充電器は充電能力（最大充電電力：kW）の違いにより充電の速さに違いが現れます。そのため、充電時間が短い場合は、充電終了後のリチウムイオンバッテリー充電量に違いが現れる場合があります。
- この車両は最大150kW（78kWhバッテリー仕様車）、105kW（55kWhバッテリー仕様車）の急速充電に対応しています。
- 急速充電器の利用料金については、急速充電器が設置されている店舗または急速充電器の管理者にお問い合わせください。

急速充電の注意事項

⚠ 警告

- 必ずCHAdemo（チャデモ）仕様の急速充電器を使用する。

対応していない急速充電器を使用すると、火災や故障などのおそれがあります。

🚗 アドバイス

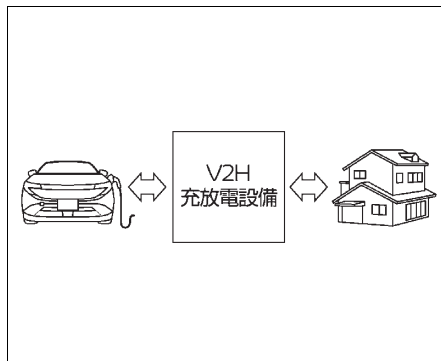
- 急速充電は、必ず急速充電器本体の取り扱い方法に従ってください。間違った操作を行うと、車両または急速充電器を破損するおそれがあります。

急速充電にかかる時間

- 充電にかかる時間は、次の状態によって異なります。
 - 充電を開始したときのリチウムイオンバッテリーの残量
 - リチウムイオンバッテリーの温度
 - 使用する充電機器の種類または接続する電源
 - リチウムイオンバッテリーの使用年数
 - エアコンなど電力を消費するものの使用状況
 - リチウムイオンバッテリー温調システム★の作動状態

V2H充電／V2H給電

- 急速充電と同じCHAdemo仕様の急速充電コネクタを使い3～10kw程度の双方向充電を行うものを、「V2H（ヴィーツーエッチ）」といいます。V2H本体から車両へ充電を行うことを「V2H充電」、V2H本体を経由して車両から自宅へ電力供給することを「V2H給電」といいます。



- V2Hの詳細については、各V2Hメーカーのカatalogなどをご確認ください。

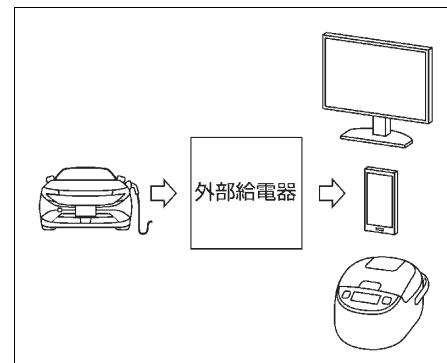
🚗 アドバイス

- 「V2H充電」および「V2H給電」は、必ずV2H本体の取り扱い方法に従ってください。間違った操作を行うと、車両またはV2H本体を破損するおそれがあります。
- V2Hに接続した状態で、家電などへの給電がない場合でも、バッテリー保護のため、リチウムイオンバッテリー温調システム★が稼働することがあります。この動作によりバッテリー充電量が低下することがあります。

- 停電時、V2Hを起動させるための制御用電源供給機能があります。急速充電コネクタを接続すると、V2H起動用電源を急速充電コネクタからV2Hへ供給することができます。ただし、充電ポート照明（P.37）が点灯しているときにコネクタを接続し、V2Hを開始してください。
- V2Hの種類により停電時の起動方法が異なります。詳細はV2Hの取扱説明書をご確認ください。

V2L（急速充電ポート）

- 急速充電と同じCHAdemo仕様の急速充電コネクタを使い1.5～9kw程度の給電を行うものを、V2L外部給電器といいます。V2L本体を経由して車両から家電などへ電力供給することを「V2L（急速充電ポート）給電」といいます。



充電する

- V2L外部給電器の詳細については、各V2L外部給電器メーカーのカタログなどをご確認ください。

アドバイス

- 「V2L（急速充電ポート）給電」は必ずV2L外部給電器本体の取り扱い方法に従ってください。間違った操作を行うと、車両またはV2L外部給電器本体を破損するおそれがあります。
- 急速充電コネクタを接続すると、V2L外部給電器起動用電源を急速充電コネクタからV2L外部給電器へ供給することができます。ただし、充電ポート照明（ P.37）が点灯しているときにコネクタを接続し、「V2L（急速充電ポート）給電」を開始してください。
- V2L外部給電器の種類により起動方法が異なります。詳細はV2L外部給電器の取扱説明書をご確認ください。
- 「V2L（急速充電ポート）給電」を行わずに長時間接続したまま放置すると、12Vバッテリーが消耗するおそれがあるため、ご注意ください。

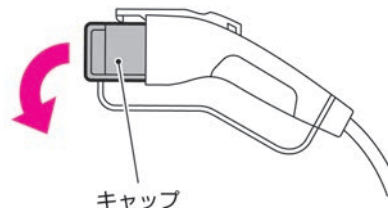
3kW普通充電のしかた

すぐに充電を開始するときは、次の手順に従ってください。充電する時間帯を設定できるタイマー充電については、（ P.21）をお読みください。

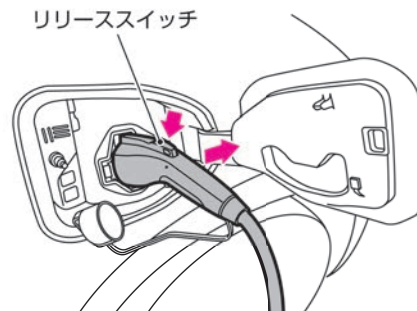
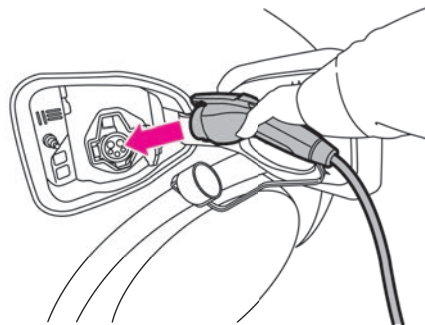
6kW普通充電の充電方法について、充電ケーブルなどの基本的な使いかたは3kW普通充電と同じ扱いとなります。6kW普通充電器（壁掛型）の本体の操作方法やランプ表示などについては、6kW普通充電器メーカーのカタログなどをご確認ください。

即充電のしかた

1. <パワースイッチ>がOFFになっていることを確認します。
プロパイロットリモートパーキング付車はプロパイロットリモートパーキングが作動していないことを確認してください。
➡プロパイロットパーキング★
(P.319)
2. ラグジュアフロア下から充電ケーブル（コントロールボックス付）★を取り出し、プラグをコンセントに接続します。
- 充電ケーブル（コントロールボックス付）★のコントロールボックスの穴にひもなどを通し、コントロールボックスを壁に掛けることができます。
3. 充電コネクタのキャップを外します。



4. ドアが解錠されている状態で、充電ポートリッド（運転席側）を押し、充電ポートリッドを開けます。
（充電ポートの照明は、インテリジェントキーを携帯して車両に近づくか、ドアが施錠されている状態から解錠する、またはドアが閉まっている状態から開けるとしばらく点灯します。）
➡充電ポートリッドの開けかた、閉めかた (P.37)
5. 普通充電ポートのキャップを開けます。
（キャップはツメを押すと開きます。）
6. 充電コネクタを“カチッ”と音がするまで差し込みます。
正常に接続されると、ブザーが1回鳴ります。
また、しばらくすると充電ポートの照明が自動的に消灯します。



- 車両の状態によりブザーが鳴らないときがありますが、異常ではありません。
 - 充電コネクタをロックするときは、充電コネクタロックモードを [LOCK] または [AUTO] にしてください。
 - タイマー充電を設定しているときは、<即充電スイッチ>を押してください。これにより、タイマー充電の設定を一時的にキャンセルし、即充電が可能になります。
 - コネクタロックピンが出たままになり、充電コネクタを接続できない場合は、<充電コネクタアンロックスイッチ>を押して充電コネクタロックを解除してから接続してください。
7. 正常に充電が開始されるとブザーが2回鳴ります。インストルメントパネル部の充電インジケータで、充電状態が確認できます。

➡ 充電インジケータ (P.39)

- タイマー充電待機状態になったときは、ブザーは鳴りません。
 - 充電インジケータが赤色に点滅した場合は、充電コネクタが奥まで差し込まれていないため、奥まで差し込んでください。充電インジケータの点滅が終了している場合は、一度充電コネクタを引き抜いてから接続し直してください。
8. 充電を終了するときは、充電コネクタのリリーススイッチを押しながら、充電ポートから充電コネクタを引き抜きます。なお、充電コネクタをロックしているときは、先にロックを解除してください。

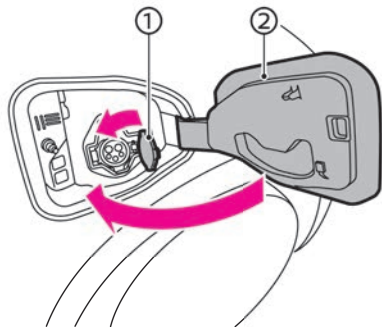
➡ 充電コネクタロック (P.38)

- 充電コネクタロックを解除するには、<充電コネクタアンロックスイッチ>を押します。(インテリジェントキーで解錠後またはインテリジェントキーを携帯したまま押します。)

9. 充電ポートのキャップ①を閉めてから、充電ポートリッド②を閉めます。プラグをコンセントから抜き、充電ケーブル(コントロールボックス付)★をラゲッジフロア下に収納します。

➡ 充電ケーブルの収納のしかた (P.34)

充電する



- 充電中は、＜パワースイッチ＞をONにしてエアコンなどを使用できますが、リチウムイオンバッテリーの電力が消費されるため、充電時間は通常よりも長くなります。
- 充電中に＜パワースイッチ＞をOFFにするときは、ブレーキペダルを踏まずに＜パワースイッチ＞を押してください。
- 充電中に充電コネクタを外すと充電を中断できます。
- 普通充電コネクタを引き抜くと、充電ポートの照明が約30秒間点灯後、消灯します。

充電電流調節のしかた

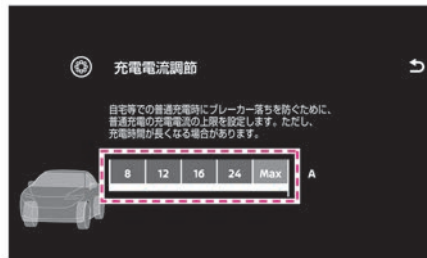
自宅等での普通充電時にブレーカー落ちを防ぐために、普通充電の充電電流の上限を設定します。ただし、充電時間が長くなる場合があります。

1. NissanConnectインフォテインメントシステムで次の操作をして、充

電電流調節の設定画面を表示させます。

[] ⇒ [] ⇒ [EV] ⇒ [充電電流調節]

2. 設定したい電流を選択します。



急速充電のしかた

急速充電器およびV2Hを利用するときは、次の手順に従ってください。

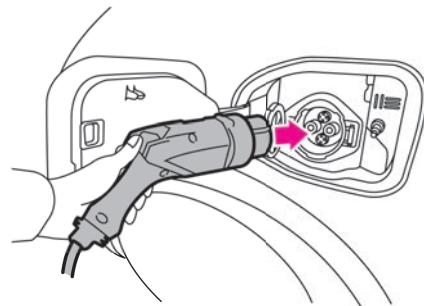
充電器は種類によって操作方法が異なるため、充電器本体の取り扱い方法を必ずご確認ください。

急速充電のしかた

1. ＜パワースイッチ＞がOFFになっていることを確認します。
2. 充電ポートリッド（助手席側）を押し、充電ポートリッドを開けます。

➡ 充電ポートリッドの開けかた、閉めかた (P.37)

3. 急速充電ポートのキャップを開けます。
(キャップはツメを押すと開きます。)
4. 充電器本体の手順に従い、急速充電コネクタを充電ポートの溝に合わせて根元まで確実に差し込み固定します。

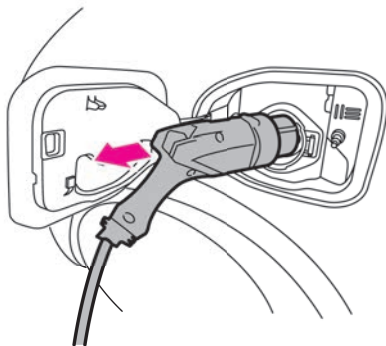


- 充電にかかる時間は、充電器の種類により異なります。
- 急速充電器本体の手順に従い、急速充電コネクタを差し込むときは、充電ポートの溝に合わせて根元まで確実に差し込み固定します。
5. 充電器本体の手順に従い、充電を開始します。
6. 正常に充電が開始されるとブザーが2回鳴ります。インストルメントパネル部の充電インジケーター
(➡ P.39) で、充電状態が確認できます。

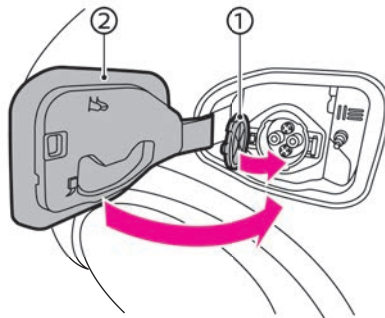
充電する



7. 充電が停止したら、充電ポートから急速充電コネクタを引き抜きます。



8. 充電ポートのキャップ①を閉めてから、充電ポートリッド②を確実に閉めてください。



🚗 アドバイス

- 充電時は、必ず充電器本体の取り扱い方法に従ってください。間違った操作を行うと、車両または充電器を破損するおそれがあります。

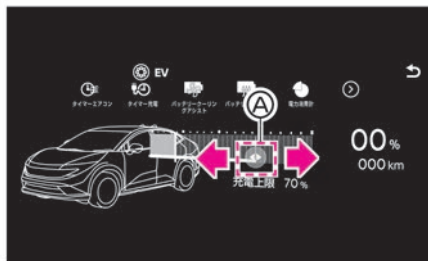
- 充電器の最大充電時間を経過したときに、満充電になる前に停止することがあります。（一定時間で充電が停止するようにタイマーが設定されていることがあります）
- 満充電になる前に充電が停止したときは、再度充電器の開始スイッチを押すと充電を再開できます。
- 急速充電にかかる時間は、外気温などの影響で変化します。
- 充電器本体に、車両のリチウムイオンバッテリー残量や容量の数値（kwh）が表示される場合、実際の値とは異なる場合があります。
- 急速充電コネクタを引き抜くと、充電ポートの照明が約30秒点灯後、消灯します。
- 充電器本体に残り時間が表示される場合、車両が計算する充電終了までの目安時間となっており、実際の値とは異なる場合があります。また、充電器の規格対応バージョンが古い場合、正しい値が表示されないことがあります。

充電上限の設定について

充電上限の設定のしかた

普通充電および急速充電時の充電量上限値を設定することができます。（V2H充電時はこの設定は適用されません。）

1. NissanConnectインフォテインメントシステムで次の操作をして、
[EV] 画面を表示させます。
[🏠] ⇒ [📱] ⇒ [EV]
2. ①の部分をタッチしながら設定したい上限値までドラッグします。



充電上限の設定はアドバンスドドライブアシストディスプレイからも設定することができます。

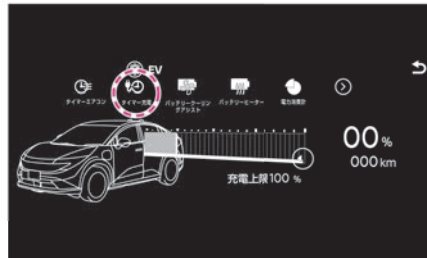
タイマー充電のしかた

普通充電する時間帯を設定することができます。次の手順に従ってください。

お客さまが契約している電気料金のプランに合わせて、電気料金の安い時間帯に充電できます。

タイマー充電の設定のしかた

1. NissanConnectインフォテインメントシステムで次の操作をして、タイマー充電の設定画面を表示させます。
[ホーム] ⇒ [EV] ⇒ [EV] ⇒ [タイマー充電]



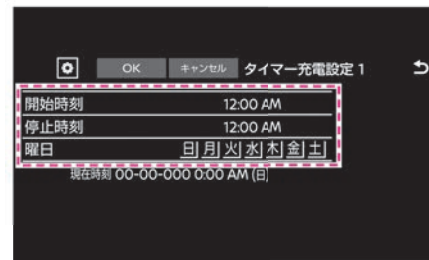
2. ①をタッチしてタイマーをON（インジケータ点灯）にします。タイマーは3種類設定することができます。



3. [A] をタッチしてタイマー設定画面に切り替えます。



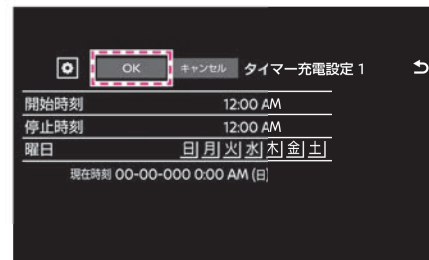
4. [開始時刻] をタッチしてタイマー充電を開始する時刻を設定します。



5. [停止時刻] をタッチしてタイマー充電を停止する時刻を設定します。

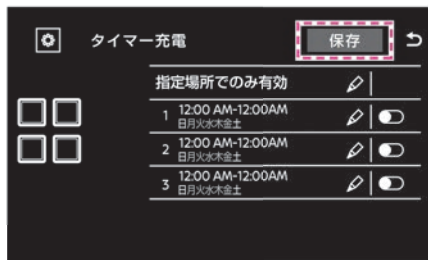
6. タイマー充電を行う曜日をタッチして設定します。

7. [OK] をタッチします。



便利な充電方法

8. 「保存」をタッチして設定を保存します。



9. <パワースイッチ>をOFFにし、充電ケーブルを接続します。普通充電の充電ケーブル接続方法は、➡即充電のしかた (P.48)をお読みください。
※設定した時刻に自動的に開始されます。

- [指定場所でのみ有効] がONの場合は、自宅など指定した場所で普通充電をするときのみ、タイマー充電になります。

➡ 指定場所でのみ有効モードについて (P.54)をお読みください。

- タイマーをOFFにすると予約が解除されます。予約を解除しても設定した時刻、曜日は消去されません。再度タイマーをONにすると、現在の設定条件で予約することができます。

- タイマー充電中に設定を変更すると、変更した内容に従って充電を開始または待機状態になります。

- 開始時刻から停止時刻の時間帯のみ充電を行うため、充電が完了しないことがあります。

- タイマー充電ONの場合、設定された開始～停止時間帯以外でエアコンなどが作動すると、リチウムイオンバッテリー電力を消費します。

- 6kW普通充電およびV2H充電を行う場合、充電器本体がタイマー機能を持っている機種がありますので、詳細については各充電器メーカーのカatalogなどをご確認ください。

- 6kW普通充電の詳細については、6kW普通充電器メーカーのカatalogなどをご確認ください。

- V2Hの詳細については、各V2Hメーカーのカatalogなどをご確認ください。
- タイマー充電をONにし、タイマー充電時間帯で普通充電ケーブルを接続すると、タイマー充電待機状態（インストールメントパネル部の充電インジケーターが緑色に点滅）になります。

即充電のしかた

- タイマー充電の予約がされているときは、タイマー充電開始時刻まで充電を待機します。この状態ですぐに充電を行いたい場合は、次の方法で即充電を行います。即充電を行うと、設定されている充電量まで充電を継続します。

— <即充電スイッチ>を押す (➡P.36)

- 自宅などの指定した場所のみタイマー充電がON（指定した場所以外での場所では即充電）になる設定ができます。➡指定場所でのみ有効モードについて (P.54)をお読みください。

- <即充電スイッチ>を押しても充電が開始されない場合は、<即充電スイッチ>を押す時にインテリジェントキーで解錠後またはインテリジェントキーを携帯したまま押します。

指定場所でのみ有効モードについて

- NissanConnectインフォテインメントシステムで自宅などの指定場所を登録し、[指定場所でのみ有効] をONにすると、指定場所で普通充電をするときのみ、タイマー充電になります。

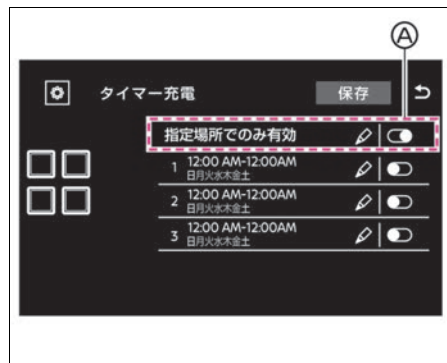
- NissanConnectインフォテインメントシステムで次の操作をすると、指定場所でのみ有効モードのON・OFFを切り替えることができます。

[🏠] ⇒ [📍] ⇒ [EV] ⇒ [タイマー充電] ⇒ [指定場所でのみ有効]

①をタッチして指定場所でのみ有効モードをON（インジケーター点灯）にします。

指定場所の登録方法については、NissanConnectインフォテインメントシステム取扱説明書をお読みください。

- [指定場所でのみ有効] がONのときは、指定した場所以外の場所で普通充電をすると、即充電に自動的に切り替わります。



指定場所の登録・削除のしかた

1. 指定場所に登録したい場所に車両を停車させます。
2. NissanConnectインフォテインメントシステムで次の操作をして、タイマー充電の設定画面を表示させます。
[📶] ⇒ [📱] ⇒ [EV] ⇒ [タイマー充電]
3. [📍] をタッチして指定場所の登録画面に切り替えます。

4. [登録] を押して、指定場所を登録します。



5. 登録した指定場所を削除するときは、[タイマー充電画面] を表示して [📍] マークをタッチし、指定場所の削除画面に切り替えます。
6. [削除] を押して、指定場所を削除します。

充電ができないときの対処方法

充電の作業中に困ったときは次のことをご確認ください。

これらを確認しても問題が解決できないときは、車両または充電機器の故障のおそれがあるため、日産販売会社にご連絡ください。

症状	原因	対処方法
充電が全くできない	普通充電コネクタと急速充電コネクタが同時に接続されている	どちらかの充電コネクタを取り外してください。
	12Vバッテリーがあがっている	＜パワースイッチ＞をONにしてもメーターなどが点灯しない場合は、12Vバッテリーがあがっている可能性があります。12Vバッテリーを充電または交換してください。
	設定した充電上限値が現在の充電残量を下回っている	充電上限値を現在の充電残量を上回るように設定して下さい。
普通充電ができない	コンセントまで電気がきていない	漏電遮断器が作動していたり、停電していたりしていないか確認してください。 ● 電源にタイマー機能がついている場合は、電源に設定されている時間帯まではコンセントに電気がきていないものがあります。 ● 立体駐車場の場合、駐車バレットが完全に格納されるまでの間やエレベーターの作動中は、電気が遮断されるものがあります。
	コンセント側のアースが正しく接続されていない	日産自動車が推奨する充電インフラ工事仕様に準拠したアース設置工事が行われているか確認してください。 充電ケーブル（コントロールボックス付）★は、コンセントに接続したときにアースの接続を自動的に確認しています。このため、コンセント側のアースが正しく接続されていない場合、表示灯が点滅し充電が開始しません。
	プラグがコンセントに正しく接続されていない	プラグがコンセントに正しく接続されているか確認してください。

充電で困ったときは

症状	原因	対処方法
普通充電ができない	充電コネクタが正しく接続されていない	充電コネクタが正しく接続されているか確認してください。
	日産自動車が推奨している配線ではない	充電設備が日産自動車の推奨している仕様（配線の太さと長さ、ブレーカーなどの設定値、EV専用コンセント、または6kW普通充電器）ではない場合、充電できない、または充電が途中で止まる場合があります。その場合は、別の充電設備で充電してください。
	コネクタロックピンが出たままになり、充電コネクタを接続できない	＜充電コネクタアンロックスイッチ＞を押します。＜充電コネクタアンロックスイッチ＞を押す時はインテリジェントキーで解錠後またはインテリジェントキーを携帯して近づいてから押します。
	旧規格の充電ケーブルを使用している	新規格の充電ケーブルを使用してください。2010年から2013年に販売の日産リーフ（ZE0）に付属の充電ケーブルまたは同じ年式のディーラーオプションの充電ケーブルは、旧規格品のため使用することができません。新規格の充電ケーブルについては、日産販売会社へお問い合わせください。なお、旧規格品の充電ケーブルはコントロールボックスの横幅が約100mm（新規格品は75mm）のタイプです。
即充電ができない	タイマー充電が設定されている	＜即充電スイッチ＞を押すか、タイマー充電を解除してから充電を開始してください。
	ドアが施錠されている。またはインテリジェントキーの接近を検知してから時間が経過している。	＜即充電スイッチ＞を押します。＜即充電スイッチ＞を押す時はインテリジェントキーで解錠後またはインテリジェントキーを携帯して近づいてから押します。

充電で困ったときは

症状	原因	対処方法
タイマー充電ができない	充電ケーブルを接続し忘れている	充電ケーブルを接続し、充電を行ってください。
	時計がずれている	時計の時刻を正しく調整してください。 自動で時刻を調整しますが、12Vバッテリーの脱着をしたあとは、GPSとの通信が行われるまでの間、時刻が設定されません。
	タイマー充電の予約が設定されていない	タイマー充電が設定されていないときは、即充電が開始されます。タイマー充電の時刻および曜日を設定してください。
	現在時刻がタイマー開始時刻より前か、タイマー停止時刻を過ぎている	タイマー充電の設定時刻と現在の時刻を確認し、状況に応じて時刻を設定し直すか即充電を行ってください。
	<即充電スイッチ>が押されている	開始した即充電をキャンセルしたいときは、一度充電コネクタを抜いてから再度接続してください。
充電コネクタロックが解錠できない。	ドアが施錠されている。またはインテリジェントキーの接近を検知してから時間が経過している。	<充電コネクタアンロックスイッチ>を押す時にインテリジェントキーで解錠後またはインテリジェントキーを携帯して近づいてから押してください。
普通充電が途中で止まってしまう	コンセントまで電気がきていない	充電中に漏電遮断器が作動したり、停電が起きたりしたおそれがあります。この場合、電力が復帰すると自動的に充電が再開されます。
	充電ケーブルが抜けている	充電ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
	充電コネクタのリリーススイッチが押されている	充電コネクタのリリーススイッチが押されていないことを確認してください。
	タイマー充電の停止時刻になった	タイマー充電は満充電まで充電できていなくても設定された停止時刻になると充電が停止します。状況に応じて、時刻を設定し直すか、即充電を行ってください。

充電で困ったときは

症状	原因	対処方法
急速充電またはV2H充電ができない	急速充電コネクタが正しく接続されていない	急速充電コネクタを一度抜き差ししてから、急速充電コネクタが正しく接続され、ロックがかかっていることを確認してください。
	充電器のセルフチェック機能でNGになった	充電器本体、または車両故障の可能性あります。ただちに充電を停止し、充電器メーカー、または日産販売会社へお問い合わせください。
	充電器の電源がOFFになっている	充電器の電源がONになっていることを確認してください。
急速充電またはV2H充電が途中で止まってしまう	充電器のタイマーにより終了した	充電器本体には、一定時間で充電が停止するようにタイマーが設定されていることがあります。その場合、一定時間経過すると充電が停止します。さらに充電したいときは、もう一度充電開始操作を行ってください。
	充電器の電源が何らかの理由でOFFになってしまった	充電器に異常がないか確認してください。

MEMO

運転する前に

運転前の準備	P.62
運転するときに注意すること	P.62
心臓ペースメーカーなどをご使用の方の注意事項	P.63

シートベルト

3点式シートベルト	P.65
シートベルトの注意事項	P.66

エアバッグ

SRSエアバッグ	P.68
SRSエアバッグ（前席）	P.69
SRSサイドエアバッグ（前席）	P.71
SRSカーテンエアバッグ	P.72

お子さまの安全のために

お子さまを乗せるときに注意すること	P.74
チャイルドシート	P.75

盗難防止機能

イモビライザー（盗難防止装置）	P.81

運転する前に

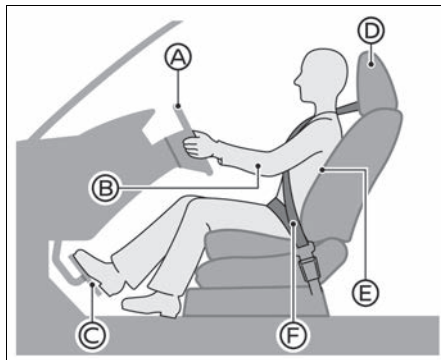
運転前の準備

正しい運転姿勢がとれるよう、ハンドル(➡P.161)、シート(➡P.155)、ミラー(➡P.163)を調節し、シートベルトを着用してください。

正しい運転姿勢について

⚠ 警告

- ハンドル、シート、ミラーの調節は、必ず走行前に行う。
走行中に調節すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ハンドルやシートを調節したあとは、確実に固定されていることを確認する。
固定されていないと運転姿勢が突然変わり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 背もたれと背中の中にクッションなどを入れない。
運転姿勢が不安定になり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



正しい運転姿勢をとるために、次の点に注意してください。

- Ⓐ メーター類が見やすいこと。
- Ⓑ ハンドルはひじが伸び切らず、少し曲がっている状態であること。
- Ⓒ ペダル類が十分踏み込めること。
- Ⓓ 耳の位置がヘッドレストの中心の高さになること。
- Ⓔ 背中が背もたれから離れないように深く腰掛けること。
- Ⓕ シートベルトを正しく着用すること。

シートベルトの着用

- 走行前に必ずシートベルトを正しく着用してください。
➡ 3点式シートベルト (P.65)
- 小さなお子さまを乗せるときは、お子さまの年齢や体格に合ったチャイルドシートをご使用ください。
➡ チャイルドシート (P.75)

ミラーの調節

- ハンドル、シートを調節したあと、ミラーを調節します。確実に後方確認ができる位置に、ミラーを調節してください。
➡ ドアミラー (P.166)
➡ ルームミラー★ (P.163)
➡ インテリジェントルームミラー★ (P.163)

運転するときに注意すること

⚠ 警告

車室内に人やペットを残さない

- お子さま、介護を必要とされる方、ペットを車室内に残さない。
炎天下では車室内が高温になり、生命にかかわるおそれがあり危険です。

診断機接続用のコネクターにはご注意ください

- 診断機接続用のコネクターには、後付け用品を取り付けないでください。12Vバッテリーがあがったり、警告灯が点灯したりするなど、思わぬトラブルを招くおそれがあります。

燃料が入った容器やスプレー缶などを積まない

- ガソリンや可燃性ガスの入ったスプレー缶などは積まない。
引火や爆発するおそれがあり危険です。

⚠ 警告

火気には十分注意する

- 操作部が露出しているガスライターをグローブボックスなどの小物入れに入れない。また、床やシートのすき間に落としたままにしない。

荷物を押し込んだときやシートを動かしたときに、ライターの着火ボタンが押されてガスが噴出し、火災につながるおそれがあります。また、ライターを使用したあと、すぐに収納すると火災を起こすおそれがあります。

故障や破損したまま走行しない

- 事故などでランプが破損したまま走行しない。

内部に水などが入ると、発煙し火災につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- ウィンドーにアクセサリを取り付けない。

視界の妨げになったり、吸盤がレンズの動きをしたりして火災を起こすおそれがあります。また、SRSエアバッグが作動したときアクセサリが飛んでケガをするなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

改造しない

- 日産純正部品以外の車両の性能や機能に適さない部品を使用しない。

本来の性能を発揮できなくなる可能性があります。また、故障や火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 電装品などを取り付けるときは、必ず日産販売会社にご相談ください。不適切な取り付けや誤った配線は、故障や火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ハンドルの取り外しや交換を不適切に行くと、SRSエアバッグが正常に作動しなかったり、不意に作動したりして、思わぬ傷害を受けるおそれがあります。



アドバイス

改造しない

- 12Vバッテリーの端子に電装品やアース線などを直接つながないでください。12Vバッテリーがあがるおそれがあります。
- 日産自動車が国土交通省に届け出をした部品以外を装着すると、違法改造になることがあります。

無線送信機の取り付けについて

- お車に無線送信機を取り付けると、電装システムに影響をおよぼす可能性があります。悪影響を防ぐための措置や取り付け方法については、必ず日産販売会社にご相談ください。お客さまのご要望により、無線送信機の取り付けに関する詳しい情報（周波数帯域・電力レベル・アンテナ位置・取り付け条件）を日産販売会社にてご提供します。

ルーフレール★について

- 走行中に積載物が落下すると、重大な事故につながるおそれがありますので、しっかりと固定してください。固定方法などはキャリアに付属の取扱説明書に従ってください。
- 次のことをお守りください。
 - ー キャリアに積載できる最大重量は75kgです。
 - ー 樹脂カバーに物を載せたり引っかけたりしない。
 - ー キャリア取付部以外の樹脂カバーは取り外さない。
 - ー キャリアを取り付けるときは、日産販売会社に相談する。

心臓ペースメーカーなどをご使用の方の注意事項

⚠ 警告

心臓ペースメーカーなどをご使用の方は、次のことにご注意ください。

⚠ 警告

充電について

- 植込み型心臓ペースメーカーまたは植込み型除細動器（ICD）などの医療電気機器を使用されている方は、機器におよぼす影響について医療電気機器製造業者に確認してから充電作業を行う。
- 植込み型心臓ペースメーカーまたは植込み型除細動器（ICD）などの医療電気機器を使用されている方は、充電ケーブル（コントロールボックス付）★から約15cm以下の範囲に装着部位を近づけない。

充電ケーブル（コントロールボックス付）からの電波が機器の作動に影響を与える場合があります。

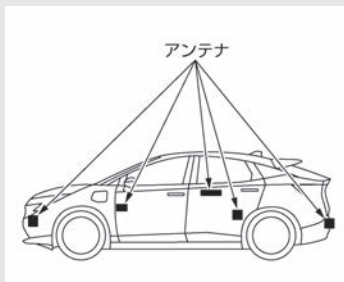
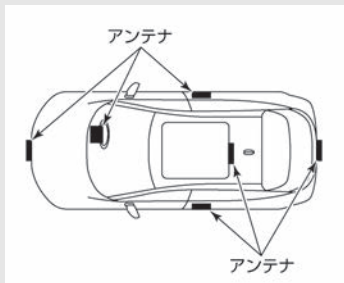
- 植込み型心臓ペースメーカーまたは植込み型除細動器（ICD）などの医療電気機器を使用されている方は、急速充電器には近づかない。

操作する必要がある場合は他の方にお願ひしてください。充電中の急速充電器からの電磁波が機器などに一時的な影響を与える場合があります。

インテリジェントキーについて

- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）を使用されている方は、アンテナから約22cm以下の範囲に装着部位を近づけない。

ドアおよびバックドア開閉時、ドアハンドルのセンサー操作時、電気自動車の始動時などに発生するキーの電波が植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）の作動に影響を与えるおそれがあります。



- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）以外の医療電気機器を使用されている方は、医療電気機器製造業者などへ影響を確認してから使用する。

キーの電波が医療電気機器の動作に影響を与える場合があります。

SOSコールについて

- SOSコールは無線通信機能を利用しているため、心臓ペースメーカーやその他医療用電気機器を使用する場合は、当該の各医療用電気機器メーカー、もしくは販売業者に電波による影響について必ず確認する。

SOSコールの電波が医療用電気機器の動作に影響を与える場合があります。

➡ 先進事故自動通報システム
(P.355)

シートベルト

3点式シートベルト

シートベルトは、シートに身体を固定することで安全を確保するための安全装置です。走行するときは、必ずシートベルトを正しく着用してください。

⚠ 注意

- プリテンショナーシートベルトの部品や配線を修理しない。また、電気テスターを使ってプリテンショナーのシステムの回路診断をしない。

誤って作動したり、正常に作動しなくなったりするおそれがあります。

ELR（緊急固定）付シートベルトについて

- 身体の動きに合わせて伸縮し、衝突時など強い衝撃を受けると、ベルトがロックし身体を固定します。

プリテンショナーシートベルトについて

⚠ 警告

- SRSエアバッグ警告灯が点灯しているときは走行しない。

＜パワースイッチ＞をONにしてから約7秒間はシステムチェックを行うため、プリテンショナーが作動しません。必ずSRSエアバッグ警告灯が消灯してから走行してください。

⚠ 注意

- 廃車にするときやプリテンショナーシートベルトを廃棄するときは、必ず日産販売会社に相談する。
- 正面衝突などで車両前方から強い衝撃を受けたときに、装着したシートベルトを瞬時に巻き取り、乗員の拘束性能を高めます。
- SRSエアバッグシステム（前席）と同時に作動します。
➡ SRSエアバッグ (P.68)
- 前席にはダブルプリテンショナー機構が付いています。車両前方から強い衝撃を受けたとき、肩からシートベルトを巻き上げると同時に腰側からも巻き上げ、乗員の拘束性能を高めます。

プリテンショナー機構



🚗 アドバイス

- プリテンショナーが作動したとき作動音や白煙が出ますが、火災ではありません。
- プリテンショナーは、一度作動すると再使用できません。衝突を起こしたときは必ず日産販売会社で点検を受け、作動済みの場合は交換してください。

シートベルトの着用のしかた

⚠ 警告

- ベルトが肩に確実にかかる位置にアンカーの高さを調節する。また、アンカーが確実に固定されていることを確認する。

万一のときに肩からベルトが外れるなど、シートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害につながるおそれがあります。

- 後席シート中央席のシートベルトを使用するときは、バックルに「CENTER」と表示されているものを使用する。

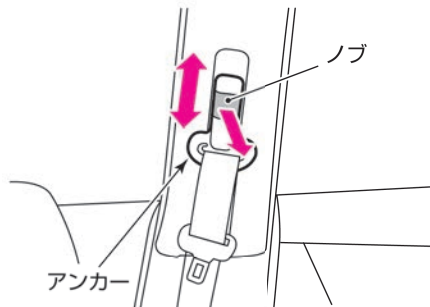
シートベルトが正しく着用できず、万一のときに重大な傷害につながるおそれがあります。

シートベルト

- 正しい姿勢でシートに座り、タングを持ってベルトをゆっくり引き出します。
ベルトを腰骨のできるだけ低い位置にかけ、たるみがないように密着させます。
- ベルトがねじれないようにして、タングをバックルに“カチッ”と音がするまで確実に差し込みます。



- 肩ベルトのアンカー位置の高さを調節します。(前席のみ)
ノブを引きながらアンカー部を上下させ、ベルトが肩に確実にかかる位置に調節し手を離します。手を離れたあと、“カチッ”と音がするまで動かし固定させます。



- 外すときは、バックルのボタンを押し、タングを持ってゆっくり戻します。
- ベルトがロックして引き出せないときは、一度ベルトを強く引いてから緩め、再度ゆっくり引き出してください。

シートベルトの注意事項

警告

- 走行する前に全員がシートベルトを着用する。

着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、生命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあります。

- シートベルトを着用するときは、次のことを必ず守る。

シートベルトを正しく着用しないと、万一のとき重大な傷害につながるおそれがあります。

- 運転者は正しい運転姿勢で、同乗者は正しい着座姿勢で着用してください。

- 2人以上で1本のベルトを使用しないでください。

- ベルトはねじれた状態で着用しないでください。ねじれがあるとベルトの幅が狭くなり、万一のとき衝撃力が分散できず、局部的に強い力を受けることがあります。

- 腰部ベルトは腰骨のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。ベルトが腰骨からずれていると、腰部に強い圧迫を受けることがあります。

- 肩ベルトは脇の下を通さず、確実に肩に掛けてください。肩に十分に掛かっていないと、上半身が拘束できないことがあります。

- クリップなどで故意にベルトにたるみをつけ、身体から浮いた状態に調節しないでください。ベルトにたるみがあると、十分な効果が発揮できないことがあります。

- シートの背もたれを倒したまま走行しない。

シートベルトが効果を十分発揮せず、衝突時などに身体がシートベルトの下に入り込み、ベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。

- バックルや巻き取り装置の中に異物を入れない。

⚠ 警告

シートベルトが正常に機能を発揮せず、万一のとき重大な傷害につながるおそれがあります。

- **妊娠中や疾患のある方も、万一のときのためにシートベルトを着用する。**

ただし、局部的に強い圧迫を受けるおそれがあるため医師に相談し、注意事項を確認してください。妊娠中の方は、腰ベルトを腹部から避け腰部のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。肩ベルトは確実に肩を通し、腹部を避けて胸部に掛かるように着用してください。

- **お子さまにも必ずシートベルトを着用させる。**

お子さまをひざの上に抱いていると、衝突時などにお子さまを支えることができず、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

- **シートベルトが首や顔に当たるなど、適正な着用ができない小さなお子さまには、チャイルドシートを使用する。**

➡ チャイルドシート (P.75)

- **事故などで衝撃を受けたり傷がついたりしたシートベルトは、日産販売会社に点検を依頼する。**

一度強い衝撃を受けたシートベルトやベルト部分に傷がついたり破れたりしているシートベルトは、機能を十分に発揮しないことがあります。

⚠ 注意

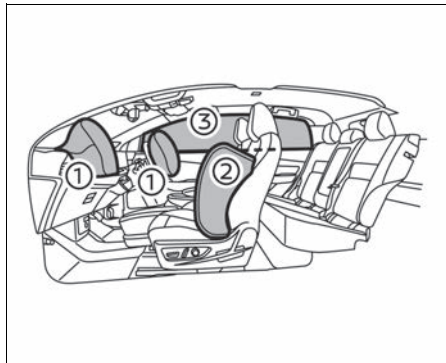
- **シートベルトの清掃にベンジンやガソリンなどの有機溶剤は絶対に使用しない。**

ベルトの性能が落ち、シートベルトが機能を十分に発揮できないことがあります。シートベルトの清掃は中性洗剤かぬるま湯で行い、乾かしてからお使いください。

SRSエアバッグ

SRSエアバッグは乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を受けたときにふくらみ、乗員への衝撃を緩和します。シートベルトと併用することで安全性を高めるため、シートベルトは必ず着用してください。

SRSエアバッグの種類



- ① SRSエアバッグ（前席）
- ② SRSサイドエアバッグ（前席）
- ③ SRSカーテンエアバッグ

- SRSエアバッグは高温のガスにより高速でふくらむため、事故の状態によっては、擦過傷、打撲、やけどなどを負うことがあります。
- SRSエアバッグがふくらむとき、作動音や白煙が出ますが火災ではありません。また、発生するガスによりむせることがあります。また、発生するガスによりむせることがあります。また、発生するガスによりむせることがあります。

- SRSとは、「Supplemental Restraint System」の略でシートベルトの補助拘束装置の意味です。

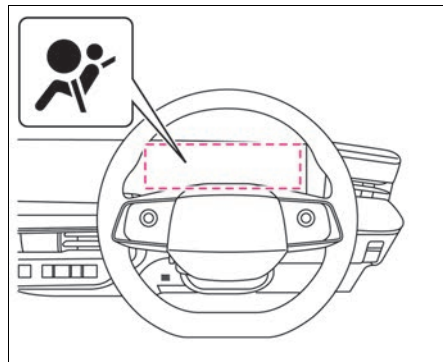
アドバイス

- 廃車にするときやSRSエアバッグを廃棄するときは必ず日産販売会社にご相談ください。
- SRSエアバッグは、一度ふくらむと再使用できません。日産販売会社で交換してください。

SRSエアバッグの作動

SRSエアバッグは、＜パワースイッチ＞がONのときに作動可能です。

＜パワースイッチ＞をONにしたあと、約7秒間はメーター内のSRSエアバッグ警告灯が点灯します。このとき、システムチェックを行うため、SRSエアバッグは作動しません。警告灯が消灯してから走行してください。



SRSエアバッグは、正面衝突や側面衝突で衝撃を受けたときに作動します。ただし、衝撃が車体で吸収または分散され、車両の損傷は大きくても乗員への衝撃が強くないときは、作動しないことがあります。SRSエアバッグが作動するような衝撃を感知すると、非常点滅表示灯が自動的に点滅します。＜非常点滅表示灯スイッチ＞を押すと消灯しますが、二次災害を防ぐため、安全が確保できるまでは消灯しないことをおすすめします。また、衝撃の大きさによっては、点滅しないことがあります。

- 助手席SRSエアバッグ、助手席側のSRSサイドエアバッグおよびSRSカーテンエアバッグは、乗員がいなくても作動します。

SRSエアバッグの注意事項

⚠ 警告

- **SRSエアバッグ警告灯が次の状態のときは走行しない。**

- <パワースイッチ>をONにした直後、SRSエアバッグ警告灯が約7秒間点灯しないとき（消灯したままのとき）
- SRSエアバッグ警告灯が点灯または点滅し続けるとき

SRSエアバッグが正常に作動せず、重大な事故につながるおそれがあります。日産販売会社にご相談ください。

- **正しい姿勢でシートベルトを正しく着用する。**

SRSエアバッグはシートベルトを補助する装置です。SRSエアバッグだけでは、身体の飛び出しなどを防止することはできません。また、SRSエアバッグの効果が発揮されないおそれがあります。

- **助手席には、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けけない。**

SRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。やむをえず助手席に取り付けるときは、シートをできるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。

➡ チャイルドシート (P.75)



- **必ず次のことを守る。**

SRSエアバッグが誤って作動したり正常に作動しなくなったりし、重大な傷害につながるおそれがあります。

- SRSエアバッグ格納部を修理するときは、日産販売会社にご相談ください。また、SRSエアバッグ格納部に傷がついているとき、およびひび割れがあるときは、そのまま使用せず日産販売会社で交換してください。

SRSエアバッグ（前席）の格納場所は（➡ P.69）をお読みください。

SRSサイドエアバッグ（前席）の格納場所は（➡ P.71）をお読みください。

- SRSエアバッグ格納部に過度の衝撃を与えないでください。

- 電気テスターを使用したSRSエアバッグの回路診断をしないでください。または回路を変更しないでください。
- エアロパーツなどの取り付けや、サスペンションを改造するときは、日産販売会社にご相談ください。不適正な改造をすると衝撃を正しく検知できません。

- **SRSエアバッグが作動したときは、30分経過するまでエアバッグに触らない。**

高温になるため、やけどをするおそれがあります。

- **SRSエアバッグ作動時の残留物（カス）などが目や皮膚に付着したときは、できるだけ早く水で洗い流す。**

皮膚の弱い方などは、まれに皮膚に刺激を感じることがあります。

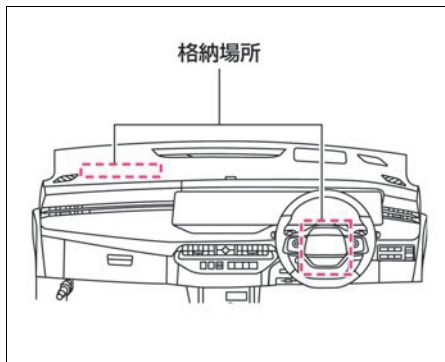
SRSエアバッグ（前席）

車両前方から強い衝撃を受けたときSRSエアバッグが瞬時にふくらみ、乗員の頭部にかかる衝撃を緩和します。

格納場所

運転席SRSエアバッグは、ハンドル部に格納されています。

助手席SRSエアバッグは、助手席側インストルメントパネル部に格納されています。



SRSエアバッグが作動するとき

- 次のような衝撃が強いときに作動します。
 - 25km/h以上の速度で厚いコンクリートのような壁に正面衝突したとき
 - 車両前方左右、約30°以内の方向から強い衝撃（上記と同等）を受けたとき
- 次のような車両下部に強い衝撃を受けたときも作動することがあります。（車両の損傷は少なくとも乗員への衝撃は強いとき）
 - 高速で縁石などに衝突したとき
 - 深い穴や溝に落ち込んだとき
 - ジャンプして地面にぶつかったとき
- 助手席SRSエアバッグが作動した衝撃でフロントガラスが割れることがあります。
- 運転席、助手席SRSエアバッグはふくらんだあとすぐにしぼむため、視界の妨げになることはありません。

知識

- エアバッグが作動したときは、自動で先進事故自動通報システム（P.355）が作動します。

SRSエアバッグが作動しにくいとき

次のような衝撃が弱いときは作動しないことがあります。

- 停車している同クラスの車に約50km/h以下の速度で衝突したとき
- 衝突時に折れない電柱などに約30km/h以下の速度で正面衝突したとき
- トラックなどの荷台の下にもぐり込んだようなとき
- 斜め前方からガードレールなどに衝突したとき

SRSエアバッグが作動しないとき

一度、SRSエアバッグが作動したあとに衝突しても作動しません。また、次のようなときは作動しません。

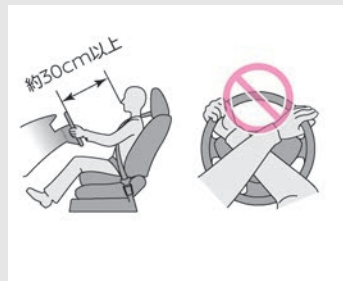
- 横方向や後ろから衝突されたとき
- 横転、転覆したとき

SRSエアバッグ（前席）の注意事項

警告

- SRSエアバッグ格納部に身体を近づけない。また、内がけでのハンドル操作はしない。

ハンドルから顔をできるだけ（約30cm以上）離し、ハンドルにもたれかかるなど、手や顔、胸などを不必要に近づけないでください。SRSエアバッグ作動時に強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。



- 不適正なハンドルに交換したり、SRSエアバッグ格納部にステッカーなどを貼ったりしない。

SRSエアバッグ作動時に正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。



警告

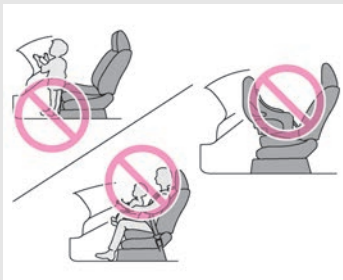
- フロントガラスにアクセサリなどを付けない。

SRSエアバッグ作動時に重大な傷害につながるおそれがあります。

- SRSエアバッグ格納部に身体を近づけない。また、お子さまを近づかせない。

SRSエアバッグ作動時に強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。

SRSエアバッグ格納部に手や足を置いたり、顔や胸などを不必要に近づけたりしないでください。また、お子さまをSRSエアバッグ格納部の前に立たせたり、ひざの上に抱いたりせず、後席シートに乗せてください。



- チャイルドシートは後席シートに取り付ける。

SRSエアバッグ作動時に重大な傷害につながるおそれがあります。

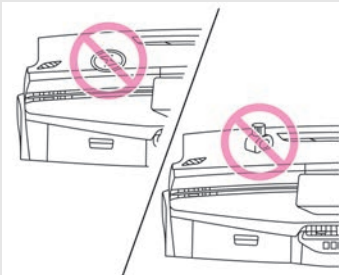
やむをえず助手席シートに取り付けるときは、シートをできるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。乳児用チャイルドシートなど後ろ向きにしか使用できないシートは必ず後席シートに取り付けてください。

- チャイルドシートは走行する前に確実に固定されていることを確認する。

固定方法および取り扱いなどは、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。

- SRSエアバッグ格納部およびその周辺にステッカーなどを貼ったり、アクセサリや芳香剤などを置いたりしない。

SRSエアバッグ作動時に重大な傷害につながるおそれがあります。



SRSサイドエアバッグ（前席）

車両側面から強い衝撃を受けたとき、衝撃を受けた側のSRSサイドエアバッグが瞬時に

にふくらみ、乗員の主に胸部にかかる衝撃を緩和します。

格納場所

SRSサイドエアバッグは、運転席、助手席ともにシート背もたれ側面（外側）に格納されています。



SRSサイドエアバッグが作動するとき

次のような衝撃が強いときに作動します。

- 一般的な乗用車に25km/h以上の速度で側面に真横から衝突されたとき

知識

- エアバッグが作動したときは、自動で先進事故自動通報システム（☎P.355）が作動します。

エアバッグ

SRSサイドエアバッグが作動しにくいとき

次のような衝撃が弱いときは作動しないことがあります。

- 側面に斜め方向から衝突されたとき
- 側面にバイクが真横から衝突したとき
- モータールームまたはラゲッジルームに側面衝突されたとき
- 横転、転覆したとき
- 斜め前方から衝突したとき
- 電柱などに衝突したとき

SRSサイドエアバッグが作動しないとき

一度、SRSエアバッグが作動したあとに衝突しても作動しません。また、次のようなときは作動しません。

- 停車中や走行中の車に正面衝突したとき
- 後ろから衝突されたとき

SRSサイドエアバッグの注意事項

警告

- SRSサイドエアバッグの格納部に近づかない。

ドアにもたれるなど、前席シートの背もたれ側面（外側）に近づかないでください。特にお子さまが窓から腕を出したり、前席シートの背もたれを抱えたりしないように注意してください。万一のとき重大な傷害を受けるおそれがあります。

- 前席シートのSRSサイドエアバッグ格納部付近に傘やカバンなどを置かない。

- シートカバーは、前席シート背もたれ側面を覆わないものを使用する。

SRSサイドエアバッグが正しく作動しないおそれがあります。日産純正シートカバーをおすすめします。

注意

- ドアをガラスが割れるほど強く閉めない。

SRSサイドエアバッグが誤作動するおそれがあります。

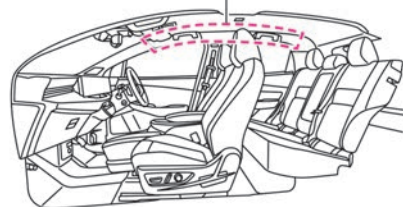
SRSカーテンエアバッグ

車両側面から強い衝撃を受けたとき、衝撃を受けた側のSRSカーテンエアバッグが瞬時にふくらみ、乗員の主に頭部にかかる衝撃を緩和します。

格納場所

SRSカーテンエアバッグは、運転席側、助手席側ともに窓側の天井部に格納されています。

格納場所



SRSカーテンエアバッグが作動するとき

次のような衝撃が強いときに作動します。

- 一般的な乗用車に25km/h以上の速度で側面に真横から衝突されたとき

知識

- エアバッグが作動したときは、自動で先進事故自動通報システム（P.355）が作動します。

SRSカーテンエアバッグが作動しにくいとき

次のような衝撃が弱いときは作動しないことがあります。

- 側面に斜め方向から衝突されたとき
- 側面にバイクが真横から衝突したとき
- ボンネットやラゲッジルームに衝突されたとき

エアバッグ

- 横転、転覆したとき
- 斜め前方から衝突したとき
- 電柱などに衝突したとき

SRSカーテンエアバッグが誤作動するおそれがあります。

SRSカーテンエアバッグが作動しないとき

一度、SRSエアバッグが作動したあとに衝突しても作動しません。また、次のようなときは作動しません。

- 停車中や走行中の車に正面衝突したとき
- 後ろから衝突されたとき

SRSカーテンエアバッグの注意事項

⚠ 警告

- **SRSカーテンエアバッグの格納部に近づかない。**

万一のとき重大な傷害を受けるおそれがあります。

- センターピラーやロックピラーまわり、ルーフサイド部などの**SRSカーテンエアバッグ格納部**付近に、アクセサリーやハンガーなどを取り付けない。

SRSカーテンエアバッグが作動したときに重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠ 注意

- ドアをガラスが割れるほど強く閉めない。

お子さまの安全のために

お子さまを乗せるときに注意すること

⚠ 警告

お子さまを乗せるときは、次のことに注意してください。

お子さまにもシートベルトを着用する

- お子さまにも必ずシートベルトを着用させる。

お子さまをひざの上に抱いていると、衝突時などにお子さまを支えることができず、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

➡ 3点式シートベルト (P.65)

小さなお子さまにはチャイルドシートを使用する

- シートベルトが首や顔に当たるなど、適正な着用ができない小さなお子さまには、チャイルドシートを使用する。

➡ チャイルドシート (P.75)

チャイルドシートは後席シートに取り付ける

- チャイルドシートは後席シートに取り付け、走行する前に確実に固定されていることを確認する。

固定方法および取り扱いかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。

- 助手席には、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けない。

SRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。やむをえず助手席に取り付けるときは、シートをできるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。



- チャイルドシートは使用していないときでもシートにしっかりと固定するか、ラゲッジルーム（荷室）などに収納する。

車室内に放置したままにすると、急ブレーキ時などに思わぬ事故につながるおそれがあります。

お子さまは後席シートに乗せる

- お子さまを助手席に乗せるのは避ける。

お子さまの動作が気になったり、スイッチ、レバー類のいたずらなど安全運転の妨げになったりするおそれがあります。

また、助手席SRSエアバッグの格納部に近づいていると、万一の事故などでSRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。

ドア、ウィンドーなどは大人が操作する

- ドアやウィンドーなどの開閉は、お子さまには操作させない。

開閉時に手、首、足などを挟んだりして、重大な傷害につながるおそれがあります。

- チャイルドセーフティドアロック (➡ P.144) や<パワーウィンドーロックスイッチ> (➡ P.168) を使用し、お子さまが操作できないようにしてください。

窓から手や顔を出さない

- お子さまが腕や顔を出さないように注意する。

急ブレーキ時に窓枠などにぶつかったり、車外の障害物に当たったりして、重大な傷害につながるおそれがあります。

車室内にお子さまだけを残さない

- 車から離れるときは、必ずお子さまと一緒に降ろす。

炎天下では車室内が高温になり、生命にかかわるおそれがあり危険です。

- お子さまのいたずらで車の発進、火災など、思わぬ事故につながるおそれがあります。

お子さまの安全のために

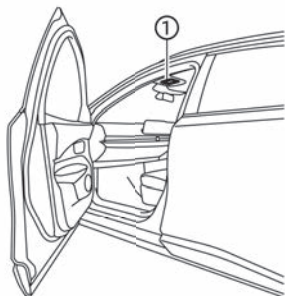
チャイルドシート

お子さまの年齢や体格にあわせたチャイルドシートを選択し、車両に適切に取り付けてください。

⚠ 警告

- 助手席には、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けない。

SRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。やむをえず助手席に取り付けるときは、シートをできるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。

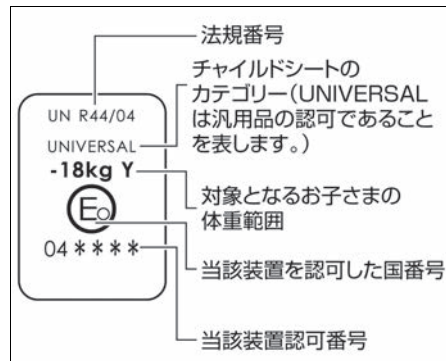


① エアバッグ警告ラベル



チャイルドシートについて

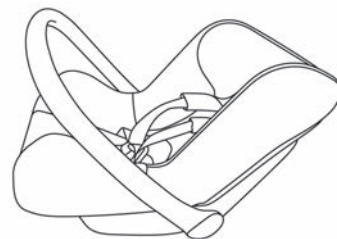
- 乳児用チャイルドシート、チャイルドシート、ジュニアチャイルドシートを総称してチャイルドシートと呼んでいます。
- UN R44またはR129はチャイルドシートに関する国際法です。UN R44またはR129の基準に適合した汎用（ユニバーサル）チャイルドシートには、認可マークが貼られています。
- チャイルドシートには、乳児用チャイルドシート、チャイルドシート、ジュニアチャイルドシートの3種類があります。お子さまの年齢や体格にあわせて、適切なチャイルドシートをお選びください。
- チャイルドシートの固定方法および取り扱いかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。
- この車はUN R44またはR129の基準に適合したi-Sizeチャイルドシート対応ISO FIX対応取付装置を標準装備しています。



チャイルドシートのカテゴリ（universalは汎用品の認可であることを表します。）



乳児用チャイルドシート



UN R44基準のグループ0、0+に相当します。

チャイルドシート



UN R44基準のグループ0+、Iに相当します。

ジュニアチャイルドシート



UN R44基準のグループⅡ、Ⅲに相当します。

チャイルドシートの選びかた

この車両には、シートベルトで取り付けるチャイルドシートと、i-SizeおよびISO FIX対応チャイルドシートを取り付けることができます。i-SizeおよびISO FIX対応チャイルドシートは、シートベルトを使わずに固定するため、簡単に取り付けることができます。

■ シートベルト固定タイプのチャイルドシート

シートベルトを使ってチャイルドシートを固定します。

🔗 シートベルト固定タイプのチャイルドシートの取り付けかた (P.79)

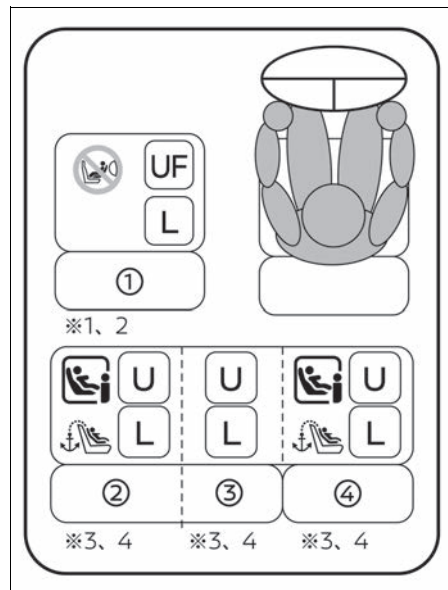
■ i-SizeおよびISO FIX対応チャイルドシート

後席シートに付属しているi-Sizeチャイルドシート対応ISO FIX対応取付装置で固定します。

🔗 使用できるチャイルドシートについて (P.77)

使用できるチャイルドシートについて

チャイルドシートの取り付け位置により、使用できるチャイルドシートが異なります。



※1：チャイルドシートを装着する際は、座席のスライドを最も後方に調整してください。

※2：チャイルドシートを装着する際は、座席を最も高い位置に調整してください。

※3：チャイルドシートを装着する際は、前席を干渉しない位置にスライドを動かしてください。

※4：サポートレッグ付きチャイルドシートは装着しないでください。

● 背もたれ付きのチャイルドシートがヘッドレストに当たっていても安定して取り付けられますが、ヘッドレストが取り外し可能な場合は取り外すとより安定します。

マーク	説明
	車両シートベルト固定式汎用型チャイルドシートに適している
	車両シートベルト固定式の前向きに取り付ける汎用型チャイルドシートに適している
	i-SizeおよびISO FIXチャイルドシートに適している
	後ろ向きチャイルドシート取付禁止
	ISO FIXチャイルドシート上部取付金具（トップテザーアンカレッジ）を装備している座席
	添付リストに記載されたチャイルドシートに適している

幼児拘束装置メーカーに関する詳細情報

座席位置	助手席	後席		
	①	②	③	④
汎用ベルト式に適する着席位置 (○/×)	○ (前向きのみ)	○	○	○
i-Size着席位置 (○/×)	×	○	×	○
横向き固定具に適する着席位置 (L1/L2)	-	-	-	-
適する最大の後向き固定具 (R1/R2X/R2/R3)	-	R3	-	R3
適する最大の前向き固定具 (F2X/F2/F3)	-	F3	-	F3
適する最大のブースター固定具 (B2/B3)	-	B3	-	B3

● ISO FIX対応のチャイルドシートをすでにお持ちの場合、ご使用前にUN R44またはR129の基準に適合していることを確認してください。詳しくは、チャイルドシートに付属の取扱説明書を参照してください。

■ 推奨チャイルドシート

日産自動車が推奨するチャイルドシートです。詳しくは日産販売会社にご相談ください。

年齢 (目安)	体重 (目安)	身長 (目安)	推奨チャイルドシート	座席位置			
				①	②	③	④
0-18か月	<13kg	<100cm	日産i-Sizeチャイルドシート (後向き)	×	○	×	○
9か月-4歳	9-18kg	76-100cm	日産i-Sizeチャイルドシート (前向き、後向き)	×	○	×	○
4-6歳	15-25kg	100-125cm	日産ジュニアシートevo (前向き)	○ (ベルト取付のみ)	○	○ (ベルト取付のみ)	○
6-12歳	22-36kg	125-150cm	日産ジュニアシートevo (前向き)	○ (ベルト取付のみ)	○	○ (ベルト取付のみ)	○

● 背もたれ付きのチャイルドシートがヘッドレストに当たっていても安定して取り付けられますが、ヘッドレストが取り外し可能な場合は取り外すとより安定します。

お子さまの安全のために

シートベルト固定タイプのチャイルドシートの取り付けかた

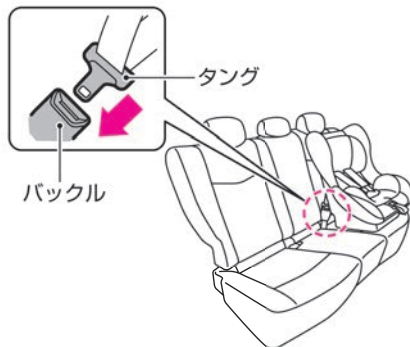
⚠ 警告

- チャイルドシートが確実に固定されていることを確認する。

確実に固定されていないと、急ブレーキや衝突などでチャイルドシートが飛び出し、重大な傷害を受けるおそれがあります。必ずチャイルドシートに付属の取扱説明書に従って取り付けてください。

1. ヘッドレストが取り外し可能な場合はヘッドレストを取り外し、チャイルドシートを座席に置きます。（ヘッドレストを取り外さなくてもチャイルドシートは取り付けられますが、ヘッドレストが取り外し可能な場合は、ヘッドレストを取り外してからチャイルドシートを取り付けると、よりチャイルドシートが安定します。）
シートベルトをチャイルドシートに通し、タングをバックルに「カチッ」と音がするまで確実に差し込みます。

➡ ヘッドレストの調節のしかた
(P.159)



2. チャイルドシートに付属の取扱説明書に従って固定します。
チャイルドシートを前後左右にゆすり、しっかり固定されていることを確認します。



i-SizeおよびISO FIX対応チャイルドシートの取り付けかた

⚠ 警告

- i-SizeおよびISO FIX対応チャイルドシートを取り付けるときは、後席シートのヘッドレストを取り外す。（ヘッドレストとチャイルドシートが干渉してチャイルドシートを正しく取り付けられない場合）

- チャイルドシートが確実に固定されていることを確認する。

確実に固定されていないと、急ブレーキや衝突などでチャイルドシートが飛び出し、重大な傷害を受けるおそれがあります。必ずチャイルドシートに付属の取扱説明書に従って取り付けてください。

- チャイルドシートを取り付けるときは、アンカレッジ部周辺に異物がないことやシートベルトなどがかみ込んでいないことを確認する。

チャイルドシートが確実に固定されず、急ブレーキや衝突などでチャイルドシートが飛び出し、重大な傷害を受けるおそれがあります。

1. i-Sizeチャイルドシート対応ISO FIXロアアンカレッジは、後席シート左右座面のマークの奥にあります。使用するときはカバーを取り外します。ヘッドレストが取り外し可能な場合はヘッドレストを取り外し、チャイルドシートを座席に置き、チャイル

お子さまの安全のために

ドシートに付属の取扱説明書に従ってロアアンカレッジに固定します。

(ヘッドレストを取り外さなくてもチャイルドシートは固定できますが、ヘッドレストが取り外し可能な場合は、ヘッドレストを取り外してからチャイルドシートを固定すると、よりチャイルドシートが安定します。)

➡ヘッドレストの使いかた

(P.161)



- i-SizeおよびISO FIX対応チャイルドシートを取り付けない場合は、カバーを付けてご使用ください。

2. デザアンカレッジは、後席シート背もたれ裏側マークの下方にあります。
デザアンカレッジにフックを固定し、デザベルトを締めます。
チャイルドシートを前後左右にゆすり、しっかり固定されていることを確認します。



- シートカバーを装着するときは、スリットがあるものを使用してください。

イモビライザー（盗難防止装置）

イモビライザー（盗難防止装置）について

車両の盗難に対する防御性能を高めるために、あらかじめ登録されているインテリジェントキー以外でのEVシステムの始動（＜パワースイッチ＞ON）を禁止するシステムです。

- キーに登録された信号は、キーごとに異なります。

MEMO



安全なドライブのために

計器類

各部名称（クラシック表示）	P.84
各部名称（エンハンス表示）	P.85
メーター	P.86

警告灯・表示灯

警告灯の表示位置（クラシック表示）	P.91
警告灯の表示位置（エンハンス表示）	P.92
表示灯の表示位置（クラシック表示）	P.93
表示灯の表示位置（エンハンス表示）	P.94
表示灯がついたときは	P.95

アドバンスドドライブアシストディスプレイ

アドバンスドドライブアシストディスプレイとは （メインメニュー）	P.97
ステアリングスイッチ	P.98
車両情報画面	P.99
アドバンスドドライブアシストディスプレイとは （ショートカットメニュー）	P.109
各種設定画面	P.112
充電情報表示画面	P.126
その他の表示機能	P.126

ヘッドアップディスプレイ★

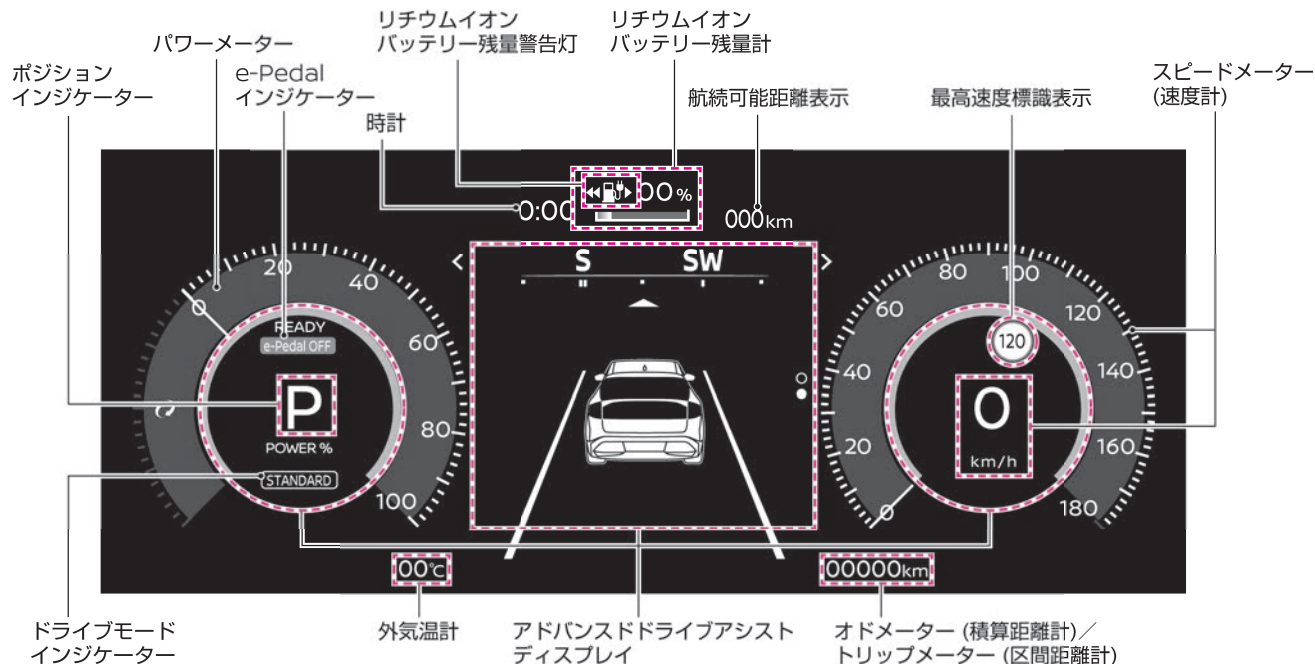
ヘッドアップディスプレイとは	P.129
走行支援機能画面	P.129
各種設定画面	P.131

メーターの明るさの調節

イルミネーションコントロール	P.134

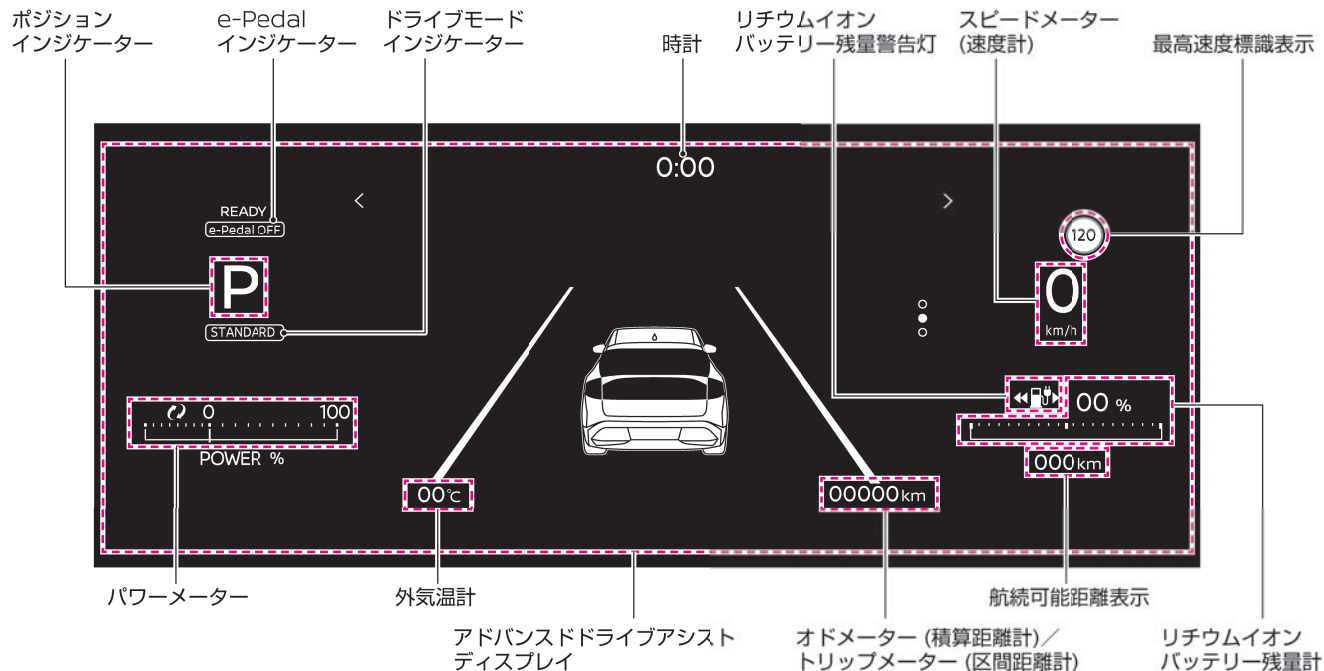
各部名称（クラシック表示）

＜パワースイッチ＞をONにすると、計器類が表示されます。メーター表示は、クラシック表示とエンハンス表示があり、さらにエンハンス表示は表示タイプを切り替えることができます。➡ アドバンスドドライブアシストディスプレイとは（ショートカットメニュー）（P.109）



各部名称 (エンハンス表示)

＜パワースイッチ＞をONにすると、計器類が表示されます。メーター表示は、クラシック表示とエンハンス表示があり、さらにエンハンス表示は表示タイプを切り替えることができます。➡ アドバンスドドライブアシストディスプレイとは（ショートカットメニュー）
(P.109)



メーターの見かた

メーター

メーターには、パワーメーター、リチウムイオンバッテリー残量計、航続可能距離表示などがあります。＜パワースイッチ＞をONにすると表示します。

スピードメーター（速度計）

- 走行速度を表示します。

時計

- 時刻を表示します。時計の表示や設定できる項目はグレードやオプションなどにより異なります。
- NissanConnectインフォテインメントシステムの時計と連動しており、時刻は自動的に調整されます。また、時計の表示・非表示を切り替えることができます。（P.119）

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [設定] ⇒ [時計] ⇒ [時計設定モード] を選択すると、時刻の設定を手動に切り替えることができます。

設定の詳細については時計をお読みください。

- ➡ アドバンスドドライブアシストディスプレイとは（メインメニュー）（P.97）

➡ 時計（P.119）

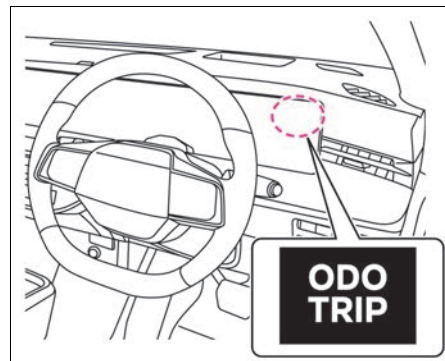
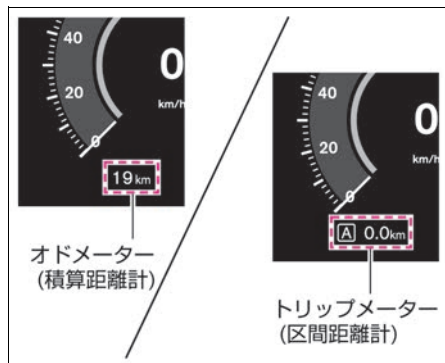
- 時計は、12Vバッテリーを接続後しばらく走行すると、自動的に調整されます。
- 時刻の表示は、12時間表示または24時間表示を選択できます。

外気温度計

- 外気温を表示します。
- 外気温センサー取付部の温度を表示するため、実際の外気温とは異なることがあります。

オドメーター（積算距離計）／トリップメーター（区間距離計）

- ＜ODO TRIP＞スイッチを押すごとに、オドメーター⇒トリップメーター [A] ⇒ トリップメーター [B] ⇒ オドメーターの順に切り替わります。



オドメーター（積算距離計）

- 総走行距離をkmで表示します。

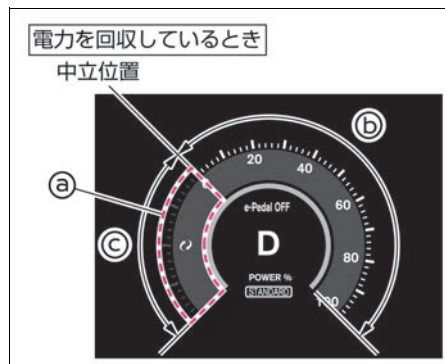
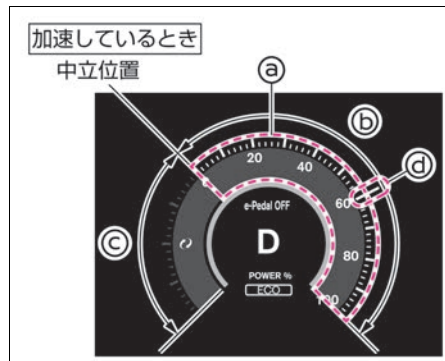
トリップメーター（区間距離計）

- リセットしてからの走行距離をkmで表示します。[A] と [B] でそれぞれ使い分けることができます。
- リセットするときは0にしたいほうを表示させ、＜ODO TRIP＞スイッチを1秒以上押します。
- 12Vバッテリーを外したときは、トリップメーターの [A] と [B] の記憶が消去され0に戻ります。

パワーメーター（クラシック表示）

走行中の出力（加速力）と回生量（電力の回収量）を表示します。

エンハンス表示に切り替えができます。

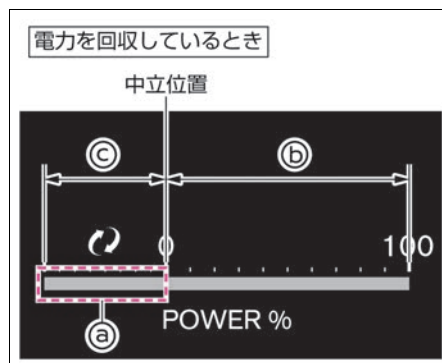
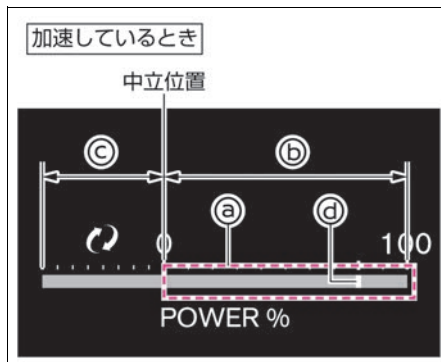


- 加速しているときは、ゲージ③が中立位置から右側④に表示されます。ゲージ③が右側④に多くなるほど、加速力が強くなっていることを表します。
- 電力を回収しているときは、ゲージ③が中立位置から左側③に表示されます。

ゲージ③が左側③に多くなるほど、多くの電力を回収していることを表します。

- 出力が制限されると、③のようなガイダンスが表示されます。中立位置から③までの範囲内で③が点灯します。(中立位置から左側③の方向にはガイダンスは表示されません)
- 次の場合、出力が制限され、③の点灯範囲が狭くなります。
 - ー リチウムイオンバッテリーの温度が極端に高いまたは低いとき
 - ー 走行用モーターの温度が高いとき
 - ー リチウムイオンバッテリーの残量が低下しているとき
 - ー 満充電のときは、これ以上回生することができないため右側④のみ点灯します

パワーメーター（エンハンス表示）



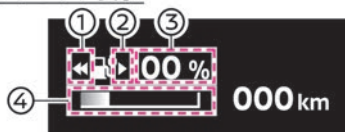
- 加速しているときは、ゲージ③が中立位置から右側④に表示されます。ゲージ③が右側④に多くなるほど、加速力が強くなっていることを表します。
- 電力を回収しているときは、ゲージ③が中立位置から左側③に表示されます。ゲージ③が左側③に多くなるほど、多くの電力を回収していることを表します。
- 出力が制限されると、③のようなガイダンスが表示されます。中立位置から③までの範囲内で③が点灯します。(中立位置から左側③の方向にはガイダンスは表示されません)
- 次の場合、出力が制限され、③の点灯範囲が狭くなります。
 - ー リチウムイオンバッテリーの温度が極端に高いまたは低いとき
 - ー 走行用モーターの温度が高いとき
 - ー リチウムイオンバッテリーの残量が低下しているとき

計器類

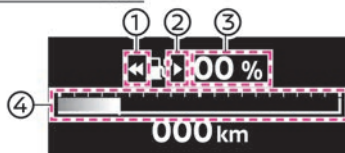
- 満充電のときは、これ以上回生することができないため右側④のみ点灯します

リチウムイオンバッテリー残量計

クラシック表示



エンハンス表示



- ①は急速充電ポートが助手席側にあることを示しています。
- ②は普通充電ポートが運転席側にあることを示しています。
- ③は現在のリチウムイオンバッテリーの残量を%で表示します。
- ④は現在のリチウムイオンバッテリーの残量をゲージで表示します。
- リチウムイオンバッテリーの温度によって、リチウムイオンバッテリー残量が増減することがあります。
- 寒冷時にリチウムイオンバッテリー残量に変動する場合がありますが、異常ではありません。バッテリーの温度が極端に下がると充電可能な最大容量が変化することによります。バッテリーの温度が上

がると充電可能な最大容量は元に戻ります。

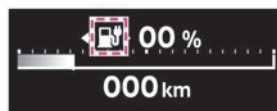
リチウムイオンバッテリー残量警告灯

- リチウムイオンバッテリーの残量が低下すると、黄色く点灯します。

クラシック表示



エンハンス表示



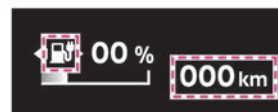
航続可能距離表示

- 現在のリチウムイオンバッテリーの残量で走行できるおおよその距離を表示します。
- 表示される距離は、直前の平均電費と現在のリチウムイオンバッテリーの残量から算出します。
- リチウムイオンバッテリー残量警告灯 [点灯] が黄色く点灯後も充電せずに走行を続けると、距離表示が [---] に変わります。
- 充電直後に表示される航続可能距離は、充電前の平均電費から算出されます。リ

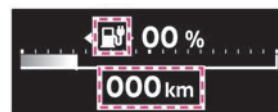
チウムイオンバッテリーが満充電であっても平均電費により表示される航続可能距離が異なることがあります。

- 外気温が極端に低いときや、長い上り坂を走行した直後は、表示される距離が大幅に減少することがあります。
- 航続可能距離は走行状態やエアコンの使用状況、バッテリー温度システム★の使用状況なども加味して算出されます。
- お客さまへ納車された直後の航続可能距離は、平均的な電費により表示します。時間が経つにつれ、お客さまの運転状況に応じて航続可能距離が計算されます。

クラシック表示

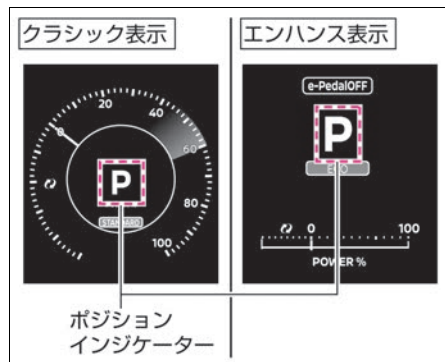


エンハンス表示



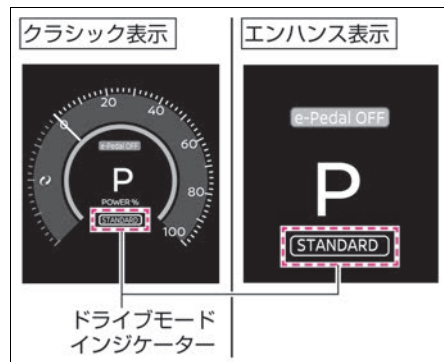
ポジションインジケータ

- <シフトスイッチ>のシフトポジションを表示します。
- シフトスイッチの操作 (P.189)



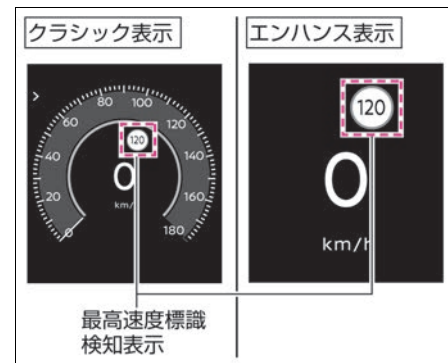
- ## アドバイス
- 12Vバッテリー電圧低下、および12Vバッテリーあがりにより電気部品への電源供給が停止されると、ポジションインジケーターが消灯する場合があります。その場合は<シフトスイッチ>の<P>スイッチを押してシフトポジションを**P**にしてください。

- ## ドライブモードインジケーター
- 現在選択されているドライブモードが表示されます。ドライブモードは次のモードがあります。
 - PERSONAL
 - SPORT
 - STANDARD
 - ECO
 - ➡ ドライブモードセレクトター (P.210)



- ## e-Pedalインジケーター
- <e-Pedal>スイッチを押してe-Pedal StepをONにすると[e-Pedal]と表示し、e-Pedal StepがOFFのときは、[e-Pedal OFF]と表示します。
 - ➡ e-Pedal Step (P.209)
-
- クラシック表示
- エンハンス表示
- e-Pedalインジケーター

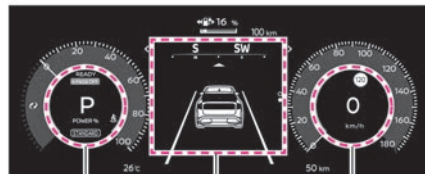
- ## 最高速度標識検知表示
- フロントガラス上部にあるマルチセンシングフロントカメラにより最高速度標識を検知し、アドバンスドドライブアシストディスプレイに表示します。
 - アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [] ⇒ [運転支援] ⇒ [標識検知支援] ⇒ [制限速度標識] を選択すると、機能のON・OFFを切り替えることができます。
- 設定の詳細については、運転支援 (➡ P.97) または (➡ P.113) をお読みください。



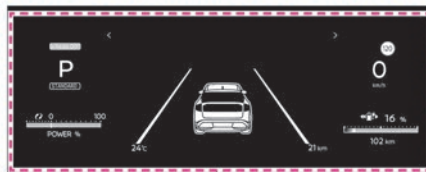
- ## アドバンスドドライブアシストディスプレイ
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで、様々な機能の作動状態を表示したり、設定したりすることができます。

計器類

アドバンスドドライブアシストディスプレイについては、(📖 P.97)をお読みください。



アドバンスドドライブアシストディスプレイ

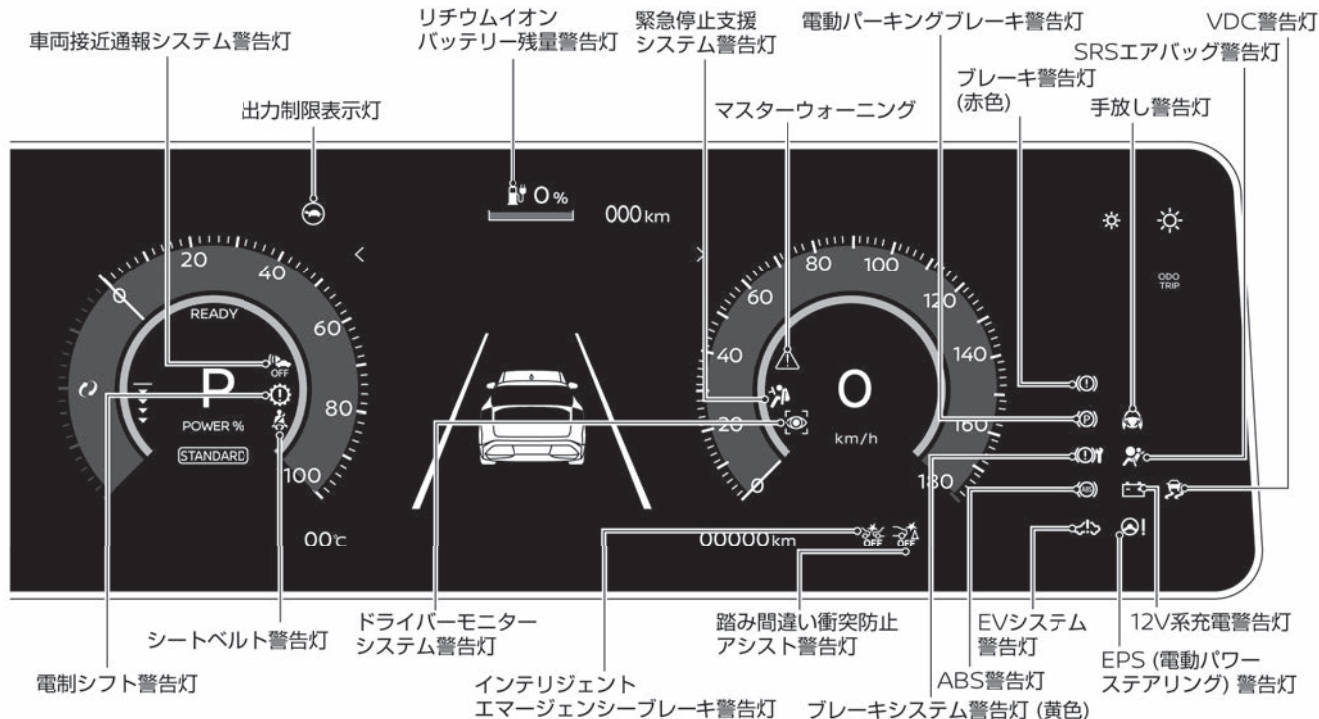


アドバンスドドライブアシストディスプレイ

警告灯の表示位置（クラシック表示）

次のイラストは、説明のため全ての警告灯を表示しています。通常は警告すべき事象がおこったときに該当の警告灯のみ点灯または点滅します。メーター表示は、クラシック表示とエンハンス表示があり、さらにエンハンス表示は表示タイプを切り替えることができます。

➡アドバンスドライバアシストディスプレイとは（ショートカットメニュー）（P.109）



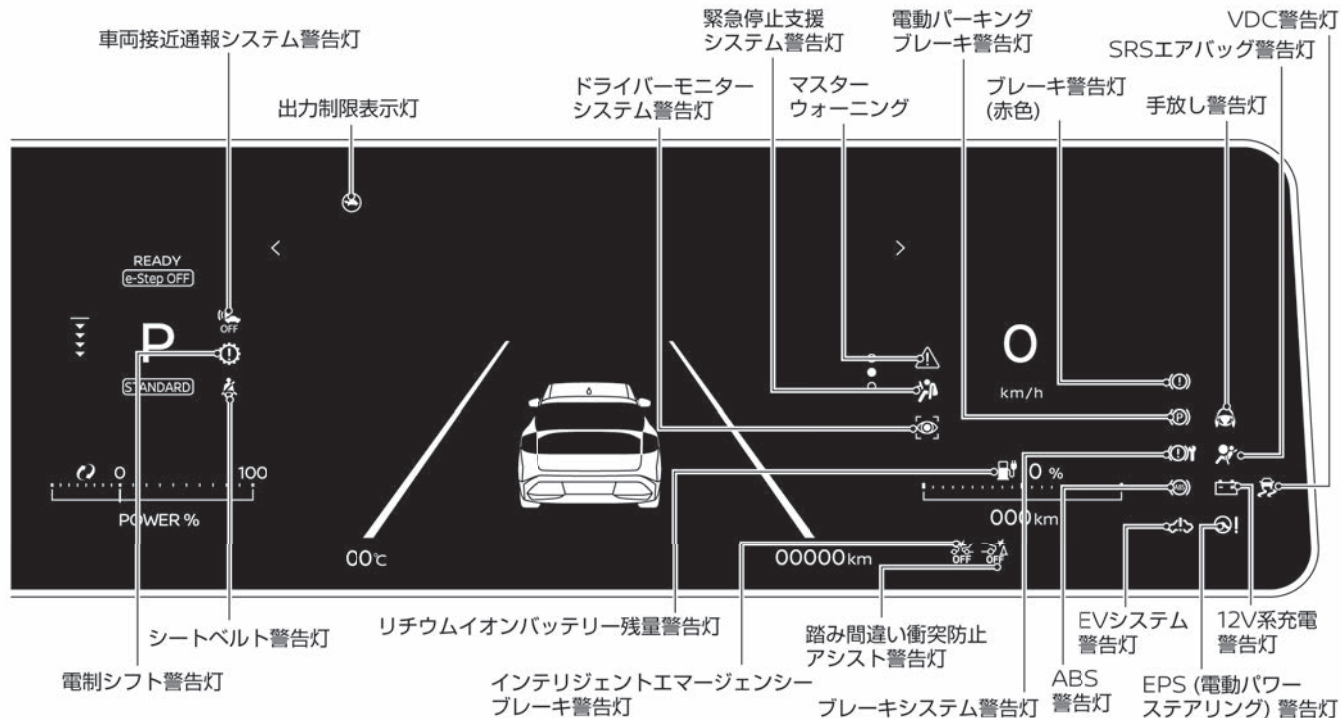
各警告灯については、(➡P.392)をお読みください。

☆／★：車両型式、オプションなどで異なる装備

警告灯の表示位置（エンハンス表示）

次のイラストは、説明のため全ての警告灯を表示しています。通常は警告すべき事象がおこったときに該当の警告灯のみ点灯または点滅します。メーター表示は、クラシック表示とエンハンス表示があり、さらにエンハンス表示は表示タイプを切り替えることができます。

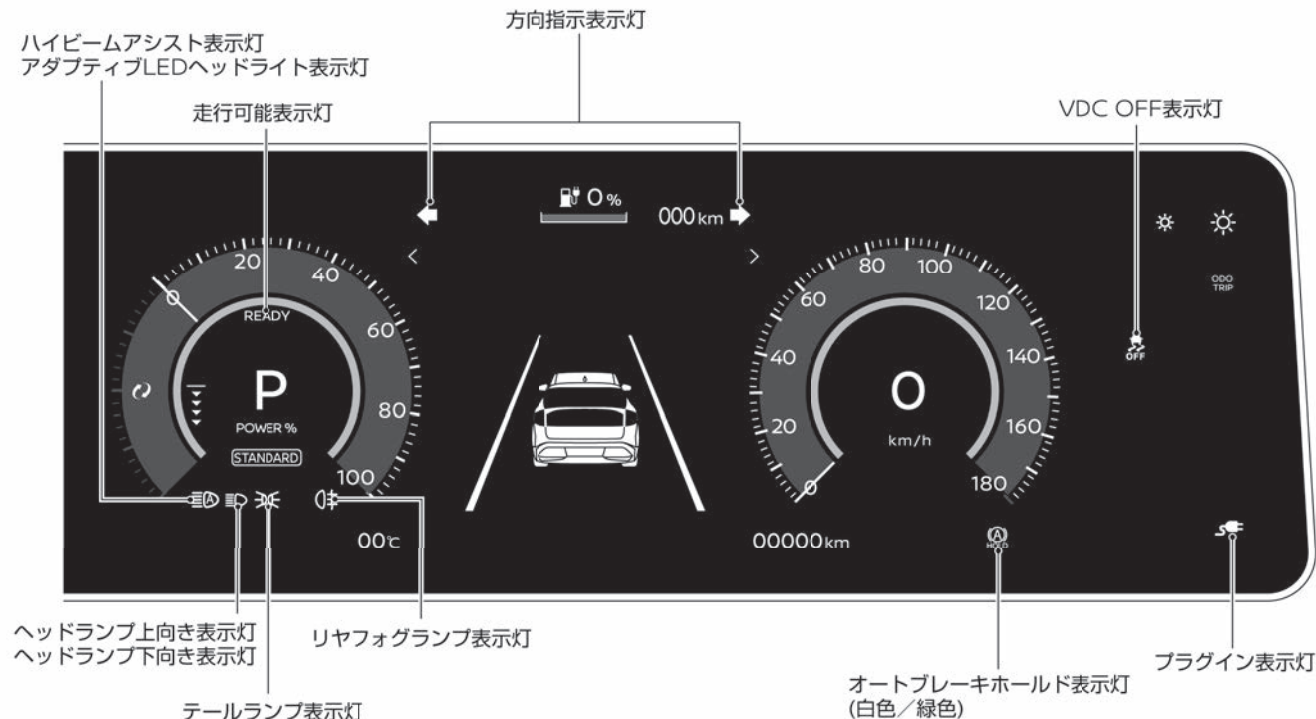
➡ アドバンスドドライブアシストディスプレイとは（ショートカットメニュー）（P.109）



各警告灯については、（➡ P.392）をお読みください。

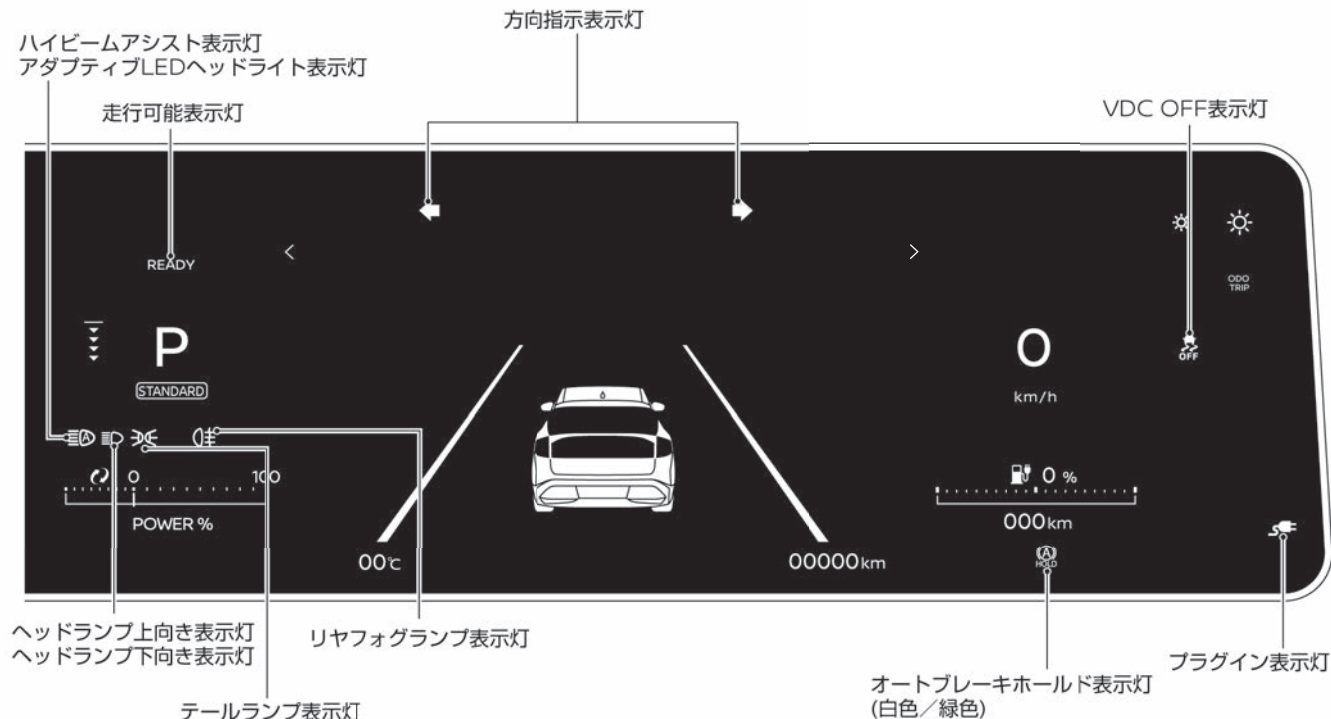
表示灯の表示位置（クラシック表示）

次のイラストは、説明のため全ての表示灯を表示しています。通常は事象がおこったときに該当の表示灯のみ点灯します。メーター表示は、クラシック表示とエンハンス表示があり、さらにエンハンス表示は表示タイプを切り替えることができます。➡ [アドバンスドドライバアシストディスプレイとは](#)（ショートカットメニュー）（P.109）



表示灯の表示位置（エンハンス表示）

次のイラストは、説明のため全ての表示灯を表示しています。通常は事象がおこったときに該当の表示灯のみ点灯します。メーター表示は、クラシック表示とエンハンス表示があり、さらにエンハンス表示は表示タイプを切り替えることができます。🔌 アドバンスドドライブアシストディスプレイとは（ショートカットメニュー）（P.109）



表示灯がついたときは

表示灯は、何らかのシステムが作動していることなどをお知らせするものです。

点灯している理由は、次の説明をお読みください。

メーター内の警告や表示は、グレード、オプションなどにより異なります。

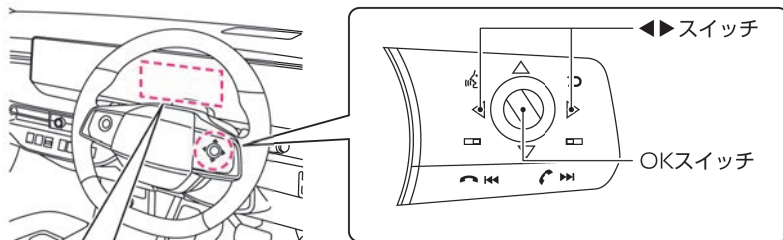
表示灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	方向指示表示灯	● <非常点滅表示灯スイッチ>を押すと左右同時に点滅します。 ● <パワースイッチ>がONのとき、方向指示器を作動させると、作動させた側のみ点滅します。	● 点滅が速くなった場合は、日産販売会社で点検を受けてください。 ➡ <u>方向指示器の使いかた (P.203)</u>
	ヘッドランプ上向き表示灯	● ヘッドランプのハイビーム（上向き）を点灯させると点灯します。	➡ <u>ハイビーム（上向き）への切り替えかた (P.202)</u>
	ヘッドランプ下向き表示灯	● ヘッドランプのロービーム（下向き）を点灯させると点灯します。	➡ <u>ライトスイッチの使いかた (P.197)</u>
	テールランプ表示灯	● 車幅灯、尾灯、番号灯を点灯させると点灯します。	➡ <u>ライトスイッチの使いかた (P.197)</u>
	リヤフォグランプ表示灯★	● リヤフォグランプを点灯させると点灯します。	➡ <u>リヤフォグランプの使いかた (P.203)</u>
	VDC OFF表示灯	● <パワースイッチ>をONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 ● <パワースイッチ>がONのとき、VDCをOFFにしていると点灯します。	➡ <u>VDC（ビークルダイナミクスコントローラ） (P.212)</u>

表示灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
 ハイビームアシスト付車	ハイビームアシスト表示灯	● ハイビームアシストをONにすると点灯します。	➡ <u>ハイビームアシスト★ (P.199)</u>
 アダプティブLEDヘッドライトシステム付車	アダプティブLEDヘッドライト表示灯	● アダプティブLEDヘッドライトシステムをONにすると点灯します。	➡ <u>アダプティブLEDヘッドライトシステム★ (P.200)</u>
 オートブレーキホールド表示灯（白色）	オートブレーキホールド表示灯（白色）	● オートブレーキホールド機能が待機状態のとき白色に点灯します。	➡ <u>オートブレーキホールド (P.192)</u>
 オートブレーキホールド表示灯（緑色）	オートブレーキホールド表示灯（緑色）	● オートブレーキホールド機能が作動しているとき緑色に点灯します。	➡ <u>オートブレーキホールド (P.192)</u>
 プラグイン表示灯	プラグイン表示灯	● 充電コネクタを接続すると点灯し、充電中は点滅します。 ● V2H給電中またはV2L（普通充電ポート）、V2L（急速充電ポート）給電中は点灯します。	● 充電コネクタを接続しても点灯しないときや、充電中に点滅しないときは、日産販売会社で点検を受けてください。
 走行可能表示灯	走行可能表示灯	● 走行できる状態になると点灯します。（走行中も点灯し続けます。）	-

アドバンスドドライブアシストディスプレイ

アドバンスドドライブアシストディスプレイとは（メインメニュー）

アドバンスドドライブアシストディスプレイで、様々な機能の作動状態を表示したり、設定したりすることができます。＜パワースイッチ＞がONのとき、ハンドル右側にある＜◀▶＞スイッチを押すと、ホーム、エコグループ、車両情報、ナビゲーション情報、オーディオ情報、走行支援グループ、警告、設定の順で表示項目が切り替わります。車種またはソフトウェア自動更新などにより表示できる項目が異なる場合があります。



- ・車種によりスイッチの形状が異なります。
- ・車種により表示できる項目が異なります。
- ・メーター表示はクラシック表示とエンハンス表示の2種類あります。イラストはクラシック表示になります。

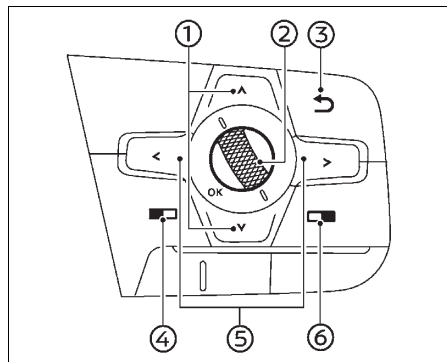
ホーム ※1※2	エコグループ ※1※2	車両情報 ※1※2	ナビゲーション 情報※1※2	オーディオ 情報※1	走行支援 グループ※1※2	警告	設定 ※2
 ・ホーム ・エンハンス表示 変更	 ・ドライブ コンピュータ ・電費情報/ エコインジケータ/ エコペダルガイド ・電費履歴	 ・充電情報 ・バッテリー容量 ・予測充電時間	 ・ナビゲーション ・マップ表示 ・コンパス表示	 ・オーディオ	 ・運転支援 ・プロパイロット ・制限速度標識	 警告が発生している 場合表示されます。	 ・VDC設定 ・運転支援 ・パーソナルディスプレイ ・ヘッドアップディスプレイ ・エコ ・時計 ・車両設定 ・EV設定 ・メンテナンス ・画面カスタマイズ ・単位/言語 ・工場出荷設定

※1 「メインメニュー選択」で選択した項目を表示します。 ※2 OKスイッチを回すと項目を選択します。

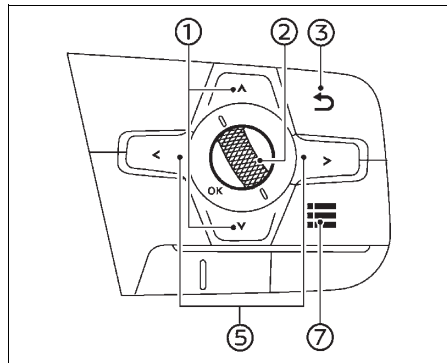
アドバンスドライバシストディスプレイ

ステアリングスイッチ

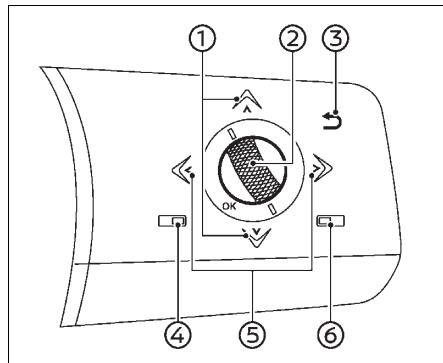
タイプA



タイプB



タイプC



- ① 上下スイッチ
上下の項目を選択します。
- ② スクロールダイヤル／OKスイッチ
上下に回して項目を選択します。押すと決定することができます。
- ③ 戻るスイッチ
前のメニューに戻ります。
- ④ メニュー操作スイッチ（左）
スイッチが点灯しているときは、ステアリングスイッチでNissanConnectインフォテインメントシステムの操作ができます。
- ⑤ 左右スイッチ
現在の表示画面カテゴリーから次の画面表示カテゴリーに移動します。
- ⑥ メニュー操作スイッチ（右）
スイッチが点灯しているときは、ステアリングスイッチでメーター画面の操作ができます。また、スイッチが点灯しているときにもう一度押す

と、ショートカットメニューを表示します。

⑦ ショートカットメニュースイッチ
よく使用する設定項目画面をすばやく表示することができます。

アドバンスドドライブアシストディスプレイ

車両情報画面

様々な車両情報を表示したり、各種設定をしたりすることができます。

ホーム

<パワースイッチ>がONのとき、ステアリングスイッチの<◀▶>スイッチでホーム [🏠] を選択し、<OK>スイッチを回すと項目が切り替わります。ステアリングスイッチの使いかたは（🔍 P.97）をお読みください。

アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [⚙️] ⇒ [画面カスタマイズ] ⇒ [メインメニュー選択] で選択していると表示します。

画面表示	項目	概要	詳細説明
	ホーム	● 次の情報を表示します。 — オーディオ情報 — ナビゲーション情報	● オーディオやナビゲーション情報、NissanConnectインフォテインメントシステムの使用状況によって、表示される項目は変わります。
	エンハンス表示変更	● エンハンス表示のタイプを切り替えます。 ● [メインメニュー選択] で [表示なし] を選択すると表示されます。	● クラシック表示のときは表示されません。

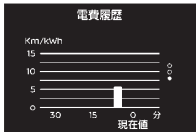
エコグループ

＜パワースイッチ＞がONのとき、ステアリングスイッチの＜◀▶＞スイッチで、エコグループ [] を選択し、＜OK＞スイッチを回すと項目が切り替わります。ステアリングスイッチの使いかたは ( P.97) をお読みください。

アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [] ⇒ [画面カスタマイズ] ⇒ [メインメニュー選択] で選択していると表示します。

画面表示	項目	概要	詳細説明
	ドライブコンピュータ	● ドライブコンピュータを表示します。ステアリングスイッチの＜OK＞スイッチを押すとリセット後、スタート後、充電後ドライブ情報の順で画面が切り替わります。リセットするときは、リセットしたい画面を表示中にステアリングスイッチの＜OK＞スイッチを長押しします。その後リセットメニューからリセットする項目を選択し、再度ステアリングスイッチの＜OK＞スイッチを押します。リセット画面が表示されるので、[[はい]] を選択し、再度ステアリングスイッチの＜OK＞スイッチを押すとリセットされます。画面の切り替えかたについては ( P.97) をお読みください。	● ドライブコンピュータの項目 - ー 平均電費 - ー 平均車速 - ー 走行時間 - ー 走行距離 ● ドライブコンピュータの平均電費をリセットすると、電費情報の平均電費もリセットされます。

アドバンスドドライブアシストディスプレイ

画面表示	項目	概要	詳細説明
	電費情報／エコインジケータ／エコペダルガイド	● ドライブモードがECO以外のときは、平均電費、瞬間電費を表示します。 ● ドライブモードがECOのときは、平均電費、エコインジケータ、エコペダルガイドを表示します。 ● ①リセットしてからの平均電費を表示します。ステアリングスイッチの<OK>スイッチを押すとリセット後、スタート後、充電後ドライブ情報の順で画面が切り替わります。リセットするときは、リセットしたい画面を表示中にステアリングスイッチの<OK>スイッチを長押しします。その後リセットメニューからリセットする項目を選択し、再度ステアリングスイッチの<OK>スイッチを押します。リセット画面が表示されるので、[はい] を選択し、再度ステアリングスイッチの<OK>スイッチを押すとリセットされます。画面の切り替えかたについては (➡ P.97) をお読みください。 ● ②現在の瞬間電費を表示します。 ● ③アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [⚙] ⇒ [エコ] ⇒ [エコ情報設定] ⇒ [エコインジケータ] の設定をONにしているとき、アクセルペダル操作に応じてエコインジケータが3段階で点灯します。 ● ④走行しているとき、アクセルペダルの踏み加減を表示します。	● 平均電費は、12Vバッテリー交換後やリセット後は [---] と表示します。 ● 平均電費は約30秒ごとに更新されます。 ● 平均電費をリセットすると、ドライブコンピュータの平均電費も連動してリセットされます。 ● エコインジケータ、エコペダルガイドの詳細については、(➡ P.102) をお読みください。
			
	電費履歴	● 5分ごとの平均電費を、最大60分前まで棒グラフで表示します。 ● クラシック表示は30分、エンハンス表示は60分で表示されます。	-

アドバンスドドライブアシストディスプレイ

■ エコインジケータ

- アドバンスドドライブアシストディスプレイでエコペダルガイドを表示して走行しているとき、アクセルペダル操作に応じてエコインジケータ①が3段階で点灯します。
- エコドライブするほど、点灯範囲が大きくなります。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [] ⇒ [エコ] ⇒ [エコ情報設定] ⇒ [エコインジケータ] を選択すると、エコインジケータのON・OFFを切り替えられます。
エコ ( P.118)
- シフトポジションが **R** のときは、点灯しません。

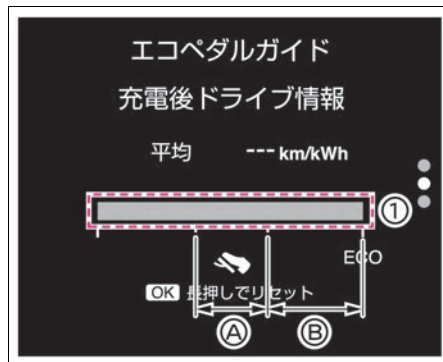


■ エコペダルガイド

- アドバンスドドライブアシストディスプレイでエコペダルガイドを表示して走行

しているとき、アクセルペダルの踏み加減を①に表示します。

- アクセルペダルの踏み加減をエコ運転領域②に入るように調整することで、電費向上につながります。
アクセルペダルの踏み加減を③の範囲内に調整することでさらなる電費向上につながります。
- シフトポジションが **R** のときは、点灯しません。



車両情報

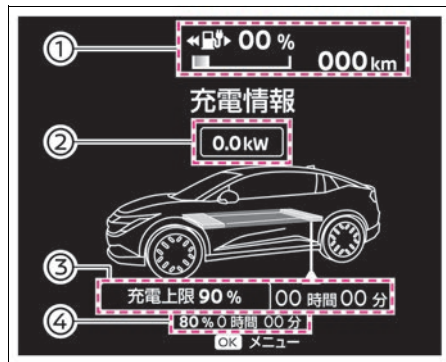
<パワースイッチ>がONのとき、ステアリングスイッチの<◀▶>スイッチで車両情報 [🚗] を選択し、<OK>スイッチを回すと項目が切り替わります。ステアリングスイッチの使いかたは (🔍 P.97) をお読みください。

アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [⚙️] ⇒ [画面カスタマイズ] ⇒ [メインメニュー選択] で選択していると表示します。

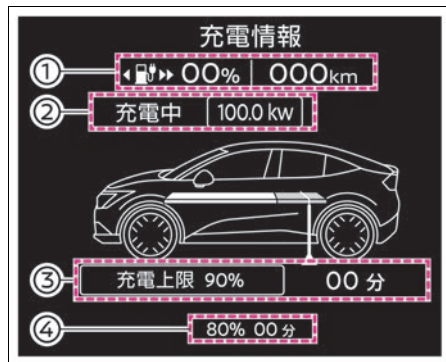
画面表示	項目	概要	詳細説明
	充電情報	● 充電完了までにかかる充電時間の目安を表示します。	● <パワースイッチ>をONにした直後は、実際にかかる時間が表示されるまで約1分かかります。また、充電が開始した直後や停止した直後は、実際にかかる時間と異なることがあります。しばらくすると正しい時間に修正されます。詳しくは、 (🔍 P.104) をお読みください。
	バッテリー容量	● リチウムイオンバッテリーの容量を表示します。	● リチウムイオンバッテリーの経年数などにより蓄電能力が低下すると、目盛りが右側から順に減少します。

アドバンスドライブアシストディスプレイ

■ 予測充電時間について



EVシステムON時



EVシステムOFF時

- ① 現在のリチウムイオンバッテリーの残量
- ② 充電時：実充電電力値
非充電時：[充電予測用電力選択] で設定した充電電力値

- ③ 設定した充電上限（この例では90%）と、そこに達するまでの充電時間の目安
- ④ 満充電の80%に達するまでの充電時間の目安（設定した充電上限が80%以下のときは表示しません）

- 推定充電時間が24時間を超えると、「24時間以上」と表示されます。
- 現在のリチウムイオンバッテリーの残量が充電上限を超えると、充電時間が非表示になります。
- リチウムイオンバッテリーの充電がほぼ完了したときは、すべての充電時間情報が空白で表示されます。
充電していないときは、ハンドルのスクロールダイヤルを押すと充電上限と充電予測用電力選択の設定メニューを表示させることができます。充電中は充電予測用電力選択の設定画面は選択できません。
- 充電中は、充電器に現在供給されている電力値に基づいて推定充電時間が算出されます。
- 充電中は、電力表示が実際の電力値に変わります。充電を停止したり、電源を停止（充電ケーブルが接続されていないなど）すると、選択した電力値に戻ります。
- 各パーセンテージレベルで表示される充電時間は、現在の推定値と実際の充電時間です。
車両の状態または充電状態によって変化します。
- 実際の充電時間は、寒冷地では表示されている充電時間より長くなる場合があります。
- 充電開始または停止直後は、実際の充電時間と異なる場合があります。しばらく

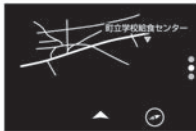
すると、現在の状態に基づいて計算された予想充電時間が表示されます。

アドバンスドライバアシストディスプレイ

ナビゲーション情報

<パワースイッチ>がONのとき、ステアリングスイッチの<◀▶>スイッチでナビゲーション情報 [📍] を選択し、<OK>スイッチを回すと項目が切り替わります。ステアリングスイッチの使いかたは (🔍 P.97) をお読みください。

アドバンスドライバアシストディスプレイで設定 [⚙️] ⇒ [画面カスタマイズ] ⇒ [メインメニュー選択] で選択していると表示します。

画面表示	項目	概要	詳細説明
	ナビゲーション	● ナビゲーション機能で目的地を設定していると、次の右左折までの距離などを表示します。 ● 目的地を設定していないときは、表示されません。 ● エンハンス表示のときは、表示されません。	● NissanConnectインフォテインメントシステムの取り扱いについては、NissanConnectインフォテインメントシステム取扱説明書をお読みください。
	マップ表示	● ナビゲーションで目的地を設定していると、ルートガイドを表示します。	
	コンパス表示	● コンパス（車両の進行方位）を表示します。	-

オーディオ情報

<パワースイッチ>がONのとき、ステアリングスイッチの<◀▶>スイッチでオーディオ情報 [🎵] を選択します。ステアリングスイッチの使いかたは (🔊 P.97) をお読みください。

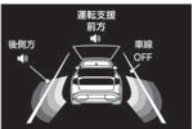
アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [⚙️] ⇒ [画面カスタマイズ] ⇒ [メインメニュー選択] で選択していると表示します。

画面表示	項目	概要	詳細説明
	オーディオ	● 現在使用中のオーディオ情報を表示します。 ● この画面を表示中に、ステアリングスイッチの<OK>スイッチを押すと、オーディオの種類を切り替えることができます。	● オーディオの取り扱いについては、NissanConnectインフォテインメントシステム取扱説明書をお読みください。

走行支援グループ（表示項目）

<パワースイッチ>がONのとき、ステアリングスイッチの<◀▶>スイッチで走行支援グループ [] を選択し、<OK>スイッチを回すと項目が切り替わります。ステアリングスイッチの使いかたは ( P.97) をお読みください。

アドバンスドライバアシストディスプレイで設定 [] ⇒ [画面カスタマイズ] ⇒ [メインメニュー選択] で選択していると表示します。

画面表示	項目	概要	詳細説明
	運転支援	● 運転支援システムのON・OFF状態を表示します。 ● この画面を表示中に、ステアリングスイッチの<OK>スイッチを押すと、走行支援システムのメニュー画面を表示し、各システムのON・OFFを設定できます。詳しくは運転支援 ( P.113) の中の該当項目をお読みください。	● 詳しくは、各走行支援システムの説明をお読みください。 －  <u>インテリジェント エマージェンシーブレーキ (P.261)</u> －  <u>BSW（後側方車両検知警報）／インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム） (P.275)</u> －  <u>LDW（車線逸脱警報）／インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム） (P.283)</u> －  <u>インテリジェント FCW（前方衝突予測警報） (P.286)</u> －  <u>衝突回避ステアリングアシスト (P.269)</u> －  <u>インテリジェント ディスタンスコントロール (P.255)</u>

アドバンスドドライブアシストディスプレイ

画面表示	項目	概要	詳細説明
	プロパイロット	● プロパイロットの作動状態を表示します。ステアリングスイッチの<プロパイロットスイッチ>を押すと、運転支援画面を表示してから数秒後にプロパイロット画面に切り替わります。 ● この画面を表示中に、ステアリングスイッチの<OK>スイッチを押すと、プロパイロットのメニュー画面を表示し、車線維持機能（ハンドル支援）のON・OFFを設定できます。	● プロパイロットについては、（➡P.222）をお読みください。 ● ブレーキランプが点灯しているときは、メーター内のブレーキランプも点灯します。
	制限速度標識	● 制限速度標識を選択しているときは、最高速度、はみ出し禁止、進入禁止、一時停止などの表示をします。 ● スピードメーター部には最高速度標識／はみ出し通行禁止標識の検知状態を表示します。	● 標識検知機能については、（➡P.293）をお読みください。

警告

警告について

- 異常を検知するとマスターウォーニング [△] が点灯し、アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告を表示します。
警告を一時的に消すときは、<OK>スイッチを押します。
- 警告が表示されたときは、すみやかに適切な処置をしてください。放置すると故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。

確認のしかた

異常を検知している場合、<パワースイッチ>がONのとき、ステアリングスイッチの<◀▶>スイッチで、警告 [△] を選

択すると、異常を検知している警告が確認できます。

警告メッセージの表示画面については、（➡P.398）をお読みください。
ステアリングスイッチの使いかたは（➡P.97）をお読みください。

アドバンスドドライブアシストディスプレイ

アドバンスドドライブアシストディスプレイとは（ショートカットメニュー）

＜パワースイッチ＞がONのとき、ステアリングスイッチの＜メニュー操作スイッチ（右）＞が点灯中にスイッチを押す、または＜≡スイッチ＞を押すと、よく使用する設定項目画面をすばやく表示することができます。メーター画面モード変更、オーディオ、運転支援などの表示項目を選択できます。グレード、オプションなどにより表示できる項目が異なる場合があります。

画面の切り替えかた（ショートカットメニュー）

アドバンスドドライブ
アシストディスプレイ

◀▶スイッチ

OKスイッチ
メニュー操作
スイッチ（右）
メニュー操作
スイッチ（左）

◀▶スイッチ

ショートカット
メニュースイッチ
OKスイッチ

メーター画面 モード変更	クラシック表示 エンハンス表示
オーディオ	AM FM 交通情報 Bluetoothオーディオ
運転支援	前方支援 側方支援 後側方支援 緊急支援

・車種により表示できる項目が異なります。

アドバンスドドライブアシストディスプレイ

メーター画面モード変更

- ショートカットメニューを表示してから「メーター画面モード変更」を選択し、<OK>スイッチを押すと表示画面が切り替わります。なおメーター表示は、クラシック表示とエンハンス表示があり、さらにエンハンス表示は表示タイプを切り替えることができます。
ステアリングスイッチの使いかたは (P.97) をお読みください。

クラシック表示

- 左側にパワーメーター、右側にスピードメーター（速度計）が大きく表示される画面です。



エンハンス表示

- 左右のアナログメーター表示をデジタル表示化および移動して、中央のアドバンスドドライブアシストディスプレイを拡大した画面です。



アドバンスドライバアシストディスプレイ

オーディオ

ショートカットメニューを表示してから<OK>スイッチを回して［オーディオ］を選択し、<OK>スイッチを押して決定することができます。

項目1	詳細説明
AM	● オーディオの取り扱いについては、NissanConnectインフォテインメントシステム取扱説明書をお読みください。機器接続状況により表示は異なります。
FM	
交通情報	
TV1	
TV2	
USB1	
USB2	
iPod1	
iPod2	
Apps	
Bluetoothオーディオ	
Apple CarPlay	
Android Auto	
HDMI	

運転支援

ショートカットメニューを表示してから<OK>スイッチを回して〔運転支援〕を選択し、<OK>スイッチを押して決定することができます。

項目1	項目2	詳細説明
側方支援	車線逸脱警報 車線逸脱防止支援	● 設定の詳細については、設定 []（各種設定画面）の運転支援をお読みください。 運転支援 (➡ P.113)
後側方支援	後側方車両検知警報 後側方衝突防止支援	
緊急支援	前方衝突防止支援	

各種設定画面

運転支援システムのON・OFF設定をはじめ、時計の調整やアラームの設定などができます。
ステアリングスイッチの使いかたは (➡ P.97) をお読みください。

設定（各種設定画面）

各種設定画面では、次の機能の設定ができます。ステアリングスイッチの<◀▶>スイッチで設定 [] を表示し、<OK>スイッチを押して設定画面を表示させ<OK>スイッチを回して選択します。<OK>スイッチを押して決定することができます。

➡ 設定例1（メインメニュー選択） (P.125)

➡ 設定例2（タイヤ） (P.125)

■ VDC設定★

項目	機能
システム	● VDC機能のON・OFFを設定します。 ➡ <u>VDCのON・OFFのしかた (P.213)</u>

アドバンスドライバアシストディスプレイ

■ 運転支援

項目1	項目2	機能
インテリジェントクルーズ (プロパイロット2.0付車)	ルート減速支援	● プロパイロット2.0の車速・車間制御機能の、ルート減速支援機能のON・OFFを設定します。 カーブを走行するとき (🔗P.234) ● ルート減速支援機能をOFFにしても、下記の設定がONの場合はカーブでの減速が作動します。 設定 [⚙] ⇒ [運転支援] ⇒ [車線維持支援] ⇒ [ハンドル支援]
	制限速度支援	● 標識検知機能で検出した速度をプロパイロット2.0の設定車速に反映させる機能のON ([手動] / [自動]) ・OFFを設定します。 標識検知機能により新しい速度標識を検出したとき (🔗P.235)
	制限速度支援設定	● 標識検知機能で検出した速度を、プロパイロットの設定車速に反映させるときのオフセット速度を選択します。 ー -10km/h～+10km/hまでの範囲内で速度を設定できます。 制限速度支援機能について (🔗P.235)
車線維持支援	ハンドル支援	● 車線維持機能 (ハンドル支援) のON・OFFを設定します。 車線維持機能 (ハンドル支援) について (🔗P.236)
	ハンズオフモード (プロパイロット2.0付車)	● 車線維持機能 (ハンドル支援) のハンドルを離して走行する機能のON・OFFを設定します。 車線維持機能 (ハンドル支援) (プロパイロット2.0付車) (🔗P.238)
車線変更支援 (プロパイロット2.0付車)	方向指示器スイッチ連動	● 車線変更支援機能の方向指示器との連動のON・OFFを設定します。 車線変更支援機能について (🔗P.244)
	追い越し支援	● 追い越し支援機能のON・OFFを設定します。 追い越し支援機能について (🔗P.247)
	追い越し支援判断	● 追い越し支援の判断を、[スポーツ] / [標準] / [コンフォート] から選択します。 追い越し支援機能について (🔗P.247)

アドバンスドライバアシストディスプレイ

項目1	項目2	機能
前方支援	ディスタンスコントロール	● インテリジェント ディスタンスコントロールのON・OFFを設定します。 ➡ <u>インテリジェントディスタンスコントロール (P.255)</u>
側方支援	車線逸脱警報	● LDW (車線逸脱警報) のON・OFFを設定します。 LDW (車線逸脱警報) (➡ P.283)
	車線逸脱防止支援	● インテリジェント LI (車線逸脱防止支援システム) のON・OFFを設定します。 インテリジェント LI (車線逸脱防止支援システム) (➡ P.283)
	警報感度	● 警報感度を、[高い]、[標準]、[低い] から選択します。 ➡ <u>インテリジェント LI (車線逸脱防止支援システム) について (P.284)</u>
	ステア振動	● ハンドルに伝わる振動を、[大]、[中]、[小] から選択します。 ➡ <u>LDW (車線逸脱警報) / インテリジェント LI (車線逸脱防止支援システム) (P.283)</u>
後側方支援	後側方車両検知警報	● BSW (後側方車両検知警報) のON・OFFを設定します。 BSW (後側方車両検知警報) (➡ P.275)
	後側方衝突防止支援	● インテリジェント BSI (後側方衝突防止支援システム) のON・OFFを設定します。 インテリジェント BSI (後側方衝突防止支援システム) (➡ P.275)
緊急支援	前方衝突防止支援	● インテリジェント エマージェンシーブレーキ、インテリジェント FCW (前方衝突予測警報)、衝突回避ステアリングアシストのON・OFFを設定します。 ➡ <u>インテリジェントエマージェンシーブレーキ (P.261)</u> ➡ <u>インテリジェントFCW (前方衝突予測警報) (P.286)</u> ➡ <u>衝突回避ステアリングアシスト (P.269)</u>
	警報感度	● 警報感度を、[遅め]、[標準]、[早め] から選択します。

アドバンスドライバアシストディスプレイ

項目1	項目2	機能
先行車発進お知らせ		● 先行車発進お知らせを、[OFF]、[遅め]、[標準]、[早め]から選択します。 ➡ <u>先行車発進お知らせ (P.299)</u>
標識検知支援	制限速度標識	● 最高速度標識検知／はみ出し通行禁止標識検知のON・OFFを設定します。 ➡ <u>標識検知機能 (P.293)</u>
	制限速度警報	● 制限速度警報のON・OFFを設定します。
	道路標識	● 進入禁止標識検知／一時停止標識検知のON・OFFを設定します。 ➡ <u>標識検知機能 (P.293)</u>

アドバンスドライバアシストディスプレイ

項目1	項目2	機能
駐車支援	踏み間違い衝突防止支援	● 踏み間違い衝突防止アシストのON・OFFを設定します。 ➡ <u>踏み間違い衝突防止アシスト (P.269)</u>
	後退時車両検知警報	● RCTA（後退時車両検知警報）のON・OFFを設定します。 ➡ <u>RCTA（後退時車両検知警報） (P.289)</u>
	移動物検知	● 移動物 検知のON・OFFを設定します。 移動物 検知機能について (➡ P.312)
	前方ソナー	● フロントソナーのON・OFFを設定します。 ➡ <u>ソナー表示 (P.126)</u>
	後方ソナー	● リヤソナーのON・OFFを設定します。 ➡ <u>ソナー表示 (P.126)</u>
	ソナー検知距離	● ソナー検知距離を [遠]、[中]、[近] から選択します。障害物までの最長距離が110% [遠]、100% [中]、90% [近] で変更できます。 [中] を選択したときの障害物までの最長距離は、(➡ P.313) をご参照ください。 ➡ <u>ソナー表示 (P.126)</u>
	ソナー自動表示	● 障害物に近づいたときの、割り込み表示ON・OFFを設定します。 ➡ <u>ソナー表示 (P.126)</u>
	ソナー音量	● ボリューム（警告音（ブザー））を、[大]、[中]、[小] から選択します。 ➡ <u>ソナー表示 (P.126)</u>
ドライバーモニター	ふらつき警報	● インテリジェント DA（ふらつき警報）のON・OFFを設定します。 ➡ <u>インテリジェント DA（ふらつき警報） (P.292)</u>
	ドライバーモニターカメラ（プロパイロット2.0付車）	● ドライバーモニターシステムのON・OFFを設定します。 ドライバーモニターシステムについて (➡ P.297)
運転支援サウンド設定（プロパイロット2.0付車）	警報音設定	● 運転支援の警報音の音量を、[大]、[中]、[小] から選択します。

アドバンスドライバアシストディスプレイ

項目1	項目2	機能
走行時間	---分／---分	● 設定した時間まで連続走行したことをお知らせします。 <OK>スイッチを回すと分が切り替わり、<OK>スイッチを押すと決定します。 - ー 最大360分まで設定できます - ー 設定時間は30分単位で切り替わります (<<>スイッチを押すと設定前の画面に戻ります)
	リセット	● [はい] を選択すると、走行した時間をリセットできます。
凍結注意		● 外気温が3℃以下になったときに表示する凍結注意表示のON・OFFを設定します。
e-Pedal	モード記憶	● e-Pedal Step機能のモード記憶のON・OFFを設定します。 ONにすると、EVシステム再始動後も、設定状態を維持できます。 ➡ <u>e-Pedal Step (P.209)</u>

■ ヘッドアップディスプレイ★

走行中は操作できません。

項目1	項目2	機能
明るさ		● ヘッドアップディスプレイ表示の明るさを設定します。 - ー -10～10までの範囲内で明るさを設定できます ヘッドアップディスプレイの調整のしかた (➡ P.132)
高さ		● ヘッドアップディスプレイ表示の高さを設定します。 - ー -10～10までの範囲内で高さを設定できます ヘッドアップディスプレイの調整のしかた (➡ P.132)
傾き		● ヘッドアップディスプレイ表示の傾きを設定します。 - ー -10～10までの範囲内で傾きを設定できます ヘッドアップディスプレイの調整のしかた (➡ P.132)

アドバンスドライバアシストディスプレイ

項目1	項目2	機能
表示項目	ナビゲーション	● ナビゲーション情報表示のON・OFFを設定できます。
	運転支援	● 運転支援表示のON・OFFを設定できます。
	制限速度標識	● 最高速度標識表示のON・OFFを設定できます。
	電話	● ハンズフリーフォン表示のON・OFFを設定できます。
リセット		● ヘッドアップディスプレイの設定を初期設定に戻します。 ステアリングスイッチの<OK>スイッチを押すとリセット画面が表示されるので、[はい]を選択し、再度ステアリングスイッチの<OK>スイッチを押すとリセットされます。 ヘッドアップディスプレイの調整のしかた (➡P.132)

■ エコ

走行中は操作できません。

項目1	項目2	機能
エコ情報設定	エコインジケータ	● エコインジケータのON・OFFを設定します。 OFFにすると、エコインジケータが表示されなくなります。 エコインジケータ (➡P.102)
	エコドライブレポート	● エコドライブレポートのON・OFFを設定します。 OFFにすると、エコドライブレポートが表示されなくなります。 エコドライブレポート (➡P.127)
電費履歴リセット		● 電費履歴画面を表示します。 ● リセットするときは、この画面を表示中にステアリングスイッチの<OK>スイッチを押します。リセット画面が表示されるので、[はい]を選択し、再度ステアリングスイッチの<OK>スイッチを押すとリセットされます。

アドバンスドライバアシストディスプレイ

■ 時計

走行中は操作できません。

項目1	項目2	機能
表示		● 時計表示のON・OFFを設定します。 時計 (👉 P.86)
時計設定モード★	自動	● GPSからの情報を使って自動で時刻を設定します。
	手動	● [時計設定] から手動で時刻を設定します。
時間表示★		● <OK>スイッチを押すと12時間表示、24時間表示を切り替えます。
時計設定★		● 時計を設定します。 ① <OK>スイッチを押すと「時」調整画面に切り替わります。 ② <OK>スイッチを回して「時」を調整します。 ③ <OK>スイッチを押すと「分」調整画面に切り替わります。 ④ <OK>スイッチを回して「分」を調整します。 ⑤ <OK>スイッチを押すと時刻が設定されます。 (<◀>スイッチを押すと前の調整画面に戻ります)

アドバンスドライバアシストディスプレイ

■ 車両設定

走行中は操作できません。

項目1	項目2	機能
パワーバックドア★		● リモコンオートバックドアのON・OFFを設定します。 リモコンオートバックドア (➡ P.146)
ライト/照明	ウエルカムライト	● ウェルカムライト機能のON・OFFを設定します。 ウェルカムライト機能 (フェアウェル機能付) (➡ P.203)
	オートライト感度調整★	● インテリジェント オートライトシステム (フロントワイパー連動、薄暮れ感知「おもいやりライト」機能付) の点灯タイミングを、[より早い]、[早い]、[標準]、[遅い] から選択します。 ➡ <u>AUTO (自動点灯・消灯) の使いかた (P.198)</u>
	デイトタイムランニングランプ	● デイトタイムランニングライト機能のON・OFFを設定します。
	ワイパー連動ヘッドライト	● ワイパー連動ヘッドライト機能のON・OFFを設定します。
ロック	降車時オートロック	● 降車時オートロック機能のON・OFFを設定します。 降車時オートロック機能 (➡ P.138)
	接近時アンロック	● 接近時アンロック機能のON・OFFを設定します。 接近時アンロック機能 (➡ P.137)
	keyエントリー	● ドアハンドルのセンサーでの施錠・解錠機能のON・OFFを設定します。 ➡ <u>インテリジェントキー機能による施錠・解錠のしかた (P.142)</u>
ワイパー	車速連動★	● 車速連動のON・OFFを設定します。 ➡ <u>フロントワイパーの使いかた (P.204)</u>
	雨滴感知★	● 雨滴感知機能のON・OFFを設定します。 ➡ <u>フロントワイパーの使いかた (P.204)</u>
	ドリップ拭き取り	● ドリップ拭き取り機能のON・OFFを設定します。

アドバンスドライバアシストディスプレイ

項目1	項目2	機能
パーソナルドライブモード	パワートレイン	● パワートレインのモードを [SPORT]、[STANDARD]、[ECO] から選択します。 ➡ <u>ドライブモードについて (P.210)</u>
	回生ブレーキ	● 回生ブレーキのレベルを [レベル1]、[レベル2]、[レベル3]、[レベル4] から選択します。 レベルが上がるほど回生ブレーキ量が強くなります。また、回生ブレーキコントロールパドル付車では、この設定が PERSONALモードに変更したときの回生ブレーキの強さになります。 ➡ <u>ドライブモードについて (P.210)</u> ➡ <u>回生ブレーキコントロールパドル★ (P.190)</u>
	ステアリング	● ステアリングのモードを [SPORT]、[STANDARD] から選択します。 ➡ <u>ドライブモードについて (P.210)</u>
	リセット	● パーソナルドライブモードの設定を初期値に戻します。パワートレイン・ステアリングはSTANDARDになり、回生ブレーキはレベル2に戻ります。
運転姿勢★	降車時シート退避	● シートの退避・復帰機能のON・OFFを設定します。 パーソナルドライビングポジションメモリーシステムの設定のしかた (➡ P.156)
後席リマインダー		● 後席リマインダーのON・OFFを設定します。

アドバンスドライバアシストディスプレイ

項目1	項目2	機能
ドアミラー	自動開閉OFF	● ドアロック連動格納機能がOFFになります。 ➡ ドアロック連動格納機能について (P.167)
	パワーON連動	● ドアロック連動格納機能がONになります。＜パワースイッチ＞をONにしたときにドアミラーが開く設定になります。 ➡ ドアロック連動格納機能について (P.167)
	ドアアンロック連動	● ドアロック連動格納機能がONになります。リモコンまたは、ドアハンドルのセンサーで解錠すると、ドアミラーが開く設定になります。また、＜パワースイッチ＞をONにしたときもドアミラーが開きます。 ➡ ドアロック連動格納機能について (P.167)

■ EV設定

走行中は操作できません。

項目	機能
充電コネクタロック	● 充電コネクタロックモードを、[AUTO]、[LOCK]、[UNLOCK] から選択します。 ➡ 充電コネクタロックモードの設定のしかた (P.38)
充電予測用電力選択	● 予測充電時間に表示させる充電電力値を、[最大電力(急速充電)]、[50kw(急速充電)]、[6kw]、[3kw] から選択します。 ➡ 予測充電時間について (P.104)
給電機能	● V2L(普通充電ポート)や100V AC電源(1500W)を使用するときに、給電が停止されるバッテリー量を、10～95%から選択します。 ● パワーOFF時表示の[ON]を選択すると、＜パワースイッチ＞をOFFにしたときに給電情報が常に表示されます。
充電リマインダー距離	● 充電を忘れないように、任意の距離で表示されるように50から120kmで選択できます。 - ー 設定距離は10km単位で切り替わります。
充電上限	● リチウムイオンバッテリーの充電上限を、40～100%で選択できます。

アドバンスドライバアシストディスプレイ

■ メンテナンス

走行中は操作できません。

項目	機能
タイヤ ユーザー	● [メンテナンス] では、次回メンテナンスを行うまでの距離を設定できます。設定値を超えるとメンテナンスする距離がきたことを表示で知らせます。（定期交換部品等の交換距離については、別冊のメンテナンスノートをお読みください。） － <OK>スイッチを回すと距離が切り替わり、<OK>スイッチを押すと決定します。（<◀>スイッチを押すと設定前の画面に戻ります） － 500km～30,000kmまでの範囲内で距離を設定できます。 － 設定距離は500km単位で切り替わります。 － [リセット] を選択して<OK>スイッチを押すとリセット画面が表示されます。[はい] を選択し、再度<OK>スイッチを押すと走行した距離をリセットできます。 ● 機能を停止することができます。 － 停止する場合は、距離表示を [---] に合わせ<OK>スイッチを押し決定します。

■ 画面カスタマイズ

走行中は操作できません。

項目1	項目2	項目3	機能
メーター画面モード変更			● メーター表示をクラシック表示かエンハンス表示に切り替えれます。
メインメニュー選択			● 車両情報画面で表示させたい項目を選択することができます。 ➡ <u>車両情報画面 (P99)</u>
ナビゲーション設定	自動割込み設定		● 自動割込み設定のON・OFFを設定します。
プロパイロット画面切替★			● プロパイロット画面切替のON・OFFを設定します。 - ONにするとプロパイロットのシステムをONにしたとき、画面がプロパイロット画面に切り替わります。 ➡ <u>プロパイロット (P222)</u>

アドバンスドライバアシストディスプレイ

項目1	項目2	項目3	機能
メーター演出	アニメーション		● ディスプレイ演出のON・OFFを設定します。 OFFにすると、EVシステム始動時のアニメーションがOFFになります。
	サウンド		● ディスプレイ演出のON・OFFを設定します。 OFFにすると、EVシステム始動時および停止時のサウンドがOFFになります。
オペレーションガイダンス	ライト		● ライトスイッチを回したとき、スイッチ位置をメーター内にポップアップで表示する機能のON・OFFを設定します。
	ワイパー	フロント	● ワイパースイッチを動かしてフロントワイパーを作動させたときに、スイッチ位置をメーター内にポップアップで表示する機能のON・OFFを設定します。 ➡ <u>フロントワイパーの使いかた (P.204)</u>
	ハイビームアシスト★		● ライトスイッチが<AUTO>の位置以外でハイビームアシストのスイッチを押したときに、ガイダンスをメーター内にポップアップで表示する機能のON・OFFを設定します。 ➡ <u>ハイビームアシスト★ (P.199)</u>
	アダプティブヘッドライト★		● ライトスイッチが<AUTO>の位置以外でアダプティブLEDヘッドライトシステムのスイッチを押したときに、ガイダンスをメーター内にポップアップで表示する機能のON・OFFを設定します。 アダプティブLEDヘッドライトシステム (➡ P.200)
	シートメモリー★		● パーソナルドライビングポジションメモリーシステムのスイッチを押したときに、作動状態をメーター内にポップアップで表示する機能のON・OFFを設定します。 パーソナルドライビングポジションメモリーシステム (➡ P.156)

■ 単位／言語

走行中は操作できません。

項目	機能
距離/電費	● 距離と電費の表示単位を表示します。
温度	● 温度の単位を℃ または°F に切り替えます。

アドバンスドライバアシストディスプレイ

項目	機能
言語	● 表示言語を日本語またはEnglishに切り替えます。

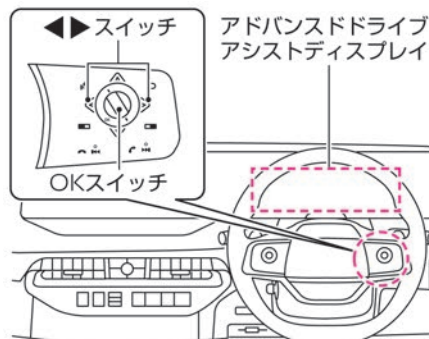
■ 工場出荷設定

走行中は操作できません。

機能
工場出荷時の設定にリセットすることができます。 ● 〔はい〕を選択すると、各種設定が初期化されます。

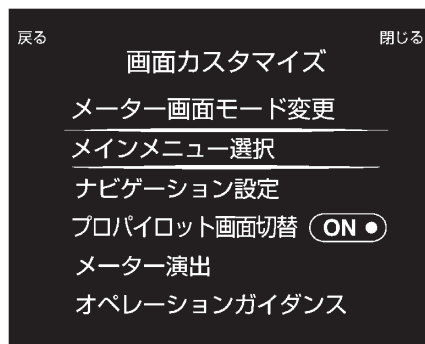
設定例1 (メインメニュー選択)

- ステアリングスイッチの<◀▶>スイッチを数回押し、設定〔⚙〕画面を表示して<OK>スイッチを押します。

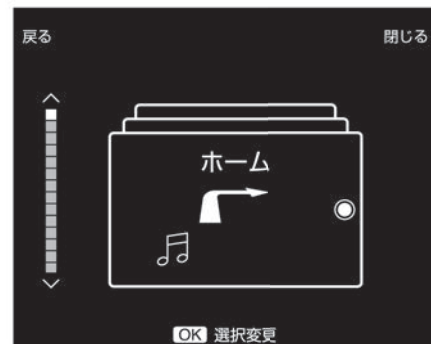


- ステアリングスイッチの<OK>スイッチを回して、〔画面カスタマイズ〕を選択し、<OK>スイッチを押して決定します。

- ステアリングスイッチの<OK>スイッチを回して、〔メインメニュー選択〕を選択し、<OK>スイッチを押して決定します。



- 表示させたい項目を、ステアリングスイッチの<OK>スイッチを回して選択し、<OK>スイッチを押して選択すると表示できるようになります。



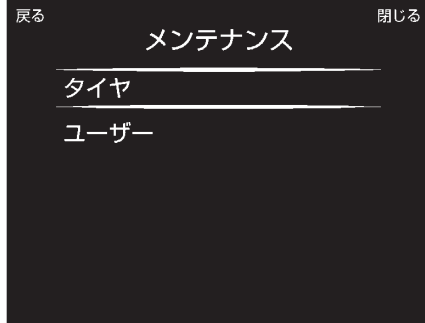
設定例2 (タイヤ)

- ステアリングスイッチの<◀▶>スイッチを数回押し、設定画面を表示して<OK>スイッチを押します。
- ステアリングスイッチの<OK>スイッチを回して、〔メンテナンス〕を選択し、<OK>スイッチを押して決定します。
- ステアリングスイッチの<OK>スイッチを回して、〔タイヤ〕を選択

アドバンスドドライブアシストディスプレイ

し、＜OK＞スイッチを押して決定します。

※機能を停止する場合は、距離表示を [---] に合わせ＜OK＞スイッチを押して決定します。



4. [タイヤ] 画面でステアリングスイッチの＜OK＞スイッチを押して、次回メンテナンスを行う距離の設定画面に進みます。（[---km/---km]の右側の表示）

※左側の表示は、設定後に走行した距離を表示します。

リセットを選択してステアリングスイッチの＜OK＞スイッチを押すと走行した距離をリセットできます。（[---km/---km]の左側の表示）

5. 次回メンテナンスを行う距離を設定できます。（手順4 [---km/---km]右側の表示）

ステアリングスイッチの＜OK＞スイッチを回して距離を切り替え、＜OK＞スイッチを押して決定します。

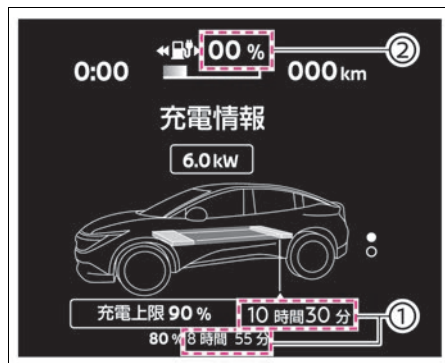
設定距離は500km単位で切り替わります。

充電情報表示画面

充電情報表示

次の場合に約30秒間表示します。

- ＜パワースイッチ＞をOFFにしたとき
- ＜パワースイッチ＞がOFFのときにドアを開けたとき
- ＜パワースイッチ＞がOFFのときに急速充電を開始したとき
- ＜パワースイッチ＞がOFFで急速充電中にドアを解錠したとき



車両の状態により表示は異なります。

①：予測充電時間表示

- 充電時は、充電時のみ、現在充電中の電力で計算した予測時間を表示します。

- 充電していないときは、リチウムイオンバッテリー残量と航続可能距離を表示します。

- 充電情報表示画面と予測充電時間に表示される充電時間は、更新のタイミングが異なるため、表示される時間が異なる場合があります。寒冷時は、予測充電時間より実際の充電時間が長くなることがあります。

- リチウムイオンバッテリー温調システム★が作動しているときは、充電時間が長く表示される場合があります。

- 各電力値で充電時間を確認したい場合は、[予測充電時間]表示で確認してください。

➡予測充電時間について (P.104)

②：充電量表示

- 現在のリチウムイオンバッテリー充電量を表示します。

その他の表示機能

ソナー表示

- 車両が障害物に近づくと、アドバンスドドライブアシストディスプレイのソナー表示色が緑→黄→赤の順に切り替わり、警報音（ブザー）が鳴ります。

表示色	警報音
緑	ピッ、ピッ、ピッ・・・
黄	ピピピピピ・・・
赤	ピー

- 次の場合にソナー機能が作動します。

アドバンスドドライブアシストディスプレイ

- シフトポジションを**R**にしたとき
- シフトポジションが**D**または**B★**で障害物を検知したとき（約10km/h以下）
- ソナー表示中にステアリングスイッチの<OK>スイッチ、<◀▶>スイッチを押す、または<OK>スイッチを回すと一時的にソナー機能を停止できます。
- ただし次の場合は、一時停止が解除されます。
 - シフトポジションを**N**、**P**にしたとき
 - 約12km/h以上で走行したとき
- ソナーについては、（➡P.313）をお読みください。

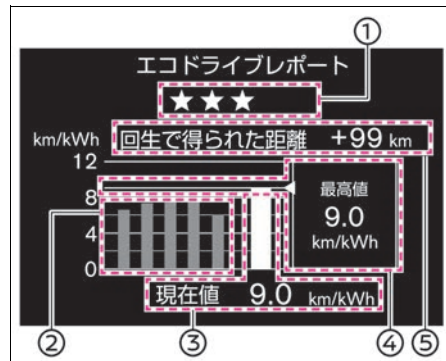


- アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [⚙️] ⇒ [運転支援] ⇒ [駐車支援] を選択すると、ソナー機能の各種設定が行えます。

- 設定の詳細については、運転支援をお読みください。
- ➡ アドバンスドドライブアシストディスプレイとは（メインメニュー）（P.97）
- ➡ 運転支援（P.113）
- ソナーが障害物を検知すると、ソナー画面が割り込み表示します。割り込み表示はOFFにすることができます。
- ➡ 運転支援（P.113）
- ソナーのお手入れについては、（➡P.459）をお読みください。
- 障害物の検知は前方及び後方のソナーセンサーを使用して検知をします。

エコドライブレポートについて

<パワースイッチ>をOFFにすると、エコドライブレポート画面を表示します。今回の評価などの結果表示は、約10分以上走行したときに表示します。



- ① **今回の評価**
エコドライブするほど★が増えます。
 - ② **履歴**
過去5回分の平均電費を表示します。
 - ③ **現在値**
今回の平均電費を表示します。
 - ④ **最高値**
過去のベスト電費を表示します。
 - ⑤ **回生で得られた距離**
今回の走行で回生した電力量を距離換算で表示します。
- 走行したルートのおおむねが下り坂だった場合、回生量が大きく、回生で得られた距離⑤が走行した距離以上になることがあります。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [⚙️] ⇒ [エコ] ⇒ [エコ情報設定] ⇒ [エコドライブレポート] を選択すると、エコドライブレポートの表示・非表示を切り替えることができます。
- 設定の詳細については、エコ（➡P.118）をお読みください。

着信表示

- 携帯電話をハンズフリー接続しているときに、着信すると表示します。ハンズフリーフォンについては、NissanConnectインフォテインメントシステム取扱説明書をお読みください。

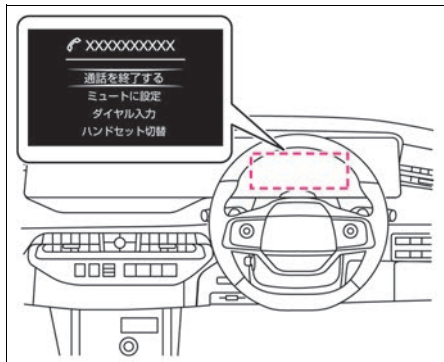
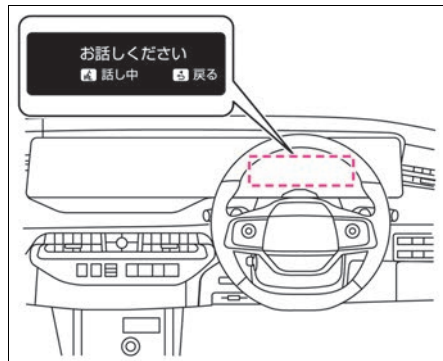
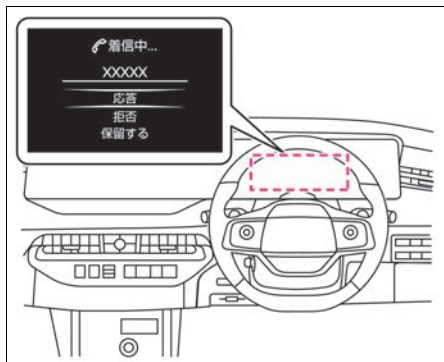
アドバンスドドライブアシストディスプレイ

音声操作表示★

- NissanConnectインフォテインメントシステムで音声操作を行うと、アドバンスドドライブアシストディスプレイに音声操作表示をします。
音声操作については、NissanConnectインフォテインメントシステム取扱説明書をお読みください。

通話表示

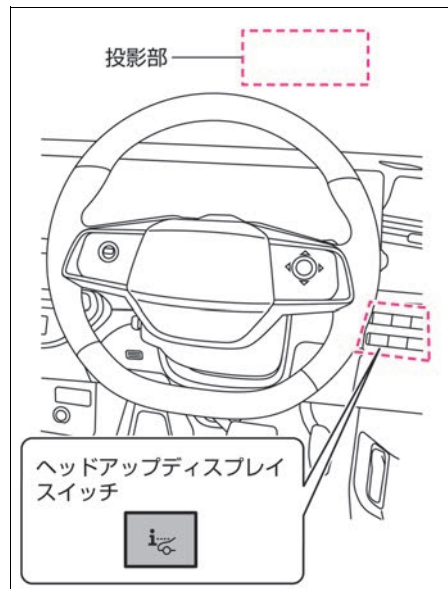
- 携帯電話をハンズフリー接続しているときに、通話すると表示します。
ハンズフリーフォンについては、NissanConnectインフォテインメントシステム取扱説明書をお読みください。



ヘッドアップディスプレイ★

ヘッドアップディスプレイとは

ヘッドアップディスプレイは車速、走行支援システム、ナビゲーションなどのルートガイドなど、様々な機能の作動状態をフロントガラスに投影することができます。

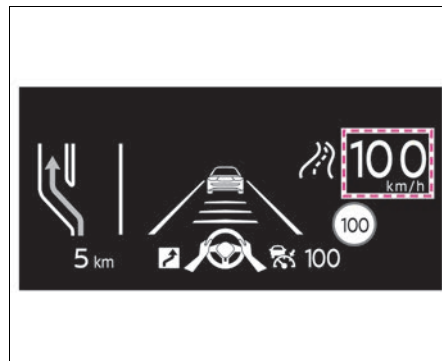


- 車速表示
- 速度標識表示
- ナビゲーション表示
- メッセージ表示
- プロパイロット2.0／走行支援システム表示
- 警告メッセージ
- 電話

走行支援機能画面

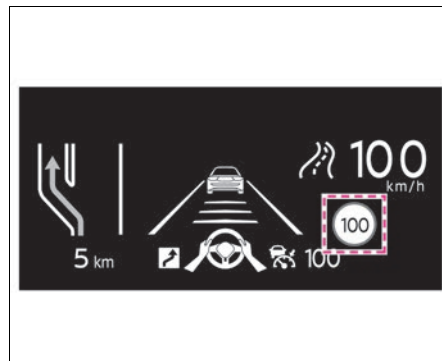
車速表示

- 走行速度を表示します。
- <パワースイッチ>をONにしたときは、車速のみが表示されます。



速度標識表示

- 検知した速度標識を表示します。



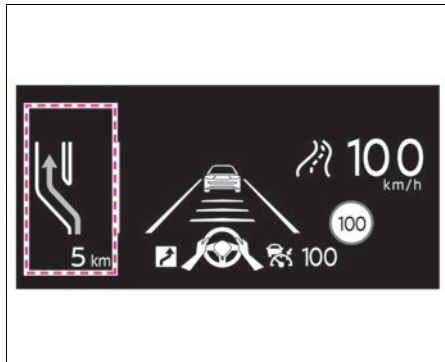
ヘッドアップディスプレイ★

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで次の操作をすると、表示・非表示の設定ができます。

設定 [] ⇒ [ヘッドアップディスプレイ] ⇒ [表示項目] ⇒ [制限速度標識]
詳しくは、 ヘッドアップディスプレイ★ (P.117)をお読みください。

ナビゲーション表示★

- ナビゲーション機能で目的地を設定していると、次の右左折地点までの距離などを表示します。



- アドバンスドドライブアシストディスプレイで次の操作をすると、表示・非表示の設定ができます。

設定 [] ⇒ [ヘッドアップディスプレイ] ⇒ [表示項目] ⇒ [ナビゲーション]

詳しくは、 ヘッドアップディスプレイ★ (P.117)をお読みください。

メッセージ表示

- プロパイロット操作ガイドなどが表示されます。



- アドバンスドドライブアシストディスプレイで次の操作をすると、表示・非表示の設定ができます。

設定 [] ⇒ [ヘッドアップディスプレイ] ⇒ [表示項目] ⇒ [運転支援]

詳しくは、 ヘッドアップディスプレイ★ (P.117)をお読みください。

プロパイロット2.0／走行支援システム表示

- プロパイロット2.0の作動状態、先行車や車線の検知状態を表示します。
詳しくは、プロパイロット2.0の説明をお読みください。
プロパイロット2.0 ( P.222)



- アドバンスドドライブアシストディスプレイで次の操作をすると、表示・非表示の設定ができます。

設定 [] ⇒ [ヘッドアップディスプレイ] ⇒ [表示項目] ⇒ [運転支援]

詳しくは、 ヘッドアップディスプレイ★ (P.117)をお読みください。

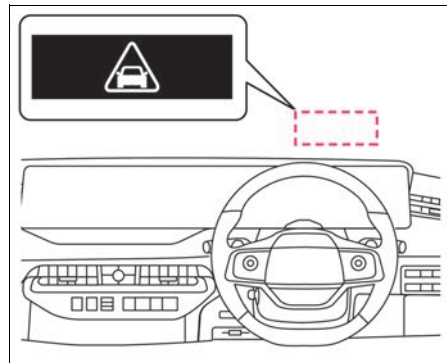
警告メッセージ

- 次のシステムが作動すると警告メッセージが表示されます。
詳しくは、各走行支援機能の説明をお読みください。

- ー プロパイロット2.0 ( P.222)
- ー インテリジェントエマージェンシーブレーキ ( P.261)
- ー 踏み間違い衝突防止アシスト ( P.269)
- ー 衝突回避ステアリングアシスト ( P.269)

ヘッドアップディスプレイ★

- 警告メッセージの表示画面については、(→P.398)をお読みください。
- <ヘッドアップディスプレイスイッチ>がOFFの場合でも、警告メッセージは表示されます。



各種設定画面

ヘッドアップディスプレイの注意事項

⚠ 注意

- ヘッドアップディスプレイの明るさ、および表示位置を適正に調整する。
運転者の視界が妨げられ、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ヘッドアップディスプレイを見続けない。
車両、歩行者、障害物などが見えにくくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

● ヘッドアップディスプレイの調整は、必ず走行前に行う。

走行中に調整すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

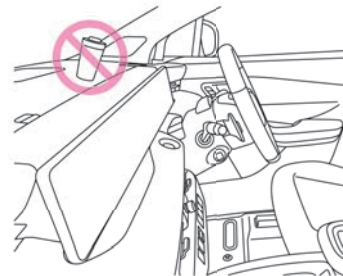
- 偏光サングラスを着用すると表示が見えにくくなることがあります。
- 気象条件（雨、雪、太陽の光、温度など）によっては、表示が見えにくくなることがあります。
- 塵、ほこりなどの堆積物はほこり取りワイパーなどで除去してください。
- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の洗剤を使用しないでください。変色やしみができ、ヘッドアップディスプレイが正しく表示されなくなるおそれがあります。
- 飲物をこぼしたときは、クリーンクロスや眼鏡クリーナーなどの乾いた柔らかい布で軽くふいてください。ふいても除去しきれない場合は、水に浸した柔らかい布を固くしぼってからふき取り、そのあとに乾いた柔らかい布で水分をふき取ってください。
- 乾いた布やティッシュ、ウエットティッシュなどを使用しないでください。傷がつく原因になります。



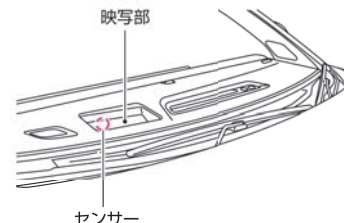
アドバイス

- ヘッドアップディスプレイの映写部に物を置いたり、シールなどを貼り付けたりしないでください。ヘッドアップディスプレイの表示の妨げとなります。

- ヘッドアップディスプレイ部には手を触れないでください。故障の原因となります。
- ヘッドアップディスプレイ周辺には飲物を置かないでください。液体が映写部にかかるため故障の原因になります。



- ヘッドアップディスプレイの映写部に強く触れたり、とがったものを押し付けたりすると故障の原因になります。



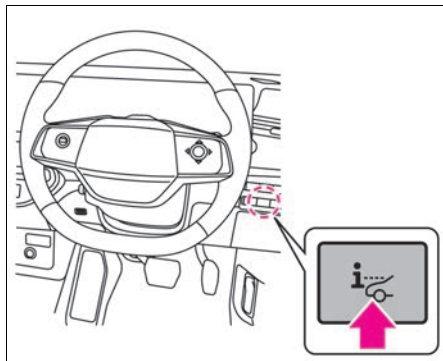
ヘッドアップディスプレイ★

🚗 アドバイス

- ヘッドアップディスプレイには、映像の明るさをコントロールするためのセンサーが内蔵されています。センサーを物で塞いでしまうとディスプレイが暗くなってしまう、表示が見えにくくなります。
- ヘッドアップディスプレイのセンサーに強い光を当てないでください。故障の原因になります。
- ヘッドアップディスプレイの画像がゆがんで見える場合は、日産販売会社で点検を受けてください。
- ヘッドアップディスプレイの画像を鮮明に表示するため、専用のフロントガラスを使用しています。フロントガラスの交換が必要な場合は、日産販売会社にご相談ください。

ON・OFFのしかた

- <パワースイッチ>がONのとき、<ヘッドアップディスプレイスイッチ>を押すと表示します。
- <ヘッドアップディスプレイスイッチ>を押すごとに、ON・OFFを切り替えることができます。
- <ヘッドアップディスプレイスイッチ>のON・OFF設定は、EVシステムを停止しても再度設定を変更するまでその状態が維持されます。



● 本製品には、次のソフトウェアが含まれています。

- ① パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社（「パナソニック」）により、またはパナソニックのために開発されたソフトウェア
 - ② パナソニックにライセンスされた第三者所有のソフトウェア
 - ③ オープンソースソフトウェア
- 上記③に分類されるソフトウェアには、次のwebサイトに記載されているライセンス情報が適用される様々なソフトウェアを含むオープンソースソフトウェア（OSS）が含まれています。
- <http://car.panasonic.jp/oss/j03l1nna>

ヘッドアップディスプレイの調整のしかた

- ヘッドアップディスプレイの表示がOFFだとアドバンスドドライブアシストディ

スプレイの設定 [⚙️] ⇒ [ヘッドアップディスプレイ] が操作できません。操作する場合は、<ヘッドアップディスプレイスイッチ>を押してヘッドアップディスプレイの表示をONにしてから行ってください。

➡️ ON・OFFのしかた (P.132)

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで次の操作をすると、ヘッドアップディスプレイの表示の明るさ、高さ、傾きを調整することができます。設定 [⚙️] ⇒ [ヘッドアップディスプレイ] ⇒ [明るさ] / [高さ] / [傾き] 詳しくは、➡️ ヘッドアップディスプレイ★ (P.117)をお読みください。

ヘッドアップディスプレイ	
明るさ	0
高さ	0
傾き	0
表示項目	
リセット	

- ヘッドアップディスプレイは走行環境に合わせて、フロントガラスに投影する画像の明るさを自動で調整します。

ヘッドアップディスプレイ★

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで次の操作をすると、ヘッドアップディスプレイの設定を初期化できます。
設定 [] ⇒ [ヘッドアップディスプレイ] ⇒ [リセット]
詳しくは、 ヘッドアップディスプレイ★ (P.117)をお読みください。

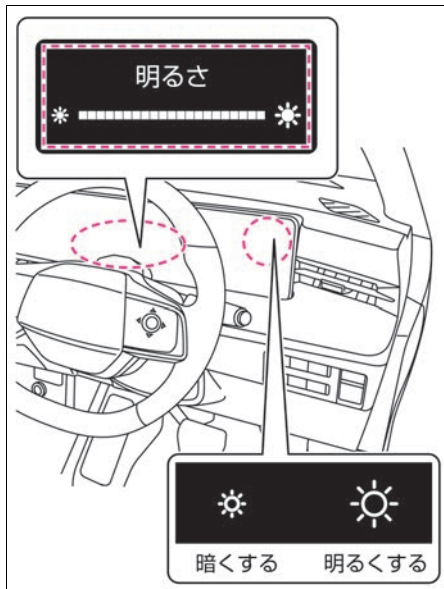
メーターの明るさの調節

イルミネーションコントロール

メーターの明るさの調節のしかた

＜パワースイッチ＞がONのとき、メーター照明の明るさを調節できます。

- スイッチをタッチして調節します。
- 明るさのレベル表示は、アドバンスドドライバアシストディスプレイに表示されます。
- 明るさのレベルが最大または最小に達すると、音が鳴ります。



キー

インテリジェントキー	P.136
インテリジェントキーに関する注意事項	P.139

ドアの施錠と解錠

ドア	P.142
バックドア	P.146
リモコンオートバックドア★	P.146
後席リマインダー	P.154

シート・ハンドルの調節

前席シート	P.155
後席シート	P.159
ハンドル	P.161

ミラーの調節

ルームミラー★	P.163
インテリジェント ルームミラー★	P.163
ドアミラー	P.166

窓ガラスの開閉

パワーウインドー	P.168
調光パノラミックガラスルーフ（遮熱機能付）★	P.169

エアコンの操作

オートエアコンシステム	P.171
吹き出し口	P.177

エアコンを使うときに注意すること	P.179
タイマーエアコンの設定のしかた	P.181
タイマーエアコンに関する注意事項	P.183

オーディオ

オーディオの使いかた	P.184

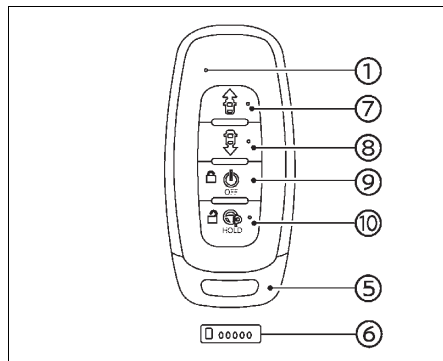
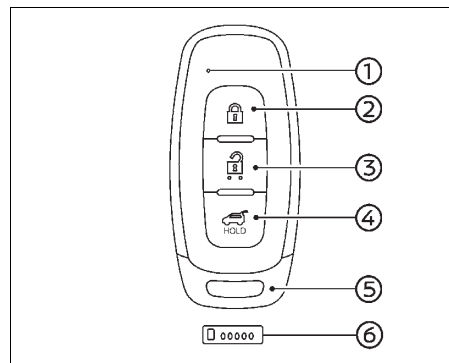
インテリジェントキー

キーを携帯するだけでドアの施錠・解錠およびEVシステムの始動操作ができます。

プロパイロットリモートパーキング付車は、プロパイロットリモートパーキングを使用できます。

ドアの施錠・解錠のしかたは（🔑P.142）、始動操作は（🔑P.186）、プロパイロットリモートパーキングは（🔑P.341）をお読みください。

各部名称と機能



- ① プロパイロットリモートパーキング用★
作動表示灯
- ② ②～⑩のいずれかのスイッチを押すと、赤く点滅します。
- ③ ドア施錠スイッチ
スイッチを押すと、全ドアが施錠します。
- ④ ドア解錠スイッチ
スイッチを押すと、全ドアが解錠します。
- ⑤ リモコンオートバックドア開閉スイッチ★
スイッチを約1秒以上押すと、バックドアが自動で開閉します。
- ⑥ 内蔵キー（メカニカルキー）
キーの電池が切れたときや、12Vバッテリーがあがったときなどにドアの施錠・解錠ができます。
- ⑦ キー番号タグ
キーを紛失した場合、キー番号から日産販売会社でスペアキーを作成で

- ⑧ きますので、大切に保管してください。
- ⑦ プロパイロットリモートパーキング前進スイッチ
プロパイロットリモートパーキングが作動時に、車両を前進するのに使います。
- ⑧ プロパイロットリモートパーキング後退スイッチ
プロパイロットリモートパーキングが作動時に、車両を後退するのに使います。
- ⑨ プロパイロットリモートパーキングOFF/ドア施錠スイッチ
プロパイロットリモートパーキングが作動時、プロパイロットリモートパーキングを終了するのに使います。
- ⑩ プロパイロットリモートパーキングON/ドア解錠スイッチ
プロパイロットリモートパーキングが非作動時、短押しすることで全ドアを解錠するのに使います。また長押しすることでプロパイロットリモートパーキングを起動させるのに使います。
- ⑪ プロパイロットリモートパーキングが作動時、車両を前進・後退するのに使います。

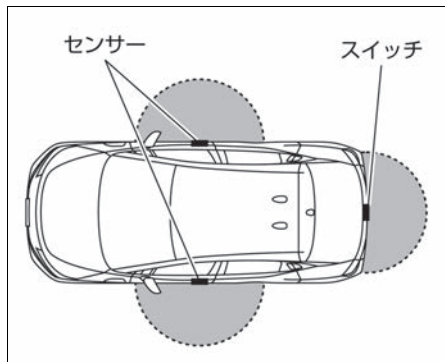
● キーを紛失した場合、キー番号から日産販売会社でスペアキーを作成できますので、大切に保管してください。

- キーは2個ついています。
- キーは同じ車両で最大4個まで使うことができます。ご購入やご使用開始方法については、日産販売会社にご相談ください。
- キーの電池が切れても、ドアの施錠・解錠やEVシステムの始動（＜パワースイッチ＞ON）を行うことができます。

ドアの施錠・解錠の作動範囲

作動範囲は各ドアハンドルのセンサーまたはスイッチから周囲約80cm以内です。作動範囲は球状になっているため、地面近くや高い場所では作動しないことがあります。インテリジェントキーが作動範囲内にある場合は、キーを携帯している人以外でもドアハンドルのセンサーに触れるまたはスイッチ★を押して施錠・解錠できます。

- ドアハンドルのセンサーに触れるまたはスイッチを押してドアを施錠したあとは、作動確認のためブザーまたは非常点滅表示灯のアンサーバック機能で施錠されたことを確認してください。
- ドアハンドルのセンサーに触れるまたはスイッチを押す前にドアハンドルを引かないでください。



インテリジェントキーに関する機能について

■ アンサーバック機能

- ドアの施錠・解錠時に、作動確認のためのブザーと非常点滅表示灯が作動します。（施錠時1回、解錠時2回）
アンサーバック機能のブザーを停止することができます。日産販売会社にご相談ください。

■ ウェルカムライト機能（フェアウェル機能付）

- ドアの施錠・解錠時に、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯します。（施錠時約10秒、解錠時約30秒）
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [設定] ⇒ [車両設定] ⇒ [ライト/照明] ⇒ [ウェルカムライト] を選択すると、ウェルカムライト機能

（フェアウェル機能付）のON・OFFを切り替えることができます。設定の詳細については、車両設定をお読みください。

➡ アドバンスドドライブアシストディスプレイとは（メインメニュー）（P.97）

➡ 車両設定（P.120）

■ キー連動室内照明システム

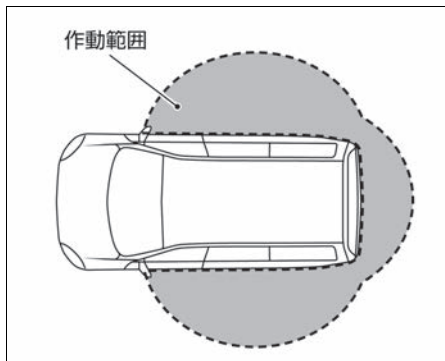
- ドアを解錠すると、室内照明（ラゲッジルームランプを除く）が約20秒間点灯します。
詳しくは、室内灯（➡P.350）をお読みください。

■ オートロック機能

- ＜ドア解錠スイッチ＞を押してから約30秒以内にいずれかのドアを開けなかったときは、盗難防止のため自動的に全ドアが施錠されます。
（施錠されるまでの間に、再度＜ドア解錠スイッチ＞を押すと、その時点から約30秒後に施錠されます。）

■ 接近時アンロック機能

- インテリジェントキーを携帯して車に近づくと自動で車両が解錠されます。作動範囲はドアミラーから車両後方にかけて車両から約1mの範囲です。



- アドバンスドドライブアシストディスプレイで次の操作をすると、接近時アンロック機能のON・OFFを切り替えることができます。

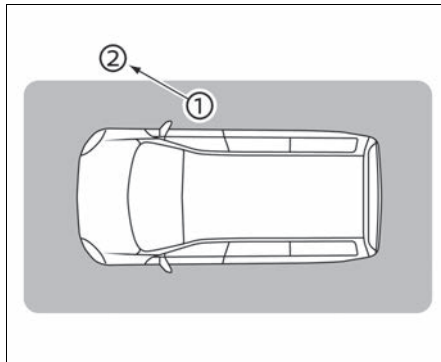
設定 [] ⇒ [車両設定] ⇒ [ロック] ⇒ [接近時アンロック]

詳しくは、[👉 接近時アンロック \(P.120\)](#) をお読みください。

- 車両前方側から車に近づいた場合、ドア付近まで近づかないと解錠されない場合があります。
- 以下の場合は作動しません。
 - ー キーを車室内に置き忘れているとき
 - ー 一定時間、キーを車両周辺に置いたままのとき（ドアを解錠後、再度ドアを施錠すると、接近時アンロック機能が再開します）
 - ー 施錠してから8日間経過したとき
 - ー 車室内のドアロックスイッチで施錠したとき

■ 降車時オートロック機能

- EVシステムを停止した後、ドア開閉をしてからインテリジェントキーを携帯して車から離れると自動で車両が施錠されます。車両から約2mを境界とし①の範囲から②の範囲へインテリジェントキーが移動すると作動します。



- アドバンスドドライブアシストディスプレイで次の操作をすると、降車時オートロック機能のON・OFFを切り替えることができます。

設定 [] ⇒ [車両設定] ⇒ [ロック] ⇒ [降車時オートロック]

詳しくは、[👉 降車時オートロック \(P.120\)](#) をお読みください。

- 以下の場合は作動しません。
 - ー キーを車室内に置き忘れているとき
 - ー いずれかのドアが開いているとき

- ー 一定時間、キーを車両周辺に置いたままのとき（ドアを開閉すると、降車時オートロック機能が再開します）
- ー 走行可能表示灯 [READY] が点灯しているとき
- ー キーのスイッチで解錠したとき
- ー ドア開閉時にインテリジェントキーが車両から2m以内にないとき

■ スリープモード

ドアハンドルのセンサーまたはスイッチでの施錠・解錠、およびEVシステムの始動を一時的に停止するモードです。

- <ドア施錠スイッチ>を押したまま<ドア解錠スイッチ>を2回押します。一定時間、キーの作動表示灯が点灯します。作動表示灯が点灯中に<ドア施錠スイッチ>を押すと、作動表示灯が2回点滅しスリープモードになります。
- スリープモードを解除するときは、キーのいずれかのスイッチを押してください。

パーソナルアシスタント機能★

あらかじめユーザー情報を登録しておく、インテリジェントキーを携帯して車両へ乗り込んだとき、ユーザーを認識します。

パーソナルアシスタント機能★の設定方法

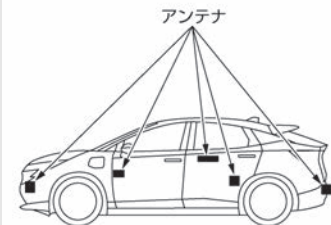
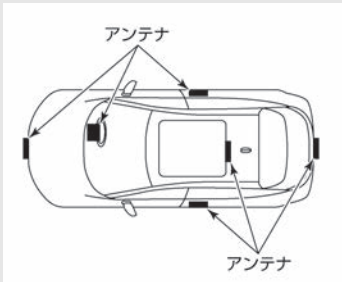
ユーザー情報の登録、設定については、NissanConnectインフォテインメントシステム取扱説明書をお読みください。

インテリジェントキーに関する注意事項

⚠ 警告

- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）を使用されている方は、アンテナから約22cm以下の範囲に装着部位を近づけない。

ドアおよびバックドア開閉時、ドアハンドルのセンサーおよびスイッチ操作時、電気自動車のEVシステム始動時などにキーの電波が植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）の作動に影響を与えるおそれがあります。



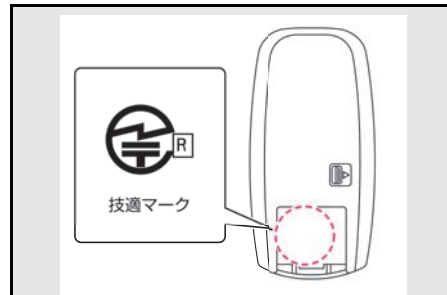
- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）以外の医療電気機器を使用されている方は、医療電気機器製造業者などへ影響を確認してから使用する。

キーの電波が医療電気機器の動作に影響を与える場合があります。

- 航空機内ではキーのスイッチを押さない。

万一スイッチが押されると電波が発信され、航空機の運航に支障をきたすおそれがあるため、バッグなどに収納するときは、荷物などでスイッチが押されないようにしてください。

- キーの認証技適マークはキーの裏面で確認できます。



- キーのスイッチを押しても作動しないときは、電池の消耗または故障が考えられます。日産販売会社にご相談ください。

➡ インテリジェントキーの電池交換 (P.453)

- キーの電池が切れ、施錠・解錠ができないときは、内蔵キー（メカニカルキー）で施錠・解錠ができます。

➡ ドアが開かないときは (P.385)

- 次のような場合は、作動しません。
 - ー 走行可能表示灯「READY」が点灯している
 - ー ドアが完全に閉まっていない（半ドア）とき
 - ー 車から離れすぎているとき
 - ー キーの電池が切れているとき

🚗 アドバイス

- キーは運転者が必ず携帯してください。

アドバイス

- キーは、必ず内蔵キー（メカニカルキー）を内蔵した状態で携帯してください。
- キーはドアポケットに入れないでください。ドアを閉めるときの衝撃により破損するおそれがあります。また、ドアポケット内に一緒に入れた物がドアを閉めた衝撃で当たるなどして勝手にスイッチが入り、キーを車室内に封じ込めるおそれがあります。
- インストルメントパネル上面、ドアポケット付近、グローブボックス内、フロア上では、キーが正常に作動しなかったり、車外から施錠ができ、キーを車室内に封じ込めたりするおそれがあります。
- キーを紛失したときは、盗難などを防ぐため、ただちに日産販売会社にご相談ください。
- キーは微弱な電波を使用しています。次のような使用環境では機能に障害が起こるため、ドアハンドルのセンサーおよびスイッチやキーのスイッチが正常に作動しない場合があります。
 - 近くにテレビ塔や発電所、放送局など強い電波やノイズを発生する設備があるとき
 - インテリジェントキーをワイヤレス充電器の充電エリア内に置いたとき

- 無線機や携帯電話などの無線通信機器と一緒に携帯しているとき
- キーが金属製の物に接したり、覆われていたりしているとき
- 近くで電波式のリモコンスイッチを操作しているとき
- キーをパソコンなどの電化製品の近くに置いたとき
- コインパーキングに駐車したとき（車両検出用の電波の影響があるため）
- 近くで電波式侵入警報装置を使用しているとき
- 極端に気温が低いとき（電池の性能が低下するため）
- 手袋などを着用したままドアハンドルのセンサーに触れても反応しないことがあります。その場合は手袋を外してから再度センサーに触れてください。
- センサーが反応し辛い場合は、手のひらでセンサーに触れてください。
- センサーに雪や泥などが付着すると反応が悪くなりますので、センサーおよびその周辺の汚れなどを取り除いてください。
- キーは電波法の認証に適合しています。次のことを必ずお守りください。
 - 電池を交換するとき以外は分解しない（分解、改造したものを使用することは法律で禁止されています）

- 日本国内のみで使用する

- キーは車両との通信のために常時受信動作をしているため、常に電池を消耗しています。電池の寿命は使用状況により異なりますが約2年（プロパロットリモートパーキング用インテリジェントキー★は約1年）です。電池が切れた場合、新しい電池と交換してください。

インテリジェントキーの電池交換 (P.453)

- キーの電池が消耗しているときや、強い電波、ノイズのある場所では、作動範囲が狭くなったり、作動しなかったりすることがあります。
- キーは送信機を内蔵している精密機械です。故障を防止するため、次のことをお守りください。
 - 長時間高温になる場所に置かない
 - 分解しない
 - 無理に曲げたり、落したり、強い衝撃を与えたりしない
 - 水にぬらさない
 - 超音波洗浄器などにつけない
 - 磁気を帯びたキーホルダーなどにつけない
 - テレビ、オーディオなど、磁気を帯びた機器の近くに置かない
- 車両盗難防止のために、インテリジェントキーは車両から2m以上離して保管してください。



アドバイス

- インテリジェントキーの操作をしなくても、車両周辺にキーがあると電池の消耗が早くなります。電池の寿命を長くするためにも、車両周辺にキーを持ったまま長時間滞在しないことをおすすめします。
- 降車時オートロック機能で車両を施錠した場合、施錠されたことをアンサーバック機能（🔊 P.137）で確認してください。アンサーバック機能が作動しない場合、正しく施錠できていません。

ドアの施錠と解錠

ドア

ドアハンドルのセンサーおよびスイッチやインテリジェントキーのスイッチで施錠・解錠します。

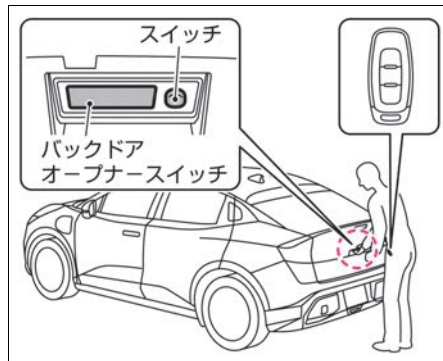
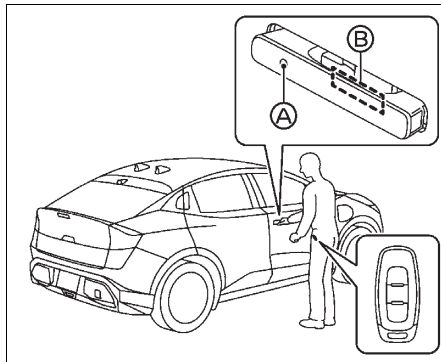
ドアを施錠したあとは、作動確認のためブザーまたは非常点滅表示灯のアンサーバック機能で施錠されたことを確認してください。

インテリジェントキー機能による施錠・解錠のしかた

- 施錠するときは、運転席または助手席ドアハンドルのセンサー①に触れるか、バックドアにあるスイッチ★を押します。
- 解錠するときは、バックドアにあるスイッチを押すか運転席または助手席ドアのドアハンドルを握ります。ドアハンドルの裏側のセンサー②に触れるようにドアハンドルを握ると解錠されます。(施錠した直後の約2秒間は解錠できません)
- ドアハンドルを握りながらドアハンドルのセンサー①に触れても施錠できない場合があります。
- 手袋などを着用したままドアハンドルを握ると、センサーが反応しないことがあります。
- 雨などでドアハンドルが濡れているときは、センサーの反応が遅い場合があります。施錠されるまでドアハンドルのセンサー①に触れ続けるか、一度ドアハンドルを握ってから再度センサー①に触れてください。
- キーが各センサーまたはスイッチから周囲80cm以内にあるときに作動します。

- 施錠・解錠したときは、ブザーおよび非常点滅表示灯が次のように作動します。

	ブザー音	非常点滅表示灯
施錠	ピッ	1回点滅
解錠	ピピッ	2回点滅



- 車両に近づきすぎている場合などは作動しないことがあります。
- 急にドアハンドルを操作すると、ドアハンドルが引かれていることにより、施錠できないことがあります。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [] ⇒ [車両設定] ⇒ [ロック] ⇒ [keyエントリー] を選択すると、ドアハンドルのセンサーでの施錠・解錠機能のON・OFFを切り替えることができます。
設定の詳細については、車両設定 (P.120) または (P.97) をお読みください。
- 次のような場合は、作動しません。
 - ー 走行可能表示灯 [READY] が点灯しているとき
 - ー ドアが完全に閉まっていない (半ドア) とき
 - ー キーが施錠・解錠の作動範囲内にないとき
 - ー キーの電池が切れているとき
- センサーに触れたときまたはスイッチを押したときのブザーを停止することができます。日産販売会社にご相談ください。

■ オートロック機能

- 盗難防止のため、自動的に施錠する機能です。ドアハンドルのセンサーに触れるまたはスイッチを押して解錠したあと、約30秒間ドアを開けないと再び全ドアが施錠されます。

ドアの施錠と解錠

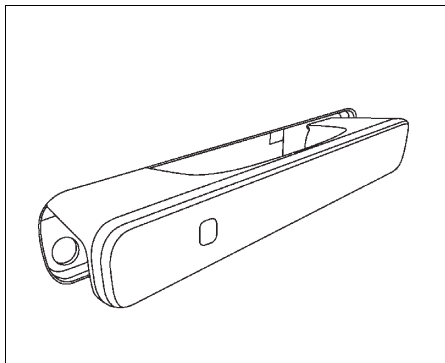
■ 衝撃感知式ドアロック解除システム

- <パワースイッチ>がONのとき、車両が前後方向または側面から強い衝撃を受けるとシステムが作動し、約3秒後に全ドアが自動的に解錠されます。衝撃の強さなどによっては、作動しないことがあります。システム作動後にシステムを解除させる（ドアをロックする）には、一旦<パワースイッチ>をOFFにしてください。

電動格納式アウトサイドドアハンドル（フロント）

⚠ 注意

- 運転者や同乗者の指やアクセサリが、可動部に引っかからないように注意する。
ケガをすることがあります。



この車両の前席ドアハンドルは格納式です。

☆／★：車両型式、オプションなどで異なる装備

次のいずれかの条件が満たされると、ドアハンドルが格納位置から出てきます。

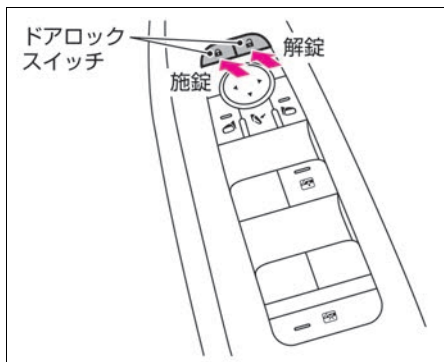
- インテリジェントキーを持って車に近づいたとき
 - 解錠されたとき
 - ドアが開いたとき
 - 車両が衝突を検出したとき（衝突の程度によって）
 - 前方から車両に近づいたときは、後方や横から車両に近づくときより、さらに車両に近づかないと外側に出てこないことがあります。
 - 次のような場合、車両に近づいてもドアハンドルが外側に出てこないことがあります。
 - ー インテリジェントキーを車室内に置いているとき
 - ー インテリジェントキーを一定時間車両の近くに置いていたとき
 - ー 走行可能表示灯 [READY] が点灯しているとき
 - ー 車両が施錠されてから8日が経過したとき
 - ー ドアロックスイッチ (🔑 P.143) またはロックノブ (🔑 P.144) で車両を施錠したとき
 - 車両に近づいてもドアハンドルが外側に出てこないときは、インテリジェントキーの解錠スイッチを押します。
- 次のいずれかの条件が満たされると、ドアハンドルが格納されます。
- 施錠したあと、インテリジェントキーを持って車から離れたとき

- 施錠してから5分ほど経過したとき。
乗員が再び車両に戻る可能性があるため、車両が施錠された直後は格納されません
- 車両が一定の速度に達したとき
- ドアロックスイッチ (🔑 P.143) またはオートロック機能 (🔑 P.142) によって車両が施錠されたとき
- シフトポジションがR位置にあるとき。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイの設定で「Key エントリー」をOFFにしているときは、施錠されるとドアハンドルが格納されます。
- 人を乗せるときなど、車室内からドアハンドルを外側に出したいときは、ドアロックスイッチで解錠します。
- 12Vバッテリーが上がり、ドアハンドルが外側に出ないときは内蔵キー（メカニカルキー）でドアを開けることができます。🔑 内蔵キー（メカニカルキー）でのドアの開けかた (P.385)

ドアロックスイッチでの施錠・解錠のしかた

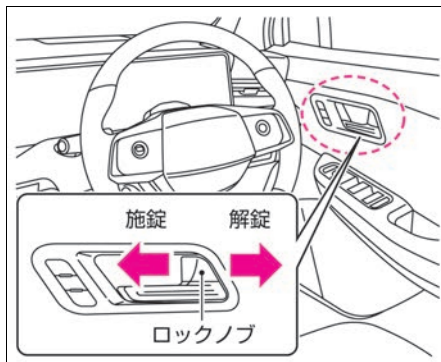
- <ドアロックスイッチ>を押すと、全ドアが施錠または解錠します。
- 施錠するときは、施錠側 🔒 の<ドアロックスイッチ>を押します。
- 解錠するときは、解錠側 🔓 の<ドアロックスイッチ>を押します。
- ドアが開いているときは、<ドアロックスイッチ>での施錠はできません。

ドアの施錠と解錠



ロックノブでの施錠・解錠のしかた

- 運転席のロックノブで全ドアが施錠または解錠します。
- 運転席ドアは、施錠したままでもドアハンドルを引くとドアが開けられます。そのとき、全ドアが同時に解錠します。
- 施錠するときは、施錠するドアのロックノブを施錠側に押し込みます。
- 解錠するときは、解錠するドアのロックノブを解錠側に引きます。



キーを使用しない施錠のしかた

■ 前席ドア

- ロックノブを押し込み、ドアハンドルを引きながらドアを閉めます。

■ 後席ドア

- ロックノブを押し込み、そのままドアを閉めます。

■ キー封じ込み防止機能

- インテリジェントキーを車室内に置き忘れたまま施錠することを防ぐ機能です。ドアを閉めたときや施錠しようとしたときに、キーが車室内に残っているとブザーでお知らせし、全ドアを自動的に解錠します。

チャイルドセーフティドアロック

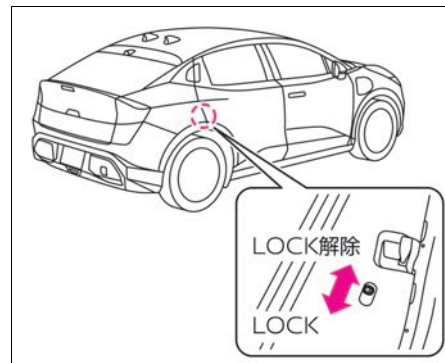
後席に乗せたお子さまなどが、誤って後席ドアを開けないようにロックできます。

■ ロックするには

- 後席ドアにあるロックレバーをLOCK位置にしてドアを閉めます。

■ ドアを開けるには

- チャイルドセーフティドアロックがかかっているときは、車外のドアハンドルを引いて開けます。
- 万一、車室内から開ける場合は、窓ガラスを下げ、手を外に出して車外のドアハンドルを引きます。



ドアに関する注意事項

⚠ 警告

- ドアの開閉はお子さまにはさせない。

ドアの施錠と解錠

⚠ 警告

手、首、足などを挟んだりして、重大な傷害につながるおそれがあります。

- ドアを開けるときは、周囲の安全を確認する。

後続車や通行人にぶつかるおそれがあります。風が強いときは特に注意して開けてください。

- 走行する前にドアを確実に閉める。
走行中に突然ドアが開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- 車から離れるときは、盗難や事故防止のため、必ずEVシステムをOFFにして施錠してください。

バックドアに関する注意事項

⚠ 警告

- バックドアの開閉はお子さまにはさせない。

手、首、足などを挟んだりして、重大な傷害につながるおそれがあります。

- バックドアを開けるときは、周囲の安全を確認する。

後続車や通行人にぶつかるおそれがあります。風が強いときは特に注意して開けてください。

- 走行する前にバックドアを確実に閉める。

走行中に突然バックドアが開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- ラゲッジルーム（荷室）に人を乗せて走行しない。

急ブレーキをかけたときなど、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- バックドアや車体側に手を触れたままバックドアを閉めない。

手を挟まれてケガをするおそれがあります。

- バックドアを開けるときは、必ず全開にする。

途中で閉めると突然閉まるおそれがあります。

- バックドアを閉めるときは、バックドアのふちやその周辺に手をかけない。

手を挟まれてケガをするおそれがあります。手で閉める際は、必ず外から押して閉めてください。

- バックドアを開ける前に、バックドアに付着した雪や氷、ゴミなどの重量物を取り除く。

重量物が付いたままバックドアを開けると、重みで突然閉まるおそれがあります。

- 風が強いときにバックドアを開ける場合は特に注意する。

風にあおられ、急に閉まる場合があります。

- バックドアを閉めるときは、手などを挟まないように注意する。

バックドアガスステーについて

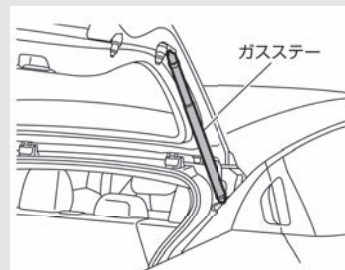
- バックドアのガスステーは、バックドアの重量を支えるために取り付けられています。ガスステーの損傷や作動不良を防ぐため、次のことを守る。

ー ガスステーに手やひもなどをかけたり、横方向に力をかけたりしない

ー ビニール片、ステッカー、接着剤などの異物をガスステーに付着させない

- ガスステーを持って、バックドアを閉めたり、ぶら下がったりしない。

手や腕を挟んだりして思わぬケガをするおそれがあります。



ドアの施錠と解錠

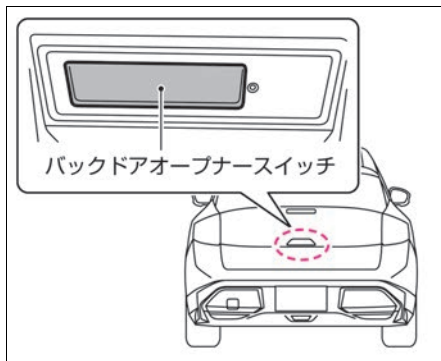
- バックドアを閉めるときは、ストライカーに異物を挟まないようにしてください。ストライカーやバックドアのロックが破損し、バックドアが閉まらなくなるおそれがあります。



バックドア

バックドアの開けかた

- 解錠されているときは、バックドアオープナースイッチを押し、バックドアを持ち上げます。
- 施錠されているときは、キー（インテリジェントキー）を携帯してバックドアオープナースイッチを押し、バックドアを持ち上げます。（ドアも同時に解錠します。）

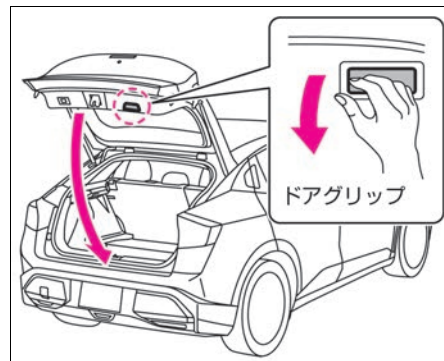


🚗 アドバイス

- バックドアオープナースイッチを押したまま、リモコンでドアを施錠・解錠しないでください。故障の原因になります。
- 手を添えないと全開にならない場合は、ガステーの保持力が低下しているおそれがあります。日産販売会社にて、早めの点検を受けてください。

バックドアの閉めかた

ドアグリップを持ってバックドアを降ろし、確実にロックするまで押し付けます。



🚗 アドバイス

- バックドアを閉めるときは、ストライカーに異物を挟まないようにしてください。ストライカーやバックドアのロックが破損し、バックドアが閉まらなくなるおそれがあります。



リモコンオートバックドア★

リモコンオートバックドアは、バックドアを自動的に開閉することができます。

ドアの施錠と解錠

リモコンオートバックドアの機能について

リモコンオートバックドアは、次の方法でバックドアを開閉することができます。

運転席スイッチ：

- <運転席スイッチ>でバックドアの開閉ができます。(P.147)

リモコンオートバックドア開閉スイッチ：

- インテリジェントキーのスイッチでバックドアを開閉することができます。(P.147)

バックドアオープナースイッチ：

- <バックドアオープナースイッチ>でバックドアを開けることができます。(P.148)

ハンズフリーセンサー：

- リヤバンパー下側に足先を出し入れするだけで、スイッチなどを押さずにバックドアの開閉ができます。(P.148)

バックドアインナースイッチおよびバックドアインナーロックスイッチ：

- <バックドアインナースイッチ>および<バックドアインナーロックスイッチ>でバックドアを開めることができます。(P.149)

また、リモコンオートバックドアには、次の機能があります。

挟み込み防止機構：

- オート作動中に手を挟むなど、挟み込みや引っかかりを検知すると、安全のため反対方向に作動します。(P.149)

オートクロージャー：

- バックドアを半ドア状態まで閉めると、自動的に全閉します。(P.150)

ガレージモード：

- オート作動時にバックドアを途中までしか開かなくすることができます。屋根の低い場所で開閉するときなどに、天井にバックドアがぶつからないように設定できます。(P.150)

オート作動でバックドアが閉まるときは、半ドア位置までバックドアが閉まると、オートクロージャー機能で全閉します。

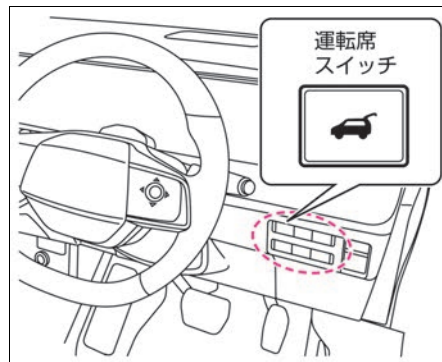
(P.150)

オート作動の開始時にはブザーが鳴ります。

運転席スイッチによる開けかた・閉めかた

開閉操作をするときは、バックドア周囲の安全を確認してください。

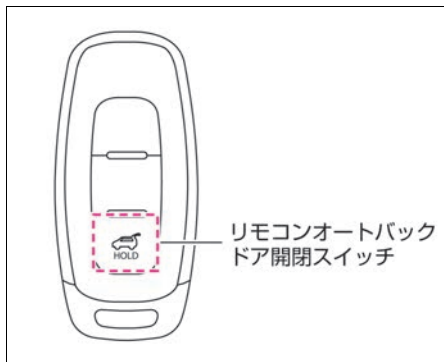
- バックドア全閉時にスイッチを約1秒間押すと、バックドアが自動的に開きます。バックドアが施錠されているときは、バックドアが解錠され自動的に開きます。
- バックドア全開時にスイッチを約1秒間押すと、自動的に閉まります。
- オート作動中にスイッチを押すと、その位置でオート作動を停止します。再度、スイッチを約1秒間押すと作動していた方向と反対の方向に動き、全開または全閉して停止します。
- シフトポジションがP以外のときは<運転席スイッチ>による開操作は行えません。



リモコンによる開けかた・閉めかた

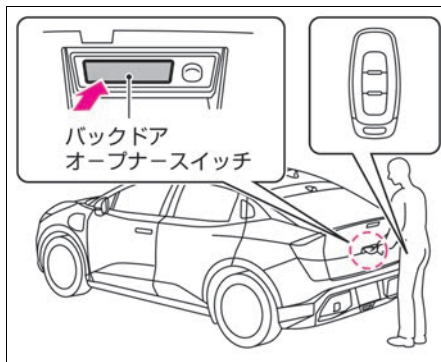
- ドアを解錠してから操作します。
- 車に近づき、<リモコンオートバックドア開閉スイッチ>を約1秒以上押します。
- オート作動中にスイッチを押すと、その位置でオート作動を停止します。再度、スイッチを約1秒以上押すと作動していた方向と反対の方向に動き、全開または全閉して停止します。
- シフトポジションがP以外のとき、または走行可能表示灯 [READY] が点灯しているときは<リモコンオートバックドア開閉スイッチ>による開操作は行えません。
- バックドアが施錠されている状態でも、開操作ができるように設定を変更できます。日産販売会社にご相談ください。

ドアの施錠と解錠



バックドアオープナースイッチによる開けかた

- バックドアが施錠時にインテリジェントキーを携帯し、＜バックドアオープナースイッチ＞を押すとバックドアが自動的に開きます。
- バックドアが施錠されていないときは、キーを携帯していなくても＜バックドアオープナースイッチ＞を押すとバックドアが自動的に開きます。
- オート開作動中にスイッチを押すと、その位置でオート作動を停止します。再度、スイッチを押すと全開して停止します。
- シフトポジションが **P** 以外のときは＜バックドアオープナースイッチ＞による開操作は行えません。



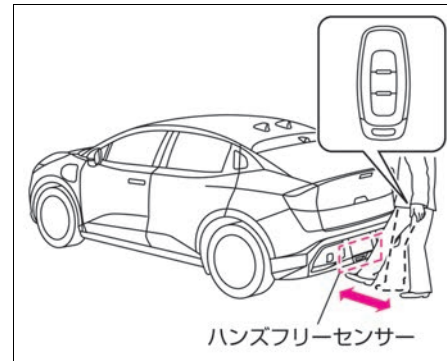
ハンズフリーセンサーによる開けかた、閉めかた

- リヤバンパー下部のセンサーによって足の動きを感知し、バックドアの開閉を自動的にを行います。
- インテリジェントキーを携帯し、リヤバンパー下側に足先を入れてすぐに引くと自動的に開閉します。
(リヤバンパーの下に足を入れたままにしていると作動しません。)
- 施錠時は全ドアが同時に解錠し、バックドアが自動で全開します。
- オート作動中に、足先を入れて引く動作を行うと、その位置でオート作動を停止します。再度、足先を入れて引く動作を行うと、作動していた方向と反対の方向に動き、全開または全閉して停止します。

- ハンズフリーセンサー周辺が汚れている場合は作動しない場合があります。きれいな布で拭いてください。

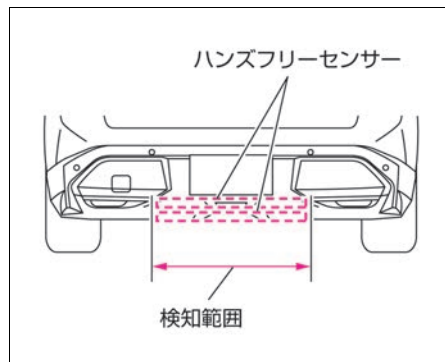
➡ リモコンオートバックドアに関する注意事項 (P.151)

- センサー周辺に水をかけると誤作動するおそれがあります。



- ハンズフリーセンサーは、センサー中心から左右に約400mmずつの範囲を検知します。

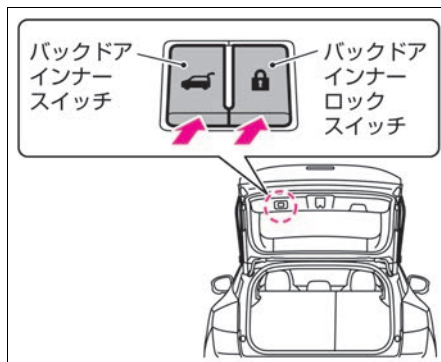
ドアの施錠と解錠



- シフトポジションがP以外のときはハンズフリーセンサーによる開操作は行えません。

バックドアインナースイッチおよびバックドアインナーロックスイッチによる開めかた

- バックドアが開いているとき、＜バックドアインナースイッチ＞を押すと自動的に全開します。
- オート閉作動中に＜バックドアインナースイッチ＞を押すと、その位置でオート作動を停止します。再度、＜バックドアインナースイッチ＞を押すと全開して停止します。
- ＜バックドアインナーロックスイッチ＞を押すと、全ドアが施錠されバックドアが全開します。全開したあとブザーが1回鳴り、非常点滅表示灯が1回点滅します。



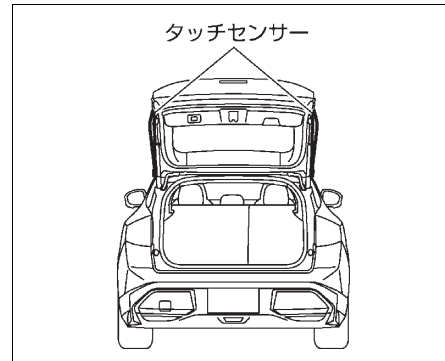
- 次の場合は＜バックドアインナーロックスイッチ＞を押してもオート作動が開始されません。
 - ー バックドア以外のいずれかのドアが開いているとき
 - ー 走行可能表示灯〔READY〕が点灯しているとき

挟み込み防止機構について

⚠ 注意

- 手などを挟まないように十分注意する。
挟まれる物や挟まれかたによっては、挟み込み防止機構が作動しない場合があります。
- バックドアがオート作動中に、挟み込み、引っ掛かりなどを感知すると、反対方向に動きバックドアが停止します。

- バックドアがオート閉作動中にバックドア左右端部のタッチセンサーに触れると、反対方向に動きバックドアが停止します。



🚗 アドバイス

- バックドア左右端部のタッチセンサーを傷つけないでください。
タッチセンサーが切断されると、オート（自動開閉）機能は作動しなくなります。
- タッチセンサーが切断されたときは、安全のためにすみやかに日産販売会社に連絡をしてください。
- 全開位置付近で挟み込みを感知すると、バックドアは反転せずに停止することがあります。
- 挟み込み防止機構が2回連続で作動すると、バックドアがその場で停止します。

ドアの施錠と解錠

アドバイス

- バックドアオート作動時に乗り降りなどで車両が揺れると、バックドアが反転することがあります。

オートクローガーについて

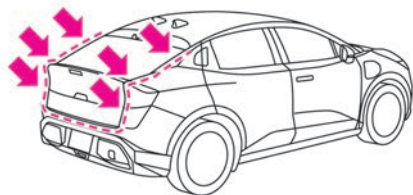
注意

- バックドアを閉めるときは、バックドアや車体側に手を触れていたり、ドアグリップを握ったりしない。また、バックドアのふちやその周辺に手をかけない。

手を挟まれてケガをするおそれがあります。バックドアを閉めるときは、必ず外から押して閉めてください。

オートクローガーは、自動的にバックドアを全閉させる機能です。

閉めるとき、半ドア状態まで閉めると自動的に全閉します。



アドバイス

- 次のような場合はオートクローガーが作動しません。アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示されているときは、バックドアを一旦開け再度閉め直してください。
 - ー バックドアを開けて0.5秒以内に閉めたとき
 - ー <バックドアオープナースイッチ>を押したあと、バックドアを開けなかったとき
- 12Vバッテリーが弱っているとオートクローガーが作動しないことがあります。その場合は、手で強く閉めるかEVシステムを始動してから閉め直してください。
- オートクローガーの故障によりバックドアが閉まりきらないときは、バックドアを一旦開け、再度手で閉めてください。
- 荷物の積みすぎなどによりオートクローガーで閉めきれない状態を繰り返すと、オートクローガーが作動しなくなります。そのときは日産販売会社で点検を受けてください。

ガレージモードについて

バックドアを自動で開くとき、お好みの高さでバックドアを止める機能です。

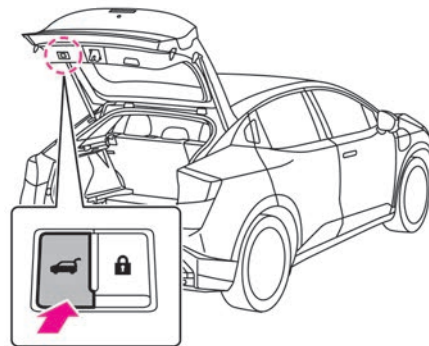
ガレージモードの設定のしかた

注意

- バックドアの止まる位置を全開位置から1/3以下の高さに設定しない。

バックドアの止まる位置を1/3以下に設定しても、自動的に1/3の高さに設定されます。設定した高さよりも開くため、思わぬケガや破損につながるおそれがあります。

1. <シフトスイッチ>の<P>スイッチを押し、シフトポジションを**P**に切り替えます。
2. 設定したい高さの位置までバックドアを開け、<バックドアインナースイッチ>を約3秒押し続けます。

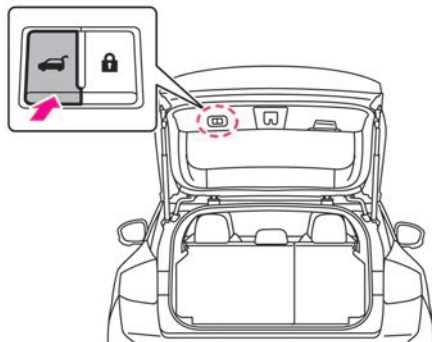


3. ブザーが2回鳴れば設定完了です。オートで開くと、バックドアが設定した高さで停止します。

ドアの施錠と解錠

ガレージモードの解除のしかた

1. <シフトスイッチ>の<P>スイッチを押し、シフトポジションをPに切り替えます。
2. 全開位置までバックドアを手動で開けて、<バックドアインナースイッチ>を約3秒押し続けます。



3. ブザーが2回鳴れば解除完了です。

正常に作動しないとき

バックドアがオートで動かないときは、次の内容を確認してください。

- 連続作動後に動かないときは、バックドアを約5分間以上作動させずに放置した後、作動させます。
- バックドアが開いた状態のときは、一度手動で閉めてから作動させます。
- バックドアが全閉位置から約150mm開いた位置にあると、いずれのスイッチを操作してもリモコンオートバックドアは

作動しません。リモコンオートバックドアを作動させるには、手動でバックドアを押して閉めてください。

- 12Vバッテリーが弱っている（電圧が11V未満）と、バックドアがオート開閉できないことがあります。その場合は、EVシステムを始動してから作動させます。
- ヒューズが切れている場合はヒューズを交換します。日産販売会社にご相談ください。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイの設定で「パワーバックドア」がONになっていることを確認してください。
- ハンズフリー機能を使うときは、インテリジェントキーを携帯しているか確認してください。
- ハンズフリー機能を使うときは、センサー位置および足の動かし方が正しいか確認してください。
➡ ハンズフリーセンサーによる開けかた、閉めかた (P.148)
- ハンズフリー機能を使うときは、リヤバンパーに足が接触しないようにしてください。センサーが正しく機能しない場合があります。
- ハンズフリー機能は電波塔付近などの電波環境下では正常に作動しないことがあります。その場合は<バックドアオープナースイッチ>、<バックドアインナースイッチ>または<バックドアインナーロックスイッチ>を押して開閉してください。

- ハンズフリーセンサーが作動しないときは、次の操作を確認します。
 - ー <バックドアオープナースイッチ>が作動することを確認します。
 - ー 再度ハンズフリーセンサーの作動を確認します。
 - ー 作動しないときは、一度12Vバッテリーのマイナス端子を外してリセットし、再度確認します。上記操作を行っても作動しないときは、日産販売会社にご相談ください。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [⚙] ⇒ [車両設定] ⇒ [ロック] ⇒ [keyエントリー] をOFFにすると、<バックドアオープナースイッチ>による解錠機能やハンズフリー機能もOFFになります。
➡ 車両設定 (P.120)
➡ バックドアオープナースイッチによる開けかた (P.148)
➡ ハンズフリーセンサーによる開けかた、閉めかた (P.148)

リモコンオートバックドアに関する注意事項

⚠ 注意

- 確実に停車している状態で開閉操作をする。
- 開閉操作をするときは、バックドア周囲の安全を十分確認する。

ドアの施錠と解錠

⚠ 注意

バックドアに当たり、ケガをしたり物を損傷したりするおそれがあります。

- 車が大きく傾いている状態ではオート作動をしない。
- オート作動中にバックドアを押したり引いたりしない。

反転して挟まれたり、バックドアに当たりケガをしたりするおそれがあります。

ハンズフリーセンサーについて

- 足以外でも、インテリジェントキーを携帯したままハンズフリーセンサーに物を近づけると、バックドアが開閉することがあるので注意する。

ハンズフリーセンサーが反応してバックドアが突然開閉し、思わぬケガをするおそれがあります。

- 洗車、ワックス掛け、整備を行うとき、ボディカバーを付け外しするとき、ハンズフリーセンサー周りに水を掛けるときなどは、アドバンスドドライブアシストディスプレイの設定で【パワーバックドア】をOFFにする。

ハンズフリーセンサーが反応してバックドアが突然開閉し、思わぬケガをするおそれがあります。

- バックドア付近にインテリジェントキーを携帯した人がいた場合、キーを携帯していない人がハンズフリーセンサーを使用して、バックドアを開閉できる場合があるので注意する。

思わぬケガをするおそれがあります。

- 坂道や未舗装路、凍結した路面などで足を出し入れするときには注意する。
- 転んで思わぬケガをするおそれがあります。

- 閉作動時、半ドア位置までバックドアが開まると、オートクロージャー機能で全閉します。

🔑 オートクロージャーについて

(P.150)

- オート作動の開始時にはブザーが鳴ります。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイの設定で【パワーバックドア】がONのとき、バックドアを開けたまま車を動かすとブザーが鳴ります。(停車またはバックドアを閉めると鳴り止みます。)

🚗 アドバイス

- EVシステム停止時に何回も作動させないでください。バッテリーが上がりEVシステムの始動ができなくなります。
- オート作動中はEVシステムを始動させないでください。正常に作動しなくなることがあります。

- 車を発進させるときは、バックドアが全閉していることを確認してください。閉作動中に発進すると、反転して開き出すおそれがあります。

- 次の場合は、アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [🔧] ⇒ [車両設定] ⇒ [パワーバックドア] をOFFにしてください。

ー バックドアが故障したとき

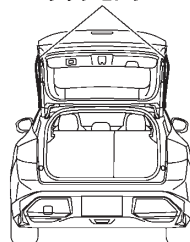
ー バックドアを長時間開けたままにすると

ー 洗車や整備を行うとき

ー 手動で使用するとき

- バックドア左右端部のタッチセンサーを傷つけないようにしてください。センサーが切断されるとオートで作動しなくなります。また、オート閉作動中に切断されると、ドアが作動停止します。その後のオート閉作動もしません。

タッチセンサー



🚗 アドバイス

- 12Vバッテリーあがりなどでリモコンオートバックドアへの電源供給が断たれたときや、オート作動中に反転作動（挟み込み防止機構を含む）を連続して作動させたときは、正常に作動しなくなることがあります。その場合は、一旦手動でバックドアを完全に閉めてください。

ハンズフリーセンサーについて

- 次のような使用環境では、ハンズフリーセンサーが反応せず、正常に作動しない場合があります。
 - ー 近くにテレビ塔や発電所、放送局など強い電波やノイズを発生する設備があるとき
 - ー コインパーキングに駐車したとき（車両検出用の電波の影響があるため）
 - ー ゴム長靴など、電気を通しにくい物を履いているとき
- 次のような足の動かししかたでは、ハンズフリーセンサーが反応せず、正常に作動しない場合があります。
 - ー 検知範囲内に足を入れたままにしているとき
 - ー 足を左右に動かしたとき
 - ー 足の動かししかたが早過ぎたとき

- ハンズフリーセンサー付近に、メッキ部品や金属部品などを貼ったり組み付けたりしないでください。ハンズフリーセンサーが反応せず、正常に作動しなくなるおそれがあります。
- 連続で開閉動作を行うと、安全装置が動き一定時間自動開閉できなくなることがあります。その場合は、少し時間を置いてから再度開閉してください。

リモコンオートバックドアのON・OFFのしかた

アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [🔧] ⇒ [車両設定] ⇒ [パワーバックドア] を選択すると、自動開閉機能のON・OFFを切り替えることができます。

- オート作動は、アドバンスドドライブアシストディスプレイの設定がONで、車両が停止しているときに作動させることができます。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイの設定で「パワーバックドア」をOFFにしてもオートクロージャークは作動します。
- オート作動中に作動可能条件が満たされなくなると、作動が停止しオート作動しなくなることがあります。その場合、作動可能条件を再度満たすとオート作動させることができます。
- 12Vバッテリーが弱っている（電圧が11V未満）ときは作動しません。

■ アドバンスドドライブアシストディスプレイ設定の作動

アドバンスドドライブアシストディスプレイ設定	ON	OFF
運転席スイッチによる開閉操作	作動※ ¹	非作動
リモコンによる開閉操作	作動※ ^{1,2}	非作動
バックドアオープナースイッチによる開閉操作	作動※ ¹	非作動
ハンズフリーセンサーによる開閉操作	作動※ ¹	非作動
バックドアインナースイッチおよびバックドアインナーロックスイッチによる開閉操作	作動※ ³	非作動

※1：シフトポジションがP以外のときは開作動しません。

※2：走行可能表示灯「READY」が点灯しているときは作動しません。

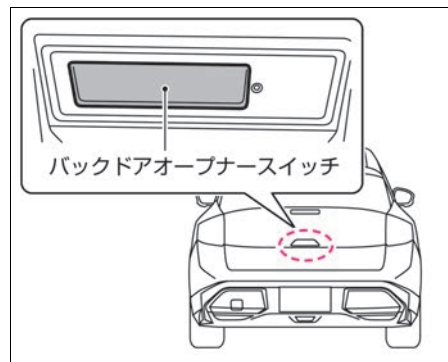
※3：＜バックドアインナーロックスイッチ＞を使用すると、全ドアが施錠されバックドアが全閉します。

手動でのバックドアの開けかた・閉めかた

- 解錠されているときは、＜バックドアオープナースイッチ＞を押し、バックドアを持ち上げます。

ドアの施錠と解錠

- 施錠されているときは、キー（インテリジェントキー）を携帯して＜バックドアオープナースイッチ＞を押し、バックドアを持ち上げます。（ドアも同時に解錠します。）



- ＜バックドアオープナースイッチ＞を押したまま、リモコンでドアを施錠・解錠しないでください。故障の原因になります。
- バックドアを引き下げ、半ドア状態まで閉めると、自動的に全閉します。

後席リマインダー

後席リマインダーは、後席への人や荷物の置き去りを防ぐために、運転者が降車する前にお知らせする機能です。

後席リマインダーについて

- 後席ドアを開閉してから15分以内に車両を発進させると、走行後に＜パワースイッチ＞をOFFにしたとき、ブザーと

もにアドバンスドドライブアシストディスプレイにメッセージが表示されます。

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [] ⇒ [車両設定] ⇒ [後席リマインダー] を選択すると、後席リマインダーのON・OFFを切り替えることができます。（工場出荷時はONに設定されています。）

設定の詳細については、車両設定

（ P.121）をお読みください。

知識

- 後席リマインダーは、後席ドアの開閉状況に応じ、後席に人や荷物を置き去りにする可能性がある場合にお知らせする機能なので、後席に人や荷物を乗せていなくても作動する場合があります。
- 次の例のような状況では、後席リマインダーが作動しません。
 - － 前席ドアのみを開閉し、車室内で後席に荷物などを置いた場合
 - － 走行後、＜パワースイッチ＞をOFFにしたあと、後席に人や荷物を乗せた場合
 - － 後席ドアの開閉後に車両が走行しなかった場合

シート・ハンドルの調節

前席シート

シートの調節のしかた（パワーシート）

⚠ 警告

- シートは必ず走行前に調節する。
走行中に調節すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 背もたれを必要以上に倒したまま走行しない。

シートベルトが効果を十分に発揮せず、衝突時などに重大な傷害を受けるおそれがあります。

- 背もたれと背中の中にクッションなどを入れない。

運転姿勢が不安定になり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

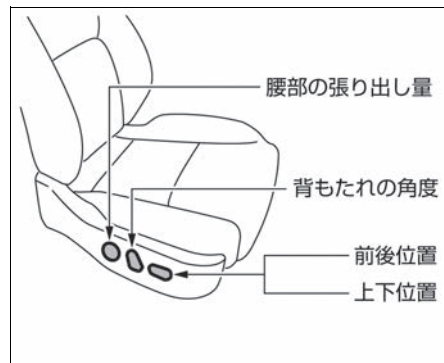
- シートを調節するときは、動いている部分に手や足を近づけない。
挟まれてケガをするおそれがあります。
- シートの下に手を入れるときは注意する。

車室内を清掃するときやシートの下に落としたものを拾うときなどは、シートレールやシートフレームに当たり、ケガをするおそれがあります。

- <パワースイッチ>をON・OFFしたときに、ランバーサポートを初期化するた
☆／★：車両型式、オプションなどで異なる装備

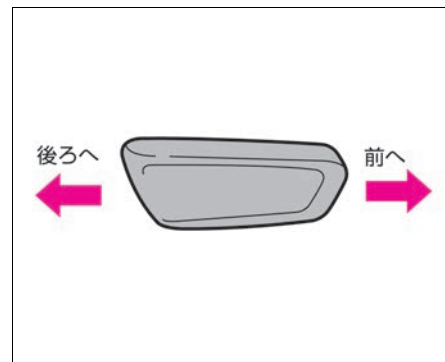
め、作動音が発生する場合がありますが、異常ではありません。（腰部の張り出し上下位置調節付車）

- スイッチを操作するとNissanConnectインフォテインメントシステムにガイダンスが表示されます。
- NissanConnectインフォテインメントシステムでガイダンス表示のON・OFFを切り替えることができます。詳しくは、NissanConnectインフォテインメントシステム取扱説明書をお読みください。



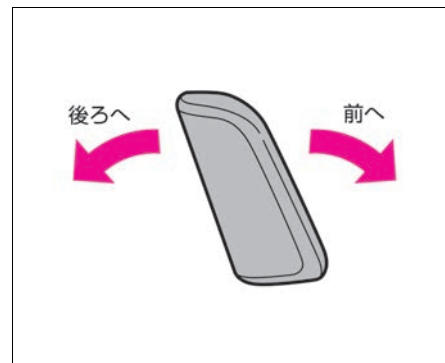
■ 前後位置の調整（スライド）

調整したい方向にスイッチを動かします。



■ 背もたれの角度調節（リクライニング）

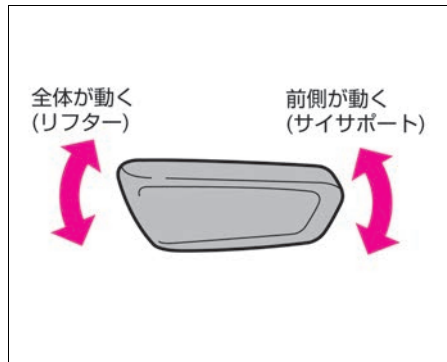
調整したい方向にスイッチを動かします。



シート・ハンドルの調節

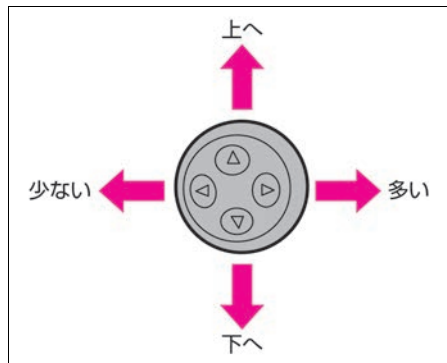
■ 上下位置の調節（リフター）

シート全体を調節するときはスイッチの後側を、シートの前側を調節するときはスイッチの前側を動かします。



■ 腰部の張り出し量／上下位置の調節（ランバーサポート）

調整したい方向にスイッチを押します。



🚗 アドバイス

- 助手席にお子さまや小柄な方を乗せたり、クッションなどを使用したりすると、シートベルトリマインダーが正常に作動しなくなるおそれがあります。

シートベルトリマインダー
(📖 P.393)

パーソナルドライビングポジションメモリーシステム★の設定のしかた

- パーソナルドライビングポジションメモリーシステムは、パーソナルアシスタント機能で認識されたユーザーの運転ポジションを復帰させることができ、次のような機能があります。
 - ー パーソナルアシスタント機能 (📖 P.138)
 - ー シートの退避・復帰機能
 - ー パーソナルアシスタント連動メモリー機能
 - ー スイッチメモリー機能
- すべての機能は、シフトポジションが **P** のときに作動します。
- 以下のいずれかの操作を行うと作動が停止します。
 - ー シフトポジションを **P** 以外にしたとき (シートの復帰機能は停止しません。)
 - ー シートを操作したとき
 - ー <セットスイッチ>、<メモリースイッチ>のいずれかを押したとき

■ シートの退避・復帰機能

運転席シートが動き、乗り降りを楽にします。

退避機能

<パワースイッチ>をOFFにして運転席ドアを開けると、運転席シートが乗り降りしやすい位置に動きます。

復帰機能

<パワースイッチ>をONにすると、運転席シートが選択しているユーザーの設定した位置に戻ります。

■ パーソナルアシスタント連動メモリー機能

次の手順でパーソナルアシスタント機能 (📖 P.138) に運転ポジション (シート位置、ドアミラー位置) を記憶することができます。

1. あらかじめユーザー登録の完了しているインテリジェントキーを携帯し、<パワースイッチ>をONにします。
2. 運転席のシート位置、ドアミラー位置を調節し、<パワースイッチ>をOFFにします。<パワースイッチ>をOFFにしたときの状態を、セクターディスプレイに表示されているユーザーの運転ポジションとして記憶します。

次回から、インテリジェントキーを携帯して<パワースイッチ>をONにすると、記憶した運転ポジション (シート位置、ドアミラー位置) を呼び出します。また、再度<パワースイッチ>をOFFにしたときや、ほかのユーザーに切り替えたときに、セン

シート・ハンドルの調節

ターディスプレイに表示されているユーザーの運転ポジションを上書きして記憶します。

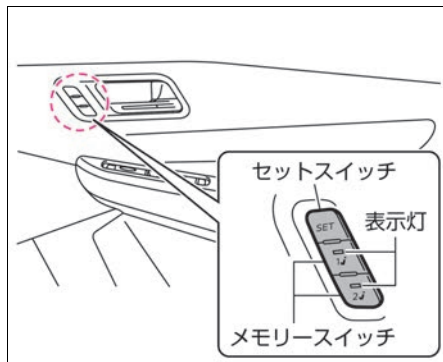
- パーソナルアシスタント機能には運転ポジション以外（NissanConnectインフォテインメントシステムなど）の設定も記憶されます。
- 車室内に複数のインテリジェントキーがある場合、正しくユーザーの認証及び運転ポジションの呼び出し・登録ができない場合があります。

■ スイッチメモリー機能

2名分の運転ポジション（シート位置、ドアミラー位置）をスイッチに記憶させ、呼び出すことができます。

記憶のしかた

1. 正しい運転姿勢が取れる運転ポジションに調節します。
➡ シートの調節のしかた（パワーシート）（P.155）
➡ ドアミラーの角度調節のしかた（P.166）
2. <セットスイッチ>を押し、押してから5秒以内に記憶させたい方の<メモリースイッチ>を押します。記憶が完了すると、記憶させたスイッチの表示灯が5秒間点灯します。



呼び出しかた

シフトポジションをPにします。

記憶を呼び出したい方の<メモリースイッチ>を押します。

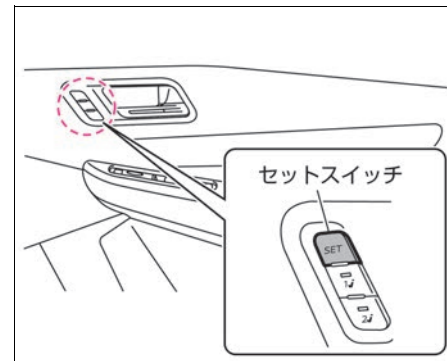
呼び出し中はスイッチの表示灯が点滅し、完了すると約5秒間点灯します。

- パーソナルアシスタント機能で記憶した運転ポジションとは別にスイッチに記憶されます。
- 運転ポジション以外の設定はスイッチに記憶しません。
- <セットスイッチ>を押したとき、記憶されていると約5秒間表示灯が点灯します。
- 状況により、<メモリースイッチ>を押してから呼び出しが開始するまで数秒かかることがあります。

■ 退避・復帰の設定の切り替えかた

シートの退避・復帰機能の作動・非作動を切り替えることができます。

1. <パワースイッチ>をOFFにします。
➡ パワースイッチでのモードの切り替えかた（P.187）
2. <セットスイッチ>を10秒以上押し続け、作動と非作動を切り替えます。



- アドバンスドドライブアシストディスプレイで次の操作をすると、シートの退避・復帰機能の設定を切り替えることができます。
設定 [⚙️] ⇒ [車両設定] ⇒ [運転姿勢] ⇒ [降車時シート退避]
詳しくは、➡ 車両設定（P.120）をお読みください。

シートの調節のしかた（マニュアルシート）

⚠️ 警告

- シートは必ず走行前に調節する。

シート・ハンドルの調節

⚠ 警告

走行中に調節すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- シートを調節したあとは、確実に固定されたことを確認する。

固定されていないと突然運転姿勢が変わり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 背もたれを必要以上に倒したまま走行しない。

シートベルトが効果を十分に発揮せず、衝突時などに重大な傷害を受けるおそれがあります。

- 背もたれと背中の中にクッションなどを入れない。

運転姿勢が不安定になり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- シートを調節するときは、動いている部分に手や足などを近づけない。

挟まれてケガをするおそれがあります。

- 背もたれの角度を調節するときは、背もたれを支えながら調節する。

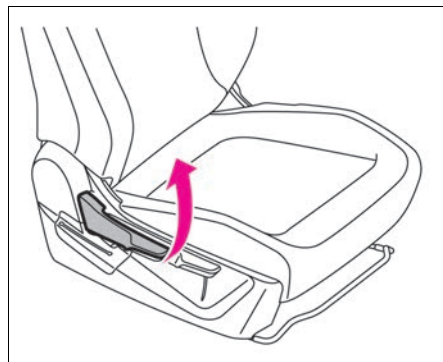
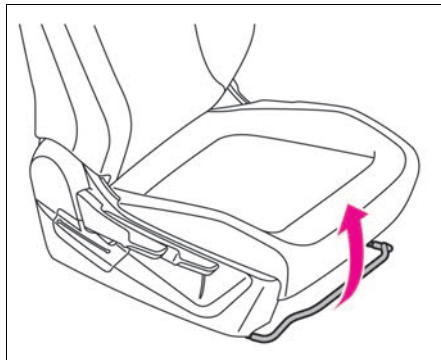
顔や身体に当たり、思わぬケガをするおそれがあります。

- シートの下に手を入れるときは注意する。

車室内を清掃するときやシートの下に落としたものを拾うときなどは、シートレールやシートフレームに当たり、ケガをするおそれがあります。

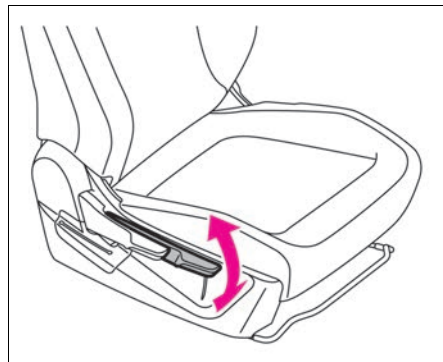
■ 前後位置の調整（スライド）

レバーを引いたまま調節したい方向にシートを動かします。



■ 上下位置の調節（運転席／リフター）

引き上げると高くなります。
押し下げると低くなります。



■ 背もたれの角度調節（リクライニング）

レバーを引いたまま、調節したい方向に背もたれを動かします。

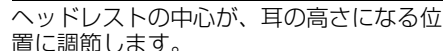
後席シート

シートの調節のしかた

- 警告**

- シートは必ず走行前に調節する。
走行中に調節すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- シートを調節したあとは、確実に固定されたことを確認する。
固定されていないと、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 背もたれを必要以上に倒したまま走行しない。
シートベルトが効果を十分に発揮せず、衝突時などに重大な傷害を受けるおそれがあります。

- 注意**



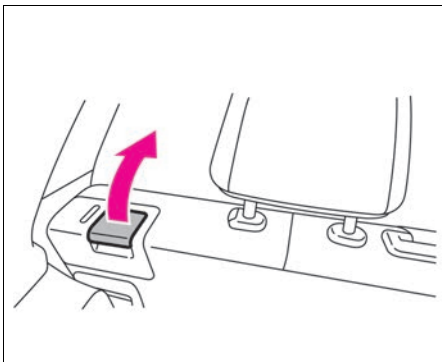
- 高くするとき、ヘッドレストを引き上げます。
- 低くするとき、ボタンを押しながらヘッドレストを下げます。

■ ヘッドレストの外しかた、付けかた

- 取り外すときは、ボタンを押しながらヘッドレストを引き上げます。
- 取り付けるときは、ボタンを押しながらヘッドレストを差し込みます。
- BOSEパーソナルプラスサウンドシステム付車のヘッドレストは、取り外しできません。

- シートを調節するときは、動いている部分に手や足などを近づけない。
挟まれてケガをするおそれがあります。
- 背もたれの角度を調節するときは、背もたれを支えながら調節する。
顔や身体に当たり、思わぬケガをするおそれがあります。

シート・ハンドルの調節



■ 背もたれの角度調節（リクライニング）

- レバーを引いたまま、調節したい方向に背もたれを動かします。

■ 背もたれの倒し方

- レバーを引きながら、背もたれを前方に倒します。

シートの折りたたみかた

⚠ 警告

- シートは必ず固定する位置で使用する。

⚠ 注意

- シートを折りたたんだとき、折りたたんだ背もたれの上に乗らない。
シートを損傷したり、転んだりして思わぬケガをするおそれがあります。

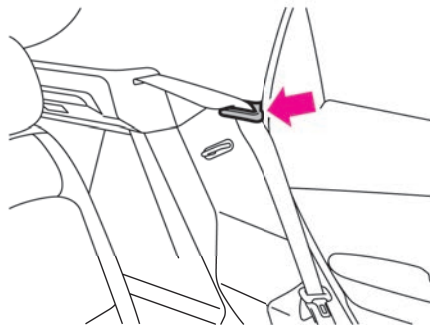
- 背もたれを起こすときは、背もたれを手で押さえ、ゆっくり戻す。

急に戻すと顔や身体などに当たり、思わぬケガをするおそれがあります。

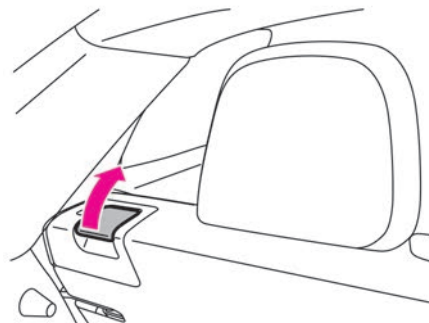
- 背もたれを起こすときは、シートベルトを背もたれで挟み込んでいないことを確認する。

挟み込まれていると、シートベルトが正しく着用できません。

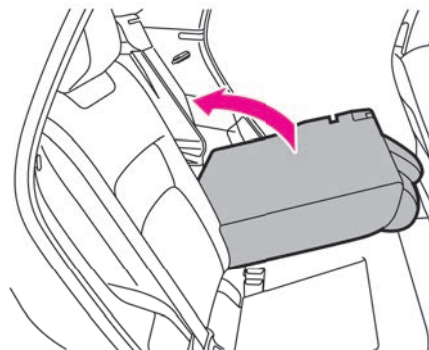
1. シートベルトをクリップで留めます。



2. 折りたたみたい方のシートのレバーを引きながら、背もたれを前に倒します。



3. 元に戻すときは、背もたれを起こし、手で後方に押し付けてロックします。



- 物や飲物などを置いたままシートを折りたたむと、物を壊したり車室内を汚したりするおそれがあります。シートを倒すときは十分に注意してください。
- ラゲッジルーム（荷室）に荷物を積むときは、シートベルトに傷をつけないように注意してください。

シート・ハンドルの調節

- 前席シートに当たりシートが折れたためないときは、ヘッドレストを格納するか、前席シートの前後位置を調節してください。

ヘッドレストの使いかた

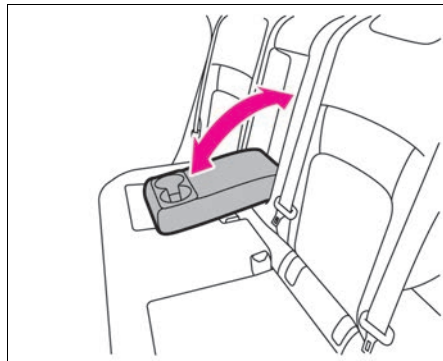
⚠ 注意

- ヘッドレストを取り付けるときは、前後の向きを間違えない。
万一のとき、ヘッドレストが効果を十分に発揮せず、思わぬケガをするおそれがあります。
 - ヘッドレストを取り付けたあとは、ヘッドレストを持ち上げ、抜け出さないことを確認する。
万一のとき、ヘッドレストが効果を十分に発揮せず、思わぬケガをするおそれがあります。
 - 後席シート中央席のヘッドレストは、ロックする位置まで上げ、確実に固定されていることを確認する。
格納状態では機能が十分に発揮できません。
- ヘッドレストは、格納位置からロックする位置まで上げた状態で使います。
 - ー 上げるときは、そのままヘッドレストを引き上げます。
 - ー 下げるときは、ボタンを押しながら下げます。
 - 脱着のしかたは、前席シートと同じです。
➡ ヘッドレストの調節のしかた
(P.159)

- 後席シートのヘッドレストは、格納状態では機能が十分に発揮できません。ロックする位置まで上げ、確実に固定されていることを確認してください。

リヤセンターアームレスト★の使いかた

- アームレストを前に倒します。
- 元に戻すときは、アームレストを起こします。



ハンドル

適切な運転姿勢で無理なくハンドルを握れるように、ハンドル位置を調節します。

ハンドル位置の調節のしかた

⚠ 警告

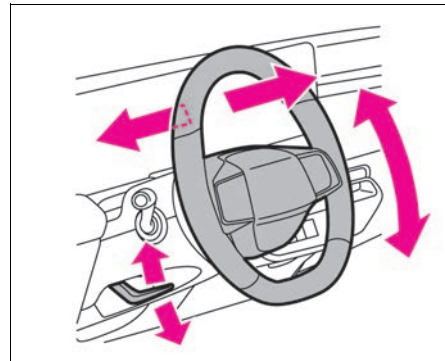
- ハンドルの調節は、必ず走行前に行う。

走行中に調節すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 調節したあとは、確実に固定されたことを確認する。

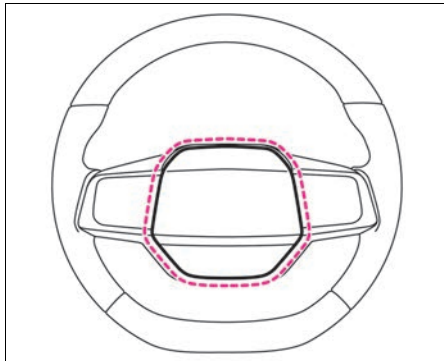
ハンドル位置が固定されていないと突然運転姿勢が変わり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- ハンドル左下のレバーを押下し、ハンドルを前後・上下に動かします。
- 適切な位置で止め、レバーを引き上げて固定します。



ホーンの鳴らしかた

ホーンを鳴らすには、ハンドル中央のパッド面を押します。



ミラーの調節

ルームミラー★

ルームミラーは、後方が十分確認できるように、正しい運転姿勢で座ってから調節します。

ルームミラーの調節のしかた

⚠ 警告

- ミラーの調節は、必ず走行前に行う。また、防眩への切り替えは必要となきのみ行う。

走行中にミラーを調節したり、不必要に防眩へ切り替えたりしていると、前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。



- ミラー本体を持ち、角度を調節して適切な位置に合わせます。
- 夜間など後続車のヘッドランプがまぶしいときは、防眩切り替えレバーを手前に引くと反射が弱くなります。

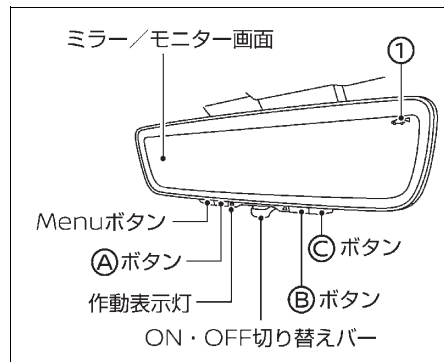
☆／★：車両型式、オプションなどで異なる装備

- 昼間など通常走行時は、防眩切り替えレバーを元の位置に戻してお使いください。

インテリジェントルームミラー★

乗員、ヘッドレスト、積載物などでさえぎられがちなルームミラーの後方視界をクリアに保ちます。車室内の状況に関わらず、車両後方にあるカメラの画像をルームミラーに映し出します。ON・OFF切り替えレバーでミラー状態とモニター表示状態を切り替えることができます。

インテリジェントルームミラーの使いかた



- <Menuボタン>：調節する項目を表示
- <Aボタン>・<Bボタン>：項目選択および調節
- <Cボタン>：決定

■ ルームミラーモード

- ミラーとして使用します。

■ インテリジェントルームミラーモード

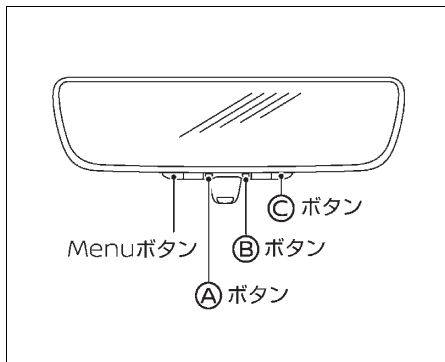
- モニターとして使用します。
(インテリジェントルームミラーモードのときは、①が表示されます。)

1. <パワースイッチ>をONにします。
2. インテリジェントルームミラーのON・OFF切り替えレバーを手前に引きます。(作動表示灯が点灯)
3. インテリジェントルームミラーモードに切り替わり、モニターに車両後方の画像が表示されます。
インテリジェントルームミラーのON・OFF切り替えレバーを車両前方側へ倒すと、モニター画面がOFFになり、ルームミラーモードとして使用できます。

- 周囲の明るさにより見づらかったり、眩しく感じたりしたときはインテリジェントルームミラーモードをOFFにし、ルームミラーモードでご使用ください。

インテリジェントルームミラーの画質調節

インテリジェントルームミラーモードのときに、モニター画像の各種調節ができます。



<Menuボタン>を押すと調節できる項目が表示されます。<Aボタン>・<Bボタン>で選択し、<Cボタン>で調節する項目を決定します。

■ Brightness (明るさ)

モニター画像の明るさを調節します。

- <Aボタン>を押すと、画面が暗くなります。
- <Bボタン>を押すと、画面が明るくなります。
- 調節幅：-8 (暗い) ~+8 (明るい)

■ Down/Up (下/上)

モニター画像の上下位置を調節します。

- <Aボタン>を押すと、画像が下に移動します。
- <Bボタン>を押すと、画像が上に移動します。
- 調節幅：-8 (下方向) ~+8 (上方向)

■ Left/Right (左/右)

モニター画像の左右位置を調節します。

- <Aボタン>を押すと、画像が左に移動します。
- <Bボタン>を押すと、画像が右に移動します。
- 調節幅：-8 (左) ~+8 (右)

■ Rotation (回転)

モニター画像位置の回転調節をします。

- <Aボタン>を押すと、画像が左に回転します。
- <Bボタン>を押すと、画像が右に回転します。
- 調節幅：-8 (左回り) ~+8 (右回り)

■ Indication (インジケーター)

モニター文字表示の表示・非表示を設定します。

- <Aボタン>を押すと、モニター文字表示が非表示になります。
- <Bボタン>を押すと、モニター文字表示が表示されます。

■ Language (言語)

表示させる言語を切り替えます。

- <Aボタン>・<Bボタン>で選択し、<Cボタン>で決定します。

■ Switch Backlight (スイッチ照明)

スイッチの照明のON・OFFを設定します。

- <Aボタン>を押すと、スイッチの照明がOFFになります。

- <Bボタン>を押すと、スイッチの照明がONになります。

■ License (ライセンス)

ライセンス情報が表示されます。

インテリジェントルームミラー使用時の注意事項

⚠ 警告

- 走行前に、ルームミラーの調節を必ず行う。

ルームミラーモード (ミラー状態) にして正しい姿勢で運転席に座り、後方がよく見える位置に調節してください。調節をしないで運転を始めると、インテリジェントルームミラーモード (モニター表示状態) にしたときにミラーの反射でモニターが見えにくくなる場合があります。

- インテリジェントルームミラーモードのときに作動表示灯 (故障通知LED) が消灯したら、すみやかにルームミラーモードに切り替える。

再度インテリジェントルームミラーにしても点灯しない場合、システムの異常が考えられます。日産販売会社にご相談ください。

- あらかじめ死角範囲を確認する。

⚠ 警告

インテリジェントルームミラーには死角があります。システムを過信せず、安全運転を心がけてください。

- ミラー本体やカメラ、配線を分解したり改造したりしない。

異臭がする、煙が出るなどした場合は、ただちに使用を中止し日産販売会社にご相談ください。

- 走行中に操作しない。

走行中に操作を行うと、前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。

- ミラー本体、カメラ、配線類にはタバコなどの火気を近づけない。

破損や車両火災の原因となります。

⚠ 注意

- モニターを凝視しない。

ー 前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。

ー 同乗者が凝視すると、車酔いを起こすおそれがあります。

- 太陽や後方車両のヘッドランプなどの強い光源がカメラに入ると、インテリジェントルームミラーのモニターに光のスジが入ったり、明るい光源がモニター上に広がったりする場合があります。その際には、必要に応じてルームミラーモードに戻してご使用ください。

- 走行可能表示灯〔READY〕が消灯時に長時間使用すると12Vバッテリーがあがるおそれがあります。

- 無線機のアンテナをインテリジェントルームミラー近くに取り付けしないでください。無線機の電波により、インテリジェントルームミラーの映像に乱れが出ることがあります。

- ボタンを強く押しすぎたり、レバーを強く操作したりすると故障の原因となります。また、ミラー本体が落下するおそれがあります。

- ミラーを上下20度、左右30度以上回転させないでください。配線が断線するおそれがあります。

- ミラー本体に強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

- 車両後方についているカメラやカメラカバーに無理な力をかけないでください。カメラが外れたり、故障したりするおそれがあります。

- 外部光による影響でモニターが見えにくいときは、ルームミラーモード（ミラー状態）にして使用してください。

- LED光源を使用した照明の一部が映った場合、画面がちらつく場合がありますが、故障ではありません。

- 外部環境の乱反射により、画面がちらつく場合がありますが、故障ではありません。

- すばやい動きにはモニター表示が追従できない場合がありますが、故障ではありません。

- ルームミラーとは後方の見えかたが異なります。インテリジェントルームミラー

の機能を過信せず、直接後方を確認するなど、責任のある運転を心がけてください。

- モニターの明るさを明るく調節しすぎると、運転中に目が疲れることがあります。明るさを適切に調節してください。

- カメラ映像が不鮮明な場合は、インテリジェントルームミラーカメラ (➡P.4) のレンズを清掃してください。

➡インテリジェントルームミラー★のお手入れ (P.461)

- インテリジェントルームミラーのモニターが熱を帯び、高温になることがありますが、故障ではありません。

- 遠いものや暗いときは色が認識しにくいことがありますが、故障ではありません。

- インテリジェントルームミラーのお手入れについては (➡P.461) をお読みください。

- 体調などによりインテリジェントルームミラーモードの映像に焦点が合うまでに時間を要する場合があります。

- インテリジェントルームミラーの前方をふさがないでください。モニターの明るさ調整やカメラ映像の切り替えができなことがあります。

- インテリジェントルームミラーモードのとき、インテリジェントルームミラーが高温になると明るさが低下したり、映像が表示されなかったりする場合があります。

- インテリジェントルームミラーモードのとき、インテリジェントルームミラーが

ミラーの調節

低温になるとカメラ映像が遅れることがあります。

- 本製品には、次のソフトウェアが含まれています。

- ① パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社（「パナソニック」）により、またはパナソニックのために開発されたソフトウェア
- ② パナソニックにライセンスされた第三者所有のソフトウェア
- ③ オープンソースソフトウェア

- 上記③に分類されるソフトウェアには、次のwebサイトに記載されているライセンス情報が適用される様々なソフトウェアを含むオープンソースソフトウェア（OSS）が含まれています。

<http://car.panasonic.jp/oss/m03xsn9d>

ドアミラー

<パワースイッチ>がONまたはOFFでACC状態のときに操作できます。

ACC状態については、オートACC機能（➡P.187）をお読みください。

ドアミラーの注意事項

⚠ 警告

- ミラーの調節は、必ず走行前に行う。
走行中にミラーを調節すると、前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- ミラーが動いているときは手を触れない。
手を挟む、またミラーが故障するおそれがあります。
- ミラーを格納したまま走行しない。
後方確認ができないため危険です。

🚗 アドバイス

- 凍結したままミラーを作動させない。
寒冷時にドアミラーが正常に作動しない場合は、ドアミラー内部が凍結している可能性があるため、そのまま作動を繰り返すと故障の原因となります。

ドアミラーの角度調節のしかた

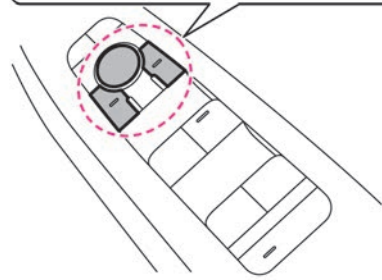
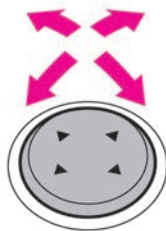
- 調節するミラー側の<左右切り替えスイッチ>を押します。
（スイッチの表示灯が点灯）
- <角度調節スイッチ>を前後左右に押し、鏡面角度を調節します。

左右切り替え



表示灯

角度調節



ドアミラーの格納のしかた

- <格納スイッチ>を押すと、左右のミラーが格納されます。
- <格納スイッチ>をもう一度押すと、元の位置に戻ります。



- スイッチ操作を連続して行くと、途中で停止することがありますが、故障ではありません。しばらくしてから作動させてください。
- 手動で開閉すると<パワースイッチ>をONにしたとき、<格納スイッチ>の位置によりミラーが動き出すことがあります。
- 手動でミラーを開閉しないでください。手動で開閉すると、走行中にミラーが規定位置より前方または後方に倒れ、後方確認ができなくなるおそれがあります。手動で開閉してしまったときは、走行前に<格納スイッチ>で開閉操作を行ってください。

ドアロック連動格納機能について



アドバイス

- ドアミラーが正常に作動しない寒冷時は、ドアロック連動格納機能をOFFにしてください。寒冷時にドアミラーが正常に作動しない場合は、ドアミラー内部が凍結している可能性があるため、そのまま作動を繰り返すと故障の原因となります。

ドアの施錠に連動させ、ミラーを格納することができます。

- リモコンまたは、ドアハンドルのセンサーで施錠すると、左右のミラーが格納されます。
 - リモコンまたは、ドアにあるスイッチで解錠すると、左右のミラーが開きます。(アドバンスドドライブアシストディスプレイで、<パワースイッチ>をONにすると左右のミラーが開く設定に変更できます)
 - アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [⚙️] ⇒ [車両設定] ⇒ [ドアミラー] を選択すると、ドアロック連動格納機能の設定を変更することができます。設定の詳細については、車両設定をお読みください。
- ➡ アドバンスドドライブアシストディスプレイとは (メインメニュー) (P.97)
- ➡ 車両設定 (P.120)

ドアミラーヒーター★の使いかた

<パワースイッチ>がONのとき、<リアデフォッガースイッチ> (➡ P.436) を押すと、ドアミラーに内蔵されたヒーターが作動し霜やくもりが取れます。

リバース連動下向ドアミラー★

シフトポジションを[R]にすると(後退時)、ドアミラーの角度が設定した位置を映すように作動します。

1. <パワースイッチ>をONにし、<左右切り替えスイッチ>の左右どちらかを押します。
 2. シフトポジションを[R]にします。
 3. ドアミラーが下向きに作動します。
- 次のいずれかの状態になると、元の角度に戻ります。
 - シフトポジションを[R]以外にする
 - <左右切り替えスイッチ>が、左右ともに押されていない状態にする
 - <パワースイッチ>をON以外にする
 - 下向きになるドアミラーの鏡面角度を記憶することができます。
 1. シフトポジションを[R]にしてから、ドアミラーの鏡面角度を希望の位置に調整します。
 2. シフトポジションを[P]にするとドアミラーの鏡面が元の位置に戻ります。
 3. <パワースイッチ>をOFFにします。

窓ガラスの開閉

パワーウィンドー

＜パワースイッチ＞がONのときに操作できます。

パワーウィンドーの注意事項

⚠ 警告

- 乗員の操作を含めすべての窓ガラス開閉操作は運転者に責任があるため、次のことを必ず守る。
 - ー 走行中は顔や腕、物などを車外に出さないでください。車外の物に当たったり、急ブレーキ時に重大な傷害につながったりするおそれがあります。
 - ー 窓ガラスを開閉するときは、窓から手や顔などを出したり、故意に挟み込み防止機構を働かせたりしないでください。手や顔、腕などを窓ガラスに挟まれたり巻き込まれたりすると、重大な傷害につながることがあります。
 - ー お子さまにはパワーウィンドーを操作させないでください。重大な傷害につながるおそれがあるため、＜パワーウィンドーロックスイッチ＞を押し込んでください。
 - ー 窓ガラスを開閉するときはお子さまに声をかけ、手や腕などが窓ガラス付近にないことを確認してから操作を行ってください。

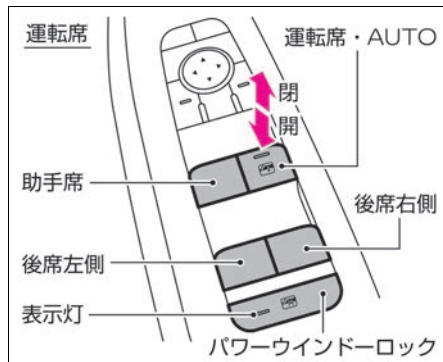
ー 車から離れるときは＜パワースイッチ＞をOFFにし、キーとお子さまを車室内に残さないでください。いたずらなどの誤った操作によって思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

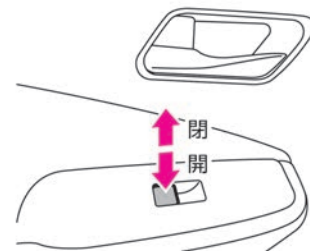
- 指などを挟まれないように注意する。
窓ガラスには挟み込み防止機構がありますが、窓ガラスを確実に閉めるため、閉め切る直前の部分では挟み込みを感知できない領域があります。

パワーウィンドーの開けかた、閉めかた

運転席のスイッチで、各席の窓ガラスの開閉ができます。助手席のスイッチおよび後席のスイッチでは自席の窓ガラスの開閉ができます。



助手席、後席



■ 開けるには

- スイッチを軽く押すと、押している間だけ開きます。

■ 閉めるには

- スイッチを軽く引き上げると、引き上げている間だけ閉まります。

■ 自動開閉するには

運転席の窓ガラスはワンタッチで自動開閉できます。

- スイッチを強く押すと全開します。
- スイッチを強く引き上げると全閉します。
- 途中で止めたいときは、スイッチを操作した反対側に軽く押すか引き上げます。

■ 開閉操作をロックするには

お子さまが誤って窓ガラスを開閉することを防止できます。

窓ガラスの開閉

- <パワーウィンドーロックスイッチ>を押し込むと、運転席以外の窓ガラスの開閉ができなくなります。

- スイッチを押し戻すとロックが解除されます。

■ キーOFF後作動機構

- 窓ガラスは、<パワースイッチ>をOFFにしたあとでも、約45秒間は開閉することができます。ただし、その約45秒間に運転席ドアまたは助手席ドアを開けると、窓ガラスの開閉ができなくなります。

挟み込み防止機構

⚠ 警告

- 窓ガラスを閉める前に乗員の手や顔などが窓から出ていないことを確認する。
挟み込み防止機構を解除すると、自動開作動と挟み込み防止機構が作動しません。確認せずに窓ガラスを閉めると重大な傷害につながるおそれがあります。
- 運転席の窓ガラスをワンタッチ（自動）で閉めているとき、車体と窓ガラスの間に異物が挟まると、窓ガラスの上昇が停止し、自動で少し開きます。
- 環境や走行条件により、異物を挟んだときと同じような衝撃や荷重が窓ガラスに加わると挟み込み防止機構が作動することがあります。
- 故障などで挟み込み防止機構が作動してしまい、窓ガラスを閉めることができないときは、次の手順で挟み込み防止機構を解除して、窓ガラスを閉めてください。

いときは、次の手順で挟み込み防止機構を解除して、窓ガラスを閉めてください。

- ① 挟み込み防止機構が作動するまでスイッチを引き上げます。
 - ② ①の手順を2回繰り返します。
 - ③ スイッチを引き続けて窓ガラスを閉めます。
- 挟み込み防止機構の解除は次の場合に終了し、通常の作動に戻ります。
 - 一定時間（約10秒）経過する
 - 窓ガラスを全閉する

正常に作動しないとき

- 初期設定を行うときは、ドアを閉めて操作してください。

窓ガラスのワンタッチ開閉、挟み込み防止機構、キーOFF後作動機構が正常に作動しないときは、次の操作を行い初期設定してください。

- ① <パワースイッチ>をONにします。
- ② 運転席のスイッチを引き続けて運転席窓ガラスを全閉にしたあと、スイッチから手を離します。※1
- ③ 運転席のスイッチを5秒以上引き続けます。※2
- ④ 運転席のスイッチを押し続けて運転席窓ガラスを全閉にしたあと、スイッチから手を離します。
- ⑤ 運転席のスイッチを5秒以上押し続けます。※2
- ⑥ 運転席窓ガラスが全閉するまで、運転席のスイッチを引き続けます。
- ⑦ 運転席窓ガラスを自動開閉させて、正常に作動することを確認します。

※1：全閉になる前に窓ガラスが停止した場合は、スイッチから手を離し、再度スイッチを引き続けて全閉にしてください。
※2：約5秒以上スイッチを引き続ける、または押し続けると再度運転席窓ガラスが動きます。

- 初期設定にしても正常に作動しない場合は早めに日産販売会社で点検を受けてください。

調光パノラミックガラスルーフ（遮熱機能付）★

- 調光パノラミックガラスルーフは、スイッチの操作によって透明または不透明（遮光状態）にすることができます。

⚠ 警告

- このシステムには高電圧コンポーネントが含まれているため、決して分解、取り外し、または交換しない。
 - 重度の熱傷や感電により、重傷を負ったり死亡したりすることがあります。
 - 修理が必要な場合は、日産販売会社にご相談ください

遮光調整は4段階に設定することが出来ます。

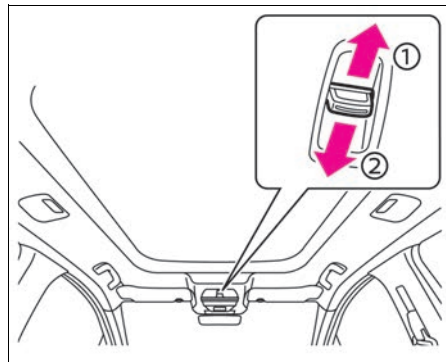
- 全体が不透明
- 前半分：不透明、後半分：透明
- 前半分：透明、後半分：不透明
- 全体が透明

システム操作

スイッチを車両後方①に押すと、調光パノラミックガラスルーフの前半分が徐々に透明になります。

そのままスイッチを車両後方に押したままにすると、調光パノラミックガラスルーフ全体が透明になります。

スイッチを車両前方②に押すと、調光パノラミックガラスルーフの後半分が徐々に不透明になります。そのままスイッチを車両前方に押したままにすると、調光パノラミックガラスルーフ全体が不透明になります。



⚠ 注意

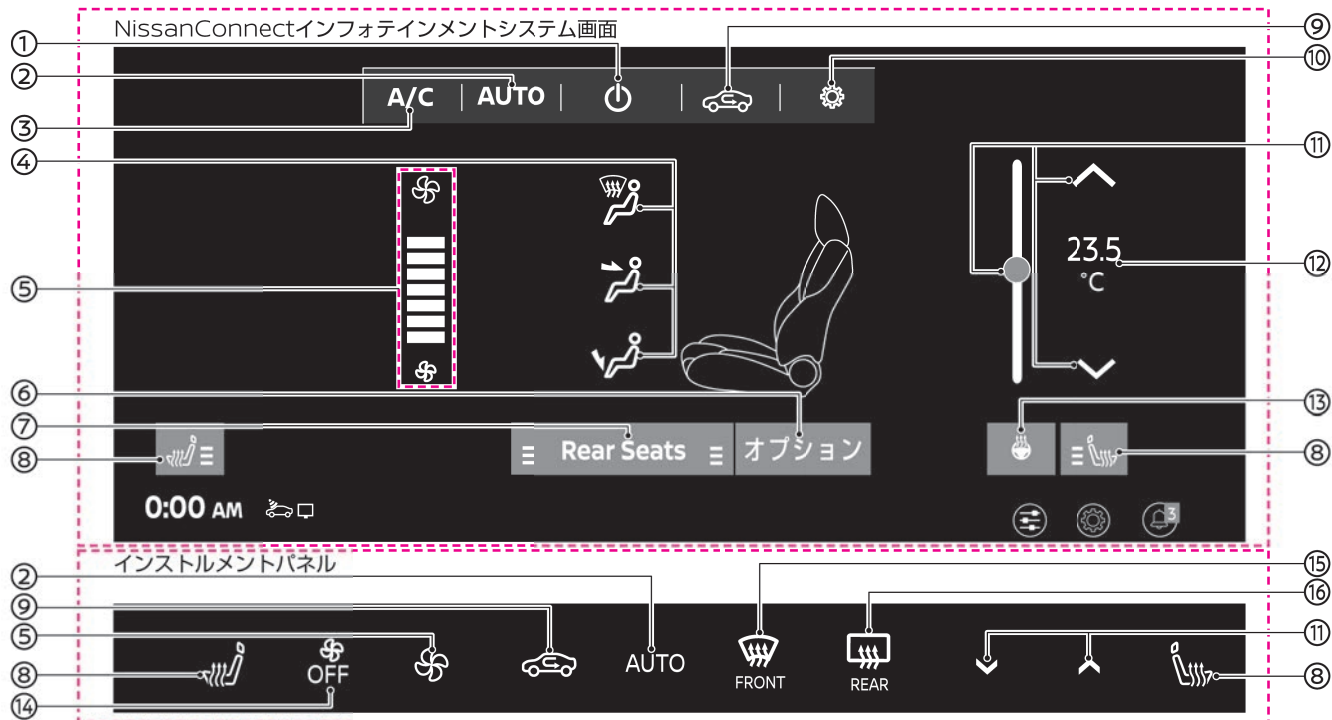
- 調光パノラミックガラスルーフは、<パワースイッチ>をOFFにして、ドアを施錠すると不透明になります。

- <パワースイッチ>をオンにすると、調光パノラミックガラスルーフは<パワースイッチ>をOFFにする前の設定に戻ります。
- 気候が非常に高温または低温の場合、調光パノラミックガラスルーフの透明度が変わることがあります。
- 非常に寒い天候では、調光パノラミックガラスルーフの動作が制限されたり、まったく動作しなかったりすることがあります。
- 車両が衝撃を受けた場合、調光パノラミックガラスルーフは不透明な状態を続ける場合があります。このようなときは、日産販売会社にご相談ください。
- 角度によっては、調光パノラミックガラスルーフが不透明に見えることがあります。

オートエアコンシステム

吹き出し温度、吹き出し口、風量、内外気切り替え、ステアリングヒーター★、ヒーターシートを自動で制御し、設定した温度に保ちます。

各スイッチの名称と機能



エアコンの操作

- ① **ON・OFFスイッチ**
タッチしてオートエアコンシステムのON・OFFを切り替えます。
オレンジ色：ON
白色：OFF
- ② **AUTOスイッチ**
オートエアコンに切り替えます。吹き出し温度、吹き出し口、風量、ステアリングヒーター★、前席ヒーターシートの切り替えを自動で制御して設定した温度に保ちます。
オレンジ色：ON
白色：OFF
- ③ **A/Cスイッチ**
タッチするごとに冷房・除湿機能のON・OFFが切り替わります。
オレンジ色：ON
白色：OFF
- ④ **吹き出し口切り替えスイッチ**
タッチして希望の吹き出し口に切り替えます。 (👉 P.178)
オレンジ色：選択されている吹き出し口
白色：選択されていない吹き出し口
- ⑤ **風量調節スイッチ**
タッチして希望の風量に切り替えます。
- ⑥ **オブションスイッチ**
[FAN ONLY] をONにすると、ファンのみが回って車室内の空気を循環させます。
オレンジ色：ON
白色：OFF
- ⑦ **後席ヒーターシート操作画面切り替えスイッチ★**
後席ヒーターシートの調節ができます。 (👉 P.367)
- ⑧ **前席ヒーターシートスイッチ (👉 P.366)**
前席ヒーターシートのON・OFFおよび温度調節をします。
- ⑨ **内外気切り替えスイッチ**
タッチするごとに外気導入／内気循環／自動制御モードが切り替わります。(内気循環のとき、<👉>がオレンジ色に点灯します。
[👉] は外気導入／内気循環／自動制御モードに合わせて表示が切り替わります。)

エアコンの操作

- ⑩ **設定スイッチ**
エアコンの設定画面を表示します。(➡P.176)
- ⑪ **温度調節スイッチ**
タッチして希望の設定温度に切り替えます。(LO 18.0℃～32.0℃ HI)
- ⑫ **設定温度表示**
設定温度を表示します。
- ⑬ **ステアリングヒータースイッチ★**(➡P.365)
- ⑭ **風量調節スイッチ／OFFスイッチ**
風量が最小のときにさらにスイッチを押すとエアコンシステムがOFFになります。
NissanConnectインフォテインメントシステム画面上の風量調節スイッチではエアコンシステムをOFFにできません。
- ⑮ **デフロスタースイッチ**
フロントガラスのくもりが取れます。(➡P.436)
- ⑯ **リヤデフォグガースイッチ**
バックドアガラスのくもりが取れます。また、ドアミラーに内蔵されたヒーター★が作動し霜やくもりを取ります。(➡P.436)

- NissanConnectインフォテインメントシステムがオートエアコンシステム操作画面以外を表示していても、[🔊]をタッチすると、オートエアコンの温度等を変更することができます。



オートエアコンの使いかた

⚠ 注意

- インストルメントパネルのスイッチの前には何も置かない。
意図しない動作をする場合があります。

1. インストルメントパネルの<AUTO>を押す、またはオートエアコンシステム操作画面の[AUTO]をタッチします。(インストルメントパネルの<AUTO>とオートエアコンシステム操作画面の[AUTO]がオレンジ色に点灯します。)



- オートエアコンシステム操作画面を表示するには[🔊]をタッチします。
- 2. インストルメントパネルの<^>/<v>を押す、またはオートエアコンシステム操作画面の

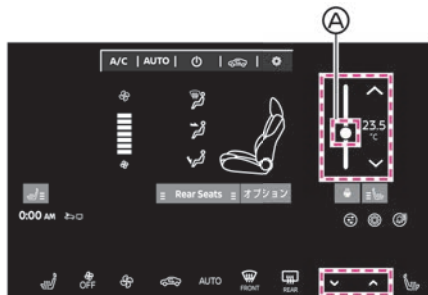
エアコンの操作

[$\wedge$] / [$\vee$] をタッチして、設定温度を調節します。

[$\wedge$] / < $\wedge$ > : 設定温度を上げる

[$\vee$] / < $\vee$ > : 設定温度を下げ

- 設定温度表示内側のバーにある④を上下に移動しても設定温度を調節できます。



3. オートエアコンシステム操作画面の [A/C] が白色のときは、[A/C] をタッチしてオレンジ色にします。

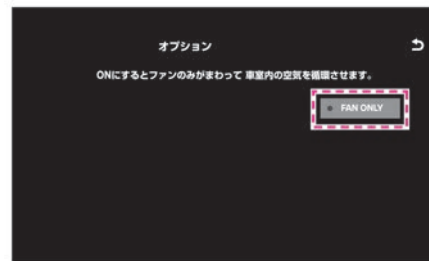


- <AUTO> / [AUTO] がオレンジ色に点灯しているときは、消費電力を抑えた最適な状態でエアコンが作動します。
- オートで使用中に風量の調整または、吹き出し口の切り替えを行うと [AUTO] / <AUTO> は白色に点灯しますが、操作した機能以外については引き続き自動制御されます。
- 吹き出し口の切り替えは、吹き出し口 (P.177) をお読みください。
- <パワースイッチ> をOFFにし、再度 <パワースイッチ> をONにすると、エアコンの条件によっては、内気循環／外気導入が自動制御モードになる場合があります。
- 設定温度を調節したときに、風量を表す表示の色が変化しますが、設定温度に合わせた色の変化であり、実際に出てくる風の温度を表現したものではありません。

送風運転のしかた

- 送風で使用すると冷房、暖房、除湿機能が作動せず、ファンのみがまわって車室内の空気を循環させます。
- 送風で使用するとエアコンの消費電力が抑えられるため、航続可能距離を延ばすことができます。
- 送風運転にしたいときは、エアコンをON（風が出ている状態）にしてから操作します。

1. オートエアコンシステム操作画面の [オプション] を押してから、[FAN ONLY] をタッチします。 ([FAN ONLY] がオレンジ色に点灯)



2. 風量を調節します。
送風運転時は、オートエアコンシステム操作画面に温度表示が表示されなくなります。

エアコンの操作

スイッチ感度の調整のしかた

- インストルメントパネルにあるスイッチの感度を調整できます。
感度調整が必要な場合は、日産販売会社にお問い合わせください。

スイッチ操作音のON・OFFのしかた

- スイッチ操作時の操作音をON・OFFすることができます。
＜パワースイッチ＞をOFFにし、オートACC状態のときに内外気切り替えスイッチを約5秒間押すと、スイッチ操作音の切り替えモードに切り替わります。
スイッチ操作音切り替えモードの時に内外気切り替えスイッチをもう一度押すと操作音のON・OFFが切り替わります。
(操作音をONにしたいときは、全てのスイッチが点灯し、操作音が鳴る状態にします。操作音をOFFにしたいときは全てのスイッチが点滅する状態にします。)
- 約5秒間何も操作をしないと、スイッチ操作音切り替えモードが終了します。

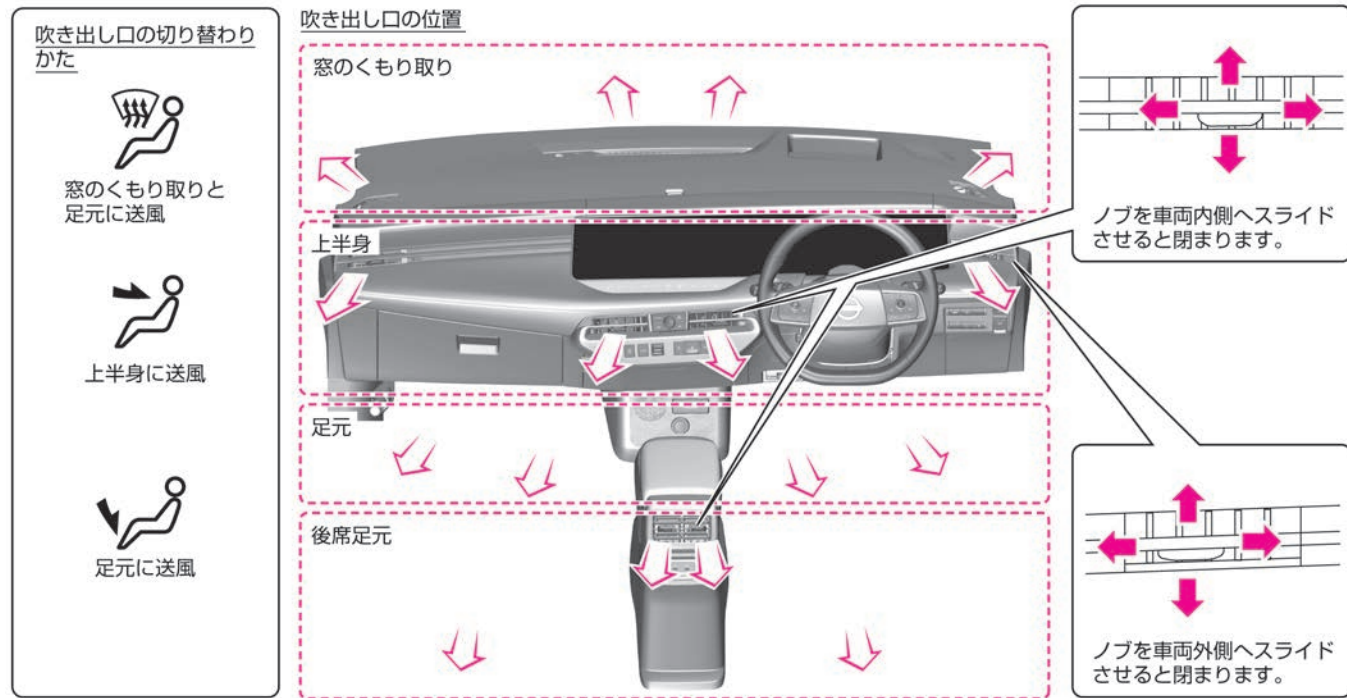
設定 [⚙]

オートエアコンシステム操作画面の [⚙] をタッチするとエアコンなどの設定ができます。

項目	機能
AUTO時の最大風量の調整	● オートエアコン使用時の最大風量をOFF、1～3の範囲で設定できます。初期設定はOFFです。 － 1：最大風量を低めに設定 － 3：最大風量を高めに設定
AUTO時の内外気切り替え	● 設定をONにするとオートエアコン使用時に内外気切り替えも自動制御モードで制御されます。
デフロスター・リアデフォグガー連動	● 設定をONにするとデフロスターに連動してリヤデフォグガーもONになります。
AUTO時のステアリングヒーター★調整	● オートエアコン使用時のステアリングヒーターの温度をOFF、1～3の範囲で設定できます。初期設定はOFFです。 － 1：温度を低めに設定 － 3：温度を高めに設定 ● OFFにするとオートエアコン使用時には連動しません。
AUTO時の温調シート調整（運転席）	● オートエアコン使用時の運転席側ヒーターシートの温度をOFF、1～3の範囲で設定できます。初期設定はOFFです。 － 1：温度を低めに設定 － 3：温度を高めに設定 ● OFFにするとオートエアコン使用時には連動しません。
AUTO時の温調シート調整（助手席）	● オートエアコン使用時の助手席側ヒーターシートの温度をOFF、1～3の範囲で設定できます。初期設定はOFFです。 － 1：温度を低めに設定 － 3：温度を高めに設定 ● OFFにするとオートエアコン使用時には連動しません。

吹き出し口

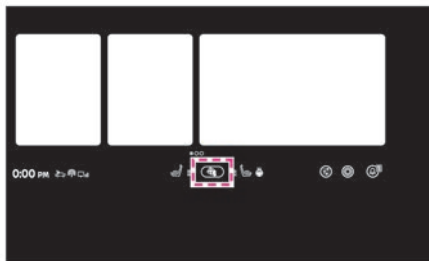
＜吹き出し口切り替えスイッチ＞をタッチする、または＜デフロスタースイッチ＞を押して希望の吹き出し口に切り替えます。



エアコンの操作

吹き出し口の切り替えかた

1. NissanConnectインフォテインメントシステム操作画面の [吹き出し口] スイッチをタッチします。



2. 吹き出し口のアイコンをタッチすると切り替わります。



- 各吹き出し口の使用目的

[吹き出し口] : 窓のくもり取りと足元に送風

[上半身] : 上半身に送風

[主に足元] : 主に足元に送風

- <吹き出し口切り替えスイッチ>および<デフロスタースイッチ>は、複数箇所を同時に選択することができます。

- [主に足元] を選択すると、窓側の吹き出し口から少量の風が出て、窓のくもりが減少します。

エアコンを使うときに注意すること

各機能の作動条件について

- この車両のオートエアコンシステムは、送風機能、冷房／暖房機能、タイマーエアコンでそれぞれ使える条件が異なります。それぞれの機能は次の条件のときに使用できます。

パワースイッチ	OFF	ACC状態	ON	ON (走行可能表示灯 [READY] が点灯)
送風機能	-	-	○	○
冷房／暖房機能	-	-	○	○
タイマーエアコン	○	○	-	-

運転モードについて

運転モード	送風スイッチの状態※	A/Cスイッチの状態
<u>送風運転</u> ● 車室内の空気を循環させたいとき	 オレンジ色に点灯	 白色に点灯
<u>冷房・除湿運転</u> ● 車室内を冷やしたいとき ● 除湿して窓のくもりを取りながら車室内を暖めたいとき	 白色に点灯	 オレンジ色に点灯
<u>暖房運転</u> ● 車室内を暖めたいとき	 白色に点灯	 白色に点灯

※送風スイッチの状態確認は [オプション] スイッチを押すと確認できます。

エアコンの操作

エアコンに関する注意事項

⚠ 注意

- **A/CスイッチOFF時に内部循環で長時間使用しない。**

窓ガラスがくもりやすくなり、視界が損なわれ危険なため、一時的にご使用ください。

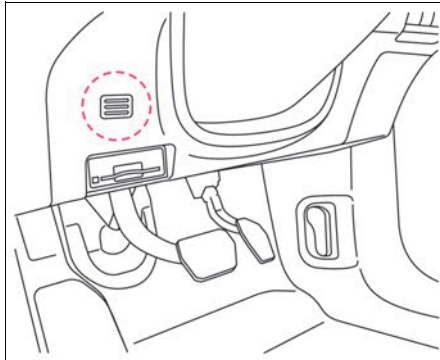
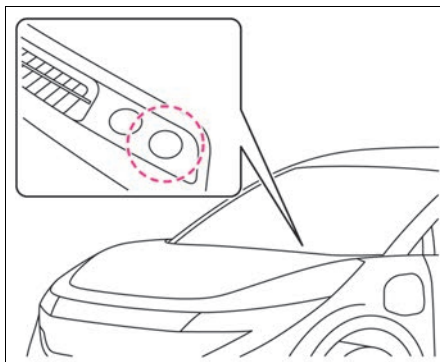
- **吹き出し風を長時間連続して身体に当てない。**

特に皮膚の弱い方、乳幼児、病人、お年寄り、身体の不自由な方などには、吹き出し風が長時間当たらないように運転者が注意してください。低温やけどや思わぬ傷害を受けるおそれがあります。

- **<デフロスタースイッチ>をONにしているときに、エアコンの設定温度を低くしない。**

フロントガラスの外側に露が付く、視界を妨げるおそれがあります。

- 自動温度調節は日射センサーと温度センサーで行っています。センサーをふさいだり、クリーナーなどを吹きかけたりしないでください。センサーの感度が低下し、正常に作動しなくなります。



- エアコンの消費電力は、外気温とエアコンの設定温度により変化します。特に夏に車室内を冷やしすぎたり、冬に車室内を暖めすぎたりすると、消費電力が多くなり航続可能距離が大幅に減少する原因になります。
- ほこり、花粉、粉じんなどを集じんするためのクリーンフィルターを装着しています。集じん性能を維持するため、ク

リーンフィルターは定期的に交換してください。

交換時期：1年ごとまたは12,000km走行ごと

- クリーンフィルターが交換時期に満たない場合でも、吹き出し風量が極端に減少したり、窓ガラスがくもりやすくなった場合は交換してください。なお、取り付け、交換などについては、日産販売会社にご相談ください。
- 外気導入に固定していると、夏場など外気温が高いときは、冷房の効きが悪くなる場合があります。その場合は、一時的に内気循環にしてください。
- エアコン装置のオイル循環を切らさないために、ときどき [A/C] をONにして作動させてください。なお、外気温が0℃近くまで下がるとエアコン装置が作動しないことがあるため、暖かい日に行ってください。
- エアコンガスは必ず指定のものをご使用ください。エアコンガスの詳細については、ボンネットの裏にあるエアコンラベルをご確認ください。
- 地球温暖化防止のためエアコンガスを大気放出しないでください。
- この車両では、エアコンのシステムに特殊なオイルを使用しています。エアコンの修理、メンテナンスは日産販売会社にご相談ください。
- 冷房時、吹き出し口から霧が吹き出したように見えることがありますが、これは湿った空気が急に冷やされたときに発生するもので、異常ではありません。

エアコンの操作

- 外気温が0℃近くまで下がると、[A/C] が点灯していてもエアコンが作動しないことがあります。
- エアコンがONのとき、またはOFFにした直後に、“カチカチ”、“シュー”、“コツン”などの音が聞こえることがありますが、異常ではありません。
- エアコンをOFFにしているときでも、リチウムイオンバッテリーを冷却するためにエアコンが作動する場合があります。その場合はコンプレッサーおよび冷却ファンの音が聞こえることがありますが、異常ではありません。
- タイマーエアコンの作動時もコンプレッサーおよび冷却ファンの音がしますが、異常ではありません。リチウムイオンバッテリー温度調節システム★がリチウムイオンバッテリーの電力を使用しているときは、エアコンが自動的に作動しますが、故障ではありません。
- 始動直後で吹き出し風の温度が低いときは、足元への吹き出し風量が少なくなります。
- エアコンの運転中、運転後または充電中などに車両の下に水が垂れることがあります。
- 外気温が低いときは、外気温に応じてフロントデフロスターへの風量が多くなります。

エアコンのにおいについて

- エアコン装置は、空気中のいろいろなにおいが混ざり合うため、吹き出し風からにおいを感じることがあります。
- エアコン作動時のにおいを抑えるため、駐車時などは外気導入にしておくことをおすすめします。

☆／★：車両型式、オプションなどで異なる装備

タイマーエアコンの設定のしかた

NissanConnectインフォテインメントシステムでタイマーエアコンの出発予定時刻を設定しておく、その時間にあわせてお出かけ前に車室内を快適な温度にすることができます。そのため、走行を始めてからのエアコンの電力を抑えることができます。

警告

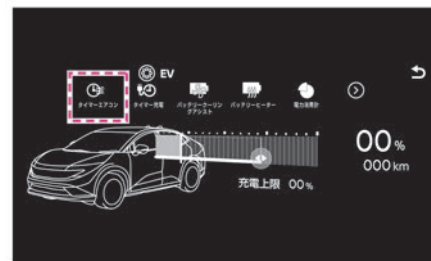
- お子さまや介護を必要とされる方、ペットを車室内に残さない。

タイマーエアコンを設定していても、システムの自動停止などの理由で車室内が高温または低温になることがあり、最悪の場合は死亡につながるおそれがあります。

- タイマーエアコンは、リチウムイオンバッテリー残量が少なくなっているときは、作動しません。
🔌 リチウムイオンバッテリー残量計
(P.88)
- 設定した5種類の時刻は、1週間分予約できます。設定した予約は継続されるため、毎回設定する必要はありません。
- タイマーをOFFにすると予約が解除されます。予約を解除しても設定した時刻、曜日は消去されません。再度タイマーをONにすると、現在の設定条件で予約をすることができます。

タイマーエアコンの使いかた

1. NissanConnectインフォテインメントシステムで次の操作をして、タイマーエアコンの設定画面を表示させます。
[🏠] ⇒ [📱] ⇒ [EV] ⇒ [タイマーエアコン]

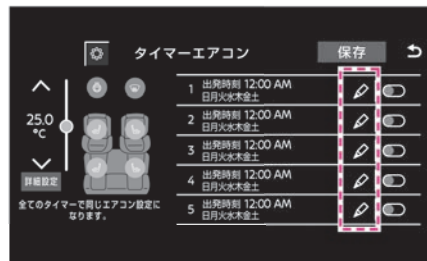


2. <温度調節スイッチ>をタッチして設定温度を変更します。

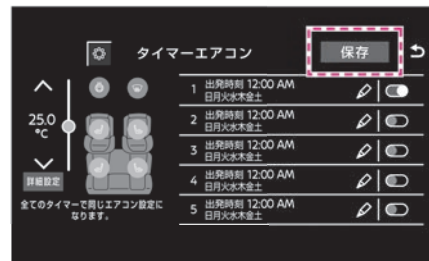
エアコンの操作



3. ①をタッチして、タイマーをONにします。タイマーは5種類設定することができます。



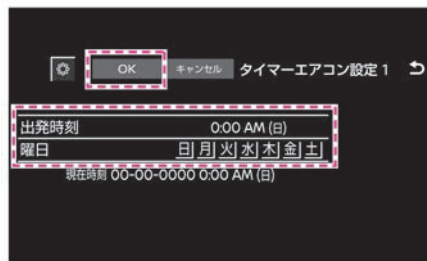
5. 「[出発時刻]」をタッチして出発予定時刻を設定します。



9. <パワースイッチ>をOFFにし、充電ケーブルを接続します。充電ケーブルを接続することをおすすめします。（充電ケーブルを接続しないと、リチウムイオンバッテリーの電力を消費します。）普通充電の充電ケーブル接続方法は、②即充電のしかた (P.48)をお読みください。V2H充電の充電ケーブルの接続方法は、③急速充電のしかた (P.50)をお読みください。
※出発時刻に設定した温度になるように、エアコンが自動的に作動します。

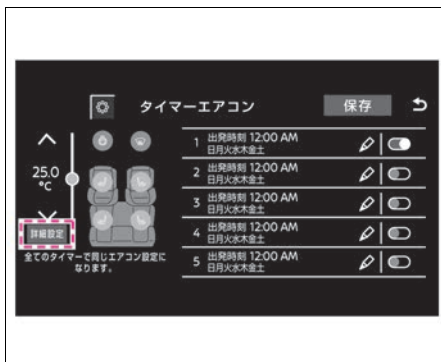


4. 「[🔍]」をタッチしてタイマー設定画面に切り替えます。



6. 「[曜日]」をタッチしてタイマーエアコンを行う曜日を設定します。
7. 「[OK]」を押します。
8. 「[保存]」をタッチして設定を保存します。

- タイマーエアコン時のECOモード設定を行うことができます。
「[詳細設定]」をタッチして省電力（ECO）モードをONにすると、タイマーエアコン使用時はステアリングヒーター★とヒーターシートのみ作動し、消費電力を抑えることができます。



タイマーエアコンに関する注意事項

タイマーエアコンを使用するときの注意事項

- 充電中にタイマーエアコンが作動すると、充電に必要な時間が延びることがあります。
- 出発時刻になると、エアコンが自動的に停止します。設定した出発時刻よりも早く、または遅れて車に乗り込むと、車室内の温度が快適な温度になっていない場合があります。
- 外気温が低いときにタイマーエアコンを作動させると、リチウムイオンバッテリーの残量が低下することがあります。この場合、出発するとときに充電が完了していないことがあります。
- 充電施設によっては、利用できない時間帯が設定されていることがあります。タイマーエアコンを使用する場合は、利用

可能な時間帯を確認してください。また、タイマーエアコンを設定する場合は、充電器の電源がONになっていることを確認してください。

- タイマーエアコン作動中でも設定した時刻を変更することができます。設定変更後に<パワースイッチ>をOFFにすると、新しい設定が反映されます。
- タイマーエアコンは、家や充電器などから供給される電力を使用するため、外気温が極端に高い、または低いとき、AC100Vの充電ケーブル（コントロールボックス付）を使用しているとき、設定温度と外気温の差が大きいときなどは、エアコンの性能が制限され、車室内が設定した温度にならないことがあります。
- タイマーをONにするときは、設定温度、ヒーターシート、ステアリングヒーター★のいずれかの設定が有効になっていることを確認してください。

オーディオ

オーディオの使いかた

安全運転のために

警告

- 走行中のオーディオ操作は、絶対にしない。

前方不注意となるおそれがあります。

- 音量を大きくしない。

大きすぎると車外の状況がわからないため、思わぬ事故の原因となります。

- 運転中は車外の音が聞こえる程度の音量でお聞ください。

始動する

パワースイッチ	P.186
オートACC機能	P.187

運転する

シフトスイッチ	P.189
回生ブレーキコントロールパドル★	P.190
電動パーキングブレーキ	P.191
オートブレーキホールド	P.192
発進・走行	P.194
停車・駐車	P.195

ランプをつける、ワイパーを使う

ライトスイッチ	P.197
フォグランプスイッチ★	P.203
ワイパー・ウォッシャースイッチ	P.204

運転支援機能

e-Pedal Step	P.209
ドライブモードセレクター	P.210
エマージェンシーストップシグナル	P.211
ABS（アンチロックブレーキシステム）	P.211
VDC（ビークルダイナミクスコントロール）	P.212
ヒルスタートアシスト	P.214
車両接近通報装置	P.214
走行支援機能	P.216

プロパイロット	P.222
インテリジェント ディスタンスコントロール	P.255
インテリジェント エマージェンシーブレーキ	P.261
衝突回避ステアリングアシスト	P.269
踏み間違い衝突防止アシスト	P.269
BSW（後側方車両検知警報）／インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）	P.275
LDW（車線逸脱警報）／インテリジェント LI （車線逸脱防止支援システム）	P.283
インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）	P.286
RCTA（後退時車両検知警報）	P.289
インテリジェント DA（ふらつき警報）	P.292
標識検知機能	P.293
ドライバーモニターシステム★	P.296
先行車発進お知らせ	P.299

駐車支援システム

バックビューモニター★	P.301
バックビューモニター★の注意事項	P.302
インテリジェント アラウンドビューモニター （移動物 検知機能付）★	P.306
インテリジェント アラウンドビューモニター★に 関する注意事項	P.315
プロパイロット パーキング★	P.319
プロパイロット リモート パーキング★	P.341

始動する

パワースイッチ

⚠ 警告

- EVシステムを始動する前にペダルの位置を確認する。

ペダルの踏み間違いは思わぬ事故につながります。右足でアクセルペダルとブレーキペダルを交互に踏み、その位置を確実に覚えてください。

- EVシステムを始動するときは、必ず運転席に座る。

運転席以外から行くと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- EVシステムを始動したあとは、e-Pedal StepのON・OFF状態を確認してから走行する。

e-Pedal StepがONのときとOFFのときでは、アクセルペダルの特性が大きく異なるため、走行前に確認してください。

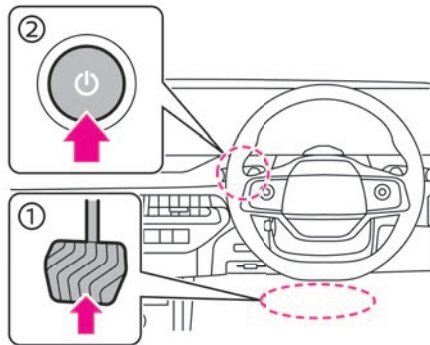
🚗 アドバイス

- メーター内の走行可能表示灯「READY」が点灯しているとき、ボンをネットを開けたままにしないでください。12Vバッテリーへの充電が停止するため、12Vバッテリーが上がるおそれがあります。

灯「READY」の点灯・消灯で、EVシステムの始動・停止を確認します。

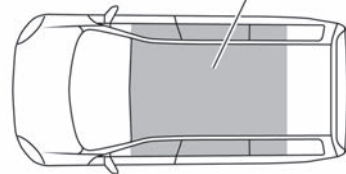
始動のしかた

1. インテリジェントキーを携帯して車両に乗り込みます。アクセルペダルとブレーキペダルの位置を確認し、正しい運転姿勢（➡P.62）がとれるようにハンドル、シート、ミラーを調節します。
2. ブレーキペダル①をしっかり踏み込みながら、＜パワースイッチ＞②を押します。



3. メーター内の走行可能表示灯が点灯し、走行できるようになります。
- キーが作動範囲（車室内）にあるときに、EVシステムを始動することができます。

作動範囲（車室内）



- ブレーキペダルを踏んだり離したりしたとき、「カチッ」と音が聞こえることがありますが異常ではありません。

停止のしかた

1. ブレーキペダルを踏んで、車両を完全に停車させます。
 2. ブレーキペダルを踏んだままパーキングブレーキをかけます。
- ➡ 電動パーキングブレーキのかけかた (P.191)
3. ＜シフトスイッチ＞の＜P＞スイッチを押して、シフトポジションをPに切り替えます。
 4. ＜パワースイッチ＞を押します。ブレーキペダルからゆっくりと足を離し、メーター内の走行可能表示灯が消灯していることを確認します。

- インテリジェントキーの電池が切れている、または車室内にキーがない場合にEV

この車両にはエンジンがないため、エンジン音の代わりにメーター内の走行可能表示

始動する

システムを停止するときは、＜パワースイッチ＞を長押ししてください。

パワースイッチでのモードの切り替えかた

- インテリジェントキーを携帯しているときに、次の作動をします。
 - － ブレーキペダルを踏まずに＜パワースイッチ＞を押すと、モードが切り替わります。（走行可能表示灯 [READY] は消灯）
 - － ブレーキペダルを踏みながら＜パワースイッチ＞を押すと、EVシステムが始動します。（走行可能表示灯 [READY] が点灯）
 - － EVシステムが作動中に＜パワースイッチ＞を押すと、EVシステムが停止します。

モード	働き
OFF	● ドアミラーなどが使える位置（ACC状態のとき） ● EVシステムを停止する位置
ON	● すべての電装品が使える位置

アドバイス

- 12Vバッテリーあがりを防止するため、電装品（NissanConnectインフォテインメントシステムや電源ソケットなど）はEVシステムを始動した状態でご使用ください。EVシステムを始動しないときは、電装品を長時間使用することや同時に複数使用することは避けてください。
- 次の条件がそろった状態でしばらくすると自動的に＜パワースイッチ＞がOFFになります。
 - － ＜パワースイッチ＞がON（メーター内の走行可能表示灯 [READY] は消灯）の状態のとき
 - － 停車しているとき
 - － 車両充電中でないとき
- ＜パワースイッチ＞がOFFの位置でも、ACC状態のときはドアミラーなどの電装品を使うことができます。ACC状態については、オートACC機能（➡P.187）をお読みください。

非常停止のしかた



警告

- 非常停止を行うときは、可能な限り減速してから行う。
非常停止後は、ブレーキの効きが悪くなり、ハンドルも重くなるため、車両のコントロールが難しくなります。

緊急時など、走行中に強制的にEVシステムを停止（＜パワースイッチ＞OFF）させるときは、次の操作を行ってください。

- ＜パワースイッチ＞を2秒以上押し続ける。
- ＜パワースイッチ＞をすばやく3回押す。

オートACC機能

＜パワースイッチ＞がOFFのときでも、特定の条件で、NissanConnectインフォテインメントシステム、ドアミラーなどの電装品が使える状態（ACC状態）に自動で切り替わる機能です。EVシステムの停止後や、＜パワースイッチ＞をONにする前でも、NissanConnectインフォテインメントシステム、ドアミラーなどが使用できます。

オートACC機能について

- 次の場合、自動でACC状態に切り替わります。
 - － リモコン（インテリジェントキー）機能でドアを施錠または解錠したとき
 - － ＜パワースイッチ＞をOFFにしたとき
 - － ドアを開けたとき
 - － ドアを閉めたとき

ACC状態を停止するには

- 次の場合、ACC状態が完全に停止します。
 - － ACC状態のままNissanConnectインフォテインメントシステムの操作を行わずに一定時間経過したとき

始動する

- EVシステム停止後、リモコン（インテリジェントキー）機能で施錠してから一定時間経過したとき
- EVシステム停止後、ドアを開閉してから一定時間経過したとき

アドバイス

- 12Vバッテリーあがりを防止するため、電装品（NissanConnectインフォテインメントシステムや電源ソケットなど）はEVシステムを始動した状態でご使用ください。

シフトスイッチ

⚠ 警告

- <シフトスイッチ>の操作は必ず走行可能表示灯が点灯したことを確認してから行う。

走行可能表示灯が点灯する前に<シフトスイッチ>を操作すると、目的のシフトポジションに切り替わらず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）、またはそれ以外の医療電気機器を使用されている方は、装着部位を<シフトスイッチ>に近づけない。

強力な磁石が内蔵されているため、医療電気機器の作動に影響を与えるおそれがあります。

⚠ 注意

- <シフトスイッチ>に磁気カードや磁力のあるものを近づけない。

誤作動を引き起こし、事故につながるおそれがあります。

- 次のような操作を行わない。

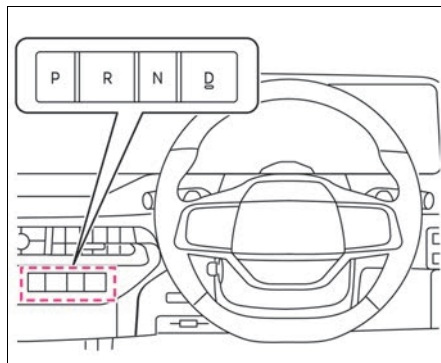
アドバンスドドライバアシストディスプレイに警告が表示され、正常に作動しない場合があります。

- ー ブレーキペダルを踏みながら<シフトスイッチ>を押す

- ー アクセルペダルを踏みながら<シフトスイッチ>を押す
- ー 前進中に<R>スイッチを押す
- ー 後退中に<D>または<D/B>★スイッチを押す
- ー 走行中<P>スイッチを押す
- ー 複数の<シフトスイッチ>を同時に押す

走行可能表示灯が点灯しているとき、すべてのシフトポジションに切り替えることができます。<シフトスイッチ>を操作したあとは、目的のシフトポジションに切り替わっていることを必ず確認してください。

シフトスイッチの操作



P

ブレーキペダルを踏みながら、<P>スイッチを押します。

R	ブレーキペダルを踏みながら、<R>スイッチを押します。
N	ブレーキペダルを踏みながら、<N>スイッチを押します。
D	ブレーキペダルを踏みながら、<D>または<D/B>★スイッチを押します。
B★	D のときに<D/B>★スイッチを押すと B に切り替わります。もう一度押すと D に戻ります。

- シフトポジションを**R**に切り替えるとブザーが鳴ります。
- 次の操作は無効とみなされ、ブザーが鳴るとともにシフトポジションは**N**に切り替わります。

ー シフトポジションが**D**または**B★**のときに、ブレーキペダルを踏まずにシフトポジションを**R**に切り替える

- <パワースイッチ>がONでも走行可能表示灯が点灯していないときは、**D・B★・R**には切り替えられません。
- 次の条件が重なったとき、シフトポジションが自動で**P**に切り替わる場合があります。

- ー 停車しているとき
- ー ブレーキペダルを踏んでいないとき
- ー 運転席のシートベルトを外したとき
- ー 運転席ドアを開けたとき

- この車両にはオートP機能がありますが、電制シフトが故障した場合は、シフトポジションが**P**以外で<パワースイッチ>をOFFにしようとしても、ブザーが鳴

運転する

り、＜パワースイッチ＞をOFFに切り替えられません。＜パワースイッチ＞をOFFにできないときは、次の操作を行ってください。

- ① 停車してパーキングブレーキをかけます。
- ② ブレーキペダルを踏み込みながら＜パワースイッチ＞を押して、＜パワースイッチ＞をONに切り替えます。
- ③ ＜P＞スイッチを押して**P**に切り替えます。
- ④ ＜パワースイッチ＞を押して、OFFに切り替えます。

各シフトポジションの機能

シフトポジション	機能
P	駐車およびEVシステムを始動するとき
R	後退するとき
N	動力が伝わらない状態
D	通常走行するとき
B★	下り坂などで、強い回生ブレーキが必要なとき（満充電時や低温時などはブレーキが弱くなることがあります。）

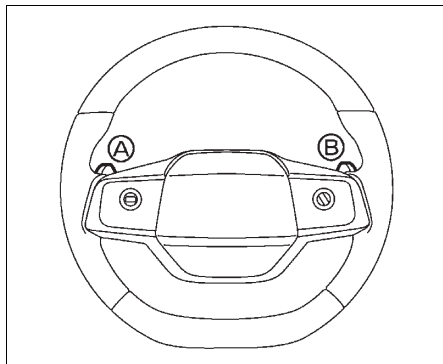
- シフトポジションを**P**に切り替えずに＜パワースイッチ＞をOFFにすると、自動的にシフトポジションが**P**に切り替わります。（オートP機能）

- 充電中はシフトポジションを切り替えることができません。

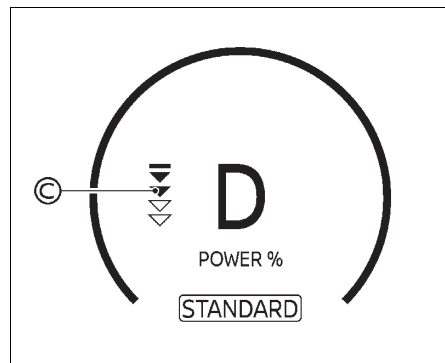
回生ブレーキコントロールパドル★

シフトポジションが**D**のとき、回生ブレーキコントロールパドルの操作で回生ブレーキの強さを変更することができます。回生ブレーキの強さは1（弱）～4（強）で変更できます。

- 回生ブレーキの強さを強くしたいときは左側**A**のパドルを手前に引き、回生ブレーキの強さを弱めたいときは右側**B**のパドルを手前に引きます。



例えば、長い下り坂をドライブしているときは、一時的にエンジンブレーキと同様の効果を得るために、回生ブレーキの強さを強くします。アドバンスドドライブアシストディスプレイに現在の回生ブレーキの強さが▼**C**で表示されます。



- e-Pedal Step (➡ P.209) またはインテリジェント クルーズコントロール (➡ P.232) がONときは、回生ブレーキの強さをパドルで変更することはできません。
- EVシステムの再始動後は、回生ブレーキの強さはレベル2に戻ります。ただし、PERSONALモードの状態ではEVシステムを再始動したときはPERSONALモードで設定した回生ブレーキの強さになります。
- e-Pedal StepやICCをONにし、再度OFFにしたときは、回生ブレーキの強さはレベル2に戻ります。

知識

- リチウムイオンバッテリーが満充電のときは、回生ブレーキの効きが弱くなることがあります。

知識

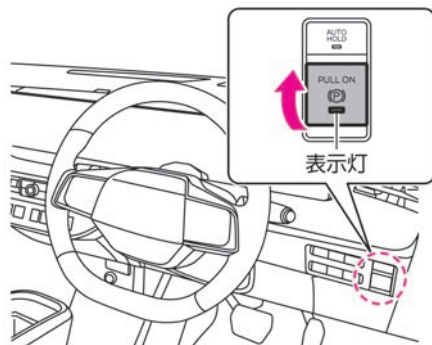
満充電のときは自動的に回生ブレーキを制限し、リチウムイオンバッテリーの過充電を防ぎます。また、バッテリー温度が高いまたは低い時にも回生ブレーキを制限し、リチウムイオンバッテリーの損傷を防ぎます。

電動パーキングブレーキ

停車中や駐車時に使用するブレーキです。＜電動パーキングブレーキスイッチ＞を操作してパーキングブレーキをかけると、後輪が固定されます。

電動パーキングブレーキのかけかた

1. ブレーキペダルをしっかりと踏み込みます。
2. ＜電動パーキングブレーキスイッチ＞を引きます。
スイッチを引くと、＜電動パーキングブレーキスイッチ＞の表示灯が点灯し、電動パーキングブレーキ警告灯〔(P)〕が、約2秒後に点灯します。



- オートブレーキホールド機能が作動しているときにシフトポジションを〔P〕にすると、パーキングブレーキがかかります。

電動パーキングブレーキの解除のしかた

1. ブレーキペダルをしっかりと踏み込みます。
 2. ＜電動パーキングブレーキスイッチ＞を押します。
スイッチを押すと、スイッチの表示灯が消灯し、電動パーキングブレーキが解除されると電動パーキングブレーキ警告灯〔(P)〕が消灯します。
- 電動パーキングブレーキは、＜パワースイッチ＞がONのときのみ解除できます。

自動解除のしかた

＜電動パーキングブレーキスイッチ＞を操作しなくても、パーキングブレーキを解除することができます。

- 電動パーキングブレーキがかかっている状態でシフトポジションを〔D〕、または〔R〕にし、アクセルペダルをゆっくり踏んでください。
パーキングブレーキが解除され、電動パーキングブレーキ警告灯〔(P)〕が消灯します。
 - パーキングブレーキの自動解除は、次の条件を満たしている必要があります。
 - 運転席ドアが閉まっている
 - 走行可能表示灯〔READY〕が点灯している
 - シフトポジションが〔P〕、〔N〕以外のとき
- ※：運転席ドアが開いた状態でもシフトポジションを、〔P〕、〔N〕以外に入れて5秒以内に発進したときは、パーキングブレーキが自動解除される場合があります。走行するときは、必ずドアを開けてください。

電動パーキングブレーキに関する注意事項

警告

- 車両を離れるときは、電動パーキングブレーキをかけたあと、シフトポジションを〔D〕に切り替える。
- 非常時以外は、電動パーキングブレーキを作動させたまま走行しない。
ブレーキに不具合が生じ、事故につながるおそれがあります。
- 電動パーキングブレーキをかけたり、解除したりの操作を短時間に繰り返さない。

⚠ 警告

システムの過熱を防ぐために電動パーキングブレーキが作動しなくなることがあります。作動しなくなった場合は、約1分間経過してから再度操作してください。

- 電動パーキングブレーキをかけたり解除したりすると、車両の後方部から作動音が聞こえることがありますが、これは異常ではありません。
- 走行中、非常事態で電動パーキングブレーキをかける必要が生じたときは、＜電動パーキングブレーキスイッチ＞を引き続けてください。ブレーキがかかるとともにブザーが鳴り、電動パーキングブレーキ警告灯〔(P)〕が点灯し、電動パーキングブレーキ戻し忘れ警告（➡P.400）が表示されます。スイッチから手を離すと、電動パーキングブレーキは解除されます。
- ＜パワースイッチ＞がOFFまたはACC状態のときに、＜電動パーキングブレーキスイッチ＞を引くと、スイッチの表示灯がしばらく点灯状態になることがあります。ACC状態については、オートACC機能（➡P.187）をお読みください。

🚗 アドバイス

- 寒冷時に駐車するときは、電動パーキングブレーキをかけずにシフトポジションをPに入れ、電動パーキングブレーキを解除したまま車輪の前後に適切な輪留めをしてください。寒冷時に電動パーキングブレーキをかけると、パーキングブレーキが凍結し、解除できなくなるおそれがあります。
- 電動パーキングブレーキが12Vバッテリーあがりや故障などで解除できなくなったときは、日産販売会社またはJAFなどのロードサービスにご連絡ください。

オートブレーキホールド

オートブレーキホールド機能は、信号待ちなどの停車中にブレーキペダルを踏み続けなくても、ブレーキ力を保持する機能です。

オートブレーキホールド機能について

- オートブレーキホールド機能は、運転者のブレーキ操作によって停車した際に、ブレーキ力を保持する機能です。ブレーキ力が保持されているときにアクセルペダルを踏むと、ブレーキが解除され、発進することができます。

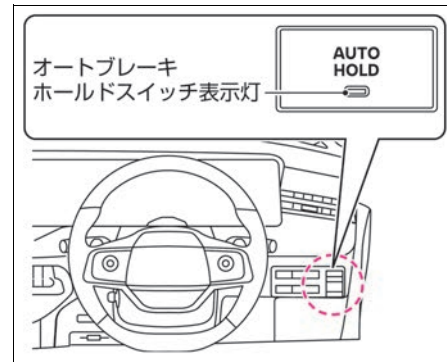
オートブレーキホールド機能の作動について

オートブレーキホールド機能のON・OFF設定は、再度設定を変更するまで、＜パ

ワースイッチ＞をOFFにしても、その設定が維持されます。

オートブレーキホールド機能をONにする

- ＜パワースイッチ＞をONにし＜オートブレーキホールドスイッチ＞を押すと、オートブレーキホールドスイッチ表示灯が点灯します。



- オートブレーキホールド機能は、次の条件が満たされたときのみ、オートブレーキホールド表示灯〔(A)〕（白色）が点灯し、待機状態になります。（➡P.96）
 - ー 運転席のシートベルトを着用している
 - ー 電動パーキングブレーキが解除されている
 - ー シフトポジションがP以外にある
 - ー 急な坂道の途中に停車していない

オートブレーキホールド機能をOFFにする

オートブレーキホールド機能がONのとき、＜オートブレーキホールドスイッチ＞を押すと、オートブレーキホールドスイッチ表

示灯が消灯しオートブレーキホールド機能がOFFになります。

ただし、ブレーキ力が保持されている状態で、オートブレーキホールド機能をOFFにするときは、必ずブレーキペダルを踏みながらオートブレーキホールドスイッチ>を押します。

オートブレーキホールド機能の使いかた

■ ブレーキ力を保持させる

オートブレーキホールド機能が待機状態（オートブレーキホールド表示灯〔〕が白色に点灯）のとき、ブレーキペダルを踏んで車両を停止させると、オートブレーキホールド機能によってブレーキ力が保持されます。

ブレーキ力が保持されているときは、オートブレーキホールド表示灯〔〕が緑色に点灯します。（P.96）

■ 発進する

シフトポジションが**P**または**N**以外にあり、ブレーキ力が保持されている状態でアクセルペダルを踏むと、保持されているブレーキ力が解除されて発進します。

ブレーキ力の保持が解除されると、オートブレーキホールド表示灯〔〕が白色に点灯し、待機状態に戻ります。

- 坂道では、オートブレーキホールド機能が作動開始するまでブレーキペダルを強く踏み込む必要があります。

オートブレーキホールド機能使用時の注意事項

⚠ 警告

- 急な坂道や滑りやすい路面で使用しない。

オートブレーキホールド機能が作動していても、車両が動き出すおそれがあります。

急な坂道などでオートブレーキホールド機能を作動させたとき、運転者にブレーキペダルを踏むよう警告メッセージが表示されることがあります。

- オートブレーキホールド機能が作動していても停止状態を維持できないときは、ブレーキを使用して車両を停車させる。

ブレーキ力保持状態のときに外的要因で車両が動くと、警告音が鳴り、警告メッセージが表示されることがあります。

警告メッセージ（P.400）

- 次の場合はオートブレーキホールド機能をOFFにする。

- 洗車機を使用するとき
- 車両のけん引時
- 過積載のとき

- 次の場合はシフトポジションを**P**にしてパーキングブレーキが確実にかかっているか確認する。

車両が不意に動き出し重大な傷害や事故を起こすおそれがあります。

- 駐車するとき
- 人が乗降するとき
- 荷物の積み下ろしをするとき

- VDC警告灯〔〕（P.394）、ブレーキシステム警告灯（黄色）〔〕（P.393）、電動パーキングブレーキ警告灯〔〕（P.392）またはマスターウォーニング〔〕が点灯し、シャシー制御表示（P.401）の警告メッセージが表示されたときは、オートブレーキホールド機能は作動しません。

- オートブレーキホールド機能をOFFにする際は、ブレーキペダルを踏みながらオートブレーキホールドスイッチ>を押す。

急な坂道では、オートブレーキホールド機能での停止状態からアクセルペダルを踏んでもオートブレーキホールド機能が解除できない場合があります。

- ブレーキペダルから足を離す前に、オートブレーキホールド表示灯〔〕（緑色）が点灯していることを確認する。

⚠ 注意

- オートブレーキホールド機能によってブレーキ力が保持されているときに、オートブレーキホールド機能をOFFにするときは、ブレーキペダルをしっかりと踏む。

ブレーキが解除され車両が動き出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 車両が停止してもブレーキ保持が開始されないときは、オートブレーキホールド表示灯〔〕（緑色）が点灯するまでブレーキペダルを踏み込む。

ブレーキペダルが十分な力で踏まれていない、もしくは、車両停止後にブレーキペダルを離すのが早すぎると、オートブレーキホールド表示灯〔〕（緑色）は点灯しません。

- オートブレーキホールド機能がONでブレーキ力が保持されているときに、次の状態になるとパーキングブレーキがかかり、ブレーキ力が解除されます。（オートブレーキホールド表示灯はOFFになります）

- ー オートブレーキホールド機能によるブレーキ力の保持が3分以上継続されたとき
- ー シフトポジションをPにしたとき
- ー <電動パーキングブレーキスイッチ>を引いたとき
- ー 運転席のシートベルトを外したとき
- ー 運転席ドアを開けたとき

- ー <パワースイッチ>をOFFにしたとき
- ー オートブレーキホールド機能に不具合が生じたとき

- ブレーキ力を保持しているときは、車両の停止状態を維持するため、作動音が発生する場合がありますが、異常ではありません。

🚗 アドバイス

- 次の場合は、システムに異常が発生しているおそれがあります。ただちに日産販売会社で点検を受けてください。
 - ー 警告メッセージが表示されたとき
 - ー <オートブレーキホールドスイッチ>を押してもスイッチの表示灯が点灯しないとき

発進・走行

発進するときの注意事項

⚠ 警告

- 発進するときは、アクセルペダルを踏んだまま<シフトスイッチ>を操作しない。
急発進し、重大な事故につながるおそれがあります。

🚗 アドバイス

- 電動パーキングブレーキをかけ、運転席ドアが開いた状態でアクセルペダルを踏むと、電動パーキングブレーキが解除されず、電動パーキングブレーキが故障するおそれがあります。

発進のしかた

1. ブレーキペダルを踏んだまま<パワースイッチ>を押して、メーター内の走行可能表示灯〔READY〕が点灯していることを確認します。
➡ パワースイッチ (P.186)
 2. ブレーキペダルを右足でしっかりと踏んだまま、<シフトスイッチ>の<D>スイッチを押して、シフトポジションをDに切り替えます。
➡ シフトスイッチの操作 (P.189)
 3. ブレーキペダルを右足でしっかりと踏んだまま、パーキングブレーキを解除します。
➡ 電動パーキングブレーキの解除のしかた (P.191)
 4. ブレーキペダルを徐々にゆるめ、アクセルペダルをゆっくり踏み発進します。
- 急な上り坂で発進するときは、ヒルスタートアシスト（ P.214）が作動します。
 - 緩やかな坂道ではヒルスタートアシストが作動しない場合がありますが、自動的に車両の後退を抑制する機能が働き、一

定の車速以上では後退しないように制御します。

走行するときの注意事項

⚠ 警告

- 走行中はシフトポジションを**N**に切り替えない。

回生ブレーキが作動しないため、事故につながるおそれがあります。

- **e-Pedal Step**がOFFのときは、下り坂ではフットブレーキと回生ブレーキを併用する。

ブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキが過熱して効きが悪くなるおそれがあり危険です。坂の勾配に応じて回生ブレーキを併用してください。

➡ **e-Pedal Step** (P.209)

- **e-Pedal Step**がOFFのときに、回生ブレーキの効きが弱くなった場合は、ブレーキペダルを踏んで減速する。
- **e-Pedal Step**をONにすると、回生ブレーキの効きが強くなり、アクセルペダルの操作のみで速度調整することができるようになります。アクセルペダルを離しても減速度が足りないときは、ブレーキペダルを踏んでください。



アドバイス

- 上り坂では、クリーブ現象を利用した停車や、アクセルペダルを踏みながら停車状態を保つような停車はしないでください。車両故障のおそれがあります。
- 上り坂でシフトポジションを**D**または**B★**のまま故意に車両を後退させたり、下り坂で**R**のまま故意に車両を前進させたりしないでください。車両故障のおそれがあります。
- 浸水・冠水被害に遭われた場合は、車両故障につながるおそれがあるため、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

走行のしかた

- シフトポジションを**D**または**B★**にしたまま走行します。アクセルペダルとブレーキペダルの操作で、加速、減速を行います。
- 下り坂では、回生ブレーキ(➡P.14)を併用して走行します。シフトポジションが**D**のときより**B★**または回生ブレーキコントロールパドル★を使用したときのほうが、回生ブレーキの効きが強くなります。速度が出すぎるときは、必要に応じてブレーキペダルを踏んで減速してください。
- 回生ブレーキは、満充電時や低温時などにブレーキが弱くなることがあります。回生ブレーキが弱いときは、ブレーキペダルを踏んで減速してください。

- 走行中に<シフトスイッチ>の<P>スイッチを押した場合は、操作が無効となります。(ブザーが鳴り、操作前のシフトポジションが維持されます)

停車・駐車

停車・駐車

⚠ 警告

- 駐車するときは、ガスライターなどに注意する。

操作部が露出しているガスライターをグローブボックスなどの小物入れに入れておいたり、床やシートのすき間に落としたままにしたりしないでください。荷物を押しこんだときやシートを動かしたときに、ガスが噴出して火災につながるおそれがあります。また、ライターを使用したあと、すぐに収納すると火災を起こすおそれがあります。

⚠ 注意

- 長期間車両を駐車していると、小動物が巣を作り、思わぬ火災につながる可能性があるため注意する。



アドバイス

- 炎天下で駐車するときは、車室内にライターや炭酸飲料の缶、サングラス、カメラなどを置いたままにしないでください。車室内が高温になり、爆発したり変形したりするおそれがあります。

停車・駐車のかた

1. 停車するときは、シフトポジションは**D**または**B★**のまま、ブレーキペダルをしっかりと踏みます。
2. そのまま駐車するときは、ブレーキペダルを踏んだままパーキングブレーキをかけます。
⤵ 電動パーキングブレーキのかけかた (P.191)
3. ブレーキペダルを踏んだまま<シフトスイッチ>の<P>スイッチを押し、シフトポジションを**P**に切り替えます。
4. <パワースイッチ>を押します。
メーター内の走行可能表示灯が消灯していることを確認してから、ブレーキペダルからゆっくりと足を離します。

ランプをつける、ワイパーを使う

ライトスイッチ

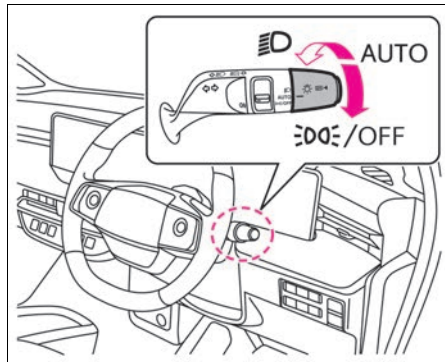
ライトスイッチの注意事項

アドバイス

走行可能表示灯が点灯していないときは、長時間点灯させないでください。12Vバッテリーあがりのおそれがあります。

ライトスイッチの使いかた

スイッチを回すと、次のように点灯、消灯します。



スイッチ位置	点灯するランプ
< ㊦ >	ヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯します。
< AUTO >	ヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が自動点灯・消灯します。

スイッチ位置	点灯するランプ
< ㊦ / OFF > (< ㊦ / OFF > の位置にしても手を離すと自動で < AUTO > の位置に戻ります)	ヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が自動点灯しているとき 停車時に < ㊦ / OFF > の位置に回して保持すると、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯します。走行を開始すると周囲の明るさに応じて、ヘッドランプが自動点灯します。 ヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が消灯しているとき (デイタイムランニングライトは点灯) < ㊦ / OFF > の位置に回して保持すると、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯します。 車幅灯、尾灯、番号灯が点灯しているとき 停車して、ヘッドランプ消灯時にシフトポジションが P のときまたはパーキングブレーキが作動しているとき < ㊦ / OFF > の位置に回して保持すると、全ランプが消灯します。走行を開始すると周囲の明るさに応じて、ランプが自動点灯します。

- 車幅灯、尾灯、番号灯が点灯しているときはテールランプ表示灯 [㊦] が点灯します。
- ロービームが点灯しているときはヘッドランプ下向き表示灯 [㊦] が点灯します。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [㊦] ⇒ [画面カスタマイズ] ⇒ [オペレーションガイダンス] ⇒ [ライト] を選択すると、ライトスイッチを動かしたときにメーターに表示する機能の ON・OFF を切り替えることができます。
- 通常時は < AUTO > の位置で使用してください。

バッテリーセーバー

- ランプを点灯したまま走行可能表示灯が点灯時に < パワースイッチ > を OFF にすると、12Vバッテリーあがりを防止するためランプが消灯します。次回、次の操作を行うとランプが再点灯します。
 - ー < パワースイッチ > を ON にする
 - ー ライトスイッチを操作する (約5分後にランプは再度消灯します)

オートレベライザー

- ヘッドランプが下向き点灯時に乗車人員や荷物量の違いにより車両姿勢が変化すると、自動的に照射方向を調整するシステムです。

ヘッドランプ消し忘れ警報

- < パワースイッチ > が ON 以外の位置で運転席ドアを開けたとき、次の場合にブザーが鳴ります。

ランプをつける、ワイパーを使う

- ー ライトスイッチが< ⑧ >の位置にあるとき
- ー ライトスイッチを< ③OFF >の位置に回して、テールランプ表示灯[③OFF] が点灯しているとき

< ⑧ >の使いかた

ライトスイッチを< ⑧ >の位置に合わせるとヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯します。

AUTO（自動点灯・消灯）の使いかた

- < パワースイッチ > がOFFのときは消灯します。
- < パワースイッチ > がONのときは次のように作動します。

周囲が明るいとき

- 停車中、走行中ともにアクセントランプが点灯します。

周囲が暗いとき

- 停車中、走行中ともにヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が自動点灯します。

■ フロントワイパー連動、薄暮れ感知「おもしろライト」機能

- 歩行者事故が多く発生している夕暮れ時や雨天でのワイパー使用時にもランプを自動点灯します。

< ③OFF >の使いかた

ヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が自動点灯しているとき（周囲が暗いとき、ワイパーが作動しているとき）

- 停車時に< ③OFF >の位置に回して保持すると、車幅灯、尾灯、番号灯のみが点灯します。
- < ③OFF >の位置に回してすぐに手を放した場合は、ヘッドランプを消灯できません。
- 走行中にライトスイッチを< ③OFF >の位置に回して保持してもヘッドランプを消灯できません。

ヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が消灯しているとき（周囲が明るいとき、キースイッチ（電源ポジション）がOFFのとき）

- < ③OFF >の位置に回して保持すると、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯します。
- < ③OFF >の位置に回してすぐに手を放した場合は、車幅灯、尾灯、番号灯を点灯できません。

車幅灯、尾灯、番号灯が点灯しているとき

- 停車して、シフトポジションがPのとき、またはパーキングブレーキが作動しているとき、< ③OFF >の位置に回して保持すると、全ランプが消灯します。
< ③OFF >の位置に回してすぐに手を放した場合は、全ランプを消灯できません。
- 走行を開始すると周囲の明るさ、ワイパー作動に応じて、ヘッドランプが自動点灯します。

知識

- 次の操作をすると、AUTO（自動点灯・消灯）に戻ります。
- ー シフトポジションがP以外であり、パーキングブレーキが作動していないとき、再度ライトスイッチを< ③OFF >の位置に回す
- ー 停車して、シフトポジションがPのとき、またはパーキングブレーキが作動している場合は、全ランプを消灯させた後、再度ライトスイッチを< ③OFF >の位置に回す
- ー < ⑧ >の位置にしてからAUTO（自動点灯・消灯）の位置にする

自動点灯ランプの消灯のしかた（車両停車時）

自動点灯したヘッドランプは走行中に消灯できない仕様となっています。

ヘッドランプの消灯方法

- 停車中、ライトスイッチを< ③OFF >の位置に回して保持すると、ヘッドランプが消灯します。

すべてのランプの消灯方法

- 停車中、ライトスイッチを< ③OFF >の位置に回して保持して、ヘッドランプを消灯させた後、シフトポジションをPにするか、パーキングブレーキをかけた状態で、再度ライトスイッチを< ③OFF >の位置に回して保持するとすべてのランプが消灯します。

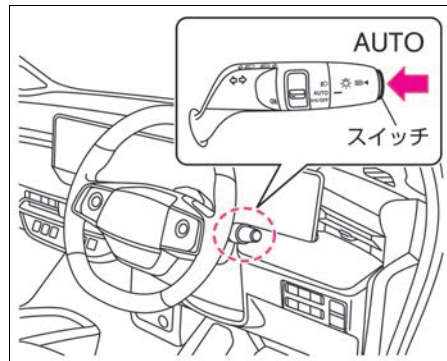
ランプをつける、ワイパーを使う

ハイビームアシスト★

先行車または対向車や周囲の明るさなどに応じ、ハイビーム（上向き）とロービーム（下向き）が切り替わります。

約25km/h以上で走行中、ヘッドランプが点灯しているときに切り替えを行い、約15km/h以下になるとロービーム（下向き）に切り替わります。

ハイビームアシストの操作方法



- ライトスイッチが<AUTO>の位置でヘッドランプが点灯しているときにスイッチを押すと、ハイビームアシストがONになります。（ハイビームアシスト表示灯 [≡A] が点灯）
- ライトスイッチが<AUTO>の位置でもう一度スイッチを押すと、ハイビームアシストがOFFになります。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [⚙] ⇒ [画面カスタマイズ] ⇒ [オペレーションガイダンス] ⇒

[ハイビームアシスト] を選択すると、ライトスイッチが<AUTO>の位置以外でハイビームアシストのスイッチを押したときに、オペレーションガイダンスをメーター内にポップアップで表示する機能のON・OFFを切り替えることができます。設定の詳細については、画面カスタマイズをお読みください。

➡ アドバンスドドライブアシストディスプレイとは（メインメニュー） (P.97)

➡ 画面カスタマイズ (P.123)



アドバイス

- ハイビームアシストが正しく作動しなかったり、作動中にメーターにハイビームアシスト表示灯 [≡A] が点灯しなかったりしたときは、ハイビームアシストが故障しているおそれがあります。日産販売会社で点検を受けてください。

➡ ハイビームアシスト表示灯 (P.96)



知識

- 次のいずれかの操作をすると、ハイビームアシストがOFFになります。

ハイビームのとき

- ー ライトスイッチを<AUTO>の位置以外にする
- ー ライトスイッチを車両前方に押す（ハイビームに切り替わります）

- ー ライトスイッチを車両後方に引く（ロービームに切り替わります）

ロービームのとき

- ー ライトスイッチを<AUTO>の位置以外にする
- ー ライトスイッチを車両前方に押す（ハイビームに切り替わります）

■ ハイビームとロービームの切り替え制御

- 次のような原因で、ハイビームとロービームの切り替わるタイミングが変化することがあります。
 - ー 対向車または先行車のランプの明るさ
 - ー 対向車または先行車の向きや動き
 - ー 対向車または先行車のランプが片側のみ点灯している
 - ー 対向車または先行車が二輪車
 - ー 道路状況（カーブや勾配、路面状況など）
 - ー 乗車している人数や荷物の量
- ハイビームアシストがONでハイビームのとき、ヘッドランプ上向き表示灯 [≡O] が点灯します。ヘッドランプ上向き表示灯 (➡ P.95)
- ライトスイッチは車両前方に押しても車両後方に引いても、手を離すと自動で中立位置に戻ります。

ランプをつける、ワイパーを使う

■ マルチセンシングフロントカメラについて

フロントガラス上部に、ハイビームアシストの制御に必要な周囲の状況を検知するためのカメラがあります。

ハイビームアシストを正しく作動させるため、次のことをお守りください。

- フロントガラスが汚れたら清掃してください。
- カメラの周辺にアクセサリやステッカーなどを取り付けしないでください。
- カメラのレンズには触れないでください。
- カメラおよびその周囲に強い衝撃を与えないでください。

🔗 マルチセンシングフロントカメラの取り扱い (P.458)

ハイビームアシスト★の注意事項

⚠ 警告

● システムを過信しない。

常に周囲の状況を確認し、必要に応じて上向きと下向きを手動で切り替えてください。

● 次のようなときは、ハイビームアシストが正しく作動しない場合があるため、必要に応じて上向きと下向きを手動で切り替える。

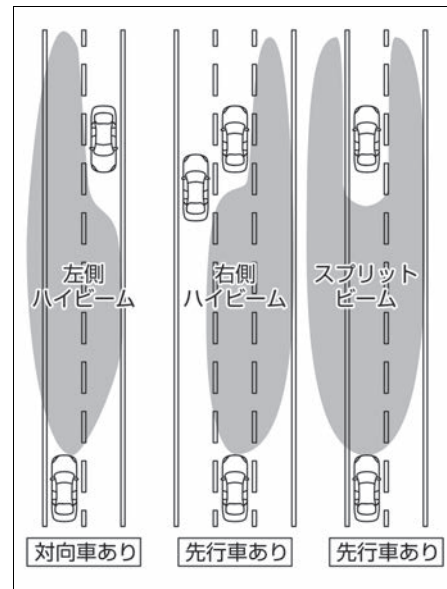
- 悪天候のとき（雨、霧、雪など）
- 薄暗い早朝や夕暮れなどの暗さが不十分なとき

- カメラ前方のフロントガラスがくもっていたり、汚れなどが付着したりしているとき
- カメラの向きがずれているとき
- 周囲にヘッドランプや尾灯に似た光源があるとき
- 対向車または先行車が無灯火のとき
- 対向車のヘッドランプが破損または汚れていた、光軸がずれているとき
- 自転車やバイクなど、ライトの明るさや大きさが十分でないとき
- 歩行者など光を発しないもののとき
- 明るさの急激な変化が連続しているとき
- 段差や起伏のある道路を走行しているとき
- カーブが多い道路を走行しているとき
- ミラーや標識など反射の強いものが前方にあるとき
- トレーラーやコンテナなど先行車の後部の反射が強いとき
- パンクやけん引などで車両が傾いているとき

アダプティブLEDヘッドライトシステム★

先行車や対向車に照射しないよう、自動的にハイビーム（上向き）の照射範囲を切り替えます。

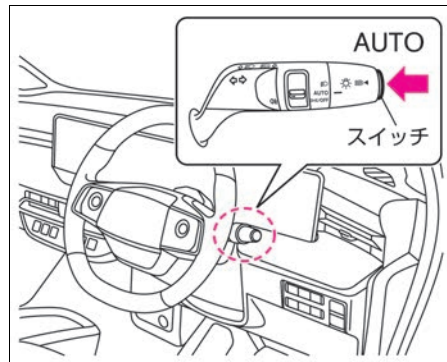
約25km/h以上で走行中、ヘッドランプが点灯しているときに切り替えを行い、約15km/h以下になるとロービーム（下向き）に切り替わります。



ランプをつける、ワイパーを使う

■ アダプティブLEDヘッドライトシステムをONにする方法

- ライトスイッチが<AUTO>の位置でヘッドランプが点灯しているときにスイッチを押すと、アダプティブLEDヘッドライトシステムがONになります。
(メーター内のアダプティブLEDヘッドライト表示灯 [E/A] が点灯)



- アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [設定] ⇒ [画面カスタマイズ] ⇒ [オペレーションガイダンス] ⇒ [アダプティブヘッドライト] を選択すると、ライトスイッチが<AUTO>の位置以外でアダプティブLEDヘッドライトシステムのスイッチを押したときに、ガイダンスをメーター内にポップアップで表示する機能のON・OFFを切り替えることができます。

設定の詳細については、画面カスタマイズをお読みください。

⇒ アドバンスドドライブアシストディスプレイとは (メインメニュー) (P.97)

⇒ 画面カスタマイズ (P.123)

📖 知識

- 次のいずれかの操作をしても、アダプティブLEDヘッドライトシステムがOFFになります。

アダプティブLEDヘッドライトシステムが制御中のとき

- ライトスイッチを<D>の位置にする
- ライトスイッチを車両前方に押す (ハイビームに切り替わります)
- ライトスイッチを車両後方に引く (ロービームに切り替わります)

アダプティブLEDヘッドライトシステムが制御していないとき

- ライトスイッチを<D>の位置にする
- ライトスイッチを車両前方に押す (ハイビームに切り替わります)

アダプティブLEDヘッドライトシステム★の注意事項

⚠ 警告

- システムを過信しない。

常に周囲の状況を確認し、必要に応じて上向きと下向きを手動で切り替えてください。

- 次のようなときは、アダプティブLEDヘッドライトシステムが正しく作動しない場合があるため、必要に応じて上向きと下向きを手動で切り替える。

- 悪天候のとき (雨、霧、雪など)
- 薄暗い早朝や夕暮れなどの暗さが不十分なとき
- カメラ前方のフロントガラスがくもっていたり、汚れなどが付着したりしているとき
- カメラの向きがずれているとき
- 周囲にヘッドランプや尾灯に似た光源があるとき
- 対向車または先行車が無灯火のとき
- 対向車のヘッドランプが破損または汚れていたり、光軸がずれているとき
- 自転車やバイクなど、ライトの明るさや大きさが十分でないとき
- 歩行者など光を発しないもののとき
- 明るさの急激な変化が連続しているとき
- 段差や起伏のある道路を走行しているとき
- カーブが多い道路を走行しているとき

ランプをつける、ワイパーを使う

警告

- ミラーや標識など反射の強いものが前方にあるとき
- トレーラーやコンテナなど先行車の後部の反射が強いとき
- パンクやけん引などで車両が傾いているとき

アドバイス

- アダプティブLEDヘッドライトシステムが正しく作動しなかったり、作動中にメーター内にアダプティブLEDヘッドライト表示灯 [E] が点灯しなかったりしたときは、アダプティブLEDヘッドライトシステムが故障しているおそれがあります。日産販売会社で点検を受けてください。
アダプティブLEDヘッドライト表示灯 (P.96)
- システムを正しく作動させるためにカメラ前方のフロントガラスはいつもきれいにしておいてください。マルチセンシングフロントカメラの取り扱いについては、(P.458) をお読みください。

照射範囲切り替え制御

- 次のような原因で、照射範囲の切り替わるタイミングが変化することがあります。
 - 対向車または先行車のランプの明るさ
 - 対向車または先行車の向きや動き

- 対向車または先行車のランプが片側のみ点灯している
- 対向車または先行車が二輪車
- 道路状況（カーブや勾配、路面状況など）
- 乗車している人数や荷物の量

- 対向車または先行車を検知し、照射範囲を切り替えているときにも、ヘッドランプ上向き表示灯が点灯することがあります。（ハイビームの一部が点灯しているため）

ヘッドランプ上向き表示灯 (P.95)

- アダプティブLEDヘッドライトシステム★がONでロービームのとき、ライトスイッチを車両後方に引くとパッシングになります。（アダプティブLEDヘッドライトシステムはONを維持）
- ライトスイッチは車両前方に押しても車両後方に引いても、手を離すと自動で中立位置に戻ります。

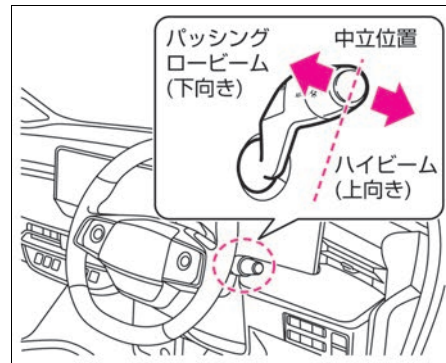
ハイビーム（上向き）への切り替えかた

ライトスイッチが<AUTO>の位置のとき

- ライトスイッチを車両前方に押すと、ハイビームに切り替わります。ロービームに戻したいときは、ライトスイッチを車両前方、または後方に動かします。
- パッシングするときは、ライトスイッチを車両後方に引きます。ハイビームの状態からパッシングしたいときは、ライトスイッチを2回車両後方に引きます。

ライトスイッチが<AUTO>の位置のとき

- ヘッドランプが点灯しているとき、ライトスイッチを車両前方に押すとハイビームに切り替わります。
- ロービームに戻したいときは、ライトスイッチを車両前方、または後方に動かします。
- パッシングするときは、ライトスイッチを車両後方に引きます。ハイビームの状態からパッシングしたいときは、ライトスイッチを2回車両後方に引きます。
- ハイビームに切り替えているときは、ヘッドランプ上向き表示灯 [E] が点灯します。
- ハイビームアシスト★またはアダプティブLEDヘッドライトシステム★がONのとき、ライトスイッチを車両前方に押すと、ハイビームに切り替わります。
- ライトスイッチは車両前方に押しても車両後方に引いても、手を離すと自動で中立位置に戻ります。



ランプをつける、ワイパーを使う

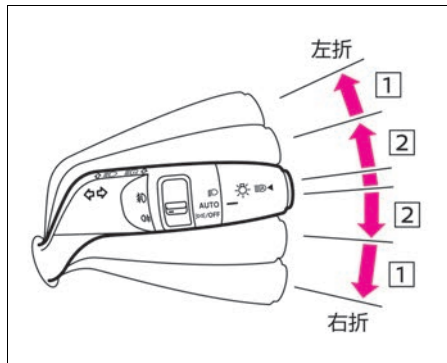
アドバイス

- 対向車があるときや市街地走行などでは下向きにしてください。

方向指示器の使いかた

<パワースイッチ>がONのとき使えます。プロパイロット2.0付車の方向指示器はスイッチ操作後、手を離すと自動で中立位置に戻ります。

- 右折または左折するときは、ライトスイッチを①の位置まで動かします。
- 車線変更などのときは、ライトスイッチを②の位置まで動かし軽く押さえます。スイッチを押さえている間、方向指示器が点滅します。
また、スイッチ②の位置まで上または下に押さえたあと、すぐに手を離れたときは3回点滅し消灯します。(コンフォートフラッシャー機能)



アドバイス

- 方向指示器のランプと方向指示表示灯の点滅が速くなったときは、日産販売会社で点検を受けてください。

方向指示表示灯をOFFにする方法(プロパイロット2.0付車)

- 方向指示表示灯が点滅している方向とは逆側の②の位置に動かします。

アドバイス

- 方向指示器のランプとメーター内の方向指示表示灯の点滅が速くなったときは、日産販売会社で点検を受けてください。

その他の機能について

- 夜間など周囲が暗い場所で車から降りるときに、以下の操作を行うと、ヘッドランプが周囲を照らします。
 - <パワースイッチ>がOFFのときにライトスイッチを手前に引くと、ヘッドランプが約30秒間点灯します。
 - ヘッドランプが点灯してから10秒以内にライトスイッチを手前に引くと、1回あたり約30秒間延長され、最大約2分間まで設定することができます。
- ウェルカムライト機能(フェアウェル機能付)
- ドアの施錠・解錠時に、ヘッドランプ、車幅灯、尾灯、方向指示表示灯が点灯します。(施錠時約1秒、解錠時約30秒)

- キー(インテリジェントキー)を携帯して車両に近づいたり、離れたるときにも点灯します。(ドアを施錠や解錠せず、複数回近づいたり離れたったりした場合、誤作動防止のため点灯しない場合があります。)
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [] ⇒ [車両設定] ⇒ [ライト/照明] ⇒ [ウェルカムライト] を選択すると、ウェルカムライト機能(フェアウェル機能付)の設定を変更することができます。設定の詳細については、車両設定をお読みください。
- ➡ アドバンスドドライブアシストディスプレイとは(メインメニュー) (P.97)
- ➡ 車両設定 (P.120)

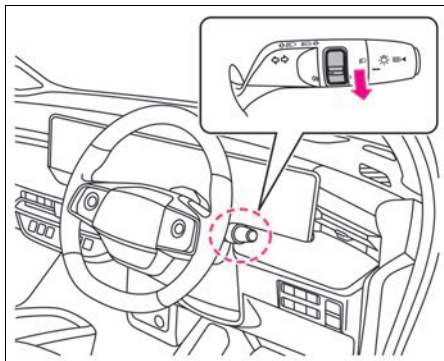
フォグランプスイッチ★

雨、霧、雪などで視界が悪いとき、尾灯の補助として使用します。

リヤフォグランプの使いかた

- ヘッドランプが点灯しているときに使用できます。
- スイッチを<  >の位置に合わせます。(スイッチから手を離すと自動的に中立位置に戻ります)
- 消灯するときは、スイッチを再度操作します。
- リヤフォグランプが点灯しているときは、リヤフォグランプ表示灯[] が点灯します。

ランプをつける、ワイパーを使う



アドバイス

- 降雪時には雪が積もる場合があるため、こまめにリヤフォグランプの雪を取り除いてください。

リヤフォグランプの注意事項

警告

- 晴天時は使用しない。
後続車の視界を悪くするおそれがあります。

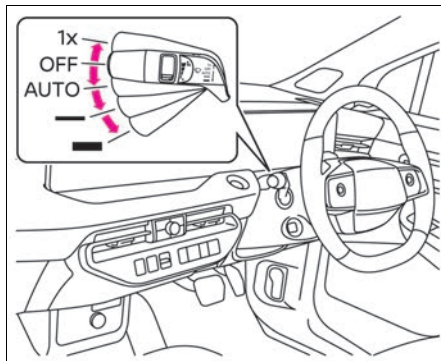
ワイパー・ウォッシャースイッチ

<パワースイッチ>がONのとき使用できません。

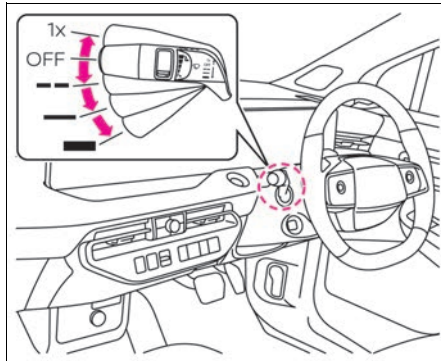
フロントワイパーの使いかた

- スイッチを動かすと、次のように作動します。

雨滴感知式ワイパー付車



雨滴感知式ワイパー無車



スイッチ位置

作動

<1x>

スイッチを上げている間作動します。
手を離すと自動的にOFFに戻ります。

スイッチ位置

作動

<OFF>

停止します。

<—>

雨滴感知式ワイパー無し車
間けつで作動します。
スイッチを回し、ワイパーの間けつ時間を調節します。

<AUTO>

雨滴感知式ワイパー付車
自動制御します。

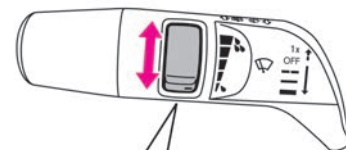
<—>

低速で連続して作動します。

<—>

高速で連続して作動します。

- スイッチを操作するとメーターにスイッチ位置が表示されます。
- 間けつ作動の間隔は、車速が速くなると短くなる車速感知式です。(雨滴感知式ワイパー無車)



高速 (間けつ間隔が短い)

低速 (間けつ間隔が長い)

ランプをつける、ワイパーを使う

- インテリジェント オートライトシステム（フロントワイパー連動、薄暮感知「おもしやりライト」機能付）は、ライトスイッチが<AUTO>の位置のときにワイパーが数回作動すると、車外の明るさに関係なくヘッドランプが点灯します。

➡ AUTO（自動点灯・消灯）の使いかた (P.198)

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [⚙️] ⇒ [画面カスタマイズ] ⇒ [オペレーションガイダンス] ⇒ [ワイパー] ⇒ [フロント] を選択すると、ワイパースイッチを動かしたときにメーターに表示する機能のON・OFFを切り替えることができます。設定の詳細については、画面カスタマイズをお読みください。

➡ アドバンスドドライブアシストディスプレイとは（メインメニュー） (P.97)

➡ 画面カスタマイズ (P.123)

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [⚙️] ⇒ [車両設定] ⇒ [ワイパー] ⇒ [車速連動] を選択すると、車速連動機能のON・OFFを切り替えることができます。

設定の詳細については、車両設定をお読みください。（雨滴感知式ワイパー無車）

➡ アドバンスドドライブアシストディスプレイとは（メインメニュー） (P.97)

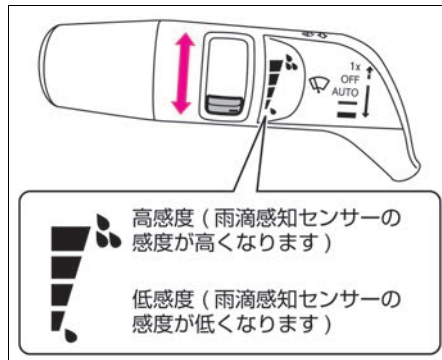
■ 雨滴感知式ワイパー★の使いかた

スイッチ位置が<AUTO>のとき、ルームミラー部にある雨滴感知センサーによって降雨を感知し、降雨量と車速に応じて作動

（低速および高速）の調節を自動で行います。

センサー感度

- センサーの感度を調節するときは、スイッチを回します。
高感度：雨滴感知センサーの感度が高くなります。
低感度：雨滴感知センサーの感度が低くなります。



- メーター内の走行可能表示灯 [READY] が点灯しているとき、スイッチ位置を<AUTO>にすると、1回ワイパーが作動し、その後は雨滴量に応じてワイパーが作動します。
- スイッチ位置を<AUTO>にしているとき、<パワースイッチ>をON（メーター内の走行可能表示灯 [READY] を点灯）にすると、雨滴感知センサーが雨滴を検知した場合のみワイパーが作動します。

- 自動制御のときは、降雨量と車速に応じてワイパー作動の調節を自動で行います。アドバンスドドライブアシストディスプレイで次の操作をすると、雨滴感知機能のON・OFFを切り替えることができます。雨滴感知式ワイパーをOFFにすると、間けつワイパーとして使用できます。設定 [⚙️] ⇒ [車両設定] ⇒ [ワイパー] ⇒ [雨滴感知]

設定の詳細については、車両設定をお読みください。

➡ アドバンスドドライブアシストディスプレイとは（メインメニュー） (P.97)

➡ 車両設定 (P.120)

🚗 アドバイス

- 降雨時でも雨滴が雨滴感知センサーにあたらないと、雨滴感知センサーが降雨を検知しないためワイパーが作動しない場合があります。
- 雨滴感知センサーに泥、指紋、油膜、虫などが付着したり、排気ガスをあびたりするとワイパーが作動することがあります。また、夜間などは目視しづらいわずかな水滴も検知し、ワイパーが作動することがあります。降雨時以外にはなるべくスイッチ位置を<OFF>にしてください。
- フロントガラスに撥水処理を施している場合は、施工していないときに比べ、雨滴が流れやすくなるため、雨滴感知センサーが多いと感知してワイパーの作動回数が多くなる場合があります。

ランプをつける、ワイパーを使う

🚗 アドバイス

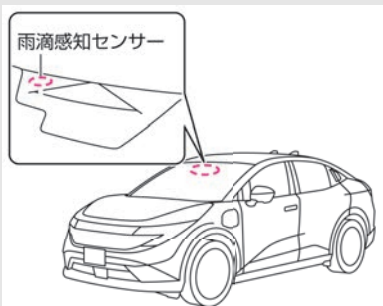
- ワイパーブレードの長さや形状が異なると、正常に作動しないことがあります。サイズにあった日産純正品をおすすめします。

雨滴感知式ワイパー★の注意事項

⚠ 注意

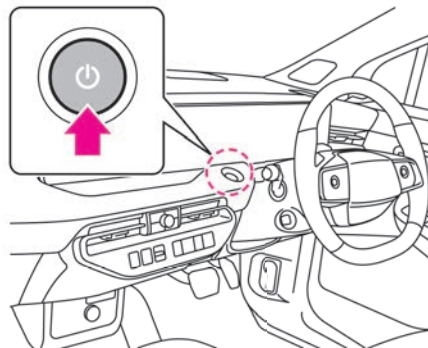
- <パワースイッチ>がON（メーター内の走行可能表示灯 [READY] が点灯）でスイッチ位置を<AUTO>にしているとき、雨滴感知センサー上部のフロントガラスに手で触れたり、水分を含んだ布などを近づけたりしない。

ワイパーが作動しケガやワイパーの破損につながるおそれがありますので、注意してください。また、洗車時にはスイッチ位置を必ず<OFF>にしてください。

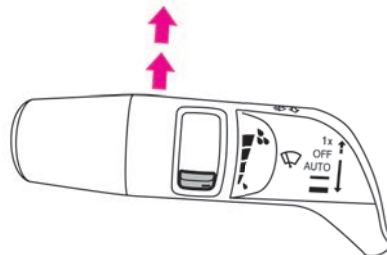


ワイパーアームを起こすとき（ライズアップ機能の使いかた）

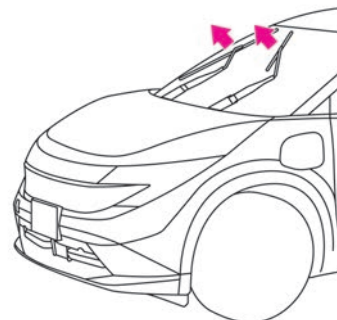
1. <パワースイッチ>をONからOFFにします。



2. OFF にしてから1分以内にスイッチを2回連続ですばやく（0.5秒以内）上に上げます。



3. ワイパーアームの作動が途中で止まった後、ワイパーアームを起こします。



4. 元に戻すときは、ワイパーアームを倒してから<パワースイッチ>をONにし、ワイパーを1回作動させます。

⚠ 注意

- <パワースイッチ>がONでもライズアップ機能を作動させることができますが、ワイパーアームを起こすとき、思わぬ事故やケガをしないように次のことを必ずお守りください。
 - シフトポジションが **P** にあることを確認する。
 - 同乗者が誤ってスイッチ操作しないように注意する。

ランプをつける、ワイパーを使う

🚗 アドバイス

- ワイパーアームを起こした状態でワイパーを動作させると、破損するおそれがあります。

📖 知識

● ライズアップ機能

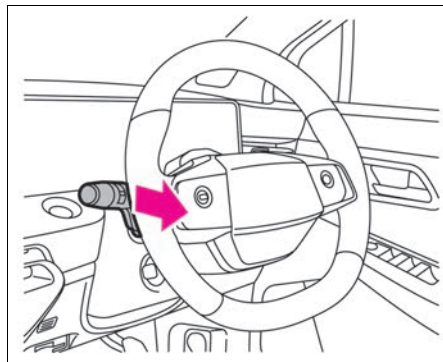
ワイパーアームを起こすために、ワイパーの作動を途中で止める機能です。

寒冷時の駐車やワイパー交換などのときに使用します。

ウォッシャーの使いかた

■ フロントウォッシャー

- スイッチを手前に引くと、ウォッシャー液が噴射します。
- スイッチを引いている間はウォッシャー液の噴射とワイパーの作動が続き、レバーを離すとワイパーが数回作動してから停止します。



■ ドリップ拭き取り機能

ウォッシャースイッチを操作したあと、ガラスに残ったウォッシャー液をふき取るため、約3秒後に一度ワイパーが作動します。

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [🔧] ⇒ [車両設定] ⇒ [ワイパー] ⇒ [ドリップ拭き取り] を選択すると、ドリップ拭き取り機能のON・OFFを切り替えることができます。設定の詳細については、車両設定 (📖 P.120) をお読みください。

ワイパー・ウォッシャーを使うときの注意事項

⚠ 警告

- 寒冷時は、ウォッシャー液を噴射する前に、ヒーターでガラスを温める。また、ウォッシャー液は外気温に合わせた希釈割合にする。

寒冷時は、ガラスに吹き付けられたウォッシャー液が凍結し、視界を妨げ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

🚗 アドバイス

- 雪が降りそうときや降雪時にはワイパーアームを起こしておいてください。ワイパーに雪が積もり、破損するおそれがあります。
- ワイパー作動中、雪などの障害物によりワイパーが作動できなくなると、モーター保護のためにワイパーの作動が停止することがあります。その場合は、スイッチを<OFF>にして障害物を取り除いたあと、モーターが冷えるまで(約1分間)待ってから、再度スイッチを操作してください。ワイパーが作動を開始します。
- 凍結などでワイパーゴムがガラスに張り付いているときは、ワイパーを動作させないでください。ワイパーが損傷したり、モーターが故障したりするおそれがあります。
- 窓ガラスが乾いているときは、ウォッシャー液を噴射してからワイパーをご使用ください。ガラスが乾いた状態でワイパーを使用すると、ガラスやブレード(ゴム部)を傷付けるおそれがあります。
- ウォッシャー液が出ないときは、連続して30秒以上作動させないでください。モーターが故障する原因となります。

ランプをつける、ワイパーを使う

アドバイス

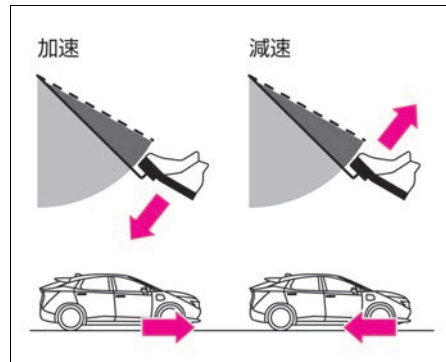
- ウォッシャー液を補給しても液が出ないときは、日産販売会社にご相談ください。

e-Pedal Step

アクセルペダルの操作のみで加減速を行い、ブレーキペダルへ踏み替える頻度を大幅に減らすことができます。

e-Pedal Stepについて

- e-Pedal StepをONにすると、回生ブレーキの効きが強くなり、アクセルペダルの操作のみで速度調整することができますようになります。
- e-Pedal Stepは、アクセルペダルを離したときの減速度が従来の車より強いいため、アクセルペダルを完全に離さず、ゆっくりと緩めることで、なめらかに減速することができます。



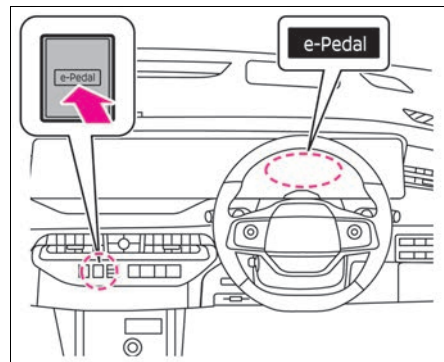
e-Pedal Stepの使いかた

- <パワースイッチ>がONのとき、<e-Pedal>スイッチを操作することによりON・OFFが切り替わります。（メーター

内のe-Pedalインジケーターに状態を表示します。）

➡ e-Pedalインジケーター (P.89)

- 一度<パワースイッチ>をOFFにしてからEVシステムを再始動すると、e-Pedal StepはOFFになります。



- 再始動後もe-Pedal Stepの設定状態を維持したい場合は、アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [⚙] ⇒ [運転支援] ⇒ [e-Pedal] ⇒ [モード記憶] をONに切り替えてください。

e-Pedal Stepの作動について

- アクセルペダルを離したときの減速度がガソリン車より強いいため、アクセルペダルを完全に離さずゆっくりと緩めることで、なめらかに減速することができます。
- アクセルペダルを離しても減速度が足りないときは、ブレーキペダルを踏んでください。

- アクセルペダルを離した際、発生する減速度、およびブレーキペダルの操作状態に応じて制動灯が点灯します。
- 車速によって最大減速度が変わります。車速が低下すると減速度が減り、極低速はe-Pedal Step OFF同様のクリープ力が発生します。減速や停車するときは、ブレーキペダルを踏んでください。
- e-Pedal StepがONのときも、ブレーキペダルを使用することができます。
- 後退時はe-Pedal Step OFFと同じ特性になります。

e-Pedal Stepに関する注意事項

⚠ 警告

- 機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。
走行・道路状況に応じてブレーキペダルを踏んでください。
- メーターに【現在e-Pedalシステムは使用できません 減速する際はブレーキを踏んでください】と警告メッセージ（➡ P.408）が表示されたときは、e-Pedal Stepの機能が一時的に使用できない状態になっているため、安全な場所に停車し、一度<パワースイッチ>をOFFにしてから再始動してください。再始動後もメッセージが表示されるときは、システムの異常が考えられるため、日産販売会社で点検を受けてください。

⚠ 警告

- 極低速は回生ブレーキを作動させず **e-Pedal Step OFF**同様のクリープ現象が発生します。
停車するときは、ブレーキペダルを踏んでください。
- 減速中の減速度合いが足りない場合は、**ただちにブレーキペダルを踏む**。
車両が動きだしたり、止まりきらなかったりして、思わぬケガや事故につながるおそれがあります。
- 過積載、急勾配、氷結路などの制動力が低下する条件では、減速度が十分でない場合があるため、必要に応じてブレーキペダルを使用する。
- 長い下り坂では**e-Pedal Step**を**OFF**にする。回生ブレーキコントロール無車は**e-Pedal Step**を**OFF**にして、シフトポジションを**D**または**B★**に切り替える。
e-Pedal StepをONにしたままで、下り坂を走行し続けると、ブレーキの過熱を防ぐため、e-Pedal Stepが自動的にOFFに切り替わることがあります。
- けん引中は、**e-Pedal Step**を**OFF**にする。

- e-Pedal StepがONのときは、e-Pedal StepがOFFのときと比べて、アクセルペダルの特性が大きく異なります。運転する前に、e-Pedal StepのON・OFFを

メーターで確認してから走行してください。

- e-Pedal StepがONのとき、シフトポジションを**D**から**B★**または、**B★**から**D**に切り替えてもe-Pedal Stepの特性は変わりません。
- e-Pedal Stepのモード記憶設定（ P.209）は、「工場出荷設定」の「初期化」をしてもリセットされません。
- シフトポジションが、**P**、**N**のときは、e-Pedal Stepは作動しません。
- 運転支援機能が作動しているときは、運転支援機能が優先されます。
- 減速によってブレーキペダルが動いたりe-Pedal Stepが作動しているときに作動音が発生したりする場合がありますが、異常ではありません。

ドライブモードセクター

複数のドライブモードがあります。目的に応じて使い分けてください。

ドライブモードセクターの注意事項

⚠ 注意

- 走行中にくドライブモードセクター>や画面を注視しない。
前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。

ドライブモードについて

ドライブモード	特徴
PERSONAL	お好みの運転特性を組み合わせることで選択できるモード。 ● パワートレイン ● 回生ブレーキ ● ステアリング アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [] ⇒ [車両設定] ⇒ [パーソナルドライブモード]を選択すると、パーソナルドライブモードの設定を変更することができます。 設定の詳細については、車両設定をお読みください。 アドバンスドドライブアシストディスプレイとは（メインメニュー）（ P.97） 車両設定（ P.120） ● PERSONALモードの設定は、パーソナルアシスタント機能のユーザーごとに保持します。
SPORT	モーター出力のレスポンスを高めた、力強い走りができるモード。また、アクセルペダルOFF時の回生ブレーキ力※を強めて、アクセルペダル操作のみでメリハリのあるスポーティな走行が可能。

ドライブモード	特徴
STANDARD	通常走行に最適な標準的制御のモード。
ECO	電費・航続距離を最優先とする特性に切り替え、アクセルOFF時の回生ブレーキ※を最適化するモード。

※：回生ブレーキコントロールパドル付車の回生ブレーキ力は、回生ブレーキコントロールパドルの設定に従います。

➔回生ブレーキコントロールパドル★
(P.190)

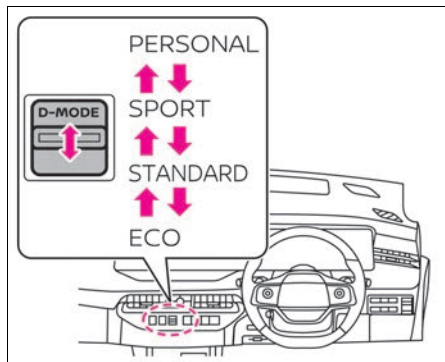
e-Pedal StepがONのときは、回生ブレーキ力はe-Pedal Stepの特性に従います。

➔e-Pedal Step (P.209)

モードの切り替えかた

アドバイス

- <ドライブモードセレクト>を操作してもモードが切り替わらない場合は、システムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。
- <パワースイッチ>がONのとき、<ドライブモードセレクト>を操作すると、選択可能なドライブモードがアドバンスドドライブアシストディスプレイに表示されます。
- ドライブモードはパーソナルアシスタント機能のユーザーごとに保持します。



エマージェンシーストップシグナル

エマージェンシーストップシグナルは、急ブレーキを踏んだとき、後続車に追突される可能性を低減させるため、ある一定の速度域では制動灯を点滅させて後方へ急ブレーキを知らせます。

エマージェンシーストップシグナルについて

- 50km/h以上の速度で走行中、急ブレーキを踏むと作動します。
- 次の場合は作動が停止します。
 - ー ブレーキペダルから足を離れたとき
 - ー ブレーキペダルを踏んでいても急ブレーキではなくなったとき
- メーター内のABS警告灯 [(ABS)] (➔P.392) が点灯しているときは、エマージェンシーストップシグナルが作動しない場合があります。

ABS (アンチロックブレーキシステム)

ABSとは、急ブレーキ時や滑りやすい路面でのブレーキ時に、タイヤのロックを防止して、車両の安定性を向上させるとともにハンドル操作による障害物回避をしやすくするシステムです。

ABSに関する注意事項

⚠ 警告

- カーブの手前では十分に減速する。
ABSはあくまでも運転者のブレーキ操作を補助するシステムです。ABSの付いていない車両と同様に、カーブの手前では十分な減速が必要です。早めの操作で安全運転を心がけてください。
- でこぼこ道、砂利道、積雪路などでは、特に速度を抑え、車間距離を十分に取る。
ABSはブレーキ時の車両の安定性、操舵性を確保しようとするための装置で、制動距離が短くなるとは限りません。でこぼこ道、砂利道、積雪路などでは、ABSの付いていない車より制動距離が長くなることがあります。このような道を走行するときは、特に速度を抑え、車間距離を十分にとって運転してください。
- タイヤ交換時は、必ず指定サイズのタイヤを4輪に装着する。

⚠ 警告

ABSは各車輪の回転速度をセンサーで検出しています。指定サイズ以外ではABSが正常に作動しなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ABSについて

急ブレーキを踏まなければいけないような状況に陥らないよう、安全運転を心がけることが大切です。万一の危険な状況では次のようにしてください。

- 危険だと感じたら、ためらわず思い切りブレーキペダルを踏み込んでください。
- ABSが作動すると、ブレーキペダルに振動が伝わったり、作動音が聞こえたりします。これはABSの正常な作動によるものです。そのままブレーキペダルを踏み続けてください。
- 障害物回避の際には、ブレーキペダルを踏みながらハンドル操作をしてください。
- ＜パワースイッチ＞をONにしたときや、EVシステム始動後最初の発進時に、モータールーム内から音が聞こえることがあります。これはシステムの作動をチェックしている音で異常ではありません。

なお、車両を確実に停車させるため、ABSは低速では作動しません。路面の状況により異なりますが約10km/h以下では作動しません。

VDC（ビークルダイナミクスコントロール）

VDCは、横滑りや駆動輪の空転を抑えて走行時の車両安定性を向上させるシステムです。

VDCの機能について

- VDCのシステムには次の機能があります。
 - － VDC機能：走行中の横滑り状態をセンサーで判別し、走行時の車両安定性を向上させる機能です。
 - － トラクションコントロール機能（TCS）：滑りやすい路面などで駆動輪が空転した場合、モーターの出力を抑えることにより、駆動力およびハンドルの操作性を向上させる機能です。
 - － ブレーキLSD機能：滑りやすい路面などで駆動輪が空転した場合、空転している駆動輪にブレーキをかけることにより、もう一輪の駆動力を確保する機能です。
 - － ABS機能：ABS（ P.211）
- VDC作動時は、ブレーキの作動により音や振動を発生する場合がありますが異常ではありません。

VDCの作動について

- VDCの作動と警告灯
 - － VDCが作動しているときは、VDC警告灯  が点滅します。

- － トラクションコントロール機能のみが作動しているときもVDC警告灯  が点滅します。VDC警告灯が点滅したときは、車両が滑りやすい状態になっているため特に慎重に運転してください。

- 次の場合、VDC警告灯  が点灯することがあります。一度＜パワースイッチ＞をOFFにし、再度ONにするとVDC警告灯は消灯します。
 - － 駐車場の入り口などにあるターンテーブルや動く物の上に車があるとき
 - － 極端に傾いた特殊な路面（サーキット路に見られるバンクなど）を走行したとき

VDCに関する注意事項

⚠ 警告

- 滑りやすい路面やカーブの手前では速度を落とす。

この装置は車両の走行安定性を向上させるもので事故を防止するものではありません。VDCの作動にも限界があるため、滑りやすい路面やカーブの手前では、特に速度を落とし安全運転を心がけてください。

- 次の場合、VDC警告灯  が点灯し正常に作動しないことがあるため注意する。
 - － サスペンション、タイヤ、ブレーキなどを純正品以外に交換したり、改造したとき

⚠ 警告

ー サスペンション、タイヤ、ブレーキなどの関係部品が著しく摩耗および劣化した状態で走行したとき

- VDC付車でも雪道などでは冬用タイヤやタイヤチェーンを装着する。

VDCのON・OFFのしかた

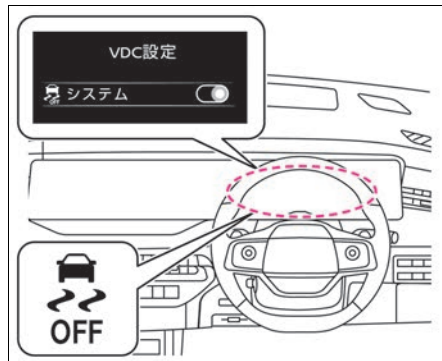
■ メーターでのON・OFFのしかた★

メーターの設定画面で切り替えます。

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [⚙] ⇒ [VDC設定] ⇒ [システム] を選択すると、VDC機能のON・OFFを切り替えることができます。設定の詳細については、VDC設定をお読みください。

➡ アドバンスドドライブアシストディスプレイとは (メインメニュー) (P.97)

➡ VDC設定★ (P.112)

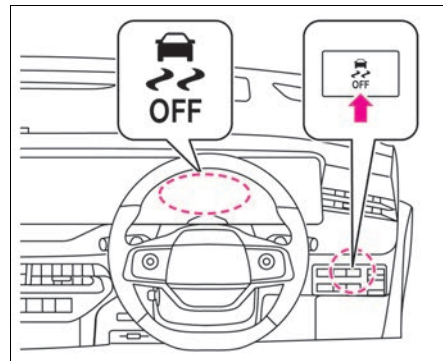


- VDC機能をOFFに切り替えると、VDCが停止し、VDC OFF表示灯 [⚠] が点灯します。
- 再度、VDCを使用 (ON) するときは、もう一度アドバンスドドライブアシストディスプレイでVDC機能をONに切り替えます。VDC OFF表示灯 [⚠] が消灯し、VDCがONになります。

■ スイッチでのON・OFFのしかた★

<VDC OFFスイッチ>を押して切り替えます。

- VDCがONのときにVDC OFFスイッチを長押し (約2秒) すると、VDCがOFFになります。



- VDC機能をOFFに切り替えると、VDCが停止し、VDC OFF表示灯 [⚠] が点灯します。
- 再度、VDCを使用 (ON) するときは、もう一度<VDC OFFスイッチ>を押してVDC機能をONに切り替えます。VDC OFF表示灯 [⚠] が消灯し、VDCがONになります。
- VDCをOFFにした後もVDC OFFスイッチを押し続けると、誤操作防止機能が働いてVDCはONに戻ります。
- VDCが作動しているときは、ぬかるみや雪道から脱出するときに、スリップ状態を検知するため、アクセルペダルを踏み込んでもタイヤの回転数が上がらないことがあります。タイヤの回転数を上げたいときはVDCを停止してください。
- VDC機能をOFFにすると、VDCのすべての機能と、次の機能が停止します。
(ABS機能およびブレーキLSD機能を除く)

運転支援機能

- プロパイロット (🔗P.222)
- インテリジェント エマージェンシーブレーキ (🔗P.261)
- 踏み間違い衝突防止アシスト (🔗P.269)
- インテリジェント L (車線逸脱防止支援システム) (🔗P.283)
- インテリジェント BSI (後側方衝突防止支援システム) (🔗P.275)
- 衝突回避ステアリングアシスト (🔗P.269)

- <パワースイッチ>をONにするたびに、VDCは自動的にONになります。
- VDCが作動すると発進時や加速時に車体およびペダルにわずかな振動と作動音が発生しますが異常ではありません。
- <パワースイッチ>をONにしたときや、EVシステムを始動後最初の発進時に、モータールーム内から音が聞こえることがありますが、システムの作動をチェックしている音で異常ではありません。

ヒルスタートアシスト

ヒルスタートアシストは、上り坂での発進を補助するシステムです。

⚠ 警告

- ヒルスタートアシストの機能を過信しない。

凍結している路面や泥状の坂道では、車両がスリップして後退することがあります。特に安全運転を心がけてください。

緩やかな坂道ではヒルスタートアシストが作動せず後退する場合があります。その際はブレーキペダルを踏むか、パーキングブレーキをかけてください。

- 停車するときは、思わぬ事故につながるおそれがあるため、ブレーキペダルを踏み続ける。

この装置は、ブレーキペダルから足を離すと約2秒間ブレーキ力を保持しますが、その後ブレーキ力が解除されます。駐車するときは確実にシフトポジションを $\boxed{P}$ に入れ、パーキングブレーキをかけてください。

ヒルスタートアシストについて

- 上り坂で発進するとき、ブレーキペダルからアクセルペダルへ踏み替える間に発生する車両の後退を防ぎます。
- シフトポジションが $\boxed{P}$ 、 $\boxed{N}$ 以外のとき、ブレーキペダルから足を離すと、約2秒間ブレーキ力を保持します。
- <シフトスイッチ>を操作した直後はブレーキペダルを踏んだ状態で約1秒間待ってから発進してください。シフトポジションを $\boxed{P}$ から $\boxed{D}$ または $\boxed{N}$ から $\boxed{D}$ に操作した直後は、ヒルスタートアシストが作動しないことがあります。
- VDC警告灯 [] (🔗P.394) が点灯したときは作動しません。
- ヒルスタートアシストが作動しているとき、ブレーキペダルの踏みごたえが変化したり、音や振動が発生したりすることがありますが、異常ではありません。

車両接近通報装置

車両接近通報装置は、低速走行中に車両が接近していることを音で歩行者に知らせるシステムです。

⚠ 警告

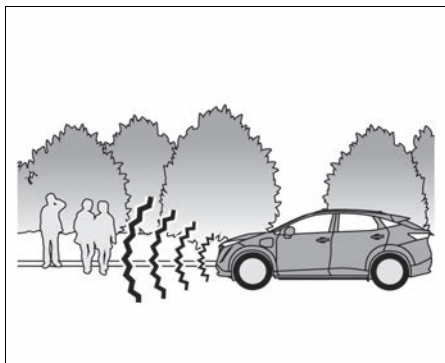
- 車両接近通報装置の音が聞こえないときは、日産販売会社で点検する。

車両接近通報装置の音が聞こえないときは、安全で静かな場所に停車し、音が聞こえるか確認してください。ブレーキペダルを確実に踏みながら、シフトポジションを $\boxed{R}$ にし、窓を開けて音が聞こえるか確認します。車両前方から音が聞こえないときは、日産販売会社で点検を受けてください。

車両接近通報装置について

車両接近通報装置は、走行可能表示灯 [READY] が点灯しているとき、次の場合に作動します。

- 発進時、車速が30km/h以下のとき
- 減速時、車速が25km/h以下になったとき
- シフトポジションが $\boxed{R}$ のとき

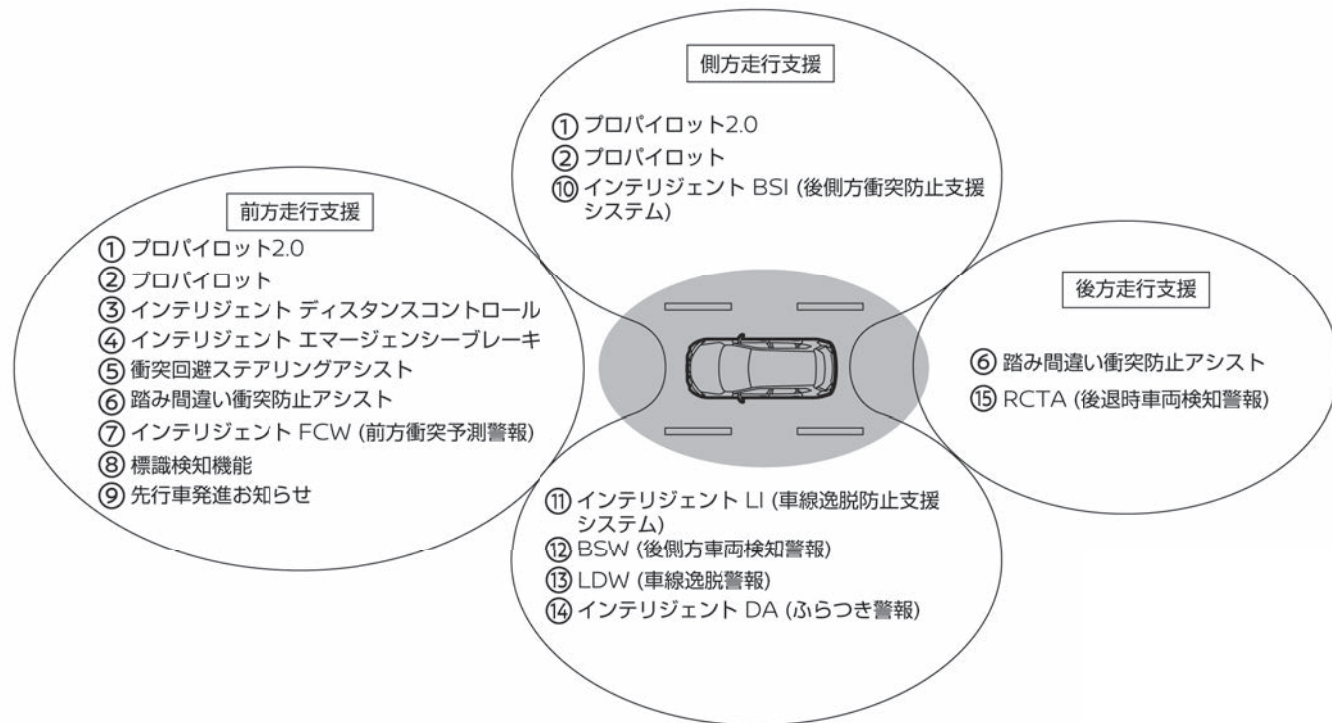


車両接近通報装置の故障について

- システムに異常があると、メーター内の車両接近通報システム警告灯 [] が点灯します。
車両接近通報システム警告灯
( P.397)
- 車両接近通報装置の音を大きくしたい場合は、日産販売会社へご相談ください。
音を小さくすることはできません。

走行支援機能

走行支援機能について



範囲		機能名	機能説明	支援内容	使用するセンサー※1			
					レーダー	カメラ (フロント)	ソナー	カメラ (アラウンドビューモニター)
前方側方	①	プロパイロット2.0★	前方車両との車間距離を制御し、前方車両停車時は停車してその状態を保持します。また、走行車線内を走行するようにハンドルを自動制御することで運転操作の負担を減らします。(➡P.222)	支援	○	○	○	○
	②	プロパイロット★			○	○	—	—
前方	③	インテリジェントディスタンスコントロール	先行車との車間距離や相対速度に応じてブレーキを制御し、運転者の車間距離維持操作を支援します。(➡P.255)	支援	○	○	—	—
	④	インテリジェントエマージェンシーブレーキ	前方の車両や歩行者、自転車と衝突のおそれがあるとき、警報とブレーキにより、運転者の衝突回避操作を支援します。(➡P.261)		○	○	—	—
	⑤	衝突回避ステアリングアシスト	前方の障害物に対するステアリングによる回避操作を検出した場合、運転者のハンドル操作を支援します。(➡P.269)		○	○	—	—
前方後方	⑥	踏み間違い衝突防止アシスト	ブレーキペダルとアクセルペダルの踏み間違いや、ブレーキ操作遅れが起きたときに警報音と表示で警告し、さらに過度な加速の防止や障害物への衝突防止を支援します。(➡P.269)	支援	—	○※2	○	○※3

運転支援機能

範囲		機能名	機能説明	支援内容	使用するセンサー※1			
					レーダー	カメラ (フロント)	ソナー	カメラ (アラウンドビューモニター)
前方	⑦	インテリジェント FCW (前方衝突予測警報)	前方を走行する2台前の車両を検知し、急な減速などにより、自車の回避操作が必要と判断した場合に警報します。(➡P.286)	警報	○	—	—	—
	⑧	標識検知機能	運転者に車両進入禁止標識があることを知らせます。(➡P.293)		—	○	—	—
	⑨	先行車発進お知らせ	先行車が発進しても自車が停止し続けた場合に、音と表示でお知らせする機能です。(➡P.299)		○	○	—	—
側方	⑩	インテリジェント BSI (後側方衝突防止支援システム)	隣車線に車両がいる時に車線変更を開始した場合、警報とともに車両を元の車線内に戻すよう支援します。(➡P.275)	支援	○	○	—	—
	⑪	インテリジェント LI (車線逸脱防止支援システム)	運転者が意図せず走行車線から逸脱しそうなどとき、車線内に戻す操作を支援します。(➡P.283)		—	○	—	—
	⑫	BSW (後側方車両検知警報)	車線変更時、隣車線に車両がいる場合に警報します。(➡P.275)	警報	○	—	—	—
	⑬	LDW (車線逸脱警報)	運転者が意図せず走行車線から逸脱しそうなどとき、警報します。(➡P.283)		—	○	—	—
	⑭	インテリジェント DA (ふらつき警報)	ハンドル操作から運転者の注意力が低下していると判断したとき、警報音と表示により運転者に休憩を促します。(➡P.292)		—	—	—	—
後方	⑮	RCTA (後退時車両検知警報)	後退時、後方を横切ろうとする車両があるとき、警報します。(➡P.289)	警報	○	—	—	—

※1：レーダーセンサー／カメラ類の取り扱い注意に従って、お手入れをお願いします。適切なお手入れを行わないと、システムが正常に作動しないおそれがあります。
 (🔍 レーダーセンサー★の取り扱い (P.458))、
 (📷 マルチセンシングフロントカメラの取り扱い (P.458))、
 (📷 フロントビュー／サイドビューカメラの取り扱い (P.459))、
 (📷 リヤビューカメラの取り扱い (P.459))、
 (📷 ソナーの取り扱い (P.459))

※2：後方への支援には使用されません。

※3：後方への支援時にリヤビューカメラが使用されます。

走行支援機能

⚠ 警告

- 走行支援機能は、自動で運転する装置ではありません。運転者は交通法規を遵守し、常に周囲の状況に注意して運転してください。道路・交通・車の状況に応じてハンドル、ブレーキ、アクセルを確実に操作し、安全な運転を行う責任があります。性能には限界があるため、システムだけに頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。
- レーダー、カメラ、ソナーの性能には限界があります。詳細については、各検知条件と制限をお読みください。
 🔍 レーダーセンサーの検知条件と制限 (P.220)
 📷 マルチセンシングフロントカメラの検知条件と制限 (P.220)
 📷 ソナーの検知条件と制限 (P.221)

フロントガラスに装備されたマルチセンシングフロントカメラ、フロントバンパーおよびリヤバンパーに装備されたレーダーセ

☆／★：車両型式、オプションなどで異なる装備

ンサーとソナーセンサーで構成された、走行を支援するシステムです。

■ 作動させるためにスイッチ操作が不要な機能（メーターでのON設定が必要）

- インテリジェント エマージェンシーブレーキ
- 踏み間違い衝突防止アシスト
- インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）
- 衝突回避ステアリングアシスト
- BSW（後側方車両検知警報）
- LDW（車線逸脱警報）
- RCTA（後退時車両検知警報）
- インテリジェント DA（ふらつき警報）
- 標識検知機能
- インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）
- インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）

■ 作動させるために操作が必要な機能

- プロパイロット2.0★
- プロパイロット★

● インテリジェント ディスタンスコントロール

走行支援機能の設定

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [🔍] ⇒ [運転支援] ⇒ 必要な機能を選択すると、ON・OFFを切り替えることができます。

インテリジェントクルーズ

プロパイロット★、プロパイロット2.0の減速機能★、標識検知した速度の反映など

車線維持支援

ハンドル支援、ハンズオフモード

車線変更支援

追い越し支援

前方支援

ディスタンスコントロール

側方支援

車線逸脱警報、車線逸脱防止支援

後側方支援

後側方車両検知警報、後側衝突防止支援

緊急支援

前方衝突防止支援、警報感度

先行車発進お知らせ

お知らせタイミング

標識検知支援

制限速度標識、道路標識、制限速度警報

駐車支援

踏み間違い衝突防止支援、後退時車両検知警報

ドライバーモニター

ふらつき警報、ドライバーモニター

運転支援サウンド設定

運転支援の警報の音量

レーダーセンサーの検知条件と制限

- レーダーセンサーは次のような物体は検知できないことがあります。
 - － 歩行者、自転車、動物など
 - － 対向車
 - － 前方の車両がオートバイのような幅の狭い車両
- RCTA（後退時車両検知警報）のレーダーセンサーは、次のような物体は検知できないことがあります。
 - － 約30km/h以上の速度で通過する車両
 - － 約8km/h以下の速度で通過する車両
- 次のような場合は、前方の車両を検知できません。
 - － 悪天候（雨、雪、霧など）で視界が悪いとき
 - － 前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
 - － 雪や氷、泥などがレーダーセンサー周辺に付着しているとき

- － 放送局・レーダー搭載車両など周辺の電波源により影響を受けているとき
- － トンネル内を走行しているとき
- － 前方の車両がけん引を行っているとき
- － 前方の車両との距離が極端に近いとき
- － 急なカーブや、勾配の変化があるところを走行しているとき

- 次のような状況では、レーダーセンサーが接近する車両を検知できず、RCTA（後退時車両検知警報）が警報を出さない場合があります。
 - － 隣に駐車している車両などが、レーダーセンサーの検出エリアを妨げているとき
 - － 駐車枠線が斜めに引かれた駐車場に駐車しているとき
 - － 回り込むようにして自車両後方へ車両が接近してきたとき
 - － 接近してきた車両の向きが、自車両の向きと同じまたはそれに近いとき
- 次のような状況では、隣の車線の車両を検知できないことがあります。
 - － 車線の幅が極端に広い道路を運転しているとき
 - － 悪天候（雨、雪、霧など）で視界が悪いとき
 - － 放送局・レーダー搭載車両など周辺の電波源により影響を受けているとき
 - － 水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
 - － 雪や氷、泥などがレーダーセンサー周辺に付着しているとき
- 次のような車両は、正確に検知できない場合があります。

- － 背の低い車両や、オートバイなどの幅の狭い車両
- － 停車状態から検知範囲に居続ける車両
- － 後方から速い速度で接近してくる車両
- － 自車両が速い速度で追い越した車両
- － 合流や車線変更で自車両の横にほぼ同じ速度で移動してきた車両

マルチセンシングフロントカメラの検知条件と制限

- マルチセンシングフロントカメラは次のような障害物を検知できないことがあります。
 - － 子供などの背の低い人、動物、自転車
 - － 対向車両
 - － 道路構造物（ガードレール、ポールなど車両と歩行者以外の障害物）
- マルチセンシングフロントカメラは車両の後端を認識するため、以下のような車両を検知しないもしくは検知できない場合があります。
 - － バンパー形状などにより、タイヤが見えにくい車両
 - － 幌がはみ出し、後端形状がはっきりしない車両
 - － 前方を横切って通過する車両
 - － 斜めもしくは前向きに止まっている車両
- マルチセンシングフロントカメラは次のような場合、前方の車両、歩行者を検知できません。
 - － 悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）で視界が悪いとき

- 前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
- カメラ前方のフロントガラスのくもりや、汚れ、油膜、虫汚れ、水滴、氷、雪、泥などが付着しているとき
- 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けているとき
- 前方の強い光により前方車両のタイヤの部分が影になり見えにくいとき
- 夜間やトンネル内などでヘッドランプを点灯していない、あるいはヘッドランプのレンズが極端に汚れている、または光軸調整が適切に行われていないとき
- 夜間やトンネル内などで前方の車両のテールランプが点灯していないとき
- トンネルの出入り口や日陰など、急に明るさの変化が起こったとき
- カーブを走行しているとき
- 勾配の変化があるところを走行しているとき
- 未舗装路など凹凸のある路面を走行しているとき
- 歩行者が大きな荷物を持っている、背景と同じ色の服を着ているなど人特有の輪郭が認識できないとき
- 前方車両からの太陽光などを強く反射されたとき
- 対象物の位置や動きが大きく変化した場合（自車の車線変更・右左折、前方車両の右左折・急ハンドル・急加速・急減速など）
- 始動してから約15秒間
- カメラの向きがずれているとき

- マルチセンシングフロントカメラは以下の例のような周辺状況では対象物の形状を正しく検出できずシステムが作動しない場合があります。
 - 対象物が背景と似た色合いで区別ができない場合
 - 対象物が道路標示（道路上の横断歩道、制限速度などの標示）の近くにいる場合
 - 対象物が路面の水たまりの付近にいる場合（周りの風景が水たまりに映りこむなど）
 - 対象物が建物や街路樹などの影と重なっているとき
 - 対象物と自車の間に水蒸気や煙などがあるとき
 - 夜間やトンネル内など暗い場所にいる歩行者
 - 車高の低い車両
 - 最低地上高（地面から車体までの高さ）が極端に低いもしくは極端に高い車両
 - 特殊な形状の車両（タンクローリー、サイドカーなど）
 - 前方の至近距離に割り込んだ車両
 - 前方の至近距離に飛び出してきた歩行者
 - 後端面積が小さい車両（空荷のトラックなど）
 - リヤタイヤから車両後端までが長い車両
 - 四輪車以外の車両（二輪車など）
 - 荷台から荷物や幌がはみ出している車両

- マルチセンシングフロントカメラは以下の例のような場合、衝突するおそれがある対象を正しく検出できない場合があります。
 - 複数の対象物同士が近接している場合
 - 対象となる二輪車または車高の低い車両の前方近くに車両がいる場合
 - 自車の正面から横にずれた位置に存在する車両や歩行者

ソナーの検知条件と制限

- 次のような場合、ソナーは正しく検出できないことがあります。
 - 人、動物などの動いているもの、特に人は衣服の種類によっても検出できない場合があります。
 - 背の低い障害物
 - 溝や穴など地面より低い場所
 - ボールなどの幅の狭い障害物
 - 針金、ロープ、チェーンなどの細い障害物
 - 金網、フェンス、ショッピングカートなどのすき間が多い障害物
 - 鋭角的な形の障害物
 - 壁などに配置されている配管などの障害物
 - 地面から高い位置に存在する障害物
 - 柱などで構成されている平面ではない障害物
 - スポンジ状のものや雪などの表面が柔らかく音波を吸収しやすい障害物
 - バンパーに非常に近い障害物
 - 急に進行方向に現れた障害物

運転支援機能

- 急にソナーの検出範囲に飛び込んできた障害物
- 急に近づいてきた障害物
- 車両側方にある障害物
- 障害物の面が車両の前面、または後面に対して斜めするとき
- ソナーセンサー部や周辺が凍結したり、雨、雪、氷、汚れなどが付着したりしているとき
- 車両姿勢が大きく傾いているとき
- 炎天下や寒冷時でセンサー周辺が著しく高温または低温のとき

- 凸凹道、坂道、砂利道、草むらを走行しているとき
- 他車のホーン、オートバイの排気音や工事など、付近で大きな音がしたとき
- 車両感応センサーや他車のソナーなど、超音波を発するものが付近にあるとき

- 次のような場合、ソナーは検知することがあります。
 - 周囲に草が生い茂っているとき
 - 車両側面の近くに壁があるとき
 - 高さのあるゲート、狭いトンネル、料金所のバーなど
 - マンホールやスピードバンプなど路面上に段差や突起物があるとき
 - 垂れ下がった旗、ビニールカーテンなどをくぐって走行するとき
 - 車両周辺に雪のかたまりがあるとき
 - 勾配路
 - 車両感応センサーや他車のソナーなど、超音波を発するものが付近にあるとき

- 他車のホーン、オートバイの排気音や工事など、付近で大きな音がしたとき
- 背が高く上部が張り出しているものがあるとき
- 雨、雪、氷、汚れなどがソナーセンサーに付着しているとき
- 凸形状または凹形状の構造物の近くを通過しているとき
- 車両側方の近くに構造物（壁、料金所設備、駐車場のゲート設備など）があるとき

プロパイロット

プロパイロットは、高速道路や自動車専用道路を運転者が設定した車速を上限に、先行車と車速に応じた車間距離を保ちながら、車線中央付近を走行するための運転操作を支援します。

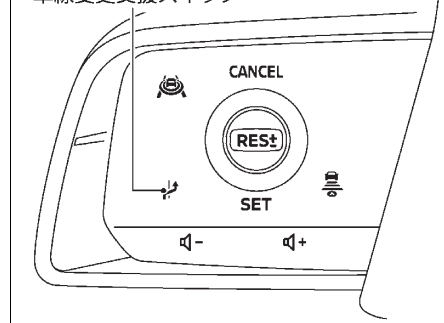
プロパイロット2.0では上記に加え、運転者が常に前方に注意して道路・交通・自車の状況に応じただちにハンドルを確実に操作できる状態にある限りにおいて、同一車線内でハンドルから手を離すことが可能となります。（プロパイロット2.0付車）

システムの見分けかた

ステアリングスイッチの形状とルーフのシャークフィンアンテナの有無で、システムを見分けることができます。

- <車線変更支援スイッチ>
プロパイロット：無し
プロパイロット2.0：有り
- シャークフィンアンテナの数
プロパイロット：無しまたは1つ
プロパイロット2.0：2つ

車線変更支援スイッチ



プロパイロットに関する注意事項

⚠ 警告

- プロパイロットは自動で運転する装置ではありません。また、脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意での運転操作を補助するものではありません。

運転者はシステムを過信せず、常に周囲に注意し、道路・交通・自車の状況に応じて確実にハンドル、アクセルペダル、ブレーキペダルを操作して、安全な運転を行う責任があります。

- プロパイロットは高速道路や自動車専用道路の直線や緩やかなカーブでの使用を想定して設計されています。

一般道での使用は思わぬ事故につながるおそれがあるため使用しないでください。

⚠ 警告

- プロパイロットは同一方向に走行する車両を検出し、車間距離を保つようアクセル、ブレーキを制御します。

対向車、前方を横切る車両、車線外（路肩など）にいる車両、歩行者、自転車、工事用のパイロン、落下物などの車両以外のものに反応しません。

- プロパイロットは車線中央付近を走行するようにステアリングを制御します。側方から車両が近づいてきても反応しません。

交通法規を遵守する責任は運転者にあります。走行している地域や道路の交通法規を遵守し、安全な走行を行ってください。

- プロパイロットの性能には限界があるため、システムだけに頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。

自車の前への急な割り込みや先行車が急ブレーキをかけたとき、急なカーブを走行するとき、悪天候などでは、適切な減速や操舵制御が行えず先行車に接近したり、レーンマーカに近づいたりすることがあります。先行車との車間距離、自車の車線内の位置、周囲の状況に応じて自らアクセルペダル、ブレーキペダル、ハンドルを操作し、常に安全運転を心がけてください。

レーンマーカとは、走行車線の右側もしくは、左側に引かれた線のことを示します。

- プロパイロットを解除せずに降車しないでください。

車両を停車し続ける能力をもっていません。降車する場合は<プロパイロットスイッチ>を押してシステムをOFFにし、シフトポジションを

Pに切り替え、電動パーキングブレーキを 작동させてください。

- 次のような状況では適切な制御ができず、思わぬ事故につながるおそれがあるため使用しないでください。

- 凍結路や積雪路など滑りやすい路面を走行しているとき
- 悪天候（雨、雪、霧など）のとき
- 急カーブや曲がりくねった道を走行しているとき
- 急な上り坂、下り坂を走行しているとき
- 頻繁な加減速により、車間距離が保ちにくい交通状況のとき
- 料金所を通るとき
- タイヤの空気圧が適正ではないとき
- 摩耗しているタイヤ、日産純正品もしくは日産販売会社で購入したタイヤ以外を使用しているときや、タイヤチェーンを装着しているとき
- 純正品以外のブレーキ部品やサスペンション部品を使用しているとき

- レーダー部に雪、氷、泥などの付着物があるとき
- マルチセンシングフロントカメラおよびその前方のフロントガラスに汚れ、油膜、水滴、氷、雪、泥などの付着物があるとき
- マルチセンシングフロントカメラおよび、その前方のフロントガラスにくもりや結露があるとき
- レーダー、カメラ、ソナーの機能を妨げるものを取り付けたとき
- 極端に重い荷物を積んでいるとき
- けん引されているとき
- NissanConnectインフォテインメントシステムの地図が実際の道路と一致していないとき
- NissanConnectインフォテインメントシステムの地図データ通信が安定して行えないとき
- NissanConnectインフォテインメントシステムのライセンス期限が切れているとき

プロパイロットの機能

プロパイロットには次の機能があります。

プロパイロットとプロパイロット2.0の識別については、[⑤ システムの見分けかた \(P.222\)](#) をお読みください。

機能名	概要説明	参照先
車速・車間制御機能	● 先行車を検出していないときは、運転者が設定した車速を維持するように制御します。 ● 先行車を検出しているときは、運転者が設定した車速を上限に、車速に応じた車間距離を保つように制御します。	⑤ P.232
ルート減速支援機能	● 地図データを利用して、カーブ・出口などの道路形状に合わせて車速を調節します。(プロパイロット2.0付車)	⑤ P.234
制限速度支援機能	● 標識検知機能により検出した速度を、自動または手動で設定車速に反映することができます。(プロパイロット2.0付車)	⑤ P.235
車線維持機能 (ハンドル支援)	● 車線中央付近を走行するようにステアリングを制御し、運転者のハンドル操作を支援します。 ● 運転者が常に前方に注意し、道路・交通・自車の状況に応じ、ただちにハンドルを確実に操作できる状態にある限りにおいて、ハンドルから手を離すことが可能となります。(プロパイロット2.0付車)	⑤ P.236 ⑤ P.238
車線変更支援機能	● 運転者が方向指示器を作動させると、ステアリングと方向指示器を制御し、車線変更に必要なハンドル操作を支援します。(プロパイロット2.0付車)	⑤ P.244
追い越し支援機能	● 設定車速よりも遅い車両を前方に検出すると、運転者に追い越しを提案します。運転者が<車線変更支援スイッチ>を押すと、ステアリングと方向指示器を制御し、追い越し操作を支援します。(プロパイロット2.0付車)	⑤ P.247

● プロパイロット2.0特有機能は3D高精度地図データを使用しています。機能をご利用になるには、別途契約が必要です。

[⑤ 3D高精度地図データについて \(プロパイロット2.0付車\) \(P.251\)](#)

システム構成

警告
● プロパイロットは次のような障害物には反応しません。

- 歩行者、動物など
- 落下物
- 工事などで設置されるパイロンなど
- 特殊な形状をした車両

- 次のような状況では先行車の検出が遅れる、または検出ができないことがあります。運転者は常に前方の状況に注意し、必要に応じてブレーキペダルやハンドルを操作してください。

⚠ 警告

- 前方に急な割り込みがあったとき
- 停止車両など自車速よりも極端に遅い車両がいたとき
- 見通しの悪いカーブを走行しているとき
- 前方に車線の端を走行する二輪車がいるとき
- 先行車や他車線の車両が路上の水や雪などを巻き上げて走行しているとき
- 急な上り坂、下り坂が繰り返される道を走行しているとき
- 後席やラゲッジルームに極端に重い荷物を積んだとき
- 悪天候のとき（雨、霧、雪など）
- 次のような状況では正しくレーンマーカーの検出ができず車線維持機能（ハンドル支援）、車線変更支援機能が使用できないことがあります。
- レーンマーカーが消えかかっている、汚れているなど不明瞭なとき
- レーンマーカーが路面の色と似ており見えにくいとき
- レーンマーカーが多重に描かれているとき
- 消されたレーンマーカーが、まだ薄く残っているとき
- 工事などによる車線規制や仮設のレーンマーカーがあるとき

- 料金所や交差点手前などでレーンマーカーが大きく変化しているとき
- 車線幅が極端に狭いときや広いとき、または変化しているとき
- 停車禁止部分、または立ち入り禁止部分がある道を走行しているとき
- 出口路、分岐路など車線数が増えるとき
- 濡れているまたは水たまりのある路面を走行しているとき
- 道路構造物、街路樹、建物などの影が差している路面を走行しているとき
- 悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）で視界が悪いとき
- 先行車や他車線の車両が路上の水や雪などを巻き上げて走行しているとき
- 前方から強い光（太陽光や対向車のハイビームなど）を受けているとき
- 夜間やトンネル内などでヘッドランプを点灯していない、あるいはヘッドランプのレンズが極端に汚れているとき
- トンネルの出入り口や日陰など急に明るさの変化が起こったとき
- 急な上り坂、下り坂が繰り返される道を走行しているとき

- 後席やラゲッジルームに極端に重い荷物を積んでいるとき
- 次のような状況では隣の車線の車両の検出が遅れる、または検出ができないことがあります。運転者は常に周囲の状況に注意し、必要に応じてハンドルを操作してください。
- 背の低い車両や、オートバイなどの幅の狭い車両が走行しているとき
- 後方から速い速度で接近してくる車両が走行しているとき
- 後方から近づいてくる車両が車線変更などにより隣の車線に移動したとき
- 自車や周囲の車両が路上の水や雪などを巻き上げて走行しているとき
- 急な上り坂、下り坂が繰り返される道を走行しているとき
- 後席やラゲッジルームに極端に重い荷物を積んだとき
- 放送局・レーダー搭載車両など周囲の電波源により影響を受けているとき
- 悪天候のとき（雨、霧、雪など）
- 次のような場合、ドライバーモニターシステムが運転者を適切に検出できないことがあります。
- 車室内へ太陽光が入り込み、ドライバーモニターカメラまたは、運転者が照らされているとき

⚠ 警告

- 太陽光の入り込みと影になることが繰り返すとき
- サングラス、マスク、眼帯、帽子、マフラーなどを着用している場合など目、鼻、口や顔の輪郭が隠れているとき
- 顔とシステムとの間に遮る物があるとき
- ドライバーモニターカメラに触れ、汚れや指紋が付着したとき
- 助手席や後席シートの方が運転席付近に身を乗り出したときなど、運転席付近に2つ以上の顔が存在するとき
- 前方からの太陽光の眩しさなどで目を細めたり、運転姿勢をくずしていたりしているとき

● フロントレーダー、サイドレーダーの汚れを自動的に判定する機能を備えておりますが万全ではありません。

状況によってはレーダーが汚れていても判定できない場合があります。また雪、氷などが付着したときも判定できない場合があります。

このような状況では適切な作動ができなくなるおそれがあるため、常に周囲に注意して走行してください。またフロントレーダー、サイドレーダーおよびその周辺はいつもきれいにしておいてください。

➡ レーダーセンサー★の取り扱い (P.458)

● フロントカメラの汚れを自動的に判定する機能を備えておりますが万全ではありません。

状況によってはフロントカメラが汚れていても判定できない場合があります。また雪、氷などが付着したときも判定できない場合があります。

このような状況では適切な作動ができなくなるおそれがあるため、常に前方に注意して走行してください。またフロントカメラおよびその周辺はいつもきれいにしておいてください。

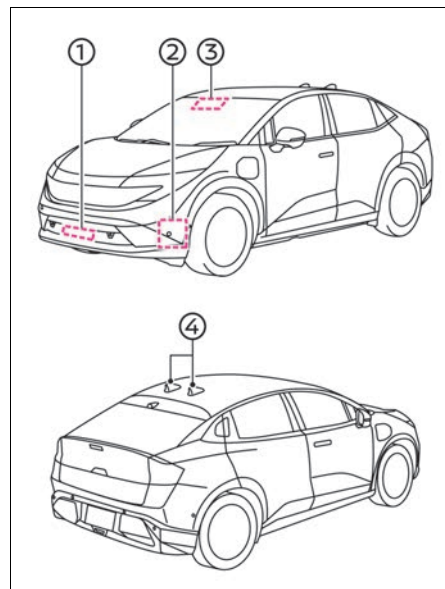
➡ マルチセンシングフロントカメラの取り扱い (P.458)

● ドライバーモニターカメラの汚れを自動的に判定する機能を備えておりますが万全ではありません。

状況によってはドライバーモニターカメラが汚れていても判定できない場合があります。またドライバーモニターカメラに触れ、汚れや指紋が付着したときも判定できない場合があります。このような状況では適切な作動ができなくなるおそれがあるため、常に前方に注意して走行してください。またドライバーモニターカメラおよびその周辺はいつもきれいにしておいてください。

➡ ドライバーモニターカメラの取り扱い (P.298)

プロパイロットは次のような部品で構成されています。



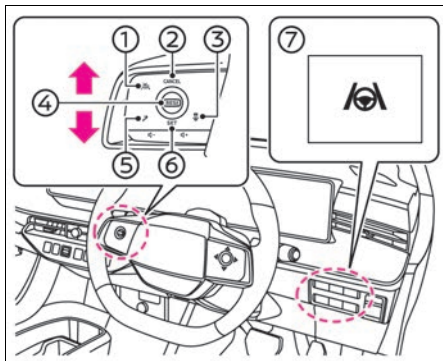
- ① フロントレーダーセンサー
前方の車両を検知し、インテリジェントクルーズコントロールに使用
- ② サイドレーダーセンサー（フロント）
（プロパイロット2.0付車）
隣車線の他車両の有無を検知
- ③ マルチセンシングフロントカメラ
隣車線の他車両の有無、および車線のレーンマーカ―を検知し、ステアリングアシストに使用
- ④ シャークフィンアンテナ（プロパイロット2.0付車）
衛星システムからの測位情報を受信

🚗 アドバイス

- プロパイロットを正しく作動させるために、カメラ前方のフロントガラス、レーダーセンサーおよびソナーセンサー周辺のお手入れを行ってください。

➡ 外装のお手入れ (P.455)

プロパイロットに関連するスイッチ



- ① **プロパイロットスイッチ**
プロパイロットのON・OFFができます。
- ② **CANCELスイッチ**
プロパイロットの解除ができます。このとき、設定車速を消さずに解除することができます。
- ③ **車間設定スイッチ**
車間距離を「長」「中」「短」の3段階に切り替えることができます。

④ RES±スイッチ

- プロパイロットを解除後に上または下に押すと、解除前の設定車速で再び開始することができます。
- プロパイロットをONにし、＜SETスイッチ＞でプロパイロットを開始する前に＜RES±スイッチ＞を上または下に押すと、＜SETスイッチ＞を押したときと同様に押したときの車速でプロパイロットを開始することができます。
- 上押しすると、設定車速を上げることができます。下押しすると、設定車速を下げるすることができます。

⑤ 車線変更支援スイッチ (プロパイロット2.0付車)

プロパイロット2.0が車線変更を運転者に提案したとき、車線変更の支援を開始できます。

⑥ SETスイッチ

＜SETスイッチ＞を押したときの車速でプロパイロットを開始できます。

⑦ ハンドル支援スイッチ

車線維持機能 (ハンドル支援) のON・OFFができます。

- プロパイロットのON・OFF設定はEVシステムをOFFにしても再度設定が変更されるまで、その状態を維持します。プロパイロットが待機状態のままEVシステムをOFFにして、再度EVシステムをONにしたときは、プロパイロットは待機状態です。

2. ＜SETスイッチ＞を押したときの車速でプロパイロットを開始します。
- 先行車を検出していない場合、運転者が設定した車速を維持するように制御します。または、制限速度支援機能 (➡ P.235) やルート減速支援機能 (➡ P.234) により車速が制御されます。

📖 知識

- ＜プロパイロットスイッチ＞を1.5秒以上押し続けると定速制御機能に切り替わり、車線維持機能 (ハンドル支援) を行いません。

■ 車間距離設定のしかた

⚠️ 警告

- プロパイロットは脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意での運転操作を補助するものではありません。先行車との車間距離、車線内の位置、周囲の状況に応じてアクセルペダル、ブレーキペダル、ハンドルを操作するなどして、常に安全運転を心がけてください。

運転支援機能

プロパイロットがONのときに＜車間設定スイッチ＞を押すと、車間距離を設定できます。車両アイコン下のバーの本数で設定を表示します。

アイコン下のバーの本数	車間距離
3本	長
2本	中
1本	短

- 車間設定は、EVシステムを停止しても再度設定を変更するまでその状態が維持されます。

■ 設定車速の変更のしかた

加速したいとき：

- 設定車速を上げたいときは、＜RES±スイッチ＞を上方向に押します。

減速したいとき：

- 設定車速を下げたいときは＜RES±スイッチ＞を下方向に押します。

設定車速は5km/hきざみで変更できます。スイッチを押し続けると設定車速が5km/hずつ連続して変わります。希望の速度でスイッチを離してください。

■ 一時的に加速、減速をしたいとき

⚠ 警告

- アクセルペダルを操作して加速しているときは、ブレーキ制御、接近警報を行いません。

通常、車間制御中は先行車の速度に合わせて自動的に加速、減速を行います。車線変更などで加速が必要なときや、先行車が急減速したり、他車が割り込むなどして先行車に接近しそうになったときなどはアクセルペダル、またはブレーキペダルを踏んで周囲の状況に応じた適切な加速、減速を行ってください。

- ハンドルを持ってアクセルペダルを踏むと加速します。
- アクセルペダルを踏んで加速したときなど、設定車速より実際の車速が高くなった場合は、設定車速表示が点滅します。
- アクセルペダルを離すと再度車速車間制御を行います。
- ブレーキペダルを踏むと減速します。（プロパイロットは解除されます）
- 解除前の設定車速で再度開始したいときは、＜RES±スイッチ＞を上または下方向に押します。

■ 車線維持機能（ハンドル支援）のON・OFFのしかた

スイッチでのON・OFFのしかた

- ＜ハンドル支援スイッチ＞を押すごとに車線維持機能（ハンドル支援）のON・OFFを切り替えることができます。

メーターでのON・OFFの設定

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [設定] ⇒ [運転支援] ⇒ [車線維持支援] ⇒ [ハンドル支援] を選択すると、車線維持機能（ハンドル支援）

のON・OFFを切り替えることができます。

- 車線維持機能（ハンドル支援）のON・OFF設定はEVシステムを停止しても再度設定が変更されるまで、その状態を維持します。

■ プロパイロットの解除のしかた

⚠ 警告

- プロパイロットをOFFにせずに降車しないでください。

降車する場合は＜プロパイロットスイッチ＞を押してシステムをOFFにし、電動パーキングブレーキを作動させ、シフトポジションをPにしてください。

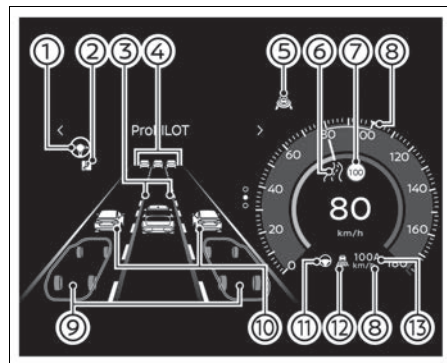
次のいずれかの操作でプロパイロットが解除されます。

- ＜プロパイロットスイッチ＞を押す
- ＜CANCEL＞スイッチを押す
- ブレーキペダルを踏む（車速・車間制御機能により、自車が停車しているときを除く）
解除前の設定車速で再度開始したいときは、＜RES±スイッチ＞を上方向に押します。
車速・車間制御機能により自車が停車しているとき、システムを解除すると電動パーキングブレーキが作動します。

アドバンスドライバアシストディスプレイ表示 (プロパイロット2.0付車)

プロパイロットが作動すると、画面が自動的にプロパイロット画面に切り替わります。この機能を停止するには、アドバンスドライバアシストディスプレイで次の操作をし、設定をOFFにしてください。設定

[設定] ⇒ [画面カスタマイズ] ⇒ [プロパイロット画面切替]



- ① **ハンドル支援作動灯**
灰色⇒ハンドル支援待機中
緑色⇒ハンドル支援中
青色⇒ハンドル支援中（ハンズオフモード）
- ② **車線変更支援作動灯**
緑色⇒車線変更支援中
青色⇒車線変更支援可能状態

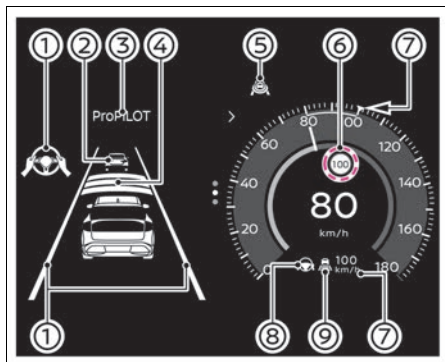
- ③ **ハンドル支援作動表示**
緑色⇒ハンドル支援中
青色⇒ハンドル支援中（ハンズオフモード）
- ④ **先行車検出表示**
検出した先行車両を表示
- ⑤ **プロパイロット作動灯**
プロパイロットONのときに表示
（ハンドル支援の状態に応じて、白色、緑色、青色に切り替わります）
- ⑥ **ルート減速支援表示**
ルート減速作動時に表示
- ⑦ **標識検知表示**
標識検知機能で検出した最高速度標識を表示
- ⑧ **設定車速表示**
設定車速を表示
- ⑨ **周辺車両検出表示**
検出した周辺車両を表示
- ⑩ **側方車両検出表示**
自車側方の車両を表示
- ⑪ **ハンドル支援作動灯／警告灯**
灰色⇒ハンドル支援待機中
緑色⇒ハンドル支援中
青色⇒ハンドル支援中（ハンズオフモード）
黄色⇒車線維持機能（ハンドル支援）が故障
赤色⇒ハンドルを離している状態（手放し警報のみ）

- ⑫ **車速・車間制御作動灯**
車両アイコン非表示⇒定速制御中
車両アイコン表示⇒定車間制御中
車間距離の設定状況を表示
- ⑬ **制限速度支援表示**
A：オートモード（自動）の作動状態
↑：検出した最高速度標識が現在走行している速度よりも高い場合に表示
↓：検出した最高速度標識が現在走行している速度よりも低い場合に表示
プロパイロット2.0表示は、ヘッドアップディスプレイ★にも表示されます。（プロパイロット2.0付車）
(P.130)

アドバンスドライバアシストディスプレイ表示 (プロパイロット付車)

プロパイロットが作動すると、画面が自動的にプロパイロット画面に切り替わります。この機能を停止するには、アドバンスドライバアシストディスプレイで次の操作をし、設定をOFFにしてください。設定

[設定] ⇒ [画面カスタマイズ] ⇒ [プロパイロット画面切替]

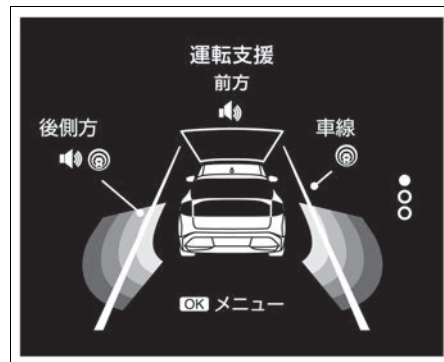


- ① **ハンドル支援作動灯**
灰色⇒ハンドル支援待機中
緑色⇒ハンドル支援中
- ② **先行車検出表示**
車両アイコン非表示⇒先行車検出無し
車両アイコン表示⇒先行車検出有り
- ③ **プロパイロット作動状態**
プロパイロット作動中は青色に点灯
- ④ **車間設定表示**
車間設定状態を表示
- ⑤ **プロパイロットの作動状態**
白色⇒プロパイロットON
青色⇒プロパイロット作動開始
- ⑥ **標識検知表示**
標識検知機能で検出した最高速度標識を表示
- ⑦ **設定車速表示**
設定車速を表示

- ⑧ **ハンドル支援作動灯／警告灯**
灰色⇒ハンドル支援待機中
緑色⇒ハンドル支援中
黄色⇒車線維持機能（ハンドル支援）が故障状態
赤色⇒ハンドルを離している状態（手放し警報のみ）
- ⑨ **車速・車間制御作動状態**
車両アイコン非表示⇒先行車検出無し（定速制御中）
車両アイコン表示⇒先行車検出有り（定車間制御中）
車間距離の設定状況を表示
レーンマーカーアイコン灰色⇒ハンドル支援待機中
レーンマーカーアイコン緑色⇒ハンドル支援中

運転支援ステータス画面

プロパイロットを起動したあと、車速を設定する前に運転支援ステータス画面が表示されます。画面は、後側方、前方運転支援、および側方運転支援のステータスを表示します。



- 運転支援ステータスを変更するには、アドバンスドドライブアシストディスプレイで次のようにメニューを選択し、設定を変更してください。（➡P.219）
設定 [⚙] ⇒ [運転支援]

運転支援機能をONに設定している場合の表示

範囲	運転支援機能名称	機能	表示
前方	インテリジェントエマージェンシーブレーキ	支援	
	衝突回避ステアリングアシスト		
	インテリジェントディスタンスコントロール		
	インテリジェントFCW（前方衝突予測警報）	警報	
車線	LDW（車線逸脱警報）	警報	
	インテリジェントLI（車線逸脱防止支援システム）	支援	
後側方	BSW（後側方車両検知警報）	警報	
	インテリジェントBSI（後側方衝突防止支援システム）	支援	

【】：警報機能がONになっている場合に表示

【】：支援機能がONになっている場合に表示

【OFF】：どの機能もONになっていない場合に表示

プロパイロット2.0★モード

プロパイロット2.0は作動状態を表示色とハンドル支援作動表示で表示します。条件が満たされると、システムは自動的に利用可能なモードに移行します。

次の表に使用可能なシステムモードと必要な条件を示します。

表示色：表示なし

（作動状態と条件）

- システムは作動していないため、起動する必要があります。
- 運転者が車両を操作します。

表示色：灰色 - 待機状態

（作動状態と条件）

- システムは作動していないため、作動させる必要があります。
- 運転者が車両を操作します。

表示色：緑色

（作動状態と条件）

- 車速・車間制御機能、車線維持機能（ハンドル支援）が作動します。
- 両側のレーンマーカーが検知されています。
- 運転者は必ずハンドルを持ち、安全運転を心がけてください。

表示色：青色（ハンズオフモード）

（作動状態と条件）

- 車速・車間制御機能、車線維持機能（ハンドル支援）が作動します。
- 運転者が常に前方に注意し、道路・交通・自車の状況に応じ、ただちにハンドルを確実に操作できる状態にある限りにおいて、ハンドルから手を離すことが可能となります。
- 高速道路や自動車専用道路を走行していることを3D高精度地図データで確認しています。

知識

- 3D高精度地図のデータ処理には、オープンソースを使用したソフトウェア（OSS）および、アルゴリズムが含まれています。次のwebサイトにライセンス情報が記載されています。
http://www.embedded-carmultimedia.jp/RTOS/License/OSS/HDL_0101/
http://www.embedded-carmultimedia.jp/RTOS/License/OSS/HDL_0102/
http://www.embedded-carmultimedia.jp/RTOS/License/OSS/HDL_0111/
- 3D高精度地図データのライセンス情報は次のwebサイトに記載されています。

知識

http://www.embedded-carmultimedia.jp/RTOS/License/map/HDL_0111/

車速・車間制御機能（インテリジェントクルーズコントロール）

インテリジェントクルーズコントロールは、プロパイロットの機能の一部です。このシステムを使用する前に、システムの操作方法（P.227）やディスプレイの理解（P.229）を含め、プロパイロット全体（P.222）をお読みください。

インテリジェントクルーズコントロールは、フロントレーダーセンサーを使用して制御します。

- 先行車を検出していない場合は運転者が設定した車速で定速走行します。
- 先行車を検出しているときは、運転者がセットした車速（30km/h以上）を上限に、車速に応じた車間距離を保つように車間制御を行い走行します。先行車が停車したときは、先行車に続いて自車も停車します。一度停車すると、インテリジェントクルーズコントロールは停車した状態を保持します。
- 先行車がいなくなると設定車速まで加速します。
- 設定車速は設定車速表示を確認しながら変更してください。

知識

- インテリジェントクルーズコントロールの制御によりブレーキが作動した場合は、自車の制動灯が点灯します。

インテリジェントクルーズコントロールは、車両ブレーキ力の最大40%しか適用しないため、車速を一定に保ちやすい交通状況で使用してください。アクセルペダルを操作して加速しているときは、ブレーキ制御、接近警報を行いません。

車速・車間制御の自動解除

次の場合は、警報音（ブザー）が鳴るとともに車速・車間制御機能が自動的に解除されます。

- 先行車を検出していないときに、車速が約25km/hを下回ったとき
- 高速道路や自動車専用道路など限定された道路を走行しているときは、停車保持中に先行車を検出しなくなったとき
- 運転席、助手席、後席のいずれかのドアを開けたとき
- 運転席のシートベルトを外したとき
- 車速・車間制御機能により自車が停車後、約3分が経過したとき
- シフトポジションをDまたはB★以外にしたとき
- 電動パーキングブレーキをかけたとき
- VDCをOFFにしたとき
- VDCが作動したとき

- タイヤが空転したとき
 - 周辺の電波源の影響を受けているとき
 - 周辺の電波源や環境による反射などにより、一時的に電波を受信できなかったとき
 - レーダーセンサーが汚れているとき
- 次の場合は、プロパイロットの制御を開始することができません。（設定車速表示が約2秒間点滅します）
- 運転席、助手席、後席、またはバックドアのいずれかのドアが開いているとき
 - 運転席のシートベルトを着用していないとき
 - 車速が約30km/hを下回っていて、先行車を検出していないとき
 - シフトポジションがDまたはB★以外のとき
 - 電動パーキングブレーキが作動しているとき
 - ブレーキペダルを踏んでいるとき
 - VDCをOFFにしたとき
 - VDC/TCSが作動したとき
 - タイヤが空転したとき

システム作動

警告

- 運転者は周囲の状況に注意し、必要に応じてブレーキペダルを操作してください。

⚠ 警告

車速・車間制御機能で停車したあと、前方に車両が割り込んできた場合、位置や車両の向きによっては検出することができず、先行車が発進すると自車も動き出し割り込んできた車両に接近するおそれがあります。

インテリジェント クルーズコントロールは、次の2つのモードのいずれかに設定できます。

- 定速制御機能 (P.255)
- 車速・車間制御機能 (P.232)
- 車線維持機能 (ハンドル支援) は定速制御機能では使用できません。ハンドル支援なしで車速・車間制御機能を使用するには、＜ハンドル支援スイッチ＞または設定メニューで車線維持機能 (ハンドル支援) をOFFにします。詳細については、車線維持機能 (ハンドル支援) のON・OFFのしかた (P.237)を参照してください。

📖 知識

- インテリジェント クルーズコントロールで自車が停車したとき、停車した状態を保持するまでは周囲に注意してください。

■ 先行車を検出していないとき

先行車がいなくなると、運転者が設定した車速を維持するように制御します。

先行車がいなくなると先行車検出表示と車速制御作動灯が消灯し、運転者が設定した車速まで加速します。

📖 知識

- 設定車速までは機能の制御によって加速しますが、すばやく加速したいときはアクセルペダルを踏んで加速してください。
- 先行車を検出していない場合、車速が約25km/h以下になると、インテリジェント クルーズコントロールは解除されます。
- 高速道路や自動車専用道路など限定された道路を走行している場合は、停車保持中に先行車を検出なくなると、インテリジェント クルーズコントロールは解除されます。

■ 先行車を検出しているとき

先行車検出表示と車速制御作動灯が点灯し、運転者が設定した車速を上限に、車速に応じた車間距離を保つように制御します。

👉 車間距離設定のしかた (P.227)

■ 先行車が停車したとき (プロパイロット2.0付車)

- インテリジェント クルーズコントロールで走行中に先行車が停車したときは、先行車に続いて自車も停車します。一度停車すると、インテリジェント クルーズコントロールは停車した状態を保持します。(停車した状態を保持しているときは、[前の車に続いて発進します] と表示さ

れ、先行車検出表示と車速制御作動灯が点滅します)

高速道路や自動車専用道路など限定された道路を走行中に先行車が停車したときは、先行車に続いて自車も停車します。その後、先行車が約30秒の間に発進すると追従走行を再開します。

- 約30秒を超えて停車した場合、[RESで発進します] とメッセージが表示され、停車した状態を保持します。

■ 先行車が停車したとき (プロパイロット付車)

- インテリジェント クルーズコントロールで走行中に先行車が停車したときは、先行車に続いて自車も停車します。一度停車すると、インテリジェント クルーズコントロールは停車した状態を保持します。(停車した状態を保持しているときは、[RESで発進します] と表示されます)

■ 先行車が発進したとき

- インテリジェント クルーズコントロールで停車状態を保持しているときに先行車が発進したときは、＜RES+スイッチ＞を上または下に押すか、アクセルペダルを踏むと停車状態は解除され、再度インテリジェント クルーズコントロールによる追従走行を開始します。
- 車両停車保持状態のときに、＜RES+スイッチ＞を上または下に押すと、約3秒間は発進待機状態になります。

接近警報

- 車間制御中に先行車の減速度合いが大きい場合や他車の割り込みなどによって、十分な減速ができない状態で先行車に接近したときは、ブザーとアドバンスドドライブアシストディスプレイの表示によって運転者に注意を促します。この場合は、ブレーキペダルを踏んで減速し、適切な車間距離を確保してください。
- 先行車に接近し、車間距離が十分でないと判断されるときはブザーが“ピッ、ピッ、ピッ...”と鳴り、アドバンスドドライブアシストディスプレイの先行車検出表示および接近警報表示が点滅します。
- 短い車間距離でも、次の場合には接近警報が作動しないことがあります。
 - 先行車とほぼ同じ速度で走っているとき
 - 先行車の方が自転車より速いとき（車間距離が次第に離れていくとき）
 - 他車が至近距離に割り込んできたとき

追い越し時加速機能

- 設定車速が70km/h以上で車速・車間制御中、先行車が設定車速以下のとき、方向指示器を右折側に操作すると、車両が加速し先行車を追い越す準備を始めます。
- 運転者がハンドルを操作し、追い越すために車線を変更したときに先行車を検出した場合は、運転者が設定した車速に応じた車間距離を保つように車間制御を行い走行します。先行車を検出しなかった場合は運転者が設定した車速で定速走行します。

- 方向指示器を右折側に操作し、車両が加速しているときに先行車との距離が近づきすぎると加速は停止し、設定してある車間距離に戻ります。
- 次の場合は追い越し時加速機能が解除されます。
 - ブレーキペダルを踏んだとき
 - <CANCEL>スイッチを押したとき

ルート減速支援機能★

ルート減速支援機能は、プロパイロット2.0付車の機能です。このシステムを使用する前に、プロパイロット全体（📍P.222）と標識検知機能（📍P.293）をお読みください。

⚠ 警告

- **ルート減速支援機能の性能には限界があります。**

ルート減速支援機能は、すべての走行状況、交通環境、天候、路面状況で作動するわけではありません。運転者は周囲の状況に応じて自らアクセルペダル、ブレーキペダル、ハンドルを操作し、常に安全運転を心がけてください。

- **ルート減速支援機能は、車両のブレーキにより走行を止める機能ではありません。**

減速が必要なときは必ず運転者が自ら適切にブレーキ操作を行ってください。

- 運転者は走行している道路の制限速度を確認し、設定車速を適切に設定し、安全運転を心がけてください。
- 次のような状況では、ルート減速支援機能が適切に作動しない場合があります。

路面状況や交通環境に応じてアクセルペダル、またはブレーキペダルを踏んで周囲の状況に応じた適切な加速、減速を行ってください。

- NissanConnectインフォテインメントシステムが地図サーバーから地図データを取得できないとき
- NissanConnectインフォテインメントシステムの地図データが最新ではない、または利用できないとき
- NissanConnectインフォテインメントシステムが新しいルートを探しているとき
- NissanConnectインフォテインメントシステムの位置検出が正しく行えないとき
- NissanConnectインフォテインメントシステムの地図にない道路を走行しているとき
- 工事中の道路や車線規制がある道路を走行しているとき
- 車線の分岐・合流のある道路、または交差点付近を走行しているとき

⚠ 警告

- 悪天候のとき（雨、霧、雪、強風など）や、道路状況の悪い場所を走行しているとき

- アクセルペダルを踏み込んでいる場合、ルート減速支援機能を行いません。プロパイロットの車速・車間制御機能の設定や、先行車の検出状態によっては、システムが作動しない場合があります。
- 高速道路や自動車専用道路など限定された道路を走行中にNissanConnectインフォテインメントシステムの地図データを利用して、カーブ・出口などの道路形状に合わせて車速を調節します。
- すべてのカーブまたは出口の速度を常に低下させるとは限らないため、必要に応じて運転者はいつでも適切なブレーキ操作を行ってください。
- 車両がカーブを通過すると、車両は再度設定速度まで加速します。高速道路出口で、運転者はブレーキをかける必要があります。
- ルート減速支援機能が作動しているとき、次のどちらかのアイコンが表示されます。

	カーブ
	出口

■ ルート減速支援機能のON・OFFのしかた

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [⚙] ⇒ [運転支援] ⇒ [インテリジェントクルーズ] ⇒ [ルート減速支援] を選択すると、ルート減速支援 ☆/★：車両型式、オプションなどで異なる装備

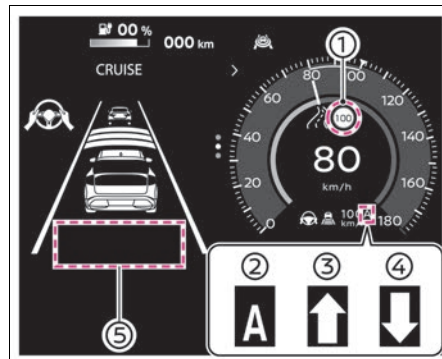
援機能のON・OFFを切り替えることができます。

- ルート減速支援機能のON・OFF設定はEVシステムを停止しても再度設定が変更されるまで、その状態を維持します。

制限速度支援機能★について

制限速度支援機能は、プロパイロット2.0付車の機能です。このシステムを使用する前に、プロパイロット全体（➡P.222）と標識検知機能（➡P.293）をお読みください。

- 標識検知機能により、新しく最高速度標識を検出した場合、新しい速度を自動または、手動で設定車速に反映することができます。次の場合は作動を開始します。
 - 検出した制限速度が30km/h以上のとき
 - アドバンスドドライブアシストディスプレイで制限速度支援機能が「手動」、または「自動」に設定されているとき
- <RES+スイッチ>を上方向に押して、標識検知機能が検知している速度よりも高い速度に設定したあとは、より高い速度の最高速度標識を検出しても最高車速標識が設定車速を超えない場合は反映しません。
- 標識検知機能により新しい最高速度標識を検出すると、最高速度標識検知表示が点灯します。



- ① 検知された新しい最高速度標識
- ② オートモード（自動）の作動状態
- ③ マニュアルモード時、検出した最高速度標識が設定速度より高い
- ④ マニュアルモード時、検出した最高速度標識が設定速度より低い
- ⑤ 制限速度支援ガイダンス

制限速度支援機能★の作動

⚠ 警告

- 次のような場合は、標識検知機能が最高速度標識を検出しても、設定車速に反映されない場合があります。
 - 標識検知機能が適切に作動していないとき
 - システムをOFFに設定しているとき

警告

- NissanConnectインフォテインメントシステムの位置検出が正しく行えないとき
- NissanConnectインフォテインメントシステムの地図にない道路を走行しているとき
- 高速道路、または自動車専用道路の出口に近づいたとき
- 自車の路線と並行する路線があるとき（インターチェンジ、サービスエリア、パーキングエリアなど本線から出る路線）
- 自車の路線と並行する側道の両車線に最高速度標識が表示され、それぞれが異なる制限速度を検出しているとき
- 工事中の道路や車線規制がある道路を走行するとき
- NissanConnectインフォテインメントシステムとフロントカメラにより、ナビゲーションの道路種別と走行している道路の種別が一致しないと判定したとき
- NissanConnectインフォテインメントシステムの地図データが最新ではない、または利用できないとき
- NissanConnectインフォテインメントシステムが地図サーバーから地図データを取得できないとき

オートモード（自動）選択時

- 高速道路や自動車専用道路など限定された道路を走行しているときに、新しい最高速度標識を検出した場合、速度標識検知表示が点灯するとともに「設定車速を変更しました」と制限速度支援ガイダンスが表示され、新しい速度を設定車速に反映します。

マニュアルモード（手動）選択時

- 新しく最高速度標識が検出されると、
「RESで設定車速を変更します」、または「SETで設定車速を変更します」と制限速度支援ガイダンスが表示されます。
- 反映させるには、＜RES±スイッチ＞を上または下方向に押します。
- ＜RES±スイッチ＞を上または下方向に押さない場合、速度標識検知表示（〔↑↓〕）は約10秒後に消灯します。
（表示している矢印とは反対の方向に押すと、速度標識検知表示（〔↑↓〕）はすぐに消灯します）
- 制限速度支援機能は、最高速度標識が検出されていない場合は作動しません。

モード設定のしかた

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定〔⚙〕⇒〔運転支援〕⇒〔インテリジェントクルーズ〕⇒〔制限速度支援〕を選択すると、モードを設定できます。

設定	制限速度
自動	検出速度を自動的に反映
手動	検出速度の反映を選択

設定	制限速度
OFF	機能停止

- 標識検知機能で検出した速度を、プロパイロットの設定車速に反映させるときのオフセット速度を選択します。
— -10km/h～+10km/hまでの範囲内で速度を設定できます。
制限速度支援機能について
（P.235）
- 制限速度支援機能の設定はEVシステムを停止しても再度設定が変更されるまで、その状態を維持します。

車線維持機能（ハンドル支援）について

警告

- 車線中央付近を走行するようにステアリングを制御します。側方の車両が近づいてきても反応しません
- 手放し運転はしない。
プロパイロット2.0★で手を離して走行できるときを除き、必ずハンドルを持ち、安全運転を心がけてください。

車線維持機能（ハンドル支援）は、プロパイロットの機能の一部です。このシステムを使用する前に、システムの操作方法（P.227）やディスプレイの理解（P.229）を含め、プロパイロット全体（P.222）をお読みください。

- 車線維持機能（ハンドル支援）は、マルチセンシングフロントカメラを使用して、

左右のレーンマーカを検出し、車線中央付近を走行するようにステアリングを制御し、運転者のハンドル操作を支援します。

- レーンマーカとは、走行車線の右側もしくは左側に引かれた線のことを示します。車線維持機能（ハンドル支援）は、車速・車間制御機能と組み合わせた場合にのみ利用できます。
- 次の条件を満たすとハンドル支援作動表示が緑色で点灯し、警報音（ブザー）が鳴るとともに作動を開始します。
 - ー 車速・車間制御機能が作動しているとき
 - ー 両側のレーンマーカを検出しているとき
 - ー 車速が約50km/h以上のとき
 - ー 車速が約50km/h以下で、先行車を検出しているとき
 - ー 運転者がハンドルを持っているとき
 - ー 車線の中央付近を走行しているとき
 - ー 方向指示器が作動していないとき
 - ー ワイパーが高速で作動していないとき
 - ー 車線維持機能（ハンドル支援）がONのとき
- カーブまたは強い横風により、ハンドル支援中に走行車線の右側、もしくは左側のレーンマーカに近づいたと判断すると、（ステアリングホイール）ハンドルが振動するとともにインテリジェントLi（車線逸脱防止支援システム）表示がオレンジ色に点滅します。インテリジェントLi（車線逸脱防止支援システム）（➡P.283）

■ 車線維持機能（ハンドル支援）のON・OFFのしかた

- <ハンドル支援スイッチ>を押すごとに車線維持機能（ハンドル支援）のON・OFFを切り替えることができます。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [] ⇒ [運転支援] ⇒ [車線維持支援] ⇒ [ハンドル支援] を選択すると、車線維持機能（ハンドル支援）のON・OFFが切り替えられます。
- 車線維持機能（ハンドル支援）のON・OFF設定はEVシステムを停止しても再度設定が変更されるまで、その状態を維持します。

■ 車線維持機能（ハンドル支援）の解除

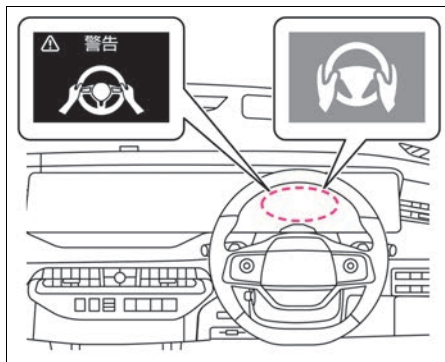
- 次の場合は、音とともにハンドル支援作動表示が灰色になり、車線維持機能（ハンドル支援）が一時待機状態になります。（再度作動条件を満たすと作動を再開します）
 - ー レーンマーカを検出しなくなったとき
 - ー 前方から強い光を受けたとき
 - ー カメラおよびカメラ周辺の温度が高いとき
 - ー 運転者がハンドル操作をしたとき
 - ー 車速が約50km/h以下で、先行車を検知していないとき
- 次の場合は、ハンドル支援作動表示が灰色になり、車線維持機能（ハンドル支援）が一時待機状態になります。（再度作動条件を満たすと作動を再開します）

ー 方向指示器を作動させたとき（車線変更支援作動灯が非表示のとき）

- 次の場合は、音とともにハンドル支援作動表示が消灯し、車線維持機能（ハンドル支援）が解除されます。
 - ー 車速・車間制御機能が解除されたとき
 - ー ワイパーが高速で作動しているとき
 - ー 雨、雪、霧または、カメラ前方のフロントガラスの凍結、汚れなどで、カメラの視界が確保できなくなったとき
 - ー 料金所、出口、合流、交差点、車線数が減少する地点付近になったとき（プロパイロット2.0付車で、3D高精度地図データがある道路を走行しているとき）
- ワイパーの高速作動が不要になったら高速作動を解除し、その後、プロパイロットを再度セット、もしくは<ハンドル支援スイッチ>を押してください。

■ 手放し警告について

運転者がハンドルを持っていない、または操作していない場合、アドバンスドドライブアシストディスプレイに手放し警告が表示されます。



一次警報

(概要及び対処)

- ハンドルを持っていない、またはハンドルを操作していないときに表示します。
- 運転者のハンドル操作を検出すると警告は消灯します。

二次警報

(概要及び対処)

- 表示による警告後、運転者がハンドル操作をしないときに表示します。
 - ー 警報音(ブザー)、表示(赤点滅)、および短時間のブレーキ制御で段階的に警告します。
- 運転者のハンドル操作を検出すると警告は消灯します。

緊急停車

(概要及び対処)

- 警告後、運転者のハンドル操作がない状態が継続した場合、プロパイロット緊急停止支援システム★が作動します。

- ー 緊急警告音が鳴り、[ドライバー異常停車します 操作してください] の警告メッセージが表示され、システム警告灯が赤く点滅します。
- ー 非常点滅表示灯が自動的に点灯し、徐々に減速して走行車線上で完全に停車します。

- プロパイロット緊急停止支援システム★が作動したあとは、[ハンドルを操作してください] の警告メッセージが表示され、警報表示が点滅します。

- 運転者のハンドル操作を検出すると警告は消灯します。

- 運転者は次の操作により、いつでも減速を解除することができます。

- ー <プロパイロットスイッチ>や<ハンドル支援スイッチ>、<非常点滅表示灯スイッチ>を操作する
- ー アクセルペダルを2回踏み込む
- ー ブレーキペダルを2回踏み込む
- ー ステアリングホイール(ハンドル)を左右に操作する

- 車両を緊急停車させたあと、SOSコールサービスのオペレーターに接続し、オペレーターから公共機関(警察・消防・医療機関)に救援要請を行います。(SOSコールのシステムを利用するには NissanConnect サービスの契約が必要です。)

➡ 先進事故自動通報システム (P.355)

知識

- 次のような状況ではハンドルを持っていることを正しく検出できず、ハンドルを持っていても警告が表示されることがあります。
 - ー 運転者が手袋を着用しているとき
 - ー ハンドルにカバーが取り付けられているとき
 - ー 革の繋ぎ目やスポーク部などを握っているとき
 - ー ハンドルに手を軽く添えて運転をしているとき

車線維持機能(ハンドル支援)(プロパイロット2.0付車)

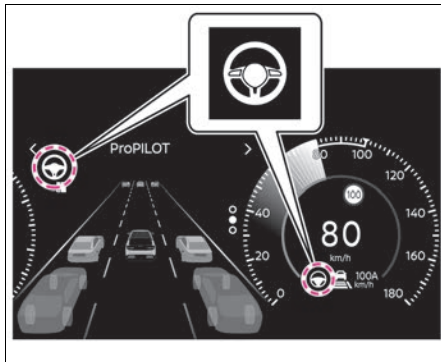
3D高精度地図データのある高速道路、または自動車専用道路を走行しているとき、プロパイロット2.0の表示が青色になり、運転者が常に前方に注意し、道路・交通・自車の状況に応じ、ただちにハンドルを確実に操作できる状態にある限りにおいて、ハンドルから手を離すことが可能となります。

ただし、次の場合は青色で点灯しません。

- 標識検知機能が検出している速度を超えて走行しているとき
- GPS信号を受信していないとき
- 対向車線と分離されていない道路を走行するとき
- ワイパーが高速で作動しているとき
- 運転者がハンドルを持っていない、または操作していないと判断しているとき

運転支援機能

- 運転者が前方を向いていないとき
- アクセルペダルを踏んで加速しているとき
- 接近警報が作動しているとき
- 車線逸脱警報が作動しているとき
- ルート減速機能が作動しているとき
- 近くに急カーブ、料金所、出口、合流、交差点、車線数が減少する地点があるとき
- トンネル内を走行しているとき
- 車線幅の狭い道路を走行しているとき
- 工事区など交通規制のある区間を検出したとき



アドバイス

- アドバンスドドライブアシストディスプレイに「一部のハンドル支援機能が作動できません」と表示された場合、ハンドル支援作動表示、プロパイロット2.0の表示は青色になります。

プロパイロット2.0警告メッセージ (P.425)

知識

- 運転者のハンドル操作はいつでも優先されます。

車線維持機能(ハンドル支援)の解除(プロパイロット2.0付車)

警告

- 警告画面が表示されたときは、すみやかにハンドルを操作してください。

次の場合は、警報音(ブザー)とともにプロパイロット2.0の表示が青色から緑色になり、「[ハンドルを持ってください]」と表示されます。

- 走行している道路が高速道路、または自動車専用道路ではなくなったとき
- 3D高精度地図データがない区間に近づいたとき
- 標識検知機能により検出された速度を超えたとき
- 急カーブ、料金所、出口、合流、交差点、車線数が減少する地点に近づいたとき
- 料金所のない高速道路、または自動車専用道路の出口に近づいたとき
- 対面通行区間に近づいたとき
- トンネル内を走行しているとき
- GPS信号が受信できなくなったとき
- 分合流が続く区間を走行しているとき
- 車線幅の狭い道路を走行しているとき

- 工事区間など交通規制のある区間を検出したとき
 - 運転者を検出できなくなったとき
 - 運転者が前方を向いていない状態が継続したとき
 - 接近警報が作動したとき
- 次の場合は、警報音(ブザー)とともにプロパイロット2.0の表示が青色から緑色になり、ハンドル操作を要求する画面(赤)が表示されます。

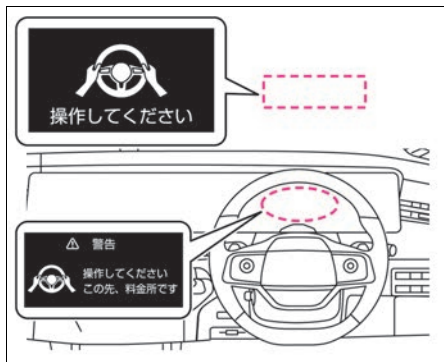
- 3D高精度地図データと実際の道路が異なっていると判断したとき
- 車線逸脱警報が作動したとき
- 左右いずれかのレーンマーカーに接近したとき
- 車線幅が通常よりも広い区間に近づいたとき

ハンドルを持たずにアクセルペダルを踏むと、プロパイロット2.0の表示が青色から緑色になります。

アクセルを踏んで加速するときは、ハンドルを持ってください。

料金所、合流、交差点などに近づいたとき

- プロパイロット2.0の表示が青色で走行しているとき、料金所、合流、交差点などに近づくとプロパイロット2.0の表示が緑色になります。
- プロパイロット2.0の表示が緑色になったあと、さらに近づくと、警報音(ブザー)とともにハンドル操作を要求する画面(赤)が表示されます。
- 運転者がハンドルを操作すると、車線維持機能(ハンドル支援)は解除されます。

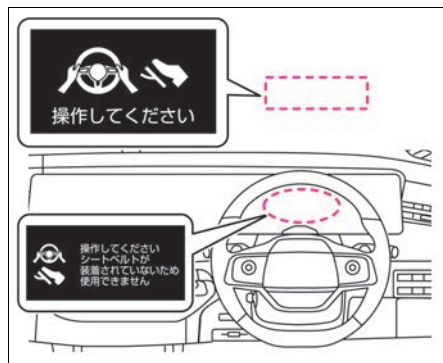


アドバイス

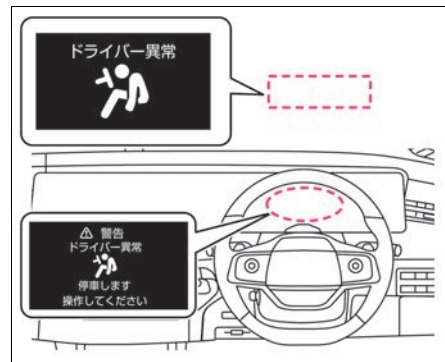
- 運転者のハンドル操作が検出されない場合、緊急警報音（ブザー）が鳴るとともにヘッドアップディスプレイ★、およびアドバンスドドライブアシストディスプレイに「停車します 操作してください」と表示され、自車を減速、緊急停車させます。
- 車両を緊急停車させたあと、SOSコールサービスのオペレーターに接続し、オペレーターから公共機関（警察・消防・医療機関）に救援要請を行います。
- 緊急警報音（ブザー）が鳴り、自車が減速したとき、車速が約65km/hを下回ると非常点滅表示灯が自動で作動します。ハンドル操作をすると、非常点滅表示灯は自動で消灯します。

プロパイロット2.0の表示が青色の場合に、システムが解除されたとき

- プロパイロット2.0が解除されると警報音（ブザー）が鳴るとともにハンドル操作を要求する警告画面（赤）が表示されます。



- 運転者がハンドルを操作すると、車速・車間制御機能、車線維持機能（ハンドル支援）は解除されます。



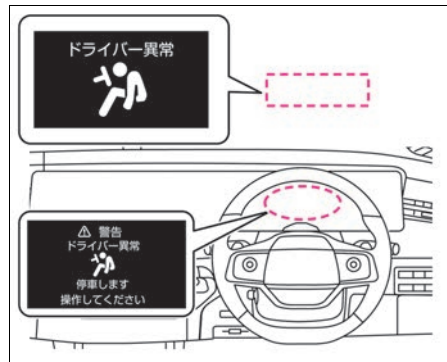
アドバイス

- 運転者のハンドル操作が検出されない場合、緊急警報音（ブザー）が鳴るとともにヘッドアップディスプレイ★、およびアドバンスドドライブアシストディスプレイに「停車します 操作してください」と表示され、自車を減速、緊急停車させます。
- 車両を緊急停車させたあと、SOSコールサービスのオペレーターに接続し、オペレーターから公共機関（警察・消防・医療機関）に救援要請を行います。
- 緊急警報音（ブザー）が鳴り、自車が減速したとき、車速が約65km/hを下回ると非常点滅表示灯が自動で作動します。ハンドル操作をすると、非常点滅表示灯は自動で消灯します。

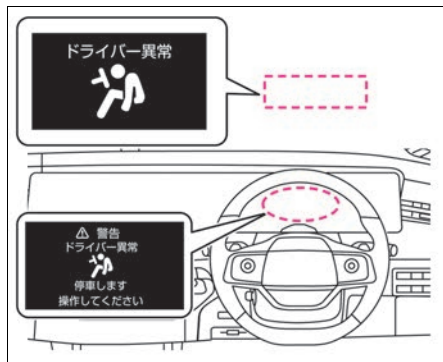
運転支援機能

プロパイロット2.0の表示が青色の場合に、車線維持機能（ハンドル支援）が解除されたとき

- 車線維持機能（ハンドル支援）が解除されると警報音（ブザー）が鳴るとともにハンドル操作を要求する警告画面（赤）が表示されます。



- 運転者がハンドルを操作すると、車線維持機能（ハンドル支援）は解除されます。

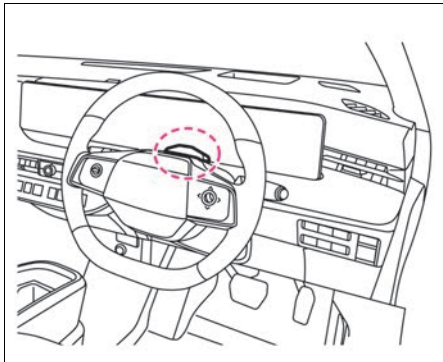


アドバイス

- 運転者のハンドル操作が検出されない場合、緊急警報音（ブザー）が鳴るとともにヘッドアップディスプレイ★、およびアドバンスドドライブアシストディスプレイに「停車します 操作してください」と表示され、自車を減速、緊急停車させます。
- 車両を緊急停車させたあと、SOSコールサービスのオペレーターに接続し、オペレーターから公共機関（警察・消防・医療機関）に救援要請を行います。
- 緊急警報音（ブザー）が鳴り、自車が減速したとき、車速が約65km/hを下回ると非常点滅表示灯が自動で作動します。ハンドル操作をすると、非常点滅表示灯は自動で消灯します。

運転者が前方の状況に注意していないと判断したとき（プロパイロット2.0付車）

警告

- 運転者は常に前方に注意し、運転してください。
 - ドライバーモニターカメラで運転者の顔の向きや眼の開閉状態をモニターしています。
- 
- プロパイロット2.0の表示が青色のとき、運転者が前方の状況に注意していないと判断した場合、前方の状況に注意するよう警報音（ブザー）、表示により警告をします。

ヘッドアップディスプレイ



アドバンスドドライブアシストディスプレイ



- 前方の状況に注意していない状態が継続した場合、運転者にハンドルを操作するよう警報音（ブザー）、表示および短時間のブレーキ制御により段階的に警告します。
- 警告後、運転者のハンドル操作が検出されない場合、緊急警報音（ブザー）が鳴るとともにヘッドアップディスプレイ★、およびアドバンスドドライブアシストディスプレイに「停車します 操作してください」と表示され、車両を減速、緊急停車させます。
- 車両を緊急停車させたあと、SOSコールサービスのオペレーターに接続し、オペレーターから公共機関（警察・消防・医療機関）に救援要請を行います。
- 警告表示の内容については、プロパイロット警告メッセージ（P.425）をお読みください。

アドバイス

- サングラス、マスク、眼帯、帽子、マフラーなどを着用している場合など目、鼻、口や顔の輪郭が隠れている場合、ドライバーモニターカメラは運転者を検知できないことがあります。
- 緊急警報音（ブザー）が鳴り、車両が減速したとき、車速が約65km/hを下回ると非常点滅表示灯が自動で作動します。ハンドル操作をすると、非常点滅表示灯は自動で消灯します。

運転者がハンドルを持っていないと判断したとき

警告

- プロパイロット2.0の表示が緑色のときは、必ずハンドルを持って運転してください。
- 車線維持機能（ハンドル支援）が作動しているとき、運転者がハンドルを持っているまたは操作しているかをモニターしています。
- プロパイロット2.0の表示が緑色の場合に、運転者がハンドルを持っていない、または操作していないと判断すると、運転者にハンドルを操作するよう表示により警告をします。

ヘッドアップディスプレイ



アドバンスドドライブアシストディスプレイ



- 運転者がハンドルを操作しない場合には警報音（ブザー）、表示および短時間のブレーキ制御により段階的に警告します。
- 警告後、運転者のハンドル操作がない状態が継続すると、緊急警報音（ブザー）が鳴るとともにヘッドアップディスプレイ★、およびアドバンスドドライブアシストディスプレイに「停車します 操作してください」と表示され、車両を減速、緊急停車させます。
- 車両を緊急停車させたあと、SOSコールサービスのオペレーターに接続し、オペレーターから公共機関（警察・消防・医療機関）に救援要請を行います。
- 警告表示の内容については、プロパイロット警告メッセージ（P.425）をお読みください。

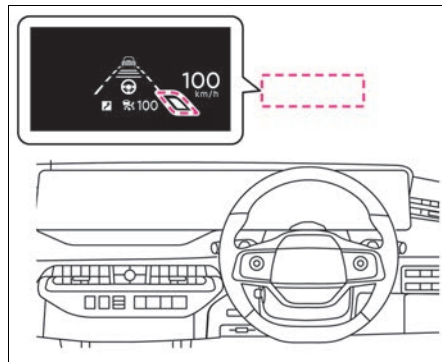
知識

- 次のような状況ではハンドルを持っていることを正しく検出できず、ハンドルを持っていても警告が表示されることがあります。
 - ー 運転者が手袋を着用しているとき
 - ー ハンドルにカバーが取り付けられているとき
 - ー 革の繋ぎ目やスポーク部などを握っているとき
- 緊急警報音（ブザー）が鳴り、車両が減速したとき、車速が約65km/hを下回ると非常点滅表示灯が自動で作動します。ハンドル操作をすると、非常点滅表示灯は自動で消灯します。

側方注意検知

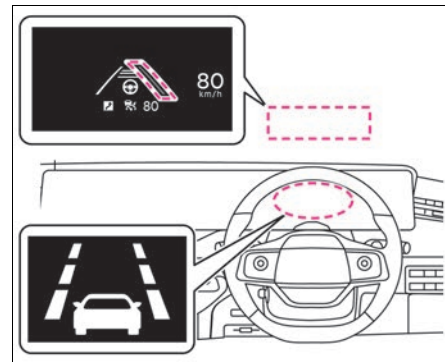
警告

- 側方の車両が近づいてきても反応しません。
合流部、カーブを走行するとき、また大型車両が隣の車線を走行しているときは特に周辺車両に注意し、必要に応じてハンドル操作をしてください。
- プロパイロット2.0の表示が青色のとき、自車の側方に車両がいる場合、表示により注意喚起します。



車線逸脱警報

- 車線維持機能（ハンドル支援）が作動しているとき、走行車線の右側もしくは左側のレーンマーカーに近づいたと判断すると、警報音（ブザー）が鳴るとともにアドバンスドドライブアシストディスプレイのLDW（車線逸脱警報）／インテリジェントLi（車線逸脱防止支援システム）表示と車線検出表示がオレンジ色に点滅し、運転者に注意を促します。
- プロパイロット2.0の表示が青色のときに、車線逸脱警報が作動した場合はさらに運転者にハンドルを操作するよう表示で警告します。



車線維持機能（ハンドル支援）に異常があるとき

- 車線維持機能（ハンドル支援）に異常があると、警報音（ブザー）が鳴るとともにハンドル支援警告灯（オレンジ）が点灯し、車線維持機能（ハンドル支援）は自動的に停止します。
 - プロパイロット2.0特有機能に異常があると、アドバンスドドライブアシストディスプレイに「一部のハンドル支援機能が作動できません（システム故障）」と表示されます。
この場合は、表示が青色にならず、ハンドルから手を離すことが可能な状態になりません。
- ➡ プロパイロット2.0警告メッセージ
(P.425)



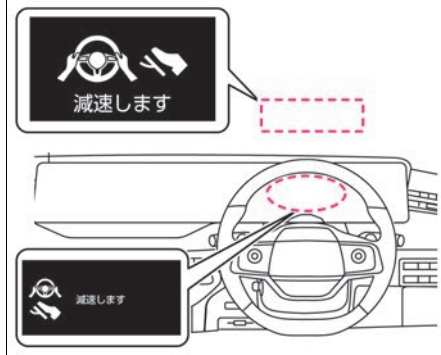
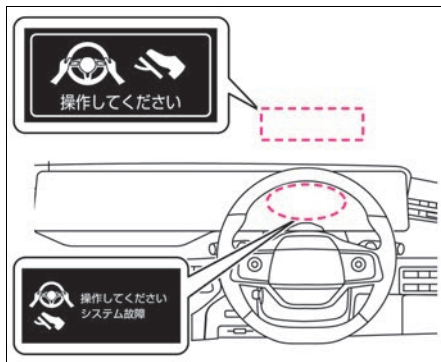
アドバイス

- 異常により警告灯が点灯したときや、プロパイロット2.0特有機能の異常によりメッセージが表示されたときは、安全な場所に停車し、EVシステムを一旦停止して再始動してください。

上記の操作をしても、警告灯が点灯し続ける場合、通常走行には支障はありませんが、日産販売会で点検を受けてください。

プロパイロット2.0の表示が青色の場合に、システムに異常を検出したとき

- プロパイロット2.0に異常があると緊急警報音（ブザー）が鳴るとともにヘッドアップディスプレイ★、およびアドバンスドドライブアシストディスプレイに「操作してください」「減速します」と表示され、自車を減速、緊急停車させます。



- 車両を緊急停車させたあと、SOSコールサービスのオペレーターに接続し、オペレーターから公共機関（警察・消防・医療機関）に救援要請を行います。

知識

- 緊急警報音（ブザー）が鳴り自車が減速したとき、車速が約65km/hを下回ると非常点滅表示灯が自動で作動します。ハンドル操作をすると、非常点滅表示灯は自動で消灯します。

車線変更支援機能について（プロパイロット2.0付車）

警告

- 運転者は道路、交通、自車の状況に応じて、安全に車線変更を行う責任があります。

車線変更をするときは、必ず周囲の状況を確認し、安全に目的の車線に移動してください。

- 車線変更支援機能には、衝突を回避するためにステアリング制御する機能はありません。

車線変更をするときは、必ずハンドルを持ち、安全に目的の車線に移動してください。

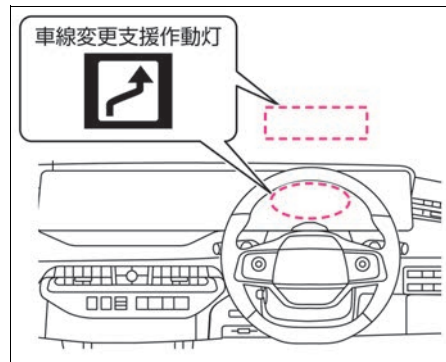
車線変更支援作動灯 [点灯] が青色で点灯しているとき、運転者がハンドルを持ち目的の車線の方向へ方向指示器を作動させると、車線変更の支援を開始します。

次の条件を満たすとき、車線変更支援作動灯 [点灯] が青色で点灯します。

- プロパイロット2.0の表示が青色のとき
- 車速が約60km/h以上で走行しているとき

運転支援機能

- 2車線以上の道路を走行しているとき
- 左右いずれかあるいは両方のレーンマーカーが白の破線であるとき
- 直線または緩やかなカーブを走行しているとき
- 制限速度が70km/h以上の道路を走行しているとき



知識

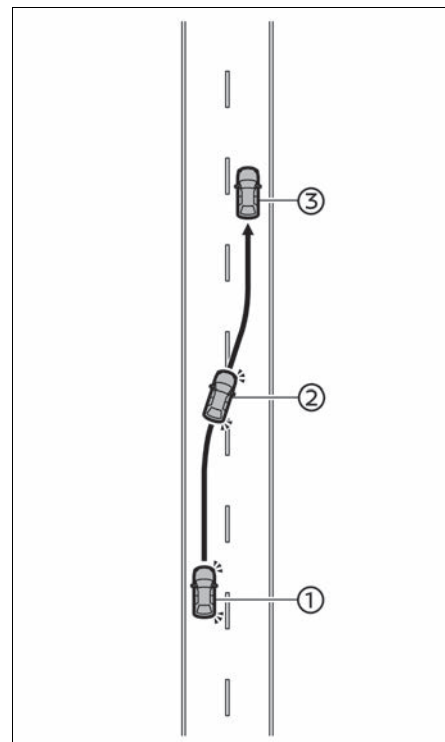
- 新しい分岐や出口などができ、3D高精度地図データがまだ整備されていない区間を走行する場合は、「車線変更支援 停止（高精度地図メンテナンス区間）」と表示され、車線変更支援機能は作動しません。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで次の設定がOFFの場合、車線変更支援作動灯 [車線変更支援作動灯] が青色で点灯していても、方向指示器の操作による車線変更支援機能は作動しません。

設定 [設定] ⇒ [運転支援] ⇒ [車線変更支援] ⇒ [方向指示器スイッチ連動]

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで車線変更支援のいずれかの設定がONのとき、車線変更支援作動灯 [車線変更支援作動灯] が青色で点灯します。

設定 [設定] ⇒ [運転支援] ⇒ [車線変更支援] ⇒ [方向指示器スイッチ連動] / [追い越し支援]

車線変更支援機能の作動（プロパイロット2.0付車）



- ① 目視により目的の車線の安全を確認し、ハンドルを持って方向指示器を操作し、目的の車線の方向指示器を作動させます。

運転支援機能

- ② 車線変更支援作動表示が緑色で点滅し、その後ステアリング制御により目的の車線への移動を支援します。
 - ③ 目的の車線へ移動が完了すると、方向指示表示灯は自動で消灯し、再度車線維持機能（ハンドル支援）が作動します。
- 運転者のハンドル操作はいつでも優先されます。

知識

- 車線変更の支援を開始すると、ヘッドアップディスプレイ★の車線変更支援作動表示が緑色で点滅します。



車線変更支援機能の中止（プロパイロット2.0付車）

次のいずれかの操作で、車線変更の支援を中止します。

（車線変更支援作動表示が消灯します）

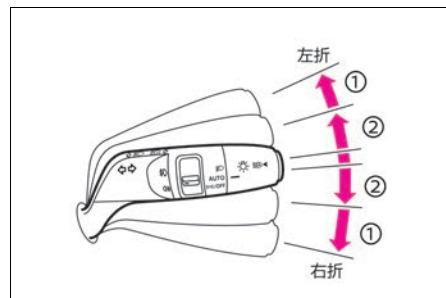
- 方向指示器を目的の方向とは反対方向の位置に操作したとき
- ハンドル操作をしたとき

次のような状況では、警報音（ブザー）とともに車線変更支援作動表示が消灯し、車線変更の支援を中止します。

- 目的の車線に車両を検出したとき
- レーンマーカーが検出できなくなったとき
- 車速が約60km/hを下回ったとき
- 運転者がハンドルを持っていないことを検出したとき
- 車速・車間制御機能が解除されたとき（P.232）
- 両車線のレーンマーカーが白の破線でないとき
- 目的の車線の方向のレーンマーカー付近に遮蔽物を発見したとき

知識

- 車線変更の支援を開始した車線内で中止したときは、開始した車線の中央付近に戻る方向にステアリングを制御します。
- 方向指示器の①の位置の操作で車線変更の支援を開始したときは、中止しても方向指示表示灯は消灯しません。
②の位置の操作で開始し、方向指示器が3回以上点灯したあとで作動が中止したときは、作動の中止とともに方向指示表示灯は消灯します。



運転者がハンドルを持っていないと判断したとき（プロパイロット2.0付車）

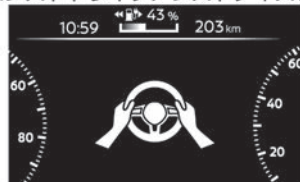
警告

- 車線変更を行うときは、必ずハンドルを持って運転してください。
- 運転者がハンドルを持っている、または操作しているかをモニターしています。
- 車線変更の支援をしているとき、運転者がハンドルを持っていない、または操作していないと判断すると、運転者にハンドルを操作するよう表示により警告をします。

ヘッドアップディスプレイ



アドバンスドドライブアシストディスプレイ



- 表示による警告後、運転者がハンドルを操作しない場合には警報音（ブザー）、表示および短時間のブレーキ制御により段階的に警告します。
- 運転者のハンドル操作がない状態が継続すると、緊急警報音（ブザー）が鳴るとともにヘッドアップディスプレイ★、およびアドバンスドドライブアシストディスプレイに「停車します 操作してください」と表示され、自車を減速、緊急停車させます。

🚗 アドバイス

- 次のような状況ではハンドルを持っていることを正しく検出できず、ハンドルを持っていても警告が表示されることがあります。
 - ー 運転者が手袋を着用しているとき
 - ー ハンドルにカバーが取り付けられているとき

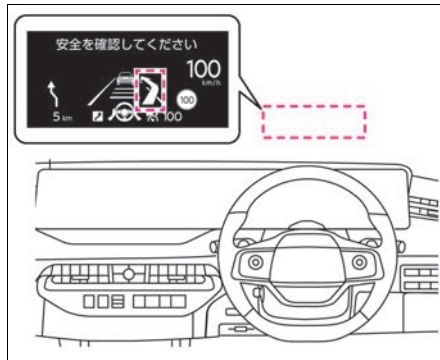
ー 革の繋ぎ目やスポーク部などを握っているとき

追い越し支援機能について（プロパイロット2.0付車）

⚠️ 警告

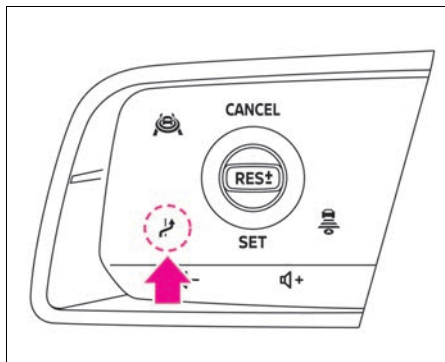
- 運転者は道路、交通、自車の状況に応じて、安全に車線変更を行う責任があります。
車線変更をするときは、必ず周囲の状況を確認し、安全に目的の車線に移動してください。
- 追い越し支援機能には、衝突を回避するためにステアリング制御する機能はありません。
車線変更をするときは必ずハンドルを持ち、安全に目的の車線に移動してください。

設定車速よりも遅い車両を前方に検出すると、表示により運転者に追い越しを提案します。運転者が＜車線変更支援スイッチ＞を押した場合、ステアリングを制御し追い越し操作を支援します。



次の条件を満たすと、運転者に追い越しを提案します。

- 車線変更支援作動灯 [🚦] が青色のとき
- 設定車速よりも遅い車両を前方に検出したとき
- 右側の車線に車両がないとき
運転者がハンドルを持ち＜車線変更支援スイッチ＞を押すと、ステアリングを制御し右側の車線への移動を支援します。



次の条件を満たすと、運転者に左側の車線に移動を提案します。

- 車線変更支援作動灯 [] が青色のとき

- 左側の車線に車両がないとき

運転者がハンドルを持ち<車線変更支援スイッチ>を押すと、追い越し支援機能により左側への車線変更支援を開始します。

知識

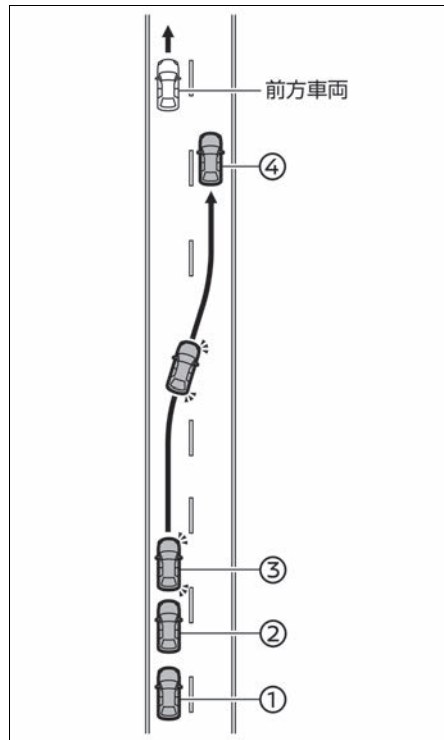
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで次の設定がOFFの場合、追い越し支援機能は車線変更の提案をしません。

設定 [] ⇒ [運転支援] ⇒ [車線変更支援] ⇒ [追い越し支援]

- 追い越し支援機能は周辺に車両がない場合、左側の車線を走行するよう提案します。

追い越し支援機能の作動（プロパイロット2.0付車）

前方に遅い車両を検出したとき



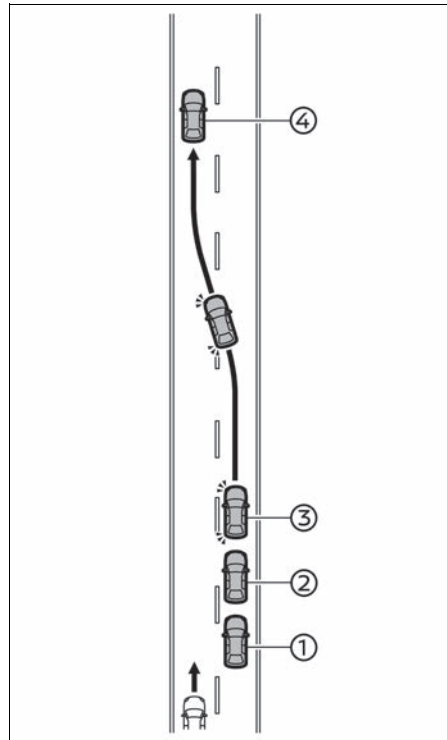
① 前方に遅い車両を検出すると、ヘッドアップディスプレイ★に車線変更支援作動表示が白色で点灯し、

[] で右に車線変更します」と表示されます。

- ② 目視により右側の車線の安全を確認し、ハンドルを持って<車線変更支援スイッチ>を押します。
 - ③ 車線変更支援作動表示が緑色で点滅するとともに方向指示器が作動し、その後ステアリング制御により右側の車線への移動を支援します。
 - ④ 右側の車線へ移動が完了すると方向指示表示灯は消灯し、再度車線維持機能（ハンドル支援）が作動します。
- 運転者のハンドル操作はいつでも優先されます。

運転支援機能

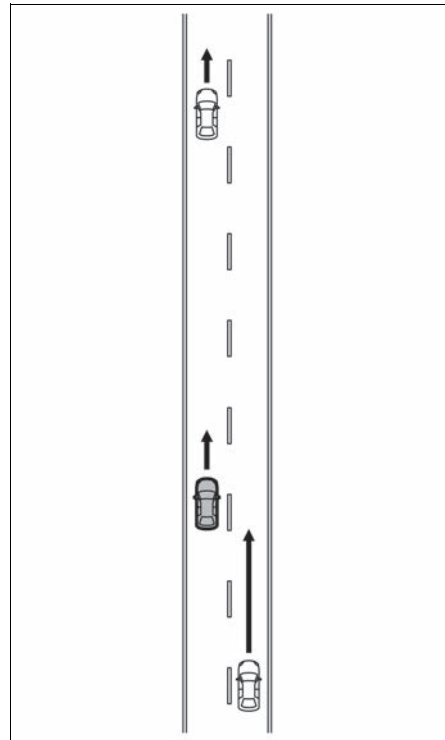
追い越し支援機能により、遅い車両を追い抜いたとき



- ① 左側に車両がないことを検出すると、ヘッドアップディスプレイ★に車線変更支援作動表示が白色で点灯し、「で左に車線変更します」と表示されます。

- ② 目視により左側の車線の安全を確認し、ハンドルを持って＜車線変更支援スイッチ＞を押します。
- ③ 車線変更支援作動表示が緑色で点滅するとともに方向指示器が作動し、その後ステアリング制御により左側の車線への移動を支援します。
- ④ 左側の車線へ移動が完了すると方向指示表示灯は消灯し、再度車線維持機能（ハンドル支援）が作動します。
- 運転者のハンドル操作はいつでも優先されます。

目的の車線に車両を検出している場合に、＜車線変更支援スイッチ＞を押したとき



- 目的の車線に車両を検出している場合、＜車線変更支援スイッチ＞を押すと、車線変更支援作動表示が白色でアニメーション表示され、最大約10秒間、目的の車線の車線変更スペースの検出を行います。

運転支援機能

- 目的の車線に車線変更のスペースを検出すると、車線変更支援作動表示が緑色で点滅するとともに方向指示器が作動し、その後ステアリング制御により目的の車線への移動を支援します。
- 運転者のハンドル操作はいつでも優先されます。

知識

- 目的の車線に車両を検出しているときに<車線変更支援スイッチ>を押すと、車線変更支援作動表示が白色でアニメーション表示されます。



- <車線変更支援スイッチ>を押したあと、約10秒以内に車線変更スペースが検出できなかった場合、車線変更の支援を中止します。

追い越し支援機能の中止（プロパイロット2.0 付車）

次のいずれかの操作で、追い越し支援機能による車線変更の支援を中止します。

- <車線変更支援スイッチ>を押したとき（長押し）

- 方向指示器を目的の方向とは反対方向の位置に操作したとき

- ハンドル操作をしたとき

追い越し支援機能が中止されると、車線変更支援作動表示が消灯します。

次のような状況では、警報音（ブザー）とともに車線変更支援作動灯 [図] が消灯し、追い越し支援機能による車線変更の支援を中止します。

- <車線変更支援スイッチ>を押したあと、約10秒以内に車線変更できるスペースを検出できなかったとき
- 方向指示器が作動したあと、目的の車線に車両を検出したとき
- レーンマーカーが検出できなくなったとき
- 車速が約60km/hを下回ったとき
- 運転者がハンドルを持っていないことを検出したとき
- 車速・車間制御機能が解除されたとき（P.232）
- 追い越しをする対象の車が加速あるいは車線変更したとき
- 方向指示器が作動したあと、目的の車線の方向のレーンマーカー付近に遮蔽物を発見したとき

知識

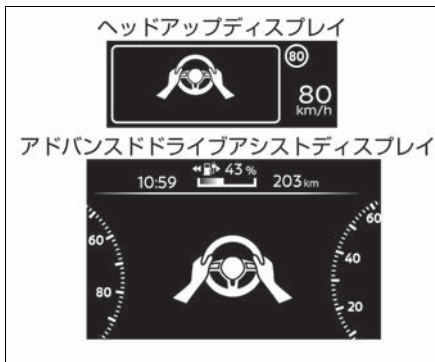
- 車線変更の支援を開始した車線内で中止したときは、開始した車線の中央付近に戻る方向にステアリングを制御します。

- 追い越し支援機能による車線変更の支援が中止されたとき、方向指示表示灯は自動で消灯します。

運転者がハンドルを持っていないと判断したとき（プロパイロット2.0 付車）

警告

- 車線変更を行うときは、必ずハンドルを持って運転してください。



- 運転者がハンドルを持っている、または操作しているかをモニターしています。
- 車線変更の支援をしているとき、運転者がハンドルを持っていない、または操作していないと判断すると、運転者にハンドルを操作するよう表示により警告をします。
- 表示による警告後、運転者がハンドルを操作しない場合には警報音（ブザー）、表

運転支援機能

示および短時間のブレーキ制御により段階的に警告します。

- 運転者のハンドル操作がない状態が継続すると、緊急警報音（ブザー）が鳴るとともにヘッドアップディスプレイ★、およびアドバンスドドライブアシストディスプレイに「停車します 操作してください」と表示され、自車を減速、緊急停車させます。

アドバイス

- 次のような状況ではハンドルを持っていることを正しく検出できず、ハンドルを持っていても警告が表示されることがあります。
 - 運転者が手袋を着用しているとき
 - ハンドルにカバーが取り付けられているとき
 - 革の繋ぎ目やスポーク部などを握っているとき

車線変更支援機能に異常があるとき (プロパイロット2.0付車)

- 車線変更支援機能に異常があると、アドバンスドドライブアシストディスプレイに「一部のハンドル支援機能が作動できません（システム故障）」と表示されます。
- ➡ プロパイロット2.0警告メッセージ (P.425)

アドバイス

- 車線維持機能（ハンドル支援）が作動していないときは、車線維持機能（ハンドル支援）の異常によるメッセージは表示されません。
- 異常によりメッセージが表示されたときは、安全な場所に停車し、EVシステムを一旦停止して再始動したあとでプロパイロット2.0の作動を開始してください。

上記の操作をしても、メッセージが表示されるときは、通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

3D高精度地図データについて (プロパイロット2.0付車)

プロパイロット2.0は3D高精度地図データを使用しており、利用するためには別途ご契約が必要です。契約内容や契約のしかた、契約の解除のしかた、3D高精度地図データの整備状況については日産販売会社にお問い合わせください。

ご契約がされている場合、EVシステムを始動すると3D高精度地図データの新しいデータがあれば自動で更新が行われます。ご契約をしていない、または解除した場合、3D高精度地図データを利用している機能が制限され次の状態になります。

- 車線維持支援機能が作動しているとき、プロパイロット2.0の表示が青色にならず、ハンドルから手を離すことが可能な状態になりません。

- 車線変更支援機能が作動しません。
- 追い越し支援機能が作動しません。

知識

- 3D高精度地図データを利用するための契約がされていない場合にプロパイロット2.0のシステムを使用すると、「一部のハンドル支援機能が制限されています（高精度地図ライセンス切れ）」と表示されます。

車両データの記録・蓄積について (プロパイロット2.0付車)

プロパイロット2.0は次の車両データを車両内のコントローラー、およびデータ記録用のサーバーに記録・蓄積する機能を備えています。

- アクセルペダル、ブレーキペダル、ハンドルなどの操作状況
- 運転者の顔の向き、眼の開閉状態などの検知状況
- プロパイロット2.0の作動状況
- 先行車や周囲車両、レーンマーカー、道路構造の情報
- 車速、GPSなどの車両情報
- カメラの画像情報（SRSEエアバッグ、インテリジェントエマージェンシーブレーキ作動時）

知識

- 会話などの音声やドライバーモニターカメラの画像情報は記録しません。

データの扱いについて

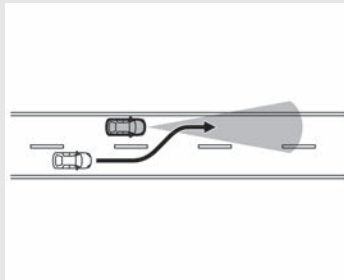
- 日産自動車および日産自動車が委託した第三者は、記録・蓄積されたデータを日産自動車の車両の向上を目的として、取得・利用することがあります。
 なお、日産自動車および日産自動車が委託した第三者は、取得したデータを次の場合を除き、第三者へ開示・提供することはありません。
 - － 車両の使用者の同意がある場合
 - － 裁判所命令など、法的強制力のある要請に基づく場合
 - － 統計的な処理を行うなど、使用者や車両が特定できないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

プロパイロット2.0に関する注意事項

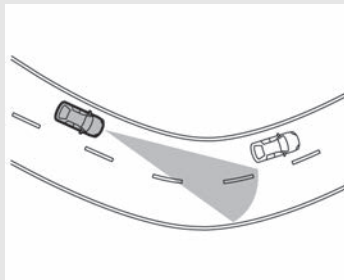
⚠ 警告

- プロパイロット2.0は次のような障害物に反応しません。
 - － 歩行者、動物など
 - － 落下物
 - － 工事などで設置されるパイロンなど
- 次のような状況では先行車の検出が遅れる、または検出ができないことがあります。運転者は常に前方の状況に注意し、必要に応じてブレーキやハンドルを操作してください。

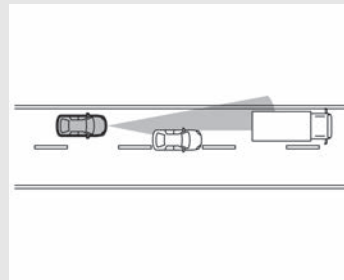
－ 前方に急な割り込みがあったとき



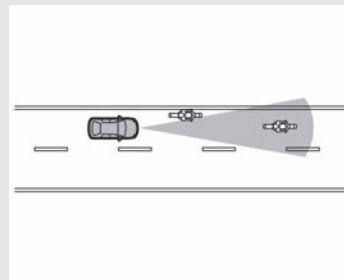
－ 見通しの悪いカーブを走行しているとき



－ 前方の車両が車線変更したあとで、さらに前方に停車中の車両や自車速よりも極端に遅い車両がいたとき



－ 前方に車線の端を走行する二輪車がいるとき



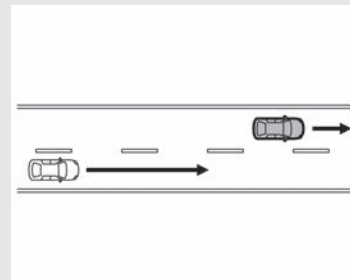
- － フロントレーダー部に雪、氷、泥などの付着物があるとき
- － 先行車や他車線の車両が路上の水や雪などを巻き上げて走行しているとき
- － 急な上り坂、下り坂が繰り返される道を走行しているとき

⚠ 警告

- 後席やラゲッジルームに極端に重い荷物を積んだとき
- カーブを走行しているときや車線変更を行っているときなど、道路形状や自車の状況によっては、隣の車線の車両や周辺のものを検出して減速したり、警報が作動したりする場合があります。
- 高速道路などで、インターチェンジ、サービスエリア、パーキングエリアなどに進入する（本線から出る）とき本線上で車速・車間制御機能により設定車速よりも遅い車速で走行する先行車に追従走行している場合には、自車または先行車の車線変更などで、自車線上に先行車を検出しなくなるにより設定車速まで自動的に加速するため、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 次のような状況では正しくレーンマーカの検出ができず車線維持機能（ハンドル支援）、車線変更支援機能が使用できないことがあります。
 - レーンマーカが消えかかっている、汚れているなど不明瞭なとき
 - レーンマーカが路面の色と似ており見えにくいとき
 - レーンマーカが多重に描かれているとき
 - 消されたレーンマーカが、まだ薄く残っているとき

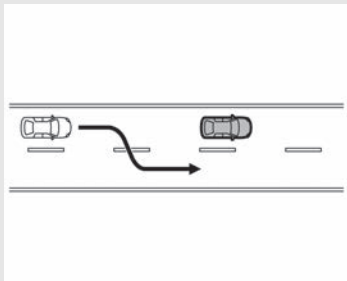
- 工事などによる車線規制や仮設のレーンマーカがあるとき
- 料金所や交差点手前などでレーンマーカが大きく変化しているとき
- 車線幅が極端に狭いときや広いとき、または変化しているとき
- 停車禁止部分、または立ち入り禁止部分がある道を走行しているとき
- 出口路、分岐路など車線数が増えるとき
- 濡れているまたは水たまりのある路面を走行しているとき
- 道路構造物、街路樹、建物などの影が差している路面を走行しているとき
- 悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）で視界が悪いとき
- 先行車や他車線の車両が路上の水や雪などを巻き上げて走行しているとき
- カメラ前方のフロントガラスに汚れ、油膜、水滴、氷、雪などが付着しているとき
- カメラ前方のフロントガラスがくもっているとき
- 前方から強い光（太陽光や対向車のハイビームなど）を受けているとき

- 夜間やトンネル内などでヘッドランプを点灯していない、あるいはヘッドランプのレンズが極端に汚れているとき
- トンネルの出入り口や日陰など急に明るさの変化が起こったとき
- 急な上り坂、下り坂が繰り返される道を走行しているとき
- 後席やラゲッジルームに極端に重い荷物を積んでいるとき
- 次のような状況では隣の車線の車両の検出が遅れる、または検出ができないことがあります。運転者は常に周囲の状況に注意し、必要に応じてハンドルを操作してください。
 - 背の低い車両や、オートバイなどの幅の狭い車両が走行しているとき
 - 後方から速い速度で接近してくる車両が走行しているとき



⚠ 警告

- 後方から近づいてくる車両が車線変更などにより隣の車線に移動したとき



- サイドレーダー部に雪、氷、泥などの付着物があるとき
- 自車や周囲の車両が路上の水や雪などを巻き上げて走行しているとき
- 放送局・レーダー搭載車両など周辺の電波源により影響を受けているとき
- 急な上り坂、下り坂が繰り返される道を走行しているとき
- 後席やラゲッジルームに極端に重い荷物を積んだとき

⚠ 注意

- 次のような場合、ドライバーモニターシステムが運転者を適切に検出できないことがあります。

- 車室内へ太陽光が入り込み、ドライバーステアリングカメラまたは、運転者が照らされているとき
- 太陽光の入り込みと影になることが繰り返すとき
- サングラス、マスク、眼帯、帽子、マフラーなどを着用している場合など目、鼻、口や顔の輪郭が隠れているとき
- 顔とシステムとの間に遮る物があるとき

- ドライバーステアリングカメラに触れ、汚れや指紋が付着したとき
- 助手席や後席シートの方が運転席付近に身を乗り出したときなど、運転席付近に2つ以上の顔が存在するとき
- 前方からの太陽光の眩しさなどで目を細めたり、運転姿勢をくずしていたりしているとき

● フロントレーダー、サイドレーダーの汚れを自動的に判定する機能を備えておりますが万全ではありません。

状況によってはレーダーが汚れていても判定できない場合があります。また雪、氷などが付着したときも判定できない場合があります。

このような状況では適切な作動ができなくなるおそれがあるため、常に周囲に注意して走行してください。またフロントレーダー、サイドレーダーおよびその周辺はいつもきれいにしておいてください。

➡ レーダーセンサー★の取り扱い (P.458)

- フロントバンパー、リアバンパーのレーダーセンサー周辺の塗装修理はできません。誤った塗装修理を行うと、本来の機能を発揮できなくなる可能性があります。

適切な修理を行うため、日産販売会社にご相談ください。

➡ レーダーセンサー★の取り扱い (P.458)

- フロントカメラの汚れを自動的に判定する機能を備えておりますが万全ではありません。

状況によってはフロントカメラが汚れていても判定できない場合があります。また雪、氷などが付着したときも判定できない場合があります。

このような状況では適切な作動ができなくなるおそれがあるため、常に前方に注意して走行してください。またフロントカメラおよびその周辺はいつもきれいにしておいてください。

➡ マルチセンシングフロントカメラの取り扱い (P.458)

- 状況によっては外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。

プロパイロット警告メッセージ

警告メッセージが表示されたときは、プロパイロット警告メッセージ（➡ P.412、

運転支援機能

➡P.425)「説明・対処方法」に従ってください。メーター内の表示は、グレード、オプションなどにより異なります。

定速制御機能について

警告

- 定速制御中は車間制御を行わないため、ブレーキ操作も警報も行いません。

先行車との車間距離、周囲の状況に応じてブレーキペダルを踏んで減速するなどして車間距離を確保し、安全運転を心がけてください。

<プロパイロットスイッチ>をONにすると点灯し、システムの作動状態を色で表示します。セットすると設定した速度を表示します。

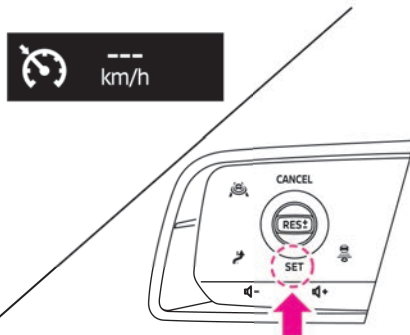
1. <プロパイロットスイッチ>を1.5秒以上押し、システムがONになると表示します。

プロパイロット

- 白色：システムがONになると表示
- 緑色：車速を設定すると表示
- オレンジ色（警告灯）：システム故障

プロパイロット2.0

- 灰色：システムがONになると表示
 - 緑色：車速を設定すると表示
 - オレンジ色（警告灯）：システム故障
2. <SETスイッチ>を押したときの車速で定速制御機能をセットします。



- 定速走行中、一時的に加速したいときはアクセルペダルを踏みます。加速後にアクセルペダルを離すと、徐々に設定車速に戻ります。

■ 設定車速の変更のしかた

速度を上げる

- 定速走行中に<RES+スイッチ>を上方向に押し続けると加速します。設定したい速度で手を離します。

速度を下げる

- 定速走行中に<RES+スイッチ>を下方向に押し続けると減速します。設定したい速度で手を離します。

■ 定速走行の解除のしかた

次の操作をすると、定速走行が解除されます。

- <CANCEL>スイッチを押す
- <プロパイロットスイッチ>を押す
- ブレーキペダルを踏む

- 次の場合は、警報音（ブザー）とともに制御が解除されます。

- 速度が約25km/h以下になったとき
- VDCをOFFにしたとき
- VDC/TCSが作動したとき
- タイヤが空転したとき
- シフトポジションをDまたはB★以外にしたとき
- システムに異常があるとき

インテリジェントディスタンスコントロール

インテリジェントディスタンスコントロールは同一車線を走行している前方の車両との距離および相対速度に応じてブレーキを制御し、運転者の車間距離維持操作を支援するシステムです。

インテリジェントディスタンスコントロールに関する注意事項

警告

- インテリジェントディスタンスコントロールシステムは運転者を支援するための補助装置であり、衝突警告または回避装置ではありません。

常に注意を払い、安全運転をし、車両をコントロールするのは運転者の責任です。

- インテリジェントディスタンスコントロールシステムを使用するときは、常に注意して運転してください。

警告

インテリジェントディスタンスコントロールシステムを使用する前に、オーナーズマニュアルをよく読んで理解してください。重大な人身事故を避けるために、事故を防止したり、緊急時に車両の速度を制御するためにシステムに依存したりしないでください。インテリジェントディスタンスコントロールシステムは、適切な道路および交通状況以外では使用しないでください。

- インテリジェントディスタンスコントロールシステムにはパフォーマンスの限界があるため、インテリジェントディスタンスコントロールシステムだけに依存しないでください。

このシステムは、不注意運転、脇見運転、または漫然運転を是正したり、雨、霧、その他の悪天候での視界不良を解消するものでもありません。前方車両との距離や周囲の状況に応じて、ブレーキペダルを踏み込み、車速を減速し、安全な車間距離を維持してください。

- インテリジェントディスタンスコントロールシステムは、停止中の車両または低速で走行している車両に接近した場合、車両の速度を制御したり警告したりしません。

前方の車両との適切な距離を維持するために、車両の操作に注意する必要があります。

- インテリジェントディスタンスコントロールシステムは自動的に減速し、運転者が前方の車両からの追従距離を維持するのを支援します。前方の車両が急ブレーキをかけたとき、または前方に車両が急に現れたときに安全な距離を保つために減速が必要な場合は、手でブレーキをかけてください。インテリジェントディスタンスコントロールシステムを使用するときは、常に注意してください。
- 前方の車両が停止した場合、車両はシステムの制限内で停止まで減速する。車両が停止すると、インテリジェントディスタンスコントロールシステムによって車両が停止したままになります。
- インテリジェントディスタンスコントロールシステムのシステム制限は次の通りです。これらのシステム制限事項に従わずに車両を操作すると、重傷または死亡事故につながる可能性があります。
- インテリジェントディスタンスコントロールシステムは、主に交通量の少ない、直線や乾燥した開けた道路での使用を目的としています。市街地や混雑した道路での使用は推奨されません。
- インテリジェントディスタンスコントロールシステムは道路状況に自動的に適応しません。

このシステムは、交通の流れが均一な状況で使用してください。急カーブのある道路、凍結路面、大雨、霧の際には使用しないでください。

- インテリジェントディスタンスコントロールシステムは、運転者の足がアクセルペダルを踏んでいる間はブレーキ制御を行いません。
 - 常に車両の運転に注意し、適切な追従距離を手動で制御できるようにしてください。
- インテリジェントディスタンスコントロールシステムでは、状況によっては、車両間の距離（追従距離）を維持できない場合があります。
- インテリジェントディスタンスコントロールシステムは、次の物体を検出しません。

- 停止中または低速走行中の車両（自車が接近している場合）
- 道路上の物体または歩行者
- 同じ車線の対向車
- 走行車線から外れて走行するオートバイ
- インテリジェントディスタンスコントロールシステムは、特定の道路、天候、または運転条件において前方車両を検知できない場合があります。事故を避けるため、次の状況ではインテリジェントディスタンスコントロールシステムを使用しないでください。

⚠ 警告

- 交通量の多い道路、高速道路、カーブの急な道路
- 氷や雪など滑りやすい路面
- 未舗装路などの、でこぼこした路面
- 坂の急な下り坂（頻繁にブレーキをかけるとブレーキが過熱する可能性があります）
- 上り下りが繰り返される道路
- 悪天候時（雨、霧、雪など）
- センサーの検知能力が低下しているとき（雨、雪、霧、砂嵐、砂嵐、他車両からの飛沫など）
- レーダーセンサーエリアに土、氷、雪などの物質が付着しているとき
- 特殊な形状の車両（タンクローリー、サイドカーなど）
- 他のレーダー源による干渉を受けているとき
- 車両の後部座席または荷室に過度に重い荷物を積載しているとき
- トレーラーや他の車両をけん引しているとき
- 道路または交通状況によっては、車両または物体が予期せずセンサー検出ゾーンに入り、自動ブレーキが作動する場合があります。

常に注意を払い、この警告セクションで推奨されていない場所ではインテリジェントディスタンスコントロールシステムを使用しないでください。

- インテリジェントディスタンスコントロールシステムは、マルチセンシングのフロントカメラも使用します。以下の状況では、カメラが車両を正しく検出できず、前方の車両の検出が遅れる場合があります。

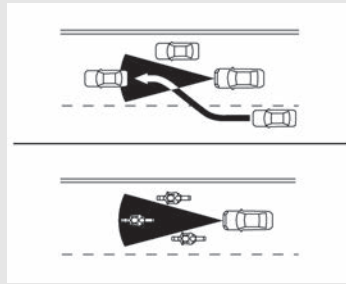
- 視界不良（雨、雪、霧、砂塵嵐、砂嵐、他車の飛沫などの状態）
- フロントガラスのカメラ部分がくもり、または汚れ、水滴、氷、雪などで覆われている
- フロントカメラに強い光（例えば、対向車からの日光やハイビーム）が入る
- 光が強いと歩行者の周りが影になって見えにくくなります
- 明るさが急激に変化する（例：トンネルや日陰への進入時、落雷時など）

- インテリジェントディスタンスコントロールシステムは、システムの制限内でレーダーセンサーの動作を自動的にチェックするように設計されています。

レーダーセンサーの検知範囲には制限があります。インテリジェントディスタンスコントロールシステムは前方車両との車間距離を維持するには、前方車両が検知範囲に入っている必要があります。前方の車両は、同一車線内での位置により検知範囲外に移動する場合があります。

自動二輪車が車線の中心線からずれて走行している場合、同一車線内で検知されない場合があります。前方の車線に進入中の車両は、車両が完全に車線に入るまで検出されない場合があります。

このような場合、インテリジェントディスタンスコントロールシステムは表示灯を点滅させ、警報音（ブザー）を鳴らして警告します。運転者は、前方車両との適切な車間距離を手動で調整する必要がある場合があります。



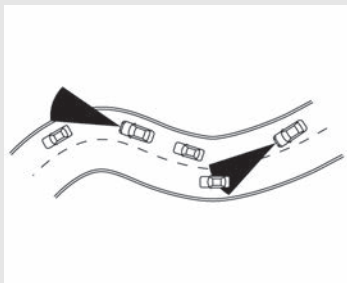
⚠ 警告

曲がりくねった道、坂道、カーブ、狭い道、工事中の道路など、一部の道を走行しているときに、センサーが別の車線の車両を検出したり、前方を走行している車両を一時的に検出しなかったりする場合があります。これにより、システムが適切に作動しない場合があります。

車両の検出は、車両の操作（ハンドル操作や車線内での走行位置など）または車両の状態によっても影響を受けることがあります。

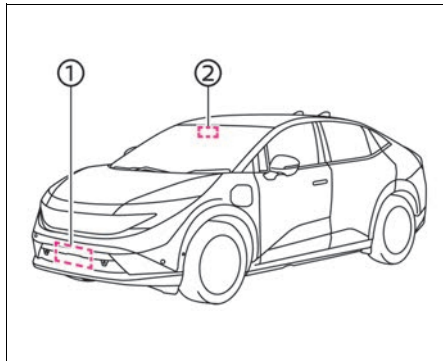
このような場合は、システムの表示灯が点滅し、警報（ブザー）が鳴ることがあります。

前方を走行する車両との適切な車間距離は、手動で調整する必要があります。



システム構成

- インテリジェントディスタンスコントロールは、次のような部品で構成されています。



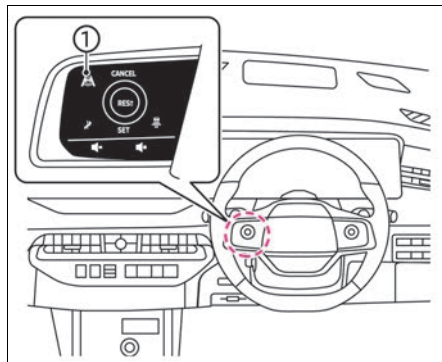
- ① フロントレーダーセンサー
- ② マルチセンシングフロントカメラ

🚗 アドバイス

- インテリジェントディスタンスコントロールシステムを正しく作動させるために、カメラ前方のフロントガラス、レーダーセンサー周辺のお手入れを行ってください。

➡ レーダーセンサー★の取り扱い
(P.458)

インテリジェントディスタンスコントロールに関連するスイッチ



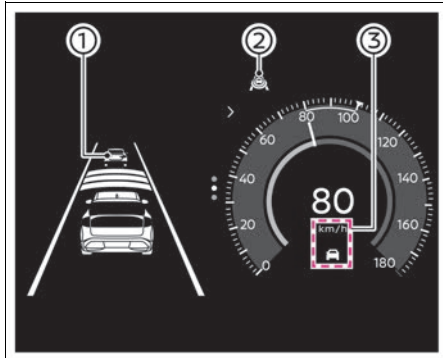
- ① プロパイロットスイッチ
インテリジェントディスタンスコントロールのON・OFFができます。

インテリジェントディスタンスコントロールの使いかた

1. アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [⚙] → [前方支援] → [ディスタンスコントロール] を選択するとインテリジェントディスタンスコントロールのON・OFFを切り替えることができます。
2. プロパイロットスイッチを押すとインテリジェントディスタンスコントロールがONになります。

- プロパイロット使用時はインテリジェントディスタンスコントロールはOFFになります。プロパイロットをOFFにすると、インテリジェントディスタンスコントロールがONになります。
- インテリジェントディスタンスコントロールのON・OFF設定は、EVシステムを停止しても再度設定を変更するまでその状態が維持されます。

インテリジェントディスタンスコントロールに関連する表示



- ① **先行車検出の有無**
車両アイコン非表示：先行車検出無し
車両アイコン表示：先行車検出有り
- ② **インテリジェントディスタンスコントロールの作動状態**
白色：インテリジェントディスタンスコントロールON

- ③ **速度制御状態表示**
(白色)：インテリジェントディスタンスコントロール待機中
● 白色の車両アイコンが表示：車両を検出
● 車両アイコンが非表示：車両を検出していない
(緑色)：インテリジェントディスタンスコントロール走行支援中
(黄色)：システム故障
● 一部の表示は、クラシック表示でのみ使用できます。➡ アドバンスドドライブアシストディスプレイとは(ショートカットメニュー) (P.109)
- プロパイロットシステムを起動すると、自動的に運転支援表示に切り替わります。
➡ 各種設定画面 (P.112)
- 運転支援表示は、ヘッドアップディスプレイ★にも表示されます。➡ ヘッドアップディスプレイ★ (P.129)

システム作動

- インテリジェントディスタンスコントロールシステムは、前方の車両からの距離および相対速度に応じてブレーキをかけ、運転者が追従距離を維持するのを支援します。システムは必要に応じて減速し、前方車両が停止した場合は車両も減速して停止します。
- インテリジェントディスタンスコントロールシステムは車両の総制動力の約40%までしか適用できません。このシステムは、車速が徐々に変化する場合にのみ使用してください。

- 車両が前方の走行車線に入ったり、前方を走行している車両が急減速したりすると、インテリジェントディスタンスコントロールシステムでは十分な減速が行えないため、車両間の距離が近くなる場合があります。このとき、インテリジェントディスタンスコントロールシステムは警報音(ブザー)とともに、アドバンスドドライブアシストディスプレイの先行車検出表示および接近警報表示を点滅させて運転者に注意を促します。

➡ 接近警報 (P.234)

インテリジェントディスタンスコントロールシステムは次のように動作します。

- 前方を走行する車両がある場合、インテリジェントディスタンスコントロールシステムは速度を調整して、前方の車両からの距離を維持します。前方車両が停止すると、車両は減速して停止します。車両が停止すると、インテリジェントディスタンスコントロールシステムは停止状態を維持します。

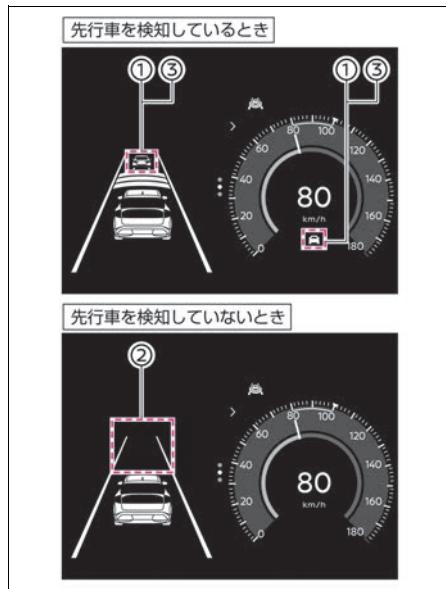
インテリジェントディスタンスコントロールシステムでは、停止中および低速走行中の車両に接近しても、車速の制御や警告は行われません。料金所への進入や渋滞時には、前方の車両との車間距離を保つため、車両の運行に注意する必要があります。

通常、前方の車両との距離を制御する場合、システムは前方の車両の速度に応じて自動的に減速します。

加速が必要な場合は、アクセルを踏み込んで適切に加速してください。急ブレーキで前方の車両と安全な距離を保つために減速が必要な場合、または車両が割り

運転支援機能

込んだ場合は、ブレーキペダルを踏み込みます。インテリジェントディスタンスコントロールシステムを使用するときは、常に注意してください。



- ① 先行車を検知している場合（白色）
- ② 先行車を検知していない場合
- ③ システムによる減速制御作動中（緑色）

前方車両が検出されたとき：

車両前方検知インジケータが表示されます。

車両が前方の車両に接近したとき：

運転者の足がアクセルペダルを踏んでいないとき、システムはブレーキを作動さ

せ、必要に応じて減速します。前方の車両が停止したときは、自車も減速して停止します。

- ー インテリジェントディスタンスコントロールシステムによりブレーキが作動すると、自車の制動灯が点灯します。
- ー ブレーキをかけると異音がありますが、故障ではありません。

システムの上書き：

次のドライバの操作は、システムの操作を上書きします。

- 運転者がアクセルペダルやブレーキペダルを踏んでいるときは、システムによるブレーキ制御は行いません。
- プロパイロットシステム/定速制御機能をONにすると、インテリジェントディスタンスコントロールシステムはOFFになります。

接近警報

- 車間制御中に先行車の減速度合いが大きい場合や他車の割り込みなどによって、十分な減速ができない状態で先行車に接近したときは、警報音（ブザー）とアドバンスドドライブアシストディスプレイの表示によって運転者に注意を促します。この場合は、ブレーキペダルを踏んで減速し、適切な車間距離を確保してください。
- 先行車に接近し、車間距離が十分でないと判断されるときはブザーが“ピッ、ピッ、ピッ...”と鳴り、アドバンスドドライブアシストディスプレイの先行車検出表示および接近警報表示が点滅します。

- 短い車間距離でも、次の場合には接近警報が作動しないことがあります。

- ー 先行車とほぼ同じ速度で走っているとき
- ー 先行車の方が自車より速いとき（車間距離が次第に離れていくとき）
- ー 他車が至近距離に割り込んできたとき

インテリジェントディスタンスコントロールの作動が停止するとき

次の場合は、警報音（ブザー）が鳴るとともに、メーター内に「現在利用できません」という警告メッセージが表示され、インテリジェントディスタンスコントロールシステムの作動が停止します。

条件A：

- いずれかのドアを開けたとき
- 運転席のシートベルトが外れているとき
- 前方の車両が検出されず、速度が25km/hを下回っているとき
高速道路や自動車専用道路など限定された道路を走行している場合は、停車保持中に先行車を検出しなくなると、インテリジェントクルーズコントロールは解除されます。（NissanConnectインフォテインメントシステム装着車）
- シフトポジションがDまたはB以外のとき
- VDCシステムがOFFになっているとき
- VDCシステム（トラクションコントロールシステムを含む）が動作するとき
- インテリジェントエマージェンシーブレーキが、より強いブレーキをかけたとき

- 車輪がスリップしたとき
 - 前面のレーダーが汚れなどにより機能しなくなったとき
 - レーダー信号が一時的に途切れたとき
- 再度、インテリジェントディスタンスコントロールを作動させる場合は、作動が停止したときの状態が改善されてから、一度EVシステムをOFFにし、再度ONにしてください。

停車中にインテリジェントディスタンスコントロールをOFFにすると、電動パーキングブレーキが自動的に作動します。

条件B：

車両前面のレーダーセンサーを遮る悪天候（雨、霧、雪など。）のときは、警報音（ブザー）が鳴るとともに、メーター内に「フロントレーダー及びその周辺が汚れています 拭いてください」という警告メッセージが表示され、インテリジェントディスタンスコントロールシステムの作動が停止します。

作動が停止したときの状態が改善されると、警告メッセージが表示されなくなり、システムは正常に作動します。

警告メッセージが引き続き表示される場合は、システムを確認してください。

本サービスをご利用になる場合は、日産販売会社にお問い合わせください。

条件C：

車両前面のレーダーセンサーが汚れているか、障害物がある場合、警報音（ブザー）が鳴るとともに、メーター内に「フロントレーダー及びその周辺が汚れています 拭いてください」という警告メッセージが表示

され、インテリジェントディスタンスコントロールシステムの作動が停止します。

警告メッセージが表示された場合は、車両を安全な場所で停車させ、シフトポジションをPにし、EVシステムをOFFにします。

レーダー信号が一時的に遮断された場合は、センサー部分を清掃し、EVシステムを再起動します。

警告メッセージが引き続き表示される場合は、システムを確認してください。

本サービスをご利用になる場合は、日産販売会社にお問い合わせください。

条件D：

道路構造や建物が限られている道路（例えば、長い橋、砂漠、雪原、長い壁の隣を運転する）を走行すると、警報音（ブザー）が鳴るとともに、メーター内に「フロントレーダー及びその周辺が汚れています 拭いてください」という警告メッセージが表示され、インテリジェントディスタンスコントロールシステムの作動が停止します。

作動が停止したときの状態が改善されると、警告メッセージが表示されなくなり、システムは正常に作動します。

警告メッセージが引き続き表示される場合は、システムを確認してください。

インテリジェントディスタンスコントロールシステムの誤動作

- インテリジェントディスタンスコントロールシステムが故障すると、警報音（ブザー）が鳴るとともに、メーター内の速度制御状態警告（黄色）が点灯し、

メーター内に「システム故障 オーナーズマニュアルを参照」という警告メッセージが表示され、インテリジェントディスタンスコントロールシステムの作動が停止します。

速度制御状態警告（黄色）が点灯したら、安全な場所で車両を停車させてください。EVシステムをOFFにし、再度EVシステムをONにします。

インテリジェントディスタンスコントロールシステムの設定ができない場合や警告が消えない場合は、システムが故障している可能性があります。

通常運転は継続できますが、インテリジェントディスタンスコントロールシステムを点検してください。本サービスをご利用になる場合は、日産販売会社にお問い合わせください。

インテリジェントエマージェンシーブレーキ

インテリジェントエマージェンシーブレーキは、前方の車両、対向車★や歩行者、人が乗車している自転車と衝突のおそれがあるとき、警報とブレーキにより、運転者の衝突回避操作を支援します。

システムに関連する表示

⚠ 警告

- 機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。

警告

インテリジェント エマージェンシーブレーキは、前方の車両や歩行者、人が乗車している自転車との衝突回避操作の支援、または衝突時の被害や傷害の軽減を目的としています。あらゆる状況で効果があるわけではありません。

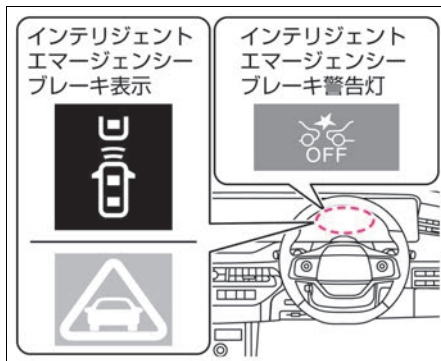
必ず周囲の安全確認を行い、前方車両との車間距離を十分に維持して、安全運転を心がけて走行してください。

- レーダーやマルチセンシングフロントカメラの性能には限界があるため、システムだけに頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。詳細については、各検知条件と制限をお読みください。

➡ レーダーセンサーの検知条件と制限 (P.220)

➡ マルチセンシングフロントカメラの検知条件と制限 (P.220)

- ヘッドアップディスプレイ付車はインテリジェント エマージェンシーブレーキが作動すると、ヘッドアップディスプレイにも警告が表示されます。



インテリジェント エマージェンシーブレーキについて

- フロントガラス上部のマルチセンシングフロントカメラおよび車両前部のレーダーセンサーにより前方の車両や歩行者、人が乗車している自転車を検知します。
- 車速約5km/h以上で作動します。歩行者・人が乗車している自転車には約10～80km/hで作動します。(車速約100km/h以上では停止車両に対しては作動しません。)
- 衝突するおそれがあると判断すると、警報音(ブザー)が鳴るとともにアドバンスドドライブアシストディスプレイのインテリジェント エマージェンシーブレーキ表示(接近警報表示)がオレンジ色に点滅します。
- 運転者の衝突回避操作が不十分で、衝突の危険性が高まったときには、アドバンスドドライブアシストディスプレイのイ

ンテリジェント エマージェンシーブレーキ表示が赤色の緊急警報表示になり、警報音(ブザー)が鳴るとともに軽いブレーキがかかります。

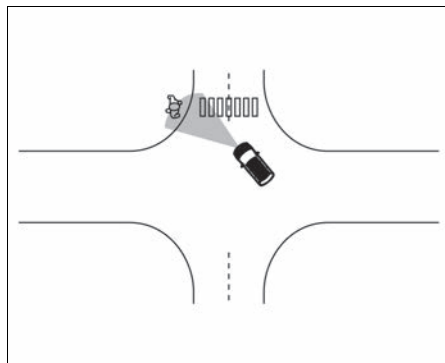
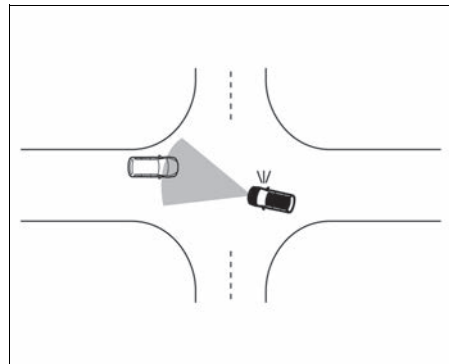


- さらに衝突の危険性が高まったときには、衝突の直前に強いブレーキがかかります。
- 次の場合、システムによるブレーキの作動が解除されます。
 - ー アクセルペダルを強く踏み込んだとき
 - ー ハンドルを大きく、またはすばやく切ったとき
 - ー 前方の車両や歩行者、人が乗車している自転車との衝突の危険がなくなったと判断したとき
- システムによるブレーキで車両が停車したときは、車両が停車してから約2秒後にブレーキが解除されます。
- 運転者がハンドルやアクセルペダル、ブレーキペダルを操作している場合は、インテリジェント エマージェンシーブレーキの作動が遅れる、または作動しない場合があります。

運転支援機能

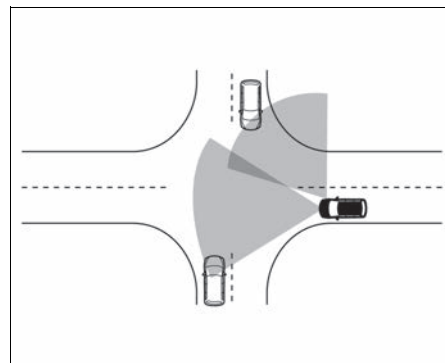
- 前方車両と自車の速度の差が小さいときは作動しません。
- システムによるブレーキが作動しているときは、制動灯が点灯します。
- システムによるブレーキ作動中にブレーキペダルを踏んだとき、ブレーキペダルの踏みごたえが変化したり、音や振動が発生したりすることがありますが異常ではありません。また、ブレーキペダルを更に踏みこむことで、ブレーキ力を増すことができます。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイを「運転支援」に切り替えると、インテリジェントエマージェンシーブレーキの作動状態をアドバンスドドライブアシストディスプレイ内で確認することができます。
詳しくは、**➡ アドバンスドドライブアシストディスプレイとは（メインメニュー）（P.97）**をお読みください。

交差点支援（右左折）



- 次の場合に、衝突するおそれがあるとシステムが判断するとインテリジェントエマージェンシーブレーキが作動します。
 - ー 右折して対向車の進路を横切るとき
 - ー 右折または左折時、前方の歩行者が自車の進路に入ってきたとき
- 車速約10km/h～30km/hの範囲で作動します。
- 対向車に対しては、方向指示器を作動させているときのみ作動します。

交差点支援（出会頭車両）★



- 車両前部のレーダーセンサーおよびサイドレーダーセンサーにより側方から接近する車両を検知します。
- 車速約5～80km/hの範囲で作動します。
- 交差点などで側方から車両が接近してきたとき、衝突するおそれがあるとシステムが判断すると、警報音（ブザー）とと

運転支援機能

もにアドバンスドアシストディスプレイに出合頭車両検知表示（赤）を表示します。

- 衝突の危険が高まったときには、ブレーキがかかります。
- 車両が停止しているとき、側方から車両が接近してきたときは、アドバンスドドライバアシストディスプレイに出合頭車両検知表示（白）を表示します。

インテリジェント エマージェンシーブレーキの停止のしかた

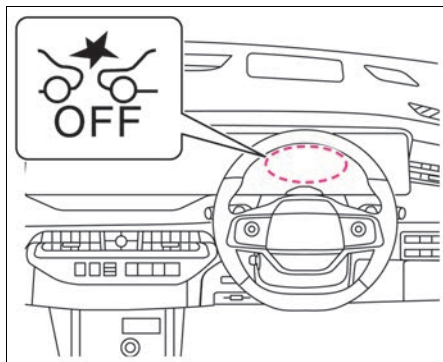
メーターでのON・OFFの設定

- アドバンスドドライバアシストディスプレイで設定 [] ⇒ [運転支援] ⇒ [緊急支援] ⇒ [前方衝突防止支援] を選択すると、インテリジェント エマージェンシーブレーキのON・OFFを切り替えることができます。また、[警報感度] を選択すると、警報するタイミングを切り替えることができます。設定の詳細については、運転支援をお読みください。

➡ アドバンスドドライバアシストディスプレイとは（メインメニュー）（P.97）

➡ 運転支援（P.113）

- ー 走行中はインテリジェント エマージェンシーブレーキをOFFにすることができません。
- 機能をOFFにすると、システムが停止します。（インテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯が点灯）



- EVシステムを再始動するとONになります。
- インテリジェント エマージェンシーブレーキをOFFにすると、インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）、衝突回避ステアリングアシストも連動してOFFになります。

➡ インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）（P.286）

➡ 踏み間違い衝突防止アシスト（P.269）

➡ 衝突回避ステアリングアシスト（P.269）

インテリジェント エマージェンシーブレーキに関する注意事項

⚠ 警告

- 次のような障害物は検知しません。

- ー 子供などの背の低い人、動物、自転車
- ー 対向車
- ー 道路構造物（ガードレール、ポールなど車両と歩行者、人が乗車している自転車以外の障害物）

- システムは車両の後端を認識するため、次の例のような車両を検知しないもしくは検知できない場合があります。

- ー バンパー形状などにより、タイヤが見えにくい車両
- ー 幌がはみ出し、後端形状がはっきりしない車両
- ー 前方を横切って通過する車両
- ー 斜めもしくは対面で止まっている車両

- 次のような場合は、前方の車両や歩行者、人が乗車している自転車を検知できないことがあります。

- ー 悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）で視界が悪いとき
- ー 前方の車両や対向車などにより、水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
- ー カメラ前方のフロントガラスに汚れ、油膜、水滴、氷、雪などの付着やワイパーのふき残しがあるとき
- ー カメラ前方のフロントガラスがくもっているとき

⚠ 警告

- 前方から強い光（太陽光や対向車のハイビームなど）を受けているとき
- 前方の強い光により前方車両のタイヤの部分が影になり見えにくいとき
- 夜間やトンネル内などでヘッドランプを点灯していない、あるいはヘッドランプのレンズが極端に汚れているとき
- 夜間やトンネル内などで前方の車両のテールランプが点灯していないとき
- トンネルの出入り口や日陰など、急に明るさの変化が起こったとき
- カーブを走行しているとき
- 勾配の変化があるところを走行しているとき
- 未舗装路など凹凸のある路面を走行しているとき
- 歩行者が大きな荷物を持っている、背景と同じ色の服を着ているなど人特有の輪郭が認識できないとき
- 太陽光などが前方車両から強く反射しているとき
- 対象物の位置や動きが大きく変化した場合（自車の車線変更・右左折、前方車両の右左折・急ハンドル・急加速・急減速など）
- EVシステムを始動してから約15秒間

- EVシステム始動後、走行してからインテリジェント エマージェンシーブレーキシステムが1回も障害物を検知していないとき
- カメラの視界が遮られているとき（フロントガラスの汚れ、油膜、虫汚れ、ワイパーブレード）
- カメラの向きがずれているとき
- 雪や氷、泥などがレーダーセンサー周辺に付着しているとき
- 放送局など周辺の電波源により影響を受けているとき
- オートバイのような幅が狭い車両が前方を走行しているとき
- 子供用の自転車、大きい荷物を載せた自転車、2人以上乗車している自転車、または特殊な形状の自転車（チャイルドシート装着車・タンデム自転車など）

● 次の例のような周辺状況では対象物の形状を正しく検出できずシステムが作動しない場合があります。

- 対象物が背景と似た色合いで区別ができない場合
- 対象物が道路標示（道路上の横断歩道、制限速度などの標示）の近くにある場合
- 対象物が路面の水たまりの付近にある場合（周りの風景が水たまりに映り込むなど）
- 対象物が建物や街路樹などの影と重なっているとき

- 対象物と自車の間に水蒸気や煙などがあるとき

● 次の対象物にはシステムが作動しない場合があります。

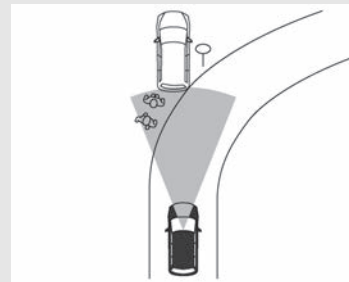
- 歩行者、人が乗車している自転車の移動速度が速いとき
- 対向して接近する歩行者、自転車
- 歩行者の姿勢や手足の状態（手を上げているなど）により、歩行していると特定できないとき
- 夜間やトンネル内など暗い場所にいる歩行者
- 車高の低い車両または最低地上高（地面から車体までの高さ）が極端に低いもしくは極端に高い車両
- 特殊な形状の車両（タンクローリー、サイドカーなど）
- 前方の至近距離に割り込んだ車両
- 前方の至近距離に飛び出してきた歩行者、自転車
- 自車の正面から横にすれた位置に存在する車両や歩行者、人が乗車している自転車
- 後端面積が小さい車両（空荷のトラックなど）
- リヤタイヤから車両後端までが長い車両
- 四輪車以外の車両（二輪車など）
- 荷台から荷物や幌がはみ出している車両

警告

- ショッピングカート、ベビーカー、自転車などを押しているとき
- 次の例のような場合、衝突するおそれがある対象を正しく検出できない場合があります。
 - 複数の対象物同士が近接している場合
 - 衝突するおそれのある対象の二輪車または車高の低い車両の前方近くに車両がいる場合
- 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。
- 次のような場合は、システムが機能を十分に発揮できないことがあります。
 - 滑りやすい路面を走行しているとき
 - 勾配のある路面を走行しているとき
 - 外気温が低いときや走行開始直後などでブレーキが冷えているとき
 - 下り坂などでブレーキが過熱してブレーキの効きが悪くなっているとき
 - 水たまり走行後や洗車後などブレーキが濡れてブレーキの効きが悪くなっているとき
 - 長期間駐車などで、ブレーキの性能が十分に発揮できないとき

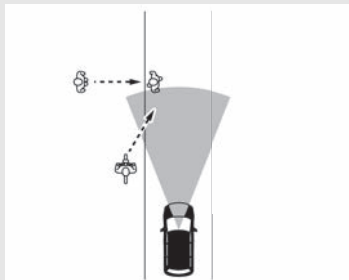
- 摩耗しているタイヤ、空気圧不足のタイヤ、スペアタイヤのような非常用タイヤ、日産純正品以外のタイヤ、日産販売会社以外で購入したタイヤを使用しているとき
- タイヤチェーンを装着しているとき
- 純正品以外のブレーキ部品、サスペンション部品を使用しているとき
- 車両が傾いているとき（車両後部に極端に重い荷物を積んでいるとき）
- 路面または壁面の影や模様・ペイント（かすれた道路標示や漢字で構成される特殊な道路標示、濡れた路面に映り込んだ模様、わだちなどや光の反射を含む）、前方の道路構造物（トンネル、高架橋、交通標識、道路脇に設置された反射器（リフレクター）、反射シート、ガードレール、カーブミラー、電柱や電線、看板）などで構成される形状が、車両や歩行者、自転車の輪郭の特徴や車両のテールランプの大きさ・位置などと似通っている場合、システムが作動する場合があります。
- 右左折中の先行車にシステムが作動を継続する場合があります。
- 前の車両に接近し追い越す場合、システムが作動する場合があります。

- 道路形状（カーブ、カーブの出入り口、ワインディング、車線規制や工事中など）によっては、一時的に自車正面の対向車にシステムが作動する場合があります。
- 自転車で走行している人を歩行者と検知し、システムが作動する場合があります。
- 次のような物に反応し、システムが作動する場合があります。



- 道路脇にある物（道路標識、ガードレール、歩行者、自転車、人が乗車している自転車、車両など）
- 道幅が狭い路地などを走行する際の歩行者・人が乗車している自転車

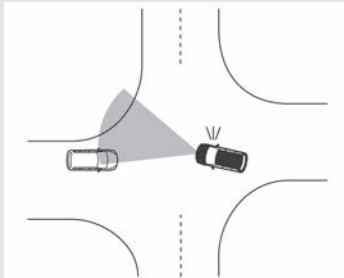
⚠ 警告



- 路肩の障害物を避けるため、一時的に自車前方の走行レーンにはみ出したり、近づいたりする歩行者や人が乗車している自転車
- 路面上にある物（線路、格子、鉄板など）
- 駐車場内にある物（梁など）
- 走行車線または隣接する車線の歩行者、車両など
- 走行車線または隣接する車線に近づいてくる歩行者、車両など
- 対向して接近する歩行者
- 走行路にある物（近接する樹木など）

交差点支援（右左折）について

- 交差点支援（右左折）は次のような障害物を検知しません。



— 自車正面の対向車

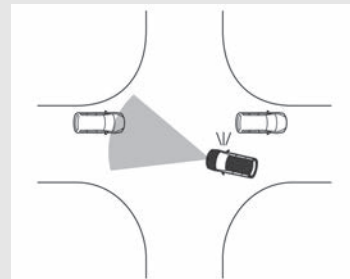
- 次の場合、交差点支援（右左折）が正しく作動しないか、衝突するおそれがある対象を正しく検出できない場合があります。

- 対向車から2車線以上離れた車線を走行しているとき
- 対向車が自車の正面から大きく外れているとき



- 対向車線を横断しているときに、対向車が接近してきたとき
- 急カーブを曲がるとき

— 中央線を認識していないとき



- 対向車が連続しているとき
- 車線幅が極端に広いもしくは狭いとき
- 中央線が道路標示の近くにあるとき

- 次の場合、衝突のおそれがあるとシステムが判断し、交差点支援（右左折）が作動する場合があります。

- 対向車または横断歩行者が前方を通過したとき
- 対向車または横断歩行者の手前を通過しようとしたとき
- 対向車または横断歩行者が自車の進路に入る手前で停止したとき
- 対向車が自車の前方で右折または左折したとき

- 次のようなものに反応し、交差点支援（右左折）が作動する場合があります。

- 急ハンドルや急減速などで、動きが予測できない対向車

⚠ 警告

交差点支援（出会頭車両）★について

- 次の場合、交差点支援（出会頭車両）は車両を検知できない場合があります。
 - 車両の全長が長い場合（大型トラック、トレーラーなど）
 - 車両が構造物や他の車両によって隠れている場合
- 次の場合、交差点支援（出会頭車両）は、車両が接近していなくても作動する場合があります。
 - 壁、ガードレール、または他の車両など、電波を反射する物体が自車に近い場合
 - 車両の上を横切る物体がある場合（高架道路など）

インテリジェント エマージェンシーブレーキの作動が停止するとき

- 次の場合、メーター内のインテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯 [𠂔] が点灯し、作動が停止します。
 - インテリジェント エマージェンシーブレーキの設定をOFFにしたとき
- 次の場合、インテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯 [𠂔] が点灯するとともに、アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告を表示し、システムが一時的に作動しなくなります。
 - VDCをOFFにしたとき

- フロントガラスの汚れなどにより、カメラの前方視界が遮蔽されていると判断したとき
- 前方からの強い光により、カメラが前方を認識できなくなったとき
- 炎天下に駐車したときなど、カメラが高温になったとき（車室内の温度が下がると、作動を復帰します）
- 悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）で視界が悪いとき
- フロントガラスの結露やくもりなどにより、マルチセンシングフロントカメラが前方を認識できなくなったとき
- 周辺の電波源の影響を受けているときシステムが停止したときの状態が改善されると、自動的に作動を再開します。
- 車両前部に取り付けられたレーダーセンサー周辺に雪や氷、泥などが付着しているとき
上記警告が表示されたときは、安全な場所に停車し、一度EVシステムを停止してからレーダーセンサーおよびその周辺の汚れを取り除き、EVシステムを再始動してください。
- 道路形状や周辺の建造物（長い橋、雪原、長い壁の横など）により、レーダーセンサーが先行車を正確に検知できないとき
上記の状況から離れるとシステムは自動的に作動を再開します。
- 夜間やトンネル内などでヘッドランプを点灯せず、真っ暗な状態が続いたとき

- インテリジェント エマージェンシーブレーキのシステムチェックが正常に終了しなかったとき
- けん引されているとき

- システムに異常があると、警報音（ブザー）が鳴るとともにメーター内のインテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯 [𠂔] が点灯し、アドバンスドドライブアシストディスプレイ内に警告が表示され、システムが停止します。
警告灯 (P.395)
警告メッセージ (P.401)
- EVシステムが始動してから約15秒間はシステムチェックのためインテリジェント エマージェンシーブレーキシステムは作動しません。
- VDCをOFFにしたときは、接近警報のみ作動します。
- 夜間、ライトを点けずに走行するなどで、カメラの視界が真っ暗な状態になった場合は、メーター内のインテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯 [𠂔] が点滅する場合があります。

アドバイス

- システムを正しく作動させるためにカメラ前方のフロントガラスはいつもきれいにしておいてください。マルチセンシングフロントカメラの取り扱いについては、(P.458)をお読みください。

🚗 アドバイス

- インテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯が点灯したときは、安全な場所に停車し、一度EVシステムを停止してから再始動してください。

上記の操作をしても、警告灯が点灯し続けるときはシステムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

警告灯 (🔍 P.395)

衝突回避ステアリングアシスト

衝突回避ステアリングアシストは、前方の障害物に対するステアリングによる回避操作を検出した場合、運転者のハンドル操作を支援します。

システムに関連する表示

⚠️ 警告

- 機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。

衝突回避ステアリングアシストは、前方の車両や歩行者、人が乗車している自転車との衝突回避操作を支援することを目的としています。あらゆる状況で効果があるわけではありません。

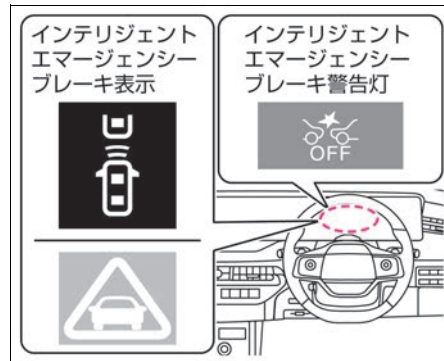
必ず周囲の安全確認を行い、前方車両との車間距離を十分に維持して、安全運転を心がけて走行してください。

レーダーやマルチセンシングフロントカメラの性能には限界があるため、システムだけに頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。詳細については、各検知条件と制限をお読みください。

🔍 レーダーセンサーの検知条件と制限 (P.220)

🔍 マルチセンシングフロントカメラの検知条件と制限 (P.220)

- ヘッドアップディスプレイ付車は衝突回避ステアリングアシストが作動すると、ヘッドアップディスプレイにも警告表示が表示されます。



衝突回避ステアリングアシストについて

- 車速約30km/h～100km/hの範囲で作動します。
- 次の物体を対象に作動します。
 - ー 車両
 - ー 歩行者
 - ー 人が乗車している自転車

衝突回避ステアリングアシストに関する注意事項

インテリジェント エマージェンシーブレーキに関する注意事項 (🔍 P.264) をお読みください。

衝突回避ステアリングアシストの作動が停止するとき

インテリジェント エマージェンシーブレーキの作動が停止するとき (🔍 P.268) をお読みください。

衝突回避ステアリングアシストの停止のしかた

- 🔍 インテリジェント エマージェンシーブレーキの停止のしかた (P.264)をお読みください。

踏み間違い衝突防止アシスト

踏み間違い衝突防止アシストは、マルチセンシングフロントカメラ、インテリジェントアラウンドビューモニターカメラ（リヤビューカメラ）とソナーで進行方向に壁な

運転支援機能

どの障害物、車両や歩行者を検知し、駐車操作時など低速のときにブレーキペダルと間違えてアクセルペダルを踏み込む、あるいはブレーキ操作が遅れたときに運転者に警報音（ブザー）と表示で警告します。

さらに出力やブレーキを制御することで、過度な加速の防止や障害物への衝突防止を支援します。

システムに関連する表示

⚠ 警告

- 機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。

踏み間違い衝突防止アシストは、アクセルペダルとブレーキペダルの踏み間違いにより引き起こされる暴走や衝突事故の軽減を目的とした補助機能です。あらゆる状況で効果があるわけではありません。運転者は周囲の安全確認を行い、常に注意深い運転操作を心がけて走行してください。

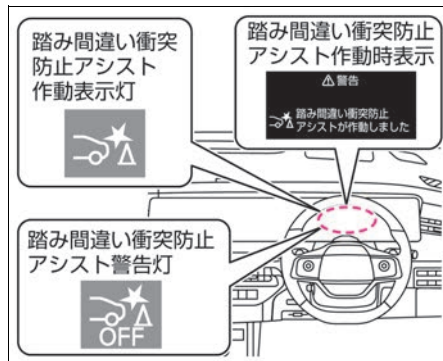
- ソナーやマルチセンシングフロントカメラ、インテリジェントアラウンドビューモニターカメラ（リヤビューカメラ）の性能には限界があるため、システムだけに頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。詳細については、各検知条件と制限をお読みください。

➡ ソナーの検知条件と制限
(P.221)

➡ マルチセンシングフロントカメラの検知条件と制限 (P.220)

➡ インテリジェントアラウンドビューモニターカメラの検知条件と制限 (P.318)

- 踏み間違い衝突防止アシストが作動すると、作動時表示と作動表示灯が表示されます。インテリジェントアラウンドビューモニター付車は、インテリジェントアラウンドビューモニター画面に赤枠が表示されます。



踏み間違い衝突防止アシストの作動

前進時

- フロントガラス上部のマルチセンシングフロントカメラにより前方の車両や歩行者を検知し、フロントバンパーに取り付けられたソナーにより、前方の障害物を検知します。

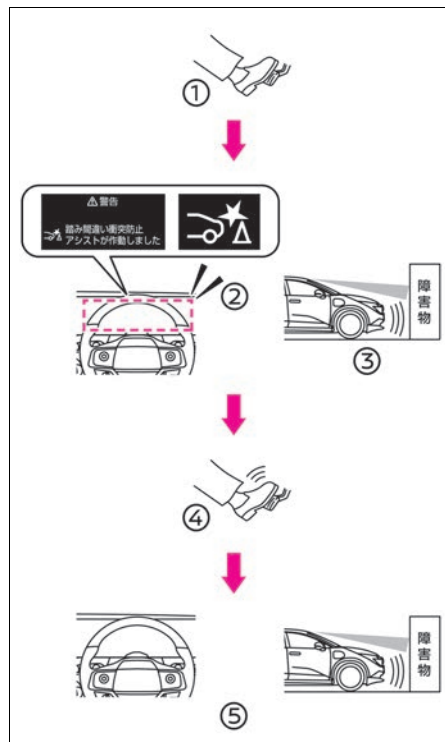
後退時

- リヤナンバープレート上部のインテリジェントアラウンドビューモニターカメ

ラ（リヤビューカメラ）とリヤバンパーに取り付けられたソナーにより、後方の障害物を検知します。

- 踏み間違い衝突防止アシストには、2つの機能があります。
 - ー 低速加速抑制機能
 - ー 低速衝突軽減ブレーキ機能

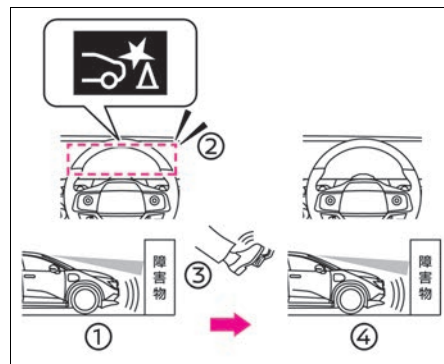
低速加速抑制機能



- ① アクセル誤踏み込み
- ② 警報音（ブザー）と作動表示
- ③ 低速加速抑制
- ④ ブレーキ
- ⑤ 停車、作動停止

- 前進または後退時（停車時含む）、進行方向に車両や歩行者（前進時）、壁などの障害物を検出している場合に、アクセルペダルが必要以上に踏み込まれたとシステムが判断すると、約6秒間加速を抑制したり、弱いブレーキをかけたりすることで車速が上がることを抑えます。
- 次の車速範囲で作動します。
 - 車両、歩行者に対しては、車速約 0km/h～25km/h
 - 壁などの障害物に対しては、車速約 0km/h～15km/h
- 低速加速抑制機能が作動しているときは、警報音（ブザー）が鳴るとともに踏み間違い衝突防止アシスト作動表示灯が表示します。また、アドバンスドドライブアシストディスプレイの表示によって運転者に警告します。
警告メッセージ（P.401）

低速衝突軽減ブレーキ機能



- ① 低速衝突軽減ブレーキ
 - ② 警報音（ブザー）と作動表示
 - ③ ブレーキ
 - ④ 停車、作動停止
- 前進、または後退時、進行方向に車両や壁などの障害物を検知し、衝突するおそれがあるとシステムが判断すると、出力の制御、およびブレーキをかけて衝突を回避、または被害の軽減をします。
 - インテリジェントアラウンドビューモニター付車は、後退時、進行方向に歩行者を検知し、衝突するおそれがあるとシステムが判断すると、出力の制御、およびブレーキをかけて衝突を回避、または被害の軽減をします。
 - 低速衝突軽減ブレーキ機能は、車速約 15km/h以下のとき作動します。
 - 低速衝突軽減ブレーキ機能が作動すると、警報音（ブザー）と踏み間違い衝突防止アシスト作動表示灯の表示によって運転者に警告します。
 - 低速衝突軽減ブレーキ機能が作動したときは制動灯が点灯します。
 - 低速衝突軽減ブレーキ機能が作動しているときは、作動音が聞こえることがありますが異常ではありません。

低速衝突軽減ブレーキが作動するとき・しないとき

クルマ止めのない駐車場などで、壁などに衝突しそうなとき

万一、運転者のブレーキ操作が遅れ、壁などに衝突するおそれがあるとシステムが判断すると、警報音（ブザー）が鳴るとともに踏み間違い衝突防止アシスト作動表示灯

運転支援機能

が表示し、ブレーキをかけて衝突を回避または被害を軽減します。

- ブレーキ制御が作動したあと、再度同じ障害物に近づいたときは作動しません。
- アクセルペダルまたはブレーキペダルを踏んで前進・後退する状況などでは作動が遅れ十分に機能しない場合があります。

縦列駐車をするとき

シフトポジションを**D**から**R**、または**R**から**D**に切り替えたときは、＜シフトスイッチ＞の操作を繰り返すたびに進行方向の障害物を検知してブレーキ制御が作動します。

- ブレーキ制御が作動したあと、シフトポジションを切り替えずにさらに同じ障害物に向かって前進、または後退をした場合は、ブレーキ制御は作動しません。
- アクセルペダルを踏んでいるときは作動が遅れることがあります。
- シフトポジションが**R**のときは、前方の障害物に対しては作動しません。同様に、シフトポジションが**D**または**B★**のときは後方の障害物に対して作動しません。
- 障害物に対し斜めに接近すると作動しないことがあります。
- 幅の狭い障害物に対しては作動しないことがあります。
- 他の車両が自車に対して横にずれた位置にあるときは、作動しないまたは作動が遅れることがあります。

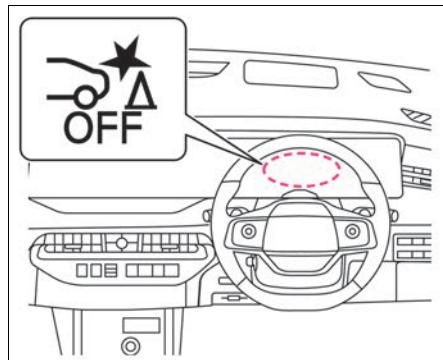
並列駐車をするとき

- 狭いスペースに進入するときに作動することがあります。
- 他の車両の角部に向かって接近したときは作動しません。

- 他の車両が自車に対して横にずれた位置にあるときは、作動しないまたは作動が遅れることがあります。
- シフトポジションが**R**のときは、前方の障害物に対しては作動しません。同様に、シフトポジションが**D**または**B★**のときは後方の障害物に対して作動しません。
- 壁から突き出している柱や配管などの障害物に対しては作動しません。
- 低い障害物に対しては作動しません

踏み間違い衝突防止アシストの停止のしかた

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [] ⇒ [運転支援] ⇒ [駐車支援] ⇒ [踏み間違い衝突防止支援] を選択すると、踏み間違い衝突防止アシストのON・OFFを切り替えることができます。設定の詳細については、運転支援をお読みください。
- ➔ アドバンスドドライブアシストディスプレイとは（メインメニュー） (P.97)
- ➔ 運転支援 (P.113)
- 機能をOFFにすると、踏み間違い衝突防止アシスト警告灯が点灯し、システムが停止します。



- シフトポジションを**R**にしてソナー表示中にステアリングスイッチの＜OK＞スイッチを押すと、一時的に後方の低速加速抑制機能、低速衝突軽減ブレーキ機能を停止できます。
- EVシステムを再始動するとONになります。

踏み間違い衝突防止アシストに関する注意事項

⚠ 警告

- 故意にアクセルペダルを踏み込まない。
車両が急に動き出し思わぬ事故につながるおそれがあります。また、低速加速抑制機能は、アクセルペダルをゆっくりと深く踏み込んだときには作動しません。

⚠ 警告

- 次の場合は、予期せずシステムが作動し、思わぬ事故につながるおそれがあるため、踏み間違い衝突防止アシストをOFFにする。

- ー けん引するとき
- ー トレーラーなどに積載するとき
- ー 点検などでシャシーダイナモを使用するとき
- ー 純正品以外のサスペンション部品を使用しているとき
(車高や車両の傾きが変わると正しく障害物を検知できないことがあります)
- ー センサーを妨げるようなバイクラックなどを装着しているとき
- 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。

低速衝突軽減ブレーキ機能について

- ブレーキ制御は短時間しか作動しません。必ず運転者がブレーキペダルを踏んでください。

低速加速抑制機能が作動したあとに低速衝突軽減ブレーキ機能が作動したときは、車両が停車してから約2秒後にブレーキが解除され、車両が動き出します。

⚠ 注意

低速衝突軽減ブレーキ機能について

- システムの作動を待たず、すみやかにブレーキ操作を行う。

車両の状態、走行状況、交通環境、天候、路面状況などにより作動しない場合や、本来の性能を発揮できないことがあります。

- アクセルペダルを踏んだ状態で障害物に接近したときは、作動が遅れることがあります。

アドバイス

- 次の場合は、システムが正常に作動しない、または機能を十分に発揮できないことがあります。
- ー 悪天候（雨、霧、雪など）のとき
- ー 勾配が急な坂道を走行しているとき
- ー 段差などをまたいでいるときなど車両姿勢が変化しているとき
- ー 滑りやすい路面を走行しているとき
- ー ハンドルを大きく切って旋回しているとき
- ー 外気温が低いときや走行開始直後などでブレーキが冷えているとき
- ー 下り坂などでブレーキが過熱、または水たまり走行後や洗車後などでブレーキが濡れてブレーキの効きが悪くなっているとき
- ー 長期間駐車などで、ブレーキの性能が十分に発揮できないとき

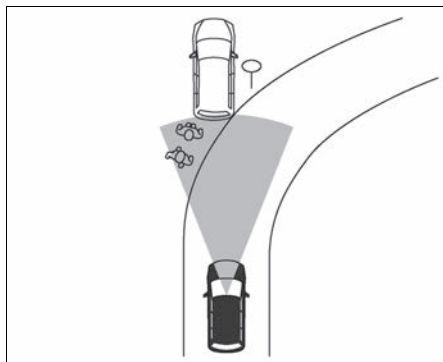
- ー 摩耗しているタイヤ、空気圧不足のタイヤ、スベアタイヤのような非常用タイヤ、日産純正品以外のタイヤ、日産販売会社以外で購入したタイヤを使用しているとき
- ー タイヤチェーンを装着しているとき
- ー 車両が傾いているとき（車両後部に極端に重い荷物を積んでいるとき）
- 動いている物体に対しては踏み間違い衝突防止アシストは作動しません。（前方の車両、歩行者を除く）

低速加速抑制機能について

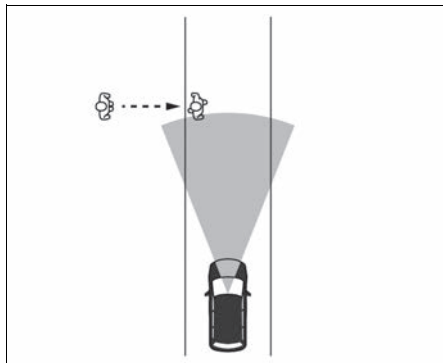
- ソナーで検出した壁や車両などの大きな障害物に対して作動します。車両の幅以下の障害物は検知しません。
- マルチセンシングフロントカメラで検出した衝突のおそれのある前方の車両や歩行者に対して作動します。
- 低速加速抑制機能は、運転者がアクセルペダルを戻すと解除されます。
- 渋滞などで前方にいる車両を追い越すときなどに低速加速抑制機能が一時的に作動することがあります。
- 信号待ちや右折待ちなどで、車間距離の短い状態から前の車に続いて発進する際、アクセルペダルをすばやく深く踏み込むと低速加速抑制機能が一時的に作動することがあります。
- 次の場合は作動しません。
 - ー アクセルペダルをゆっくりと踏み込んだとき
 - ー ブレーキペダルを踏んでいるとき

運転支援機能

- シフトポジションが**D**、**B★**、**R**以外のとき
- トラクションコントロール機能（TCS）が作動しているとき
- タイヤが空転しているとき
- 路面または壁面の模様・ペイント（かすれた道路標示や漢字で構成される特殊な道路標示を含む）、前方の道路構造物（トンネル、高架橋、交通標識、車両脇に設置された反射器（リフレクター）、反射シート、ガードレール）などで構成される形状が、車両や歩行者の輪郭の特徴や車両のテールランプの大きさ・位置などと似通っている場合、マルチセンシングフロントカメラが対象物の形状を正しく検出できずシステムが作動する場合があります。
- 自転車で行っている人を歩行者と検出し、システムが作動する場合があります。
- 次のような物に反応し、システムが作動する場合があります。
 - 道路脇にある物（道路標識、ガードレール、歩行者、車両など）



- 歩行者が自車前方の走行レーンに近づいた場合



- 道路上方にある物（低い橋、道路標識など）
- 路面上にある物（線路、格子、鉄板など）
- 駐車場内にある物（梁など）

- 走行車線または隣接する車線の歩行者、車両など
- 走行車線または隣接する車線に近づいてくる歩行者、車両など
- 対向して接近する歩行者
- 走行路にある物（近接する樹木など）

低速衝突軽減ブレーキ機能について

- ブレーキ制御が作動したあと、再び同じ障害物に近づいても作動しません。
- 次の場合は作動しません。
 - シフトポジションが**D**、**B★**、**R**以外のとき
- シフトポジションが**R**のときは、前方の障害物に対しては作動しません。同様に、シフトポジションが**D**または**B★**のときは後方の障害物に対して作動しません。

踏み間違い衝突防止アシストの作動が停止するとき

- 次の場合、踏み間違い衝突防止アシスト警告灯 [㊦] が点灯し、作動が停止します。
 - 踏み間違い衝突防止アシストの設定をOFFにしたとき
 - VDCをOFFにしたとき
 - 駐車支援機能（フロントソナー、コーナソナー、リヤソナー）に異常があるとき
- 踏み間違い衝突防止アシストが一時的に作動できなくなったときは、踏み間違い衝突防止アシスト警告灯 [㊦] が点滅します。

システムに異常があると、警告音が鳴るとともに踏み間違い衝突防止アシスト警告灯

運転支援機能

〔 点灯 〕 が点灯し、アドバンスドドライブアシストディスプレイ内に警告が表示され、システムが停止します。

警告灯 (点灯) P.396

警告メッセージ (点灯) P.401

アドバイス

- システムを正しく作動させるためにマルチセンシングフロントカメラ、インテリジェントアラウンドビューモニターカメラ (リアビューカメラ) ★、ソナーはいつもきれいにしておいてください。各センサー、カメラ類の取り扱いについては [マルチセンシングフロントカメラの取り扱い \(P.458\)](#)、[リアビューカメラの取り扱い \(P.459\)](#)、[ソナーの取り扱い \(P.459\)](#) をお読みください。

- 踏み間違い衝突防止アシスト警告灯〔 点灯 〕 が点灯したときは、安全な場所に停車し、一度EVシステムを停止してから再始動してください。

上記の操作をしても、警告灯が点灯し続けるときはシステムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

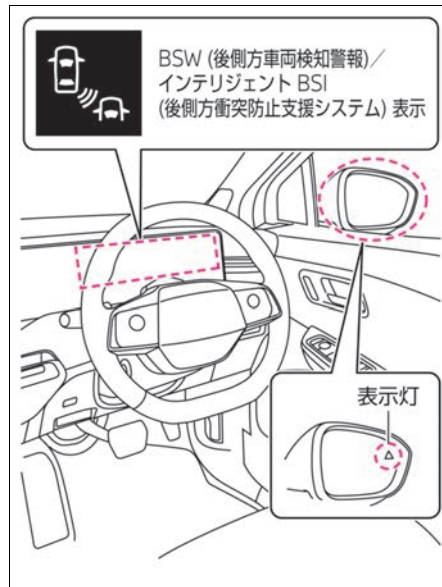
警告灯 (点灯) P.396

BSW (後側方車両検知警報) / インテリジェント BSI (後側方衝突防止支援システム)

BSW (後側方車両検知警報) は、車線変更をするとき、隣車線に車両がいる場合に警報によって運転者に注意を促します。

インテリジェント BSI (後側方衝突防止支援システム) は、隣車線に車両がいるときに運転者が車線変更を開始した場合、警報とともに車両を元の車線内に戻す方向に力を発生させ、隣接車両との接触を回避するよう支援します。

システムに関連する表示とスイッチ



警告

- 機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。

警告

BSW（後側方車両検知警報）およびインテリジェントBSI（後側方衝突防止支援システム）は、ドアミラーによる周囲の検知を代わりに行ったり、車両や障害物との接触を防いだりする機能ではありません。車線変更を行うときは、機能に頼った確認をせず、必ずドアミラーおよびルームミラーで側方および後方の安全を確認してください。

- レーダーやマルチセンシングフロントカメラの性能には限界があるため、システムだけに頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。

詳細については、各検知条件と制限をお読みください。

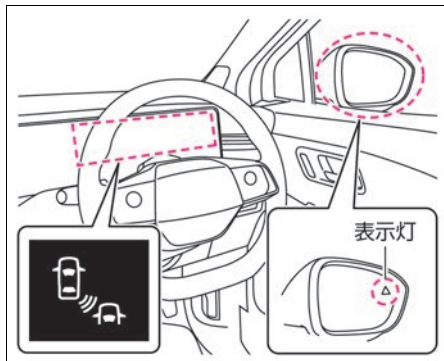
➡ レーダーセンサーの検知条件と制限 (P.220)

➡ マルチセンシングフロントカメラの検知条件と制限 (P.220)

BSW（後側方車両検知警報）について

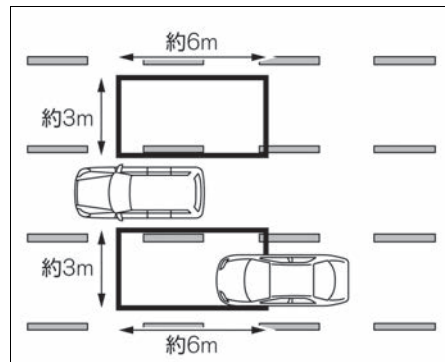
- 車両後部のレーダーセンサーにより隣車線の車両を検知します。
- 車速約30km/h以上で作動します。
- レーダーセンサーにより隣車線の車両を検知すると、検知した側のドアミラー鏡面の表示灯が点灯します。
- 隣車線の車両を検知しているときに、検知している側に方向指示器を作動させると、警報音（ブザー）とともにアドバ

ンスドドライブアシストディスプレイのBSW（後側方車両検知警報）表示と、ドアミラー鏡面の表示灯が点滅します。



検知範囲について

- レーダーセンサーは、自車の左右にある検知範囲にいる車両を検知します。
- 検知範囲は、自車のドアミラーから後方に約6m、車両の側面から横方向に約3mです。

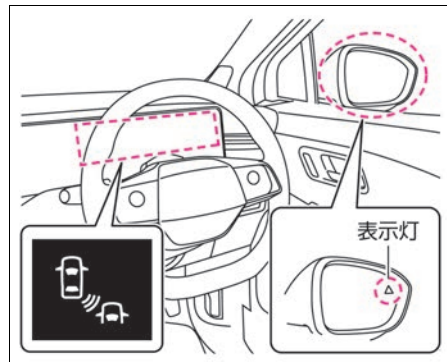


- ドアミラー鏡面の表示灯は＜パワースイッチ＞をONにすると点灯し、数秒後に消灯します。
- ドアミラー鏡面の表示灯の明るさは車両周囲の明るさによって切り替わります。
- 方向指示器が作動しているときに、レーダーセンサーにより隣車線の車両を検知した場合には、表示灯は点滅しますが警報音（ブザー）は鳴りません。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイを「運転支援」に切り替えると、BSW（後側方車両検知警報）の作動状態をアドバンスドドライブアシストディスプレイ内で確認することができます。詳しくは、➡ アドバンスドドライブアシストディスプレイとは（メインメニュー） (P.97)をお読みください。

インテリジェントBSI（後側方衝突防止支援システム）について

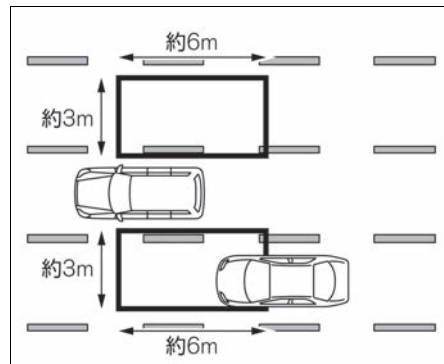
- 車両後部のレーダーセンサーにより隣車線の車両を検知します。また、フロントガラス上部に取り付けられたカメラを使用し、走行している車線のレーンマーカーを検知します。
- 約60km/h以上で走行中に隣車線の車両を検知しているとき、検知している側のレーンマーカーに自車が接近すると、警報音（ブザー）とともにアドバンスドドライブアシストディスプレイのインテリジェントBSI（後側方衝突防止支援システム）表示と、ドアミラー鏡面の表示灯が点滅します。車両をもとの車線に戻す方向に制動力を短時間発生させ、ステアリングを制御し、自車をもとの車線に戻す操作を促します。

レーンマーカーとは、車線の右側もしくは左側に引かれた線のことを示します。



検知範囲について

- レーダーセンサーは、自車の左右にある検知範囲にいる車両を検知します。
- 検知範囲は、自車のドアミラーから後方に約6m、車両の側面から横方向に約3mです。



- あらかじめ表示灯が点灯した状態で自車がレーンマーカーに接近すると、警報とステアリング制御の両方が作動します。ただし、自車がレーンマーカーと交差してから検知範囲に車両が入ってきたときは、警報とステアリング制御は作動しません。
- インテリジェントBSI（後側方衝突防止支援システム）は、インテリジェントLI（車線逸脱防止支援システム）よりも先に作動します。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイを「運転支援」に切り替えると、インテリジェントBSI（後側方衝突防止支援システム）の作動状態をアドバンスド

ドライブアシストディスプレイ内で確認することができます。

詳しくは、**④アドバンスドドライブアシストディスプレイとは（メインメニュー）**（P.97）をお読みください。

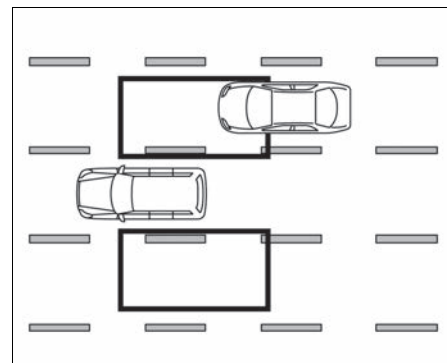
作動するとき・しないとき

⚠ 注意

- 車線変更を行うときは、必ずドアミラーおよびルームミラーを使用して周囲の安全を確認する。
自車より極端に速い速度で接近してくる車両は検知できないことがあります。

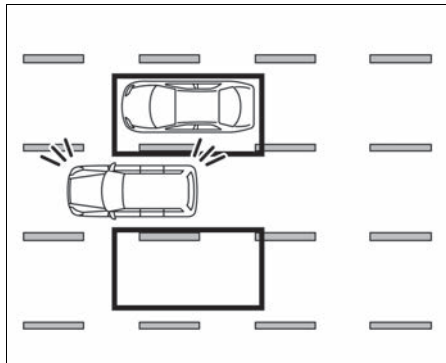
後方から車両が接近してくるとき

- 後方から車両が接近してくる場合、その車両が検知範囲に入るとドアミラー鏡面の表示灯が点灯します。



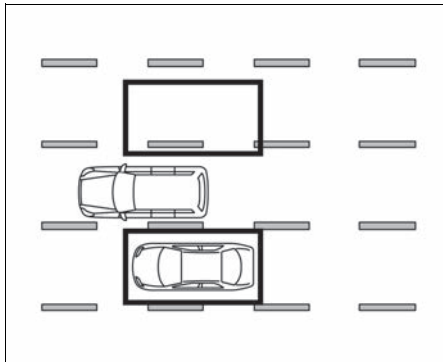
運転支援機能

- 車両を検知しているときに、検知している側に方向指示器を作動させると警報音（ブザー）が鳴るとともに、BSW（後側方車両検知警報）／インテリジェントBSI（後側方衝突防止支援システム）表示とドアミラー鏡面の表示灯が点滅します。



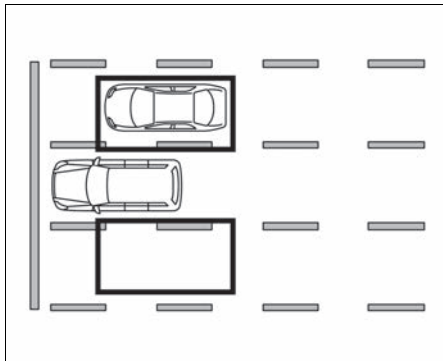
- 方向指示器を作動させた後に、検知範囲に車両が入ってきたときは、BSW（後側方車両検知警報）／インテリジェントBSI（後側方衝突防止支援システム）表示とドアミラー鏡面の表示灯は点滅しますが警報音（ブザー）は鳴りません。
- 自車がレーンマーカーと交差してから検知範囲に車両が入ってきたときは、警報とステアリング制御は作動しません。
- 車両を検知しているときに、検知している側のレーンマーカーに接近すると、警報音（ブザー）が鳴るとともにBSW（後側方車両検知警報）／インテリジェントBSI（後側方衝突防止支援システム）表

示とドアミラー鏡面の表示灯が点滅します。同時にステアリングを制御し、車両を車線内に戻す操作を支援します。



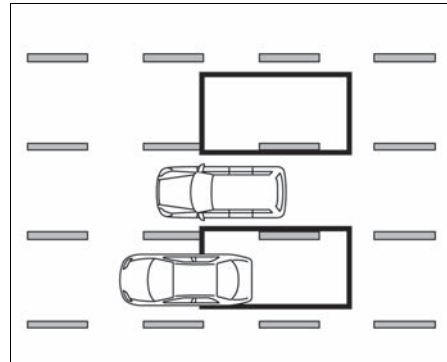
発進するとき

- 停車状態から検知範囲に居続ける車両は検知できないことがあります。

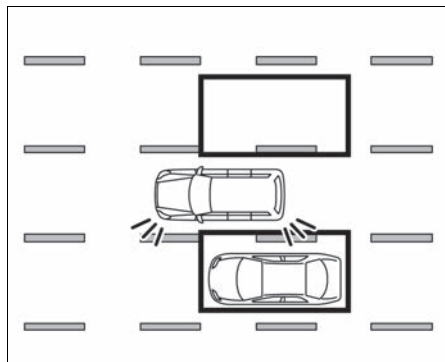


他の車両を追い越すとき

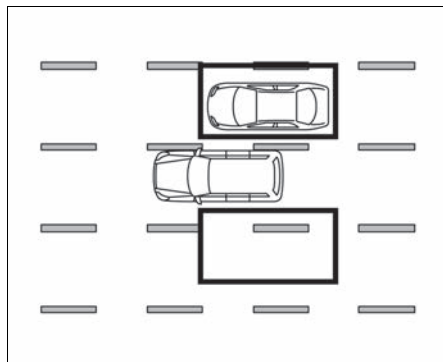
- 他の車両を追い越すとき、追い越される車両が検知範囲に2秒以上とどまるとドアミラー鏡面の表示灯が点灯します。



- 車両を検知し表示灯が点灯しているときに、検知している側に方向指示器を作動させると警報音（ブザー）が鳴るとともに、BSW（後側方車両検知警報）／インテリジェントBSI（後側方衝突防止支援システム）表示とドアミラー鏡面の表示灯が点滅します。

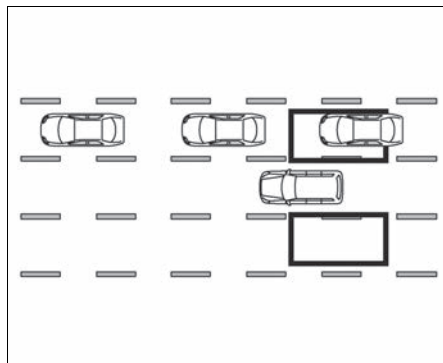


- 速度の遅い車両をすばやく追い越したときはシステムが検知しません。
- 車両を検知しているときに、検知している側のレーンマーカーに接近すると、警報音（ブザー）が鳴るとともにBSW（後側方車両検知警報）／インテリジェントBSI（後側方衝突防止支援システム）表示とドアミラー鏡面の表示灯が点滅します。同時にステアリングを制御し、車両を車線内に戻す操作を支援します。



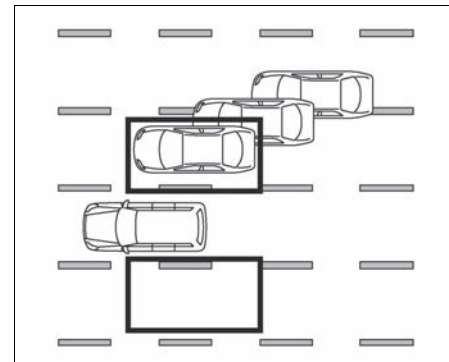
他の車両に追い越されるとき

- 複数の車両に連続して追い越されるとき、追い越す車両の車間距離が短い場合は、2台目以降が検出されないことがあります。

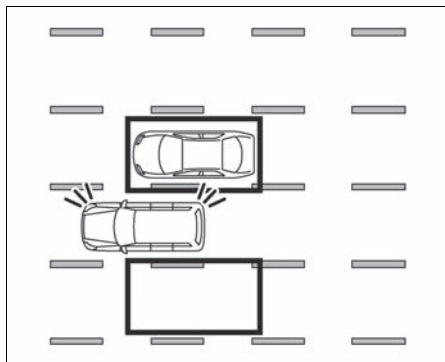


他の車線から車両が接近してきたとき

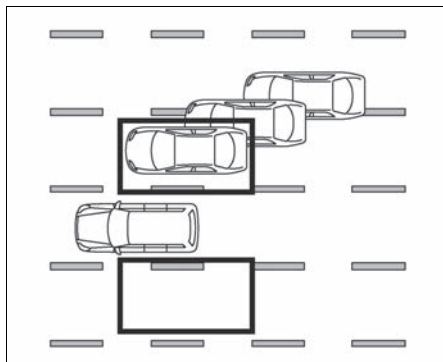
- 車線変更などで車両が接近してきたときは、その車両が検知範囲に入るとドアミラー鏡面の表示灯が点灯します。



- 車両を検知しているときに、検知している側に方向指示器を作動させると警報音（ブザー）が鳴るとともに、BSW（後側方車両検知警報）／インテリジェントBSI（後側方衝突防止支援システム）表示とドアミラー鏡面の表示灯が点滅します。

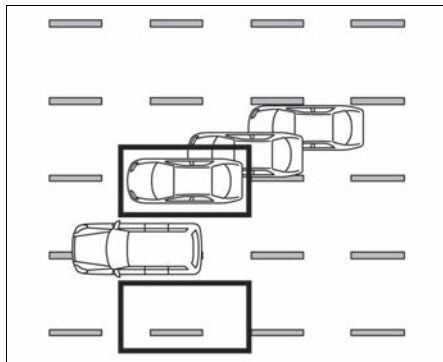


- 自車とほぼ同じ速度で走行する車両が車線変更してきた場合、検出できないことがあります。
- 方向指示器を作動させた後に、検知範囲に車両が入ってきたときは、BSW（後側方車両検知警報）／インテリジェントBSI（後側方衝突防止支援システム）表示とドアミラー鏡面の表示灯は点滅しますが警報音（ブザー）は鳴りません。
- 車両を検知しているときに、検知している側のレーンマーカーに接近すると、警報音（ブザー）が鳴るとともにBSW（後側方車両検知警報）／インテリジェントBSI（後側方衝突防止支援システム）表示とドアミラー鏡面の表示灯が点滅します。同時にステアリングを制御し、車両を車線内に戻す操作を支援します。



自車がレーンマーカーの上を走行しているとき

- 検知範囲に車両が入ってもインテリジェントBSI（後側方衝突防止支援システム）は作動しません。この場合、BSW（後側方車両検知警報）のみが作動します。



BSW（後側方車両検知警報）／インテリジェントBSI（後側方衝突防止支援システム）の使いかた

BSW（後側方車両検知警報）

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [⚙] ⇒ [運転支援] ⇒ [後側方支援] ⇒ [後側方車両検知警報] を選択すると、BSW（後側方車両検知警報）機能のON・OFFを切り替えることができます。設定の詳細については、運転支援をお読みください。

➡ アドバンスドドライブアシストディスプレイとは（メインメニュー）（P.97）

➡ 運転支援（P.113）

インテリジェントBSI（後側方衝突防止支援システム）

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [⚙] ⇒ [運転支援] ⇒ [後側方支援] ⇒ [後側方衝突防止支援] を選択すると、システムがONになります。

➡ アドバンスドドライブアシストディスプレイとは（メインメニュー）（P.97）

➡ 運転支援（P.113）

- アドバンスドドライブアシストディスプレイのON・OFF設定は、＜パワースイッチ＞を停止しても再度設定を変更するまでその状態が維持されます。

BSW（後側方車両検知警報）／インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）に関する注意事項

⚠ 警告

- 次のような状況では、思わぬ事故につながるおそれがあるためインテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）を使用しないでください。

- 悪天候（雨、雪、霧など）のとき
- 凍結路や積雪路など滑りやすい路面を走行するとき
- 急なカーブ、急な上り坂・下り坂が繰り返されるとき
- 工事中の道路や車線規制がある道路を走行するとき
- 車線の幅が狭い道路を走行するとき
- 摩耗しているタイヤ、空気圧不足のタイヤ、スペアタイヤ、タイヤチェーンを装着しているときや、日産純正品もしくは日産販売会社で購入したタイヤ以外のタイヤを使用しているとき
- 日産純正品以外のステアリング部品、ブレーキ部品、サスペンション部品を使用しているとき

- 次のような車両は、正確に検知できず、システムが正しく作動しないおそれがあります。

- 背の低い車両や、オートバイなどの幅の狭い車両

- 停車状態から検知範囲に居続ける車両
- 後方から速い速度で接近してくる車両
- 自車が速い速度で追い越した車両
- 合流や車線変更で自車の横にほぼ同じ速度で移動してきた車両

- 次のような状況では、隣の車線の車両を検知できないことがあります。

- 放送局・レーダー搭載車両など周辺の電波源により影響を受けているとき
- 車線の幅が極端に広い道路を運転しているとき
- 悪天候（雨、雪、霧など）で視界が悪いとき
- 水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
- 雪や氷、泥などがレーダーセンサー周辺に付着しているとき

- 次のような状況では、レーンマーカを正確に検出できず、適切な作動ができない場合があります。

- 検出しにくいレーンマーカ（不明瞭なレーンマーカ、黄色のレーンマーカ、一般的でないレーンマーカ、水たまり・汚れ・雪などで隠れているレーンマーカ）がある道路を走行するとき
- 急なカーブのある道路を走行するとき

- 消されたレーンマーカがまだ見えている道路を走行するとき
- 道路上に影、雪、水たまり、わだち、道路のつなぎ目、線状の補修痕などがあるとき（これらのものをレーンマーカとして検出して警報したり、制御したりする場合があります）

- 車線の分岐・合流のある道路を走行したとき

- 自車がレーンマーカに対してまっすぐに走行していないとき

- 先行車との車間距離が短く、マルチセンシングフロントカメラの検出範囲が遮られるとき

- 雨、雪、汚れなどがフロントガラスに付着しているとき

- 汚れなどでヘッドランプの明るさが不十分なときやヘッドランプの光軸調整が適切に行われていないとき

- 前方から強い光（太陽光など）を受けているとき

- 急な明るさの変化が起こったとき（トンネルの出入り口など）

- レーダーセンサー周辺へのステッカー（透明なものを含む）の貼り付け、アクセサリ類の取り付け、追加の塗装をしないでください。

車両を検知する性能が低下するおそれがあります。

⚠ 注意

- レーダーセンサーは次のような障害物は検知しません。

- 歩行者、自転車、動物など
- 対向車

- 車線の幅が極端に広い道路を運転する場合、隣車線の車両を検知できないことがあります。また、車線の幅が極端に狭い道路を運転する場合、2つ隣の車線にいる車両を検知することがあります。
- レーダーセンサーは、状況によりガードレール、壁、植物、駐車された車両など停止している障害物を検知してしまふことがあります。
- 次の場合はステアリング制御を行いません。
 - 大きな減速が車にかかったとき
 - すばやいハンドル操作を行ったとき
 - インテリジェント クルーズコントロールの接近警報が鳴っているとき
 - インテリジェント エマージェンシーブレーキが作動しているとき
 - 非常点滅表示灯を作動させているとき
 - カーブでスピードを出して走行しているとき
- ステアリング制御しているとき、運転者がアクセルペダルを踏み増すとステアリング制御を中止します。

🚗 アドバイス

- 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。

BSW（後側方車両検知警報）の作動が停止するとき

🚗 アドバイス

- レーダーセンサーの周辺が汚れているときは安全な場所に停車し、レーダーセンサー周辺の汚れなどを取り除いてからEVシステムを再始動してください。レーダーセンサーの取り扱いについては、(🔍 P.458)をお読みください。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示されたときは、安全な場所に停車し、一度EVシステムを停止してから再始動してください。
EVシステム再始動後も表示され続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。
- 次の場合はアドバンスドドライブアシストディスプレイに「フロントレーダー及びその周辺が汚れています 拭いてください」と警告が表示され、一時的にシステムが停止します。
 - レーダーセンサーが汚れているとき
 - レーダーセンサーに雨、雪、氷などが付着しているとき
- システムに異常があると、アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示され、システムが停止します。
警告メッセージ (🔍 P.401)

インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）の作動が停止するとき

- 次の場合は「ポー」という警報音（ブザー）とともにアドバンスドドライブアシストディスプレイに「作動範囲外のため現在使用できません」と警告が表示され、作動を解除します。
 - VDCをOFFにしたとき
 再度、システムを作動させる場合は、解除されたときの状態が改善されてから一度「プロパイロットスイッチ」をOFFにし、再度インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）をONにしてください。
- 炎天下に駐車したときなど、マルチセンシングフロントカメラが高温になったときは、「ポー」という警報音（ブザー）とともにアドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示され、作動を解除します。再度、システムを作動させる場合は、車室内の温度が下がってから再びシステムをONにしてください。
- 次の場合は「ポー」という警報音（ブザー）とともにアドバンスドドライブアシストディスプレイに「サイドレーダー及びその周辺が汚れています 拭いてください」と警告が表示され、システムが停止します。
 - サイドレーダー周辺が汚れているとき
 - サイドレーダー周辺に雨、雪、氷などが付着しているとき
- システムに異常があると、警報音（ブザー）が鳴るとともにアドバンスドドライブアシストディスプレイに「システム

運転支援機能

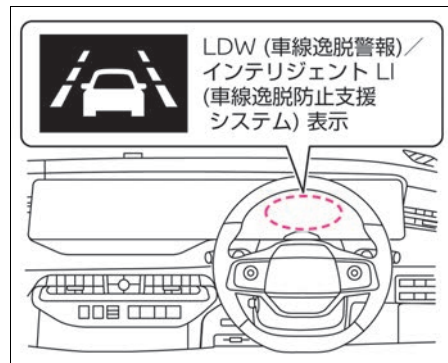
故障 取扱説明書を見てください] およ
び、インテリジェント BSI (後側方衝突
防止支援システム) 表示がオレンジ色に
点灯し、作動が停止します。

LDW (車線逸脱警報) / インテリ ジェント Li (車線逸脱防止支援シ ステム)

LDW (車線逸脱警報) は、運転者が意図せ
ず走行車線から逸脱しそうなとき、警報に
よって注意を促します。

インテリジェント Li (車線逸脱防止支援シ
ステム) は、運転者が意図せず走行車線か
ら逸脱しそうなとき、運転者が車線内に戻
す操作を支援します。

システムに関連する表示とスイッチ



⚠ 警告

- 機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。

LDW (車線逸脱警報) / インテリ
ジェント Li (車線逸脱防止支援シス
テム) は、脇見運転やぼんやり運転
などの前方不注意および雨、霧など
の視界不良による危険を回避するも
のではありません。周囲の状況に応
じてハンドル操作を行い、常に安全
運転を心がけてください。

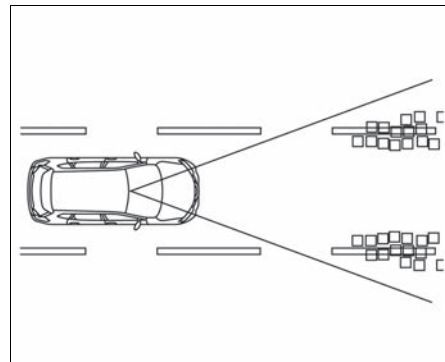
- マルチセンシングフロントカメラの性能には限界があるため、システムだけに頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。詳細については、検知条件と制限をお読みください。

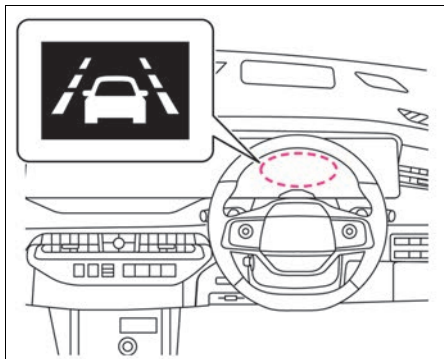
➡ マルチセンシングフロントカメラ
の検知条件と制限 (P.220)

LDW (車線逸脱警報) について

- フロントガラス上部のマルチセンシングフロントカメラにより走行車線のレーンマーカーを検知します。
- 車速約60km/h以上で作動します。
- 走行車線の右側もしくは、左側のレーンマーカーに近づいたと判断すると、ハンドルの振動とともにLDW (車線逸脱警報) 表示がオレンジ色に点滅し、運転者に注意を促します。
レーンマーカーとは、走行車線の右側もしくは左側に引かれた線のことをいいます。

- 車両の移動する方向に方向指示器を作動させている場合は警報を行いません。(方向指示器を解除したあと、約2秒間は警報を行いません)
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [⚙] ⇒ [運転支援] ⇒ [側方支援] ⇒ [ステア振動] を選択すると、LDW (車線逸脱警報) 作動時のステアリングホイール (ハンドル) 振動を調節することができます。





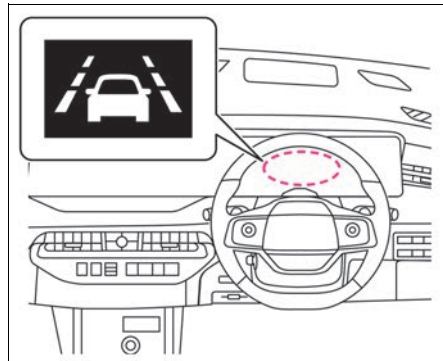
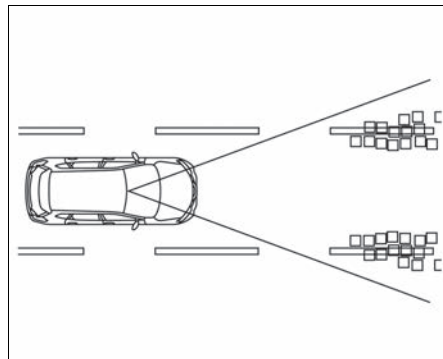
- アドバンスドドライブアシストディスプレイを運転支援に切り替えると、LDW（車線逸脱警報）の設定状態をアドバンスドドライブアシストディスプレイ内で確認することができます。
詳しくは、アドバンスドドライブアシストディスプレイとは（メインメニュー）（P.97）をお読みください。

インテリジェントL（車線逸脱防止支援システム）について

- フロントガラス上部のマルチセンシングフロントカメラにより走行車線のレーンマーカーを検知します。
- 車速が約60km/h以上で作動します。
- 走行車線の右側もしくは、左側のレーンマーカーに近づいたと判断すると、ハンドルの振動とともにインテリジェントL（車線逸脱防止支援システム）表示がオレ

ンジ色に点滅し、運転者に注意を促します。
同時にステアリングを短時間制御し、車両を車線内に戻す操作を支援します。
レーンマーカーとは、走行車線の右側もしくは、左側に引かれた線のことを示します。

- 車両の移動する方向に方向指示器を使用している場合は、警報もステアリング制御も行いません。（方向指示器を解除したあと、約2秒間は作動しません。）
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [⚙] ⇒ [運転支援] ⇒ [側方支援] ⇒ [ステア振動] を選択すると、インテリジェントL（車線逸脱防止支援システム）作動時のステアリングホイール（ハンドル）振動を調節することができます。
設定の詳細については、運転支援（P.113）をお読みください。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [⚙] ⇒ [運転支援] ⇒ [側方支援] ⇒ [警報感度] を選択すると、インテリジェントL（車線逸脱防止支援システム）作動時の感度を調節することができます。
一推奨値：標準
設定の詳細については、運転支援（P.113）をお読みください。



- アドバンスドドライブアシストディスプレイを運転支援に切り替えると、インテリジェントL（車線逸脱防止支援システム）の作動状態をアドバンスドドライブアシストディスプレイ内で確認することができます。
詳しくは、アドバンスドドライブアシストディスプレイとは（メインメニュー）（P.97）をお読みください。

- インテリジェント L (車線逸脱防止支援システム) によるステアリング制御中に、ハンドル操作をしなかったり、ハンドルをしっかり握っていない状態だとシステムが判断したうえで連続して制御が作動した場合は警報音 (ブザー) が鳴り、作動回数が増えるごとに警報音 (ブザー) の継続時間が長くなります。ハンドルを操作したとシステムが判断しても一定時間警報ブザーが鳴り続けます。

ON・OFFのしかた

■ LDW (車線逸脱警報)

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [] ⇒ [運転支援] ⇒ [側方支援] ⇒ [車線逸脱警報] を選択すると、LDW (車線逸脱警報) 機能のON・OFFを切り替えることができます。設定の詳細については、運転支援をお読みください。

➡ アドバンスドドライブアシストディスプレイとは (メインメニュー) (P.97)

➡ 運転支援 (P.113)

■ インテリジェント L (車線逸脱防止支援システム)

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [] ⇒ [運転支援] ⇒ [側方支援] ⇒ [車線逸脱防止支援] を選択すると、インテリジェント L (車線逸脱防止支援システム) のON・OFFを切り替えることができます。

設定の詳細については、運転支援をお読みください。

➡ アドバンスドドライブアシストディスプレイとは (メインメニュー) (P.97)

➡ 運転支援 (P.113)

- アドバンスドドライブアシストディスプレイのON・OFF設定は、EVシステムを停止しても再度設定を変更するまでその状態が維持されます。

LDW (車線逸脱警報) / インテリジェント L (車線逸脱防止支援システム) に関する注意事項

⚠ 警告

- 次のような状況では、思わぬ事故につながるおそれがあるため、インテリジェント L (車線逸脱防止支援システム) を使用しないでください。

- 悪天候 (雨、雪、霧など) のとき
- 凍結路や積雪路など滑りやすい路面を走行するとき
- 急なカーブ、急な上り坂・下り坂が繰り返されるとき
- 工事中の道路や車線規制がある道路を走行するとき
- 車線の幅が狭い道路を走行するとき

- 摩耗しているタイヤ、空気圧不足のタイヤ、スベアタイヤ、タイヤチェーンを装着しているとき、日産純正品もしくは日産販売会社で購入したタイヤ以外のタイヤを使用しているとき

- 日産純正品以外のステアリング部品、ブレーキ部品、サスペンション部品を使用しているとき

- 次のような状況では、レーンマーカーを正確に検出できず、適切な作動ができない場合があります。

- 検出しにくいレーンマーカー (不明瞭なレーンマーカー、黄色のレーンマーカー、一般的でないレーンマーカー、水たまり・汚れ・雪などで隠れているレーンマーカー) がある道路を走行するとき
- 急なカーブのある道路を走行するとき
- 消されたレーンマーカーがまだ見えている道路を走行するとき
- 道路上に影、雪、水たまり、わだち、道路のつなぎ目、線状の補修痕などがあるとき (これらのものをレーンマーカーとして検出して警報する場合があります)
- 車線の分岐・合流のある道路を走行したとき
- 自車がレーンマーカーに対してまっすぐに走行していないとき
- 先行車との車間距離が短く、カメラの検出範囲が遮られるとき

⚠ 警告

- 雨、雪、汚れなどがフロントガラスに付着しているとき
- 汚れなどでヘッドランプの明るさが不十分なときやヘッドランプの光軸調整が適切に行われていないとき
- 前方から強い光（太陽光など）を受けているとき
- 急な明るさの変化が起こったとき（トンネルの出入り口など）

🚗 アドバイス

- 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。
- 次の場合はステアリング制御を行います。
 - 大きな減速が車にかかったとき
 - すばやいハンドル操作を行ったとき
 - インテリジェント クルーズコントロールの接近警報が鳴っているとき
 - インテリジェント エマージェンシーブレーキが作動しているとき
 - 非常点滅表示灯を作動させているとき
 - カーブでスピードを出して走行しているとき
- ステアリング制御中に、運転者がアクセルペダルを踏み増すとステアリング制御を中止します。

作動が停止するとき

LDW（車線逸脱警報）

- 炎天下に駐車したときなど、カメラが高温になったときは、アドバンスドドライバアシストディスプレイに「カメラが高温のため現在使用できません」と警告が表示され、一時的にシステムが停止します。（車室内の温度が下がると、作動を復帰します）
- システムに異常があると、アドバンスドドライバアシストディスプレイに警告が表示され、システムが停止します。
警告（🔊 P.401）

インテリジェント L（車線逸脱防止支援システム）

- 次の場合は、“ポー”という警報音（ブザー）とともにアドバンスドドライバアシストディスプレイに「作動範囲外のため現在使用できません」と警告が表示され、作動を解除します。
 - VDCをOFFにしたとき
再度、システムを作動させる場合は、解除されたときの状態が改善されてから一度プロパイロットスイッチをOFFにし、再度インテリジェント L（車線逸脱防止支援システム）をONにしてください。
- 炎天下に駐車したときなど、マルチセンシングフロントカメラが高温になったときは、“ポー”という警報音（ブザー）とともにアドバンスドドライバアシストディスプレイに警告が表示され、作動を解除します。再度、システムを作動させ

る場合は、車室内の温度が下がってから再びシステムをONにしてください。

- システムに異常があると、警報音（ブザー）が鳴るとともにアドバンスドドライバアシストディスプレイに「システム故障 取扱説明書を見てください」および、インテリジェント L（車線逸脱防止支援システム）表示がオレンジ色に点灯し、作動が停止します。

🚗 アドバイス

- システムを正しく作動させるためにカメラ前方のフロントガラスはいつもきれいにしておいてください。マルチセンシングフロントカメラの取り扱いについては、（🔊 P.458）をお読みください。
- アドバンスドドライバアシストディスプレイに警告が表示されたときは、安全な場所に停車し、一度EVシステムを停止してから再始動してください。

EVシステム再始動後も警告が表示され続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）

前方を走行する2台前の車両を検知し、急な減速などにより、自車の回避操作が必要と判断した場合には、警報によって運転者に注意を促します。

システムに関する表示

⚠ 警告

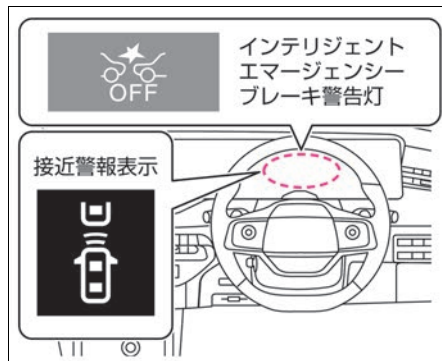
- インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）は前方を走行する2台前の車両の急な減速などを検知したとき運転者に警報を行います。衝突を回避する機能はありません。
- インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）は脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意および雨、霧などの視界不良による危険を回避するものではありません。

前方の車両との車間距離、周囲の状況に応じてブレーキペダルを踏んで減速するなどして車間距離を確保し、安全運転を心がけてください。

- レーダーの性能には限界があるため、システムだけに頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。詳細については、検知条件と制限をお読みください。

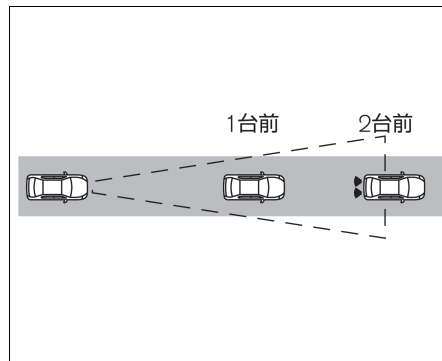
➡ レーダーセンサーの検知条件と制限 (P.220)

- プロパイロット2.0付車はインテリジェント FCW（前方衝突予測警報）が作動すると、ヘッドアップディスプレイ★にも警告表示が表示されます。



インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）について

- インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）は車速が約5km/h以上で作動します。
- 車両前部に取り付けられたレーダーセンサーにより前方の2台前の車両との距離を計測します。
- 自車の回避操作が必要と判断すると、アドバンスドドライブアシストディスプレイの接近警報表示がオレンジ色に点滅するとともに警報音（ブザー）を鳴らして、運転者に注意を促します。



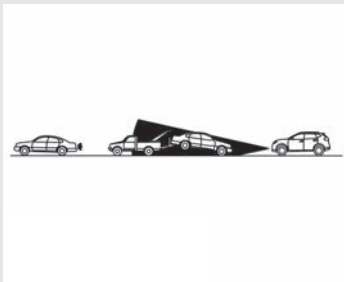
- インテリジェント エマージェンシーブレーキのON・OFFを切り替えると、インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）も連動してON・OFFされます。
➡ インテリジェント エマージェンシーブレーキ (P.261)

インテリジェントFCW（前方衝突予測警報）に関する注意事項

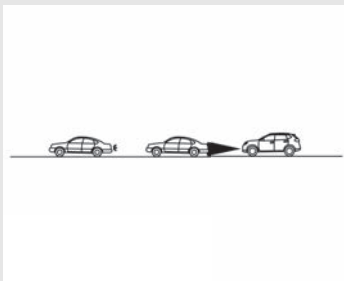
⚠ 警告

- 次のような障害物は検知しません。
 - 歩行者、自転車、動物、道路上に落ちている障害物
 - 対向車
 - 前方を横切って通過する車両
- 次のような場合は、前方の2台前の車両を検知できないことがあります。
 - 悪天候（雨、雪、霧など）で視界が悪いとき
 - 前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
 - 雪や氷、泥などがレーダーセンサー周辺に付着しているとき
 - 放送局など周辺の電波源により影響を受けているとき
 - トンネル内を走行しているとき

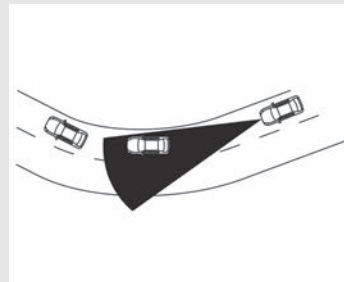
- 前方の車両がけん引を行っているとき



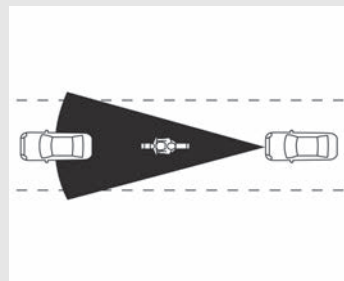
- 前方の車両との距離が極端に近いとき



- 急なカーブや、勾配の変化があるところを走行しているとき



- 前方の車両がオートバイのような幅の狭い車両のときは、前方の車両を検知できず、インテリジェントFCW（前方衝突予測警報）は警報を行わないことがあります。



- 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。

インテリジェントFCW（前方衝突予測警報）の作動が停止するとき

アドバイス

- インテリジェント エマージェンシーブレーキをONにできない、または警告灯が点灯したときは、安全な場所に停車し、一度EVシステムを停止してから再始動してください。上記の操作をしても、警告灯が点灯し続けるときはシステムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

警告灯 (P.395)

- レーダーセンサーの周辺が汚れているときは安全な場所に停車し、レーダーセンサー周辺の汚れなどを取り除いてからEVシステムを再始動してください。レーダーセンサーの取り扱いについては、(P.458)をお読みください。

- 次の場合、インテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯 [] が点灯し、作動が停止します。
 - ー インテリジェント エマージェンシーブレーキの設定をOFFにしたとき
 - ー インテリジェント エマージェンシーブレーキが異常により作動を停止したとき
- 次の場合、インテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯 [] が点灯するとともに、アドバンスドドライブアシ

☆/★：車両型式、オプションなどで異なる装備

ストディスプレイに警告を表示し、システムが一時的に作動しなくなります。

- ー フロントガラスの汚れなどにより、カメラの前方視界が遮蔽されていると判断したとき
 - ー 前方からの強い光により、カメラが前方を認識できなくなったとき
 - ー 炎天下に駐車したときなど、カメラが高温になったとき（車室内の温度が下がると、作動を復帰します）
 - ー 悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）で視界が悪いとき
- システムが停止したときの状態が改善されると、自動的に作動を再開します。

- ー 周辺の電波源の影響を受けているとき
- ー 車両前部に取り付けられたレーダーセンサー周辺に雪や氷、泥などが付着しているとき

上記警告が表示されたときは、安全な場所に停車し、一度EVシステムを停止してからレーダーセンサーおよびその周辺の汚れを取り除き、EVシステムを再始動してください。

- ー 道路形状や周辺の建造物により、レーダーセンサーが先行車を正確に検知できないとき（例：長い橋、雪原、長い壁の横など）
- 上記の状況から離れるとシステムは自動的に作動を再開します。
- ー 夜間やトンネル内などでヘッドランプを点灯せず、真っ暗な状態が継続したとき

- システムに異常があると、警報音（ブザー）が鳴るとともにインテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯 [] が点灯し、アドバンスドドライブアシ

ストディスプレイ内に警告が表示され、システムが停止します。

上記警告が表示されたときは、安全な場所に停車し、一度EVシステムを停止してから再始動してください。

RCTA（後退時車両検知警報）

RCTA（後退時車両検知警報）は、後退時に後方を横切ろうと接近する車両を検知した場合、警報によって運転者に注意を促します。

システムに関連する表示

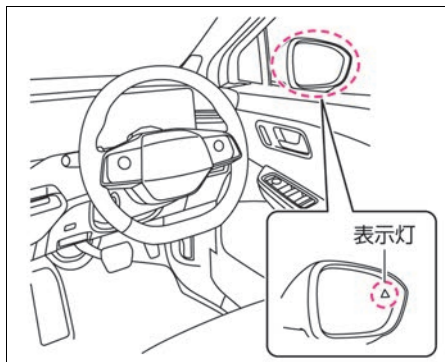
警告

- 機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。

RCTA（後退時車両検知警報）は、運転者の代わりに周囲を確認したり、車両と障害物との接触を防いだりする機能ではありません。駐車スペースから後退するときは、機能に頼らず、必ず運転者自身で周囲の安全を確認してください。

- レーダーの性能には限界があるため、システムだけに頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。詳細については、検知条件と制限をお読みください。

 レーダーセンサーの検知条件と制限 (P.220)

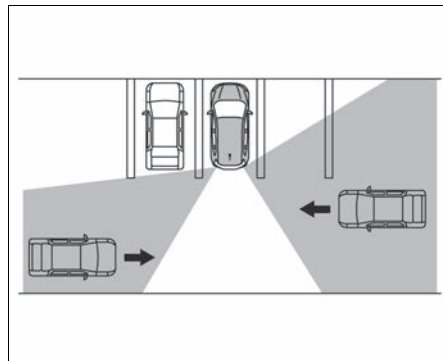


RCTA（後退時車両検知警報）について

- 車両後部のレーダーセンサーにより後方を横切ろうとする車両を検知します。
- シフトポジションが **R** で、車速約8km/h以下のとき作動します。
- レーダーセンサーにより後方を横切ろうとする車両を検知すると、警報音（ブザー）とともに検知した側のドアミラー鏡面の表示灯が点滅します。
- RCTA（後退時車両検知警報）の設定をOFFにしているときにシフトポジションを **R** にすると、アドバンスドドライブアシストディスプレイに「システムOFF」と表示されます。
- RCTA（後退時車両検知警報）が作動しているときは、インテリジェントアラウンドビューモニター画面に黄色枠が表示されます。

検知範囲について

- レーダーセンサーは、約20m先から近づくてくる車両を検知します。



- ドアミラー鏡面の表示灯は＜パワースイッチ＞をONにすると点灯し、数秒後に消灯します。
- ドアミラー鏡面の表示灯の明るさは車両周囲の明るさによって切り替わります。

RCTA（後退時車両検知警報）の使いかた

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [] ⇒ [運転支援] ⇒ [駐車支援] ⇒ [後退時車両検知警報] を選択すると、RCTA（後退時車両検知警報）機能のON・OFFを切り替えることができます。

設定の詳細については、運転支援をお読みください。

➡ アドバンスドドライブアシストディスプレイとは（メインメニュー）（P.97）

➡ 運転支援（P.113）

- 設定は、EVシステムを再始動しても維持されます。

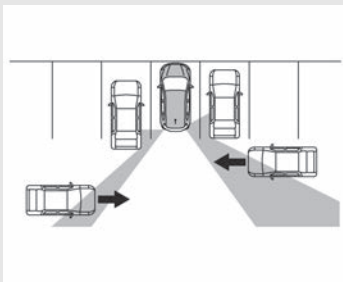
RCTA（後退時車両検知警報）に関する注意事項

⚠ 警告

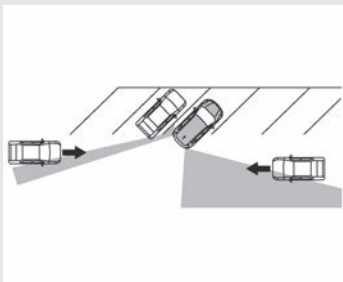
- 後退する前に、必ず目視で周囲の状況を確認してください。レーダーセンサーは接近している（動いている）車両を検知します。次のようなものは検知できないことがあります。
 - － 歩行者、自転車、動物、児童用の玩具の車など
 - － 約30km/h以上の速度で通過する車両
 - － 約8km/h以下の速度で通過する車両
- 次のような状況では、レーダーセンサーが接近する車両を検知できないことがあります。

⚠ 警告

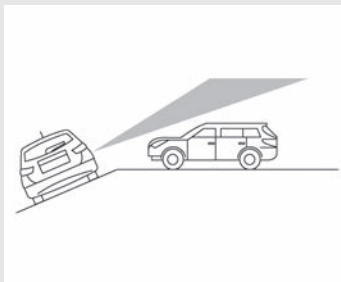
- 隣に駐車している車両などが、レーダーセンサーの検出エリアを妨げているとき



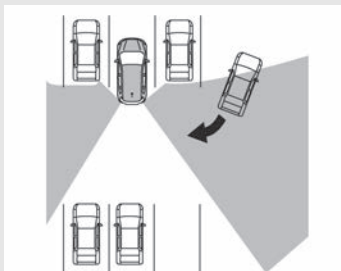
- 駐車枠線が斜めに引かれた駐車場に駐車しているとき



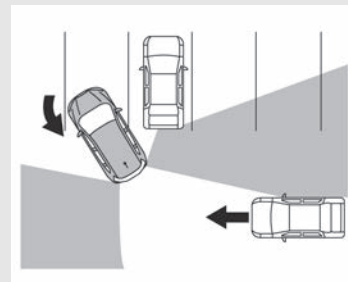
- 傾斜した地面に駐車しているとき



- 回り込むようにして自車後方へ車両が接近してきたとき



- 接近してきた車両の向きが、自車の向きと同じまたはそれに近いとき



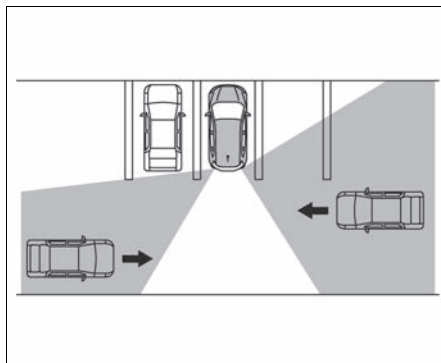
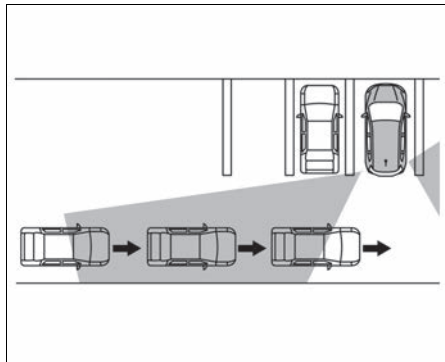
- 次のような場合は、思わぬ事故につながるおそれがあるため、システムを使用しないでください。
 - 悪天候（雨、雪、霧など）で視界が悪いとき
 - 放送局・レーダー搭載車両など周辺の電波源により影響を受けているとき
 - 水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
 - 雪や氷、泥などがレーダーセンサー付近に付着しているとき
- レーダーセンサーは静止している障害物を検知しないように設計されていますが状況によっては、ガードレール、壁、駐車された車両などを検知してしまうことがあります。
- 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。

⚠ 警告

- レーダーセンサー周辺へのステッカー（透明なものを含む）の貼り付け、アクセサリ類の取り付け、追加の塗装をしないでください。

車両を検知する性能が低下するおそれがあります。

- 複数の車両が連続して後方を通過する場合や、最初に検知した車両と逆方向から車両が接近してきた場合、2台目以降に対して警報が作動しない場合があります。



RCTA（後退時車両検知警報）の作動が停止するとき

- 次の場合はアドバンスドドライブアシストディスプレイに「サイドレーダー及びその周辺が汚れています 拭いてください」と警告が表示され、一時的にシステムが停止します。
 - ー レーダーセンサーが汚れているとき
 - ー レーダーセンサーに雨、雪、氷などが付着しているとき
- システムに異常があると、アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示され、システムが停止します。
警告メッセージ（🔊 P.401）

🚗 アドバイス

- レーダーセンサー周辺が汚れているときは安全な場所に停車し、レーダーセンサー周辺の汚れなどを取り除いてからEVシステムを再始動してください。レーダーセンサーの取り扱いについては、（🔊 P.458）をお読みください。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示されたときは、安全な場所に停車し、一度EVシステムを停止してから再始動してください。

EVシステム再始動後も表示され続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

インテリジェント DA（ふらつき警報）

インテリジェント DA（ふらつき警報）は、ハンドル操作から運転者の注意力が低下していると判断したときに、アドバンスドドライブアシストディスプレイの表示と警報音（ブザー）により運転者に休憩を促します。

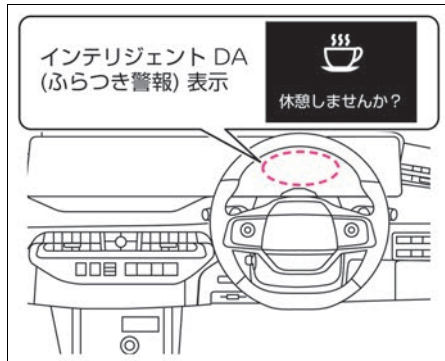
システムに関連する表示

⚠ 警告

- 機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。

⚠ 警告

このシステムは疲労時の運転を補助するものではありません。疲労時の運転は重大な事故にいたる危険があるため、運転前に十分に休憩をとり、安全運転を心がけてください。



インテリジェント DA (ふらつき警報) について

- 車速約60km/h以上で走行中、運転者のハンドル操作から注意力が低下していると判断したときに、警報音（ブザー）が鳴るとともにアドバンスドドライブアシストディスプレイに「休憩しませんか？」と警告メッセージを表示します。
警告メッセージ (➡ P.403)

インテリジェント DA (ふらつき警報) の停止のしかた

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [⚙] ⇒ [運転支援] ⇒ [ドライバーモニター] ⇒ [ふらつき警報] を選択すると、インテリジェント DA (ふらつき警報) 機能のON・OFFを切り替えることができます。
設定の詳細については、運転支援をお読みください。
- ➡ アドバンスドドライブアシストディスプレイとは (メインメニュー) (P.97)
- ➡ 運転支援 (P.113)
- 設定は、EVシステムを再始動するとONになります。
- プロパイロットのハンドル支援中は、インテリジェント DA (ふらつき警報) のシステムはOFFになります。
- ➡ プロパイロット (P.222)

インテリジェント DA (ふらつき警報) の作動が停止するとき

- システムに異常があると、アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示され、作動が停止します。
警告メッセージ (➡ P.401)



アドバイス

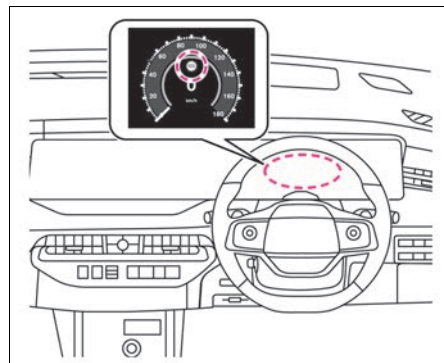
- 安全な場所に停車し、一度EVシステムを停止してから再始動してください。

- 再始動後もメッセージを表示するときは、システムの異常が考えられます。通常走行に支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

標識検知機能

フロントガラス上部にあるマルチセンシングフロントカメラにより標識を検知し、アドバンスドドライブアシストディスプレイに表示します。

システムに関連する表示



⚠ 警告

- 走行中は運転者の責任で実際の標識を確認する。
標識検知機能は、運転者の安全運転を支援する機能です。

⚠ 警告

標識検知機能には限界があり、状況によっては標識を検知できなかったり、実際とは異なる標識を表示したりする場合があります。

運転の際は、必ず運転者の責任で実際の標識を確認してください。

- マルチセンシングフロントカメラの性能には限界があるため、システムだけに頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。詳細については、検知条件と制限をお読みください。

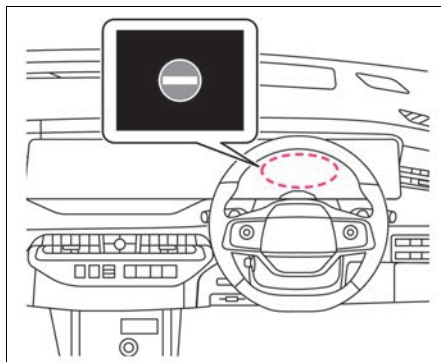
📡 マルチセンシングフロントカメラの検知条件と制限 (P.220)

標識検知機能について

- 標識検知機能には次の機能があります。

進入禁止標識検知

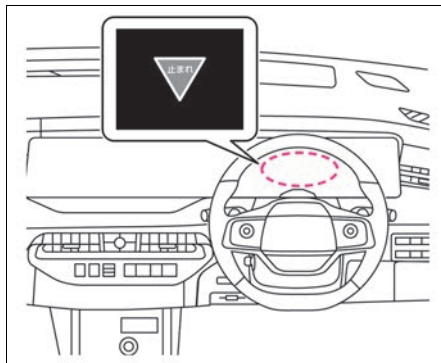
- 前方の車両進入禁止標識を検知し、一方通行路へ進入する可能性がある場合にはアドバンスドドライブアシストディスプレイに警告を表示します。



- 万一、車両進入禁止標識を通過した場合には警報音（ブザー）が鳴ります。

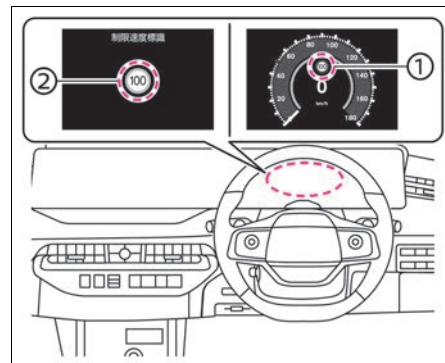
一時停止標識検知

- 前方の一時停止標識を検知した場合には、アドバンスドドライブアシストディスプレイに表示します。



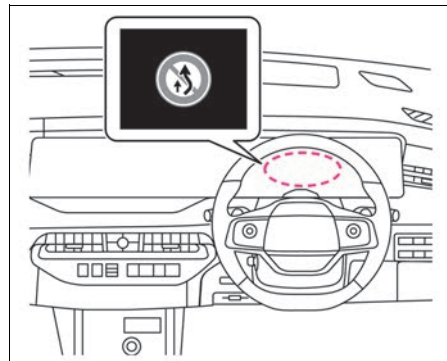
最高速度標識検知

- 前方の最高速度標識を検知した場合には、アドバンスドドライブアシストディスプレイ①、および走行支援グループ②に表示されます。



- 次の場合は、最高速度標識の表示を終了します。
 - 最高速度標識を検知し、車両がその標識を通過してから一定の距離を走行したとき
 - 右左折などで走行している路線が変わったとシステムが判断したとき
- 検知した最高速度標識の速度より実際の車速が高くなった場合は、最高速度標識表示が点滅します。

はみ出し通行禁止標識検知



- 前方のはみ出し通行禁止標識を検知した場合には、アドバンスドドライブアシストディスプレイおよび走行支援グループに表示します。

進入禁止標識／一時停止標識検知の停止のしかた

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [⚙] ⇒ [運転支援] ⇒ [標識検知支援] ⇒ [道路標識] を選択すると、進入禁止標識／一時停止標識検知機能のON・OFFを切り替えることができます。設定の詳細については、運転支援をお読みください。
- ➡ アドバンスドドライブアシストディスプレイとは (メインメニュー) (P.97)
- ➡ 運転支援 (P.113)
- いずれの設定も、EVシステムを再始動しても維持されます。

☆／★：車両型式、オプションなどで異なる装備

最高速度標識検知の停止のしかた

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [⚙] ⇒ [標識検知支援] ⇒ [制限速度標識] を選択すると、最高速度標識、はみ出し通行禁止標識検知機能のON・OFFを切り替えることができます。設定の詳細については、運転支援をお読みください。
- ➡ アドバンスドドライブアシストディスプレイとは (メインメニュー) (P.97)
- ➡ 運転支援 (P.113)
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [⚙] ⇒ [標識検知支援] ⇒ [制限速度警報] を選択すると、制限速度警報のON・OFFを切り替えることができます。

標識検知機能に関する注意事項

⚠ 警告

- 次のような場合は、標識の検知が遅れたり、検知できなかったりすることがあります。
 - 夜間やトンネル内などでヘッドランプを点灯していない、あるいはヘッドランプのレンズが極端に汚れているとき
 - カメラ前方のフロントガラスに汚れ、油膜、水滴、氷、雪、虫汚れなどが付着しカメラの視界が遮られているとき

- カメラ前方のフロントガラスがくもっているとき
- 前方から強い光 (太陽光や対向車のハイビームなど) を受けているとき
- 前方車両から反射した強い光 (太陽光など) を受けているとき
- トンネルの出入り口や日陰など、急に明るさの変化が起こったとき
- 悪天候 (雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など) で視界が悪いとき
- 前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
- 勾配の変化があるところを走行しているとき
- 未舗装路など凹凸のある路面を走行しているとき
- 隣を走る車で視界が遮られているとき
- 標識が曲がり角やカーブの先にあるとき
- 標識の周辺が煩雑で標識を認識しにくいとき
- 標識が自車から遠く離れた位置にあるとき
- 夜間で標識に自車のヘッドランプの光が届きにくい位置にあるとき
- 標識が色あせたり、折れ曲がったりしているとき
- 標識が破損しているなど形状が変わってしまっているとき

警告

- 標識が泥、雪、または霜などで覆われているとき
- 標識の一部が樹木や汚れなどによって隠れて不明瞭なとき
- 標識に光（街灯など）や影が映り込んでいるとき
- 標識が大きすぎたり、小さすぎたりするとき
- 標識が低すぎたり、高すぎたりするとき
- 標識が明るすぎたり、暗すぎたりしたとき
- カメラの向きがずれているとき
- EVシステムを始動してから約15秒間は標識を検知しません
- 次のような場合は、標識の検知が適正に行えず、実際の規制内容とは異なるものを表示したり、実際には対象となる標識がないのに表示したりすることがあります。（最高速度標識においては、実際の最高速度よりも高い数字や、低い数字を表示したりすることがあります）
 - 数字が認識しにくい標識（数字が消えかかっているなど）
 - 検知対象となる標識の色、形に似たものが周辺にある場合（類似の標識、電光掲示板、看板、のぼり旗、構造物、案内標識上の数字など）

- 自車の路線に対しての標識ではないが、自車の路線付近にあり、その標識が自車の路線に向いている場合（本線から分岐する側道の一時的停止標識や最高速度標識など）



- コントラストが低い電光標識
- 数字が認識しにくい電光標識（遠く離れた位置にある標識、3桁の標識など）
- 標識の近傍に補助標識（区間の始まり、終わり、曜日、時間など）があるとき



- 工事などの通行規制区間に標識があるとき
- NissanConnectインフォテインメントシステムの地図データが最新ではない、または利用できないとき
- NissanConnectインフォテインメントシステムが推奨するルートを走行していないとき
- NissanConnectインフォテインメントシステムが新しいルートを検索しているとき
- NissanConnectインフォテインメントシステムの位置検出が正しく行えないとき
- NissanConnectインフォテインメントシステムの地図にない道路を走行しているとき

アドバイス

- システムを正しく作動させるためにカメラ前方のフロントガラスはいつもきれいにしておいてください。マルチセンシングフロントカメラの取り扱いについては、(P.458)をお読みください。
- 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。

ドライバーモニターシステム★

ドライバーモニターシステムは、カメラにより運転者の状態を認識して安全運転を支援する機能です。

ドライバーモニターシステムについて

⚠ 注意

- ドライバーモニターシステムの機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がけてください。
- ドライバーモニターシステムは疲労時の運転を補助するものではありません。

疲労時の運転は重大な事故にいたる危険がありますので、運転前に十分に休憩をとり、安全運転に努めてください。

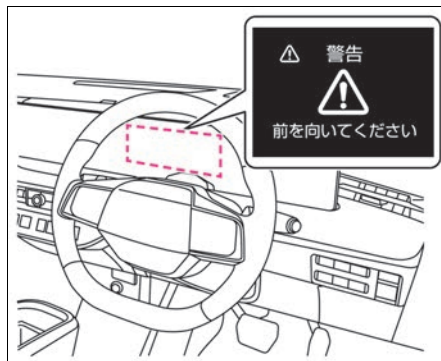
- ドライバーモニターシステムは、脇見運転などの前方不注意での運転を補助するものではありません。

脇見運転は重大な事故にいたる危険がありますので、常に進行方向の交通状況、道路状況を確認し、安全運転に努めてください。

🚗 アドバイス

- ドライバーモニターシステムはメーター手前にあるカメラにより運転者の目、鼻、口、顔や頭の形などの特徴を認識しています。目、鼻、口、顔や頭の形などの特徴が認識できないときは正しく機能しない場合があります。正しい運転姿勢をとれるよう、シート、ハンドルの位置を調節してください。

➡ 正しい運転姿勢について (P.62)



- 走行中に運転者が一定時間以上、眼を閉じたり顔の向きや視線を前方から大きく外したりするなどして、居眠りや脇見などをしているとシステムが判断した場合、音と表示で警告します。

ドライバーモニターシステムの停止のしかた

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで次の操作をすると、ドライバーモニターシステムのON・OFFを切り替えることができます。
設定 [⚙] ⇒ [運転支援] ⇒ [ドライバーモニター] ⇒ [ドライバーモニターカメラ]
設定の詳細については、運転支援をお読みください。
- ➡ アドバンスドドライブアシストディスプレイとは (メインメニュー) (P.97)

➡ 運転支援 (P.113)

- ドライバーモニターの設定は、EVシステムを再始動しても維持されます。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイでOFFにしている場合でも、プロパイロット2.0が作動しているときは警告をすることがあります。

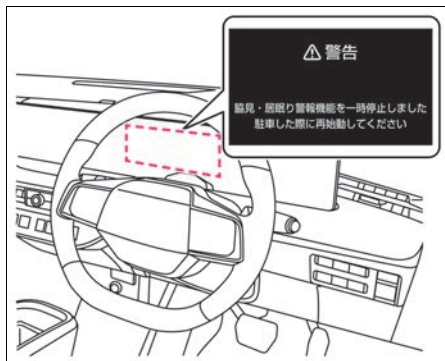
ドライバーモニターシステムに異常があるとき

🚗 アドバイス

- ドライバーモニターカメラ部の汚れにより警告が表示されたときは安全な場所に停車し、カメラ部の汚れを取り除いてからEVシステムを一旦停止して再始動してください。

上記の操作をしても、警告が表示される場合は通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

➡ ドライバーモニターカメラの取り扱い (P.298)



- ドライバーモニターシステムに異常があると、アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示され、システムが自動的に停止します。

ドライバーモニターシステムに関する注意事項

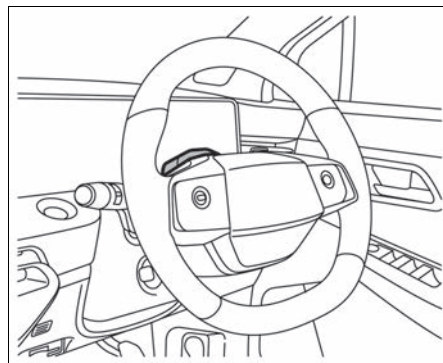
⚠ 注意

- 次のような場合、ドライバーモニターシステムが運転者を適切に検出できないことがあります。
 - 車室内へ太陽光が入り込み、ドライバーモニターカメラまたは、運転者が照らされているとき
 - 太陽光の入り込みと影になることが繰り返すとき

- 眼鏡やサングラス、帽子、マスク、眼帯などを着用している場合など目、鼻、口のいずれかが隠れていたり、顔や頭の形を変える衣服を着用したりしているとき
- ハンドルや運転者の手、その他の障害物などで目、鼻、口、顔や頭の形が隠れているとき
- ドライバーモニターカメラに触れ、汚れや指紋が付着したとき
- 助手席や後席シートの方が運転席付近に身を乗り出したときなど、運転席付近に2つ以上の顔が存在するとき
- 前方からの太陽光の眩しさなどで目を細めたり、運転姿勢をくずしたりしているとき

- 状況によっては外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。

ドライバーモニターカメラの取り扱い



システムを正しく作動させるために次のことをお守りください。

- ドライバーモニターカメラ周辺部はいつもきれいにしておいてください。塵、ほこりを取り除き、柔らかい布を真水に浸して、固くしぼってから軽くふき取ります。
- 硬いブラシや布、ティッシュでこすると、傷がつくことがあります。
- ドライバーモニターカメラ周辺にものをおいたり、ステッカー（透明な物を含む）を貼ったり、アクセサリなどを取り付けたりしないでください。誤作動の原因になります。
- ドライバーモニターカメラ周辺に強い衝撃を与えないでください。またカメラを取り外さないでください。故障、誤作動の原因になります。

運転支援機能

- 事故などでドライバーモニターカメラ周辺部が変形した場合は、日産販売会社にご相談ください。

ライセンスについて

- ドライバーモニターシステムには、オープンソースを使用したソフトウェア（OSS）が含まれています。下記webサイトにライセンス情報が記載されています。
http://www.embeddedcarmultimedia.jp/RTOS/License/oss/DMS_0401/

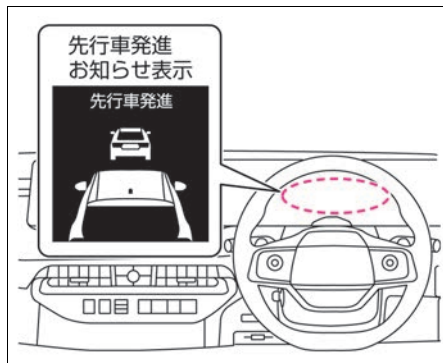
先行車発進お知らせ

先行車が発進しても自車が停車し続けた場合に、警報音（ブザー）と表示でお知らせする機能です。

システムに関連する表示

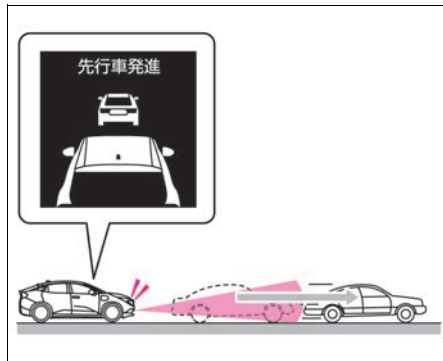
⚠ 注意

- 先行車との車間距離や周囲の状況を目視で直接確認し、常に安全運転を心がけてください。



先行車発進お知らせについて

- 自車と先行車が停車したあと、先行車が発進しても自車が停車し続けた場合に、警報音（ブザー）とアドバンスドドライブアシストディスプレイの表示でお知らせします。



- 次のいずれかの条件を満たしているときに作動します。
 - ー シフトポジションが**P**、**R**以外でブレーキペダルを踏んで停車している
 - ー シフトポジションが**P**、**R**以外でオートブレーキホールド機能が作動している
 - ー シフトポジションが**N**で停車している
 - ー インテリジェントクルーズコントロールで停車状態を保持している

先行車発進お知らせの設定のしかた

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [] ⇒ [運転支援] ⇒ [先行車発進お知らせ] を選択すると、先行車発進お知らせの設定（OFF／遅め／標準／早め）を切り替えることができます。設定の詳細については、運転支援をお読みください。
 - ② アドバンスドドライブアシストディスプレイとは（メインメニュー）（P.97）
 - ② 先行車発進お知らせ（P.115）

先行車発進お知らせに関する注意事項

- 次の場合は作動しません。
 - ー インテリジェントエマージェンシーブレーキのシステム異常などにより、インテリジェントエマージェンシーブレーキ警告灯が点灯しているとき（インテリジェントエマージェンシーブ

レーキやVDCをOFFにしているときを除く)

— 先行車との車間距離が長いとき

- システムを正しく作動させるために車両前部に取り付けられたレーダーセンサーとその周辺、およびマルチセンシングフロントカメラ前方のフロントガラスのお手入れを行ってください。

⑦ レーダーセンサー★の取り扱い
(P.458)

⑦ マルチセンシングフロントカメラの取り扱い (P.458)

- 次のような場合は、作動が遅れたり、作動しないことがあります。

— 自車と先行車との間に別の車両や歩行者、自転車などが割り込んだり横切ったとき

— 先行車がオートバイのような幅の狭い車両のとき

— 先行車との車間距離が極端に短いとき

— 先行車が自車に対して左右にずれているとき

— 先行車が右左折、車線変更、急旋回をしたとき

— 先行車が極端に遅い速度で移動しているとき

— 急勾配の坂道、急カーブで停車しているとき

— 未舗装路など凹凸のある路面で停車しているとき

— 車両が傾いているとき（車両後部に極端に重い荷物を積んでいるとき）

— ハンドルが大きく切れているとき

— 悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）のとき

— 前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき

— 雪や氷、泥などがレーダーセンサー周辺に付着しているとき

— カメラの視界が遮られているとき（フロントガラスの汚れ、油膜、虫汚れ、ワイパーブレード）

— カメラ前方のフロントガラスがくもっているとき

— アドバンスドドライバアシストディスプレイにソナー表示されているとき

- 道路状況や交通状況などにより不必要な作動をすることがあります。周囲の状況を目視で直接確認してください。

バックビューモニター★

バックビューモニターについて

⚠ 警告

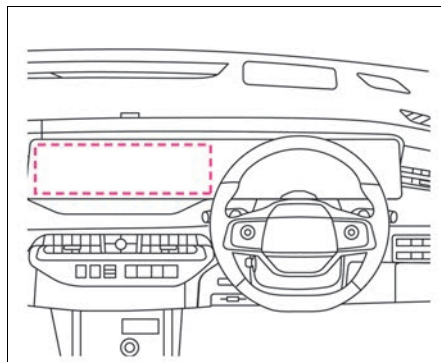
- バックビューモニターの機能を過信しない。

バックビューモニターは、後退操作を補助するシステムです。後退するときは、直接目で後方および周囲の安全を確認しながら運転してください。

- 実際の距離感を間違えないように注意する。

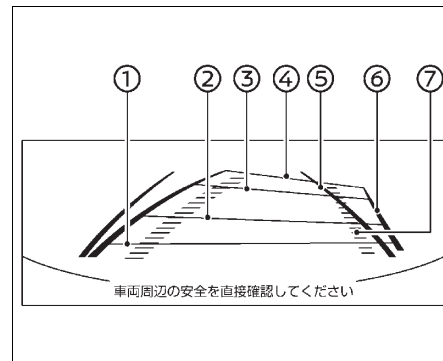
バックビューモニターの映像はレンズの特性により、画面に映る人や障害物の感覚が実際の位置や距離と異なります。

- バックビューモニターは NissanConnect インフォテインメントシステムに表示されます。



- <パワースイッチ>がONのとき、シフトポジションを**R**に入れると作動します。車の後方の状況を確認しながら後退させることができます。
- バックビューモニターを表示中にシフトポジションを**R**から他の位置にすると、バックビューモニターがOFFになります。
- 取り扱いについては、NissanConnect インフォテインメントシステム用取扱説明書も合わせてお読みください。

各表示線について



距離目安ライン

- 車両後方の距離の目安を示します。

- ①赤色：約0.5m
- ②水色：約1m
- ③水色：約2m
- ④水色：約3m

⑤車幅目安ライン

- 後退したときの車幅の目安を示します。

⑥予想進路線

- 運転操作時に予想進路を表示します。ハンドルを切った角度に応じて移動します。

⑦タイヤ予想進路線

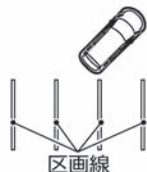
- タイヤの予想進路を表示します。ハンドルを切った角度に応じて移動します。

バックビューの見かた

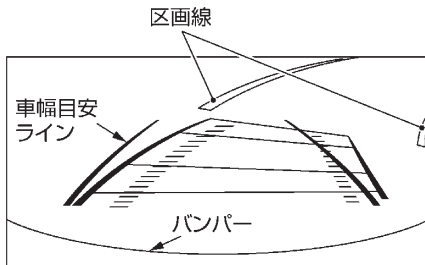
画面に表示される目安ラインを利用して駐車する例を説明します。

駐車支援システム

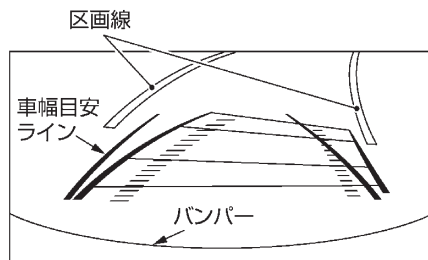
1. シフトポジションを**R**にして、駐車スペースに入るようにゆっくりと後退します。



2. 車の後部が駐車スペースの中に入ったら、車幅目安ラインと駐車スペースの左右の区画線が平行になるようにハンドルを操作します。



3. 車幅目安ラインと駐車スペースの区画線が平行になったらハンドルをまっすぐ（直進状態）にして、ゆっくりと後退します。



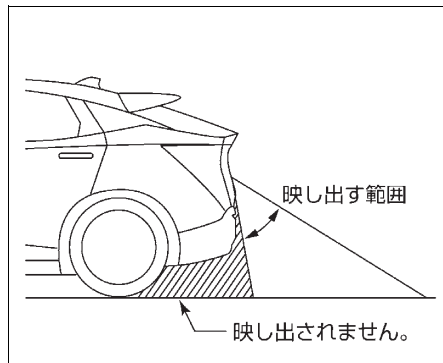
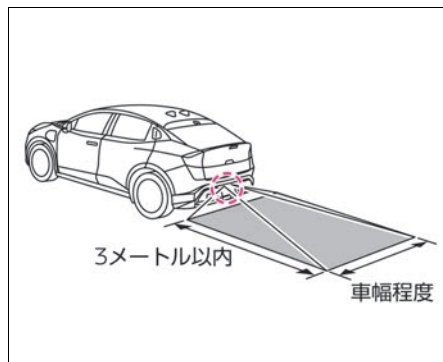
知識

- 画面では車幅目安ラインと駐車スペースの区画線が平行に見えても、実際には平行ではない場合があります。
- 前記と逆方向の駐車スペースに駐車するときは、ハンドルの操作も左右逆になります。

バックビューモニター★の注意事項

映し出す範囲

- バンパー後端から車の後方を映します。



注意

- バックビューモニターだけを見ながら後退しない。

⚠ 注意

絶対に画面の映像だけを見ながら後退しないでください。映像と実際の状況は異なることがあるため、車をぶつけたり、思わぬ事故を起こすおそれがあります。後退するときは、後方や周囲の安全を目視やミラーなどで直接確認してください。

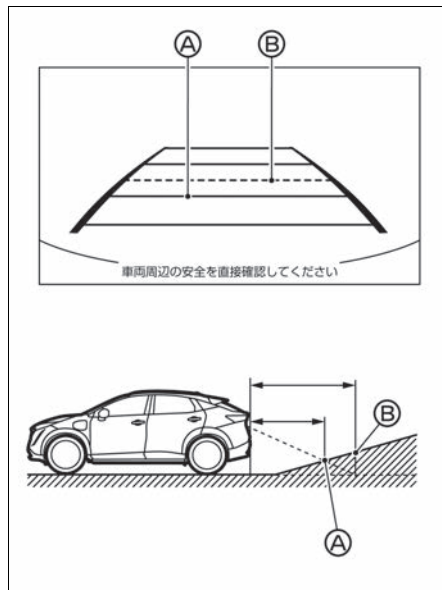
🚗 アドバイス

- 車や路面の状況により、映る範囲が異なることがあります。
- バックビューモニターの映像は、ルームミラーやドアミラーで見ると同様に左右反転させた鏡像です。
- 画面に表示される距離目安ライン、車幅目安ラインはあくまでも目安です。また、車両の乗車人数、車両姿勢などによって距離目安ライン、車幅目安ラインの位置がずれます。実際のまわりの状況を直接目で確認してご使用ください。

映像と実際の路面との誤差

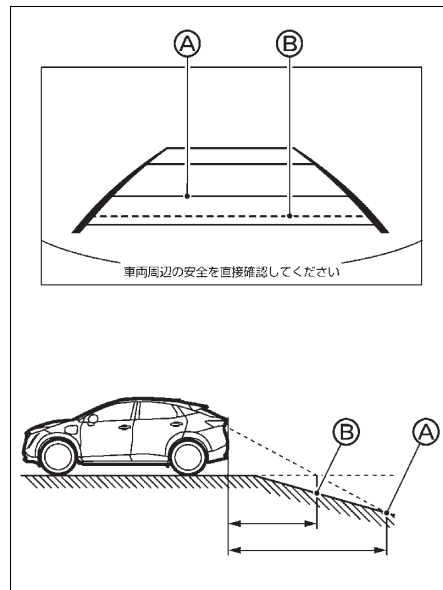
- バックビューモニターに表示される距離目安ラインと車幅目安ラインは、舗装された平坦な路面上での目安として使用してください。画面に表示される距離はあくまでも目安であり、自車と映し出されている障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。

急な上り坂が後方にあるとき



- 距離目安ライン、車幅目安ラインは実際の距離よりも手前に表示されます。例えば、位置Aまでの距離が1mと表示されていても、実際に1mの距離にあるのは、位置Bです。上り坂に障害物があるときは、障害物は実際よりも遠くにあるように見えます。

急な下り坂が後方にあるとき



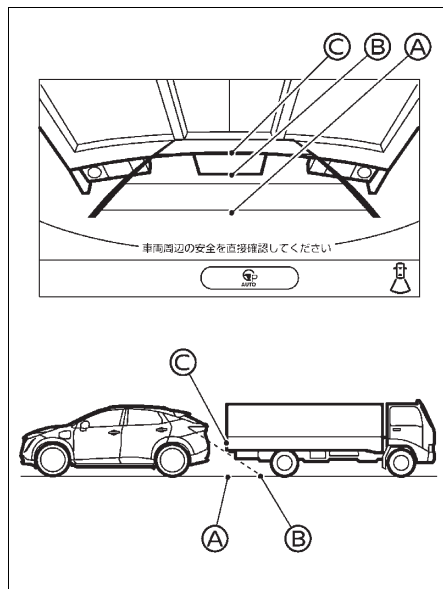
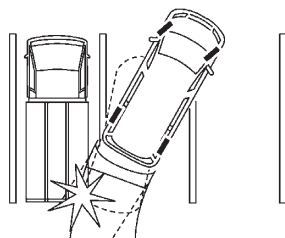
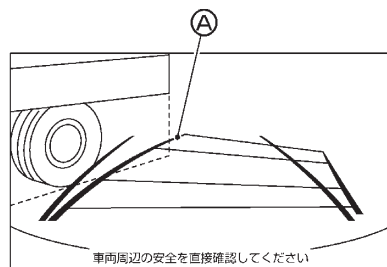
- 距離目安ラインと車幅目安ラインは実際の距離よりも後ろに表示されます。例えば、位置Aまでの距離が1mと表示されていても、実際に1mの距離にあるのは、位置Bです。下り坂に障害物があるときは、障害物は実際よりも近くにあるように見えます。

立体物が近くにあるとき

- 立体物が近くにある場合には実際の距離と異なって表示される場合があります。
- 例：予想進路線Aは表示されているトラックの車体に触れていません。しかし、

駐車支援システム

トラックの車体が実際の進路上に張り出している場合は、ぶつかることがあります。



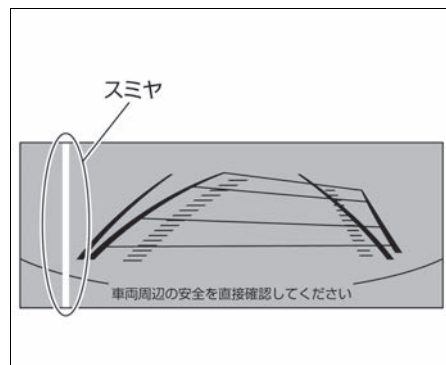
立体物に接近するとき

- ③の位置は②の位置よりも遠くにあるように見えますが、実際は①の位置と同じ距離です。トラックの車体が実際の進路上に張り出している場合は、①の位置まで下がるとぶつかることがあります。

故障かなと考える前に

故障かな？	確認すること	対処方法
映像の映りが悪い	カメラレンズが汚れていませんか？	カメラレンズを清掃してください。
	カメラレンズに雨、雪などの水滴が付着していませんか？	🌀 <u>リヤビューカメラの取り扱い (P.459)</u>
	太陽光や他車のヘッドランプの光が直接カメラレンズ面に当たっているため故障ではありません。当たっている光がなくなれば元に戻ります。	
	温度の急な変化によってカメラレンズ部が結露したため故障ではありません。しばらく走行すると元に戻ります。	
	暗いところや夜間時には映りが悪くなることがありますが故障ではありません。	
映像にちらつきが出る	蛍光灯などの照明の下にいるため故障ではありません。	
実際の色味と異なる	カメラの特性のため故障ではありません。	
映像が映らない	シフトポジションが R になっていますか？	シフトポジションを R にしてください。
映像が正しい方向を向いていない	バックドアが開いていませんか？	バックドアを閉めてください。
映像が見づらい	カメラに強い光や反射光が入ったため故障ではありません。	
映像にスミヤ（※）が入る	バンパーなどから強い反射光が入ったため故障ではありません。	

※スミヤ：方向指示器の強い光が上下方向に光の帯のように出たもの。



カメラ映像が正常に表示されない場合

シフトポジションを**R**に入れ、バックビューモニターを作動させた状態でも次のような画面表示が続く場合は、カメラシステムの異常が考えられます。通常走行には支障ありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

- バックビューモニター画面がカメラ画面に切り替わらず、前の画面（NissanConnectインフォテインメントシステムなど）を表示し続けているとき

カメラの故障により映像に異常がある場合

- バックビューモニター画面に次の画面が表示されるなど、異常なカメラ映像が表示されるとき

パーキングアシストは現在使用できません

インテリジェントアラウンドビューモニター（移動物検知機能付）★

インテリジェントアラウンドビューモニターは、自車位置を映し出すことにより、駐車スペースへの駐車時や縦列駐車時に運転者を補助します。

インテリジェントアラウンドビューモニターについて

警告

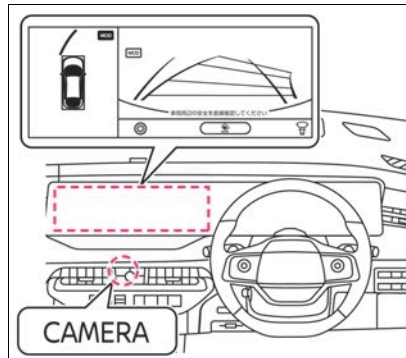
- インテリジェントアラウンドビューモニターの機能を過信しない。

インテリジェントアラウンドビューモニターは障害物などの確認を補助するシステムです。車両の操作をするときは、周囲の安全をミラーや目視で直接確認してください。特に車両の四隅は、トップビュー、フロントビュー、リヤビューに障害物が映らない死角になります。必ず窓から目視し、安全を確認してから車両を操作してください。常に低速で車両を移動させてください。

- 実際の距離感を間違えないように注意する。

インテリジェントアラウンドビューモニターに映し出される障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。

- <パワースイッチ>がONのときに、<CAMERAスイッチ>を押すか、シフトポジションを**R**にするとNissanConnectインフォテインメントシステムに表示します。



インテリジェントアラウンドビューモニターの使いかた

警告

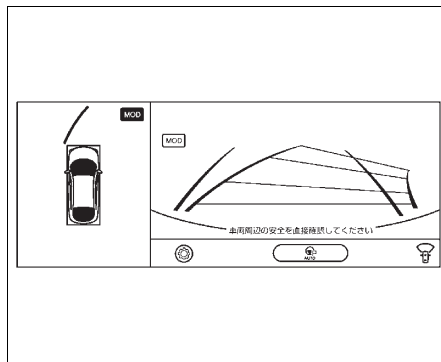
- ドアミラーを格納した状態で使用しない。

ドアミラーを格納すると、一部の表示が欠けるなど正確に表示できません。周辺を直接確認し十分注意して使用してください。使用するときは、バックドアが確実に閉まっているか確認してください。

- シフトポジションを**R**にするとインテリジェントアラウンドビューモニターがONになり、トップビュー（左側画面）／リヤビュー（右側画面）を表示します。シフトポジションを**R**以外にすると、インテリジェントアラウンドビューモニターがOFFになります。

駐車支援システム

- シフトポジションが**D**または**B★**のときに、ソナーが障害物を検知したときはインテリジェントアラウンドビューモニターがONになり、トップビュー（左側画面）／フロントビュー（右側画面）を表示します。障害物の検知がなくなると、インテリジェントアラウンドビューモニターはOFFになります。
- インテリジェントアラウンドビューモニターがONのときにドアミラーを格納すると、シフトポジションが**D**のときはサイドブラインドビュー（ドアミラー連動）（左側画面）／フロントビュー（右側画面）を表示し、シフトポジションが**R**のときはサイドブラインドビュー（ドアミラー連動）（左側画面）／リヤビュー（右側画面）に自動で切り替わります。ただし、フロントワイドビュー（全画面）またはリヤワイドビュー（全画面）を表示しているときは、自動で画面は切り替わりません。
- <CAMERAスイッチ>を押すとインテリジェントアラウンドビューモニターがONになり、トップビュー（左側画面）／フロントビュー（右側画面）を表示します。



知識

- <CAMERAスイッチ>を押すと、次のとおりに画面を切り替えることができます。
 - － シフトポジションが**R**のとき
 トップビュー（左側画面）／リヤビュー（右側画面）
 →サイドブラインドビュー（左側画面）／リヤビュー（右側画面）
 →リヤワイドビュー（全画面）
 →トップビュー（左側画面）／リヤビュー（右側画面）
 - － シフトポジションが**R**以外のとき
 トップビュー（左側画面）／フロントビュー（右側画面）
 →サイドブラインドビュー（左側画面）／フロントビュー（右側画面）
 →フロントワイドビュー（全画面）
 →インテリジェントアラウンドビューモニターOFF

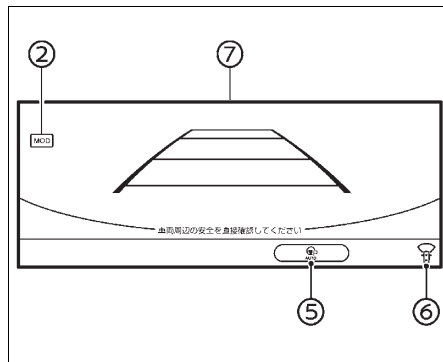
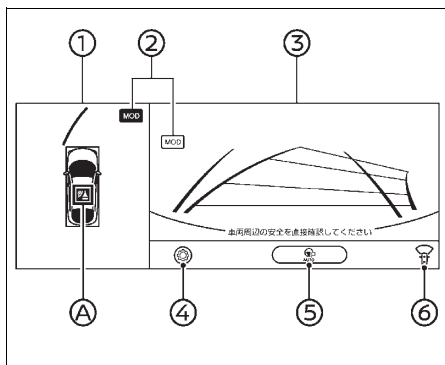
- － シフトポジションが**R**でドアミラーを格納しているとき
 サイドブラインドビュー（ドアミラー連動）（左側画面）／リヤビュー（右側画面）
 →トップビュー（左側画面）／リヤビュー（右側画面）
 →リヤワイドビュー（全画面）
 →サイドブラインドビュー（ドアミラー連動）（左側画面）／リヤビュー（右側画面）
- － シフトポジションが**R**以外でドアミラーを格納しているとき
 サイドブラインドビュー（ドアミラー連動）（左側画面）／フロントビュー（右側画面）
 →トップビュー（左側画面）／フロントビュー（右側画面）
 →フロントワイドビュー（全画面）
 →サイドブラインドビュー（ドアミラー連動）（左側画面）／フロントビュー（右側画面）
- 右側画面にフロントビューが表示されているときにシフトポジションを**R**にすると、リヤビューに切り替わります。シフトポジションを**R**以外にすると、再度、フロントビューに切り替わります。

知識

● 3分タイマー機能

<CAMERAスイッチ>を押してから約3分後にインテリジェントアラウンドビューモニター表示が消える機能です。シフトポジションが**R**以外のときに作動します。ただし、タイマー作動中に<CAMERAスイッチ>を押したり、ソナーまたは移動物検知機能が作動したりするとタイマーがリセットされます。

画面の見かた



① 左側画面

- トップビューまたはサイドブラインドビューを表示します。
- <パワースイッチ>をONにしてから初めてインテリジェントアラウンドビューモニターを表示したときに、アイコン④の色と点滅（約3秒間）で、ソナーの作動状況を示します。
 - 赤色に点滅：ソナーON
 - 灰色に点滅：ソナーOFF（ソナーをOFFにした直後も点滅します）

② 移動物検知機能作動状態アイコン

- どちらのビューで移動物検知機能が作動するかを表します。
 - **[MOD]**（緑色）：移動物検知機能が作動します
 - **[MOD]**（灰色）：移動物検知機能が作動しません
- 表示しているビューで映している範囲でのみ移動物検知機能が作動します。例え

ば、リヤビューで移動物検知機能を作動させている場合には、車両前方の移動物は検知しません。

③ 右側画面

- シフトポジションが**R**のときはリヤビューを、**R**以外のときはフロントビューを表示します。

④ 設定アイコン★

- タッチするとプロパイロットパーキングの設定を変更できます。
- ➡ プロパイロットパーキングの設定 (P.336)

⑤ プロパイロットパーキング開始アイコン★

- タッチするとプロパイロットパーキングを開始します。

⑥ 方向指示アイコン

- 画面の映している方向を表します。
 - ：リヤビュー表示
 - ：フロントビュー表示
 - ：ワイドリヤビュー表示
 - ：ワイドフロントビュー表示

⑦ 全画面ワイドビュー画面

- フロントまたはリヤワイドビューを表示します。

※：グレード、オプションなどにより表示は異なります。

画面表示に関する注意事項

⚠ 警告

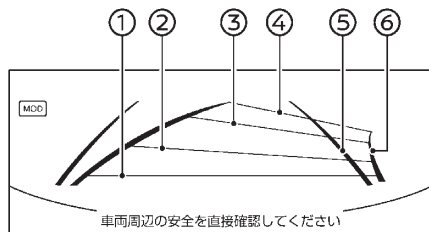
- リヤビューに表示される障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。
- ドアミラー、車両前方、車両後方に装着されているカメラからの映像を組み合わせ処理した疑似的な映像のため、トップビューは、障害物を実際より遠く映します。
- 囲いや車両といった高さのある障害物は、映像の継ぎ目で位置がずれたり、表示されなかったりすることがあります。
- カメラの高さよりも上にある障害物は表示されません。
- トップビューの映像は、カメラの位置が変化するとずれることがあります。
- 路上の線は映像の継ぎ目でずれたり、曲がって見えたりすることがあります。ずれは、車両から遠ざかるにつれて大きくなります。

画面表示の種類について

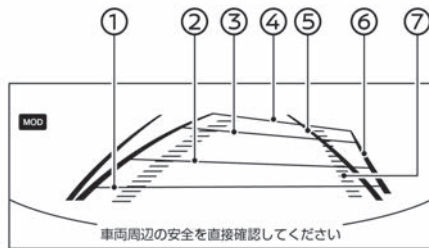
■ フロントビュー／リヤビュー

- 車両の前方／後方の映像をインテリジェントアラウンドビューモニター右側画面に表示します。

<フロントビュー>



<リヤビュー>



距離目安ライン

- 車体からの距離の目安を表示します。
 - ①赤色：約0.5m
 - ②水色：約1m
 - ③水色：約2m
 - ④水色：約3m

⑤車幅目安ライン

- 車幅の目安を表示します。

⑥予想進路線

- 運転操作時に予想進路を表示します。ハンドルを切った角度に応じて移動します。
- フロントビューは、車速が約10km/hを超えると表示されなくなります。

⑦タイヤ予想進路線

- タイヤの予想進路を表示します。ハンドルを切った角度に応じて移動します。

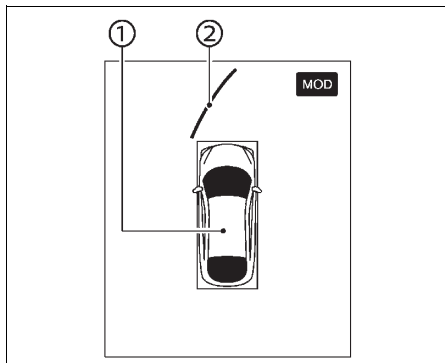


アドバイス

- フロントビューが表示されているときに、中立位置から約90度の範囲内でハンドルを切ると、予想進路線が左右に表示されます。約90度以上ハンドルを切ると、予想進路線はハンドルを切った方向とは逆方向にのみ表示されます。
- リヤビューモニターの映像は、ルームミラーやドアミラーで見ると同様に左右反転させた映像です。
- 雪道や滑りやすい路面では、予想進路線と実際の進路が異なることがあります。
- リヤビューカメラは車幅の中心よりずれた位置に取り付けられているため、リヤビューの表示は多少中心からずれて見えます。

駐車支援システム

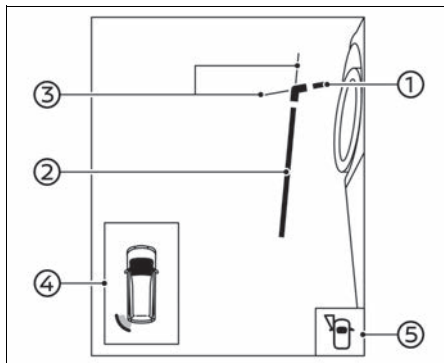
■ トップビュー



- ① 自車
② 予想進路線

- 自車位置や駐車スペースへの進入コースがわかりやすい、車両を上から見たような映像をインテリジェントアラウンドビューモニター左側画面に表示します。
- 自車①は、自車位置を示しています。トップビューに表示される障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。
- 予想進路線②はハンドルを切った角度のまま進んだときの予想進路を表示します。

■ サイドブラインドビュー



- ① 前端目安ライン
② 側方目安ライン
③ 前端目安ラインと側方目安ラインの延長線
④ ソナー表示
⑤ 方向指示アイコン
- 車両の左側前輪付近から前方を、インテリジェントアラウンドビューモニター左側画面に表示します。道路端への幅寄せ駐車などに便利です。

目安ライン

- モニターには車幅と車両の前端を示す目安ラインが表示されます。
 - ー ①前端目安ラインは、車両前部の位置の目安を示します。
 - ー ②側方目安ラインは、ドアミラーを含めた車幅の目安を示します。
 - ー ③前端目安ラインと側方目安ラインの延長線は、水色で表示します。

ソナー表示

- ④ソナー表示は、ソナーが障害物を検知すると、表示されます。

🚗 アドバイス

- 方向指示器の光が側方目安ラインと重なる場合がありますが、異常ではありません。
- サイドブラインドビュー表示中に、約10km/h以上になると画面の一部がグレーとなりますが、異常ではありません。

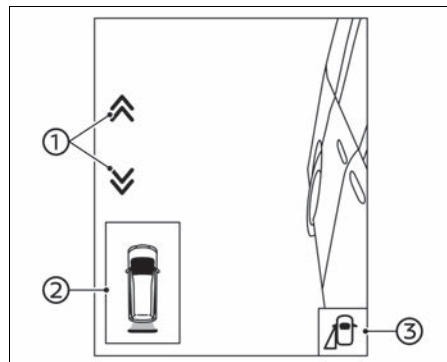
■ サイドブラインドビュー（ドアミラー連動）（プロパイロットパーキング付車）

- サイドビューカメラにより、車両後方の映像を表示する視界補助機能です。

⚠️ 警告

- ドアミラーの代わりとしては使用できません。
- ドアミラー位置や、車両前方の方向を表示するものではありません。
- 停車時にお使いください。

駐車支援システム



- ① スワイプガイド表示
- ② ソナー表示
- ③ 方向指示アイコン

- ドアミラーの格納に連動して、インテリジェントアラウンドビューモニターの左側画面に表示します。
- 画面をタッチした状態で指を上側に移動（スワイプ）させると、下向きの映像表示になります。
(元の位置に戻したい場合は、反対方向に移動させます)

ソナー表示

- ②ソナー表示は、ソナーが障害物を検知すると、表示されます。

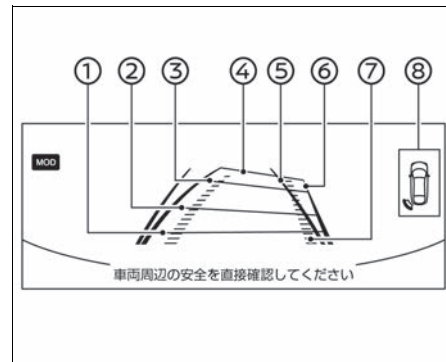
🚗 アドバイス

- サイドブラインドビュー（ドアミラー連動）の映像は、ドアミラーで見るのと同様に左右反転させた映像です。

- ドアミラーを格納すると自動的にサイドブラインドビュー（ドアミラー連動）を表示しますが、
<CAMERAスイッチ>を押すと他のビューに切り替えることができます。ただし、ワイドビュー表示中は自動的にビューは切り替わりません。
- 画面に表示される映像は、実際の大きさと異なっているように見えます。
- 表示方向をスワイプ操作で上下に変更できます。（EVシステムを停止すると、表示方向は初期に戻ります）

■ 全画面フロントワイドビュー／全画面リヤワイドビュー

- 車両の前方／後方の映像を画面幅いっぱいに表示します。



距離目安ライン

- 車体からの距離の目安を表示します。
— ①赤色：約0.5m

- ②水色：約1m
- ③水色：約2m
- ④水色：約3m

⑤車幅目安ライン

- 車幅の目安を示します。

⑥予想進路線

- 運転操作時に予想進路を示します。ハンドルを切った角度に応じて移動します。

⑦タイヤ予想進路線（全画面リヤワイドビューのみ）

- タイヤの予想進路を表示します。ハンドルを切った角度に応じて移動します。

⑧ソナー表示

- ソナーが障害物を検知すると表示します。

🚗 アドバイス

- リヤビューモニターの映像は、ルームミラーやドアミラーで見るのと同様に左右反転させた映像です。
- 雪道や滑りやすい路面では、予想進路線と実際の進路が異なることがあります。
- リヤビューカメラは車幅の中心よりずれた位置に取り付けられているため、リヤビューの表示は多少中心からずれて見えます。

画質調整のしかた

NissanConnectインフォテインメントシステムで次の操作をすると、インテリジェントアラウンドビューモニター画面の画質を調整することができます。

駐車支援システム

- [MOD] (緑色) : 移動物 検知機能が作動します
- [MOD] (灰色) : 移動物 検知機能が作動しません
- 次の場合には移動物 検知機能は作動しません。
 - 車速やシフトポジションが移動物 検知機能の作動条件から外れている場合
 - トップビューによる移動物 検知機能作動中でいずれかのドアが開いている場合
 - リヤビューによる移動物 検知機能作動中でバックドアが開いている場合
- トップビューによる移動物 検知機能作動中で電動格納式ミラーの開閉作動中は、誤検知する場合があります。

ソナー機能について

⚠ 警告

- バンパーにへこみなどがあると正確な距離が測定できず、正常に作動できない場合があります。
- 適正なタイヤの空気圧を維持してください。誤作動の原因になります。
- 日産純正品以外のバンパーを取り付けたとき、正常に作動できない場合があります。
- ソナーの性能には限界があるため、システムだけに頼らず、常に安全を心がけてください。詳細については、検知条件と制限をお読みください。

➡ ソナーの検知条件と制限 (P.221)

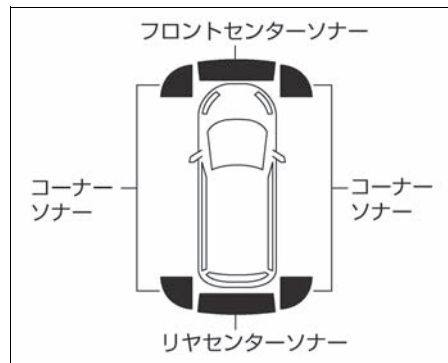
⚠ 注意

- 気温や天候、路面状態などの周囲の状況や、障害物の大きさ、形状によってはソナーが検知できないことがあります。また、音波を吸収しやすいものにも、ソナーが検知できないことがあります。必ず周囲を確認して運転をしてください。
- 次のような障害物には作動しません。
 - 背の低い障害物
 - 幅の狭い障害物
 - 針金、金網、ロープなどの細い障害物
 - ソナーに非常に近い障害物
 - 急に進行方向に現れた障害物
- 次のような障害物は検知しないことや作動が遅れることがあります。
 - 地面から高い位置に存在する障害物
 - スポンジ状のものや雪など表面が柔らかく音波を吸収しやすい障害物
- ソナーは次のような場合は検知しない、もしくは正しく検知できない場合があります。
 - 雨、雪、氷、汚れなどがセンサー部や周辺に付着しているとき

- 障害物の面が車両の前面、または後面に対して斜めるとき
- 周囲に草が生い茂っているとき
- 車両側面の近くに壁があるとき
- 路面上に段差や突起物があるとき
- 垂れ下がった旗、ビニールカーテンなどをくぐって走行するとき
- 車両周辺に雪のかたまりがあるとき
- 周囲で大きな音が鳴っているとき
- 車両感応センサーやホーン、他車のソナー、オートバイの排気音など超音波を発生するものが付近に存在するとき
- 炎天下や寒冷時
- 表面が一樣でない障害物（複数の障害物が積載されて凹凸な形状の場合）
- 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。
- ソナー部が凍結したときは異常表示が出たり、壁などの障害物があったりしてもソナーが検知しないことがあります。
(氷が解ければ、正常に復帰します)
- ソナーは前後バンパーについています。バンパーには、ステッカーを貼ったりアクセサリなどを取り付けないでください。
- 適正なタイヤの空気圧を維持してください。誤警報や誤操作の原因になります。

駐車支援システム

- インテリジェント アラウンドビューモニター（移動物 検知機能付）を表示させて、走行中にソナーが静止した障害物を検知した場合は、ソナー表示と警報音（ブザー）でお知らせします。
- ソナー表示はトップビュー、サイドブラインドビューまたは全画面ワイドビュー画面に表示されます。
- 障害物を検知してから、ソナー表示と警報音（ブザー）が出るまでに多少時間がかかります。



🚗 アドバイス

- システムを正しく作動させるためにソナーはいつもきれいにしておいてください。ソナーの取り扱いについては、（📖 P.459）をお読みください。

■ コーナーソナー

障害物までの距離（目安）	60～50cm	50～30cm	30cm以下
表示色	緑	黄（オレンジ）	赤
表示点減速度	遅い	速い	点灯
警報音（ブザー）	ピッ、ピッ、ピッ...	ピピピ、ピピ...	ピー

■ フロントセンターソナー

障害物までの距離（目安）	100～50cm	50～30cm	30cm以下
表示色	緑	黄（オレンジ）	赤
表示点減速度	遅い	速い	点灯
警報音（ブザー）	ピッ、ピッ、ピッ...	ピピピ、ピピ...	ピー

■ リヤセンターソナー

障害物までの距離（目安）	150～50cm	50～30cm	30cm以下
表示色	緑	黄（オレンジ）	赤
表示点減速度	遅い	速い	点灯

障害物までの距離（目安）	150～50cm	50～30cm	30cm以下
警報音（ブザー）	ピッ、ピッ、ピッ...	ピピピ、ピピ...	ピー

■ ソナー表示色

- ソナー表示の色は、障害物に近づくに従って、緑、黄（オレンジ）、赤と変化します。ソナーの表示の色と距離目安線とでは障害物までの距離は異なります。

■ 警報音（ブザー）

- 障害物との距離が近づくに従って、断続音の間隔が短くなります。表示が赤の場合は連続音になります。
- 障害物との距離が広がった場合は断続音が消え、ソナー表示のみとなります。
- フロントソナーが検知したときは低音、リヤソナーが検知したときは高音でお知らせします。

■ ソナー機能OFF

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [⚙️] ⇒ [運転支援] ⇒ [駐車支援] を選択すると、各ソナー機能のON・OFFを設定できます。

■ ソナーによるカメラ画面の自動表示機能

- シフトポジションがDかつ車速約10km/h以下でカメラ画面が表示されていない場合に、車両前方の障害物を検知

駐車支援システム

した場合はインテリジェントアラウンドビューモニター画面を自動で表示します。

- 障害物がなくなると、自動的にインテリジェントアラウンドビューモニターはOFFになります。

■ ソナーシステムの作動が停止するとき

- システムに異常があると、アドバンスドドライブアシストディスプレイ内に警告が表示され、システムが停止します。
ソナーシステム異常警告 (P.402)

インテリジェントアラウンドビューモニター★に関する注意事項

⚠ 警告

- カメラの作動を妨げるような物をカメラ部分に取り付けしないでください。字光式ナンバープレートやナンバープレートリムを装着すると、フロントビューおよびリヤビューモニターの映像が一部映らなくなることがあります。

➡ 外観フロント (P.2)

➡ 外観リヤ (P.4)

- 距離目安ラインと車幅目安ラインは、舗装された平坦な路面上での目安として使用してください。画面に表示される距離は目安であり、自車と映し出されている障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。

- 目安ラインや予想進路線は、乗車人数や燃料の容量などの影響により実際の距離と異なることがあります。目安としてお使いください。

- サイズが異なるタイヤと交換すると、予想進路線とトップビューが不適切に表示されることがあります。

- 上り坂では、モニターに表示される障害物は実際よりも遠くにあるように見えます。下り坂では、モニターに表示される障害物は実際よりも近くにあるように見えます。ミラーを併用するか、目視によって正確な距離を判断してください。

- フロントビューおよびリヤビューの表示線は、路面の状況により障害物への距離が実際と異なって見えることがあります。特徴をよく理解してください。

- カメラレンズの特性により、画面上の距離と実際の距離が異なって見えたり、対象物が変形して見えたりすることがあります。車幅目安ラインと予想進路線は、実際の車幅と進路よりも広がっています。

- シフトポジションがR以外のとき、<CAMERAスイッチ>を押してインテリジェントアラウンドビューモニターを表示させたあと、ソナーまたは移動物検知機能が作動しない状態で約3分間操作を行わないでいると、インテリジェントアラウンドビューモニター表示が消えます。(3分タイマー機能)

- 画面の切り替わり後は、映像の表示が遅れることがあります。インテリジェントアラウンドビューモニターが完全に表示されるまでは、映像が一時的にゆがむことがあります。

- 外気温が極端に高いか、低いときは、映像の映りが悪くなるがありますが、異常ではありません。

- カメラに直接強い光を当てると、映像の映りが悪くなるがありますが、異常ではありません。

- 蛍光灯照明が当たると、映像にちらつきが出るがありますが、異常ではありません。

- インテリジェントアラウンドビューモニター映像の色味は、実際とはわずかに異なって見えることがあります。

- 暗いところや夜間時には映りが悪くなり、色味が異なって見えるがありますが、異常ではありません。

- トップビューの各カメラの映像に鮮明さの違いが生じることがあります。

- トップビューの画像は、4つのカメラからの映像を加工処理して表示するため、次のように表示される場合があります。

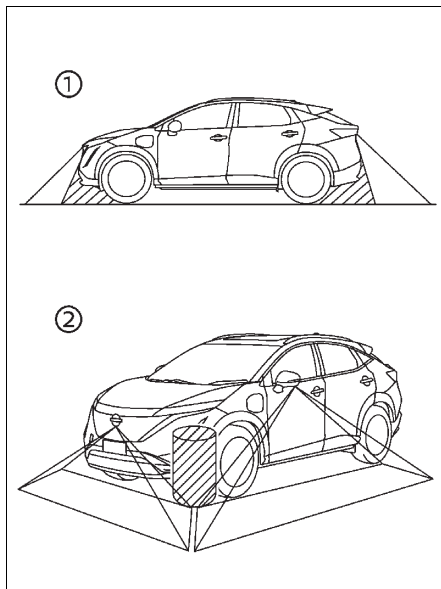
- ー 立体物が倒れ込んで見える
- ー 路面よりも高い位置にある車両などが実際より遠くに見える
- ー 高さのあるものが画像の継ぎ目でずれて表示される
- ー 各カメラ画像の明るさが違う

🚗 アドバイス

- カメラに汚れ、雨、雪が付着すると、映像の映りが悪くなることがあります。カメラを清掃してください。
- ➡ フロントビュー／サイドビューカメラの取り扱い (P.459)
- ➡ リヤビューカメラの取り扱い (P.459)
- アルコール、ベンジン、シンナーなどを使用してカメラを清掃しないでください。変色する原因となります。中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませてふき取ったあと、乾いた柔らかい布でふいてください。
- モニター映像に悪影響が生じるため、カメラに傷をつけないよう注意してください。
- カメラにはワックスを使用しないでください。中性洗剤を薄めて含ませた清潔な布でワックスをふき取ってください。

映し出す範囲

- 特定の領域は、カメラに映し出されません。フロントビューまたはリヤビューでは、バンパー下側または地上面の部分は表示されないことがあります①。トップビューではカメラの映し出す範囲の境目付近にあるもの、路面より高さのあるものは表示されないことがあります②。



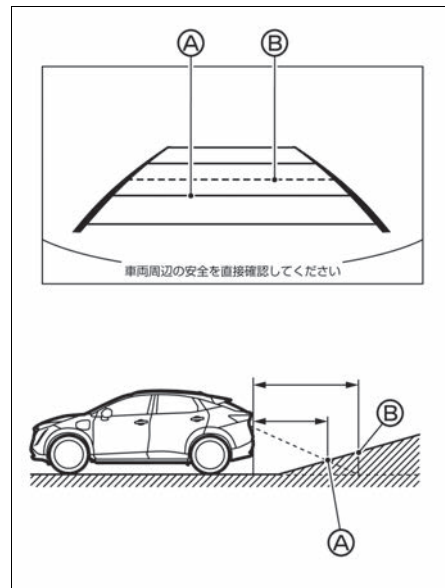
映像と実際の路面との誤差

- フロントビューとリヤビューに表示される距離目安ラインと車幅目安ラインは、舗装された平坦な路面上での目安として使用してください。画面に表示される距離はあくまでも目安であり、自車と映し出されている障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。

急な上り坂が後方にあるとき

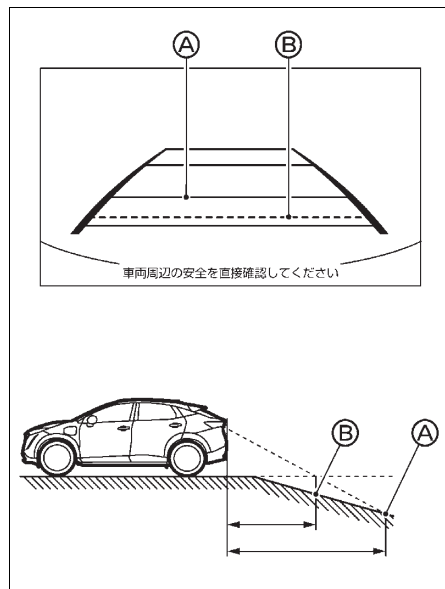
- 距離目安ライン、車幅目安ラインは実際の距離よりも手前に表示されます。例えば、位置Aまでの距離が1mと表示され

ていても、実際に1mの距離にあるのは、位置Bです。上り坂に障害物があるときは、障害物は実際よりも遠くにあるように見えます。



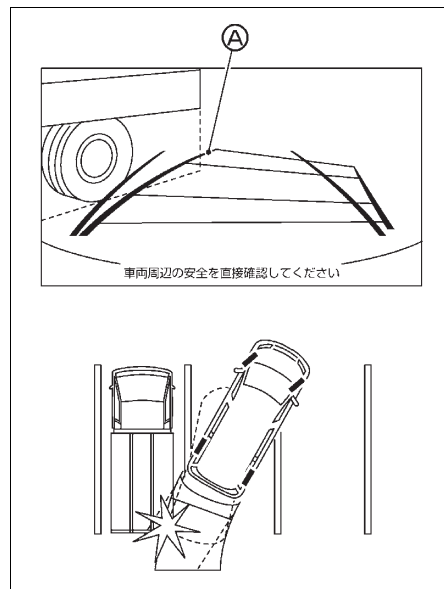
急な下り坂が後方にあるとき

- 距離目安ラインと車幅目安ラインは実際の距離よりも後ろに表示されます。例えば、位置Aまでの距離が1mと表示されていても、実際に1mの距離にあるのは、位置Bです。下り坂に障害物があるときは、障害物は実際よりも近くにあるように見えます。

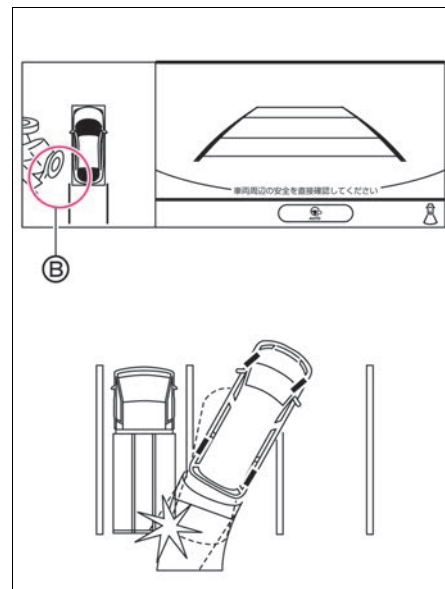


立体物が近くにあるとき

- 立体物が近くにある場合には実際の距離と異なって表示される場合があります。
- 例1：予想進路線④は表示されているトラックの車体に触れていません。しかし、トラックの車体が実際の進路上に張り出している場合は、ぶつかることがあります。

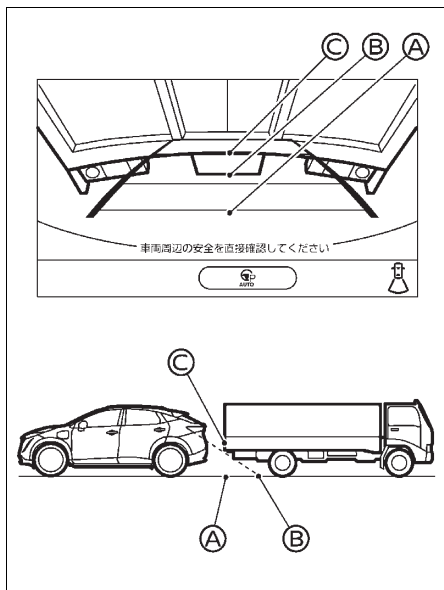


- 例2：表示されているトップビュー④では、自車とトラックの車体との間にはわずかな距離があるように見えます。しかし、実際の距離は表示されているよりも短く、トラックの車体にぶつかることがあります。



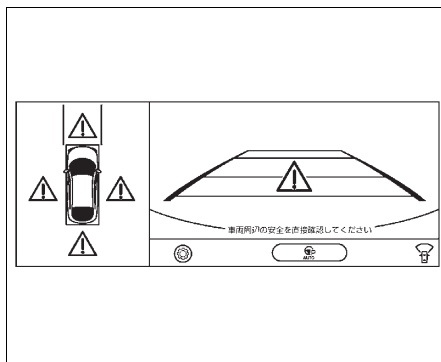
立体物に接近するとき

- ④の位置は④の位置よりも遠くにあるように見えますが、実際は④の位置と同じ距離です。トラックの車体が実際の進路上に張り出している場合は、④の位置まで下がるとぶつかることがあります。

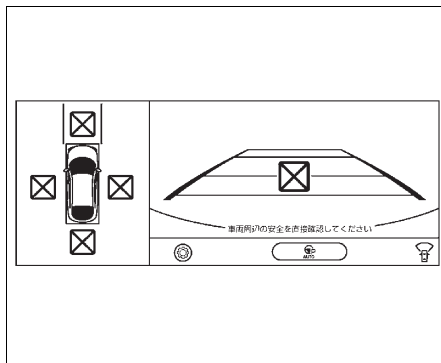


画面のエラー表示について

〔△〕アイコンが画面内に表示された場合は、インテリジェントアラウンドビューモニター（移動物検知機能付）の異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。



〔☒〕アイコンが画面内に表示された場合は、カメラ映像が一時的に周囲の電子機器の影響を受けている可能性があります。頻繁に表示される場合は日産販売会社で点検を受けてください。



インテリジェントアラウンドビューモニターカメラの検知条件と制限

- インテリジェントアラウンドビューモニターカメラは次のような場合、障害物や区画線などを検知できないことがあります。
 - － 雨や水しぶきがかかったとき
 - － 夜間、地下、立体駐車場など周囲が暗いとき
 - － 悪天候（雨、雪、霧、粉塵、砂塵、吹雪など）などで視界が悪いとき
 - － カメラにお湯や水を掛けたり、レンズがくもっているとき
 - － 太陽や電灯の光が路面に映っているとき
 - － 太陽や電灯の強い光が路面に当たっているとき
 - － 降雨時や雨上がりなど、路面が濡れて光っていたり、水たまりがあったりするとき
 - － 朝日や夕日など、太陽の光がカメラに入るとき
 - － カメラのレンズのくもりや、汚れ、油膜、虫汚れ、水滴、氷、雪、泥などが付着しているとき
 - － カメラの視界を妨げるようなものを取り付けたとき
 - － カメラのレンズに強い光（太陽光や対向車のハイビームなど）を受けているとき
 - － 急ブレーキや積載によって車両姿勢が大きく傾いたとき
 - － トンネルの出入り口や日陰など、急に明るさの変化が起こったとき

駐車支援システム

- 勾配の変化があるところを走行しているとき
- バックドアが開いているとき
- シフトポジションがR以外のとき
- 至近距離に歩行者が飛び出してきたとき
- 子供などの背の低い人や動物、自転車
- 前屈や後屈など直立・歩行以外の姿勢の人
- 乗り物に乗っている人
- ショッピングカートやベビーカーなどを押している人
- 合羽やワンピースなど輪郭が曖昧になる服装の人
- 傘や大きなカバンを所持していて身体の一部が隠れている人
- 歩行者が大きな荷物を持っている、背景と同じ色の服を着ているなど人特有の輪郭が認識できないとき

カメラ映像が表示されない場合

インテリジェントアラウンドビューモニター作動中に、次のような画面表示が続く場合は、カメラシステムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

カメラが作動しない／カメラの故障／カメラECUの故障などにより映像に異常がある場合

- インテリジェントアラウンドビューモニター画面に次の画面が表示されるなど、異常なカメラ映像が表示されるとき

パーキングアシストは現在使用できません

プロパイロットパーキング★

プロパイロットパーキングは、車庫入れや縦列駐車時の運転操作を支援するシステムです。プロパイロットパーキングには次の機能があります。

駐車枠線検出機能 (👉P.320)

車線枠がある駐車位置、もしくは縦列駐車スペースへの駐車操作を支援します。

メモリー機能 (👉P.329)

事前に登録した駐車位置への後退駐車操作を支援します。車線枠がない場所でも使用することができます。

プロパイロットパーキングについて

⚠ 警告

- プロパイロットパーキングは標準的な駐車場所における運転操作を支援する機能であり、前方不注意状態での運転操作を補助するものではありません。

安全運転を行う責任は運転者にあるため、通常の運転操作と同様に、周りの状況をミラーや目視で直接確認し、周囲の車両や障害物、人などに接触しそうな場合や、走行できる路面を越えそうな場合などは、ブレーキペダルを踏んですみやかに停車してください。

- プロパイロットパーキングはソナーで障害物を検出し駐車位置や切り返し位置を調整する機能がありますが、適切に機能しない場合があります。

詳細については、ソナー/インテリジェントアラウンドビューモニターカメラの検知条件と制限をお読みください。(👉P.221、👉P.318)

- プロパイロットパーキングは標準的な駐車方法で移動方向、切り返し位置、駐車位置を調整して車両を移動します。

移動方向に障害物や走行できない路面に近づいた場合は、ブレーキペダルを踏んで停車し、駐車制御の進行方向をシフトポジションを切り替えるなどして、適切な対応をしてください。

駐車支援システム

⚠ 警告

- プロパイロットパーキングはハンドルを自動で制御するため、ハンドルに巻き込まれないように注意する必要があります。

手や指がスポーク部に巻き込まれ、ケガをするおそれがあります。また、ネクタイ、スカーフなども巻き込まれないように十分注意してください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

システム構成

- インテリジェントアラウンドビューモニターカメラとソナーで、駐車枠線や縦列駐車スペースを検出します。
- メモリー機能はさらにGPS位置情報を使い、事前に登録した駐車位置を、自動で検出してお知らせします。
- システムはアクセル、ブレーキ、ステアリング、シフトポジションを切り替えて、駐車制御します。
- 駐車制御時にソナー機能を自動でONにします。（駐車制御が終了すると、元の設定状態に戻ります）

プロパイロットパーキングの表示機能と操作スイッチ

プロパイロットパーキングスイッチ

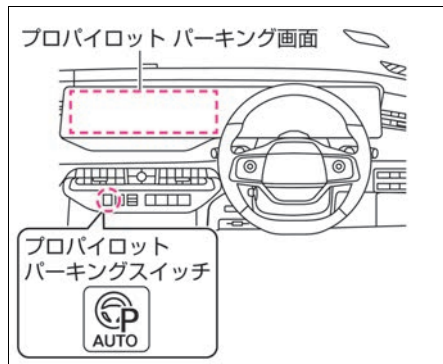
駐車支援システムが起動します。

※：インテリジェントアラウンドビューモニター画面表示中は、画面の [] をタッチして起動することができます。

プロパイロットパーキング画面

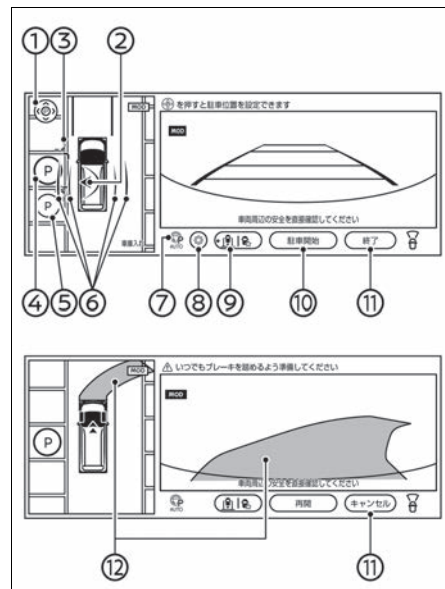
検出した駐車位置や駐車制御中の移動方向の表示、駐車開始・終了などの操作スイッチを表示します。

※：制御中はシステムの状態を表示するため、画面の切り替え操作はできません。



プロパイロットパーキング（駐車枠線検出機能）

車線枠がある駐車位置に車庫入れ、縦列駐車、前向き駐車を支援する機能です。カメラとソナーにより駐車位置を検出し、アクセル、ブレーキ、ステアリング、シフトポジション操作を制御することにより駐車操作を支援します。



- ① **駐車目安枠調整アイコン** []
駐車枠線検出機能中に [] をタッチすると、駐車目安枠の位置調整画面が起動します。
- ② **駐車位置検出アイコン**
駐車位置検出中に、左右どちらの駐車位置が検出されているか表示します。
 - ▶：右側の駐車位置が検出されているとき
 - ◀：左側の駐車位置が検出されているとき

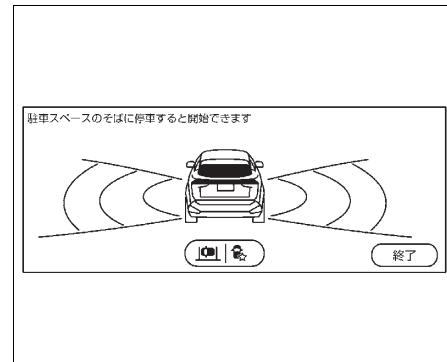
駐車支援システム

- ③ 障害物目安線（赤色）
駐車制御中に車両が通過する目安範囲を表示します。
- ④ ㊶（青色）
これから駐車する位置を表示します。
- ⑤ ㊶（白色）
選択された駐車位置以外に、選択可能な駐車位置を表示します。タッチすると㊶（青色）に切り替わります。
- ⑥ 駐車位置検出目安線（水色）
駐車位置を検出する目安範囲を表示します。
- ⑦ プロパイロットパーキング制御アイコン 
プロパイロットパーキングの制御状態を色で表示します。
緑色：制御中
灰色：非制御中
- ⑧ 設定アイコン 
プロパイロットパーキングの設定を変更できます。
- ⑨ 駐車枠線検出機能アイコン 
現在選択されている駐車方法を表示します。
駐車枠線検出機能中はオレンジ色のインジケーターが点灯します。
メモリー機能を起動中にタッチすると、駐車枠線検出機能に切り替えることができます。
- ⑩ 【駐車開始】 / 【再開】
駐車制御を開始します。
- ⑪ 【終了】 / 【キャンセル】
プロパイロットパーキングを終了します。

- ⑫ 駐車経路表示
駐車制御の移動方向を表示します。
●ワイパー作動中やカメラレンズに付着した水滴などを検出すると  が表示されます。 表示中は、検出できる駐車位置が制限されます。

■ 車速が約10km/h以上になった場合

駐車位置検出中に車速が約10km/h以上になると、画面が切り替わります。
車速が約10km/h以下になると、プロパイロットパーキング画面に戻ります。

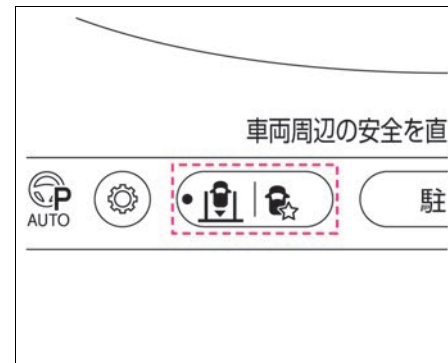


駐車モードを切り替える

駐車枠線検出機能とメモリー機能を切り替えることができます。

-  をタッチすると、駐車枠線検出機能に切り替えることができます。
-  をタッチすると、メモリー機能に切り替えることができます。

➡ プロパイロットパーキング（メモリー機能）（P.329）



駐車方法の選択（駐車枠線検出機能）

- 【駐車開始】をタッチする前に、駐車枠線検出機能アイコンで駐車方法を変更できます。アイコンをタッチすることにより駐車方法が切り替わります。

表示	駐車方法
車庫入れ 	並列駐車場所に後退して駐車
縦列駐車 	縦列駐車場所に後退して駐車

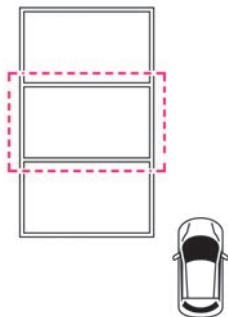
駐車支援システム

表示	駐車方法
前向き駐車 	並列駐車場所に前進して駐車

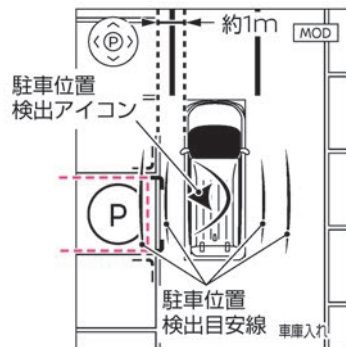
プロパイロットパーキングを使って駐車する（駐車枠線検出機能）

■ 操作例：車庫入れ（左側）

1. 駐車したい場所の手前で停車します。



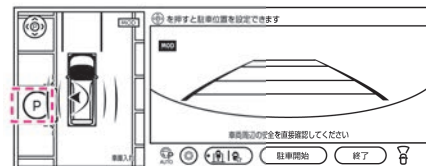
2. <プロパイロットパーキングスイッチ>を押すと、プロパイロットパーキングが起動します。
3. ゆっくりと前進し、駐車したい場所の真横（約1m）でブレーキペダルを踏んで停車する。



駐車位置検出アイコン [◀] が駐車したい場所の中央付近を示すように停車します。

2本の駐車位置検出目安線（水色）の範囲内に駐車区画線が入るように車を移動すると、駐車位置を検出しやすくなります。

4. 停車状態で、駐車したい場所にⓅが表示されていることを確認してください。



Ⓟが表示されている駐車場内や周辺に近接した障害物がないこと、車両が駐車できる十分な広さがあり、駐車可能な場所であることを確認してください。

5. ブレーキペダルを踏んだまま画面上の「駐車開始」をタッチするとプロパイロットパーキング制御アイコン [Ⓟ] が緑色になり、自動でブレーキをかけて停車状態を保持します。



ソナー、カメラで検出した障害物により駐車位置まで移動できないと判断した場合は、駐車制御が開始されません。その場合は通常走行で駐車を行ってください。

6. ブレーキペダルを離すと、駐車経路表示の方向に車両が移動します。周辺状況に応じてブレーキペダルを踏んで車速を調整してください。



駐車制御を開始した位置を起点に、駐車位置の方向に方向指示器が作動します。

7. 切り返し位置（駐車経路表示の終点）に到達するとシフトポジションが自動で切り替わり、車両が後退します。

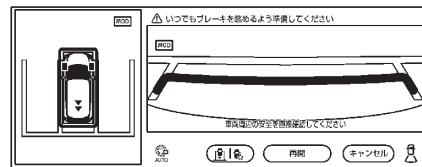


障害物などがあり切り返し位置に到達できない場合は、ブレーキペダルを踏んで障害物の手前で停車し、

<シフトスイッチ>を操作して進行方向を切り替えてください。

➡ 駐車制御の進行方向を切り替える (P.328)

8. 駐車目安枠（青色）に到達すると停車し、駐車制御が終了します。



駐車制御が終了すると、警報音（ブザー）と表示でお知らせします。

そのとき、シフトポジションがPに切り替わり、電動パーキングブレーキが作動します。

駐車目安枠（水色）に到達する前に駐車制御が自動で終了することがあります。

➡ 駐車制御中（車両移動時）の自動終了について (P.328)

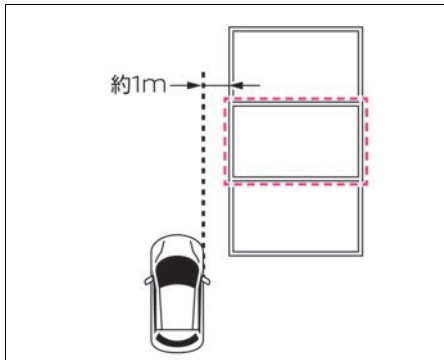
障害物などがあり駐車目安枠に到達できない場合は、ブレーキペダルを踏んで停車し、画面上の「キャンセル」をタッチしてプロパイロットパーキングを終了させてください。

駐車支援システム

プロパイロットパーキングの駐車方法について（車線枠線検出機能）

■ 車庫入れ

駐車したい場所の横、約1mの間隔で駐車位置に近づいてください。



駐車位置との間隔が広すぎると、障害物が検出できない場合や、区画線を検出できない場合があります。

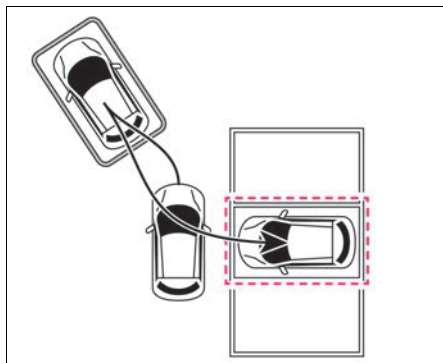
➡ 駐車位置検出機能について（駐車枠線検出機能）（P.326）

ゆっくりと前進し、駐車位置に垂直になるようにブレーキペダルを踏んで停車してください。

自車の運転席ドア付近が駐車したい場所の中央付近になるように停車してください。

図のような経路で駐車制御を行います。

駐車経路、切り返し回数は駐車位置、周辺の障害物の位置により異なります。

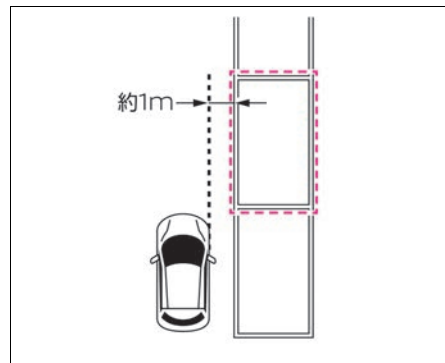


■ 縦列駐車

駐車したい場所の横、約1mの間隔で駐車位置に近づいてください。

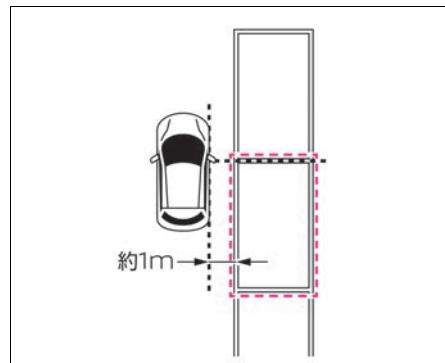
駐車位置との間隔が広すぎると、障害物が検出できない場合や、区画線を検出できない場合があります。

➡ 駐車位置検出機能について（駐車枠線検出機能）（P.326）



ゆっくりと前進し、駐車位置に平行になるようにブレーキペダルを踏んで停車してください。

自車の運転席ドア付近が駐車したい場所の先端になるように停車してください。



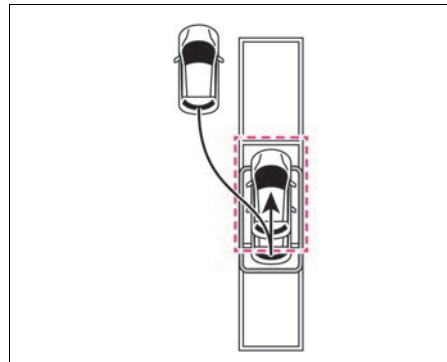
（例）後退から開始する場合の経路

図のような経路で駐車制御を行います。

駐車支援システム

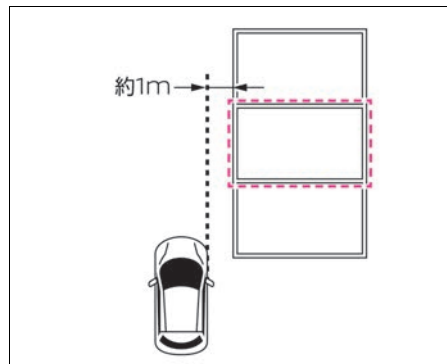
障害物や駐車位置によっては後退から開始する場合があります。

駐車経路、切り返し回数は駐車位置、周辺の障害物の位置により異なります。



■ 前向き駐車

駐車したい場所の横、約1mの間隔で駐車位置に近づいてください。



駐車位置との間隔が広すぎると、障害物が検出できない場合や、区画線を検出できない場合があります。

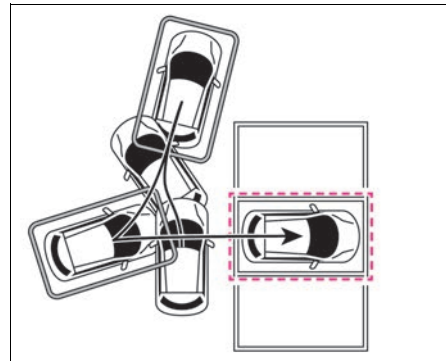
③ 駐車位置検出機能について（駐車枠線検出機能）（P.326）

ゆっくりと前進し、駐車位置に垂直になるようにブレーキペダルを踏んで停車してください。

自車の運転席ドア付近が駐車したい場所の中央付近になるように停車してください。

図のような経路で駐車制御を行います。

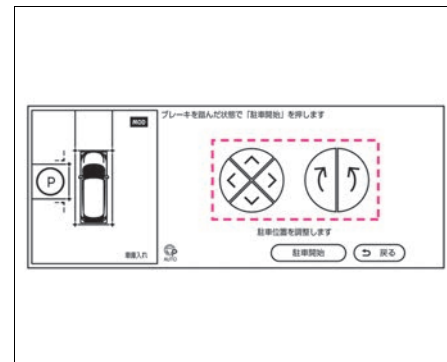
駐車経路、切り返し回数は駐車位置、周辺の障害物の位置により異なります。



駐車目安枠の調整（駐車枠線検出機能）

駐車目安枠を手動で調整することができます。

1. ブレーキを踏んで停車し、画面上の駐車目安枠調整アイコン [③] をタッチします。
③が表示されているときは、③のあった位置に駐車目安枠が表示されます。駐車位置が検出されていないときは、デフォルトの位置に駐車目安枠が表示されます。
2. 矢印をタッチして微調整します。
●表示される障害物目安線は、駐車位置に移動する際に車両の一部がはみ出す可能性がある範囲の目安を示します。車両やポールなどの障害物が障害物目安線より外側にあるときに、円滑な駐車を行うことができます。
●左側画面を直接タッチすることで、駐車目安枠を移動することができます。
●方向指示器を使って駐車目安枠の方向を切り替えることができます。



駐車支援システム

駐車位置検出機能について（駐車枠検出機能）

カメラとソナーを使って駐車位置を検出します。複数の駐車位置を検出できます。

カメラを使い、駐車区画線を認識して駐車位置を表示します。

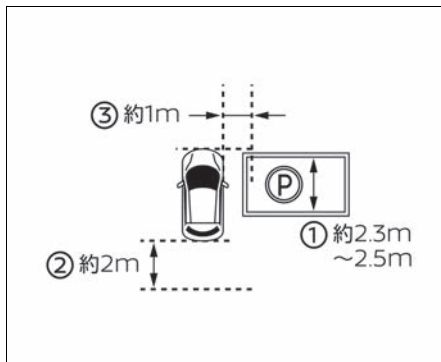
ソナーにより、検出した駐車区画内に障害物を検知した場合は駐車位置を表示しません。

- フロントビュー、サイドビュー、リアビューカメラのいずれかのカメラのレンズに汚れ、水滴などが付着しているときは検出できる駐車位置に制限がかかる場合があります。

■ 車庫入れ、前向き駐車が選択されている場合

次の条件で駐車位置を検出します。

- 幅約2.3m～2.5m①の駐車区画を基本として認識します。
- 単線またはU字の区画線を基本として認識します。
- 区画線の太さは約15cmを基本として認識します。
- 自車の前端から自車の後端約2m②以内に区画線があるときに認識します。
- 駐車区画が自車から約1m③にあるときに認識します。

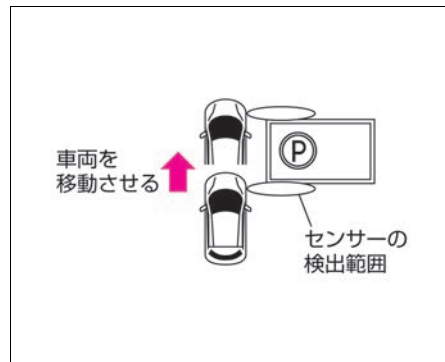


- <左右の自動選択>がONの場合は車両の両側の駐車位置が検出されます。

➡ プロパイロットパーキングの設定 (P.336)

フロントのソナーセンサーの検出範囲がカメラにより検出された駐車区画上を通過し、障害物を検知した場合は駐車位置を表示しません。

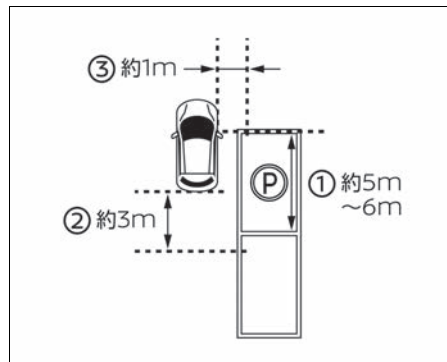
ソナーセンサーの検出範囲より遠くにある駐車区画内の障害物は検出できません。



■ 縦列駐車が選択されている場合

- 長さ約5m～6m①の駐車区画を基本として認識します。
- 区画線は単線を基本として認識します。
- 区画線の太さは約15cmを基本として認識します。
- 自車の運転席ドア付近から自車の後端約3m②以内に区画線があるときに認識します。
- 駐車区画が自車から約1m③にあるときに認識します。

駐車支援システム



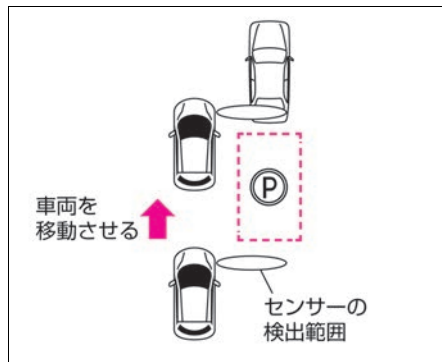
- <左右の自動選択>がONの場合は車両の両側の駐車区画が検出されます。
- ➡ プロパイロットパーキングの設定 (P.336)

フロントのソナーセンサーの検出範囲がカメラにより検出された駐車区画上を通過し、障害物を検知した場合は駐車位置を表示しません。

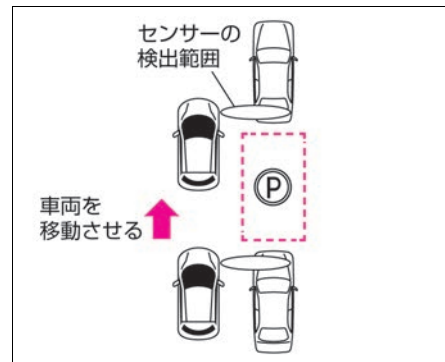
ソナーセンサーの検出範囲より遠くにある駐車区画内の障害物は検出できません。駐車区画線が認識されない場合は、ソナーセンサーを使って周囲の障害物から駐車場所を検出します。



- 周囲の障害物の位置や角度によっては駐車目安枠は大きくずれる場合があります。
- 障害物の手前にスペースがある場合



- 障害物間に駐車可能なスペースがある場合



プロパイロットパーキング（駐車枠線検出機能）の一時停止について

駐車制御の自動停止

次の場合は自動的にブレーキがかかり停車します。

- 進行方向に障害物を検出したとき
- 運転席のシートベルトを外したとき
- 駐車制御を再開すると、自動でシフトポジションがDまたはRに切り替わります。
- 障害物を検出して停車した場合、駐車制御を再開すると進行方向を変えて、切り返しにより駐車制御を継続します。
- ソナー、カメラで検出した障害物により駐車位置まで移動ができないと判断した場合、駐車制御を再開できません。
- シートベルトを着用しないと駐車制御を再開できません。

状況が改善されたことを確認し、ブレーキペダルを踏みながら画面上の【再開】をタッチすると駐車制御を再開できます。

プロパイロットパーキング（駐車枠線検出機能）の終了のしかた

⚠ 警告

- プロパイロットパーキングが自動終了した場合、ブレーキ操作など必要な運転操作を行ってください。思わぬ事故につながる可能性があります

画面上の「終了」または「キャンセル」をタッチすると、プロパイロットパーキングが終了します。

駐車制御中にプロパイロットパーキングを終了すると、自動的にブレーキがかかり停車し、電動パーキングブレーキが作動します。このとき、シフトポジションは**P**に切り替わります。

■ 駐車位置検出中の自動終了について

次の場合は、プロパイロットパーキングが自動的に終了します。

（自動的にブレーキはかかりません）

- 運転席、助手席、後席、またはバックドアのいずれかのドアを開けたとき
- プロパイロットパーキング起動後約500m以上走行したとき
- 車速が約30km/hを超えたとき
- ドアミラーを閉じたとき
- <CAMERAスイッチ>などで画面を切り替えたとき

■ 駐車制御中（車両移動時）の自動終了について

次の場合は、プロパイロットパーキングが自動的に終了します。

駐車制御中に自動終了すると、自動的にブレーキがかかり車両が停止し、電動パーキングブレーキが作動します。このとき、シフトポジションは**P**に切り替わります。

- ハンドルを操作したとき
- アクセルペダルを操作したとき
- 運転席、助手席、後席、またはバックドアのいずれかのドアを開けたとき
- 電動パーキングブレーキを作動させたとき
- シフトポジションを切り替えたとき
- <CAMERAスイッチ>を押したとき
- ドアミラーを閉じたとき
- <プロパイロットパーキングスイッチ>を押したとき
- 障害物などにより駐車位置まで移動ができないと判断したとき
- 駐車制御による駐車位置が大きすぎたと判断したとき
- VDCをOFFにしたとき
- VDC/TCS/ABSが作動したとき
- 車速が約8km/hを超えたとき
- 駐車位置に近い場所で次の状況になったとき
 - 駐車経路上に障害物を検出したとき
 - 運転席のシートベルトを外したとき

■ 駐車制御中（一時停止時）の自動終了について

次の場合は警報音（ブザー）と表示でお知らせし、プロパイロットパーキングが自動的に終了します。

このとき、電動パーキングブレーキが作動し、シフトポジションが**P**に切り替わります。

- 運転席、助手席、後席、またはバックドアのいずれかのドアを開けたとき
- アクセルペダルを踏んだとき
- 電動パーキングブレーキを作動させたとき
- シフトポジションを**P**または**N**に切り替えたとき
- 一時停止状態が約1分以上経過したとき
- <CAMERAスイッチ>を押したとき
- ドアミラーを閉じたとき
- VDCをOFFにしたとき
- VDC/TCS/ABSが作動したとき
- <プロパイロットパーキングスイッチ>を押したとき

📖 知識

システムの異常を検知した場合（バッテリー電圧低下時の一時的な通信異常などを含む）、自動終了時に、自動的にブレーキがかからない場合があります。

駐車制御の進行方向を切り替える

車両の進行方向に障害物（ポールなど）がある、または溝や崖など地面より低い場所

駐車支援システム

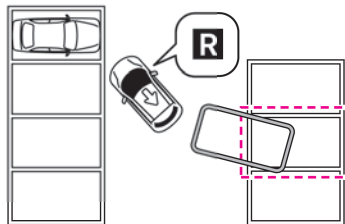
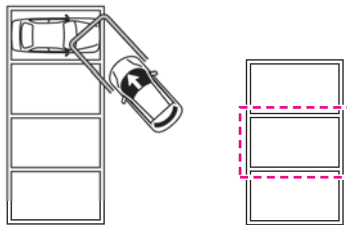
があるときには、ブレーキペダルを踏んで停車してください。

🔗 プロパイロットパーキングの注意事項 (P.338)

その後、＜シフトスイッチ＞を操作して進行方向を切り替え、駐車制御を再開します。

(例) 駐車車両がある場合

1. ブレーキペダルを踏んで停車します。



📖 知識

- ソナーで検出した障害物により駐車位置まで移動ができないと判断した場合、駐車制御を再開できません。

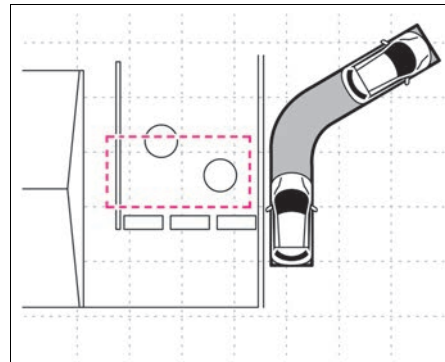
プロパイロットパーキング（メモリー機能）

⚠️ 注意

- メモリー機能は運転操作（アクセル、ブレーキ、ステアリング、シフトポジション操作）、もしくは走行状態（移動方向、切り返し位置など）を登録し、制御により再生する機能ではありません。

標準的な駐車方法で移動方向、切り返し位置、駐車位置を調整して、目的の駐車位置まで車両を移動します。

- カメラにより駐車位置と周辺の路面模様を事前に登録することで、駐車枠線のない駐車位置を検出する機能です。
- 検出した駐車位置へ後退駐車するための運転操作（アクセル、ブレーキ、ステアリング、シフトポジション）を支援します。



プロパイロットパーキング（メモリー機能）画面

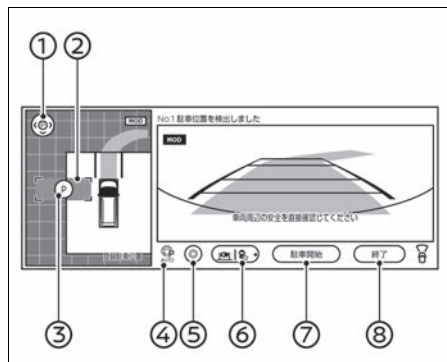
駐車位置検出中の表示

プロパイロットパーキング画面の左側に検出した、登録駐車位置の目安となる枠を表示します。

登録駐車位置が現在のカメラ映像範囲外の場合、映像を縮小して位置関係を表示します。

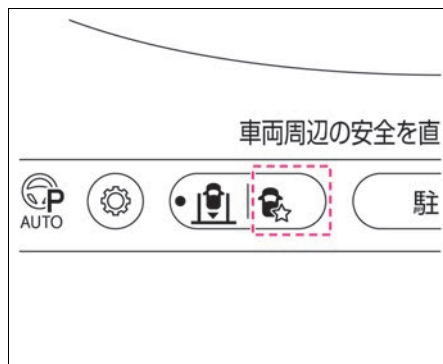
（カメラ映像検出範囲外：黒色格子線）

駐車支援システム



- ① 駐車目安枠調整アイコン []
メモリー機能を選択中に [] をタッチすると、登録駐車位置の一覧を表示します。
➡ プロパイロットパーキング（メモリー機能）のマニュアル設定について (P.334)
- ② 駐車目安枠（水色）
駐車終了時の目安となる位置を表示します。
- ③ （青色）
選択中の駐車位置を表示します。
- ④ プロパイロットパーキング制御アイコン []
プロパイロットパーキングの制御状態を色で表示します。
緑色：制御中
灰色：非制御中

- ⑤ 設定アイコン []
プロパイロットパーキングの設定画面に切り替えます。
➡ プロパイロットパーキングの設定 (P.336)
- ⑥ メモリー機能アイコン []
メモリー機能を選択します。選択時はオレンジ色のインジケータを表示します。
➡ プロパイロットパーキング（メモリー機能）で駐車位置を登録する (P.331)

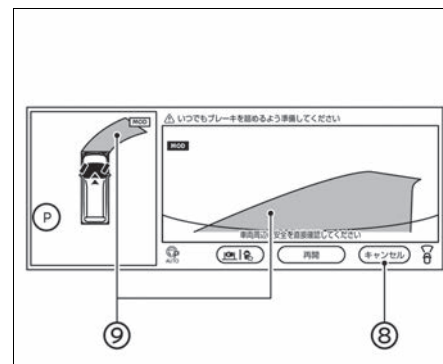


表示	駐車方法
	登録駐車位置を検出していない状態を示します。

表示	駐車方法
	アイコンの右下に車両周辺で検出した登録駐車位置の数を表示します。 (例：1か所を検出)
	複数検出した場合は、タッチ操作により駐車位置を切り替えることができます。 (例：2か所を検出)

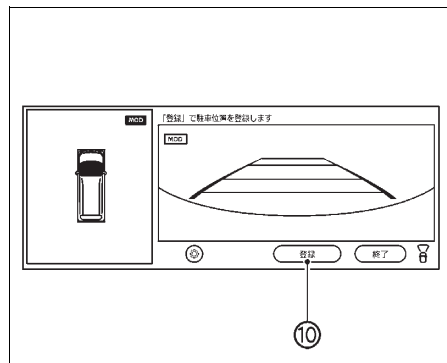
- ⑦ [駐車開始] / [再開]
駐車制御を開始します。
※駐車制御が一時停止した場合は [再開] を表示します。
➡ プロパイロットパーキング（メモリー機能）の一時停止機能について (P.333)

駐車制御中の表示



駐車支援システム

- ⑧ [終了] / [キャンセル]
プロパイロットパーキングを終了します。
- ⑨ 駐車経路表示
駐車制御の移動方向を表示します。
登録時の表示（登録ガイダンス画面）



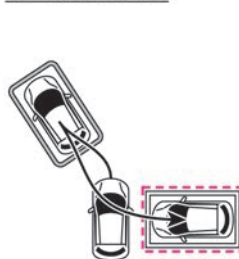
- ⑩ [登録] / [ヒント]
シフトポジションを**P**に切り替えると[登録]を表示します。
➡ **プロパイロットパーキングの設定** (P.336)
駐車位置の登録条件を満足していない場合、[ヒント]を表示します。
➡ **プロパイロットパーキング（メモリー機能）使用時のヒントについて** (P.334)

プロパイロットパーキング（メモリー機能）で駐車位置を登録する

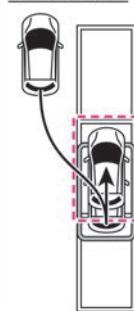
自身の運転操作で駐車したあとに、プロパイロットパーキング画面で駐車位置を事前に登録します。

1. 図のように自身の運転操作で後退駐車します。

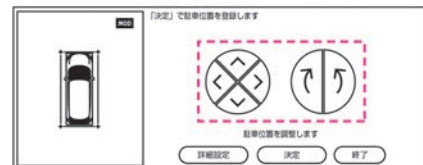
例) 後退車庫入れ



例) 後退縦列



2. シフトポジションを**P**に切り替えると、プロパイロットパーキング画面に切り替わります。画面下の[登録]をタッチすることで、登録設定画面に切り替えます。
➡ **プロパイロットパーキング（メモリー機能）の注意事項** (P.341)
3. 登録画面で駐車位置を確認して、[決定]をタッチします。



登録駐車位置の調整について

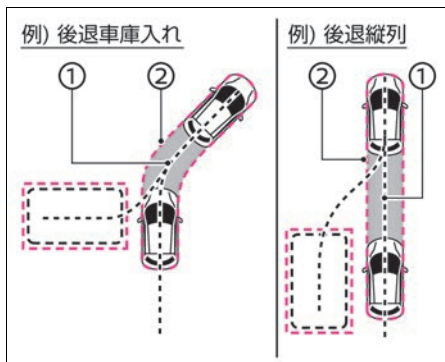
[決定]をタッチする前に、画面上の矢印で駐車位置を調整することができます。周辺の障害物などに注意して使用してください。非常に近くに障害物がある（特にソナー表示が赤色を示す）駐車環境では、登録した駐車位置への駐車制御を開始できないことがあります。

➡ ソナー機能について (P.313)

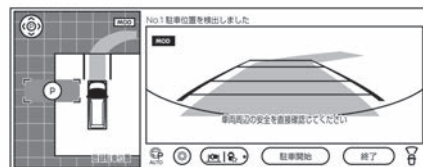
プロパイロットパーキング（メモリー機能）を使って駐車する

登録した駐車位置の前で停車して、プロパイロットパーキングを起動し、駐車制御を開始します。

駐車支援システム



- ① 登録したときの移動方向
- ② 自動検出できる停車範囲
1. 登録時の移動方向に沿って、駐車位置の前でブレーキペダルを踏んで停車します。
登録駐車位置が検出されると、カメラ画面に自動で切り替わり、駐車位置②を表示します。
2. 障害物がないことを確認し、ブレーキペダルを踏んだ状態で「駐車開始」をタッチします。

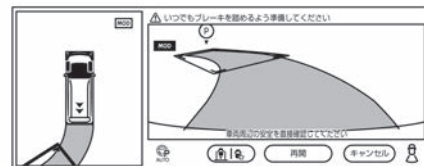


3. 周囲の安全を確認した上でブレーキペダルを離し、駐車制御を開始します。
4. ブレーキペダルを離すと、表示の方向に車両が移動します。周囲の状況に応じてブレーキペダルを踏んで車速を調整してください。



5. 切り返し位置（駐車経路表示の終点）に到達するとシフトポジションが自

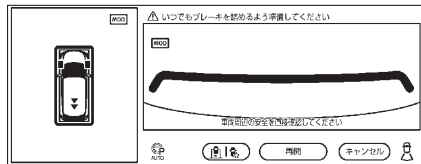
動で切り替わり、車両が後退（後退時は前進）します。



手で駐車制御の進行方向を切り替えることもできます。

➡ 駐車制御の進行方向を切り替える (P.328)

6. 駐車目安枠（青色）に到達すると停車し、駐車制御の自動終了処理を行います。



知識

- 画面上の「キャンセル」で停車して、駐車制御の自動終了処理を行うことができます。障害物があるなど駐車目安枠に到達できない場合などに使用してください。
- ソナー、カメラで障害物を検出している場合は、目安枠の手前で駐車制御の自動終了処理を行う場合があります。
- 所定の条件を検出した場合、駐車制御の自動終了処理を行います。
➡ プロパイロットパーキングの注意事項 (P.338)
- ソナー、カメラで障害物を検出するなどの条件で、駐車制御が一時停止する場合があります。
➡ プロパイロットパーキング（メモリー機能）の一時停止機能について (P.333)

自動終了処理について

- 電動パーキングブレーキを作動しシフトポジションをPに切り替えて、警報音（ブザー）と表示で駐車制御が終了したことをお知らせします。

プロパイロットパーキング（メモリー機能）の一時停止機能について

- 次の条件では、自動的にブレーキがかかり停車し、駐車制御が一時停止します。状況が改善されたことを確認し、ブレーキペダルを踏みながら画面上の「再開」をタッチすると駐車制御を再開することができます。
 - ー 進行方向に障害物を検出したとき
 - ー 運転席のシートベルトを外したとき
- 駐車制御を再開すると、自動でシフトポジションがDまたはRに切り替わります。
- 障害物を検出して停車した場合、駐車制御を再開すると進行方向を変えて、切り返しにより駐車制御を継続します。
- ソナー、カメラで検出した障害物により駐車位置まで移動ができないと判断した場合、駐車制御を再開できません。
- シートベルトを着用しないと駐車制御を再開できません。

プロパイロットパーキング（メモリー機能）の自動解除機能について

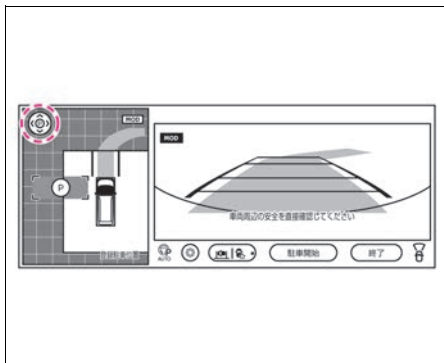
- 次の条件ではメモリー機能が解除されるため、駐車位置を登録したり、登録した駐車位置を検出することができません。
 - ー ドアミラーを閉じたとき

- ー ドアを開けたとき
- ー 約30km/h以上の速度で走行したとき
- ー <パワースイッチ>をOFFにしたとき
- ー 自動駐車終了した直後
- ー ワイパーが作動しているとき（作動判定中は「ワイパー」が表示されます）
- ー VDC/TCS/ABSが作動したとき
- ー システム異常が検出されたとき
条件解除後約20m以上走行すると、使用できるようになります。
- 駐車制御中の機能解除条件については、駐車制御中（車両移動時）の自動終了について（➡ P.328）を参照してください。
また、一時停止機能中の機能解除条件については、駐車制御中（一時停止時）の自動終了について（➡ P.328）を参照してください。
- 使用する駐車環境によっては、正しく機能しない場合があります。
➡ プロパイロットパーキングの注意事項 (P.338)
➡ プロパイロットパーキング（メモリー機能）の注意事項 (P.341)
自動解除機能は作動しないため注意して使用してください。

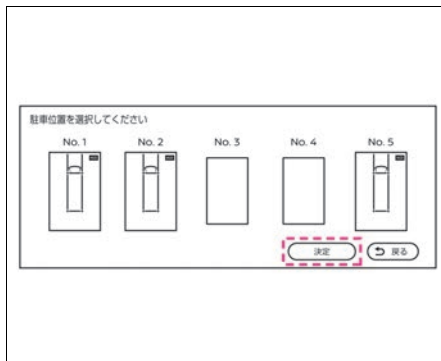
駐車支援システム

プロパイロットパーキング（メモリー機能）のマニュアル設定について

- メモリー機能アイコン [] をタッチしてメモリー機能を選択します。
（メモリー機能を選択中はオレンジ色のインジケーターが点灯します）
- 画面左上の駐車目安枠調整アイコン [] をタッチすると、選択画面が表示されます。



登録時の映像が表示されている番号から選択したい駐車位置をタッチし、「決定」をタッチします。



- 駐車位置を検出すると、プロパイロットパーキング画面に駐車位置が表示されます。
➡ プロパイロットパーキング（メモリー機能）画面 (P.329)
（登録駐車位置の自動提案がOFFになっている場合は、メモリー機能アイコン [] をタッチすると選択画面が表示されます）

プロパイロットパーキング（メモリー機能）使用時のヒントについて

駐車位置を検出しない／検出しにくい場合
次の手順で確認をしてください。

- 登録駐車位置の近くに停車していることを確認します。
➡ プロパイロットパーキング（メモリー機能）を使って駐車する (P.331)

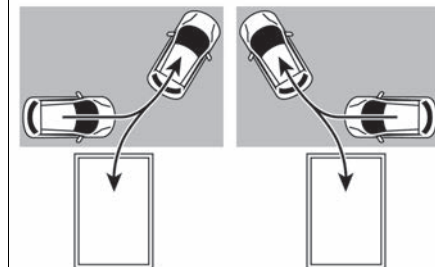
- NissanConnectインフォテインメントシステム画面上に⑧アイコンが表示されていることを確認します。

➡ プロパイロットパーキング（メモリー機能）画面 (P.329)

- プロパイロットパーキング画面に切り替え、メモリー機能アイコン [] にオレンジ色のインジケーターが点灯していることを確認してください。
（点灯していない場合はメモリー機能アイコンをタッチします）
- タッチ後も検出しない場合、正しく機能しない条件 (➡ P.341) を参照し、必要に応じて状況を改善してください。

追加登録すると検出しやすくなる

- 登録時と異なる移動方向から駐車した場合、駐車位置を追加登録することにより、検出しやすくなります。



- 登録時の光環境と異なる状況で使用した場合、カメラ映像で取得できる路面模様などが異なるため、駐車位置を検出でき

駐車支援システム

ない場合があります。その際、駐車位置を追加登録することにより、検出しやすくなります。

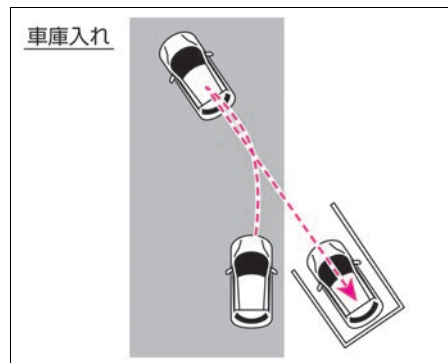
- 駐車位置を自動検出しない場合、手動でシステムを起動することができます。GPSの受信状況が悪い場所などでお使いください。
- ➡ プロパイロットパーキング（メモリー機能）のマニュアル設定について
(P.334)

駐車制御が使用環境にあっていない場合

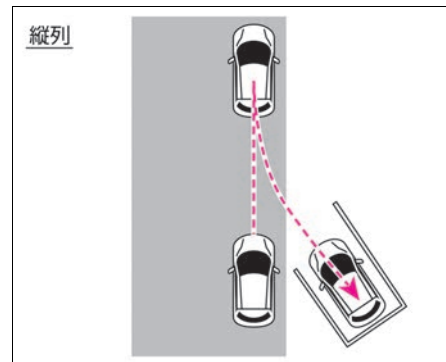
登録した駐車位置ごとに駐車制御の設定を変えることができます。

- ➡ プロパイロットパーキングの設定
(P.336)

（例）駐車方法の設定で「車庫入れ」を選択した場合



（例）駐車方法の設定で「縦列」を選択した場合

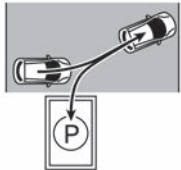
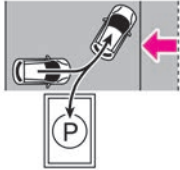
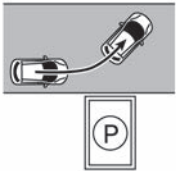
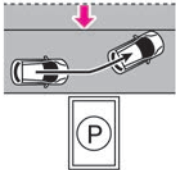


プロパイロットパーキングの設定

登録した駐車位置ごとに駐車制御の設定を変えることができます。（登録時の駐車操作によりシステムが自動で初期設定します）
インテリジェント アラウンドビューモニター画面の [] をタッチします。

項目1	項目2	項目3	機能
登録駐車位置の自動提案※			ON（初期設定） ● 登録した駐車位置に近づくときカメラ映像により自動で駐車位置を検索します。 OFF ● 自動で検索しません。マニュアル操作で検索します（➡ P.334） ※：設定値は登録した全駐車位置に反映
シフトP連動登録画面表示※			ON（初期設定） ● シフトポジションをPに切り替ええると、登録ガイダンス画面（➡ P.329）を自動で表示します。 ※：設定値は登録した全駐車位置に反映

駐車支援システム

項目1	項目2	項目3	機能
登録駐車位置の確認・編集	駐車位置を選択してください	駐車方法 ハンドル制御	● 選択された駐車方法を「車庫入れ」／「斜め」／「縦列」から選択できます。 ● 選択されたハンドル制御設定（「標準」／「コンパクト」）を表示します。 「コンパクト」に設定すると、図の矢印のように前方向の移動量を小さくします。左（右）方向のスペースが必要です。 標準  コンパクト 
		通路幅	● 選択された通路幅設定（「標準」／「狭め」）を表示します。 「狭め」に設定すると、図の矢印のように左右方向の移動量を小さくします。前方向のスペースが必要です。 標準  狭め 
		自動検出	ON（初期設定） ● 登録駐車位置ごとに選択された「登録駐車位置の自動提案」を表示します。
		駐車位置の削除	タッチにより登録した駐車位置を削除します。

駐車支援システム

項目1	項目2	項目3	機能
駐車枠線検出機能の設定	前回駐車方法を選択		● ONにすると前回の駐車方法が選択されます。 OFFにすると車庫入れが選択されます。
	左右の自動選択		● ONにすると車両の両側の駐車位置が検出されます。 OFFにすると前回プロパイロットパーキングを使用した側の駐車位置のみ検出されます。 その際、方向指示器を作動させると、作動方向の駐車位置を検出します。
	駐車方法の設定	車庫入れ	● プロパイロットパーキング画面で選択できる駐車方法を設定できます。
		縦列駐車 前向き駐車	● ONになっている駐車方法が駐車方法変更アイコン [] をタッチすることを選択され ません。 OFFになっている駐車方法は駐車方法変更アイコン [] をタッチしても選択されませ ん。 ➡ <u>駐車方法の選択（駐車枠線検出機能）</u> (P.321)
ヘルプ			● 詳細設定の項目について、補足説明が記載されています。

ソナーの検知条件と制限

⚠ 警告

- ソナーの性能には限界があります。
詳細についてはソナーの検知条件と制限をお読みください。
➡ ソナーの検知条件と制限 (P.221)

インテリジェントアラウンドビューモニターカメラの検知条件と制限

⚠ 警告

- インテリジェントアラウンドビューモニターカメラの性能には限界があります。

詳細についてはインテリジェントアラウンドビューモニターカメラの検知条件と制限をお読みください。

➡ インテリジェントアラウンドビューモニターカメラの検知条件と制限 (P.318)

プロパイロットパーキングの異常について

システムに異常があると、NissanConnectインフォテインメントシステム画面に警告メッセージが表示され、プロパイロットパーキング制御アイコン [] の色がオレンジ色に変わり、プロパイロットパーキングが自動的に解除されます。使用中に警告が表示されたときは、安全な場所に停車して<パワースイッチ>をOFFにしてから再度ONにしてください。

上記の操作を行ってもプロパイロットパーキングが起動できないときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

プロパイロットパーキングの注意事項

⚠ 警告

- 画面だけを見ながら走行することは絶対にしないでください。
障害物に接触したり、思わぬ事故につながったりするおそれがあります。
- 周囲の車両や人の動きに十分注意してください。

⚠ 警告

検出された通路幅を有効に使うって駐車支援を行っています。対向車や後続車、歩行者の動きに十分注意して駐車制御の操作を行ってください。

- プロパイロットパーキングによる駐車支援が必要なくなったときは、プロパイロットパーキングを終了してください。

プロパイロットパーキングが作動状態のままだと思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 車を降りる前に、電動パーキングブレーキが作動していること、およびシフトポジションがPであることを確認してください。
- 縁石や車止めは検出できません。

縁石にホイールが接触しそうな場合や車両が車止めを越えそうな場合にはブレーキペダルを踏み停車してください。車両が損傷することがあります。

- プロパイロットパーキングを使用する前に、車両周辺に切り返しなどの駐車操作ができるスペースが十分あることを直接確認してください。
- 状況によっては車両内外の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。
- 駐車制御中は周囲へ車両の進む方向を知らせるために方向指示器を作動させてください。

- 次のような状況ではプロパイロットパーキングを使用しないでください。

- 人や車両などの通行量が多い場所
- 停車および駐車が禁止されている場所
- 車両が入らないほど狭い場所
- 穴や溝などがあるような駐車できない場所
- 通路幅が狭い場所
- 急な勾配のある場所
- 砂地や砂利地などの整備されていない路面
- 雪や凍結などでスリップしやすい路面
- 傾斜地や段差、縁石、わだちなどのある平坦ではない路面
- 道幅と駐車位置に十分なスペースがないとき
- 真夏の炎天下でアスファルトが溶けているような路面
- 駐車場にロードヒーター（路面凍結防止用のヒーター）が設置されている場所
- 機械式駐車場や自動ロック装置のある駐車場、駐車場所に障害物などがある場所
- 過積載のとき
- 摩耗しているタイヤ、スベアタイヤのような非常用タイヤ、タイヤチェーンを装着しているとき

- タイヤの空気圧が適正ではないとき
- けん引フックなどを取り付けているとき
- カメラの視界を妨げるようなものを取り付けたとき
- カメラが汚れや西日、影などで見にくいとき
- ドアミラーが開き切っていないとき
- カメラが正常に取り付けられていないとき
- バンパーにソナーセンサーの性能を妨げるようなものを取り付けたとき
- バンパーにへこみなどがあるとき
- ソナーセンサー周辺に雨や雪、泥などが付着しているとき
- 極端に重い荷物を積んだり、車両の片側にだけ荷物などを積んでいたりして車両が傾いているとき

- 次のような状況ではブレーキがかかるなど、適切に駐車制御できない場合があります。

- 雨、雪、氷、汚れなどがソナーセンサーに付着しているとき
- 周囲で大きな音が鳴っているとき
- 周囲に超音波（ソナーを搭載した車両を含む）を発するものがあるとき
- 周囲に草が生い茂っているとき
- 凸形状または凹形状の構造物の近くを通過しているとき

駐車支援システム

- 車両側方の近くに構造物（壁、料金所設備、駐車場のゲート設備など）があるとき
- 路面上に段差や突起物、排水溝のふたがあるとき
- 垂れ下がった旗、ビニールカーテンなどをくぐって通過するとき
- 車両周辺に雪のかたまりがあるとき
- 次のような状況では駐車位置を検出できない、または検出しにくい場合があります。
 - 自車が駐車区画に近すぎるとき
 - 駐車区画がロープ、ブロックなどで作られている区画線のない駐車場
 - 区画線がかすれや汚れによってはっきり見えないとき
 - 路面と区画線のコントラストが低いとき
 - 路面の区画線が黄色などの白線以外の色のとき
 - 駐車区画が極端に狭い、もしくは広いとき
 - 区画線が極端に短いとき
 - 区画線が極端に細い、もしくは太いとき
 - 駐車エリアが傾斜しているなどカメラ映像上で平行な区画線に見えないとき
 - 区画線が斜め線などと接続されているとき
 - 区画線に車両の影や木陰などがかかっているとき
 - 隣の車両や障害物などが区画線上にあるとき
 - 駐車区画内に障害物があるとき

- 夜間、地下、立体駐車場など周囲が暗いとき
- 悪天候（雨、雪、霧、粉塵、砂塵、吹雪など）などで区画線がはっきりと映っていないとき
- カメラにお湯や水を掛けたり、レンズがくもっているとき
- 太陽や電灯の光が路面に映っているとき
- 太陽や電灯の強い光が路面に当たっているとき
- 降雨時や雨上がりなど、路面が濡れて光っていたり、水たまりがあったりするとき
- 朝日や夕日など、太陽の光がカメラに入るとき
- カメラのレンズが汚れていたり、水滴が付着していたりしているとき
- カメラの視界を妨げるようなものを取り付けたとき
- 段差、側溝、路面ペイント、引き直し線などがあるとき
- 積雪や融雪剤があるとき
- 石畳や緑化駐車場のとき
- 画面上で駐車区画内にノイズ状の模様があるように表示されているとき
- 駐車区画内に文字などが描かれているとき
- 路面の色や明るさが一様でないとき
- 駐車区画と自車が傾いて止まっているとき
- 通路幅が狭いとき
- 前方に障害物があるとき

- 雨、雪、氷、汚れなどがソナーセンサに付着しているとき
- 周囲で大きな音が鳴っているとき
- 周囲に超音波（ソナーを搭載した車両を含む）を発するものがあるとき
- 周囲に草が生い茂っているとき
- 路面上に段差や突起物、排水溝のふたがあるとき
- 車両周辺に雪のかたまりがあるとき
- 次のような状況では、適切な位置に駐車位置が検出されない場合があります。
 - 区画線に見えるような光、建物などの映り込み、段差、側溝、路面ペイント、引き直し線などがあるとき
 - 路面補修痕、路面表示などやポールなどの障害物があるとき
 - 降雨時や雨上がりなど、路面が濡れて光っていたり、水たまりがあったりするとき
 - 路面の色や明るさが一様でないとき
 - 勾配がついている駐車場
 - 区画線に駐車車両のサイドステップや、影が差ししかかっているとき
 - 区画線がかすれや汚れによってはっきり見えないとき
 - 自車の影や木陰などの影響を受けてしまったとき
- 次のような状況ではシステムが機能を十分に発揮できない場合があります。
 - 日産純正品以外のタイヤを使用しているとき
 - 日産純正品以外のタイヤを使用しているときには、設定した位置に正しく駐車制御できない場合があります。冬用タイヤ

駐車支援システム

などへ交換をした際は、日産販売会社にご相談ください。

- 次のような状況では設定した位置に正しく駐車制御できない場合があります。必要に応じて適切な位置に車両を移動してください。
 - 路面が平坦ではないとき
 - 極端に重い荷物を積んだり、車両の片側にだけ荷物などを積んでいたりして車両が傾いているとき

プロパイロットパーキング（メモリー機能）の注意事項

- 次のような状況では自車のいる位置が正しく検出されず、登録した駐車位置で自動起動しなかったり異なった場所で起動するなど、正しく機能しない場合があります。
 - GPSの受信状況が悪いとき
 - 高架橋下や高層ビル群地帯にいるなど、GPS信号が正しく受信できないとき
 - トンネルの中やビルの駐車場などでGPSの受信状態が悪化したとき
 - 悪天候（雨、雪、霧など）でGPSの信号が弱いとき
 - <パワースイッチ>をONにした直後など、GPS信号の受信に時間がかかっているとき
 - GPSアンテナ周辺へのステッカー（透明なものを含む）を貼り付けたとき
 - GPSアンテナ周辺に汚れなどが付着しているとき

- 急発進、急停車、急ハンドルなどの運転操作をしたとき
- 路面が平坦ではないとき
- 次のような状況では駐車位置を登録できない、登録した駐車位置を検出しないことや駐車位置がずれるなど、正しく機能しない場合があります。
 - 駐車場所に路面模様が少ないとき
 - 光や影の差し込みにより、路面模様が検出されないとき
 - 夜間、地下、立体駐車場など周囲が暗いとき
 - 登録した駐車位置の入り口よりも手前で停車したとき
 - 急発進、急停車、急ハンドルなど大きな車両挙動を伴ったり、VDCが作動したとき
- 次のような状況などにより、登録時の駐車位置周辺の路面模様と大きく異なってしまった場合、登録した駐車位置を検出しないことや駐車位置がずれるなど、正しく機能しない場合があります。
 - 工事などによる路面状態の変化
 - タイヤ痕（轍、水痕を含む）
 - 路面模様のかすれや汚れがあるとき
 - 車両、バイク、自転車、玩具などが置かれる、または移動される
 - 光の差し込み
 - 駐車位置周辺の芝生、花壇、生垣などの植生が、季節によって変化または消失したとき
 - 極端に光環境が異なるとき
 - 光や影がさしかかっている
 - ゴミや枯れ葉が多い

- 次のような路面模様の位置が得られにくい駐車環境では、登録した駐車位置を検出しない、誤った駐車位置を検出する、駐車位置がずれるなど、正しく機能しない場合があります。
 - 砂利や芝生などが周辺に多いとき
 - 連続した駐車枠などがあり、駐車位置が特定できないとき
 - 複数の近接した類似模様（二重線など）がある駐車位置のとき
- 次のような状況などでは、登録時の駐車位置を検出されないことや、制御中に終了することがあります。
 - 駐車制御中の移動方向に障害物（駐車車両、電柱、ポールなど）が差し掛かっていると判断した場合
 - 駐車制御中に障害物の非常に近くを通ると判断した場合

プロパイロットリモートパーキング★

車外からプロパイロットリモートパーキング用インテリジェントキーを用いて、車両の前進および後退を行い、駐車操作を支援します。

プロパイロットリモートパーキングについて

⚠ 警告

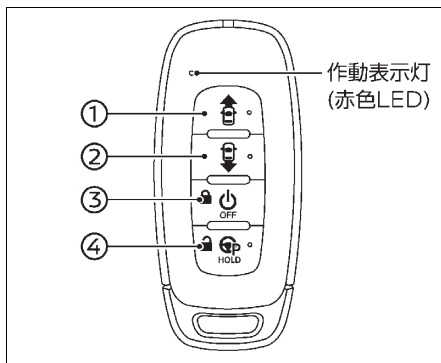
- プロパイロットリモートパーキングの操作は運転行為の一部です。必ず有効な運転免許証を保持した運転者が操作してください。特に小さなお子さまが誤って操作することがないようにしてください。

- プロパイロットリモートパーキングの性能には限界があります。

周囲の安全を確認し、事故を防ぐために必要な操作を行う責任は運転者にあります。システムを過信せず、通常の運転操作と同様に、周囲の状況を目視で直接確認し、周囲の車両や障害物、人などに接触しそうな場合はプロパイロットリモートパーキング用インテリジェントキーのスイッチを離して車両を停車させてください。

- 車両のアクセル、ブレーキ、ステアリング、シフト、電動パーキングブレーキを制御します。

プロパイロットリモートパーキング用インテリジェントキー



作動表示灯

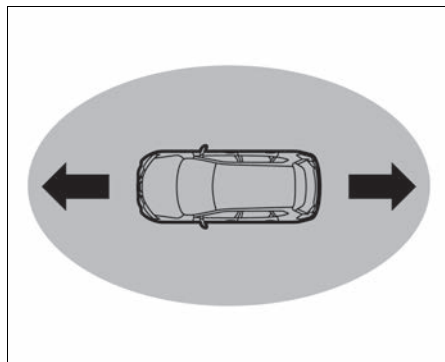
- 消灯：プロパイロットリモートパーキング非作動
- 点灯：プロパイロットリモートパーキング作動準備完了
- 点滅（早）：プロパイロットリモートパーキングが作動し前進または後退を行っている
- 点滅（遅）：プロパイロットリモートパーキング作動準備中、または終了中

- ① **プロパイロットリモートパーキング前進スイッチ**
プロパイロットリモートパーキングが作動時に、車両を前進するのに使います。

- ② **プロパイロットリモートパーキング後退スイッチ**
プロパイロットリモートパーキングが作動時に、車両を後退するのに使います。
- ③ **プロパイロットリモートパーキングOFF/ドア施錠スイッチ**
プロパイロットリモートパーキングが作動時、プロパイロットリモートパーキングを終了するのに使います。
プロパイロットリモートパーキングが非作動時は、全ドアを施錠するのに使います。
- ④ **プロパイロットリモートパーキングON/ドア解錠スイッチ**
プロパイロットリモートパーキングが非作動時、短押しすることで全ドアを解錠するのに使います。また長押しすることでプロパイロットリモートパーキングを起動させるのに使います。そのあとEVシステムが始動すると、プロパイロットリモートパーキングは作動中になります。
プロパイロットリモートパーキングが作動時、車両を前進・後退するのに使います。

プロパイロットリモートパーキングの作動範囲

作動範囲は車両端から約3.5m以内です。



プロパイロットリモートパーキング に使用するソナーセンサーについて

⚠ 警告

- 車両のソナーセンサーが進行方向に障害物を検知し衝突のおそれがあると判断したときは、自動的にブレーキをかけますが機能には限界があります。

障害物を検知できない場合には衝突するおそれがあります。過信せず周囲の安全確認を心がけてください。自動ブレーキをかけたあと、プロパイロットリモートパーキングは終了します。再開は状況が改善されたことを確認してから行ってください。

ソナーセンサー

前後左右のソナーセンサーを使用しています。

取り扱いについては、(P.459)をお読みください。

プロパイロットリモートパーキング を使って駐車する

⚠ 警告

- プロパイロットリモートパーキングを使用する際は、車室内に人やペットが残らないようにしてください。

ハンドルやアクセルペダル、ブレーキペダルなどの操作が行われると、車両は停車しプロパイロットリモートパーキングは自動的に終了します。

- 安全な場所でプロパイロットリモートパーキングの操作を行ってください。

プロパイロットリモートパーキングの操作をするときは、周囲の車両や人の動きに注意し安全を確保してください。

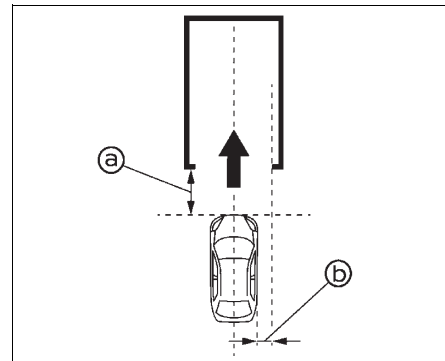
- プロパイロットリモートパーキングの操作をするときは自車の進路上にいないでください。

- プロパイロットリモートパーキング用インテリジェントキーだけを見ながら操作することは絶対にしないでください。

- 運転者が停車位置を定め、停車位置でプロパイロットリモートパーキング用インテリジェントキーのスイッチを離して車両を停車させてください。

停車する場所や周囲の障害物などの位置を考慮して自動で停車するシステムではありません。

車両を駐車したい位置に合わせて停車します。EVシステムを停止させてから降車してください。



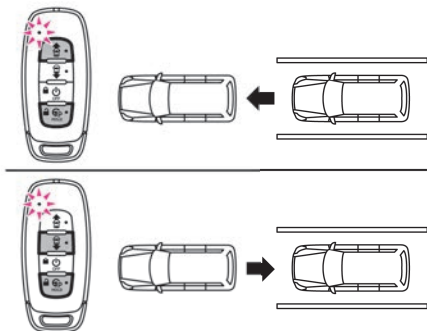
③推奨位置：間口から約1.5m

④進行可能なスペース：左右の車両側面からそれぞれ約40cm以上

1. プロパイロットリモートパーキング用インテリジェントキーの<プロパイロットリモートパーキングON/ドア解錠スイッチ>④でドアを解錠します。

駐車支援システム

2. <プロパイロットリモートパーキング ON/ドア解錠スイッチ>④を長押しします。EVシステムが起動し、プロパイロットリモートパーキングが起動します。
3. <プロパイロットリモートパーキング ON/ドア解錠スイッチ>④を押しながら、<プロパイロットリモートパーキング前進スイッチ>①を押すと前進します。
<プロパイロットリモートパーキング ON/ドア解錠スイッチ>④を押しながら、<プロパイロットリモートパーキング後退スイッチ>②を押すと後退します。



4. 目標位置到着後、各スイッチを離し、<プロパイロットリモートパーキング OFF/ドア施錠スイッチ>③を押します。プロパイロットリモートパーキングが終了し、そのあとにEVシステムが停止します。

EVシステム停止後にドアを施錠する場合は、再度<プロパイロットリモートパーキング OFF/ドア施錠スイッチ>③を押してください。

- プロパイロットリモートパーキングが終了するとき電動パーキングブレーキがかかります、シフトポジションはPに切り替わります。その後EVシステムが停止します。
- 直進で駐車できる位置からプロパイロットリモートパーキングの操作を開始してください。側方の壁などとの距離に応じてステアリングの制御を行い、車両の向きを修正する場合があります。

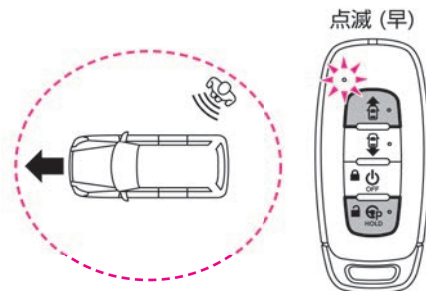
プロパイロットリモートパーキングの一時停止について

次の場合は一時停止します。

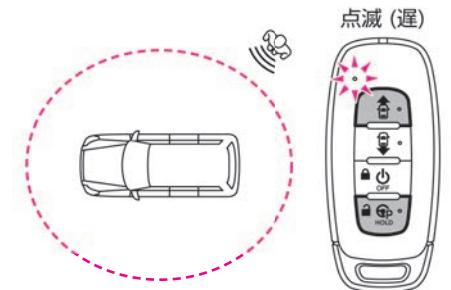
- プロパイロットリモートパーキング用インテリジェントキーのスイッチを離れたとき
- 作動範囲から外れたとき
このとき車両は自動的にブレーキがかかり停車します。シフトポジションはNに切り替わります。
プロパイロットリモートパーキング用インテリジェントキーの作動表示灯は点滅（遅）に切り替わります。

■一時停止（作動範囲から外れたとき）からの再開例

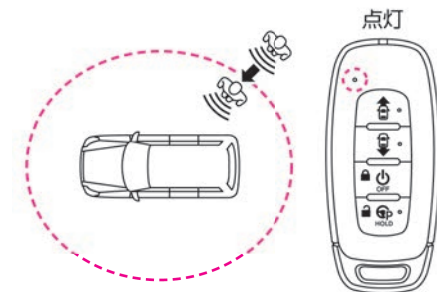
1. 前進中
<プロパイロットリモートパーキング前進スイッチ>①と<プロパイロットリモートパーキング ON/ドア解錠スイッチ>④を同時に押し続けることで前進します。



2. 作動範囲から外れたとき
作動範囲から外れたとき、車両は停車します。プロパイロットリモートパーキング用インテリジェントキーの作動表示灯は点滅（遅）に切り替わります。



3. 再開したいとき
プロパイロットリモートパーキング用インテリジェントキーのスイッチを離してください。作動表示灯が点灯に切り替わるまで車両へ近づいてください。作動表示灯が点灯に切り替わったことを確認し、1の操作を行うと再開します。



プロパイロットリモートパーキングの自動終了について

次の場合は自動終了します。

運転者の操作検出

- ハンドル、アクセルペダル、ブレーキペダル、シフトポジション、電動パーキングブレーキを操作したとき
- 運転席、助手席、後席、またはバックドアのいずれかのドアを開けたとき
- VDCをOFFにしたとき
- EVシステムを始動したあとに約1分以上操作がなかったとき
- EVシステム始動に使用したプロパイロットリモートパーキング用インテリジェントキーとは別のキーによる操作が検出されたとき

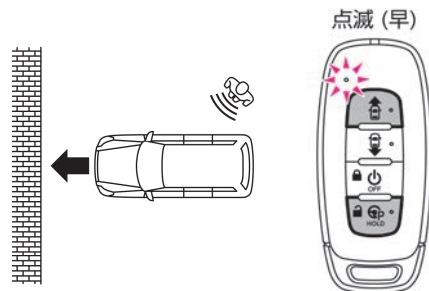
センサーまたは車両状態

- 進行方向の障害物を検出したとき
- VDC/TCS/ABSが作動したとき
- 車速が約8km/hを超えたとき
- システムに異常が検出されたとき
- 移動先の駐車場所が自車の側方の物体との距離が狭い、または空いていないとシステムが判断したとき

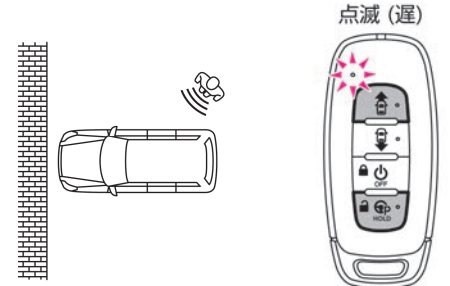
このとき自動的にブレーキがかかり車両が停車し、電動パーキングブレーキがかかります。シフトポジションはPに切り替わります。その後EVシステムが停止します。プロパイロットリモートパーキング用インテリジェントキーの作動表示灯は消灯に切り替わります。

■ 自動終了（進行方向に障害物を検出）の例

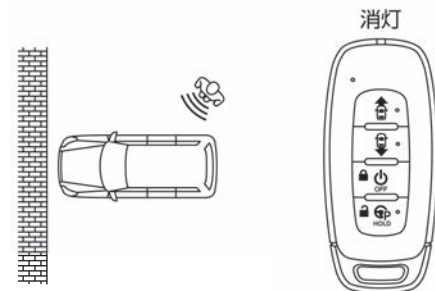
1. 前進中
＜プロパイロットリモートパーキング前進スイッチ＞①と＜プロパイロットリモートパーキング ON/ドアクロック解除スイッチ＞④を同時に押し続けることで前進します。



2. 進行方向の障害物を検出したとき
進行方向の障害物を検出したとき、車両は停車し電動パーキングブレーキがかかりシフトポジションがPに切り替わります。プロパイロットリモートパーキング用インテリジェントキーの作動表示灯は点滅（遅）に切り替わります。



3. システムの停止
EVシステムが停止します。プロパイロットリモートパーキング用インテリジェントキーの作動表示灯は消灯に切り替わります。



プロパイロットリモートパーキングの注意事項

警告

- 周囲の車両や人の動きに十分注意してください。
対向車や後続車、歩行者の動きに十分注意してプロパイロットリモートパーキングの操作を行ってください。
- プロパイロットリモートパーキングによる駐車支援が必要なくなったときは、プロパイロットリモートパーキングを終了してください。
プロパイロットリモートパーキングが作動状態のままだと思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 次のような状況ではプロパイロットリモートパーキングを使用しないでください。
 - 人や車両などの通行量が多い場所
 - 停車および駐車が禁止されている場所
 - 車両が入らないほど狭い場所
 - 穴や溝などがあるような駐車できない場所
 - 急な勾配のある場所
 - 砂地や砂利地などの整備されていない路面
 - 雪や凍結などでスリップしやすい路面

- 傾斜地や段差、縁石、わだちなどのある平坦ではない路面
- 真夏の炎天下でアスファルトが溶けているような路面
- 駐車場にロードヒーター（路面凍結防止用のヒーター）が設置されている場所
- 機械式駐車場や自動ロック装置のある駐車場、駐車場所に障害物などがある場所
- 過積載のとき
- 摩耗しているタイヤ、スベアタイヤのような非常用タイヤ、タイヤチェーンを装着しているとき
- タイヤの空気圧が適正ではないとき
- けん引フックなどを取り付けいているとき
- トレーラー等をけん引しているとき
- バンパーにソナーセンサーの性能を妨げるようなものを取り付けたとき
- バンパーにへこみなどがあるとき
- ソナーセンサー周辺に雨や雪、泥などが付着しているとき
- 極端に重い荷物を積んだり、車両の片側にだけ荷物などを積んだりして車両が傾いているとき
- 充電コネクタを充電ポートに接続しているとき

アドバイス

- 縁石や車止め、区画線は検出できません。
縁石にホイールが接触しそうな場合や車両が車止めや区画線を越えそうな場合にはプロパイロットリモートパーキング用インテリジェントキーのスイッチを離し車両を停車させてください。車両が損傷することがあります。
- インテリジェントキーが車室内にある場合、プロパイロットリモートパーキングは作動できません。
- プロパイロットリモートパーキング作動中のドアは解錠状態となります。
- 車から離れる前に、車室内の状態や窓ガラスの開閉状態を確認してください。ドアの施錠が必要かご確認ください。
- プロパイロットリモートパーキング用インテリジェントキーは微弱な電波を使用しています。周囲の環境によっては通信が行えず、車両が停車することがあります。詳しい取り扱いについては（➡ P.139）をお読みください。
- プロパイロットリモートパーキング用インテリジェントキーの電池の寿命は使用状況によりますが約1年です。電池が切れた場合、新しい電池と交換してください。

MEMO

室内灯

室内灯	P.350
アドバンスド アンビエント ライティング★	P.351

収納装備

グローブボックス	P.352
インストアンダーボックス	P.352
センターコンソールボックス	P.352
カップホルダー／ボトルホルダー	P.352
オーバーヘッドコンソール★	P.353

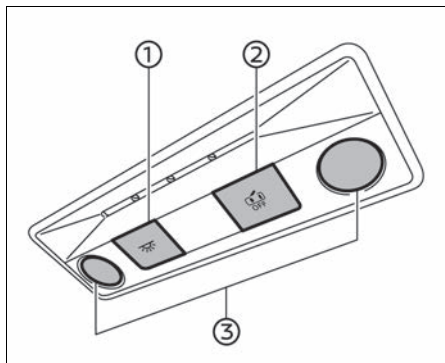
その他の室内装備

先進事故自動通報システム	P.355
ドライブレコーダー★	P.358
ステアリングヒーター★	P.365
ヒーターシート	P.366
電源ソケット★	P.368
USB電源ポート★	P.368
ワイヤレス充電器★	P.369
フロアカーペット	P.371
サンバイザー／バニティミラー（照明付き★）	P.371
チケットホルダー	P.372
アシストグリップ	P.372
ラゲッジフック	P.372

室内灯

マップランプ／ルームランプの使いかた

- マップランプ／ルームランプは、前席天井部の中央にあります。
- 次のように点灯・消灯します。



スイッチ	点灯・消灯のしかた
①< 点灯アイコン >	スイッチを押すと、マップランプ、ルームランプおよびリヤ読書灯★が点灯します。もう一度押すと消灯します。

スイッチ

点灯・消灯のしかた

②< 点灯アイコン >	スイッチが押し込まれていないとき、ドアを開けるとマップランプ、ルームランプが点灯し、閉めると消灯します。スイッチが押し込まれているときは、ドアを開けても点灯しません。
③	ランプを押すごとに点灯・消灯します。

アドバイス

- < パワースイッチ > がOFFのときは、マップランプ／ルームランプを長時間点灯させないでください。12Vバッテリーあがりのおそれがあります。

キー連動室内照明システム

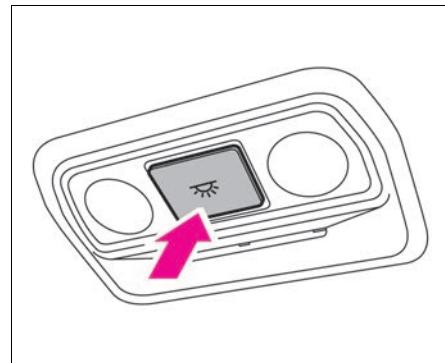
- < 点灯アイコン > スイッチが押し込まれていないとき、次の条件で点灯します。
 - －< パワースイッチ > をOFFにしてから約20秒間
 - －< パワースイッチ > がOFFのとき、ドアを解錠してから約20秒間
 - －< パワースイッチ > がOFFのとき、ドアを閉めてから約20秒間
 - －ドアが開いているとき

バッテリーセーバー

- 12Vバッテリーあがりを防止するため、ルームランプは10分以上点灯し続けると、自動的に消灯します。

ルームランプ★の使いかた

- ルームランプは、後席天井部の中央にあります。
- < 点灯アイコン > スイッチを押すと点灯し、もう一度押すと消灯します。



キー連動室内照明システム

- マップランプの< 点灯アイコン > スイッチが押し込まれていないとき、次の条件で点灯します。
 - －< パワースイッチ > をOFFにしてから約20秒間
 - －< パワースイッチ > がOFFのとき、ドアを解錠してから約20秒間
 - －< パワースイッチ > がOFFのとき、ドアを閉めてから約20秒間
 - －ドアが開いているとき

室内灯

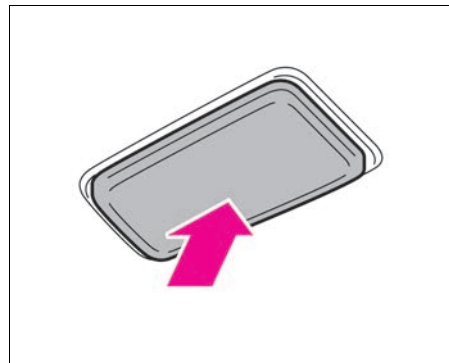
バッテリーセーバー

- 12Vバッテリーあがりを防止するため、ルームランプは10分以上点灯し続けると、自動的に消灯します。

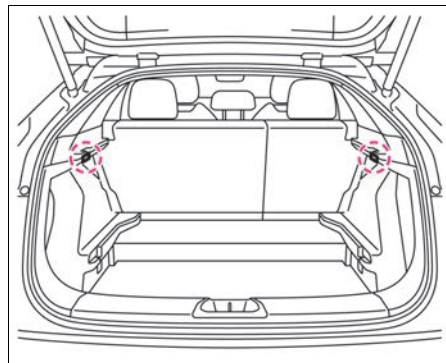
リヤ読書灯★の使いかた/ラゲッジランプについて

リヤ読書灯の使いかた

- リヤ読書灯は、後席天井部の左右にあります。
- ランプを押すごとに次の順で切り替わります。
点灯→減光→消灯→点灯



ラゲッジランプについて



- ラゲッジランプはラゲッジルームの左右にあります。
- バックドアを開けると自動で点灯し、バックドアを閉めると消灯します。

🚗 アドバイス

- <パワースイッチ>がOFFのときは、リヤ読書灯およびラゲッジランプを長時間点灯させないでください。12Vバッテリーがあがるおそれがあります。

キー連動室内照明システム（ラゲッジランプを除く）

- マップランプの<🔦>スイッチの表示灯が点灯しているとき、次の条件で点灯します。
 - <パワースイッチ>をOFFにしてから約20秒間

- <パワースイッチ>がOFFのとき、ドアを解錠してから約20秒間
- <パワースイッチ>がOFFのとき、ドア（バックドアを除く）を開めてから約20秒間
- ドア（バックドアを除く）が開いているとき

バッテリーセーバー

- 12Vバッテリーあがりを防止するため、リヤ読書灯およびラゲッジランプは10分以上点灯し続けると、自動的に消灯します。

アドバンスドアンビエントライティング★

- アドバンスドアンビエントライティングはヘッドランプのON・OFFと連動して明るさが変更します。
- NissanConnectインフォテインメントシステムで次の操作をすると明るさなどの調整ができます。
[📱] ⇒ [すべての設定] ⇒ [車両] ⇒ [照明] ⇒ [アンビエントライト]
- プロパイロット2.0付車はハンドル支援作動状態に連動して表示色が変わります。詳しくは(📖 P.231)をお読みください。

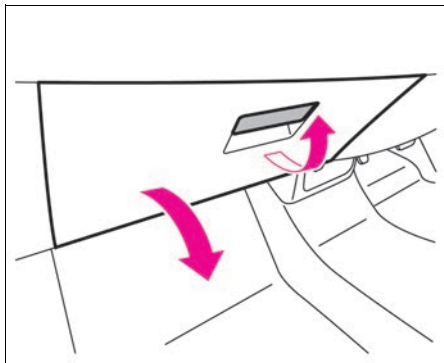
グローブボックス

グローブボックスの使いかた

⚠ 注意

- グローブボックスを開けたまま走行しない。
- ブレーキをかけたときに、収納した物が飛び出したり、ふたに当たったりするなどして、思わぬケガをするおそれがあります。
- ふたを開けるときは、ゆっくり開ける。
ふたを全開にしたとき身体に当たるおそれがあります。

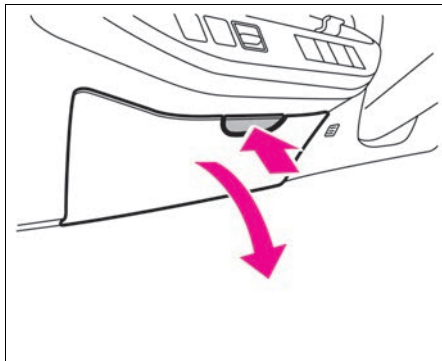
- ノブを引くと、ふたが開きます。
- 閉めるときは、ロックするまでふたを押します。



インストアンダーボックス

インストアンダーボックスの使いかた

- 開けるときは、ボタンを押します。
- 閉めるときは、ロックするまでふたを押します。



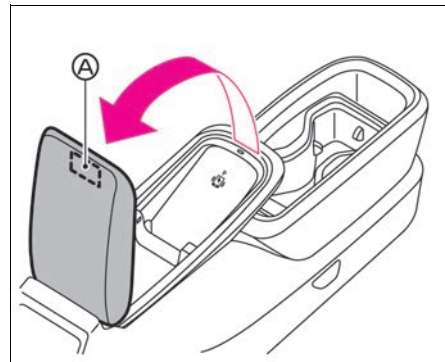
センターコンソールボックス

センターコンソールボックスの使いかた

⚠ 注意

- センターコンソールボックスを開けたままにしない。
開けたふたで思わぬケガをするおそれがあります。
- 開けるときは、ふたの裏のボタンⒶを押しながら引き上げます。

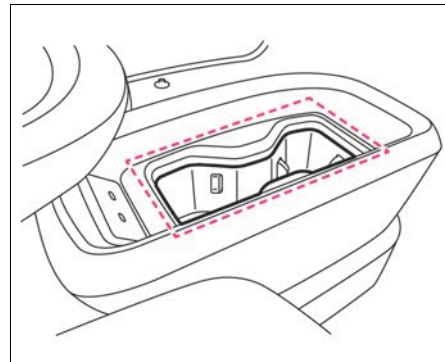
- 閉めるときは、ふたを押します。



カップホルダー／ボトルホルダー

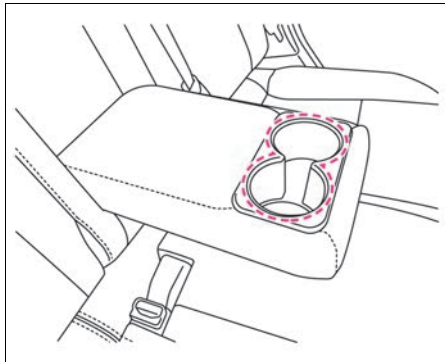
前席用カップホルダーについて

- 前席用カップホルダーは、センターコンソールにあります。



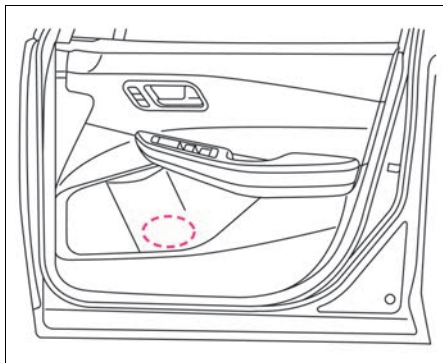
後席用カップホルダー★について

- アームレストを前に倒して使います。
- 元に戻すときは、アームレストを起こします。



ボトルホルダーについて

- ボトルホルダーは、前席シートおよび後席シートのドアポケットにあります。



カップホルダー／ボトルホルダーに関する注意事項

⚠ 警告

- 運転中に飲物を出し入れしない。
運転中に飲物を出し入れすると前方不注意となり、思わぬ事故につながるおそれがあります。運転中は信号待ちなどの停車中に飲物を出し入れてください。
- ビンなどの硬いものは入れない。
側面衝突などの事故のとき、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- 熱い飲物を置かない。

熱い飲物をカップホルダーに置くと、走行中にこぼれたり、飛び散ったりして、乗員がやけどを負うおそれがあります。

- 飲物をこぼさないように注意する。
飲物の容器の形によっては、確実に固定されないおそれがあります。
- 車室内のスイッチや画面などに飲物をこぼさないようにする。
故障や火災のおそれがあります。

🚗 アドバイス

- 飲物や液体がいっぱいに満たされた容器をカップホルダーに置くと、走行中にこぼれたり、漏れ出したりして、車両の電子機器などに損傷を与えるおそれがあります。

オーバーヘッドコンソール★

サングラスなどを収納できます。

オーバーヘッドコンソールの使いかた

⚠ 警告

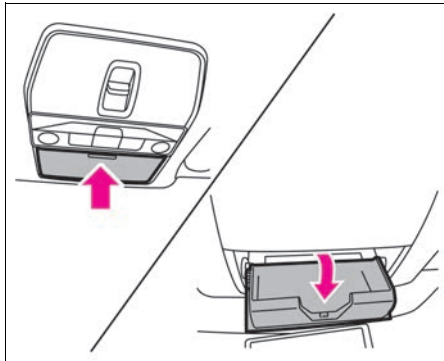
- 炎天下で駐車するときは、サングラス、メガネ、ライターなどを入れたままにしない。
炎天下での駐車は大変高温になるため、サングラスやメガネが変形したり、ライターが爆発したりするおそれがあります。

⚠ 注意

- オーバーヘッドコンソールを開けたまま走行しない。また、重いものを入れない。

収納物が落下して思わぬケガをするおそれがあります。開閉は停車中に行い、重いものを入れないください。

- 開けるときは、ふたを押します。
- 閉めるときは、ロックするまで押し戻します。

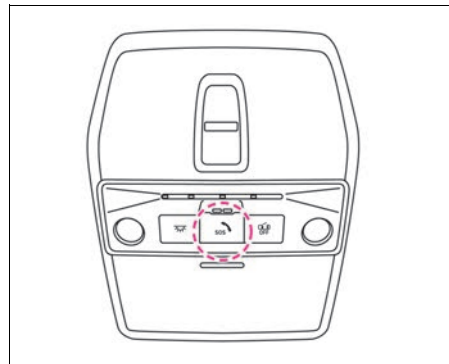


先進事故自動通報システム

＜SOSコールスイッチ＞を押すことでSOSコールを開始できます。また、エアバッグやプリテンショナーシートベルトが作動するレベルの事故では、自動でSOSコールを開始します。

先進事故自動通報システムについて

- ＜パワースイッチ＞がONのとき、＜SOSコールスイッチ＞を押すと、SOSコールを開始できます。
- ＜SOSコールスイッチ＞は、マップランブ中央にあります。



- プロパイロット緊急停止支援システム（SOSコール機能付）★により緊急停止したときには自動でSOSコールを開始します。
- SOSコールとは、急病・犯罪・事故などの緊急時に警察・消防・医療機関への連絡を補助するサービスです。

☆／★：車両型式、オプションなどで異なる装備

- SOSコールのサービス提供は、（株）日本緊急通報サービスからのものです。
- 日産販売会社でサービスのお申し込みと、車両側での初期設定が完了していないと、SOSコールを利用することができません。
- エアバッグ展開を伴う自動通報（SOSコール）後は、自動通報機能が使用できなくなります。リセット作業が必要ですので、日産販売会社へお問い合わせください。

先進事故自動通報システムの使いかた

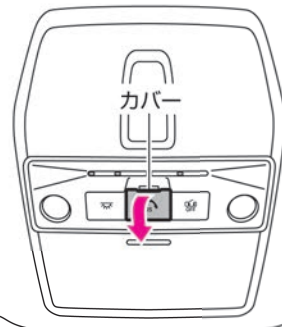
⚠ 警告

- ＜SOSコールスイッチ＞を押すときは、安全な場所に停車してから行う。走行中に運転者がスイッチを押そうとすると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- SOSコールは無線通信機能を利用しています。心臓ペースメーカーなどの医療用電気機器を使用している場合は、当該の医療用電気機器メーカー、もしくは販売業者に電波の影響について必ず確認してください。

1. ＜パワースイッチ＞をONにします。
＜SOSコールスイッチ＞のインジケーターが赤色・緑色ともに点灯し、一定時間経過後に緑色のみ点灯を続けます。

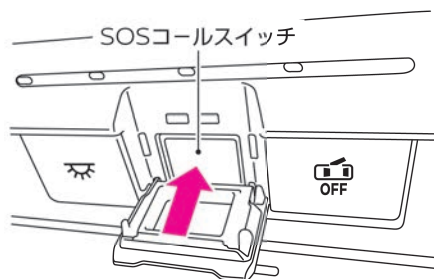


2. ＜SOSコールスイッチ＞のカバーを開きます。



3. ＜SOSコールスイッチ＞を約1秒間押します。

その他の室内装備



— インジケーターが赤色・緑色ともに点灯してから一定時間経過後、赤色のインジケーターのみ点灯しているとき

- インジケーターが赤色・緑色ともに消灯している場合は、電波環境の良い場所まで車を移動させてください。

緑色のインジケーターが点滅し、オペレーターに繋がります。

4. SOSコールサービスのオペレーターと通話します。

状況に応じてオペレーターからの折り返し、もしくは公共機関（警察・消防・医療機関）からの通話着信があります。着信時は自動で音声接続します。

通話が終了したら、カバーを戻し、ロックするまで押します。

- SOSコールサービスのオペレーターや公共機関との通話中は、車両側から通話を終了させることはできません。

アドバイス

- 次の場合は、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。
 - <パワースイッチ>をONにしても、インジケーターが赤色・緑色ともに点灯状態にならないとき

SOSコールスイッチのインジケータについて

● <SOSコールスイッチ>には、システムの状態を表すインジケータがあります。

インジケータの点灯パターン		システム状態	説明・対処方法
赤色	緑色		
 (消灯)	 (消灯)	システムOFF サービスエリア外	● システムがOFFの状態です。 ● <パワースイッチ>をONにすると電源が入ります。<パワースイッチ>をONにしても、インジケータが赤色・緑色ともに点灯状態にならないときは日産販売会社で点検を受けてください。 ● 電波環境が悪く、SOSコールを開始できない状態です。車を電波環境の良い場所へ移動させてください。
 (点灯)	 (点灯)	システムON通知	● システムがONになったことを知らせます。 ● システムがONになると、一定時間点灯します。 ● 初期設定が完了していないと点灯を続けます。
 (消灯)	 (点灯)	SOSコール開始可能	● SOSコールを開始できる状態です。
 (消灯)	 (点滅)	SOSコール利用中	● オペレーターセンターと通信中、またはオペレーターと通話中の状態です。
 (点灯)	 (消灯)	システム異常 SOSコールサービス 契約なし 先進事故自動通報シ ステム使用不可	● システム異常またはSOSコールサービス契約がなく、サービスを正常に提供できない状態です。すみやかにサービスの利用契約期限をご確認いただき、日産販売会社で点検を受けてください。

先進事故自動通報システムに関する 注意事項

- 先進事故自動通報システムは、国内でのみ利用できます。
- 先進事故自動通報システムは、NissanConnect サービスを申し込みいただくことで利用できます。
- <SOSコールスイッチ>の赤色のインジケーターが点灯していても、SOSコールを開始することができます。ただし、発生している異常によっては、音声通話や救急車両の案内を正常に行えないことがあります。すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。
- SOSコール開始後は通話のキャンセルはできません。いたすらや機能確認など、緊急の場合以外で<SOSコールスイッチ>を押さないでください。
- SOSコールは車載された通信機を使用するため、お客さまの携帯電話がなくても利用できます。
- 通話中の音声は、ボリュームを変更することができません。
- SOSコールサービスの契約期限後、継続利用を希望しない場合、日産販売会社にて退会手続きを行ってください。
- 本システムは、オープンソースを使用したソフトウェアを実装しています。ライセンスについて、次のwebサイトを参照してください。
<https://www.oss-valeo.com/nissan/default.html>

アドバイス

- <SOSコールスイッチ>の赤色のインジケーターのみ点灯する場合は、システムに異常があるか、サービスの契約期限が切れています。契約期限をご確認いただき、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。
- 12Vバッテリーあがりにつながるため、SOSコール利用中は安全を確認したうえでEVシステムを停止せずにご使用ください。
- 通話中はマップランプにあるマイクに向かって話してください。
- 先進事故自動通報システムは、携帯電話と同様のデータ網を使用しています。圏外エリア（トンネル内、地下駐車場など）や電波の届きにくい場所（山間部）では利用できない場合があります。
- 救急車両は車両位置／車種／車体色／登録ナンバーをもとに現場の通報車両を特定します。元の車体色がわからなくなるほど塗り替えをしていると、救急車両の到着が遅れる場合があります。
- システムを利用する前に車側で初期設定が必要です。サービス契約後は日産販売会社で初期設定を完了してください。

- 車の登録ナンバーを変更したときは、NissanConnect お客さまセンターへ必ずご連絡ください。SOSコール利用時、会員登録上の車のナンバーと実際の車のナンバーが一致しない場合、救急隊員の到着が遅れることがあります。
- SOSコールサービス契約中に車を手放す場合は、NissanConnect お客さまセンターに必ずご連絡いただき、解約を行ってください。

NissanConnect お客さまセンター：

0120-981-523

受付時間 9:00～17:00（年末年始を除く）

ドライブレコーダー★

車両前方および後方の映像を動画や写真で保存し、NissanConnectインフォテインメントシステムで確認することができます。設定については、**(📌ドライブレコーダーの設定 (P.363))** をお読みください。

ドライブレコーダーについて

- ドライブレコーダーの録画機能には、一定時間ごとに連続で録画する常時録画と、手動操作や車両への衝撃で録画を開始する緊急録画があります。
- 常時録画のデータは、microSDカードの録画領域を超えると古いデータから自動的に上書き保存されます。定期的にバックアップをとることをおすすめします。

その他の室内装備

- 緊急録画や写真データは上書きされません。microSDカードの録画領域を超えるとデータを保存できなくなり、ドライブレコーダー画面にメッセージが表示されます。日頃から不要なデータはこまめに削除することをおすすめします。

ドライブレコーダーの注意事項

- <パワースイッチ>をONにした直後は、ドライブレコーダーが起動していないため、録画することができません。ドライブレコーダーが起動するまでお待ちください。
- microSDカードを挿入した直後は、microSDカードを読み込むため、録画することができません。microSDカードの読み込みが完了するまでお待ちください。
- 車室内が高温または低温の場合、部品保護のため、録画機能やWi-Fi通信機能が停止する場合があります。エアコンなどを使用して、車室内を適切な温度に調整してください。
- 録画ファイルの時刻情報は、フロントカメラとリヤカメラで差異が生じる場合があります。
- 次の場合、予期せず録画が開始される可能性があります。
 - 車体に強い衝撃を加えた場合
 - ドアを強く開閉した場合
- 衝突が発生しても、衝撃が軽微だと録画されない場合があります。
- 車室内の音や、周囲の騒音で正しく録音できない場合があります。
- 周囲の明るさや距離によって、映像が見えにくくなる場合があります。
- LED式信号機などを録画すると、点滅して見えたり、色を識別できない場合があります。
- 録画した映像は、事故などの証拠としての効力を保証するものではありません。
- すべての状況において映像／音声の品質や記録を保証するものではありません。
- 火災や地震、第三者による行為、その他の事故、お客さまの故意または過失、誤使用、異常な条件下での使用により故障および損害が生じた場合、補償はできません。
- ドライブレコーダーの使用や使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など）に関しては、補償できません。
- 機能を使用したことによる車の12Vバッテリーあがりについては補償できません。
- 次の場合も、補償はできません。
 - 誤使用や、静電気などの電氣的なノイズを受けたことにより本機が正常に動作しなくなった場合
 - 誤使用や、静電気などの電氣的なノイズを受けたとき、または故障・修理のときなどにmicroSDカードに記録されていたファイルが変化・消失した場合

知識

- 走行中はカメラ画面や、保存した動画、静止画を表示することはできません。

- microSDカードを挿入した状態で、本機を譲渡または処分するときは、プライバシー保護のため、保存された記録データをすべて削除してください。
- 本製品には、次のソフトウェアが含まれています。
 - ① パナソニックオートモーティブシステムズ株式会社（「パナソニック」）により、またはパナソニックのために開発されたソフトウェア
 - ② パナソニックにライセンスされた第三者所有のソフトウェア
 - ③ オープンソースソフトウェア
- 上記③に分類されるソフトウェアには、次のwebサイトに記載されているライセンス情報が適用される様々なソフトウェアを含むオープンソースソフトウェア（OSS）が含まれています。

http://car.panasonic.jp/oss/I01yv_n7c

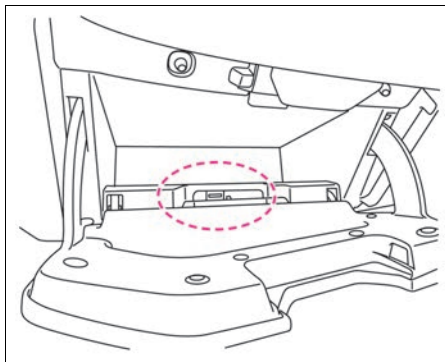
microSDカードについて

警告

- microSDカードはお子さまに触れさせない。

誤って飲み込むと、のどなどにつまらせ重大な傷害につながります。また最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

その他の室内装備



- ドライブレコーダーで保存した動画や静止画は、インストアンダーボックス内のカードスロットに挿入されている microSD カードに保管されています。
- 次の場合、正しくデータを保存できない可能性があります。
 - 本機以外で初期化をした場合
 - 本機以外で作成したファイルが混在している場合
 - microSD カード内に記録されたファイル名を変更した場合
 - 本機付属の microSD カード以外を使用した場合
 - microSD カードが正しく挿入されていない場合

アドバイス

- 録画および再生中に microSD カードを取り出すと、データが破損するおそれがあります。

著作権について

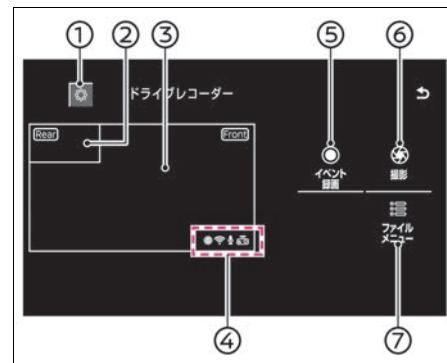
- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- 撮影した映像や画像は、個人で使用する以外は、権利者に無断で使用できません。個人使用目的でも撮影が制限されている場合があります。
- 本機を利用して、本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがあるためお控えください。
- お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律・条例（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。

ドライブレコーダー画面を表示する

NissanConnect インフォテインメントシステムで次の操作をすると、ドライブレコーダー画面を表示することができます。

[] ⇒ [] ⇒ [ドライブレコーダー]

NissanConnect インフォテインメントシステムの操作方法は、NissanConnect インフォテインメントシステム取扱説明書をお読みください。



その他の室内装備

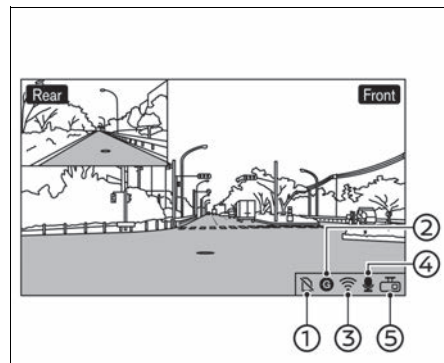
- ① **【ギア】**
ドライブレコーダー設定画面を表示します。
- ② **カメラ画面（副）**
リヤカメラの映像が表示されます。タッチすると、カメラ画面（主）と表示を入れ替えることができます。
- ③ **カメラ画面（主）**
フロントカメラの映像が表示されます。
- ④ **情報表示**
ドライブレコーダーの作動状況を示すアイコンが表示されます。
- ⑤ **イベント録画**
緊急時などに手動で録画を開始することができます。
- ⑥ **撮影**
カメラ画面（主）に映っている映像を静止画で保存することができます。
- ⑦ **ファイルメニュー**
撮影した写真、録画ファイルの閲覧や削除をすることができます。

知識

- カメラ画面（主）／（副）の映像は、実際よりも遅れて表示されることがあります。
- 走行中にカメラ画面は表示されませんが、【撮影】と【録画】は使用できます。

情報表示

ドライブレコーダー画面には、ドライブレコーダーの作動状態を示すアイコンが表示されます。



位置	アイコン	状態
①	無し	microSDカード認識中
		microSDカード未挿入
②		衝突録画機能ON
		衝突録画機能OFF

位置	アイコン	状態
③		Wi-Fi接続ON
	無し	Wi-Fi接続OFF
④		録音設定ON
		録音設定OFF
⑤		緊急・手動・常時録画中
		録画停止中

アドバイス

- 表示場所①にアイコンが表示されていない状態で、撮影や録画したデータが保存されない場合は、microSDカードの空き容量が不足している可能性があるため、不要なデータを削除してください。
- 【】が表示された場合は、microSDカードが故障している可能性があります。microSDカードを初期化しても消えない場合は、新しいmicroSDカードに差し替えてください。

🚗 アドバイス

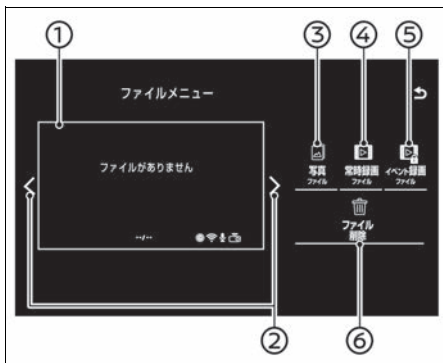
- [📶]、[G]（灰色）または [📶]（灰色）が表示された場合は、車両またはドライブレコーダーが故障している可能性があるため、日産販売会社で点検を受けてください。

ファイルメニュー

NissanConnectインフォテインメントシステムで次の操作をすると、撮影した写真、録画ファイルの閲覧や削除をすることができます。

[🏠] ⇒ [📁] ⇒ [ドライブレコーダー] ⇒ [ファイルメニュー]

NissanConnectインフォテインメントシステムの操作方法是、NissanConnectインフォテインメントシステム取扱説明書をお読みください。



- ① **ファイル一覧**
ファイルの一覧が表示されます。
一覧からファイルを選択すると、動画の再生や写真の表示ができます。
動画や写真を削除することもできます。
- ② **</>**
ページを切り替えることができます。
- ③ **写真ファイル**
ファイル一覧で写真を選択して表示することができます。
- ④ **常時録画ファイル**
ファイル一覧で常時録画ファイルを選択して再生することができます。
- ⑤ **イベント録画ファイル**
ファイル一覧で録画ファイルを選択して再生することができます。
- ⑥ **ファイル削除**
撮影した写真や動画を選択して削除することができます。

📖 知識

- 走行中にファイル一覧の表示やファイルの閲覧はできません。
- ファイル一覧が表示されているときや動画を再生しているときなどは、録画機能を使用することができません。

ドライブレコーダーの設定

NissanConnectインフォテインメントシステムで次の操作をすると、ドライブレコーダー設定画面を表示します。

〔〕⇒〔〕⇒〔ドライブレコーダー〕⇒〔〕

スマートフォンの専用アプリ★を使って、ドライブレコーダーにスマートフォンをWi-Fi接続すると、スマートフォンでドライブレコーダーに保存されているファイルの確認やダウンロードができます。

NissanConnectインフォテインメントシステムの操作方法は、NissanConnectインフォテインメントシステム取扱説明書をお読みください。

項目1	項目2	機能
常時録画		常時録画のON・OFFを設定します。
録音時の録音		録音のON・OFFを設定します。
駐車録画モード		駐車時に車両が衝撃を受けた際に自動で録画を開始する機能のON・OFFを設定します。
衝撃によるイベント録画		走行中または停車中に車両が衝撃を受けた際に自動で録画を開始する機能のON・OFFを設定します。
録画時間		常時録画の1ファイルの録画時間を〔1分〕、〔3分〕、〔5分〕から選択します。
画質		画質を〔高画質〕、〔標準〕、〔長時間〕から選択します。
録画への情報表示		車両情報アイコンの表示・非表示を設定します。 ONにすると、録画ファイルに車両情報アイコンが表示されます。
衝撃感度		衝撃による緊急録画や駐車録画モードを開始する衝撃の感度を〔低〕、〔中〕、〔高〕から選択します。

その他の室内装備

項目1	項目2	機能
デバイスのWi-Fi接続		ドライブレコーダーのWi-FiのON・OFFを設定します。 ONのときに、スマートフォンの専用アプリを使って、ドライブレコーダーにスマートフォンをWi-Fi接続すると、ドライブレコーダーに保存されているファイルの確認やダウンロードができます。 専用アプリは下記よりダウンロードできます。 アプリ名称：Nissan Drive Recorder Androidの場合：Google Play iOSの場合：App Store 初期Wi-Fi名称：dvr_ssid 初期Wi-Fiパスワード：dvr_pass Wi-Fi名称とWi-Fiパスワードを忘れた場合は、〔ドライブレコーダ初期化〕で初期に戻すことができます。 ドライブレコーダーにスマートフォンを初めてWi-Fi接続するときは、セキュリティ対策としてドライブレコーダーに設定されている初期Wi-Fi名称およびWi-Fiパスワードを変更する必要があります。パスワードには、アルファベット大文字・小文字、数字、記号をそれぞれ1文字以上使用することをおすすめします。他人から簡単に推測されるパスワードは使用しないでください。
カメラ角度調整		カメラの角度を調整します。
ドライブレコーダーシステム	ソフトウェアバージョン	ドライブレコーダーのソフトウェアバージョン情報を表示します。
	SDカードのフォーマット	microSDカードを初期化します。
	ドライブレコーダー初期化	ドライブレコーダーを初期化します。
フロントカメラ		カメラの明るさとコントラストを調整します。
リアカメラ		

知識

- 初めてドライブレコーダーをご使用になるときに録画設定がOFFになっていた場合は、ドライブレコーダーの初期化を行ってください。

- microSDカードを初期化するとすべてのデータが消去されます。あらかじめバックアップをとることをおすすめします。

その他の室内装備

ステアリングヒーター★

ハンドルのグリップ部分を温かく保ちます。

ステアリングヒーターの使いかた

スイッチまたはセンターディスプレイの操作でON・OFFできます。

スイッチ操作

スイッチを押すと作動します。（スイッチの表示灯が点灯）

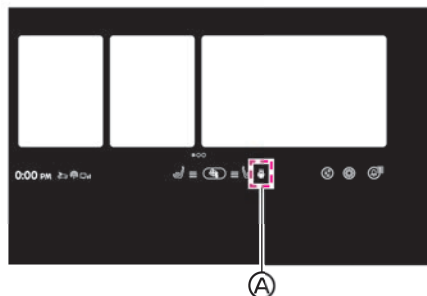


センターディスプレイ操作

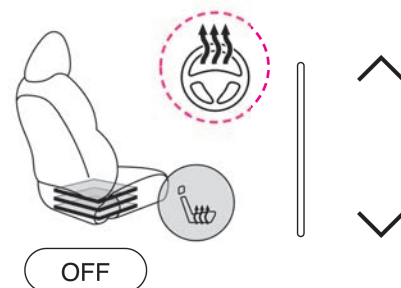
（オートエアコンシステム操作画面から操作する場合）

1. センターディスプレイの「

3. スイッチをタッチすることにより
AUTO⇒OFF⇒ON⇒AUTOの順に切り替わります。
（センターディスプレイから直接操作する場合）
1. センターディスプレイのAをタッチしてステアリングヒーター調整画面を表示させます。



2. <ステアリングヒータースイッチ>をタッチします。



3. スイッチをタッチすることにより
AUTO⇒OFF⇒ON⇒AUTOの順に切り替わります。
- AUTO時のステアリングヒーター調整をON（感度を1〜3に設定）にしないと、ステアリングヒーターのAUTOは使用できません。（➡P.176）
 - AUTOのときはオートエアコンの設定温度などに合わせて自動でON・OFFが切り替わります。
 - スイッチをタッチすると約30分間作動します。（スイッチがオレンジ色に点灯）
 - 作動中にスイッチをタッチすると作動が停止します。（スイッチが白色に点灯）
 - ハンドルの表面温度が一定温度以上のときは、スイッチをタッチしてもステアリングヒーターは作動しません。

その他の室内装備

アドバイス

- 12Vバッテリーあがりを防止するため、メーター内の走行可能表示灯「READY」が点灯しているときに使用してください。

知識

- インstrumentパネル部にある<ステアリングヒータースイッチ（表示灯付き）>とセンターディスプレイ内の<ステアリングヒータースイッチ>は連動します。
＜ステアリングヒータースイッチ（表示灯付き）＞をONにすると、センターディスプレイ内の＜ステアリングヒータースイッチ＞も手動モードとしてONになります。
- インstrumentパネル部にある＜ステアリングヒータースイッチ（表示灯付き）＞でAUTOモードを選択することはできません。

ヒーターシート

前席シートまたは後席シート★を温めます。

注意

- 長時間の連続使用はしない。
低温やけどの原因になります。特に皮膚の弱い方、乳幼児、病人、お年寄り、身体の不自由な方、眠気をもよおす薬を服用された方、深酒や疲労の激しい方は注意してください。

- 硬くて重い物や突起がある物をシートに載せたり、ピンや針などの鋭い物でシートを突き刺したりしない。

モード	表示灯	働き
HI	3つ点灯	強
MID	2つ点灯	中
LO	1つ点灯	弱
OFF	消灯	停止

アドバイス

- 過熱するおそれがあるため、シートに毛皮や座布団を載せたり、シートカバーを使用したりしないでください。
- シートを清掃するときは、シンナー、ベンジン、アルコールなどの有機溶剤を使用しないでください。
- 水などをこぼしたときは、乾いた布ですぐにふき取ってください。
- 12Vバッテリーあがりを防止するため、メーター内の走行可能表示灯「READY」が点灯しているときに使用してください。

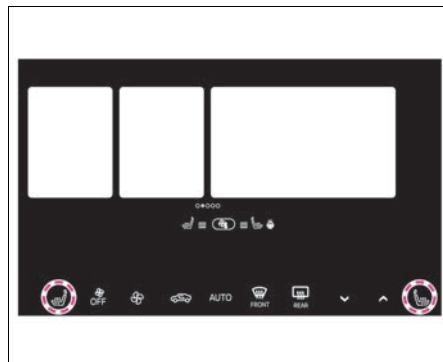
前席ヒーターシートの使いかた

スイッチまたはセンターディスプレイの操作でON・OFFできます。

スイッチ操作

- スイッチを押すと作動します。（スイッチの表示灯が点灯）

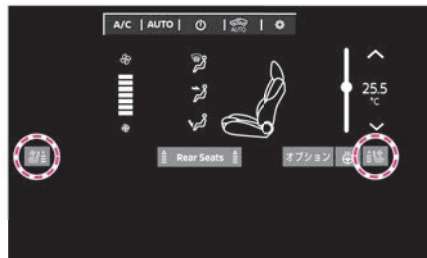
- スイッチをタッチするごとにHI⇒MID⇒LO⇒OFF⇒HIの順に切り替わります。



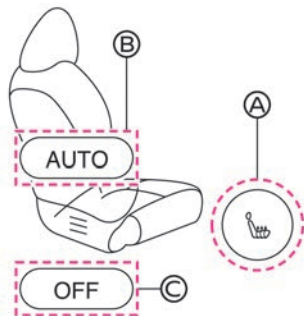
センターディスプレイ操作

1. センターディスプレイの[>]をタッチしてエアコン操作画面を表示させます。
2. <前席ヒーターシートスイッチ>をタッチすると、前席ヒーターシート調整画面が表示されます。

その他の室内装備

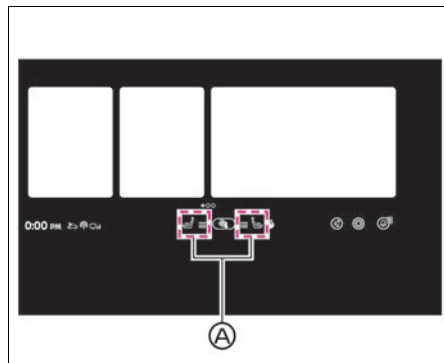


3. ①AをタッチすることによりHI⇒MID⇒LO⇒OFF⇒HIの順に切り替わります。



- ②Bをタッチするとオートエアコンの設定温度などに合わせて自動制御で作動します。
- 止めるときは③Cをタッチします。

- AUTO時の温調シート調整（運転席、助手席）をON（温度を1～3に設定）にしないと、ヒーターシートのAUTOは使用できません。（➡P.176）
- センターディスプレイの①Aをタッチしても操作することができます。

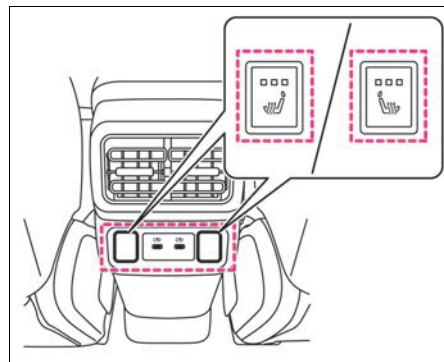


後席ヒーターシート★の使いかた

スイッチまたはセンターディスプレイの操作でON・OFFできます。

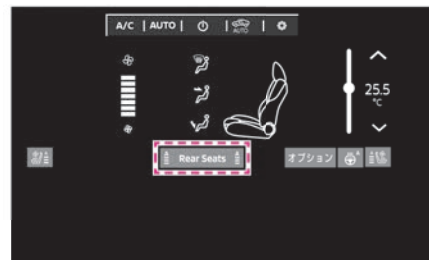
スイッチ操作

- スイッチを押すと作動します。（スイッチの表示灯が点灯）
- スイッチをタッチすることによりHI⇒MID⇒LO⇒OFF⇒HIの順に切り替わります。



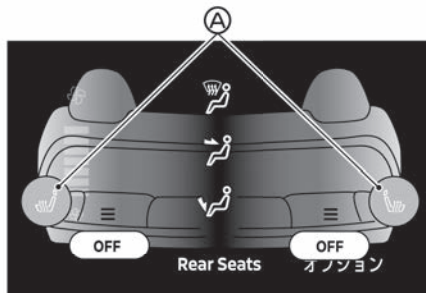
センターディスプレイ操作

1. センターディスプレイの [①A] をタッチしてエアコン操作画面を表示させます。
2. <Rear Seatsスイッチ>をタッチします。

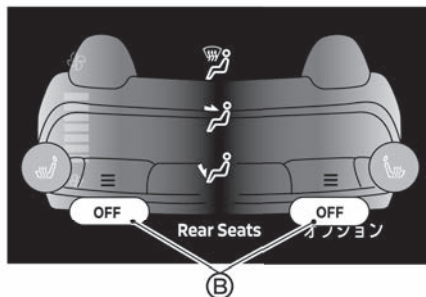


その他の室内装備

3. ①をタッチするごとにHI→MID→LOW→OFF→HIの順に切り替わります。



4. ②をタッチすると、後席ヒーターシートの作動が停止します。



電源ソケット★

カーアクセサリーの電源をとるときに使います。

電源ソケットの使いかた

⚠ 警告

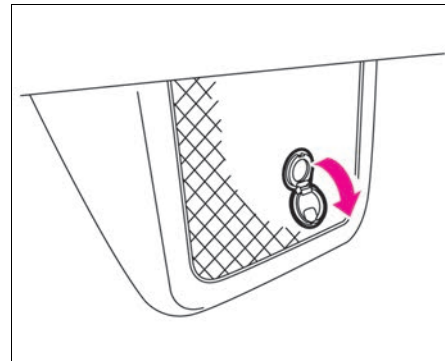
- 電源ソケットを使うときは、次のことを守る。

電源ソケットの不適切な使用は、車両のヒューズが切れるだけでなく、最悪の場合、車両火災ややけどのおそれがあります。

- 複数の電源ソケットを持つアダプターを使用して、一度にたくさんの機器を接続しないでください。
- 消費電力120W以下のものを使ってください。
- 相手プラグをソケットの奥まできちんと挿入してください。
- 使用中や使用後はソケットやプラグの取り扱いに十分注意してください。
- シガーライターをソケットに差し込まないでください。
- ソケットに水をかけたり、指や金属などを入れたりしないでください。

- 電源ソケットはインストアンダーボックスの下部にあります。
- ふたを開けて使います。
- 使用しないときは、ふたを閉めます。

- 容量は、12V（ボルト）、10A（アンペア）、120W（ワット）です。
- プラグを挿入したり抜いたりするときは、使用機器側の電源をOFFにするか、＜パワースイッチ＞をOFFにしてください。



🚗 アドバイス

- 12Vバッテリーあがりを防止するため、走行可能表示灯〔READY〕が点灯しているときに使用してください。

USB電源ポート★

USB電源ポートでモバイル機器などを充電できます。
センターコンソール前方のUSB電源ポートは通信も可能です。

USB電源ポートの使いかた

⚠ 警告

- **SRSエアバッグの作動を妨げるような場所に、モバイル機器や接続用のケーブルを設置しない。**

SRSエアバッグが正常に作動しなくなったり、SRSエアバッグの作動時にモバイル機器が飛ばされたりして、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。

➡ SRSエアバッグの種類 (P.68)

- **USB電源ポートを使用するときは、次のことを守る。**

USB電源ポートの不適切な使用は、車両のヒューズが切れるだけでなく、最悪の場合、車両火災やけどにつながるおそれがあります。

- 複数のUSB電源ポートを持つアダプターを使用して、一度にたくさんモバイル機器を充電しない
- 消費電力12W以下のものを使用する
- ケーブルはしっかり奥まで挿入する
- ポートに水をかけたり、指や金属などを入れたりしない
- ポートの向きに注意し、無理な接続や取り外しをしない

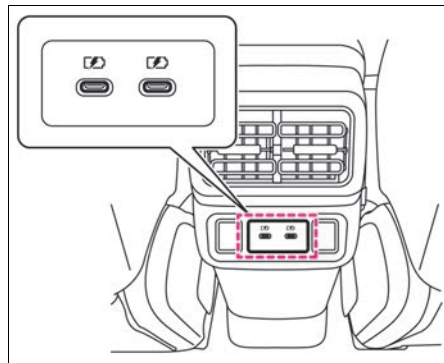
⚠ 注意

- **モバイル機器または接続用のケーブルは、運転の邪魔にならない場所に固定する。**

運転に支障をきたし、思わぬ事故につながるおそれがあります。

モバイル機器を充電するのに便利なUSB電源ポートが用意されています。

- USB電源ポートはセンターコンソールボックス前方および後方にあります。
- USB Type-Cの容量は、5V（ボルト）、3A（アンペア）、15W（ワット）です。
- センターコンソール前方のUSB電源ポートについては、NissanConnectインフォテインメントシステム取扱説明書をお読みください。



🚗 アドバイス

- 12Vバッテリーあがりを防止するため、メーター内の走行可能表示灯「READY」が点灯しているときに使用してください。

ワイヤレス充電器★

ワイヤレス充電器はQi対応スマートフォンの充電専用です。

ワイヤレス充電器の使いかた

⚠ 警告

- **充電エリアとスマートフォンの間にコインなどの金属物を置かない。**
車両火災ややけどにつながるおそれがあります。
- **植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）、またはそれ以外の医療電気機器を使用されている方は、医療電気機器製造業者などへ影響を確認してから使用する。**
ワイヤレス充電器の電波が医療電気機器の動作に影響を与える場合があります。
- **充電中はスマートフォンに布などをかぶせない。**
車両火災ややけどにつながるおそれがあります。
- **スマートフォンが濡れた状態で充電しない。**

その他の室内装備

⚠ 警告

故障、火災または感電のおそれがあります。

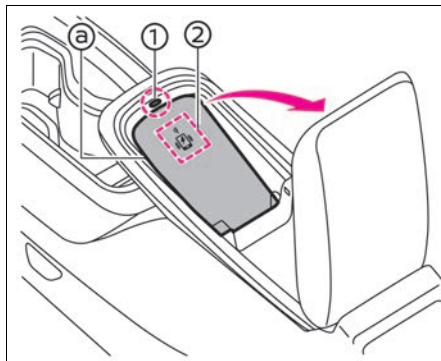
- 充電中は金属物やインテリジェントキー、メモリードライブなどを充電エリア内に置かない。
- 充電エリアに水や飲物などの液体をこぼさないように注意する。

故障、火災または感電のおそれがあります。

⚠ 注意

- 充電エリアにほこりや汚れが付着した状態で使用しない。
- 充電エリアの表面を叩かない。
- 充電エリアの清掃にはグリース、オイル、アルコールを使用しない。

- ワイヤレス充電器はセンターコンソールボックスにあります。
- スマートフォンを充電エリア①内に置くと充電が始まります。
(インジケータ①がオレンジ色に点灯)
- スマートフォンを置くときは、スマートフォンの受電部分がQiロゴ②の上にくるように置いてください。
- 充電が完了するとインジケータ①が緑色に点灯します。(すべての機種について作動の保証はいたしません。)



🚗 アドバイス

- 12Vバッテリーあがりを防止するため、メーター内の走行可能表示灯「READY」が点灯しているときに使用してください。
- 充電エリアとスマートフォンの間に磁気カードや、クレジットカードなどを置かないでください。カードのデータが破損する可能性があります。
- スマートフォンのケースやアクセサリによっては充電に影響を及ぼす可能性があるため、充電を行う前に取り外してください。
- 充電する前にスマートフォンのバイブレーション機能をOFFにしてください。

- 充電中にスマートフォンやワイヤレス充電器の温度が上がり、スマートフォンやワイヤレス充電器の保護機能により充電が停止する場合がありますが、故障ではありません。スマートフォンやワイヤレス充電器が冷えてから充電を再開してください。

📖 知識

- 誤作動が発生したり、充電が停止したりすると、インジケータ①がオレンジ色で8秒間点滅後消灯します。
- 充電位置はスマートフォンによって異なる場合があります。
- 充電中に電波障害が発生した場合は充電が停止します。充電が停止したときは、スマートフォンの受電部分がQiロゴ②の上にくるように置きなおしてください。
- インテリジェントキーと車両が通信をしているときは充電を停止することがあります。
- スマートフォンにUSBケーブルが接続されていると、インジケータがオレンジ色に点灯、または点滅する場合がありますが、充電は開始されません。
- スマートフォンの種類によっては、充電が完了してもインジケータがオレンジ色に点灯したままになる場合があります。

その他の室内装備

フロアカーペット

この車（年式）専用のフロアカーペットが設定されています。

固定のしかた

⚠ 警告

- この車（年式）専用のフロアカーペットを、床の上にしっかりと固定して正しく使用する。

フロアカーペットがずれて各ペダルと干渉し、思わぬスピードが出たりブレーキが効きづらくなったりするなど、重大な傷害につながるおそれがあります。

- 運転席にフロアカーペットを敷くときは、次のことを守る。

- 日産純正品であっても、他車種および異なる年式のフロアカーペットは使用しない。
- フロアカーペットでペダルを覆わない。
- フロアカーペットを重ねて敷かない。
- 運転席専用のフロアカーペットを使用する。
- フロアカーペットを前後さかさまにしたり、裏返しにしたりして使用しない。

- 運転する前にフロアカーペットが正しく固定されていることを定期的に確認し、洗車後は必ず確認する。

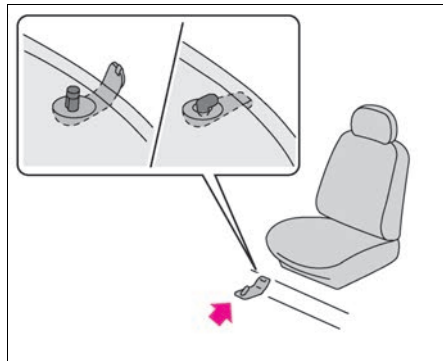
- 運転に支障がないことを確認する。

運転する前、＜パワースイッチ＞がOFFの状態で各ペダルをいっぱいに踏み込み、フロアカーペットと干渉しないことを確認してください。

- タバコの火種をフロアカーペットなどに落とさない。

火災につながるおそれがあります。

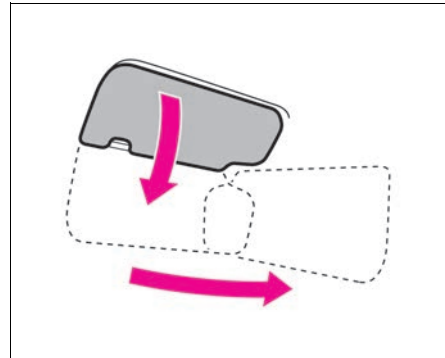
- 床面には日産純正フロアカーペット用の固定クリップが付いています。
- フロアカーペットを床の形状に合わせて敷き、取り付け穴に固定クリップのピンを通して確実に固定します。
- 車種により、固定クリップ・ピンの形状や、各シートごとに設定されている数量は異なります。詳しい固定方法は、日産販売会社にお問い合わせください。



サンバイザー／バニティミラー（照明付き★）

サンバイザー

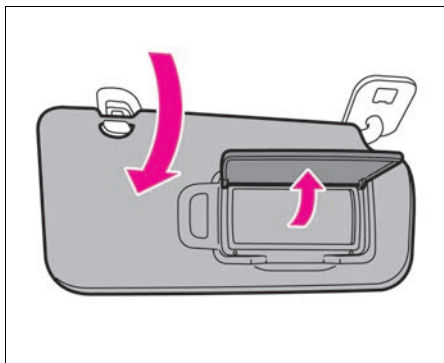
- 前方からの日差しを防ぐときは、下に下げて使います。
- 横からの日差しを防ぐときは、下に下げてフックから外し、横にして使います。



バニティミラーの使いかた

- サンバイザー裏側にバニティミラー（鏡）が付いています。
- サンバイザーを下に下げて、カバーを開けて使います。カバーを開けると、天井のランプ★が点灯します。

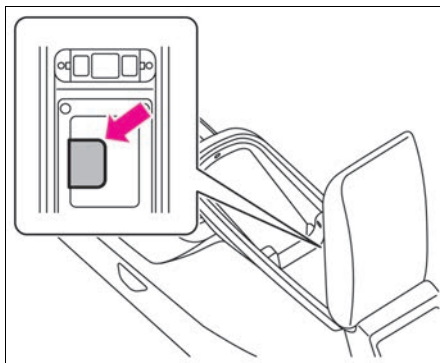
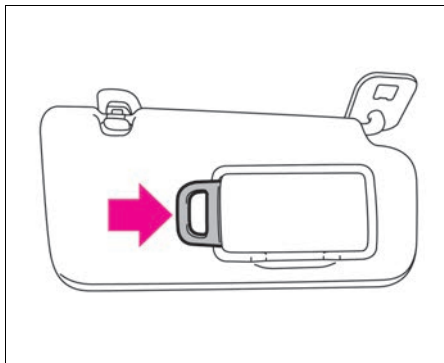
その他の室内装備



チケットホルダー

チケットホルダーの使いかた

- サンバイザーとコンソールボックス内にチケットホルダーが付いています。
- カードをスライドさせ、差し込みます。



🚗 アドバイス

- 炎天下での駐車は車室内が大変高温になりますので、カードを入れたままにしないでください。カードが変形するおそれがあります。

アシストグリップ

アシストグリップの注意事項

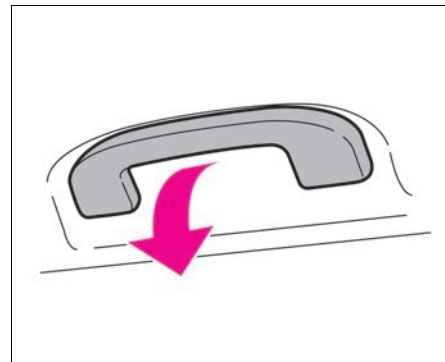
⚠ 注意

- アシストグリップに手をかけて乗り降りしない。

アシストグリップは、走行中などシートに座った状態で身体を支えるために使用してください。乗降用ではないため、手をかけて乗り降りしないでください。万一、アシストグリップが外れた場合は、思わぬケガをするおそれがあります。

アシストグリップの使いかた

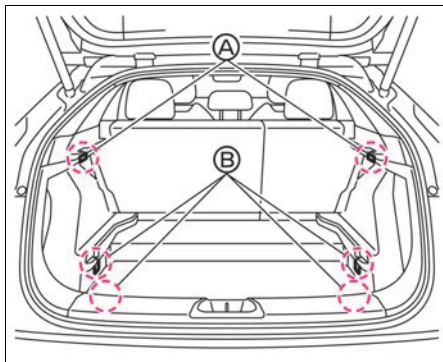
- アシストグリップは、前席および後席シート左右にあります。



ラゲッジフック

ラゲッジフックの使いかた

荷物の固定用としてロープなどをかけるときに使います。



アドバイス

- フックには大きな力がかからないようにしてください。フックが破損するおそれがあります。
- ④のフックに5kg以上、⑥のフックに10kg以上の物をかけないでください。フックが破損するおそれがあります。

MEMO



まずはじめに

故障したときは	P.376
発炎筒	P.377
けん引について	P.377

緊急時の対処法

パンクしたときは	P.381
ドアが開かないときは	P.385
充電コネクタロックが解除できないときは	P.386
EVシステムを始動できないときは	P.386
12Vバッテリーがあがったときは	P.387
出力制限表示灯が点灯したときは	P.391
リチウムイオンバッテリーの残量がなくなったときは	P.391
警告灯がついたときは	P.392
警告メッセージが表示されたときは	P.398
警報音（ブザー）が鳴ったときは	P.435
窓ガラスがくもったときは	P.436
雪道やぬかるみにはまったときは	P.437
水没したときは	P.437
外装ランプが点灯しないときは	P.438
ヒューズが切れたときは	P.438

まずはじめに

故障したときは

車両が故障したときは、次の手順で対処してください。

故障したときの対処のしかた

⚠ 警告

- 発炎筒はトンネル内では使用しない。

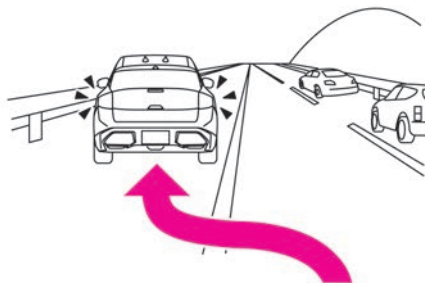
煙で視界が悪くなり、他車の走行の妨げとなり、事故につながるおそれがあります。非常点滅表示灯を使ってください。

⚠ 注意

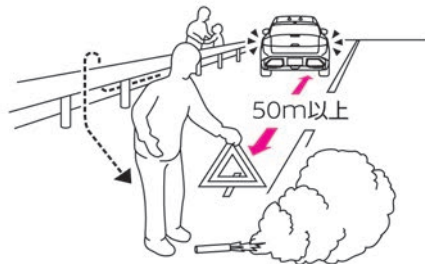
- 走行中に走行可能表示灯【READY】が消灯したときは、慎重に運転する。

故障により走行可能表示灯が消灯すると、ブレーキやパワーステアリングが正しく機能せず、極度にブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルの操作力が重くなったりすることがあります。すみやかに安全な場所に停車してください。

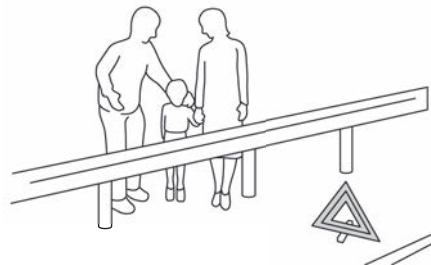
1. 非常点滅表示灯で後続車に危険を知らせながら、できるだけ路肩に寄せて停車します。
路肩がない場所では、可能な限り広いところまで自走します。



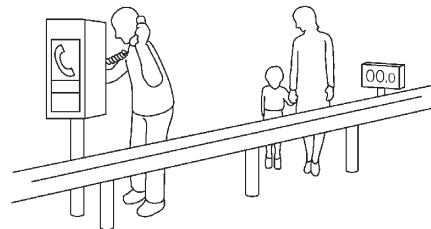
2. 同乗者をガードレールの外側などに避難させ、車両の50m以上後方に発炎筒と停止表示板（停止表示灯）を置きます。
➡ 発炎筒 (P.377)



3. 運転者もガードレールの外側などに避難します。
避難するときは、停止車両への追突事故が発生したときに巻き込まれないよう注意してください。



4. 非常電話や携帯電話などで救援依頼をします。



まずはじめに

アドバイス

- 高速道路や自動車専用道路では、停止表示板（停止表示灯）の表示が法律で義務付けられています。
- 高速道路上では1kmごとに非常電話が設置されています。

発炎筒

高速道路や踏み切りなどで故障・事故により緊急停車したとき、周囲に危険を知らせるために使います。

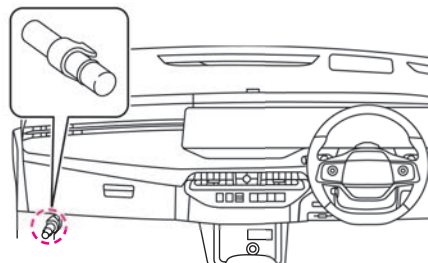
発炎時間は約5分です。非常点滅表示灯と併用してください。

発炎筒の使いかた

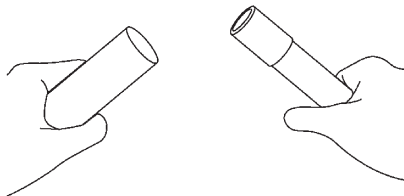
警告

- お子さまには触らせない。
いたすらなどで発火するおそれがあり危険です。
- 可燃物の近くで使用しない。
引火するおそれがあります。
- 点火は必ず車外で行い、点火後は顔や身体に近づけない。
やけどをするおそれがあります。

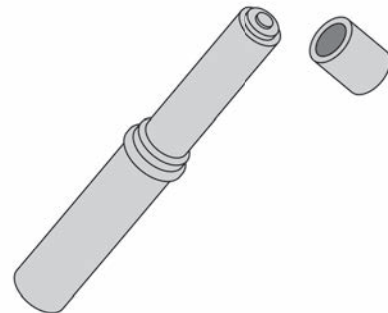
1. 助手席足元部のホルダーから発炎筒を外します。



2. 本体を回しながらケースから引き抜き、本体を逆さにして差し込みます。



3. 先端のふたを取り、ケースのすり藁で発炎筒の先端をこすって着火します。



アドバイス

- 発炎筒に記載してある使用方法、注意をあらかじめ確認しておいてください。
- 発炎筒には有効期限があります。期限が切れる前に日産販売会社でお買い求めください。

けん引について

けん引が必要なときは、日産販売会社またはJAFなどのロードサービスに依頼してください。

やむをえずけん引されるときは、できる限り短距離の移動のみとしてください。

この車両で他車をけん引することはできません。

まずはじめに

けん引時の注意事項

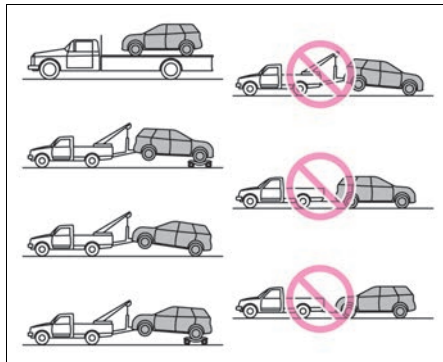
⚠ 注意

- 前輪を持ち上げてけん引するときは、**<パワースイッチ>をOFFにする。**

VDCが作動し、ブレーキがかかることがあります。

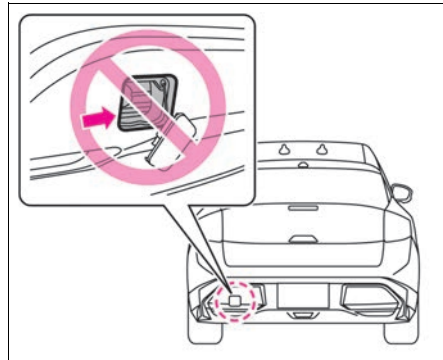
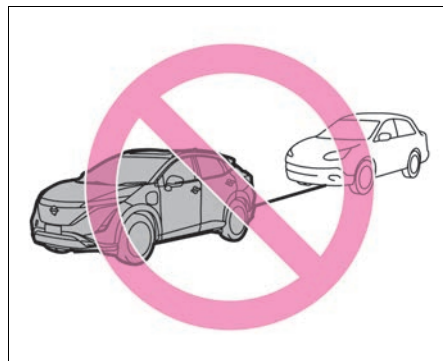
- 車両が動かなかったり、異常な音がしたりするときは、けん引せずに日産販売会社へご連絡ください。
- 車両を運搬するときは、前輪または4輪を持ち上げてけん引してください。
- この車両は、オートP機能(🔄P.190)により、<パワースイッチ>がOFFのときはシフトポジションを**P**から**N**に切り替えることができません。そのため、12Vバッテリーあがりなどで<パワースイッチ>がOFFから切り替えられないときは、4輪接地の状態でけん引できません。
- やむをえず4輪接地の状態でけん引されるときは、(🔄P.379)をお読みください。
- けん引ロープはできるだけソフトロープを使い、バンパーに傷をつけないように注意してください。
- けん引中はロープをたるませないように、前の車の制動灯に注意してください。
- けん引フックは他車をけん引するために使用しないでください。
- けん引中は、e-Pedal StepをOFFにしてください。

- けん引中は、プロパイロットをOFFにしてください。
- けん引中は、踏み間違い衝突防止アシストをOFFにしてください。



リヤフックについて

この車両で他車をけん引することはできません。後ろ側についているけん引フック取り付け穴は船舶輸送時の固定専用です。けん引やトレーラー輸送などの固定には絶対使用しないでください。



🚗 アドバイス

- けん引用として使うと、車両を損傷するおそれがあります。

まずはじめに

やむをえず4輪接地でけん引される ときは

⚠ 警告

- 4輪接地でけん引されるときは、**<パワースイッチ>をOFF**にしない。

この車両は、オートP機能

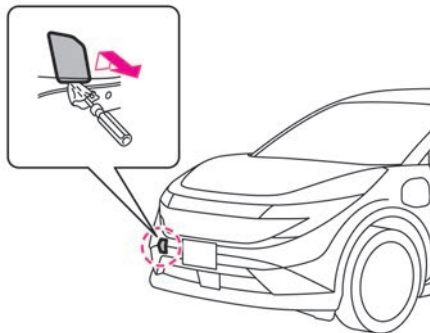
(➡P.190)により、**<パワースイッチ>**がOFFのときはシフトポジションを**P**から**N**に切り替えることができません。そのため、12Vバッテリーあがりなどで**<パワースイッチ>**がOFFから切り替えられないときは、4輪接地の状態でけん引できません。

⚠ 注意

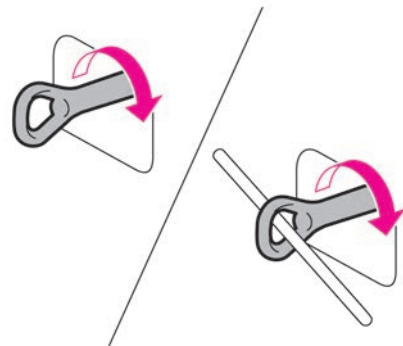
- メーター内の走行可能表示灯【READY】が消灯していると、ブレーキやハンドルが正しく機能せず、極度にブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルの操作力が重くなったりすることがあるので注意して運転する。
- けん引フックに指定以外のフックは絶対に使用しない。
フック部が破損するおそれがあります。
- 長い下り坂ではけん引しない。

ブレーキが過熱して効かなくなり、事故につながるおそれがあります。このような場所でけん引するときは、レッカー車で引いてもらってください。

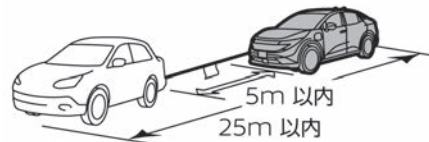
- やむをえず4輪接地の状態でけん引される場合は、シフトポジションを**N**にした状態で行ってください。
 - 4輪接地でけん引してもらうときは、速度30km/h以下で路肩に寄せる程度の移動のみとしてください。
1. 先の細いお手持ちの工具を布などで覆い、下側から差し込んでカバーを取り外してください。



2. 金属の固い棒などを使用して、けん引フックを取り付けます。
➡ 工具、タイヤ応急修理キットの格納場所 (P.441)



3. 自転車および他車のけん引フックにロープを掛け、ロープ中央に30cm×30cm以上の白い布を取り付けます。



まずはじめに

4. パーキングブレーキを解除し、EVシステムを始動してシフトポジションを**N**に切り替えます。
EVシステムを始動できないときは
<パワースイッチ>をONにし、シフトポジションを**N**にしてください。



アドバイス

- 4輪接地の状態ではけん引されるときは、EVシステムを始動するか<パワースイッチ>をONにしてシフトポジションを**N**にした状態で行ってください。<パワースイッチ>がOFFのときは、オートP機能によりシフトポジションを**N**に切り替えられないため、けん引することができません。



各シフトポジションの機能 (P.190)

- けん引中はローブをたるませないように、前の車の制動灯に注意してください。
- けん引フックは他車をけん引するために使用しないでください。



知識

- けん引が終わったら、けん引フックを取り付けたときと逆の手順で取り外します。

パンクしたときは

この車両には、スペアタイヤ、ジャッキ、ハンドル兼ホイールナットレンチ、ハンドルレバーが標準で搭載されていません。タイヤがパンクしたときは、タイヤ応急修理キットで応急修理ができます。

応急修理する前に

- タイヤ応急修理キットの修理剤を使用したタイヤは、新しいタイヤに交換されることをおすすめします。タイヤの交換については日産販売会社または専門の修理業者と相談し、損傷が激しい場合は交換、修理可能と判断された場合は修理を実施してください。
- ホイールは付着した修理剤をふき取れば再使用できますが、タイヤのバルブは新しいものと取り替えてください。
- 修理剤とホースは再使用できません。使用後は新しい修理剤とホースをお求めください。詳しくは日産販売会社にご相談ください。

応急修理を行うときは、次の準備をしてください。

- 地面が固く平らな場所に車両を移動する。
- パーキングブレーキをかける。
- シフトポジションをPにする。
- <パワースイッチ>をOFFにする。
- 非常点滅表示灯を点滅させる。
- 次の場合はタイヤ応急修理キットでは応急修理ができません。日産販売会社またはJAFなどにご連絡ください。

— 約6mm以上の切り傷や刺し傷があるとき

☆/★：車両型式、オプションなどで異なる装備

- タイヤサイド部が損傷を受けたとき
- ほとんど空気の抜けた状態で走行したとき
- タイヤがホイールから外れているとき
- ホイールが破損しているとき
- タイヤが2本以上パンクしているとき
- 修理剤の有効期限が切れているとき



アドバイス

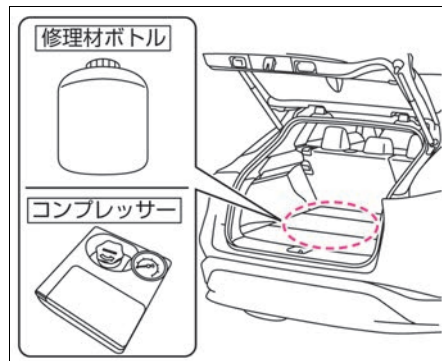
- タイヤに釘やネジが刺さっている場合は、抜いてしまうとパンク穴が大きくなり空気が漏れやすくなるため、抜かずにタイヤ応急修理キットで応急修理してください。

タイヤ応急修理キットについて

- タイヤトレッド部（接地面）の軽度なパンクは、タイヤ応急修理キットで応急修理できます。
- タイヤ応急修理キットは、ラゲッジルームのラゲッジフロア下に格納されています。

② 工具、タイヤ応急修理キットの格納場所 (P.441)

- 応急修理を目的としているため、修理後に長期間の走行はできません。修理後はすみやかに日産販売会社または専門の修理業者で点検、恒久修理またはタイヤ交換を行ってください。



※：車種により、タイヤ応急修理キットの内容や部品形状が異なります。

応急修理のしかた

⚠ 注意

- ハンドルのセンターパッド部には速度制限シールを貼らない。
SRSエアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。また、警告灯やスピードメーターが見えなくなる位置にも貼らないでください。
- ホースとタイヤのバルブの接続をしっかりと行う。
接続が不十分な場合、空気が漏れたり、修理剤が飛び散ったりするおそれがあります。
- 破裂の危険があるので応急修理キット作動中は補修中のタイヤから離れる。

⚠ 注意

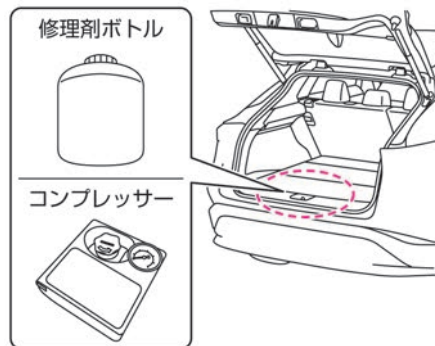
- タイヤに亀裂や変形が生じている場合、ただちにコンプレッサーのスイッチをOFF（「○」の位置）にし、修理を中止する。

バルブを介して修理剤を注入するため、圧力が600kPaに達することがありますが、異常ではありません。通常は、30秒ほどで下がります。

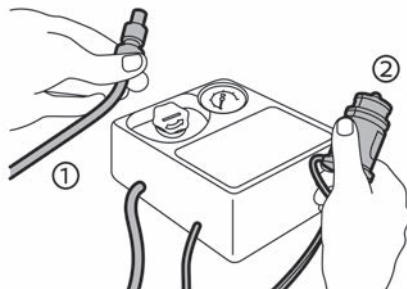
- 空気を入れたあとは、ホースの口金
が熱くなることがあるため、やけど
しないように注意する。

■ コンプレッサーの準備

1. ラゲッジルームからタイヤ応急修理キットを取り出します。



2. コンプレッサーからホース①と電源プラグ②を取り出します。

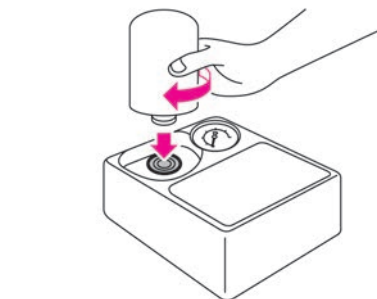


3. コンプレッサーから、ボトルホルダーのキャップを外します。

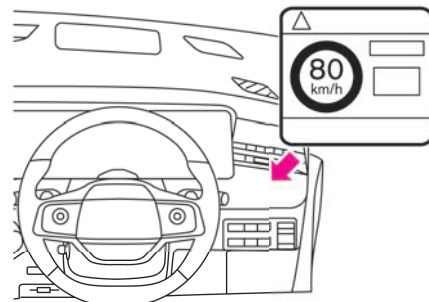


4. 修理剤ボトルのキャップを外し、内ぶたをつけたままボトルホルダーに取り付けます。

- (ボトルホルダーにねじ込むと内ぶたが破れます。)



5. コンプレッサーの速度制限シールをはがし、運転者のよく見えるところに貼ります。



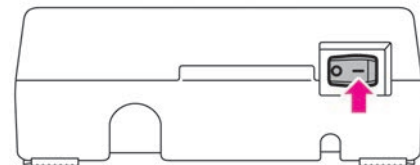
■ エアの注入

1. パンクしたタイヤのバルブからキャップを外します。

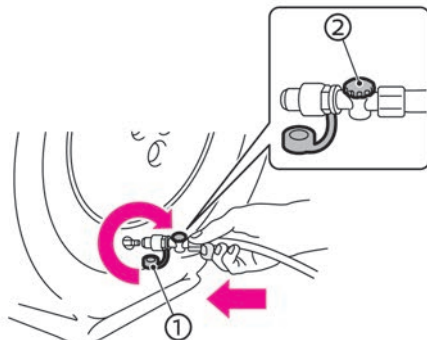
緊急時の対処法

レッサーを一時停止して空気圧計で測定してください。

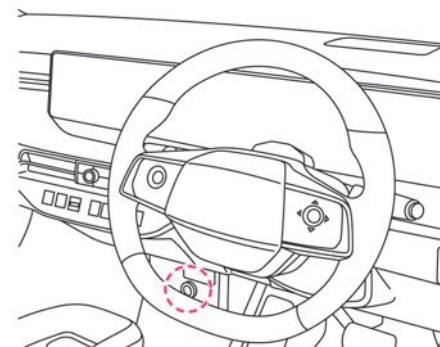
※タイヤの指定空気圧は、運転席ドア開口部に表示されています。



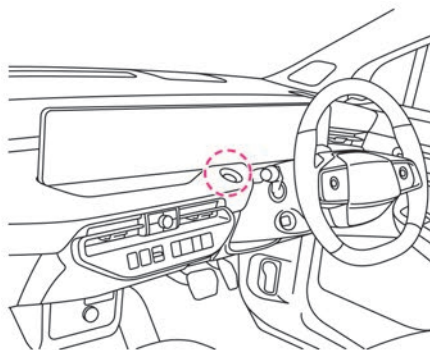
2. ホース先端の保護キャップ①を外し、ホースをパンクしたタイヤのバルブに確実にねじ込みます。
このとき、排気バルブ②が閉まっていることを確認してください。



3. コンプレッサーのスイッチがOFF（「O」の位置）の状態、電源プラグを車室内の電源ソケットに差し込みます。



4. <パワースイッチ>をONにします。



5. コンプレッサーのスイッチをON（「I」の位置）にし、タイヤを指定空気圧または180kPa以上になるまで空気を充てんします。この際、実際の空気圧が測れるようにコンプ

6. 指定空気圧または180kPa以上まで昇圧できたら、コンプレッサーのスイッチをOFF（「O」の位置）にし電源プラグを電源ソケットから抜きます。
7. ホースをタイヤのバルブからすばやく取り外し、タイヤのバルブにキャップを取り付けます。

アドバイス

- コンプレッサーは長時間使用すると故障につながるおそれがありますので、10分以上連続して作動させないでください。タイヤ空気圧を昇圧できない場合は修理できません。

☆/★：車両型式、オプションなどで異なる装備

緊急時の対処法

アドバイス

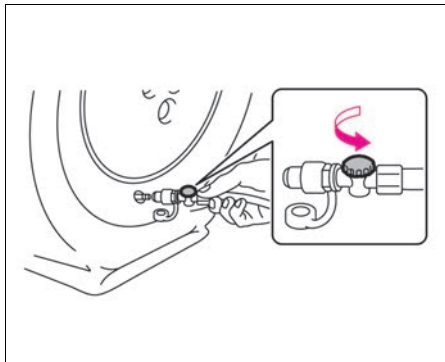
- 修理剤ボトルは、コンプレッサーのボトルホルダーから取り外さないでください。取り外すとボトル内に残った液剤がこぼれるおそれがあります。

10分以内に180kPaまで昇圧できない場合

10分以内に180kPaまで昇圧できない場合は、タイヤがひどい損傷を受けているおそれがあります。この場合は、本修理キットで応急修理をすることはできません。日産販売会社またはJAFなどに連絡してください。

空気を入れすぎてしまったとき

排気バルブを反時計回りに回して、空気を抜いてください。



■ 点検走行

注意

- 走行するときは、低速で慎重に運転し、特にカーブや旋回時には注意する。

1. ただちに走行を始め、10分間または3km程度走行してください。80km/h以下の速度で注意深く運転してください。
2. 走行後、再度タイヤ空気圧を測定します。コンプレッサーのスイッチがOFF（「〇」の位置）であることを確認します。コンプレッサーからのホースをタイヤのバルブに取り付け、タイヤ空気圧を確認してください。

130kPa未満の場合

本修理キットによる応急修理はできません。運転を中止して日産販売会社またはJAFなどのロードサービスに連絡してください。

130kPa以上指定空気圧未満の場合

コンプレッサーのスイッチをON（「|」の位置）にして指定空気圧まで昇圧し、点検走行の作業を行います。上記作業を繰り返しても指定空気圧より低下する場合は、本修理キットによる応急修理はできません。運転を中止して日産販売会社またはJAFなどのロードサービスに連絡してください。

指定空気圧の場合

応急修理は完了です。すみやかに日産販売会社または専門の修理業者まで慎重に運転してください。

アドバイス

- 応急修理後の恒久修理の際、パンク穴を発見できないために恒久修理できないことがあります。そのまま走行を続ける場合は、こまめに空気圧をチェックしてください。頻繁に空気圧の低下がみられるときは、日産販売会社または修理会社で点検を受けてください。

タイヤ応急修理キットの注意事項

注意

タイヤ応急修理キットについて

- タイヤ応急修理キットは搭載車両専用のため、他の車には使用しない。
- タイヤ応急修理キットは自動車用タイヤの空気充てんや空気圧チェック以外で使用しない。
- タイヤ応急修理キットはDC12V専用のため、他の電源での使用はしない。
- 分解、改造などは絶対にしない。
- コンプレッサーに衝撃を与えない。故障の原因となります。
- お子さまが誤って手を触れないように注意する。

修理剤について

- 修理剤を口に入れない。

緊急時の対処法

⚠ 注意

修理剤を飲み込むと健康に害があります。万一誤って飲んだ場合は、できるだけたくさん水を飲み、ただちに医師の診療を受けてください。

- 万一、目や皮膚に付着したときは、水でよく洗い流す。

それでも異常を感じたときは、医師の診療を受けてください。

🚗 アドバイス

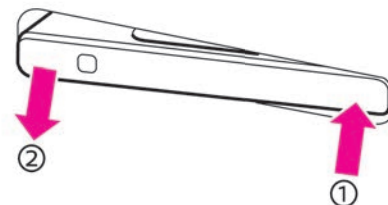
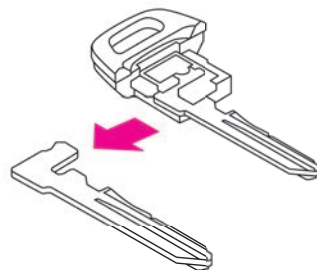
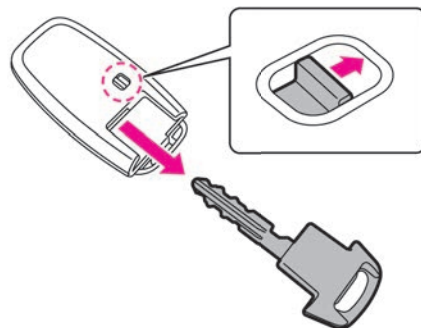
- タイヤ応急修理キットは、必ず日産純正品を使用してください。
- 水やほこりを避けて使用してください。

ドアが開かないときは

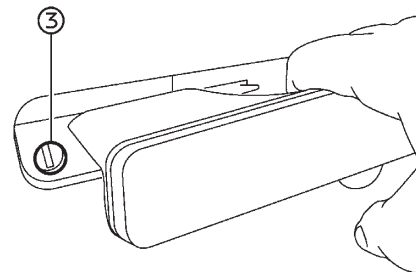
インテリジェントキーの電池が切れたときや、12Vバッテリーがあがったときなどドアが開かないときは、次の方法で施錠・解錠してください。

内蔵キー（メカニカルキー）でのドアの開けかた

1. インテリジェントキーから内蔵キーを引き出し、キープレートにキーヘッドから取り外します。
2. 運転席ドアのドアハンドル前部を押します①。
3. ドアハンドルを格納位置から引き出します②。

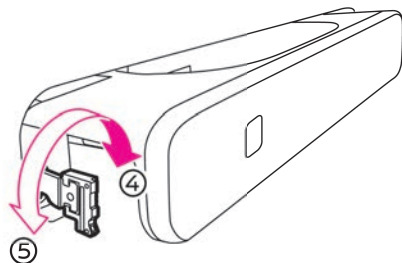


4. キープレートを鍵穴③に挿入します。



5. 運転席ドアにある鍵穴に内蔵キーを差し込んで車両前方④に内蔵キーを回すと解錠します。施錠するときは、車両後方⑤に内蔵キーを回します。

緊急時の対処法



- 解錠時は勢いよくドアが開くおそれがありますので、注意して解錠してください。

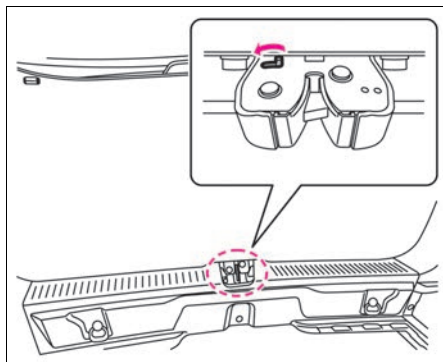
アドバイス

- キープレートを鍵穴に挿入するときは、塗装面を傷つけないよう注意してください。

緊急時のバックドアの開けかた

12Vバッテリーあがりなどにより、バックドアを開けられなくなったときは、次の操作をしてください。

- お手持ちの工具（プラスドライバーまたはマイナスドライバーなどの細い工具）を使用して、バックドアの車室内側にあるロック機構のレバーを矢印の方向に動かして解錠し、バックドアを持ち上げます。



アドバイス

- この手順は、あくまで故障時の緊急手段です。故障の原因になるため、正常なときは使用しないでください。
- <バックドアオープナースイッチ>などの故障につながるおそれがあるため、操作をしたときは日産販売会社で点検を受けてください。
- 操作後はなるべく早く日産販売会社で点検を受けてください。

充電コネクタロックが解除できないときは

緊急時の充電コネクタロックの解除のしかた

- 急速充電ポート側のコネクタロックが解除できないときは、充電スタンドの管理者にご連絡ください。

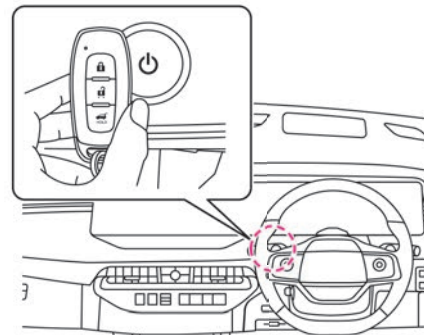
- 普通充電ポート側のコネクタロックが解除できないときは、日産販売会社にご連絡ください。

EVシステムを始動できないときは

キーの電池が切れたときや、使用環境によりキーと車両の通信が正常に行われていないときは、次の手順でEVシステムを始動してください。

始動のしかた

1. <パワースイッチ>を押してから、キーのロゴの裏面を<パワースイッチ>に接触させます。
(ブザーが“ピピッ”と鳴ります)



2. ブザーが鳴ってから10秒以内に、ブレーキペダルをしっかりと踏みながら、<パワースイッチ>を押します。
- ドアの施錠・解錠は、内蔵キー（メカニカルキー）（ P.385）をご使用ください。

緊急時の対処法

- キーの電池が切れたときは、早めに電池を交換してください。

➡ インテリジェントキーの電池交換
(P.453)



アドバイス

- 上記の手順でEVシステムを始動できない場合は、早めに日産販売会社に連絡してください。

停止のしかた

EVシステムを停止するときは、＜パワースイッチ＞を長押ししてください。

12Vバッテリーがあがったときは

12Vバッテリーがあがり、EVシステムの始動ができなくなったときは救援車を依頼し、ブースターケーブル（別売り）をつないで始動してください。

⚠ 警告

- ジャンプスタートを行うときは換気を十分に行い、火気は近づけない。
12Vバッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。
- バッテリー液が付着したときは、すぐに多量の水で洗浄し、飲み込んだときは多量の水を飲んで応急処置をしたあと、医師の診療を受ける。

バッテリー液は希硫酸です。目や皮膚に付着すると、失明や炎症など重大な傷害につながるおそれがあります。

- ブースターケーブルを正しい順番と位置でつなぐ。
- ブースターケーブルを自車バッテリーの⊖端子に直接つながない。
- ブースターケーブルの⊕端子と⊖端子を接触させない。

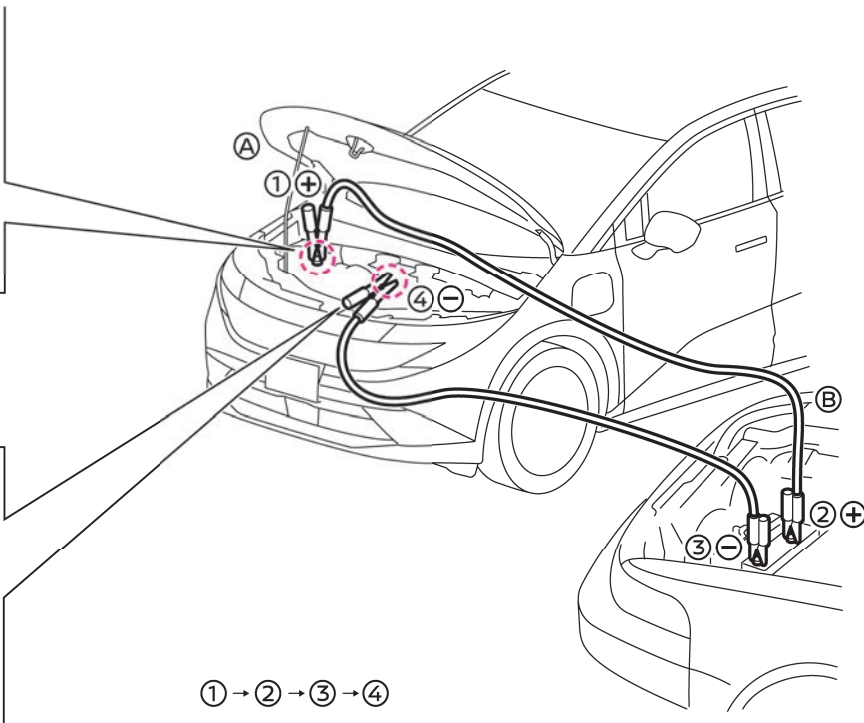
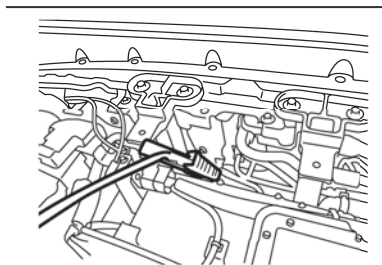
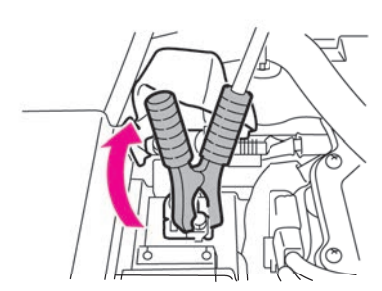
火花が発生し、12Vバッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発し、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。

- 12Vバッテリーの⊕側ターミナルが周辺の金属と接触しないようにする。

接触するとショートして火災の原因となるおそれがあります。また、12Vバッテリーの端子の締め付けが緩いと、配線などが過熱、焼損し、火災につながるおそれがあります。

- 12Vバッテリーを交換するときは、必ず同じサイズ（型式）に交換し、動かないようにしっかりと固定する。

しっかりと固定できていないと、ショートなどの原因となり火災につながるおそれがあります。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。



① → ② → ③ → ④

ジャンプスタートのしかた

⚠ 注意

- ブースターケーブルのワニグチクリップは、車体に触れたり、他のワニグチクリップと接触したりしないように注意する。

- ブースターケーブルは、確実に接続する。

救援車のエンジン始動時の振動で外れたりしないように確実につないでください。

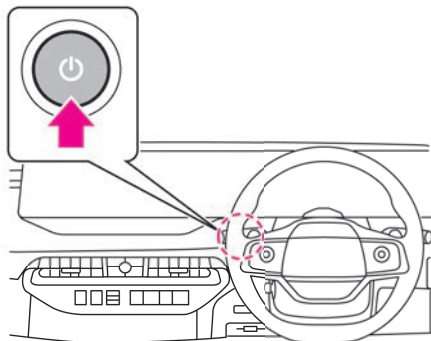
- 冷却ファンやベルトに注意する。

ブースターケーブルをつなぐときや外すときは、冷却ファンやベルトに巻き込まないように注意してください。

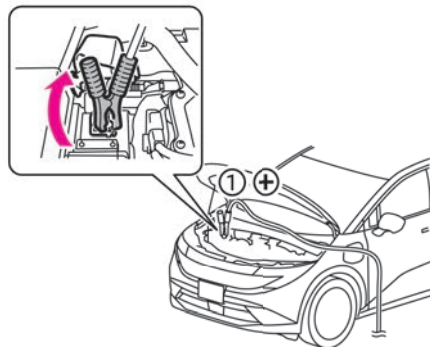
緊急時の対処法

1. 自車①と救援車②の<パワースイッチ>をOFFにします。

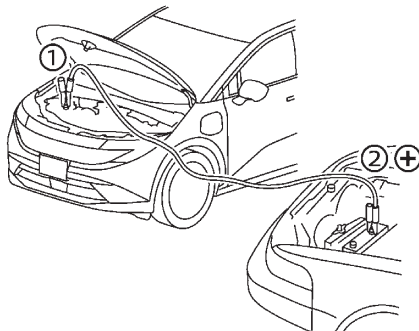
➡ パワースイッチ (P.186)



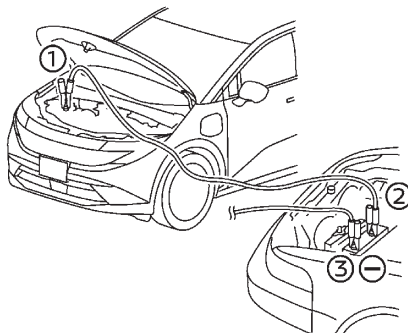
2. ブースターケーブル①を自車のヒューズボックス横の⊕端子に接続します。



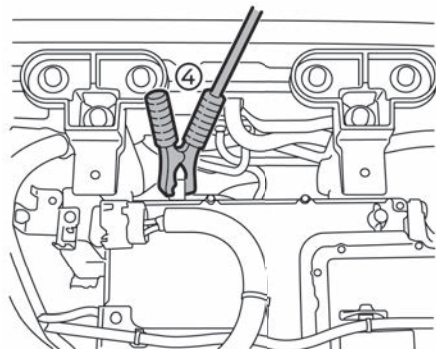
3. 手順2のケーブルの反対側②を救援車の12Vバッテリーの⊕端子に接続します。



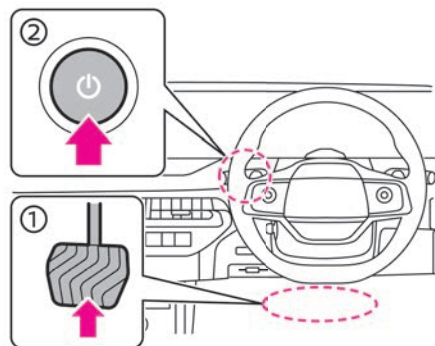
4. もう1本のブースターケーブル③を救援車の12Vバッテリーの⊖端子に接続します。



5. 手順4のケーブルの反対側④を自車の車体 (2の手順で接続した⊕端子から離れたステーなど) に接続します。

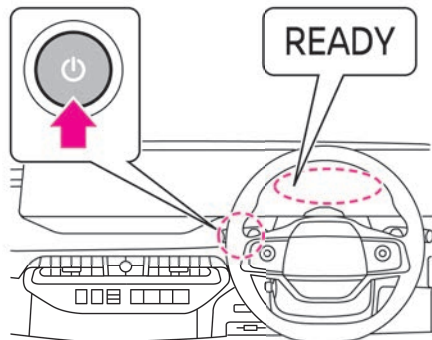


6. 救援車のエンジンを始動し、回転数を少し高めにします。
7. 自車のブレーキペダルをしっかりと踏みながら、<パワースイッチ>を一回押します。



緊急時の対処法

8. メーター内の走行可能表示灯が点灯したことを確認し、ブースターケーブルをつないだときと逆の手順で外します。



アドバイス

- 押しがけによる始動はできません。
- この車両を救援車として使用しないでください。
- 救援車には12Vバッテリー仕様の車両を使用してください。
- ジャンプスタートを行うときは、充電ケーブルを取り外してください。車両または充電機器を破損するおそれがあります。

出力制限表示灯が点灯したときは

外気温が高いときや連続で高速走行や登坂走行をしたとき、また、急速充電を繰り返したときは、リチウムイオンバッテリーの温度が上がり、出力制限表示灯〔〕が点灯する場合があります。

出力制限表示灯が点灯したときは、加速性能や回生ブレーキ性能が制限されることがあるため、次の対処方法に従ってください。

点灯したときの状況	対処方法	注意事項
走行中に出力制限表示灯〔  〕が点灯したとき	高速道路を走行しているとき 80km/h以下で走行してください。次のパーキングエリアまたはサービスエリアで車両を止め、出力制限表示灯〔  〕が消灯するまで待ちます。 一般道を走行しているとき 安全な場所に停車し、出力制限表示灯〔  〕が消灯するまで待ちます。	出力制限表示灯〔  〕が消灯しないときは、日産EVカスタマーセンター（0120-230-834）にご連絡ください。
急速充電で出力制限表示灯〔  〕が点灯したとき	リチウムイオンバッテリーを冷やすため、＜パワースイッチ＞をOFFにし、出力制限表示灯が消灯するまで待ちます。（可能な場合、日陰で照り返しのない場所に移動してから待ちます。）	

リチウムイオンバッテリーの残量がなくなったときは

リチウムイオンバッテリーの残量がなくなると、メーター内の走行可能表示灯〔READY〕が消灯し走行できなくなります。

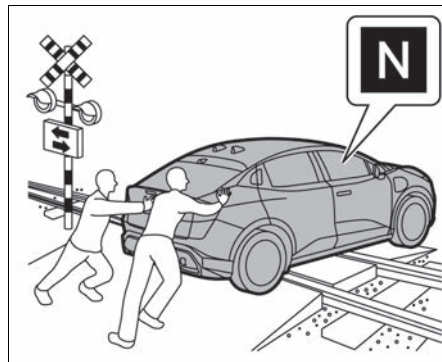
バッテリーの残量が完全になくなったときの対処のしかた

リチウムイオンバッテリーの残量が完全になくなったときは、すみやかに安全な場所に停車し、日産EVカスタマーセンター（0120-230-834）にご連絡ください。

万一、安全な場所に移動する前に走行できなくなったときは、付近の人に応援を求め、車両を手で押して安全な場所に移動してください。

☆／★：車両型式、オプションなどで異なる装備

このとき、シフトポジションはNにします。



🚗 アドバイス

- 救援を待つ間は、＜パワースイッチ＞をOFFにしてください。＜パワースイッチ＞をONのままにしておくと、12Vバッテリーがあがるおそれがあります。
- リチウムイオンバッテリーの残量がなくなると、メーター内の走行可能表示灯〔READY〕が消灯し、シフトポジションも自動的にNに切り替わるため、自力での走行ができなくなります。
- リチウムイオンバッテリーの残量がなくなり、車両が停止するときに振動が発生することがありますが、異常ではありません。

アドバイス

- リチウムイオンバッテリーの残量が完全になくなったときは、リチウムイオンバッテリー残量警告灯 [] (黄色) が消灯 (白色) するまで充電してください。

警告灯がついたときは

警告灯は、車両故障などを運転者に知らせるためのものです。

警告灯が点灯・点滅したときは、次の「説明・対処方法」に従ってください。

メーター内の警告や表示は、グレード、オプションなどにより異なります。

EVシステム警告灯



■ 点灯・点滅する条件

- 正常なときは、＜パワースイッチ＞をONにすると点灯し、数秒後に消灯します。
- ＜パワースイッチ＞がONのとき、モーターや高電圧システムなどに異常が発生すると点灯します。

■ 説明・対処方法

- 点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社に連絡してください。

12V系充電警告灯



■ 点灯・点滅する条件

- 正常なときは、＜パワースイッチ＞をONにすると点灯し、数秒後に消灯します。
- メーター内の走行可能表示灯 [READY] が点灯しているとき、12Vバッテリーの充電系統に異常があると点灯します。

■ 説明・対処方法

- 点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社に連絡してください。

注意

- 12V系充電警告灯が点灯したまま走行しない。
車両が突然停止するなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

ABS警告灯



■ 点灯・点滅する条件

- 正常なときは、＜パワースイッチ＞をONにすると点灯し、数秒後に消灯します。
- ＜パワースイッチ＞がONのとき、ABSのシステムに異常があると点灯します。

■ 説明・対処方法

- ＜パワースイッチ＞をONにしても点灯しないとき、または点灯し続けるときは、高速走行や急ブレーキを避け、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

アドバイス

- ABS警告灯が点灯したときは、ABSは作動しませんが、通常のブレーキ性能は確保されています。この場合、滑りやすい路面でのブレーキ時や急ブレーキ時にタイヤがロックすることがあります。

電動パーキングブレーキ警告灯



■ 点灯・点滅する条件

- 正常なときは、＜パワースイッチ＞がONのとき、電動パーキングブレーキがかかっていると点灯し、電動パーキングブレーキを解除すると消灯します。
- ＜パワースイッチ＞がONのとき電動パーキングブレーキのシステムに異常があると点滅します。

緊急時の対処法

■ 説明・対処方法

- <パワースイッチ>がONで警告灯が点滅しているときに、電動パーキングブレーキを解除しても点滅が続くときは、すみやかに車両を安全な場所に停車し、日産販売会社に連絡してください。

ブレーキ警告灯 (赤色)



■ 点灯・点滅する条件

- 正常なときは、<パワースイッチ>をONにすると点灯し、数秒後に消灯します。
- <パワースイッチ>がONのとき、次の場合は点灯し続けます。
 - ブレーキ液が不足しているとき
 - ブレーキシステムに異常があるとき

■ 説明・対処方法

- 走行中にブレーキ警告灯 (赤色) が点灯した場合は、車両を停止し、以下の確認を行ってください。(ブレーキシステム警告灯 (黄色) と同時にVDC警告灯 [図] も点灯します。)
 - ブレーキ液の量が規定通りに入っていることを確認してください。ブレーキ液が不足している場合は、ブレーキ液を補充し日産販売会社で点検を受けてください。
 - ブレーキ液の量が適正のときは、他に原因があることが考えられますので、

☆/★: 車両型式、オプションなどで異なる装備

日産販売会社で点検を受けてください。

- ブレーキシステムの電源系統に異常があるときは、ブザーが鳴ります。

ブレーキシステム警告灯 (黄色)



■ 点灯・点滅する条件

- 正常なときは、<パワースイッチ>をONにすると点灯し、数秒後に消灯します。
- <パワースイッチ>がONのとき、次の機能に異常があると点灯します。
 - ブレーキシステム
 - 回生ブレーキ
 - ヒルスタートアシスト
 - 電動パーキングブレーキ

■ 説明・対処方法

- パーキングブレーキを解除し、ブレーキ液量が正常でブレーキ警告灯 (赤色) と同時に点灯したときは、ただちに安全な場所に停車して、日産販売会社に連絡してください。このときは、ブレーキの効きが極度に悪くなっているおそれがあります。ブレーキの効きが悪いときは、ブレーキペダルを強く踏んで停車してください。
- ブレーキ警告灯 (赤色) と同時に点灯していないときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

- ブレーキシステムの電源系統に異常があるときは、ブザーが鳴ります。

🚗 アドバイス

- ブレーキシステム警告灯 (黄色) が点灯しているときは、回生ブレーキが作動しませんが、通常のブレーキ性能は確保されています。

シートベルト警告灯



■ 点灯・点滅する条件

- <パワースイッチ>がONのとき、前席および後席の乗員がシートベルトを着用していないと点灯します。
- シートベルトを着用していない状態で走行すると (約15km/h以上)、警告灯が点滅します。
シートベルト非着用警報 (シートベルトリマインダー)
- シートベルトを着用していない状態で車速が一定以上になると、ブザーが一定時間鳴ります。

■ 説明・対処方法

- シートベルトを着用してください。

⚠ 警告

- 走行中は全員がシートベルトを着用する。

⚠ 警告

着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、死亡や重大な傷害につながるおそれがあります。

📖 知識

- 助手席シートまたは後席シートに荷物などを置くと、センサーが重量を検知して、警告灯が点灯することがあります。
- シートベルトの着用状態は、アドバンスドライバアシストディスプレイにも表示されます。

警告メッセージ (➡ P.399)

SRSエアバッグ警告灯



■ 点灯・点滅する条件

- 正常なときは、＜パワースイッチ＞をONにすると点灯し、約7秒後に消灯します。
- ＜パワースイッチ＞がONのとき、SRSエアバッグのシステム、プリテンショナー機能に異常があると、点灯または点滅を続けます。

■ 説明・対処方法

⚠ 警告

- ＜パワースイッチ＞をONにしても点灯しないとき、または点灯や点滅を続けるときは、放置したまま走行しない。

万一のときSRSエアバッグ、プリテンショナーシートベルトが作動せず、重大な傷害につながるおそれがあります。

VDC警告灯



■ 点灯・点滅する条件

- 正常なときは、＜パワースイッチ＞をONにすると点灯し、数秒後に消灯します。
- ＜パワースイッチ＞がONのとき、VDCが作動すると点滅します。
- ＜パワースイッチ＞がONのとき、VDCシステムに異常があると点灯します。

■ 説明・対処方法

- 点灯したときはVDCの作動は停止しますが、VDCシステムのない普通の車として走行できます。滑りやすい路面では注意して走行し、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

➡ VDC (ビークルダイナミクスコントロール) (P.212)

EPS (電動パワーステアリング) 警告灯



■ 点灯・点滅する条件

- 正常なときは、＜パワースイッチ＞をONにすると点灯し、メーター内の走行可能表示灯 [READY] が点灯すると消灯します。
- ＜パワースイッチ＞がONのとき、電動パワーステアリングのシステムに異常があると点灯します。

■ 説明・対処方法

- すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。
- 赤色に点灯しているときは、電動パワーステアリングが作動しません。すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社にご連絡ください。
- 黄色に点灯しているときは、電動パワーステアリングの倍力装置の能力が低下しており、ハンドル操作が重くなります。ハンドルをしっかりと握り、通常より強く操作してください。

🚗 アドバイス

- ハンドルに長時間力をかけた状態が続いたり停車中に操作を繰り返すと、システムの過熱を防ぐためハンドル操作力が重くなりますが、異常ではありません。しばらくハンドル操作を控え、システムの温度が下がると、通常のハンドル操作力に戻ります。

📖 知識

- すばやいハンドル操作を行うと、ハンドル付近から擦れるような音が聞こえてくる場合がありますが、異常ではありません。

リチウムイオンバッテリー残量警告灯



■ 点灯・点滅する条件

- <パワースイッチ>がONのとき、リチウムイオンバッテリーの残量が低下すると黄色く点灯します。

■ 説明・対処方法

- すみやかに最寄りの充電施設で充電してください。

出力制限表示灯



■ 点灯・点滅する条件

- 正常なときは、<パワースイッチ>をONにすると点灯し、数秒後に消灯します。
- メーター内の走行可能表示灯 [READY] が点灯しているとき、次の場合に点灯します。
 - ー リチウムイオンバッテリーの残量が極端に低下しているとき
 - ー 真冬の屋外などで、リチウムイオンバッテリーの温度が極端に低いとき
 - ー 外気温が高いときや連続で高速走行や登坂走行をしたことにより、走行モーターやリチウムイオンバッテリーなどの温度が極端に上がったとき
 - ー 急速充電を繰り返し行い、リチウムイオンバッテリーの温度が極端に高いとき
 - ー 車両故障が発生しているとき

■ 説明・対処方法

- 点灯中は出力が制限され、アクセルペダルを踏み込んでも速度が上がらなくなります。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイにメッセージが表示されたときは、それらの指示に従ってください。
- リチウムイオンバッテリーの残量が極端に低下したときは、すみやかに充電する

か、充電できる場所が近くにないときは、すみやかに安全な場所に停車し、EVカスタマーセンター（0120-230-834）にご連絡ください。

- リチウムイオンバッテリーの温度が上がって点灯したときは、(📍P.391)をお読みください。

電制シフト警告灯



■ 点灯・点滅する条件

- <パワースイッチ>がONのとき、電制シフトに異常があると点灯します。

■ 説明・対処方法

- すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイにメッセージが表示されたときは、表示されたメッセージに従ってください。

インテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯



■ 点灯・点滅する条件

- 正常なときは、<パワースイッチ>をONにすると点灯し、メーター内の走行

緊急時の対処法

可能表示灯 [READY] が点灯すると消灯します。

● 次の場合は点灯します。

- インテリジェント エマージェンシーブレーキをOFFにしているとき
- VDCをOFFにしているとき
- インテリジェント エマージェンシーブレーキまたはインテリジェント FCW（前方衝突予測警報）、衝突回避ステリングアシストのシステムに異常が発生しているとき
- フロントガラスの汚れなどにより、マルチセンシングフロントカメラの前方視界が遮蔽されていると判断したとき
- 前方からの強い光により、マルチセンシングフロントカメラが前方を認識できなくなったとき
- 炎天下に駐車したときなど、マルチセンシングフロントカメラが高温になったとき
- 悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）で視界が悪いとき
- フロントガラスの結露やくもりなどにより、マルチセンシングフロントカメラが前方を認識できなくなったとき
- 周辺の電波源の影響を受けているとき
- センサーの汚れなどで、インテリジェント エマージェンシーブレーキが一時的に作動できない状態になっているとき
- 車両前部に取り付けられたレーダーセンサー周辺に雪や氷、泥などが付着しているとき

- 道路形状や周辺の建造物により、レーダーセンサーが先行車を正確に検知できないとき（例：長い橋、雪原、長い壁の横など）
- 夜間やトンネル内などでヘッドランプを点灯せず、真っ暗な状態が継続したとき
- インテリジェント エマージェンシーブレーキのシステムチェックが正常に終了しなかったとき
- けん引されているとき

■ 説明・対処方法

- インテリジェント エマージェンシーブレーキをOFFにしているときは、ONにすると消灯します。
- VDCをOFFにしているときは、ONにすると消灯します。
➡ VDCのON・OFFのしかた (P.213)
- 安全な場所に停車し、＜パワースイッチ＞をOFFにします。インテリジェント キーを車室内に置いた状態で、一度運転席ドアを開閉したあと、NissanConnectインフォテインメントシステム、オーディオ、ドアロックなどすべての操作を行わず、ドアを閉じた状態のまま3分以上待機します。再始動後も警告灯が点灯するときは、システムの異常が考えられます。通常走行に支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。
- フロントガラスが汚れているときは、フロントガラスを清掃し、警告灯が消灯したことを確認してください。

- 室内の温度が高いときなどは、温度が下がると自動的に作動を復帰します。

各システムについては、インテリジェント エマージェンシーブレーキ（➡ P.261）およびインテリジェント FCW（前方衝突予測警報）（➡ P.286）をお読みください。

踏み間違い衝突防止アシスト警告灯



■ 点灯・点滅する条件

- 正常なときは、＜パワースイッチ＞をONにすると点灯し、メーター内の走行可能表示灯 [READY] が点灯すると消灯します。
 - 次の場合は点灯します。
 - 踏み間違い衝突防止アシストをOFFにしているとき
 - VDCをOFFにしているとき
 - 踏み間違い衝突防止アシストのシステムに異常が発生しているとき
 - 駐車支援機能（フロントソナー、コーナソナー、リヤソナー）に異常が発生しているとき
 - 次の場合はゆっくり点滅します。
 - 踏み間違い衝突防止アシストのシステムが一時的に使用できない場合
- ### ■ 説明・対処方法
- 踏み間違い衝突防止アシストをOFFにしているときは、ONにすると消灯します。

緊急時の対処法

- VDCをOFFにしているときは、ONにする
と消灯します。
➡ VDCのON・OFFのしかた (P.213)
- 一度<パワースイッチ>をOFFにしてから
再始動しても警告灯が点灯し続けるときは、
システムの異常が考えられます。通常走行
には支障はありませんが、日産販売会社で
点検を受けてください。
- システムについては、踏み間違い衝突防
止アシスト (➡ P.269) をお読みくださ
い。

マスターウォーニング



■ 点灯・点滅する条件

- メーターに警告メッセージが表示される
と同時に点灯します。

■ 説明・対処方法

- 同時に表示した警告メッセージを確認し、
それぞれの対処方法に従ってください。
➡ 警告メッセージが表示されたときは
(P.398)

車両接近通報システム警告灯



■ 点灯・点滅する条件

- 車両接近通報装置に異常があると点灯し
ます。

■ 説明・対処方法

- すみやかに日産販売会社で点検を受けて
ください。

手放し警告灯



■ 点灯・点滅する条件

- プロパイロットで車線維持機能（ハンド
ル支援）を行っているとき、ハンドルを
持っていないまたはハンドル操作が検出
されないと点灯します。
- 手放し警告灯が点灯しているにもかかわらず、
運転者のハンドル操作が検出され
ない場合は、警告音とともに手放し警告
灯が点滅し、車線維持機能（ハンドル支
援）は解除されます。
- プロパイロットのシステムに異常がある
と点灯します。

■ 説明・対処方法

- すみやかにハンドルを持って操作してく
ださい。運転者のハンドル操作を検出す
ると警告灯は消灯し、車線維持機能（ハ
ンドル支援）が復帰します。
- EVシステム再始動後も警告灯が点灯し続
けるときは、システムの異常が考えられ

ます。通常走行には支障はありませんが、
日産販売会社で点検を受けてください。

緊急停止支援システム警告灯



■ 点灯・点滅する条件

- プロパイロットでハンドル支援を行って
いるとき、手放し警告による警告後も運
転者によるハンドル操作が行われていな
い状態が継続した場合に赤く点滅します。
- 運転者のハンドル操作を検出するか、緊
急停止支援システムにより車両が完全
に停車すると消灯します。
- 緊急停止支援システムに異常があるとき
は黄色く点灯します。

■ 説明・対処方法

- すみやかにハンドルを持って操作してく
ださい。運転者のハンドル操作を検出す
ると警告灯は消灯します。
- EVシステム再始動後も警告灯が点灯し続
けるときは、システムの異常が考えられ
ます。通常走行には支障はありませんが、
日産販売会社で点検を受けてください。

ドライバーモニターシステム警告灯



緊急時の対処法

■ 点灯・点滅する条件

- 走行中に運転者が一定時間以上、目を閉じたり顔の向きや視線を前方から大きく外したりするなどして、居眠りや脇見などをしているとシステムが判断した場合は黄色く点滅します。
- 運転者が前方の状況に注意しているとシステムが判断すると消灯します。
- ドライバーモニターシステムに異常があるときは黄色く点灯します。

■ 説明・対処方法

- すみやかに前方に注意してください。運転者が前方の状況に注意していることを検出すると警告灯は消灯します。
- EVシステム再始動後も警告灯が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

警告メッセージが表示されたときは

警告メッセージが表示されたときは、次の「説明・対処方法」に従ってください。表示は、グレード、オプションなどにより異なります。また、アイコンや文章の配置位置が異なる場合があります。

EVシステム始動操作表示



■ 表示する条件

- <パワースイッチ>がOFFのとき、インテリジェントキーが車室内にある状態で運転席ドアを開めたときに表示します。
- <パワースイッチ>がONでメーター内の走行可能表示灯〔READY〕が消灯しているときに表示します。

■ 説明・対処方法

- ブレーキペダルを踏みながら<パワースイッチ>を押すと、メーター内の走行可能表示灯〔READY〕が点灯し、走行できるようになります。
- 次の場合、EVシステム始動操作表示が消えます。
 - ー メーター内の走行可能表示灯〔READY〕が点灯したとき
 - ー リモコン機能、ドアハンドルのセンサー、またはバックドアのスイッチでドアを施錠したとき

インテリジェントキー非作動時EVシステム始動表示



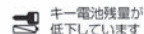
■ 表示する条件

- インテリジェントキーの電池が切れたときや、使用環境により、キーと車両の通信が正常に行われないうちに表示します。

■ 説明・対処方法

- ブレーキペダルを踏みながら、キーの裏面を<パワースイッチ>に接触させてください。
- ➡ EVシステムを始動できないときは (P.386)

インテリジェントキー電池切れ表示



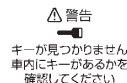
■ 表示する条件

- インテリジェントキーの電池切れが近くなると電池の交換を知らせます。

■ 説明・対処方法

- 新しい電池に交換してください。
- ➡ インテリジェントキーの電池交換 (P.453)
- 次の場合、インテリジェントキー電池切れ表示が消えます。
 - ー 表示から約30秒経過したとき
 - ー <パワースイッチ>をON以外にしたとき

インテリジェントキー持ち出し警告



緊急時の対処法

■ 表示する条件

- 次の場合に表示します。
 - ー 走行可能表示灯 [READY] が点灯している状態で、インテリジェントキーが車外に持ち出されたとき
 - ー キーを携帯していないとき
 - ー 携帯しているキーの電池が切れているとき
 - ー 登録されていないキーを携帯しているとき

■ 説明・対処方法

- 次のように対処してください。
 - ー キーが車外に持ち出されていないか確認してください。
 - ー キーを携帯してください。
 - ー 新しい電池に交換してください。
- ➡ インテリジェントキーの電池交換 (P.453)
- ー 自車のキーであることを確認してください。
- EVシステムを停止させるときは、次の操作を行ってください。
 - ー <パワースイッチ>を2秒以上押し続ける

ドア開き警告



■ 表示する条件

- ドアが確実に閉まっていないとき、開いている位置を表示します。

■ 説明・対処方法

- ドアを確実に閉めてください。

⚠ 注意

- 走行前に表示が消えていることを確認する。

ドアが完全に閉まっていない（半ドア）と走行中に突然開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

シートベルト警告



■ 表示する条件

- <パワースイッチ>がONのとき、前席および後席の乗員がシートベルトを着用していないと、シートベルトを着用していない席を赤色で表示します。
- シートベルトを着用している席は緑色で表示されます。
- 空席は灰色で表示されます。

■ 説明・対処方法

- シートベルトを着用してください。

⚠ 警告

- 走行中は全員がシートベルトを着用する。

着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、死亡や重大な傷害につながるおそれがあります。

📖 知識

- 助手席シートまたは後席シートに荷物などを置くと、センサーが重量を検知して、シートベルト警告が表示されることがあります。

キーシステム警告

⚠ 警告



キーシステム故障
取扱説明書を見てください

■ 表示する条件

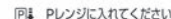
- キーシステムに異常があると表示します。

■ 説明・対処方法

- 日産販売会社にご連絡ください。<パワースイッチ>を切り替えられないことがあります。

P 戻し忘れ警告

⚠ 警告



② Pレンジに入れてください

緊急時の対処法

■ 表示する条件

- シフトポジションがP以外で運転席ドアが開いていると表示します。

■ 説明・対処方法

- シフトポジションをPに入れてください。

電動パーキングブレーキ戻し忘れ警告



パーキングブレーキを
解除してください

■ 表示する条件

- 電動パーキングブレーキをかけ、運転席ドアを閉めずにアクセルペダルを踏み、発進すると表示します。
- 電動パーキングブレーキを解除し忘れたまま走行すると表示します。

■ 説明・対処方法

- すみやかに電動パーキングブレーキを解除してください。

➡ 電動パーキングブレーキ (P.191)

電動パーキングブレーキ警告

ブレーキペダルを
踏んでください

■ 表示する条件

- 急な坂道などで電動パーキングブレーキがかかった状態で車両が動くと表示し、ブザーが鳴ります。
- 電動パーキングブレーキがかかった状態で、ブレーキペダルを踏まずに＜電動パーキングブレーキスイッチ＞を押した場合に表示します。

■ 説明・対処方法

- すみやかにブレーキペダルを踏んでください。
- 解除する場合は、ブレーキペダルを踏んでから＜電動パーキングブレーキスイッチ＞を押してください。

➡ 電動パーキングブレーキ (P.191)

オートブレーキホールド警告

ブレーキペダルを
踏んでください

■ 表示する条件

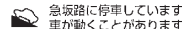
- オートブレーキホールド機能が作動中に車両が動いたときに表示し、ブザーが鳴ります。

■ 説明・対処方法

- ブレーキペダルを踏んで車両を停止させてください。

オートブレーキホールド急坂路注意表示

AUTO HOLD



■ 表示する条件

- 急な坂道などでオートブレーキホールド機能が作動したときに表示し、ブザーが鳴ります。

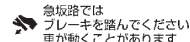
■ 説明・対処方法

- すみやかにブレーキペダルを踏んでください。
- 急な坂道や滑りやすい路面でオートブレーキホールド機能が作動していても、車両が動き出すおそれがあります。

➡ オートブレーキホールド (P.192)

オートブレーキホールド急坂路操作表示

AUTO HOLD



■ 表示する条件

- 急な坂道などでオートブレーキホールド機能が作動してから一定時間経過し、ブレーキが踏まれていなかった場合に表示し、ブザーが鳴ります。

■ 説明・対処方法

- すみやかにブレーキペダルを踏んでください。
- 急な坂道などでオートブレーキホールド機能が作動してから一定時間経過し、電動パーキングブレーキがかかるときに車両が動き出すおそれがあります。

➡ オートブレーキホールド (P.192)

オートブレーキホールドスイッチ解除操作表示



■ 表示する条件

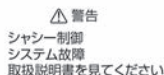
- オートブレーキホールド機能作動中、ブレーキペダルを踏まずに<オートブレーキホールドスイッチ>を押したときに表示します。

■ 説明・対処方法

- ブレーキペダルを踏んでから<オートブレーキホールドスイッチ>を押してください。

➡ オートブレーキホールド (P.192)

シャシー制御表示



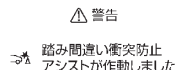
■ 表示する条件

- シャシー制御のシステムに異常があると表示します。

■ 説明・対処方法

- すみやかに日産販売社で点検を受けてください。

踏み間違い衝突防止アシスト作動時表示



■ 表示する条件

- 踏み間違い衝突防止アシストが作動すると表示します。

■ 説明・対処方法

- 進行方向に壁などの障害物、車両や歩行者などを検知している場合に、アクセルペダルが素早く深く踏み込まれたとシステムが判断したときに作動します。

➡ 踏み間違い衝突防止アシスト (P.269)

ヘッドランプ警告



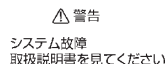
■ 表示する条件

- LEDヘッドランプに異常があると表示します。

■ 説明・対処方法

- 安全な場所に停車し、一度EVシステムを停止してからマルチセンシングフロントカメラの前の障害物を取り除き、汚れを清掃してEVシステムを再始動してください。
- 再始動後もメッセージを表示するときは、すみやかに日産販売社で点検を受けてください。

システム故障警告



■ 表示する条件

- プロパイロット、インテリジェントディスタンスコントロール、踏み間違い衝突防止アシスト、BSW（後側方車両検知警報）、インテリジェントBSI（後側方衝突防止支援システム）、LDW（車線逸脱警報）、インテリジェントLI（車線逸脱防止支援システム）、RCTA（後退時車両検知警報）、インテリジェントDA（ふらつき警報）、駐車支援機能（フロントソナー、コーナソナー、リヤソナー）が故障すると表示します。

■ 説明・対処方法

- 安全な場所に停車し、＜パワースイッチ＞をOFFにします。インテリジェントキーを車室内に置いた状態で、一度運転席ドアを開閉したあと、NissanConnectインフォテインメントシステム、オーディオ、ドアロックなどすべての操作を行わず、ドアを閉じた状態のまま3分以上待機します。再始動後もメッセージが表示するときは、システムの異常が考えられます。通常走行に支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。
- ➡ プロパイロット (P.222)
- ➡ インテリジェント エマージェンシーブレーキ (P.261)
- ➡ 踏み間違い衝突防止アシスト (P.269)
- ➡ BSW（後側方車両検知警報）／インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム） (P.275)
- ➡ LDW（車線逸脱警報）／インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム） (P.283)
- ➡ インテリジェント FCW（前方衝突予測警報） (P.286)
- ➡ RCTA（後退時車両検知警報） (P.289)
- ➡ インテリジェント DA（ふらつき警報） (P.292)
- ➡ 標識検知機能 (P.293)

ソナーシステム異常警告A



ソナー故障
取扱説明書を見てください

■ 表示する条件

- ソナーが故障したときに表示します。

■ 説明・対処方法

- 安全な場所に停車し、一度＜パワースイッチ＞をOFFにしてから再始動してください。
- 再始動後もメッセージを表示するときは、システムの異常が考えられます。通常走行に支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。
- ➡ ソナー表示 (P.126)

ソナーシステム異常警告B

現在ソナーが使用できません

■ 表示する条件

- ソナーが一時的に使用できない状態になっているときに表示します。

■ 説明・対処方法

- 安全な場所に停車し、＜パワースイッチ＞をOFFにしてからソナーの汚れを取り除き、EVシステムを再度始動してください。

- 他車のソナーが付近に存在するときや、周囲で大きな音が鳴っているときは、静かな場所に移動し、一度＜パワースイッチ＞をOFFにしてから再始動してください。

インテリジェント エマージェンシーブレーキシステム故障警告



システム故障
取扱説明書を見てください

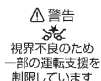
■ 表示する条件

- インテリジェント エマージェンシーブレーキシステム、インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）、衝突回避ステアリングアシストが故障すると表示します。

■ 説明・対処方法

- 安全な場所に停車し、一度EVシステムを停止してから再始動してください。
- 再始動後もメッセージを表示するときは、システムの異常が考えられます。通常走行に支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。
- ➡ インテリジェント エマージェンシーブレーキ (P.261)
- ➡ インテリジェント FCW（前方衝突予測警報） (P.286)
- ➡ 衝突回避ステアリングアシスト (P.269)

インテリジェント エマージェンシー ブレーキシステム視界不良警告



■ 表示する条件

- 悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）で視界が悪いときに表示します。
- 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けているときに表示します。

■ 説明・対処方法

- 悪天候時にはインテリジェント エマージェンシーブレーキシステムは作動しません。
- 状況が改善されると、システムは自動的に作動を再開します。

カメラ視界不良警告



■ 表示する条件

- 雨、雪、霧または、カメラ前方のフロントガラス凍結、汚れなどで、カメラの視界が確保できなくなったときに表示します。
- 夜間やトンネル内などでヘッドランプを点灯せず、真っ暗な状態が継続したときに表示します。

☆／★：車両型式、オプションなどで異なる装備

■ 説明・対処方法

- 安全な場所に停車し、一度EVシステムを停止してからカメラ前方のフロントガラスの汚れなどを取り除き、EVシステムを再始動してください。
- 停止したときの状態が改善されると、システムは作動を再開します。

インテリジェント エマージェンシー ブレーキシステム電波障害警告



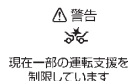
■ 表示する条件

- 放送局など周辺の電波源により影響を受けているときに表示します。

■ 説明・対処方法

- 周辺の電波源による影響を受けているときはインテリジェント エマージェンシーブレーキは作動しません。
- 状態が改善されると、システムは作動を再開します。

インテリジェント エマージェンシー ブレーキシステム作動制限警告



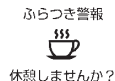
■ 表示する条件

- インテリジェント エマージェンシーブレーキのシステムチェックが正常に終了しなかったとき表示します。
➡ インテリジェント エマージェンシーブレーキの作動が停止するとき (P.268)
- けん引されているときに表示します。

■ 説明・対処方法

- 安全な場所に停車し、一度EVシステムを停止してから再始動してください。
- けん引されているときはインテリジェント エマージェンシーブレーキシステムは作動しません。
- 状況が改善されると、システムは自動的に作動を再開します。
➡ インテリジェント エマージェンシーブレーキ (P.261)

インテリジェント DA（ふらつき警 報）表示



■ 表示する条件

- 運転者のハンドル操作から注意力が低下していると判断したときに表示します。

緊急時の対処法

■ 説明・対処方法

- 表示・非表示の設定ができます。
➡ **インテリジェントDA（ふらつき警報）**
(P.292)

ライト消し忘れ警告



ライト消灯してください

■ 表示する条件

- ＜パワースイッチ＞がON以外の位置で運転席ドアを開けたとき、次の場合に表示し、ブザーが鳴ります。
 - － ライトスイッチが＜**ID**>の位置にあるとき
 - － ライトスイッチを＜**ON/OFF**>の位置に回して、メーター内のテールランプ表示灯 [**ID**] が点灯しているとき

■ 説明・対処方法

- ライトスイッチを＜**AUTO**>の位置にする、または＜**ON/OFF**>の位置に回してメーター内のテールランプ表示灯 [**ID**] を消灯してください。

タイヤ交換表示

メンテナンス



タイヤ

■ 表示する条件

- 設定したタイヤ交換距離に達すると表示します。

■ 説明・対処方法

- タイヤ交換距離は、設定したりリセットしたりできます。
設定 ➡ P.123)

メンテナンス距離表示

メンテナンス



ユーザー

■ 表示する条件

- タイヤ以外の整備項目の点検距離または交換距離に達すると表示します。

■ 説明・対処方法

- その他の整備項目には、たとえばタイヤのローテーションを行う距離の設定ができます。項目の点検／交換距離は設定したり、リセットしたりできます。
設定 ➡ P.123)

凍結注意アラーム表示



0℃

■ 表示する条件

- 外気温が3℃以下になったことを知らせます。

■ 説明・対処方法

- 表示・非表示の設定ができます。
設定 ➡ P.117)

走行時間アラーム表示

走行時間



休息してください

■ 表示する条件

- 設定した時間まで連続走行したことを知らせます。

■ 説明・対処方法

- 表示・非表示の設定ができます。
設定 ➡ P.117)

自動電源OFF表示A

省電源のため自動的に
電源OFFします

■ 表示する条件

- EVシステムが停止している状態で、＜パワースイッチ＞をONにしたまましばらくすると表示することがあります。

■ 説明・対処方法

- そのまま＜パワースイッチ＞を切り替えないと、省エネのため＜パワースイッチ＞がOFFになります。

自動電源OFF表示B

省電源のため自動的に
電源OFFしました

■ 表示する条件

- EVシステムが停止している状態で、＜パワースイッチ＞をONにしたまま時間が経過し、＜パワースイッチ＞が自動でOFFになったときに表示することがあります。

■ 説明・対処方法

- そのまま＜パワースイッチ＞を切り替えないと、省エネのため＜パワースイッチ＞がOFFになります。

リチウムイオンバッテリー残量低下表示

△警告

バッテリー残量低下
走行制限中
充電をしてください

■ 表示する条件

- 設定した充電リマインダー距離になると表示します。

■ 説明・対処方法

- 最寄りの充電施設で充電してください。

リチウムイオンバッテリー残量警告

△警告

バッテリー残量低下
走行制限中
充電をしてください

■ 表示する条件

- リチウムイオンバッテリーの残量が低下し、リチウムイオンバッテリー残量警告灯 [] が黄色く点灯すると同時に表示します。

■ 説明・対処方法

- すみやかに最寄りの充電施設で充電してください。

出力制限警告A

△警告

EVシステム高温
走行制限中
ゆっくり運転してください

■ 表示する条件

- 外気温が高いときや連続で高速走行や登坂走行をしたことにより、走行モーターやリチウムイオンバッテリーなどの温度が極端に上がったとき、出力制限表示灯 [] が点灯すると同時に表示します。

■ 説明・対処方法

- 表示すると出力が制限され、アクセルペダルを踏み込んでも速度が上がらなくなります。
- リチウムイオンバッテリーの残量が極端に低下して点灯したときは、すみやかに

安全な場所に停車し、EVカスタマーセンター（0120-230-834）へご連絡ください。

出力制限警告B

△警告

EVシステム低温
走行制限中

■ 表示する条件

- 真冬の屋外などで、リチウムイオンバッテリーの温度が極端に低くなったとき、出力制限表示灯 [] が点灯すると同時に表示します。

■ 説明・対処方法

- 表示すると出力が制限され、アクセルペダルを踏み込んでも速度が上がらなくなります。
- リチウムイオンバッテリーの残量が極端に低下して点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車し、EVカスタマーセンター（0120-230-834）へご連絡ください。

出力制限警告C

△警告

バッテリー残量低下
走行制限中
充電をしてください

緊急時の対処法

■ 表示する条件

- リチウムイオンバッテリーの残量が極端に低下したとき、出力制限表示灯 [] が点灯すると同時に表示します。

■ 説明・対処方法

- 表示すると出力が制限され、アクセルペダルを踏み込んでも速度が上がらなくなります。
- リチウムイオンバッテリーの残量が極端に低下して点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車し、EVカスタマーセンター（0120-230-834）へご連絡ください。

出力制限警告D

△警告



走行制限中

■ 表示する条件

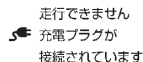
- 出力制限警告A、出力制限警告B、出力制限警告C以外の出力制限される原因があるとき、出力制限表示灯 [] が点灯すると同時に表示します。

■ 説明・対処方法

- 表示すると出力が制限され、アクセルペダルを踏み込んでも速度が上がらなくなります。
- リチウムイオンバッテリーの残量が極端に低下して点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車し、EVカスタマーセン

ター（0120-230-834）へご連絡ください。

充電コネクタ取り外し警告



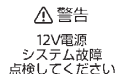
■ 表示する条件

- 車両に充電コネクタが接続された状態で、EVシステムを始動しようとしたときに表示します。

■ 説明・対処方法

- EVシステムを始動するときは、充電コネクタを取り外してから<パワースイッチ>を押してください。

12V電源システム警告



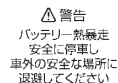
■ 表示する条件

- 12Vバッテリーに異常が発生していると表示します。

■ 説明・対処方法

- 点灯し続けるときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

リチウムイオンバッテリー熱暴走警告A



■ 表示する条件

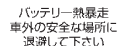
- 走行中、リチウムイオンバッテリーに異常が発生し、熱暴走にいたる危険を検知したときに表示します。

■ 説明・対処方法

- すみやかに安全な場所に停車し、車外に退避してから日産販売会社にご連絡ください。

リチウムイオンバッテリー熱暴走警告B

△警告



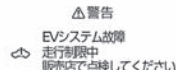
■ 表示する条件

- 停車中、リチウムイオンバッテリーに異常が発生し、熱暴走にいたる危険を検知したときに表示します。

■ 説明・対処方法

- すみやかに車外に退避し、日産販売会社にご連絡ください。

EVシステム警告A



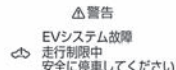
■ 表示する条件

- EVシステムに異常が発生し、出力が制限されていると表示します。

■ 説明・対処方法

- すみやかに日産販売会社にご連絡ください。

EVシステム警告B



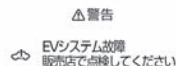
■ 表示する条件

- 走行中、EVシステムに異常が発生し、出力が制限されていると表示します。

■ 説明・対処方法

- すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社にご連絡ください。

EVシステム警告C



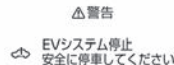
■ 表示する条件

- EVシステムに異常が発生し、EVシステムが停止せず、出力が制限されていないときに表示します。

■ 説明・対処方法

- すみやかに日産販売会社にご連絡ください。

EVシステム警告D



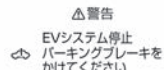
■ 表示する条件

- 走行中、EVシステムに異常が発生し、EVシステムが停止しているときに表示します。

■ 説明・対処方法

- すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社にご連絡ください。

EVシステム警告E



■ 表示する条件

- 停車中、EVシステムに異常が発生し、EVシステムが停止しているときに表示します。

■ 説明・対処方法

- すみやかにパーキングブレーキをかけ、日産販売会社にご連絡ください。

EVシステム警告F



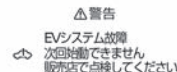
■ 表示する条件

- 停車中、EVシステムに異常が発生し、EVシステムが停止しているときに表示します。

■ 説明・対処方法

- すみやかに日産販売会社にご連絡ください。

EVシステム警告G



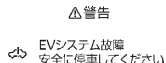
■ 表示する条件

- EVシステムに異常が発生し、EVシステムが再始動できないときに表示します。

■ 説明・対処方法

- すみやかに日産販売会社にご連絡ください。

EVシステム警告H



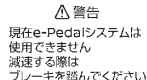
■ 表示する条件

- EVシステムに異常が発生し、走行中に駆動力に制限をかける故障が発生しているときに表示します。

■ 説明・対処方法

- すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社にご連絡ください。

e-Pedal Stepシステム警告



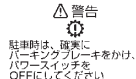
■ 表示する条件

- e-Pedal Stepシステムが一時的に使用できない状態になっているときに表示します。

■ 説明・対処方法

- システムが一時的に使用できない状態が改善されると作動を再開できます。
- 安全な場所に停車し、一度EVシステムを停止してから再始動してください。
- 再始動後もメッセージを表示するときは、システムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。

電制シフト警告A



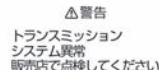
■ 表示する条件

- 電制シフトに異常が発生したときに表示します。

■ 説明・対処方法

- すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。
- 駐車するときは、パーキングブレーキを確実にかけてください。パーキングブレーキをかけていないと、＜パワースイッチ＞をOFFにできないことがあります。
- ＜パワースイッチ＞をOFFにできないときは、次の操作を行ってください。
 - － ① 停車してパーキングブレーキをかけます
 - － ② ブレーキペダルを踏み込みながら＜パワースイッチ＞を押して、＜パワースイッチ＞をONに切り替えます
 - － ③ ＜シフトスイッチ＞の＜P＞スイッチを押してPに切り替えます
 - － ④ ＜パワースイッチ＞を押して、OFFに切り替えます

電制シフト警告B



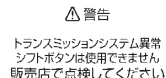
■ 表示する条件

- 電制シフトに異常が発生したときに表示します。

■ 説明・対処方法

- すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。
- オートP機能(⤵ P.190)が作動しないことがあるため、駐車するときは＜シフトスイッチ＞の＜P＞スイッチを押し、Pに切り替わったことを確認してください。

電制シフト警告c



■ 表示する条件

- ＜シフトスイッチ＞に異常が発生したときに表示します。

■ 説明・対処方法

- すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

シフトポジション警告

△ 警告

シフトの状態を
確認してください

■ 表示する条件

- <シフトスイッチ>が押されたままの状態になったときに表示します。

■ 説明・対処方法

- 次の確認を行ってください。
 - 異物が挟まっていないか
 - 物などで押され続けていないか
- <シフトスイッチ>が押されていないときに表示された場合は、日産販売会社で点検を受けてください。

フロントレーダーシステム停止警告

警告

フロントレーダー及び
その周辺が汚れています
拭いてください

■ 表示する条件

- 車両前部に取り付けられたレーダーセンサー周辺に雪や氷、泥などが付着し、次のシステムが停止すると表示します。
 - インテリジェント エマージェンシーブレーキ (P.261)
 - インテリジェント FCW (前方衝突予測警報) (P.286)

— インテリジェント ディスタンスコントロール (P.255)

— 衝突回避ステアリングアシスト (P.269)

- 次のような道路形状、または建造物がある場合は、レーダーが先行車を正確に検知できず、作動が停止します。
 - 長い橋を走行しているとき
 - 砂地や雪原を走行しているとき
 - 長い壁の近くを走行しているとき

■ 説明・対処方法

- 安全な場所に停車し、一度EVシステムを停止してからレーダーセンサーおよびその周辺の汚れなどを取り除き、EVシステムを再始動してください。
- 停止したときの状態が改善、または変更されると、システムは作動を再開します。

サイドレーダーシステム停止警告

警告

サイドレーダー及び
その周辺が汚れています
拭いてください

■ 表示する条件

- 車両後部に取り付けられたレーダーセンサー周辺に雪や氷、泥などが付着し、次のシステムが停止すると表示します。
 - プロパイロット (P.222)
 - インテリジェント ディスタンスコントロール (P.255)

— BSW (後側方車両検知警報) / インテリジェント BSI (後側方衝突防止支援システム) (P.275)

■ 説明・対処方法

- レーダーセンサーおよびその周辺の汚れなどを取り除いてから、システムを一旦OFFにしたあと、再びONにしてください。

作動範囲外警告

作動範囲外のため
現在使用できません

■ 表示する条件

- 次のシステムが停止すると表示します。停止する条件については、各システムをお読みください。
 - インテリジェント BSI (後側方衝突防止支援システム) (➡ P.275)
 - インテリジェント LI (車線逸脱防止支援システム) (➡ P.283)
- VDCをOFFにしたとき

■ 説明・対処方法

- 停止したシステムを再び作動させる場合は、停止したときの状態が改善されてから、再びONにしてください。

カメラ高温警告

カメラが高温のため
現在使用できません

■ 表示する条件

- 炎天下に駐車したときなど、マルチセンシングフロントカメラが高温になり、次のシステムが停止すると表示します。
 - インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）（ P.283）
 - LDW（車線逸脱警報）（ P.283）
 - インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）（ P.275）

■ 説明・対処方法

- 停止したシステムを再び作動させる場合は、マルチセンシングフロントカメラ周辺の温度が下がってから、再びONにしてください。

スリップ警告

滑りやすい路面のため
現在使用できません

■ 表示する条件

- 次のシステムが停止すると表示します。停止する条件については、各システムをお読みください。
 -  フロパイロット（P.222）
 - インテリジェント BSI（ P.275）

— インテリジェント LI（ P.283）

- ABSまたはVDC（トラクションコントロール機能（TCS）は含まない）が作動したとき

■ 説明・対処方法

- 停止したシステムを再び作動させる場合は、停止したときの状態が改善されてから、スイッチで再びONにしてください。

システムOFF表示

 システムOFF

■ 表示する条件

- RCTA（後退時車両検知警報）がOFFのとき、シフトポジションをRにすると表示します。
 - RCTA（後退時車両検知警報）（P.289）

■ 説明・対処方法

- RCTA（後退時車両検知警報）をONにすると、シフトポジションをRにしても表示されません。

EPS（電動パワーステアリング）警告A

 警告

ステアリングシステム故障
安全な場所に停車してください

■ 表示する条件

- 電動パワーステアリングのシステムに異常があるときに表示します。

■ 説明・対処方法

- 電動パワーステアリングが作動しません。
- すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社にご連絡ください。

EPS（電動パワーステアリング）警告B

 警告

ステアリングシステム故障
販売店で点検してください

■ 表示する条件

- 電動パワーステアリングのシステムに異常があるときに表示します。

■ 説明・対処方法

- 電動パワーステアリングの倍力装置の能力が低下しており、ハンドル操作が重くなります。ハンドルをしっかりと握り、通常より強く操作してください。
- すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

後席リマインダー表示

 警告

後席を確認してください

緊急時の対処法

■ 表示する条件

- 後席リマインダーがONのとき、走行前に後席ドアを開閉してから15分以内に車両を発進させると、走行後に＜パワースイッチ＞をOFFにしたときに表示し、ブザーが鳴ります。

➡ 後席リマインダー (P.154)

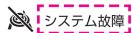
■ 説明・対処方法

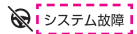
- 後席を確認してください。

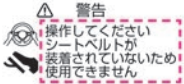
プロパイロット警告メッセージ

警告メッセージが表示されたときは、次の「説明・対処方法」に従ってください。メーター内の表示は、グレード、オプションなどにより異なります。

画面表示	表示する条件	説明・対処方法
 △ 警告 前を向いてください	● 運転者が前方の状況に注意していないと判断したとき	● 運転者は前を向き、常に前方の状況に注意して運転してください。 ● 運転者が前を向くと警告は消灯します。
 △ 警告	● ハンドルを持っていない、またはハンドルを操作していないとき ● 3D高精度地図データと実際の道路が異なっていると判断したとき ● 車線逸脱警報が作動したとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。 ● 運転者のハンドル操作を検出すると警告は消灯します。
 △ 警告 ハンドルを操作してください	● 運転者が前方の状況に注意していない状態が継続したとき ● 運転者にハンドル操作を要求するとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。 ● 運転者のハンドル操作を検出すると警告は消灯します。
 △ 警告 システム故障	● 運転者のハンドル操作がないため、自車を減速、緊急停止させるとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。 ● 運転者のハンドル操作を検出すると警告は消灯し、プロパイロット2.0が解除されます。

画面表示	表示メッセージ	表示する条件	説明・対処方法
<u>アドバンスドドライブアシストディスプレイ</u> △ 警告 	システム故障	● プロパイロット2.0に異常があるとき	● 安全な場所に停車して、EVシステムを一旦停止して再始動し、再びシステムをONにしてください。

画面表示	表示メッセージ	表示する条件	説明・対処方法
	フロントレーダー及びその周辺が汚れています 拭いてください	● 車両前部に取り付けられたレーダーセンサー周辺に雪や氷、泥などが付着したとき	● 安全な場所に停車し、一度EVシステムを停止してからレーダーセンサーおよびその周辺の汚れなどを取り除き、EVシステムを再始動してください。 ➡ <u>レーダーセンサー★の取り扱い (P.458)</u>
	シートベルトが装着されていないため 使用できません	● 運転席のシートベルトを解除したとき	● 運転席のシートベルトが解除されている場合は、プロパイロット2.0は使用することができません。
	パーキングブレーキが作動しているため 現在使用できません	● 電動パーキングブレーキが作動したとき	● 電動パーキングブレーキが作動しているときは、プロパイロット2.0は使用することができません。
	滑りやすい路面のため 現在使用できません	● VDC（トラクションコントロールを含む）が作動したとき ● タイヤが空転したとき	● VDC／TCSが作動する、またはタイヤが空転するような状況では、プロパイロット2.0は使用できません。
	作動範囲外のため 現在使用できません	● VDCをOFFにしたとき	● VDCがOFFの場合は、プロパイロット2.0は使用できません。
<u>アドバンスドドライブアシストディスプレイ</u>  警告  システム故障	システム故障	● 車線維持機能（ハンドル支援）に異常があるとき	● 安全な場所に停車して、EVシステムを一旦停止して再始動し、再びシステムをONにしてください。

画面表示	表示メッセージ	表示する条件	説明・対処方法
	悪天候のため 現在使用できません	● ワイパーが高速で作動しているとき	● 状況が改善すると、車線維持機能（ハンドル支援）を使用することができます。
	カメラが認識できないため 現在使用できません	● 雨、雪、霧または、カメラ前方のフロントガラスの凍結、汚れなどで、カメラの視界が確保できなくなったとき ● 前方から強い光を受けたとき	● ワイパーの高速動作を解除してください。その後、プロパイロットを再度セット、もしくは<ハンドル支援スイッチ>を押してください。
	カメラが高温のため 現在使用できません	● カメラおよびカメラ周辺の温度が高いとき	● 状況が改善すると、車線維持機能（ハンドル支援）を使用することができます。
アドバンスドドライブアシストディスプレイ 	操作してください システム故障	● プロパイロット2.0に異常があるとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。 ● 安全な場所に停車して、EVシステムを一旦停止して再始動し、再びシステムをONにしてください。
	操作してください フロントレーダーが 汚れているため 使用できません	● 車両前部に取り付けられたレーダーセンサー周辺に雪や氷、泥などが付着したとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。 ● 安全な場所に停車し、一度EVシステムを停止してからレーダーセンサーおよびその周辺の汚れなどを取り除き、EVシステムを再始動してください。 ➡ <u>レーダーセンサー★の取り扱い (P.458)</u>

画面表示	表示メッセージ	表示する条件	説明・対処方法
	レーンを認識できません ハンドル支援を解除します	● 走行車線内にレーンマーカールに見えようなものがあるなど、レーンマーカールが正しく検出できない状態が長時間続いたとき（雪のわだち、雨の日の周辺の光の反射、消し忘れのレーンマーカールなど）	● 再び車線維持機能（ハンドル支援）を使用したいときは、レーンマーカールがはっきりと描かれている道路でプロパイロットを再セット、もしくは＜ハンドル支援スイッチ＞を押してください。
	操作してください シートベルトが装着されていないため使用できません	● 運転者のシートベルトを解除したとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。 ● 運転席のシートベルトが解除されている場合はプロパイロット2.0は使用することができません。
	操作してください パーキングブレーキが作動しているため使用できません	● 電動パーキングブレーキをかけたとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。 ● 電動パーキングブレーキが作動しているときはプロパイロット2.0は使用することができません。
	操作してください 作動範囲外のため使用できません	● VDCをOFFにしたとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。 ● VDCがOFFの場合は、プロパイロット2.0は使用できません。

画面表示	表示メッセージ	表示する条件	説明・対処方法
	操作してください	● 先行車を検出していないときに、車速が約25km/hを下回ったとき ● 運転席、助手席、後席シートのいずれかのドアを開けたとき ● 車速・車間制御機能により自車が停止後、約3分が経過したとき ● シフトポジションをD以外にしたとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。 ● 状況が改善すると、プロパイロット2.0を使用することができます。
	操作してください レーンを認識できません	● レーンマーカーを検出できなくなったとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。 ● 状況が改善すると、車線維持機能（ハンドル支援）を使用することができます。
	操作してください 悪天候のため 使用できません	● ワイパーが高速で作動しているとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。 ● 状況が改善すると、車線維持機能（ハンドル支援）を使用することができます。
	操作してください 視界不良のため 使用できません	● 雨、雪、霧または、カメラ前方のフロントガラスの凍結、汚れなどで、カメラの視界が確保できなくなったとき ● 前方から強い光を受けたとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。 ● 状況が改善すると、車線維持機能（ハンドル支援）を使用することができます。
	操作してください カメラが高温のため 使用できません	● カメラおよびカメラ周辺の温度が高いとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。 ● 室内の温度が下がると車線維持機能（ハンドル支援）を使用することができます。

画面表示	表示メッセージ	表示する条件	説明・対処方法
	操作してください この先、料金所です	● 前方に料金所があるとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。 ● 料金所、出口、車線数が減少する地点、急カーブ、交差点などではプロパイロット2.0は使用できません。
	操作してください	● 料金所のない高速道路、または自動車専用道路の出口があるとき ● 3D高精度地図データがない区間に近づいたとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。 ● 料金所、出口、車線数が減少する地点、急カーブ、交差点などではプロパイロット2.0は使用できません。
<u>アドバンスドドライブアシストディスプレイ</u> 	ハンドルを持ってください (車速 作動範囲外)	● 標識検知機能が検出している速度を超えて走行しているとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。

画面表示	表示メッセージ	表示する条件	説明・対処方法
	ハンドルを持ってください (カーブ、分合流、道幅等)	● 急カーブに近づいたとき ● 分合流が続く区間を走行しているとき ● 車線幅の狭い道路を走行しているとき ● 制限速度50km/h以下を検出したとき ● システムが制御継続するのが難しいと判断した道路形状の区間に近づいたとき ● 道路区画線が存在しない区間に近づいたとき ● 車線幅が広い区間に近づいたとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。
	ハンドルを持ってください 車線減少します	● 車線数が減少する地点に近づいたとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。
	ハンドルを持ってください (交通規制)	● 工事区間など交通規制のある区間を検出したとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。
	ハンドルを持ってください 高精度地図がありません	● 料金所のない高速道路、または自動車専用道路の出口に近づいたとき ● 3D高精度地図データのない区間に近づいたとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。
	ハンドルを持ってください 高精度地図メンテナンス区間	● 3D高精度地図を工事などに合わせてメンテナンス中のとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。
	ハンドルを持ってください GPS信号を受信できません	● GPS信号を受信できなくなったとき ● トンネル内を走行しているとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。
	ハンドルを持ってください 悪天候のため使用できません	● ワイパーが低速で作動しているとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。

画面表示	表示メッセージ	表示する条件	説明・対処方法
	ハンドルを持ってください 対面通行区間です	● 対面通行区間に近づいたとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。
	ハンドルを持ってください ドライバーを認識できません	● 運転者を認識できなくなったとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。 ● ドライバーモニターカメラと運転者の間に遮るものがある場合は、取り除いてください。
	ハンドルを持ってください	● 接近警報が作動したとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。 ● 必要に応じてブレーキを操作し、車間距離を確保してください。
	一部のハンドル支援が 作動できません (システム故障)	● システムの一部に異常があり、車線維持機能（ハンドル支援）の一部が作動できないとき	● 安全な場所に停車して、EVシステムを一旦停止して再始動し、再びシステムをONにしてください。
	一部のハンドル支援が 作動できません (サイドレーダー汚れ)	● 車両前部と車両後部に取り付けられたレーダーセンサー周辺に雪や氷、泥などが付着しており、車線維持機能（ハンドル支援）の一部が作動できないとき	● レーダーセンサーおよびその周辺の汚れなどを取り除いてから、システムを再びONにしてください。 ➡ <u>レーダーセンサー★の取り扱い (P458)</u>
	一部のハンドル支援が 作動できません ドライバーを認識できません	● 運転者を検出できないとき	● 運転者を検出できない場合は、一部の車線維持機能（ハンドル支援）は使用できません。

画面表示	表示メッセージ	表示する条件	説明・対処方法
	一部のハンドル支援が 作動できません 高精度地図が使用できません	● NissanConnectインフォテ インメントシステムからの情 報がこないなど、車線維持機 能（ハンドル支援）の一部が 作動できないとき	● 安全な場所に停車して、EVシ ステムを一旦停止して再始動 し、再びシステムをONにして ください。 ● 上記操作をしてもメッセージ が表示される場合は、日産販 売会社で点検を受けてくださ い。
	一部のハンドル支援が 作動できません 高精度地図メンテナンス区間	● 3D高精度地図を工事などに 合わせてメンテナンス中のと き	● すみやかにハンドルを持って 操作してください。
	一部のハンドル支援が 作動できません 高精度地図がありません	● 料金所のない高速道路、また は自動車専用道路の出口に近 づいたとき ● 3D高精度地図データの無い 区間に近づいたとき	● すみやかにハンドルを持って 操作してください。
	ハンドルを持ってください この先、料金所	● 自動車専用道出口（料金所あ り）	● すみやかにハンドルを持って 操作してください。
	ハンドルを持ってください サイドレーダー 現在使用できま せん	● サイドレーダー異常を検知し たとき	● すみやかにハンドルを持って 操作してください。
	ハンドルを持ってください 全周囲カメラ 使用できません	● インテリジェント アラウン ドビューモニターカメラ異常 を検知したとき	● すみやかにハンドルを持って 操作してください。
	ハンドルを持ってください （低温）	● 気温が低いとき	● すみやかにハンドルを持って 操作してください。
	一部のハンドル支援が 作動できません （カーブ、分合流、道幅等）	● ハンドル支援出来ない状況に なったとき	● すみやかにハンドルを持って 操作してください。
	一部のハンドル支援が 作動できません GPS信号を受信できません	● ハンドル支援出来ない状況に なったとき	● すみやかにハンドルを持って 操作してください。

画面表示	表示メッセージ	表示する条件	説明・対処方法
	一部のハンドル支援が 作動できません この先、料金所	● 前方に料金所があるとき	● すみやかにハンドルを持って 操作してください。
	一部のハンドル支援が 作動できません 対面通行区間です	● 対面通行区間に近づいたとき	● すみやかにハンドルを持って 操作してください。
	一部のハンドル支援が 作動できません 車線減少します	● 車線数が減少する地点に近づ いたとき	● すみやかにハンドルを持って 操作してください。
	一部のハンドル支援が 作動できません (交通規制)	● 工事区間など交通規制のある 区間を検出したとき	● すみやかにハンドルを持って 操作してください。
	一部のハンドル支援が 作動できません (車速 作動範囲外)	● 標識検知機能が検出している 速度を超えて走行しているとき	● すみやかにハンドルを持って 操作してください。
	一部のハンドル支援が 作動できません (高精度地図ライセンス切れ)	● 3D高精度地図データを利用 するための契約がされていないとき	● 3D高精度地図データを利用す るための契約については、日 産販売会社にお問い合わせくだ さい。
	一部のハンドル支援が 作動できません サイドレーダー現在使用できま せん	● サイドレーダー異常を検知し たとき	● すみやかにハンドルを持って 操作してください。
	一部のハンドル支援が 作動できません 全周囲カメラ使用できません	● インテリジェント アラウン ドビューモニターカメラ異常 を検知したとき	● すみやかにハンドルを持って 操作してください。
	一部のハンドル支援が 作動できません (低温)	● 気温が低いとき	● すみやかにハンドルを持って 操作してください。
	一部のハンドル支援が 作動できません 悪天候のため使用できません	● ワイパーが低速で作動してい るとき	● すみやかにハンドルを持って 操作してください。

緊急時の対処法

画面表示	表示メッセージ	表示する条件	説明・対処方法
	車線変更支援を中止しました 車速が低すぎます	● 車速が約60km/hを下回り、 車線変更支援が中止したとき	● ハンドル操作をして車線変更 をしてください。
	車線変更支援を中止しました 車両を検知しました	● 目的の車線に車両を検出した ため、車線変更支援機能が中 止したとき	● ハンドル操作をして車線変更 をしてください。
	車線変更支援を中止しました (カーブ、分合流、道幅等)	● システムで車線変更支援を行 うことが難しい道路形状の区 間のとき	● ハンドル操作をして車線変更 をしてください。
	車線変更支援できません 分岐まで近すぎます	● 車線変更のスペースが検出で きず、出口・分岐路近くに なったとき	● ハンドル操作をして車線変更 をしてください。
	車線変更支援を中止しました	● 車線変更のスペースが検出で きず、追い越し支援機能が中 止したとき ● レーンマーカーが検出できな くなったとき ● 目的の車線の方向のレーン マーカーが白、または黄色の 実線になったとき ● サイドレーダー部が汚れ、周 辺車両との距離の測定が困難 になったとき ● 車線変更支援機能に異常があ るとき	● ハンドル操作をして車線変更 をしてください。

警告表示	表示する条件	説明・対処方法
作動範囲外のため 現在使用できません	● VDCをOFFにしたとき ● プロパイロット パーキングが作動して いるとき	● VDCがOFFの場合はプロパイロットを使用することがで きません。 ● プロパイロット パーキングが作動しているときは、プロ パイロットを使用することができません。
パーキングブレーキが 作動しているため 使用できません	● 電動パーキングブレーキが作動したと き	● 電動パーキングブレーキが作動しているときはプロパイ ロットを使用することができません。

警告表示	表示する条件	説明・対処方法
シートベルトが解除されているため使用できません	● 運転席のシートベルトを解除したとき	● 運転席のシートベルトが解除されている場合はプロパイロットを使用することができません。
停車状態を維持できません ブレーキを踏んでください	● プロパイロットにより車両が停止中、運転席ドアが開いたが電動パーキングブレーキが正常に作動しなかったとき	● すみやかにブレーキを踏んでください。
フロントレーダー及びその周辺が汚れています 拭いてください	● 車両前部に取り付けられたレーダーセンサー周辺に雪や氷、泥などが付着したとき	● 安全な場所に停車し、一度EVシステムを停止してからレーダーセンサーおよびその周辺の汚れなどを取り除き、EVシステムを再始動してください。 ➡ <u>レーダーセンサー★の取り扱い (P458)</u>
滑りやすい路面のため現在使用できません	● VDC/TCSが作動したとき ● タイヤの空転を検出したとき	● VDC/TCSが作動する、または、タイヤが空転するような状況ではプロパイロットは使用できません。

プロパイロット（ハンドル支援）警告メッセージ

警告表示	表示する条件	説明・対処方法
レーンを確認できません ハンドル支援を解除します	● 走行車線内にレーンマーカーに見えるようなものがあるなど、レーンマーカーが正しく検出できない状態が長時間続いたとき（雪のわだち、雨の日の周辺の光の反射、消し忘れのレーンマーカーなど）	● 再び車線維持機能（ハンドル支援）を使用したいときは、レーンマーカーがはっきりと描かれている道路でプロパイロットを再セット、もしくは＜ハンドル支援スイッチ＞を押してください。
 悪天候のため現在使用できません	● ワイパーを高速で作動させたとき	● ワイパーの高速動作を解除してください。その後、プロパイロットを再度セット、もしくは＜ハンドル支援スイッチ＞を押してください。
 カメラが認識できないため現在使用できません	● 雨、雪、霧または、カメラ前方のフロントガラスの凍結、汚れなどで、カメラの視界が確保できなくなったとき	● 状況が改善された後、プロパイロットを再セット、もしくは＜ハンドル支援スイッチ＞を押してください。 ● 警告表示が出続ける場合は、安全な場所に停車して、EVシステムを一旦停止してカメラ前方のフロントガラスの汚れなどを取り除いてください。

緊急時の対処法

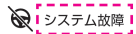
警告表示	表示する条件	説明・対処方法
 カメラが高温のため 現在使用できません	● カメラおよびカメラ周辺の温度が高いとき	● 室内の温度が下がるとプロパイロットを使用することができます。
 システム故障 取扱説明書を見てください	● システム故障	● 安全な場所に停車して、EVシステムを一旦停止して再始動し、再びシステムをONにしてください。
 	● ハンドルを持っていない、またはハンドルを操作していないときに点灯します。 — 表示（赤）により警告します。 ● 点灯後、運転者がハンドルを操作しないときに点滅します。 — 音、表示（赤）、および短時間のブレーキ制御で段階的に警告します。	● すみやかにハンドルを持って操作してください。 ● 運転者のハンドル操作を検出すると警告は消灯します。
 ドライバー異常  停止します 操作してください	● 警告後、運転者のハンドル操作がない状態が継続したときに表示します。 — 緊急警報音が鳴るとともに車両を減速、緊急停止します。	● すみやかにハンドルを持って操作してください。 ● 運転者のハンドル操作を検出すると警告は消灯し、プロパイロットが解除されます。
  ハンドルを操作してください	● 車両を緊急停止させたあと、運転者がハンドルを操作しないときに表示します。	● すみやかにハンドルを持って操作してください。 ● 運転者のハンドル操作を検出すると警告は消灯します。 ● ハンドル操作をすると、非常点滅表示灯は自動で消灯します。

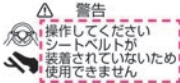
プロパイロット2.0警告メッセージ

警告メッセージが表示されたときは、次の「説明・対処方法」に従ってください。メーター内の表示は、グレード、オプションなどにより異なります。

画面表示	表示する条件	説明・対処方法
 警告 前を向ってください	● 運転者が前方の状況に注意していないと判断したとき	● 運転者は前を向き、常に前方の状況に注意して運転してください。 ● 運転者が前を向くと警告は消灯します。
 警告	● ハンドルを持っていない、またはハンドルを操作していないとき ● 3D高精度地図データと実際の道路が異なっていると判断したとき ● 車線逸脱警報が作動したとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。 ● 運転者のハンドル操作を検出すると警告は消灯します。
 警告 ハンドルを操作してください	● 運転者が前方の状況に注意していない状態が継続したとき ● 運転者にハンドル操作を要求するとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。 ● 運転者のハンドル操作を検出すると警告は消灯します。
 警告 ドライバー異常 停車します 操作してください	● 運転者のハンドル操作がないため、自車を減速、緊急停止させるとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。 ● 運転者のハンドル操作を検出すると警告は消灯し、プロパイロット2.0が解除されます。

画面表示	表示メッセージ	表示する条件	説明・対処方法
<u>アドバンスドドライバアシストディスプレイ</u>  警告 システム故障	システム故障	● プロパイロット2.0に異常があるとき	● 安全な場所に停車して、EVシステムを一旦停止して再始動し、再びシステムをONにしてください。

画面表示	表示メッセージ	表示する条件	説明・対処方法
	フロントレーダー及びその周辺が汚れています 拭いてください	● 車両前部に取り付けられたレーダーセンサー周辺に雪や氷、泥などが付着したとき	● 安全な場所に停車し、一度EVシステムを停止してからレーダーセンサーおよびその周辺の汚れなどを取り除き、EVシステムを再始動してください。 ➡ <u>レーダーセンサー★の取り扱い (P.458)</u>
	シートベルトが装着されていないため 使用できません	● 運転席のシートベルトを解除したとき	● 運転席のシートベルトが解除されている場合は、プロパイロット2.0は使用することができません。
	パーキングブレーキが作動しているため 現在使用できません	● 電動パーキングブレーキが作動したとき	● 電動パーキングブレーキが作動しているときは、プロパイロット2.0は使用することができません。
	滑りやすい路面のため 現在使用できません	● VDC（トラクションコントロールを含む）が作動したとき ● タイヤが空転したとき	● VDC/TCSが作動する、またはタイヤが空転するような状況では、プロパイロット2.0は使用できません。
	作動範囲外のため 現在使用できません	● VDCをOFFにしたとき	● VDCがOFFの場合は、プロパイロット2.0は使用できません。
アドバンスドドライブアシストディスプレイ  警告  システム故障	システム故障	● 車線維持機能（ハンドル支援）に異常があるとき	● 安全な場所に停車して、EVシステムを一旦停止して再始動し、再びシステムをONにしてください。
	悪天候のため 現在使用できません	● ワイパーが高速で作動しているとき	● 状況が改善すると、車線維持機能（ハンドル支援）を使用することができます。

画面表示	表示メッセージ	表示する条件	説明・対処方法
アドバンスドドライバアシストディスプレイ 	カメラが認識できないため現在使用できません	● 雨、雪、霧または、カメラ前方のフロントガラスの凍結、汚れなどで、カメラの視界が確保できなくなったとき ● 前方から強い光を受けたとき	● 状況が改善すると、車線維持機能（ハンドル支援）を使用することができます。
	カメラが高温のため現在使用できません	● カメラおよびカメラ周辺の温度が高いとき	● 状況が改善すると、車線維持機能（ハンドル支援）を使用することができます。
	操作してください システム故障	● プロパイロット2.0に異常があるとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。 ● 安全な場所に停車して、EVシステムを一旦停止して再始動し、再びシステムをONにしてください。
	操作してください フロントレーダーが汚れているため使用できません	● 車両前部に取り付けられたレーダーセンサー周辺に雪や氷、泥などが付着したとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。 ● 安全な場所に停車し、一度EVシステムを停止してからレーダーセンサーおよびその周辺の汚れなどを取り除き、EVシステムを再始動してください。 ➡ <u>レーダーセンサー★の取り扱い (P458)</u>
	操作してください シートベルトが装着されていないため使用できません	● 運転者のシートベルトを解除したとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。 ● 運転席のシートベルトが解除されている場合はプロパイロット2.0は使用することができません。

画面表示	表示メッセージ	表示する条件	説明・対処方法
	操作してください パーキングブレーキが 作動しているため 使用できません	● 電動パーキングブレーキをかけたとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。 ● 電動パーキングブレーキが作動しているときはプロパイロット2.0は使用することができません。
	操作してください 作動範囲外のため 使用できません	● VDCをOFFにしたとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。 ● VDCがOFFの場合は、プロパイロット2.0は使用できません。
	操作してください	● 先行車を検出していないときに、車速が約25km/hを下回ったとき ● 運転席、助手席、後席シートのいずれかのドアを開けたとき ● 車速・車間制御機能により自車が停止後、約3分が経過したとき ● シフトポジションをD以外にしたとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。 ● 状況が改善すると、プロパイロット2.0を使用することができます。
	操作してください レーンを認識できません	● レーンマーカーを検出できなくなったとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。 ● 状況が改善すると、車線維持機能（ハンドル支援）を使用することができます。
	操作してください 悪天候のため 使用できません	● ワイパーが高速で作動しているとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。 ● 状況が改善すると、車線維持機能（ハンドル支援）を使用することができます。

画面表示	表示メッセージ	表示する条件	説明・対処方法
	操作してください 視界不良のため 使用できません	● 雨、雪、霧または、カメラ前方のフロントガラスの凍結、汚れなどで、カメラの視界が確保できなくなったとき ● 前方から強い光を受けたとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。 ● 状況が改善すると、車線維持機能（ハンドル支援）を使用することができます。
	操作してください カメラが高温のため 使用できません	● カメラおよびカメラ周辺の温度が高いとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。 ● 室内の温度が下がると車線維持機能（ハンドル支援）を使用することができます。
	操作してください この先、料金所です	● 前方に料金所があるとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。 ● 料金所、出口、車線数が減少する地点、急カーブ、交差点などではプロパイロット2.0は使用できません。
	操作してください この先、 急カーブです	● 前方に急なカーブがあるとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。 ● 料金所、出口、車線数が減少する地点、急カーブ、交差点などではプロパイロット2.0は使用できません。
	操作してください	● 料金所のない高速道路、または自動車専用道路の出口があるとき ● 3D高精度地図データがない区間に近づいたとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。 ● 料金所、出口、車線数が減少する地点、急カーブ、交差点などではプロパイロット2.0は使用できません。

画面表示	表示メッセージ	表示する条件	説明・対処方法
アドバンスドドライブアシストディスプレイ 	ハンドルを持ってください (車速 作動範囲外)	● 標識検知機能が検出している速度を超えて走行しているとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。
	ハンドルを持ってください (カーブ、分合流、道幅等)	● 急カーブに近づいたとき ● 分合流が続く区間を走行しているとき ● 車線幅の狭い道路を走行しているとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。
	ハンドルを持ってください 車線減少します	● 車線数が減少する地点に近づいたとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。
	ハンドルを持ってください 合流があります	● 合流に近づいたとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。
	ハンドルを持ってください (交通規制)	● 工事区間など交通規制のある区間を検出したとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。
	ハンドルを持ってください 高精度地図がありません	● 料金所のない高速道路、または自動車専用道路の出口に近づいたとき ● 3D高精度地図データの無い区間に近づいたとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。
	ハンドルを持ってください GPS信号を受信できません	● GPS信号を受信できなくなったとき ● トンネル内を走行しているとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。
	ハンドルを持ってください 悪天候のため使用できません	● ワイパーが低速で作動しているとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。
	ハンドルを持ってください 対面通行区間です	● 対面通行区間に近づいたとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。

画面表示	表示メッセージ	表示する条件	説明・対処方法
	ハンドルを持ってください ドライバーを認識できません	● 運転者を認識できなくなったとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。 ● ドライバーモニターカメラと運転者の間に遮るものがある場合は、取り除いてください。
	ハンドルを持ってください	● 接近警報が作動したとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。 ● 必要に応じてブレーキを操作し、車間距離を確保してください。
	一部のハンドル支援が 作動できません (システム故障)	● システムの一部に異常があり、車線維持機能（ハンドル支援）の一部が作動できないとき	● 安全な場所に停車して、EVシステムを一旦停止して再始動し、再びシステムをONにしてください。
	一部のハンドル支援が 作動できません (サイドレーダー汚れ)	● 車両前部と車両後部に取り付けられたレーダーセンサー周辺に雪や氷、泥などが付着しており、車線維持機能（ハンドル支援）の一部が作動できないとき	● レーダーセンサーおよびその周辺の汚れなどを取り除いてから、システムを再びONにしてください。 ➡ <u>レーダーセンサー★の取り扱い (P.458)</u>
	一部のハンドル支援が 作動できません ドライバーを認識できません	● 運転者を検出できないとき	● 運転者を検出できない場合は、一部の車線維持機能（ハンドル支援）は使用できません。
	一部のハンドル支援が 作動できません 高精度地図が使用できません	● NissanConnectインフォテインメントシステムからの情報がこないなど、車線維持機能（ハンドル支援）の一部が作動できないとき	● 安全な場所に停車して、EVシステムを一旦停止して再始動し、再びシステムをONにしてください。 ● 上記操作をしてもメッセージが表示される場合は、日産販売会社で点検を受けてください。

画面表示	表示メッセージ	表示する条件	説明・対処方法
	ハンドルを持ってください この先、料金所	● 自動車専用道出口（料金所あり）	● すみやかにハンドルを持って操作してください。
	ハンドルを持ってください サイドレーダー 現在使用できません	● サイドレーダー異常を検知したとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。
	ハンドルを持ってください 全周囲カメラ 使用できません	● インテリジェントアラウンドビューモニターカメラ異常を検知したとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。
	ハンドルを持ってください （低温）	● 気温が低いとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。
	一部のハンドル支援が 作動できません （カーブ、分合流、道幅等）	● ハンドル支援出来ない状況になったとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。
	一部のハンドル支援が 作動できません GPS信号を受信できません	● ハンドル支援出来ない状況になったとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。
	一部のハンドル支援が 作動できません この先、料金所	● ハンドル支援出来ない状況になったとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。
	一部のハンドル支援が 作動できません 対面通行区間です	● ハンドル支援出来ない状況になったとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。
	一部のハンドル支援が 作動できません 車線減少します	● ハンドル支援出来ない状況になったとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。
	一部のハンドル支援が 作動できません （交通規制）	● ハンドル支援出来ない状況になったとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。
	一部のハンドル支援が 作動できません （車速 作動範囲外）	● ハンドル支援出来ない状況になったとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。

画面表示	表示メッセージ	表示する条件	説明・対処方法
	一部のハンドル支援が 作動できません 悪天候のため使用できません	● ハンドル支援出来ない状況になったとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。
	一部のハンドル支援が 作動できません サイドレーダー 現在使用できません	● ハンドル支援出来ない状況になったとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。
	一部のハンドル支援が 作動できません 全周囲カメラ 使用できません	● ハンドル支援出来ない状況になったとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。
	一部のハンドル支援が 作動できません 高精度地図がありません	● ハンドル支援出来ない状況になったとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。
	一部のハンドル支援が 作動できません (低温)	● ハンドル支援出来ない状況になったとき	● すみやかにハンドルを持って操作してください。
	一部のハンドル支援が 作動できません (高精度地図ライセンス切れ)	● 3D高精度地図データを利用するための契約がされていないとき	● 3D高精度地図データを利用するための契約については、日産販売会社にお問い合わせください。
	車線変更支援を中止しました 車速が低すぎます	● 車速が約60km/hを下回り、車線変更支援が中止したとき	● ハンドル操作をして車線変更をしてください。
	車線変更支援を中止しました 車両を検知しました	● 目的の車線に車両を検出したため、車線変更支援機能が中止したとき	● ハンドル操作をして車線変更をしてください。
	車線変更支援できません 分岐まで近すぎます	● 車線変更のスペースが検出できず、出口・分岐路近くになったとき	● ハンドル操作をして車線変更をしてください。

緊急時の対処法

画面表示	表示メッセージ	表示する条件	説明・対処方法
	車線変更支援を中止しました	● レーンマーカーが検出できなくなったとき ● 目的の車線の方向のレーンマーカーが白、または黄色の実線になったとき ● サイドレーダー部が汚れ、周辺車両との距離の測定が困難になったとき ● 車線変更支援機能に異常があるとき	● ハンドル操作をして車線変更をしてください。

警報音（ブザー）が鳴ったときは

車両盗難などを防ぐため、車内外で警報音（ブザー）が鳴ることがあります。

どこで音が鳴りましたか？	どんな音が鳴りましたか？	何をしたときに鳴りましたか？	確認すること
車外	ピピピピ...（数秒間）	ドアハンドルのセンサーに触れたとき	走行可能表示灯〔READY〕が点灯していないか キーを車室内に置き忘れていないか いずれかのドアが半ドアになっていないか ドアを閉める前にドアハンドルのセンサーに触れていないか、またはバックドアのスイッチを押していないか
		バックドアのスイッチを押したとき	走行可能表示灯〔READY〕が点灯していないか キーを車室内に置き忘れていないか いずれかのドアが半ドアになっていないか
		インテリジェントキーのドア施錠スイッチを押したとき	走行可能表示灯〔READY〕が点灯していないか いずれかのドアが半ドアになっていないか ドアを閉める前に施錠スイッチを押してはいないか
		ドアを閉めたとき	無意識にドアハンドルのセンサーに触れていないか、またはバックドアのスイッチを押していないか
	ビッビッビッ（3回）	ドアを閉めたとき	走行可能表示灯〔READY〕が点灯しているときに、キーが車外に持ち出されていないか
	ビッビッビッ...（約30秒）	充電コネクタを接続したとき	充電コネクタが正しく接続されているか
	ピピピピ...（数秒間）	大雨もしくは洗車で大量の水がドアハンドルにかかったとき	インテリジェントキーを車両から2m以上離すと鳴りやむか スリープモード（P.138）を作動させると鳴りやむか
	キー（金属音）	走行中にブレーキペダルを踏んだとき	ディスクブレーキのパッド（摩擦材）が摩耗していないか 金属音が発生したときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。そのまま走行を続けると、ブレーキが効かなくなり、事故につながるおそれがあります。

緊急時の対処法

どこで音が鳴りましたか？	どんな音が鳴りましたか？	何をしたときに鳴りましたか？	確認すること
車室内	ポロポロポロ (3回)	ドアを閉めたとき	走行可能表示灯「READY」が点灯しているときに、インテリジェントキーが車外に持ち出されていないか
		<パワースイッチ>を押したとき	キーを携帯しているか キーを携帯してもブザーが鳴るときは、キーの電池を交換してください
	ポロポロポロ... (繰り返し)	運転席ドアを開けたとき	<パワースイッチ>がONのままになっていないか シフトポジションをPにしているか

窓ガラスがくもったときは

フロントガラスのくもりの取りかた

⚠ 注意

- <デフロスタースイッチ>をONにしているときは、エアコンの設定温度を低くしない。

フロントガラスの外側に露が付く、視界を妨げるおそれがあります。

- <デフロスタースイッチ>を押すとエアコンが作動し、外気導入に切り替わります。(＜デフロスタースイッチ＞がオレンジ色に点灯)
<パワースイッチ>がONのとき使えます。
- 止めるときは、もう一度スイッチを押します。(＜デフロスタースイッチ＞が白色に点灯)

デフロスタースイッチ (🔍 P.171)

アドバイス

- <デフロスタースイッチ>をONにしているときは、内気循環にしないでください。くもりが取れにくくなります。
- <デフロスタースイッチ>は、連続して長時間ONにしないでください。消費電力が多いため、航続可能距離が減少する原因になります。

バックドアガラスのくもりの取りかた

- <リヤデフォッガースイッチ>を押すと約15分間作動し、バックドアガラスの熱線が暖まります。(＜リヤデフォッガースイッチ＞がオレンジ色に点灯)
<パワースイッチ>がONのとき使えます。
- 止めるときは、もう一度スイッチを押します。(＜リヤデフォッガースイッチ＞が白色に点灯)

リヤデフォッガースイッチ (🔍 P.171)

アドバイス

- 連続して長時間使用しないでください。消費電力が多いため12Vバッテリーあがりの原因になります。
- <リヤデフォッガースイッチ>を押すと、ドアミラーヒーター★も同時に作動します。

■ ワイパーデアイサー★

- フロントガラスを温めて、ガラス下端にたまった雪を取り除きやすくします。
<リヤデフォッガースイッチ>を押すと約15分間作動します。(＜リヤデフォッガースイッチ＞がオレンジ色に点灯)
- 止めるときは、もう一度スイッチを押します。(＜リヤデフォッガースイッチ＞が白色に点灯)

アドバイス

- ガラスにたまった雪はこまめに取り除き、視界を確保してください。

緊急時の対処法

雪道やぬかるみにはまったときは

雪道、砂地、ぬかるみなどでタイヤが空転したり、埋まり込んで動けなくなったりしたときは、次の方法で脱出してください。

脱出のしかた

⚠ 警告

● 周囲の安全を必ず確認する。

周囲の人や物との衝突を避けるため、前進と後退を繰り返すときは、周囲に何もいないことを確認してください。特に脱出の瞬間は、車両が前方または後方に飛び出すおそれがあります。

● 必要以上にアクセルペダルを踏み込まない。

急発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

● 脱出するときは、過度にタイヤを空転させない。

タイヤがバースト（破裂）したり、駆動部品が異常過熱したりすることにより思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

1. VDCをOFFにします。

➡ VDCのON・OFFのしかた
(P.213)

2. 車両の前後に障害物がないことを確認し、ハンドルを左右に回して前輪の周囲をならします。
必要に応じ、タイヤの下に木材などをそえてください。
3. ゆっくりとアクセルペダルを踏み、前進または後退します。
周囲の安全を確認したうえで、前進と後退を繰り返してください。

アドバイス

- 数回試しても脱出できないときは、日産販売会社またはJAFなどのロードサービスにご連絡ください。

水没したときは

水没したときの対処のしかた

⚠ 警告

- 水位が窓ガラスよりも高いとき、緊急脱出用ハンマーを使用した場合、割れたガラスが車室内に入り、ケガをするおそれがあります。

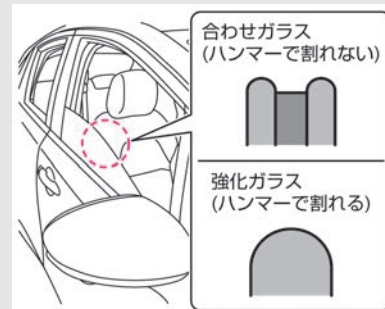
緊急脱出用ハンマー（ディーラーオプション）について

- フロントウィンドーガラスは合わせガラスのため、緊急脱出用ハンマーで割ることはできません。フロントドアガラス、リヤドアガラス、バックドアガラスを割って脱出してください。

- ドアガラスについては、車両の仕様変更により強化ガラスの場合があります。合わせ、または強化ガラスの見分け方法については、ガラスの断面、もしくは刻印（マーク）を確認することで見分けることができます。

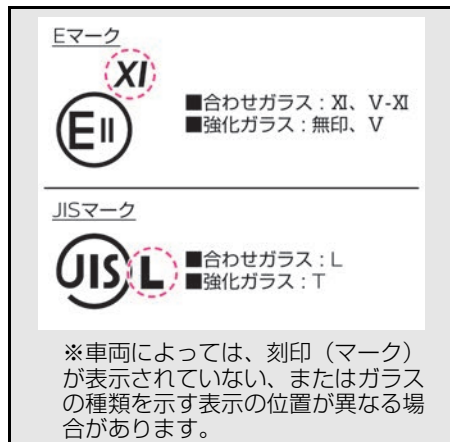
ガラスの断面で合わせガラスを見分ける方法

- ドアガラスを半分ほど開け、断面を上から確認し、2枚のガラスが貼り合わせられている場合は合わせガラスとなります。



ガラスにある刻印（マーク）で合わせガラスを見分ける方法

- ドアガラスには次のような刻印（マーク）が表示されています。この表示によって、合わせガラスかどうかを見分けることができます。



水没したときは、次のような対処方法で車外に脱出してください。

- シートベルトを外して車外に脱出してください。
- ドアが開く水位が低いうちにドアを開けて、車外に脱出してください。
- ドアが開かなかった場合、窓ガラスを開け、窓から車外に脱出してください。
- ＜パワーウインドースイッチ＞を押しても窓ガラスが開かない場合、以下の方法で脱出してください。
 - － 緊急脱出用ハンマー（ディーラーオプション）がある場合、バックドアガラスを割り窓から車外に脱出してください。
 - － 緊急脱出用ハンマー（ディーラーオプション）がない場合、または緊急脱出用ハンマーで窓ガラスが割れない場合には、車内外の水位が同じ高さくらい

まで浸水するのを待ち、ドアを強く押し開けて車外に脱出してください。

（車内外の水圧差がなくなると、ドアを開けることができます。）

- 浸水・冠水被害に遭われた場合は、車両故障につながることがあるため、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

外装ランプが点灯しないときは

外装ランプが点灯しないときは、日産販売会社にご相談ください。

- 外装ランプはすべてLEDです。LEDが一部でも点灯しない場合は日産販売会社で点検を受けてください。
- ヘッドランプ、制動灯などは、雨天走行や洗車などにより、レンズ内面が一時的にくもることがあります。またヘッドランプ内と外気との温度差により、レンズ内面が結露することもあります。これは雨天時などに窓ガラスがくもるのと同様の現象で、機能上の問題ではありません。またレンズの構造上、レンズのふちに水滴が付着することがありますが、機能上の問題ではありません。ただし、ランプ内に水がたまっている場合やレンズ内面に大粒の水滴が付着している場合は、日産販売会社にご相談ください。

ヒューズが切れたときは

ランプがつかないときや電気系統の装置が作動しないときは、日産販売会社にご相談ください。

メンテナンスの前に

点検整備について	P.440

工具・ジャッキ

工具★・ジャッキ★について	P.441

点検と整備

モータールーム	P.445
ウォッシュャー液の補給	P.447
寒冷時の取り扱い	P.448
タイヤ	P.449
冬用タイヤ・タイヤチェーン	P.451
ワイパー	P.452
インテリジェントキーの電池交換	P.453
12Vバッテリー	P.454

清掃・お手入れ

外装のお手入れ	P.455
内装のお手入れ	P.460

サービスデータ

点検値	P.462
交換油脂類	P.462
車両仕様	P.463
イベントデータレコーダ（EDR）	P.464
車両状態記録機能	P.465

メンテナンスの前に

点検整備について

道路運送車両法により、定期点検と日常点検が義務付けられています。正しい点検整備を行いお車を安全にお使いください。点検整備の詳細については、別冊のメンテナンスノートをお読みください。

点検整備の種類

⚠ 警告

- 充電インジケーターが点灯・点滅しているときは、整備作業を行わない。
高電圧システムが作動しているため、感電するおそれがあります。
- ➡ 充電インジケーター (P.39)
- 整備作業を行うときは、車両から充電コネクタを取り外す。

- 点検・整備および保証の内容は、別冊のメンテナンスノートに詳しく記載されていますので、必ずお読みください。
- 日常点検
走行距離や使用時の状態から判断し、適切な時期にお客さまご自身で行う点検です。
いつもと違うことに気がついたら日産販売会社で点検を受けてください。(音、振動、におい、水漏れ、油漏れなど)
- 定期点検
1年ごとに実施する点検です。12か月点検および24か月点検があります。
- その他の点検
新車時の無料点検や、厳しい使われかたをしたときに必要な点検があります。

アドバイス

- 次の場合は、整備作業を行わないでください。
 - 充電ケーブルによるリチウムイオンバッテリー充電時
 - 12Vバッテリー補充電時
 - タイマーエアコン作動時
 - ソフトウェア自動更新作動時
- 点検・整備作業をする場合は、次の処置を行ってください。
 - 一度<パワースイッチ>をONにしてからもう一度<パワースイッチ>を2秒以上長押しする
 - その後、運転席ドアを開け、車外に出てから運転席ドアを閉め、5分以上待つ

車検、点検整備のとき

- 車検、点検整備については、日産販売会社にご相談ください。

工具・ジャッキ

工具★・ジャッキ★について

ジャッキアップをする場合は、この車両専用のジャッキを準備してください。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

車両の仕様変更または装備変更により、本書の内容が実車と一致しない場合がありますのであらかじめご了承ください。

工具、タイヤ応急修理キットの格納場所

⚠ 注意

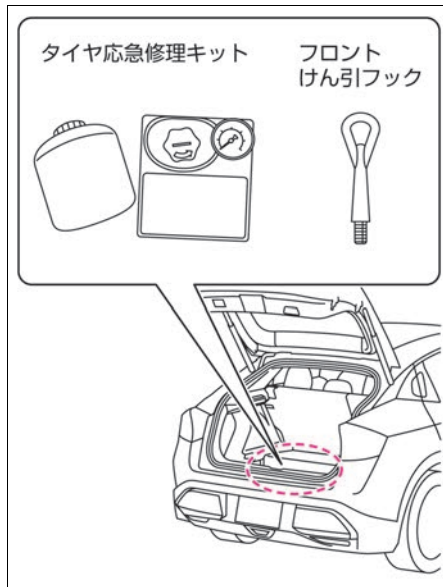
- 工具を使ったあとは、元の場所に収納する。

車室内に放置すると思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 停止表示板（停止表示灯）、輪止めは標準で搭載されておりませんので必要に応じて準備してください。
- 工具の種類や発炎筒（🔥 P.377）などは、万のときに困らないようにあらかじめ位置を確認しておいてください。
- 工具・タイヤ応急修理キットは、ラゲッジルームのラゲッジフロア下に格納されています。

➡ 応急修理する前に (P.381)

➡ タイヤ応急修理キットについて
(P.381)



ジャッキ、ハンドル兼ホイールナットレンチ、ハンドルレバーの取り出した（ディーラーオプション）

⚠ 注意

- ジャッキを取り出すときは、手をぶつけないように注意する。
金属部などに手をぶつけると、ケガをするおそれがあります。
- ジャッキはタイヤ交換またはタイヤチェーンの脱着以外には使用しない。

- ラゲッジルームのラゲッジフロア下から取り出します。
- この車両には、ジャッキ、ハンドル兼ホイールナットレンチ、ハンドルレバーが標準で搭載されていません。ジャッキアップをする場合は、この車両専用のジャッキを準備してください。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

🚗 アドバイス

- ジャッキはタイヤ交換またはタイヤチェーンの脱着以外には使用しないでください。
- ジャッキとラゲッジボードが内装部品にぶつからないようにしてください。傷がつくおそれがあります。

ジャッキの使いかた

⚠ 警告

- ジャッキアップしたときは絶対に車両の下に入らない。
ジャッキが外れると、重大な傷害につながるおそれがあり非常に危険です。

⚠ 注意

- 工具、ジャッキを使ったあとは、元の場所に収納する。
車室内に放置すると思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ハンドル兼ホイールナットレンチを回すときは、ハンドルレバーをしっかり握って回す。

⚠ 注意

ハンドルレバーが回転中に外れると、思わぬケガをするおそれがあります。

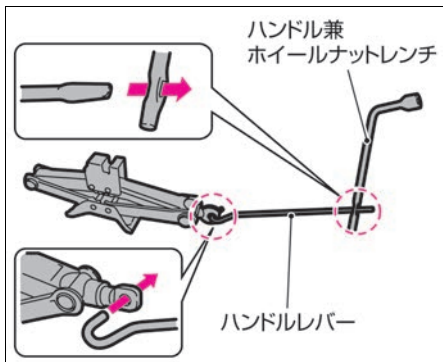
- ハンドルレバーは、**確実に**ハンドル兼ホイールナットレンチの穴に差し込む。

ハンドルレバーが確実に差し込まれていないと、外れて思わぬケガをするおそれがあります。

- ジャッキアップ中は**EVシステムを始動しない**。

車が発進し、重大な傷害につながるおそれがあります。

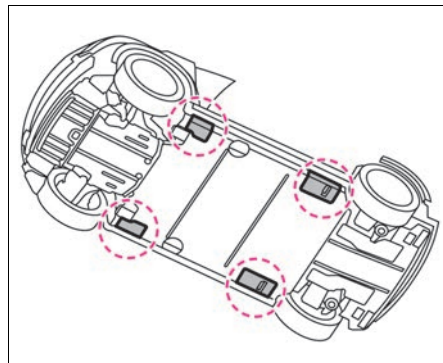
- ジャッキにハンドルレバーとハンドル兼ホイールナットレンチをセットします。
- ジャッキを使って車両を持ち上げるときは、正しい位置にジャッキを設置してください。



ジャッキアップポイントカバーの取り外し/取り付け

走行中の空気抵抗低減のため、ジャッキアップポイントにカバーが設けられています。

ジャッキを使用するときは、カバーを取り外してください。

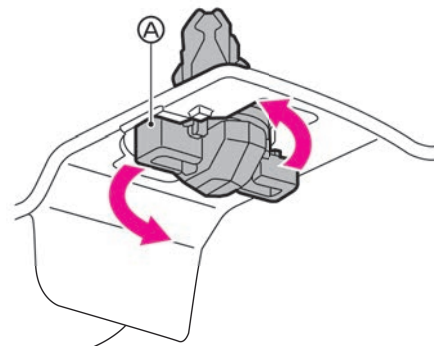


⚠ 注意

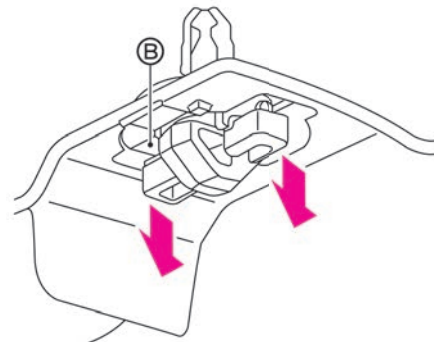
- カバーを外すときに**素手で取り外さない**。

ケガをするおそれがあります。

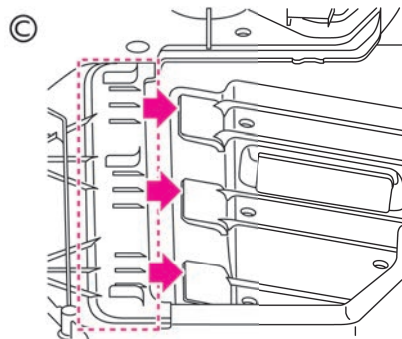
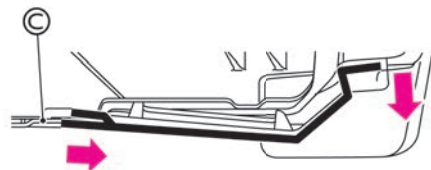
1. クリップ①を反時計回りに回します。
(各ジャッキアップポイントカバーにクリップは2つあります。)



2. 切り抜き穴②に沿ってクリップを通し、カバーを下に引き下ろします。



3. 車両のアンダーカバー③からジャッキアップポイントカバーを引き抜きます。



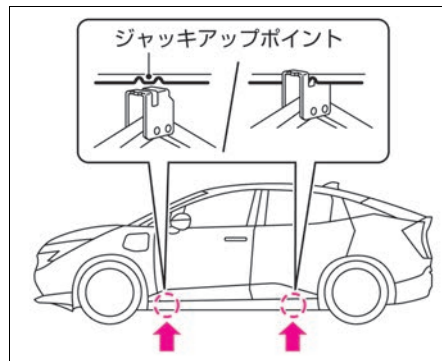
4. 取り付けるときは、取り外したときと逆の手順で行います。ジャッキアップポイントカバーを車両のアンダーカバーを挟むようにはめ込み、クリップで固定します。

ジャッキアップポイント

⚠ 注意

- ジャッキを使うときは、次のことを必ず守る。
 - ジャッキは必ずこの車両専用のものを使い、他車のジャッキは使用しないでください。また、この車両専用のジャッキは他車に使用しないでください。
 - ジャッキはタイヤ交換またはタイヤチェーンの脱着以外には使用しないでください。
 - 平坦で硬いところに駐車して作業してください。
 - 使用前にパーキングブレーキをかけ、シフトポジションをPにしてください。
 - 輪止めなどで車を固定してください。
 - ジャッキの上下に台やブロックなどを入れないでください。
 - 人や荷物は必ず車から降ろしてください。

- 矢印の位置がジャッキアップポイントです。



🚗 アドバイス

- ジャッキアップポイント以外のところにはジャッキをかけないでください。車体に変形するおそれがあります。

ジャッキアップのしかた

⚠ 注意

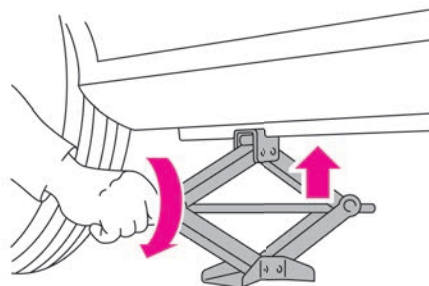
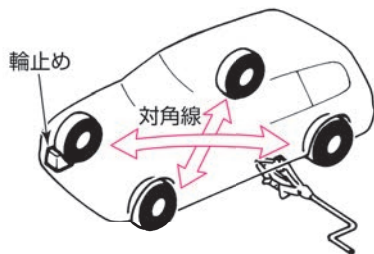
- 柔らかい地面の上ではジャッキアップしない。
ジャッキが倒れ、事故につながるおそれがあります。
- やむをえず傾斜地で作業するときは、ジャッキをかける位置と対角線の位置にあるタイヤの下り側に輪止めをし、車が動き出さないようにする。

- 輪止めは標準で搭載されていませんので必要に応じて準備してください。なお、

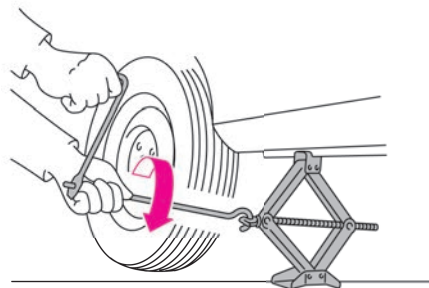
工具・ジャッキ

輪止めはタイヤを固定できる大きさの石、木片などで代用できます。

1. 交通の妨げにならず、安全に作業ができる地面（平坦な硬い場所）に停車し、人や荷物を車から降ろします。
➡ 停車・駐車のしかた (P.196)
2. ジャッキをかける位置と対角線の位置にあるタイヤに輪止めをします。
前輪をジャッキアップするとき：後輪の後ろ側
後輪をジャッキアップするとき：前輪の前側



4. ハンドル兼ホイールナットレンチを回して、タイヤと地面が少し離れるまで、ジャッキアップします。



3. ジャッキの上部がジャッキアップポイントに接触するまで、ジャッキを矢印の方向に手で回します。

モータールーム

モータールーム内を点検するときは安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけた状態でボンネットを開けます。

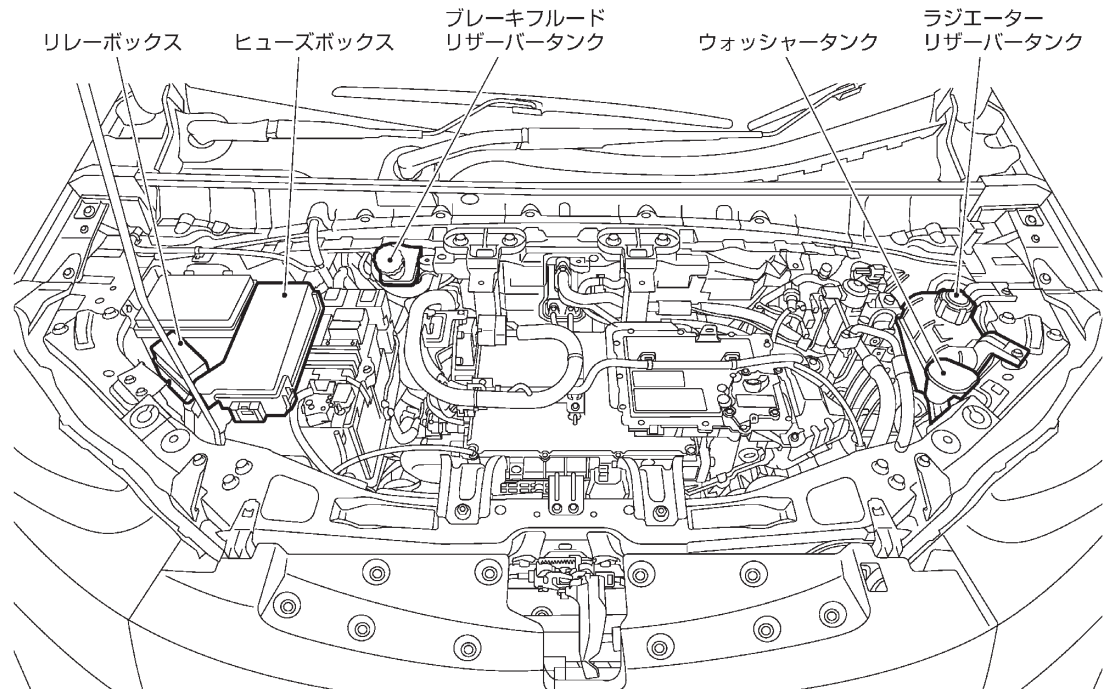
モータールーム内の配置図

⚠ 警告

- 点検や整備に使用した工具や布などをモータールーム内に置き忘れない。
故障や車両火災につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- モータールーム内の作業をするときは、＜パワースイッチ＞をOFFにする。
EVシステム作動中に手、衣服、工具などを入れると思わぬケガをするおそれがあります。



🚗 アドバイス

- 点検整備の詳細については、別冊のメンテナンスノートをお読みください。

📖 知識

- この車両の電動パワートレイン用電動ウォーターポンプには、オープンソースのソフトウェアが含まれています。
以下のwebサイトでライセンス情報を参照してください。

<https://www.aisin.com/info/ewp/license001.html>

ボンネットの開けかた、閉めかた

⚠ 警告

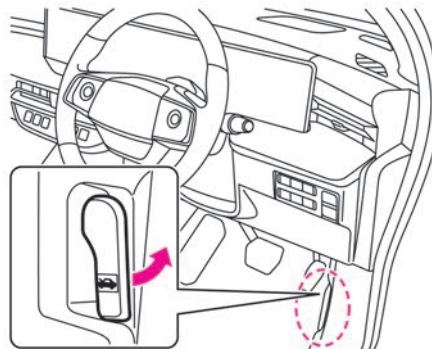
- 走行前、ボンネットが確実に閉まっていることを、必ず確認する。

ロックされていないと、走行中にボンネットが開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

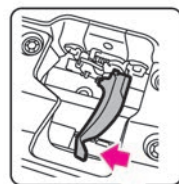
⚠ 注意

- 風が強いときは、ボンネットをしっかり持ってゆっくりと開ける。
- ボンネットを開けたときは、ボンネットに頭などをぶつけないよう注意する。
- ラジエーターなどの高温部には触れない。
やけどをするおそれがあります。
- ボンネットを閉めるときは、手などを挟まないように注意して降ろす。

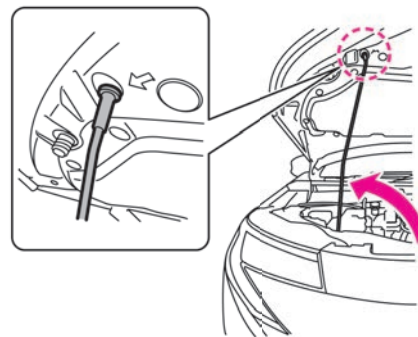
1. 運転席の右下にあるオープナーを引くと、ボンネットが少し浮き上がります。



2. ボンネット先端のすき間に手を入れ、レバーを横に押しながらボンネットを持ち上げます。



3. ステーをフックから外し、ボンネット裏側の穴（ステー差し込み位置）に確実に差し込みます。



4. 閉めるときはステーをフックに戻し、ボンネットを20cm～30cmの高さまでゆっくり降ろしてから、手を離して落としてロックします。ロックできなかったときは、レバーを操作してボンネットをもう一度持ち上げてから再度落としてください。ボンネットを上から押して閉めようとしないでください。

🚗 アドバイス

- ワイパーアームを起こしたままボンネットを開けないでください。ボンネットやワイパーを損傷します。
- ボンネットを閉めるときに、ボンネットに体重をかけて強い力で押すと、ボンネットがへこむおそれがあります。

ウォッシャー液の補給

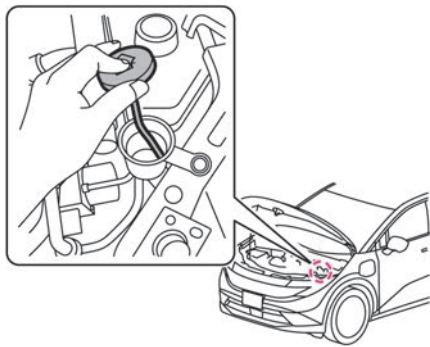
ウォッシャー液が不足しているときは、ウォッシャー液を補給してください。

補給のしかた

⚠ 注意

- ウォッシャー液を補給するときは、液を高温度にかけない。
出火するおそれがあります。

- ウォッシャータンクのふたの穴を押さえて引き抜くと、スポイト式にウォッシャー液の残量が確認できます。
- ウォッシャー液の残量を確認したとき、ウォッシャー液がチューブ下端にしか入らないと、ウォッシャータンクはほぼ空の状態です。



- 日産純正ウインドウォッシャー液をおすすめします。
ウォッシャータンク容量 (➡ P.463)
- 減っているときは、ウォッシャータンクのふたを外し、ウォッシャー液を補給してください。

- ウォッシャー液は、必要に応じ水で薄めてください。希釈割合はウォッシャー液の容器に表示してある凍結温度を参考にします。

🚗 アドバイス

- ウォッシャー液の代わりに石けん水などを入れないでください。塗装面がしみになるおそれがあります。

寒冷時の取り扱い

寒冷時に備えて、準備や点検などを正しく行ってください。

冬の前の準備

■ 冷却水の濃度点検

- 冷却水の凍結を防ぐため、冷却水の濃度を点検してください。

冷却水の濃度	凍結温度
50%	約-35℃

- 冷却水を補充・交換するときは、日産純正スーパーロングライフクーラント (50%希釈品) をお使いください。
サービスデータ (冷却水) (➡ P.462)

🚗 アドバイス

- 冷却水の点検・補充・交換は日産販売会社にご相談ください。

■ 冬用タイヤ、タイヤチェーンの準備

- 冬用タイヤに交換するときは、4輪とも指定サイズで同一の銘柄、パターン (溝模様) のものに交換してください。
- タイヤチェーンは、タイヤサイズにあった日産純正品をおすすめします。

■ ウォッシャー液の濃度点検

- ウォッシャー液の凍結を防ぐため、ウォッシャー液の容器に記載してある凍結温度を参考に外気温に応じた希釈割合 (濃度) にしてください。

運転する前に

⚠ 警告

- ルーフに積もった雪は落とす。
窓ガラスに雪が滑り落ちると視界の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

状況に応じて次のことを行ってください。

- ドアやワイパーなどが凍結したときは、無理に開けたり動かしたりせず、凍った部分にお湯をかけて氷を溶かしてください。溶けたらすぐに水分をふき取ってください。
- 寒冷時にドアミラーが正常に作動しない場合は、ドアミラー内部が凍結している可能性があります。無理に動かししたりせず、ドアミラー本体にぬるま湯をかけて凍結を溶かしてください。溶けたらすぐ水分をふき取ってください。
- ガラスに雪や霜が積もっているときは、プラスチックの板などを使って、ガラス

点検と整備

を傷つけないように雪を取り除いてください。

- 足まわり（ブレーキ周辺、フェンダーの裏側など）が凍りついているときは、部品を破損しないように注意しながら、付着した氷塊を取り除いてください。
- 車室内に乗り込むときは、靴についた雪を取り除いてください。

アドバイス

- ドアなどの開閉部分を無理に開けないでください。ゴムがはがれたり損傷したりするおそれがあります。
- ワイパー、ドアミラー、パワーウィンドーなどを無理に動かさないでください。装置が損傷するおそれがあります。
- ドアのキー穴部には、お湯をかけないでください。凍結するおそれがあります。
- ドアミラーが凍結するような寒冷時は、ドアロック連動格納機能をOFFにしてください。凍結したまま作動を繰り返すと、故障の原因となります。
- ルーフから雪を落とすときは、アンテナやカメラ類の周りに強い力をかけないようにしてください。アンテナやカメラ類が破損したり、車体へこんだりするおそれがあります。

雪道の走行のしかた

■ 滑りやすい路面に注意

- 滑りやすい路面での急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドルなど無理な運転は危険ですのでしないでください。雪道や凍結路では速度を落とし、車間距離を取り、ゆとりある運転をしてください。
- 雪道、凍結路では早めに冬用タイヤ、タイヤチェーンなどを装着して走行してください。

➡ **タイヤチェーンについて** (P.451)

■ 走行中の雪の付着に注意

- ブレーキに付着した雪が凍結し、ブレーキの効きが悪くなることがあります。ときどきブレーキの効き具合を確認してください。効きが悪いときは、前後の車との距離を十分とり、低速走行で効きが回復するまでブレーキペダルを軽く踏んでください。
- フェンダーの裏側に付いた雪が積もり、ハンドルの切れが悪くなることがあります。ときどき確認して雪を取り除いてください。

■ 駐車するときの注意

- シフトポジションをPにし、パーキングブレーキをかけずに輪止めをしてください。パーキングブレーキをかけると、ブレーキが凍結して解除できなくなるおそれがあります。
- 軒下や樹木の下には駐車しないでください。落雪で車が損傷するおそれがあります。

- 雪が降りそうなきや降雪時にはワイパーアームを起こしておいてください。ブレードと窓ガラスが凍結し、破損するおそれがあります。

タイヤ

タイヤが摩耗・損傷していたり、適正空気圧でないと、安全な走行ができず乗り心地も損なわれます。

日常的に点検を行ってください。

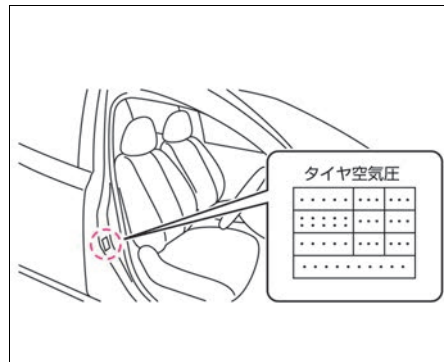
タイヤの点検項目

安全な走行のため、タイヤの点検は次の項目を点検してください。

詳細は別冊のメンテナンスノートをお読みください。

タイヤ空気圧

- すべてのタイヤの空気圧を点検してください。
- タイヤの指定空気圧は運転席ドアの開口部に表示してあります。



点検と整備

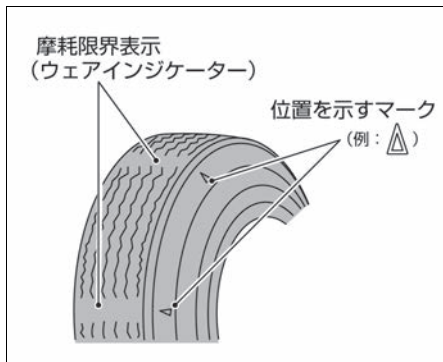
- タイヤの空気は自然に少しずつ低下します。月に一度はタイヤエアゲージを使用して点検してください。
- タイヤ空気圧の点検は、走行前のタイヤが冷えているときに点検・調整してください。
- タイヤ側面の厚みが薄いタイヤは、空気圧が減っていることを目視で確認することが困難なため、必ずタイヤエアゲージを使用して点検してください。
- 走行直後はタイヤ空気圧が約1割上がる場合があります。

タイヤの亀裂・損傷の有無

- タイヤの接地面や側面に著しい亀裂や損傷および針などの異物が刺さっていないか点検してください。

タイヤの溝の深さ、異常な摩耗

- タイヤの溝の深さが十分であるか、ウェアインジケーター（摩耗限界表示）が表れていないか点検してください。
- タイヤが摩耗して接地面とウェアインジケーター（摩耗限界表示）が同じ高さになったらタイヤを交換してください。



タイヤ・ロードホイールを交換するときは

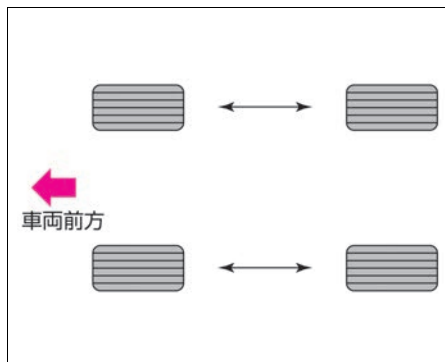
- タイヤ交換をするときは、日産販売会社にご相談ください。
- タイヤを交換するときは、4輪とも同時期に行い、必ず指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のタイヤを取り付けてください。
- タイヤサイズは運転席ドア開口部のタイヤ空気圧表示を参照してください。
- ロードホイールを交換するときは、必ず指定サイズで同一種類のロードホイールを取り付けてください。ロードホイールのサイズは巻末のサービスデータに記載してあります。

アドバイス

- ロードホイールは、リムサイズやインセットが同じでも、他の車のは使えない場合があります。お手持ちのものをご使用になるときは、日産販売会社にご相談ください。
- ロードホイールには荷重制限がありますので、交換するときは日産販売会社にご相談ください。
- タイヤやロードホイールを交換したときは、ホイールバランスを確実に取ってください。
- バルブキャップは日産純正品を使用してください。日産純正品以外のバルブキャップを使用すると腐食して固着し、外れなくなる場合があります。
- バルブキャップは工具などを使用して締め付けると、破損するおそれがあります。
- ホイールナットの締め付けトルクは、108N・m (11kg・m) です。

タイヤローテーションのしかた

左右それぞれで、前後タイヤの交換を行ってください。タイヤの偏摩耗を防ぎ、寿命を延ばすために、約5,000km ごとにタイヤのローテーション（位置交換）を行うことをおすすめします。



🚗 アドバイス

- タイヤの位置交換と同時に空気圧も点検してください。
- タイヤの位置交換については、日産販売会社にご相談ください。

タイヤに関する注意事項

⚠️ 警告

- **タイヤの空気圧が不足したまま走行しない。**
気温や高度の変化により、タイヤの空気圧は変化します。タイヤの空気圧が不足したまま走行すると、バースト（破裂）するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠️ 注意

- **5～7年を目安に必ず点検する。**

タイヤはゴム製品のため、徐々に劣化します。引き続き使用する場合、安全走行を確保するため、必ず点検を受けてください。点検については日産販売会社へご相談ください。

- **指定サイズ以外のタイヤ・ロードホイールは絶対に取り付けない。**
不適合なタイヤ・ロードホイールを取り付けると、安全性が損なわれ、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **タイヤを交換するときは、4輪とも同時期に行い、必ず指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のタイヤを取り付ける。**

VDCシステムが正常に作動しないことがあります。次のようなタイヤの装着はしないでください。

- 摩耗差の大きいタイヤの装着
- 前輪または後輪だけに冬用タイヤを装着
- サイズや種類の異なるタイヤを個々に装着
- **著しく摩耗差のあるタイヤや空気圧が規定値と著しく異なるタイヤを装着しない。**

車の性能が十分に発揮できなくなり、安全性を損なったり故障の原因になります。

冬用タイヤ・タイヤチェーン

雪道や凍結した道路を走行するときは、冬用タイヤやタイヤチェーンを装着してください。

冬用タイヤについて

⚠️ 注意

- **タイヤチェーンを不適正に装着したり、タイヤサイズに合わないものを使用しない。**
ブレーキ配管やフェンダーなどを破損するおそれがあります。

- 冬用タイヤを装着するときは、4輪とも指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のものに交換してください。

タイヤチェーンについて

タイヤチェーンを装着するときは、次のことを守ってください。

- タイヤチェーンを装着するときは、安全に作業できる平坦な場所に停車し、＜パワースイッチ＞をOFFにして作業してください。
- タイヤチェーンは必ず前2輪に装着してください。
- タイヤサイズに適合したチェーンを装着してください。
- タイヤチェーンに付属の取扱説明書に従って装着してください。
- タイヤチェーンに付属の取扱説明書で指定された速度で走行してください。

🚗 アドバイス

- タイヤチェーンを装着すると、ホイールカバーやアルミホイールに傷をつけるおそれがあります。
- 雪のない舗装路ではチェーンを装着したまま走行しないでください。路面を損傷したり、チェーンの摩耗を早め、寿命が短くなります。
- タイヤチェーンを装着しているときは、突起しているところや穴の上を走行しないでください。また、急ハンドルやタイヤがロックするようなブレーキ操作をしないでください。

ワイパー

ワイパーゴムが傷んでいると、きれいにふき取れなかったり、窓ガラスを傷つけたりします。

定期的に点検し、傷んでいるときは次の手順に従って交換してください。

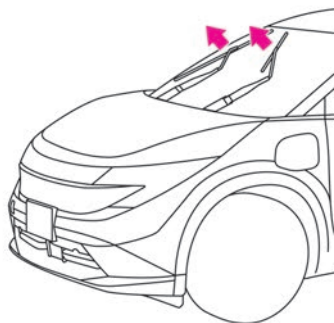
ワイパーブレードの交換のしかた

⚠ 注意

- 交換するときは、ワイパーアームおよびワイパーブレードがガラスに当たらないよう気をつけてください。ガラスに当たるとガラスが破損するおそれがあります。

1. ワイパーアームを起こし、ブレードを少し傾けます。

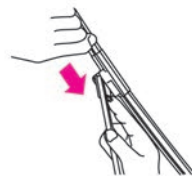
🔄 ワイパーアームを起こすとき（ライズアップ機能の使いかた）
(P.206)



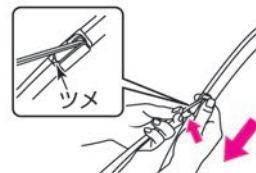
2. ワイパーブレードのツメを押したままにします。



3. ワイパーブレードを矢印の方向に動かして取り外します。



4. 新しいワイパーブレードを取り付けます。取り付けは取り外したときと逆の手順で行い、ワイパーブレードが確実に固定されていることを確認します。



🚗 アドバイス

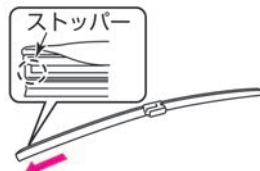
- ワイパーブレードに大きな力を加えて変形させないでください。ふき取りにくくなったり、破損するおそれがあります。

ワイパーゴムの交換のしかた

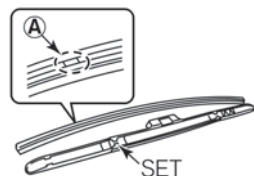
1. ワイパーアームからワイパーブレードを取り外します。



- ワイパーゴムを矢印方向にスライドし、取り外します。



- 取り付けるときは、取り外したときと逆の手順で行います。
- ワイパーゴムのストッパーがない方からブレードに沿って差し込みます。
 - ワイパーゴムの④部をワイパーブレードの「SET」の位置で確実に押し込み、固定します。



知識

- ワイパーゴムに石けん水を塗ると脱着しやすくなります。

インテリジェントキーの電池交換

キーのスイッチを押しても作動しないときは、電池の消耗が考えられます。
次の手順に沿って、電池を交換してください。

電池交換のしかた

警告

- 電池および取り外した部品は、お子さまが飲み込まないように注意する。

インテリジェントキーには、ボタン電池が使用されています。誤って電池を飲み込むと、わずか2時間で重度の化学熱傷を引き起こし、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。

新しい電池および取り外した電池は、お子さまの手の届かない場所に保管してください。

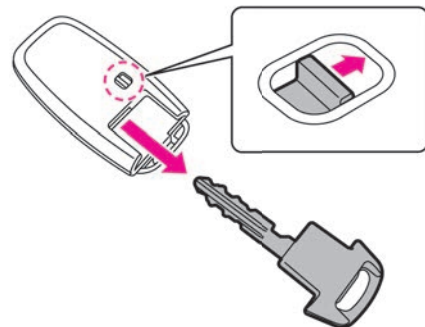
- 電池を飲み込んだり、体内に入れた場合は、ただちに医師の診察を受ける。

注意

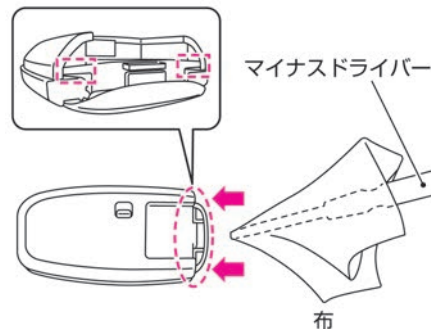
- カバーがしっかりと閉まらない場合は、インテリジェントキーの使用を中止する。

インテリジェントキーをお子さまの手の届かない場所に保管し、すみやかに日産販売会社にご連絡ください。

- キー裏側のロックを外しながら、内蔵キー（メカニカルキー）を引き抜きます。

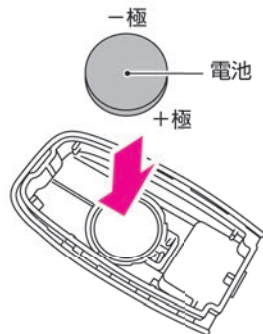


- 左右のすき間にマイナスドライバーを差し込み、ひねってカバーを取り外します。（カバーが傷つかないように、マイナスドライバーに布を巻いてください）

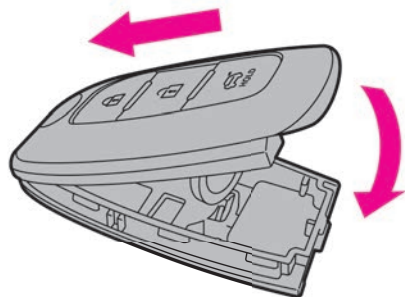


点検と整備

3. 消耗した電池を取り外し、新しい電池をはめ込みます。(新しい電池は、+極を下にして取り付けてください)
使用電池：CR2032



4. カバーの先端を合わせて上下のカバーを組み付けます。確実に取り付けられたことを確認してください。



🚗 アドバイス

- 電池交換の際、キーを破損するおそれがあります。日産販売会社での交換をおすすめします。
- 内部回路、電子端子などに触れないでください。故障の原因となります。
- 電池交換後は、キーシステムの各機能が正常に作動するか必ず確認してください。正常に作動しないときは故障が考えられますので、日産販売会社にご相談ください。

12Vバッテリー

12Vバッテリーのメンテナンスについては、メンテナンスノートをお読みください。詳しくは日産販売会社にご相談ください。

12Vバッテリーに関する注意事項

⚠ 警告

- 12Vバッテリーを充電するときは換気を十分に行い、火気は近づけない。12Vバッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。
- バッテリー液が付着したときは、すぐに多量の水で洗浄し、飲み込んだときは多量の水を飲んで応急処置をしたあと、医師の診断を受ける。

バッテリー液は希硫酸です。目や皮膚に付着すると、失明や炎症など重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- 12Vバッテリーの⊕側ターミナルが周辺の金属と接触しないようにする。接触するとショートして火災の原因となるおそれがあります。また、12Vバッテリーの端子の締め付けが緩いと、配線などが過熱、焼損し、火災につながるおそれがあります。
- 12Vバッテリーを交換するときは、必ず同じサイズ(型式)に交換し、動かないようにしっかりと固定する。しっかりと固定できていないと、ショートなどの原因となり火災につながるおそれがあります。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

12Vバッテリーを交換するときは、次の手順で交換します。

1. 一度、＜パワースイッチ＞をONにし、さらに＜パワースイッチ＞を2秒以上長押しします。
 2. 次のことを確認し、その後、運転席ドアを閉めた状態で5分以上待ちます。
- ＜パワースイッチ＞がOFFになっている
 - 充電コネクタが接続されていない
 - ソフトウェア自動更新が作動していない

外装のお手入れ

塗装面の変色やサビなどを防止するために、適切なお手入れが大切です。

洗車のしかた

- 塗装面に付着した汚れをそのままにすると、変色やサビの原因となります。次のような場合は、すぐに洗車してください。
 - ばい煙、虫の死がいや鳥の糞、樹液、鉄粉、コールドタールなどが付着したとき
 - 海岸地区、凍結防止剤を散布した道路を走行したあと
 - ほこり、汚れがひどいとき

■ 水洗いするときは

- 水をかけながら下回りの汚れを洗い流します。
- 水をかけながら塗装面の高い位置から低い位置の順にセーム皮や柔らかいスポンジなどで汚れを落とします。汚れがひどいときは、ボディシャンプーなどを使い、その後十分に水で洗い流します。
- はん点が残らないように水をふき取ります。

洗車時の注意



注意

- 下回りを洗うときは、ケガをしないように注意する。
- モータールーム内を水で洗ったり、洗剤やワックスなどを直接スプレーしたりしない。

EVシステムの始動不良や不調などの原因になるおそれがあります。また、電装品などに水がかかると故障したり電気部品のショートにより車両火災につながるおそれがあり危険です。

水や洗剤、ワックスなどの製品、もしくはその他シリコンを含む製品を使用する場合は、布に塗布してからモータールームをふいてください。

- 洗車、ワックス掛け、整備を行うとき、ボディカバーを付け外しするとき、ハンズフリーセンサー★周りに水を掛けるときなどは、アドバンスドライバアシストディスプレイの設定で＜パワーバックドア＞をOFFにする。

ハンズフリーセンサーが反応してバックドアが突然開閉し、思わぬケガをするおそれがあります。

➡ リモコンオートバックドア★
(P.146)



アドバイス

- ケミカル用品などは用途により使い分けが必要です。用途にあった物をお使いください。
- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶液を使用しないでください。変色やしみの原因となります。
- 硬いブラシや、たわしなどは使用しないでください。塗装面を傷つけるおそれがあります。

- 寒冷時に洗車をするときは、ブレーキに直接水がかからないように注意してください。ブレーキ装置に水が入ると凍結し、走行できなくなるおそれがあります。
- 洗車をするときに、車体に体重をかけるなどして、強い力で押したときに、場所によっては車体がへこむおそれがあります。

洗車機を使うときは

- ドアミラーを格納してください。
➡ ドアミラーの格納のしかた (P.166)
- 充電ポートリッドを完全に閉めてください。
➡ 充電ポートリッドの開けかた、閉めかた (P.37)
- 高圧洗浄機を使用するときは、高圧ノズルと車体の距離を十分離して洗車してください。高圧ノズルを近づけすぎると、モールなど樹脂部分やシール材などが変形、損傷したり、塗装の劣化を早めたりすることがあります。



アドバイス

- 自動洗車機で洗車すると、ブラシの傷がつき、塗装の光沢が失われたり劣化を早めたりすることがあります。
- ドアガラスのまわりに高圧ノズルを近づけないでください。車室内に水が漏れるおそれがあります。
- 洗車機の種類によってはスポイラーが引っ掛かり、洗車できないことがあります。

アドバイス

- アンダーカバーを外した状態で高圧洗浄機を使用しないでください。電気部品の故障などの原因になるおそれがあります。
- 高圧洗浄機を使用するときは、アンテナやカメラ類のまわりに高圧ノズルを近づけないでください。シール部が変形、破損するおそれがあります。

ワックスをかけるときは

- ワックスがけは1か月に1回程度、または水はじきが悪くなったときに行ってください。かけかたは普通塗装車、メタリックおよびパール塗装車とも同じです。

ワックスのかけかた

- ① 塗装面の汚れを洗車などで取り除きます。
- ② 塗装面が冷えているとき（体温以下が目安）にワックスをかけます。かけかたはワックス容器に記載してある説明に従ってください。

ワックスの選びかた

- コンパウンド（研磨剤）の入っていない、塗装に適したワックスをご使用ください。日産純正カーワックスをおすすめします。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

アドバイス

- 塗装されていないバンパー、スポイラーなどの樹脂部品には、ワックスを使用しないでください。ムラになることがあります。
- コンパウンド（研磨剤）の入ったワックスを使うと、塗装面の光沢や水をはじく特性が失われることがあります。
- カメラのレンズ部にワックスを付けないでください。ワックスが付いた場合は、中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませ、ふき取ってください。

ロードホイールのお手入れ

- 中性洗剤を含ませたスポンジなどを使い、汚れを落としてください。日産純正クリーナーをおすすめします。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

アドバイス

- 変色やしみの原因になったり、傷をつけたりするおそれがあるため、次のことをお守りください。
 - 強酸性、強アルカリ性の洗剤は使用しない
 - 洗剤はホイールの表面が冷えているときに使用する（体温以下が目安）
 - 洗剤を使用したあとは、早めに十分洗い流す

— 硬いブラシやコンパウンド（研磨剤）の入った洗剤などは使用しない

軽い補修のしかた

- フロントバンパー、リヤバンパーのレーダーセンサー周辺以外は、塗装面の小さい傷はタッチアップペイントを使い、早めに傷部を補修してください。サビの発生を防ぎ、塗装面を長持ちさせます。
- フロントバンパー、リヤバンパーのレーダーセンサー周辺はタッチアップペイントを含め塗装修理はできません。塗装する場合は日産販売会社にご相談ください。

🔍 レーダーセンサー★の取り扱い
(P.458)

レーダーセンサー/カメラ類の取扱注意

⚠ 警告

- センサー、カメラ部に強い衝撃を与えない。
- レーダーセンサーの技適認証について

以下の装置は日本の電波法（電波法）に基づいて認可されています。本製品の改造は禁止されています。（適合証明番号などが無効となります。）

⚠ 警告



フロントレーダー



サイドレーダー

⚠ 注意

- フロントバンパー、リヤバンパーのレーダーセンサー周辺に誤った塗装修理を行うと、本来の機能を発揮できなくなる可能性があります。

適切な修理を行うため、日産販売会社にご相談ください。

🚗 アドバイス

- カメラレンズ部に泥、雨滴、雪などが付着すると、モニター画像の映りが悪くなりますので、濡れた柔らかい布で汚れをふき取ったあと、乾いた柔らかい布でふき取ってください。
- カメラ部には傷をつけないください。映像へ影響が出る場合があります。
- カメラレンズをアルコール、ベンジン、シンナーなどでふかないください。変色などの原因になります。

バンパーの修理

バンパーにはレーダーセンサーが内蔵されているため、修理には細心の注意が必要です。

フロントバンパー、リヤバンパーを塗装、修理する場合は必ず日産販売会社にご相談ください。

■ レーダーセンサーの仕組み

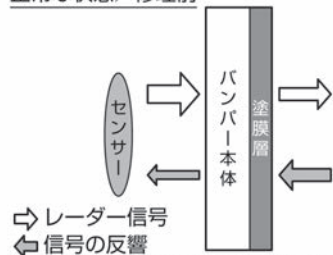
レーダーセンサーからレーダー信号を発生させ、その信号の反響により障害物を検出します。



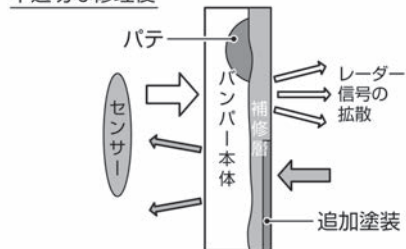
■ バンパーの修理

不適切なバンパー修理（異なる素材のパテ使用や追加塗装など）を行うと、レーダー信号が弱まったり、正しく発信できなかったりするため、障害物を正しく検出する事ができなくなります。

正常な状態／修理前



不適切な修理後



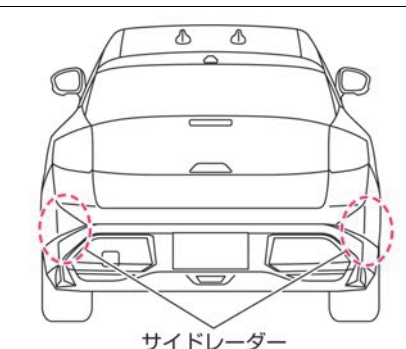
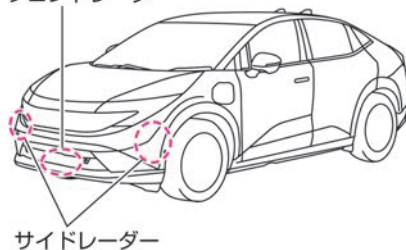
レーダーセンサー★の取り扱い

システムを正しく作動させるために次のことをお守りください。

- レーダーセンサーの性能が発揮できない可能性があるため、以下は行わないでください。
 - ーレーダーセンサー周辺へのステッカー貼り付け、後付け部品の取り付け
 - ーお客さまの手による塗装、修理
 - ーフロントバンパー、リヤバンパーを改造、脱着

- ーレーダーセンサー周辺の鳥糞、虫、泥などの付着の放置
- ー衝突などによるレーダーセンサー周辺の破損、傷つきの放置

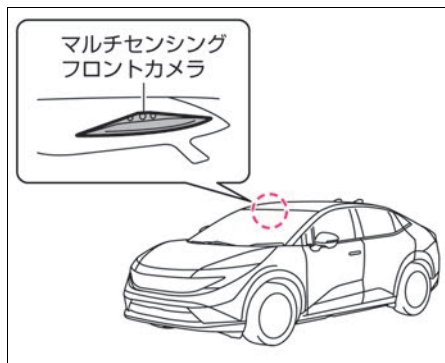
フロントレーダー



マルチセンシングフロントカメラの取り扱い

システムを正しく作動させるため、次のことをお守りください。

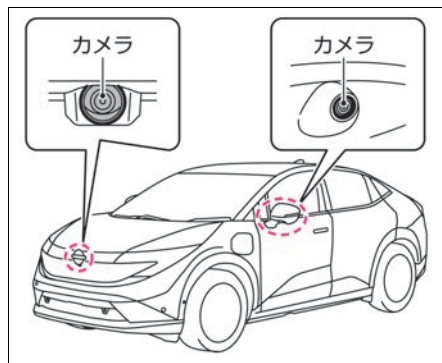
- カメラ前方のフロントガラスはいつもきれいにしておいてください。
中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませてふき取ります。さらに乾いた柔らかい布でふき取ります。
- カメラ前方のフロントガラスにステッカー（透明なものを含む）を貼らないでください。
- インストルメントパネル上に鏡や白い紙などの光を反射しやすいものを置かないでください。太陽光が反射し、カメラの検知性能に影響が出るおそれがあります。
- カメラを取り外さないでください。故障、誤作動の原因になります。事故などでカメラ周辺部が変形した場合は、日産販売会社にご相談ください。
- フロントガラスが汚れていたり、マルチセンシングフロントカメラの前が障害物でふさがれていたり、カメラが前方を撮像できないとき、アドバンスドドライブアシストディスプレイに「ヘッドランプ警告」の警告メッセージ（➡P.401）が表示されることがあります。カメラの前の障害物を取り除き、汚れを清掃してください。



フロントビュー／サイドビューカメラの取り扱い

システムを正しく作動させるために、次のことをご守りください。

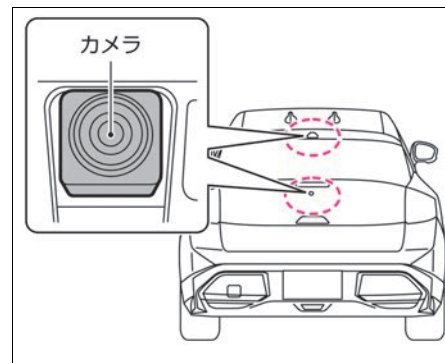
- カメラ周辺部はいつもきれいにしておいてください。中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませてふき取ります。さらに乾いた柔らかい布でふき取ります。
- 衝突などでカメラ周辺を破損したときは、日産販売会社で点検を受けてください。



リアビューカメラの取り扱い

システムを正しく作動させるために、次のことをご守りください。

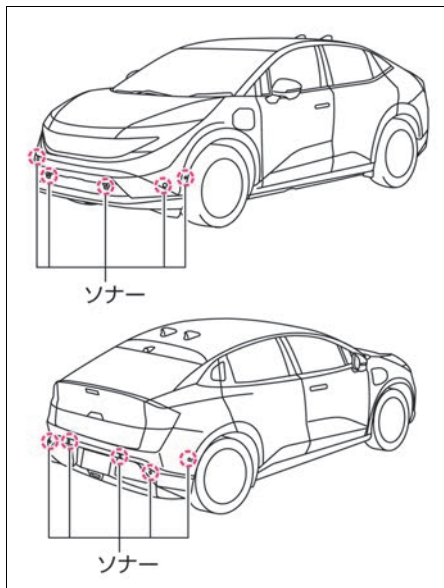
- カメラ周辺部はいつもきれいにしておいてください。アルコール、ベンジン、シンナーなどを使用してカメラを清掃しないでください。変色する原因となります。中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませてふき取ったあと、乾いた柔らかい布でふいてください。
- 光が反射するため、ナンバープレートにアクセサリを取り付けしないでください。
- 衝突などでカメラ周辺を破損したときは、日産販売会社で点検を受けてください。



ソナーの取り扱い

システムを正しく作動させるために、次のことをご守りください。

- ソナーはいつもきれいにしておいてください。汚れているときは、柔らかい布で傷つけないように注意してふき取ってください。
- ソナーまたはその周辺に強い衝撃を与えないでください。またソナーの取り外し、分解などをしないでください。故障、誤作動の原因になります。事故などでソナーの取り付け部が変形した場合は、日産販売会社にご相談ください。
- ソナーまたはその周辺にステッカー（透明なものを含む）を貼ったり、アクセサリなどを取り付けしないでください。故障、誤作動の原因になります。
- ソナーの個数は車種により異なる場合があります。



内装のお手入れ

内装のお手入れについて

アドバイス

- 車室内に水をかけないでください。オーディオやスイッチ類、フロア下の配線や電気部品などに水がかかると故障するおそれがあります。

- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶剤を使用しないでください。変色やしみ、ひび割れ、塗装はがれなどの原因となるおそれがあります。また、各種クリーナー類には、これらの成分が含まれているおそれがあるため、確認してからご使用ください。
- オーディオやスイッチ類などの電装品、ブレーキペダル周りにシリコン（シリコン）を含むケミカル用品（スプレー、グリース、オイルなど）を使用しないでください。電装品の故障につながるおそれがあります。
- 消臭剤・芳香剤、化粧品・日焼け止めなどは、容器からこぼしたりしないでください。また、吊り下げタイプの消臭剤・芳香剤などは、内装部品に接触しないようにしてください。含まれる成分によっては、内装部品に付着すると変色やしみ、ひび割れ、塗装はがれなどの原因となるおそれがあるため、付着した場合は、すみやかに柔らかない布でふき取ってください。

- 塩素系（二酸化塩素や次亜塩素酸）の洗浄液を使用しないでください。塗装はがれやサビなどの原因となるおそれがあります。やむをえず洗浄（除菌）する場合は、エタノール75%以下をご使用ください。エタノールを乾いた布に含ませ、内装部品をふいてください。エタノールがなくなるまでふき取ってください。ふき残しがあると塗装はがれや色落ちなどの原因となるおそれがあります。エタノールは、引火性ですので、火気に注意してください。
- 内装部品を固いもので擦ったり引っかいたりしないでください。傷がつき、破損するおそれがあります。

カーペットの汚れ取り

- 電気掃除機でほこりを取り除き、日産純正ルームクリーナーなどで汚れを落としてください。フロアカーペットを取り外したときは、敷き直すときにフロアカーペットがずれないように固定クリップで正しく確実に固定してください。
- ➡ フロアカーペット (P.371)

布、合成皮革の汚れ取り

- 中性洗剤を薄めて柔らかない布に含ませ、軽くふき取ります。さらに水に浸した布を固くしぼってふき取ります。汚れがひどいときは、日産純正ルームクリーナーなどで汚れを落としてください。

メーター表面やその他光沢のあるプラスチック部品の汚れ取り

- 塵、ほこりを取り除き、柔らかい布を真水に浸して、固くしぼってから軽くふき取ります。
硬いブラシや布、ティッシュでこすると、傷がつくことがあります。

アドバイス

- 乾いた布やウェットティッシュなどを使用しないでください。傷がついたり、変色したりする原因になります。
- ワックスやコーティング剤、油などが付着した布ではふかないでください。変色の原因になります。

ガラスの汚れ取り

- バックドアガラスの内側を清掃するときは、熱線を切らないように水を含ませた柔らかい布で熱線にそって軽くふいてください。
- ガラスクリーナー、洗剤などは使用しないでください。
- ガラスの内側を清掃するときは、アンテナ線を切らないように、水を含ませた柔らかい布で軽くふいてください。

IRカット&スーパーUVカット断熱グリーンガラス★のお手入れ

- フロントガラスの内側にはIRカット&UVカットコーティングがされています。
- フロントドアガラスの内側を清掃するときは、水または温水を含ませた柔らかい

☆/★：車両型式、オプションなどで異なる装備

きれいな布で早めに汚れをふき取ってください。

アドバイス

- IRカット&UVカットコーティングの傷つきや劣化を防ぐため、次のことをお守りください。
 - ー フロントドアガラスの汚れがひどいときは、なるべく窓ガラスの開閉を行わない。
 - ー 清掃するときはコンパウンド（研磨剤）入りのガラスクリーナー、アルカリ性洗剤は使用しない。
 - ー 砂などが付着している布で清掃しない。

インテリジェントルームミラー★のお手入れ

- ミラーやカメラ部は常にきれいな状態にしておいてください。汚れなどが付いていると見えにくくなるおそれがあります。
- ミラーやカメラ部を清掃するときは、乾いた柔らかい布などでそっとふいてください。
- 清掃するときはアルコール、ベンジン、シンナーなどの薬品でミラーやカメラ部をふかないでください。変色、劣化、故障の原因となります。汚れがひどいときは、まず濡れた柔らかい布でふいてから乾いた柔らかい布でふいてください。
- インテリジェントルームミラーカメラ (P.4) はいつもきれいにしておいてください。中性洗剤を薄めて柔らかい布に

含ませてふき取ります。さらに乾いた布でふき取ります。

サービスデータ

点検値

項目		点検値
ブレーキペダル※	床板とのすき間 メーター内の走行可能表示灯 [READY] が点灯時に約490N（50kg）で踏んだとき	135mm以上

※：ブレーキが正常に作動しないときは、必ず日産販売会社で点検を受けてください。また、ブレーキペダルの高さの調節が必要なときも、日産販売会社にご相談ください。

交換油脂類

お車の性能を適正に保つため、弊社指定銘柄のご使用をおすすめします。
指定銘柄以外をお使いになる場合、指定銘柄に相当する品質のものをお使いください。
記載の規定量は目安です。実際の量とは異なることがあります。
交換時期についてはメンテナンスノートをお読みください。

減速機オイル

適用	規定量 (ℓ)	指定銘柄
全車	1.35	日産純正マチックフルードs※

※：必ず日産純正マチックフルードsを使用してください。日産純正マチックフルード以外のフルードを使用すると減速機が損傷するおそれがあります。

ブレーキフルード

適用	規定量 (ℓ)	指定銘柄
全車	-	日産純正ブレーキフルードNo.2500（DOT3）

電動パワートレイン冷却水

適用	規定量 (ℓ)	指定銘柄
PTCバッテリーヒーター付車	8.8※ ¹	日産純正スーパーロングライフクーラント※ ²
PTCバッテリーヒーター無車	8.6※ ¹	

サービスデータ

※1：リザーバタンクの容量を含みます。

※2：走行用モーターやインバーターなどが破損するおそれがあるため、市販されている水漏れ防止剤などの添加剤は冷却水に添加しないでください。冷却水には、日産純正スーパーロングライフクーラントを必ずご使用ください。

ウォッシャー液

適用	規定量 (ℓ)	指定銘柄
全車	2.5	日産純正ウインドウォッシャー液※

※：外気温に応じて濃度を調節してください。

車両仕様

6kW普通充電器（車載用）／急速充電

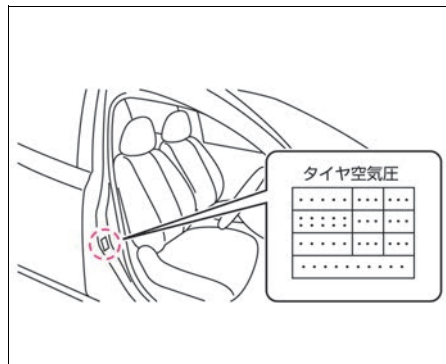
項目	内容
入力電圧	AC 100V ～ 200V
定格周波数	50Hz／60Hz
最大定格電流	30A（6kW普通充電器（車載用））
漏電遮断器の検知電流	建屋側のブレーカーや接続している充電ケーブルによって異なります。（日産純正品充電ケーブル：15mA）
EV充電モード／接続タイプ	Mode 2／Case B（普通充電、日産純正品充電ケーブルとの組み合わせ） Mode 3／Case B/C（3kW普通充電、6kW普通充電、公共充電スタンドなど） Mode 4／Case C（急速充電、V2H、V2L）
施工要求（短絡保護電流、保護機器の情報）	過電流、過電圧対策手段は、国内の法規、基準に従うことが必要です。家屋、ビルの配線に適切な過電流保護装置を必ず設置してください。
IP等級	IP44：充電中の充電ケーブル（コントロールボックス付）★と充電ポート結合部（日産純正品充電ケーブルとの組み合わせ）
動作温度	車両の動作温度
保管温度	車両の保管温度
適合規格	SAE J1772 / EN61851-1 / EN61000-6-1 / EN61851-21 / EN61000-6-3 / IEC61851-1 / IEC61851-21
アダプタ	充電ポート部にアダプタを使用しないでください。

☆／★：車両型式、オプションなどで異なる装備

タイヤ・ロードホイールサイズ

タイヤサイズ	ロードホイールサイズ		
	リムサイズ	P.C.D.	インセット
215/55R18 95H	18 × 6.5J	114.3mm (5穴)	45mm
	18 × 7J		50mm
235/45R19 95V	19 × 7.5J		50mm

タイヤの指定空気圧は運転席ドアの開口部に表示してありますので、確認してください。



- 後退灯
- 方向指示器 兼 非常点滅表示灯

イベントデータレコーダ (EDR)

車両データの記録・蓄積について

- イベントデータレコーダは一般的なデータレコーダとは異なり、会話などの音声は記録しません。
- 氏名、性別、年齢などの個人情報は記録しません。

この車両に装備されている以下システムの各コンピューターはイベントデータレコーダ機能を備えています。

以下システムの各コンピューターは正常に作動しているかどうかを常に診断し、イベントデータレコーダで車両が衝突したときなどの車両データを記録・蓄積しています。

■ SRSエアバッグシステム

SRSエアバッグシステムが作動したとき、もしくは一定以上の衝突が発生した場合に下記車両データを記録・蓄積します。

- エアバッグシステムの作動に関する情報
- エアバッグシステムの故障診断情報

- アクセルペダル、ブレーキペダル、ハンドルなどの操作状況
- 車速などの車両情報

■ プロパイロットシステム★

プロパイロットシステムは下記車両データを記録・蓄積します。

- アクセルペダル、ブレーキペダル、ハンドルなどの操作状況
- 先行車やレーンマーカーなどの検知状況
- 車速などの車両情報
- プロパイロットの作動に関する情報
- プロパイロットの故障診断情報
- マルチセンシングフロントカメラの画像情報 (SRSエアバッグ、インテリジェントエマージェンシーブレーキ作動時)

■ プロパイロット2.0システム★

プロパイロット2.0システムは車両データを記録・蓄積します。

② 車両データの記録・蓄積について (プロパイロット2.0付車) (P.251)

外装ランプ

- 次の外装ランプはすべてLEDです。
 - 前照灯 (ヘッドランプ)
 - 後部霧灯 (リヤフォグランプ) ★
 - アクセントランプ
 - 車幅灯
 - 番号灯
 - 尾灯
 - 制動灯
 - ハイマウントストップランプ

サービスデータ

データの扱いについて

日産自動車および日産自動車が委託した第三者は、イベントデータレコーダに記録されたデータを日産自動車の車両衝突安全性能の向上を目的として、取得・利用することがあります。

なお、日産自動車および日産自動車が委託した第三者は、取得したデータを次の場合を除き、第三者へ開示・提供することはありません。

- 車両の使用者の同意がある場合
- 裁判所命令など、法的強制力のある要請に基づく場合
- 統計的な処理を行うなど、使用者や車両が特定できないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

車両状態記録機能

車両状態の記録・蓄積について

車両状態記録機能は、下記車両データを記録・蓄積します。

- 車輪速などの車両走行情報

車両状態記録機能

- 車両状態記録機能は一般的なデータレコーダとは異なり、会話などの音声や映像は記録しません。

車両状態記録機能は品質維持を目的として、車両の運行状態を記録・蓄積します。

車両状態記録機能から得られたデータを元にした確かなサービスを提供することができま

☆／★：車両型式、オプションなどで異なる装備

データの取り扱いについて

日産自動車および日産自動車が委託した第三者は、車両状態記録機能に記録されたデータを日産自動車の車両衝突安全性能の向上を目的として、取得・利用することがあります。

なお、日産自動車および日産自動車が委託した第三者は、取得したデータを次の場合を除き、第三者へ開示・提供することはありません。

- 車両の使用者の同意がある場合
- 裁判所命令など、法的強制力のある要請に基づく場合
- 統計的な処理を行うなど、使用者や車両が特定できないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

MEMO

12Vバッテリー P.454
12Vバッテリーがあがったときは P.387

3kW普通充電のしかた.....P.48
3点式シートベルト.....P.65

ABS (アンチロックブレーキシステム) P.211

BSW（後側方車両検知警報）／
インテリジェント BSI（後側方衝突防止
支援システム） P.275

e-Pedal Step	P.209
EV画面について	P.20
EVシステムを始動できないときは.....	P.386

LDW（車線逸脱警報）／インテリジェント
L（車線逸脱防止支援システム） P.283RCTA (後退時車両検知警報) P.289

SRSエアバッグ	P.68
SRSエアバッグ（前席）	P.69
SRSカーテンエアバッグ	P.72
SRSサイドエアバッグ（前席）	P.71

USB電源ポート P.368

V2L (普通充電ポート) と100V AC電源
(1500W) P.22

VDC (ピークルダイナミクスコント
ロール) P.212

アシストグリップ	P.372
アドバンスドアンビエントライティング	P.351
アドバンスドドライブアシストディスプレイ	P.97
アドバンスドドライブアシストディスプレイとは（ショートカットメニュー）	P.109
アドバンスドドライブアシストディスプレイとは（メインメニュー）	P.97
安全にご利用いただくために	P.15

イベントデータレコーダ（EDR） P.464
イモビライザー（盗難防止装置） P.81

イルミネーションコントロール.....	P.134
インストアンダーボックス.....	P.352
インストルメントパネル.....	P.10
インテリジェント アラウンドビュー モニター（移動物 検知機能付）.....	P.306
インテリジェント アラウンドビュー モニターに関する注意事項.....	P.315
インテリジェント エマージェンシー ブレーキ.....	P.261
インテリジェント ディスタンスコント ロール.....	P.255
インテリジェント ルームミラー.....	P.163
インテリジェント DA（ふらつき警報）.....	P.292
インテリジェント FCW（前方衝突予測 警報）.....	P.286
インテリジェントキー.....	P.136
インテリジェントキーに関する注意事項.....	P.139
インテリジェントキーの電池交換.....	P.453

ウォッシュ液の補給.....	P.447
運転支援機能.....	P.209
運転する.....	P.189
運転するときに注意すること.....	P.62
運転する前に.....	P.62
運転席まわり.....	P.8
運転前の準備.....	P.62

エアコンの操作..... P.171
 エアコンを使うときに注意すること..... P.179

エアバッグ	P.68
エマージェンシーストップシグナル	P.211

オ

オーディオ	P.184
オーディオの使いかた	P.184
オートACC機能	P.187
オートエアコンシステム	P.171
オートブレーキホールド	P.192
オーバーヘッドコンソール	P.353
お子さまの安全のために	P.74
お子さまを乗せるときに注意すること	P.74

カ

外観フロント	P.2
外観リヤ	P.4
回生ブレーキコントロールパドル	P.190
外装のお手入れ	P.455
外装ランプが点灯しないときは	P.438
各種設定画面	P.112, P.131
各部名称（エンハンス表示）	P.85
各部名称（クラシック表示）	P.84
カップホルダー／ボトルホルダー	P.352
寒冷時の取り扱い	P.448

キ

キー	P.136
急速充電のしかた	P.50
緊急時の対処法	P.381

ク

グローブボックス	P.352

ケ

計器類	P.84
警告灯がついたときは	P.392
警告灯の表示位置（エンハンス表示）	P.92
警告灯の表示位置（クラシック表示）	P.91
警告メッセージが表示されたときは	P.398
警報音（ブザー）が鳴ったときは	P.435
けん引について	P.377

コ

交換油脂類	P.462
工具・ジャッキ	P.441
工具・ジャッキについて	P.441
後席シート	P.159
後席リマインダー	P.154
航続距離を延ばすためのポイント	P.18
高電圧部品について	P.15
故障したときは	P.376

サ

サービスデータ	P.462
サンバイザー／バニティミラー（照明付き）	P.371

シ

シート・ハンドルの調節	P.155
シートベルト	P.65
シートベルトの注意事項	P.66
室内灯	P.350
始動する	P.186
シフトスイッチ	P.189
車室内	P.6
車両仕様	P.463
車両状態記録機能	P.465

車両情報画面	P.99
車両接近通報装置	P.214
充電インジケータ	P.39
充電ができないときの対処方法	P.56
充電ケーブル（コントロールボックス付）	P.34
充電コネクタロック	P.38
充電コネクタロックが解除できないときは	P.386
充電上限の設定について	P.52
充電上限の設定のしかた	P.52
充電情報表示画面	P.126
充電する	P.45
充電装備と名称	P.33
充電で困ったときは	P.56
充電に関する装備	P.33
充電に関する注意事項	P.30
充電の種類	P.45
充電ポート	P.36
収納装備	P.352
出力制限表示灯が点灯したときは	P.391
衝突回避ステアリングアシスト	P.269
心臓ペースメーカーなどをご使用の方の注意事項	P.63

ス

水没したときは	P.437
ステアリングスイッチ	P.98
ステアリングヒーター	P.365
スマートフォンで利用できる機能	P.22

セ

清掃・お手入れ	P.455
先行車発進お知らせ	P.299
先進事故自動通報システム	P.355
前席シート	P.155
センターコンソールボックス	P.352

ソ

走行支援機能	P.216
走行支援機能画面	P.129
即充電スイッチ	P.36
その他の室内装備	P.355
その他の表示機能	P.126

タ

タイマーエアコンに関する注意事項	P.183
タイマーエアコンの設定のしかた	P.181
タイマー機能	P.21
タイマー充電のしかた	P.53
タイヤ	P.449

チ

チケットホルダー	P.372
チャイルドシート	P.75
駐車支援システム	P.301
調光パノラミックガラスルーフ （遮熱機能付）	P.169

テ

停車・駐車	P.195
電気自動車（EV）が事故にあったときの 注意事項	P.16
電気自動車（EV）の取り扱いに関する 注意事項	P.16
電気自動車（EV）ってどんな車？	P.14
電気自動車と上手に付き合うために	P.18
電気自動車の特徴	P.14
点検整備について	P.440
電源ソケット	P.368

点検値	P.462
点検と整備	P.445
電動パーキングブレーキ	P.191

ト

ドア	P.142
ドアが開かないときは	P.385
ドアの施錠と解錠	P.142
ドアミラー	P.166
盗難防止機能	P.81
ドライバーモニターシステム	P.296
ドライブモードセクター	P.210
ドライブレコーダー	P.358

ナ

内装のお手入れ	P.460

ハ

発炎筒	P.377
バックドア	P.146
バックビューモニター	P.301
バックビューモニターの注意事項	P.302
発進・走行	P.194
バッテリーを長持ちさせるためのポイント	P.18
パワーウィンドー	P.168
パワースイッチ	P.186
パンクしたときは	P.381
ハンドル	P.161

ヒ

ヒーターシート	P.366
ヒューズが切れたときは	P.438

標識検知機能	P.293
表示灯がついたときは	P.95
表示灯の表示位置（エンハンス表示）	P.94
表示灯の表示位置（クラシック表示）	P.93
ヒルスタートアシスト	P.214

フ

フォグランプスイッチ	P.203
吹き出し口	P.177
踏み間違い衝突防止アシスト	P.269
冬用タイヤ・タイヤチェーン	P.451
フロアカーペット	P.371
プロパイロット	P.222
プロパイロットパーキング	P.319
プロパイロットリモートパーキング	P.341

ヘ

ヘッドアップディスプレイ	P.129
ヘッドアップディスプレイとは	P.129
便利なサポート機能	P.20
便利な充電方法	P.53

マ

まずはじめに	P.376
窓ガラスがくもったときは	P.436
窓ガラスの開閉	P.168

ミ

ミラーの調節	P.163

メ

- メーター.....P.86
メーターの明るさの調節.....P.134
メンテナンスの前に.....P.440

モ

- モータールーム.....P.445

ユ

- 雪道やぬかるみにはまったときは.....P.437

ラ

- ライトスイッチ.....P.197
ラゲッジフック.....P.372
ランプをつける、ワイパーを使う.....P.197

リ

- リチウムイオンバッテリー温調システム.....P.41
リチウムイオンバッテリーの残量が
なくなったときは.....P.391
リモコンオートバックドア.....P.146

ル

- ルームミラー.....P.163

ワ

- ワイパー.....P.452
ワイパー・ウォッシャースイッチ.....P.204
ワイヤレス充電器.....P.369

警告灯・表示灯・警告メッセージが表示されたときは

メーター内に警告灯や警告メッセージが表示されたときは、すみやかに適切に対処する必要があります。詳しくは、警告灯（➡P.392）、警告メッセージ（➡P.398）をお読みください。表示灯については、表示灯（➡P.95）をお読みください。



警告灯 例

警告灯は、車両故障などを運転者に知らせるためのものです。警告灯が点灯したときは警告灯（➡P.392）に記載されている「説明・対処方法」に従ってください。



警告メッセージ 例

警告メッセージが表示されたときは、警告メッセージ（➡P.398）に記載されている「説明・対処方法」に従ってください。



表示灯 例

表示灯は、何らかのシステムが作動していることなどをお知らせするものです。点灯している理由は、表示灯（➡P.95）をお読みください。

MEMO